

高齢者の暮らしと介護についての アンケート調査結果報告書

令和5年3月
高松市



目次

第1章 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 報告書の見方	2
4. 評価項目の判定について.....	2

第2章 調査結果 高齢者(65歳以上)

1. 回答者の属性.....	3
2. 家族や生活状況について.....	6
3. からだを動かすことについて.....	12
4. 食べることについて.....	22
5. 毎日の生活について.....	30
6. 地域での活動について.....	41
7. たすけあいについて.....	49
8. 健康について.....	56
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	61
10. 高齢者に必要な生活支援について.....	68
11. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて.....	75
12. 健康づくりについて.....	87
13. 一般介護予防事業について.....	91
14. 高齢者の保健福祉について.....	100

第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上)

1. 回答者の属性.....	113
2. 家族や生活状況について.....	116
3. からだを動かすことについて.....	124
4. 食べることについて.....	132
5. 毎日の生活について.....	139
6. 地域での活動について.....	151
7. たすけあいについて.....	156
8. 健康について.....	163
9. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて.....	168
10. 高齢者に必要な生活支援について.....	175
11. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて.....	177
12. 健康づくりについて.....	186

13. 高齢者の保健福祉について	187
第4章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満)	
1. 回答者の属性	199
2. 家族や生活状況について	202
3. 地域での活動について	206
4. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて	213
5. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて	218
6. 健康づくりについて	226
7. 一般介護予防事業について	229
8. 高齢者の保健福祉について	236
第5章 資料 自由意見集	
1. 自由意見 高齢者(65歳以上)	247
2. 自由意見 要介護認定者(65歳以上)	253
3. 自由意見 一般市民(40歳以上65歳未満)	258
第6章 資料 判定結果	
1. 評価項目別の判定結果	263
(1) 運動器の機能低下	264
(2) 転倒リスク	266
(3) 閉じこもり傾向	268
(4) 低栄養の傾向	270
(5) 口腔機能の低下	272
(6) 認知機能の低下	274
(7) うつ傾向	276
(8) IADL－手段的日常生活動作	279
(9) 社会参加－知的能動性	281
(10) 社会参加－社会的役割	283

第1章 調査概要

1. 調査目的

令和6年度から8年度までを計画期間とする「第9期高松市高齢者保健福祉計画」の策定における基礎調査として実施しました。

2. 調査設計

(1) 調査対象

調査種別	調査対象者	標本数
高齢者	65歳以上の高齢者の方 (要介護1～5の認定者を除く)	3,000人
要介護認定者	65歳以上の高齢者のうち、 要介護1～5の認定者の方	2,800人
一般市民	40歳以上65歳未満の方	1,000人
合計		6,800人

(2) 調査方法

すべての調査対象者に、郵送によるアンケートの配付・回収を行いました。

(3) 回収数

調査種別	有効回収数	有効回収率
高齢者	2,015件	67.2%
要介護認定者	1,479件	52.8%
一般市民	395件	39.5%
合計	3,889件	57.2%

(4) 調査の期間

令和4年12月1日～令和4年12月28日

※ ただし、令和5年1月16日までに回収された調査票を有効回収票として扱い、集計・分析を行いました。

3. 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示し、各比率は、すべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は、調査数を上回ることがあります。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) クロス集計等での件数(母数)の少ない集計結果についても、参考までに記載しています。
- (5) 市民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案し、本市では下記のとおり、19の日常生活圏域を設定しています。

日常生活圏域	地 区
① 中央西	日新、二番丁、亀阜、四番丁
② 中央東	新塩屋町、築地、花園、松島、栗林、女木、男木
③ 鶴尾	鶴尾
④ 太田	太田、太田南
⑤ 一宮	一宮
⑥ 香東	川岡、円座、檀紙
⑦ 木太	木太
⑧ 古高松	古高松
⑨ 屋島	屋島
⑩ 協和	前田、川添、林

日常生活圏域	地 区
⑪ 龍雲	三谷、仏生山、多肥
⑫ 山田	川島、十河、西植田、東植田
⑬ 勝賀 下笠居	香西、弦打、鬼無、 下笠居
⑭ 塩江	塩江
⑮ 香川	香川
⑯ 香南	香南
⑰ 牟礼	牟礼
⑱ 庵治	庵治
⑲ 国分寺	国分寺

4. 評価項目の判定について

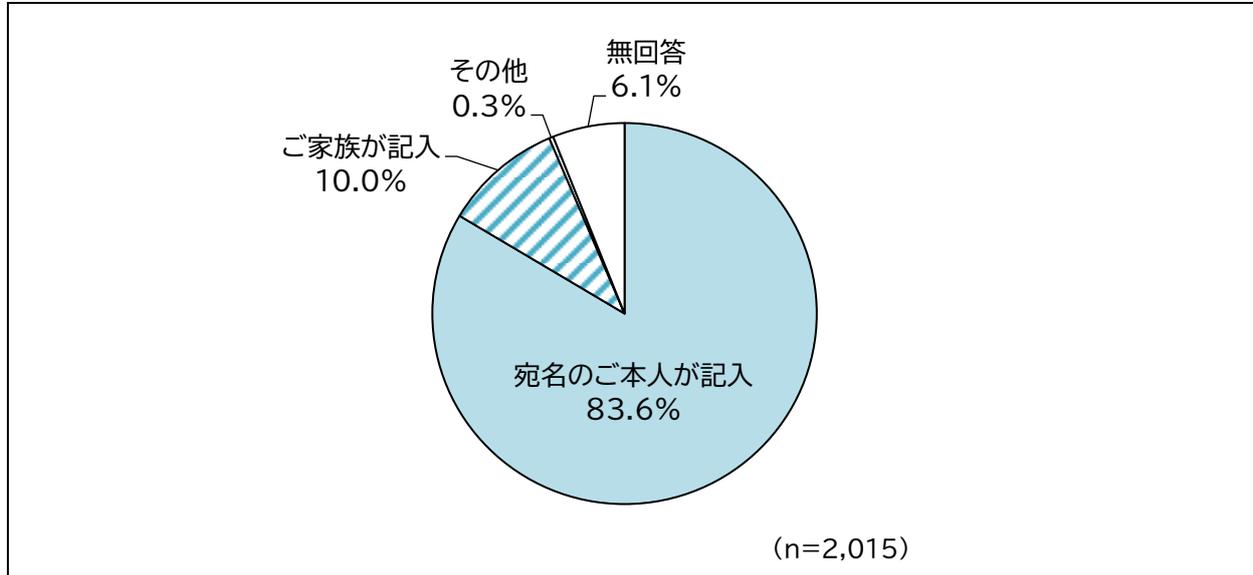
評価項目別の判定結果については、国が作成した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」実施の手引き及び老研式活動能力指標に基づき集計したものであり、特定の項目に回答していることが必須条件となるため、回収数よりも有効回収数が、若干、少なくなっています。

第2章 調査結果 高齢者(65歳以上)

1. 回答者の属性

(1) 調査票を記入した方

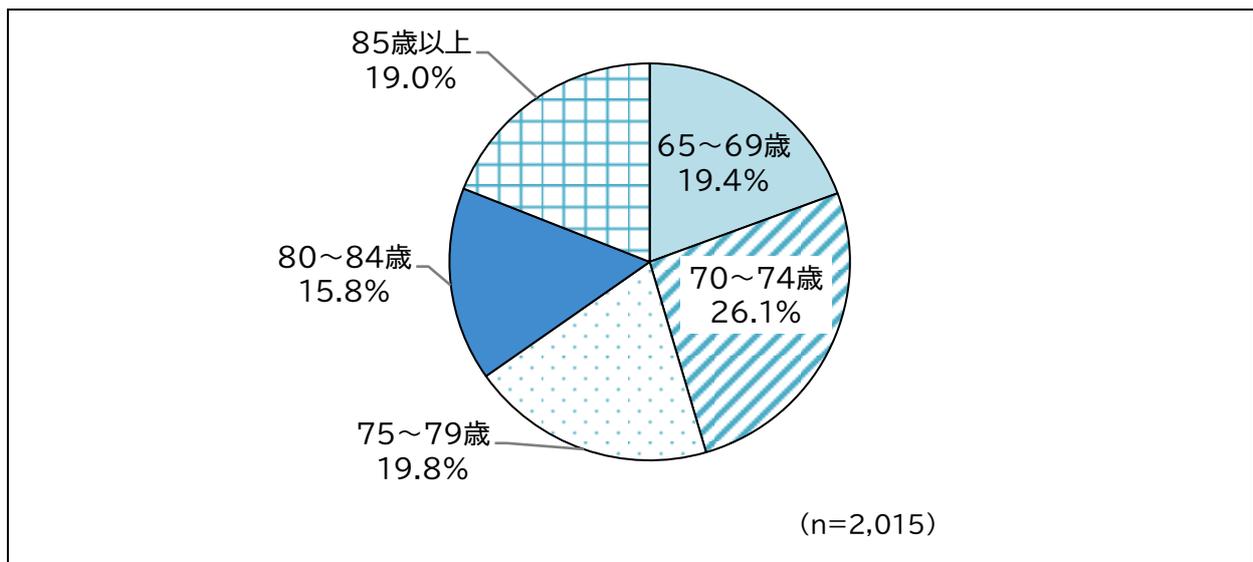
図表1 調査票記入者(全体)



●調査票の記入者について、「宛名のご本人が記入」と回答した人の割合は83.6%となっています。一方、「ご家族が記入」と回答した人の割合は10.0%となっています。

(2) 年齢

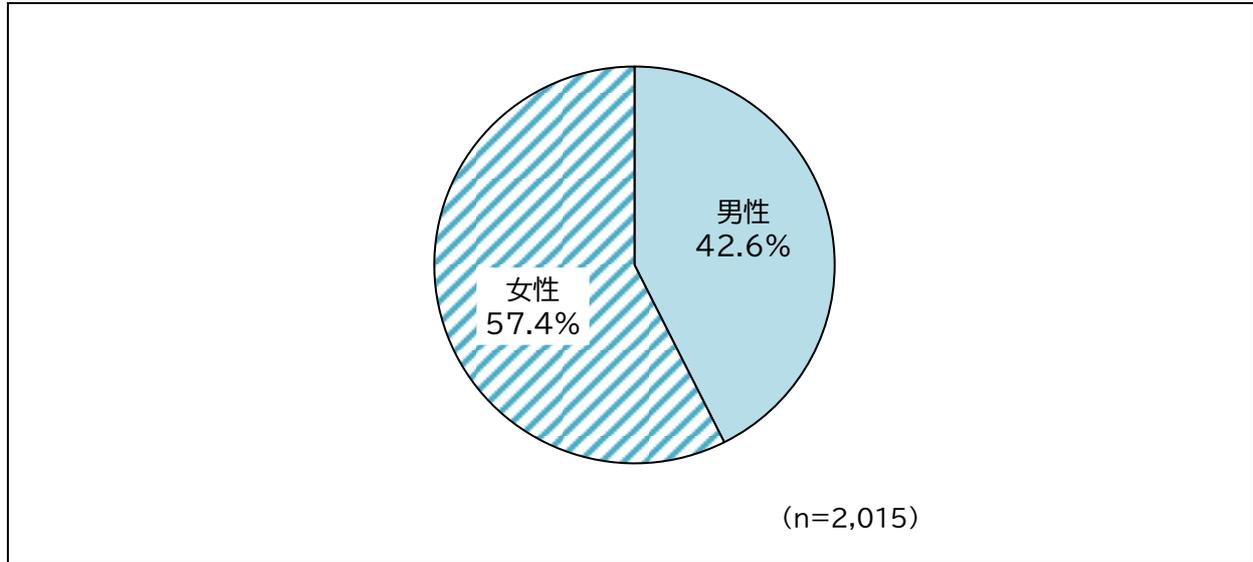
図表2 年齢(全体)



●年齢について、「70～74歳」と回答した人の割合が最も高く、26.1%となっています。次いで、「75～79歳」19.8%、「65～69歳」19.4%と続いています。

(3) 性別

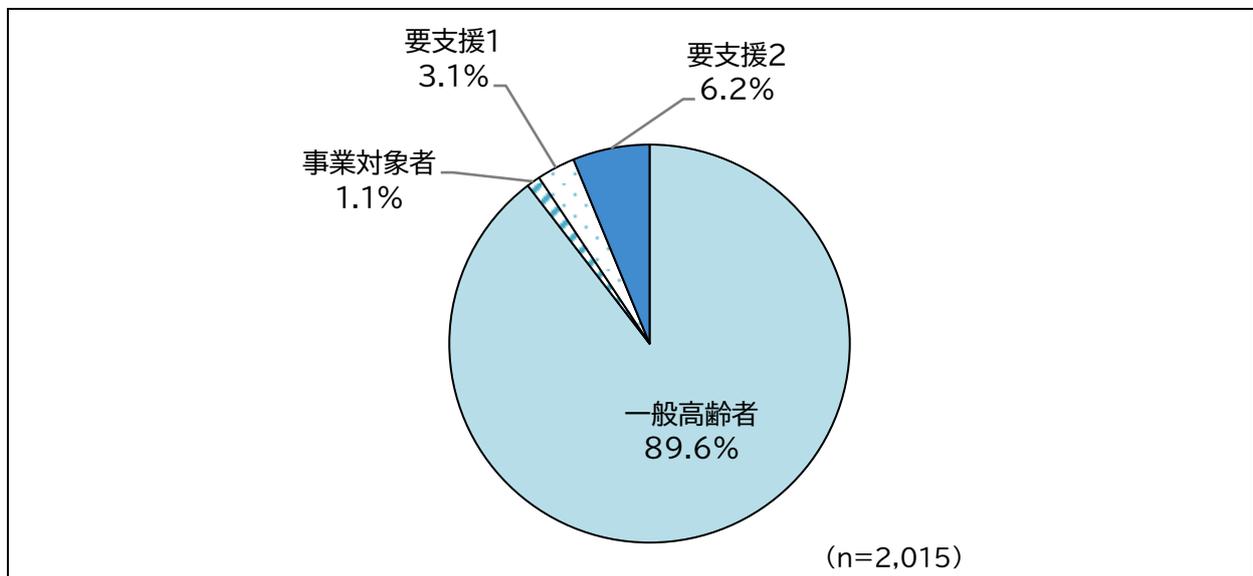
図表3 性別(全体)



●性別について、「男性」と回答した人の割合は42.6%となっています。一方、「女性」と回答した人の割合は57.4%となり、女性が14.8ポイント上回っています。

(4) 認定状況

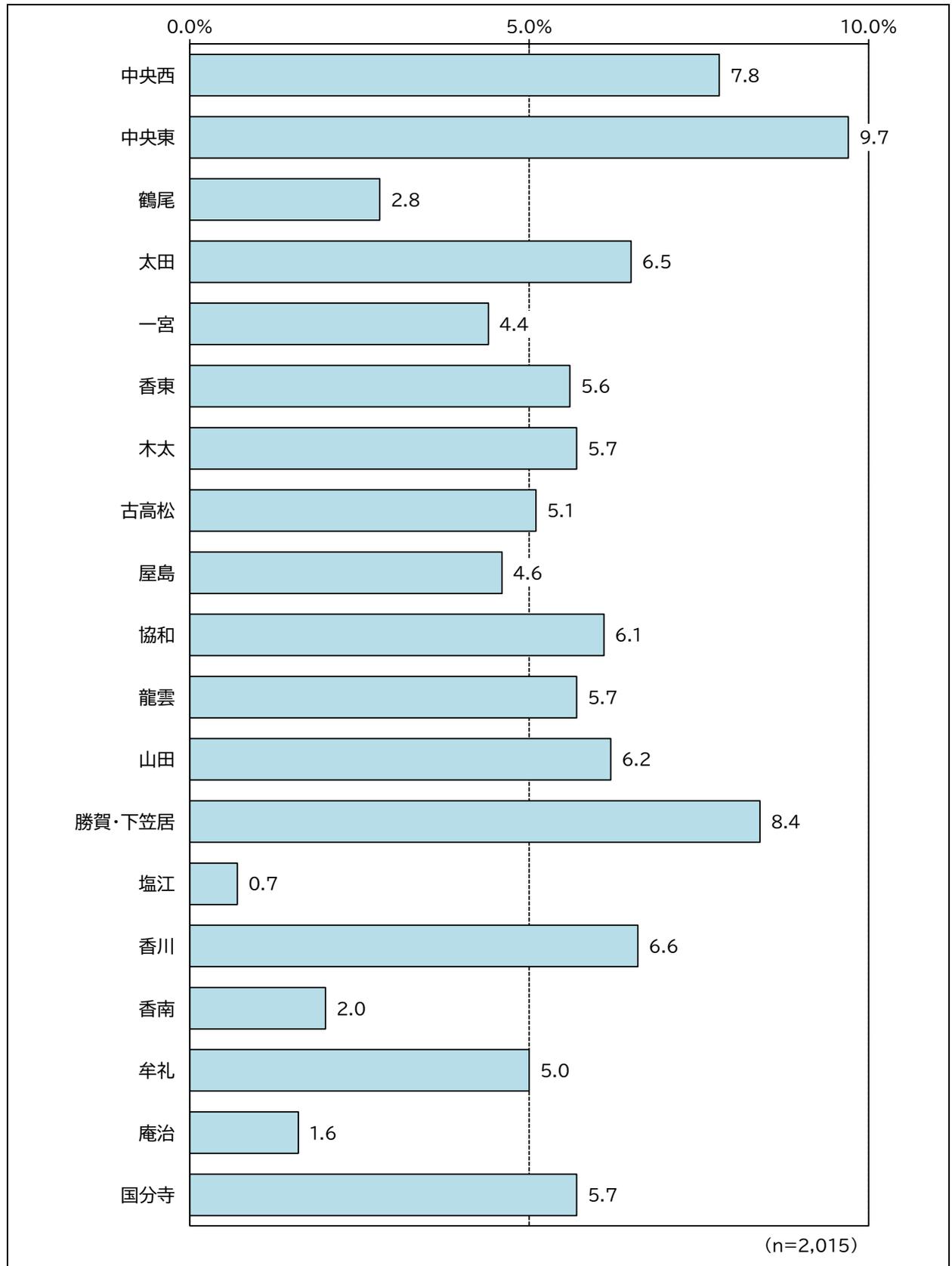
図表4 認定状況(全体)



●要支援認定状況等について、「要支援1」と回答した人は3.1%、「要支援2」と回答した人は6.2%、「事業対象者」と回答した人は1.1%となっています。

(5) 日常生活圏域

図表5 日常生活圏域(全体)



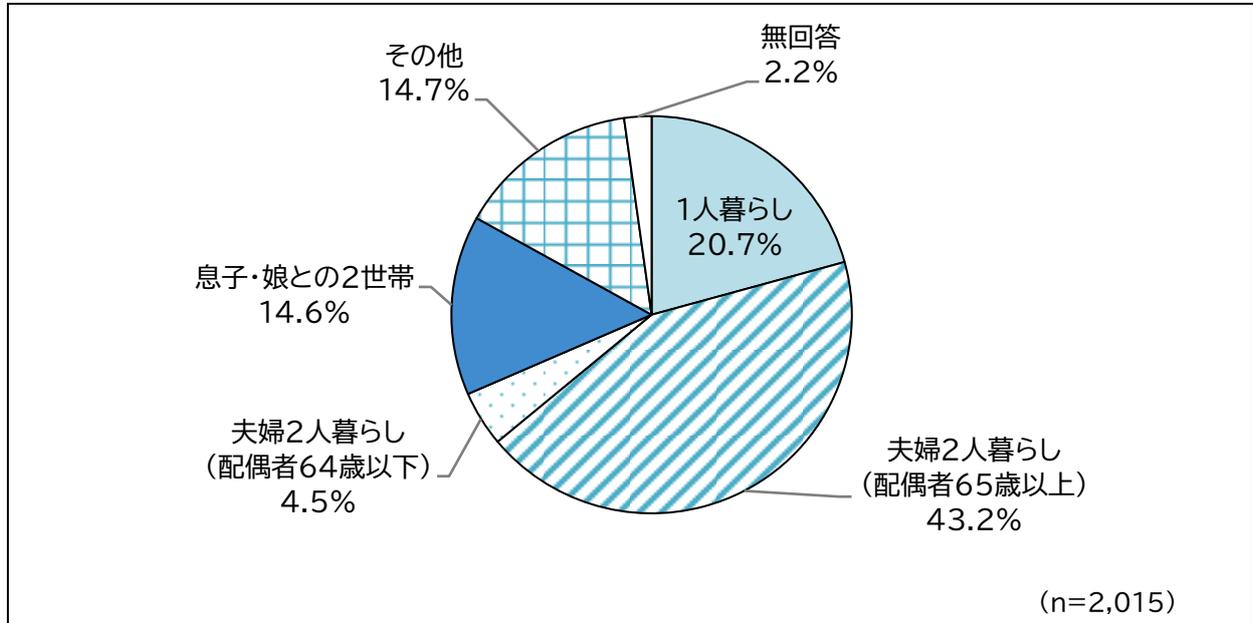
●お住まいの地域(日常生活圏域)について、「中央東」と回答した人の割合が最も高く、9.7%となっています。次いで、「勝賀・下笠居」8.4%、「中央西」7.8%と続いています。

2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成について

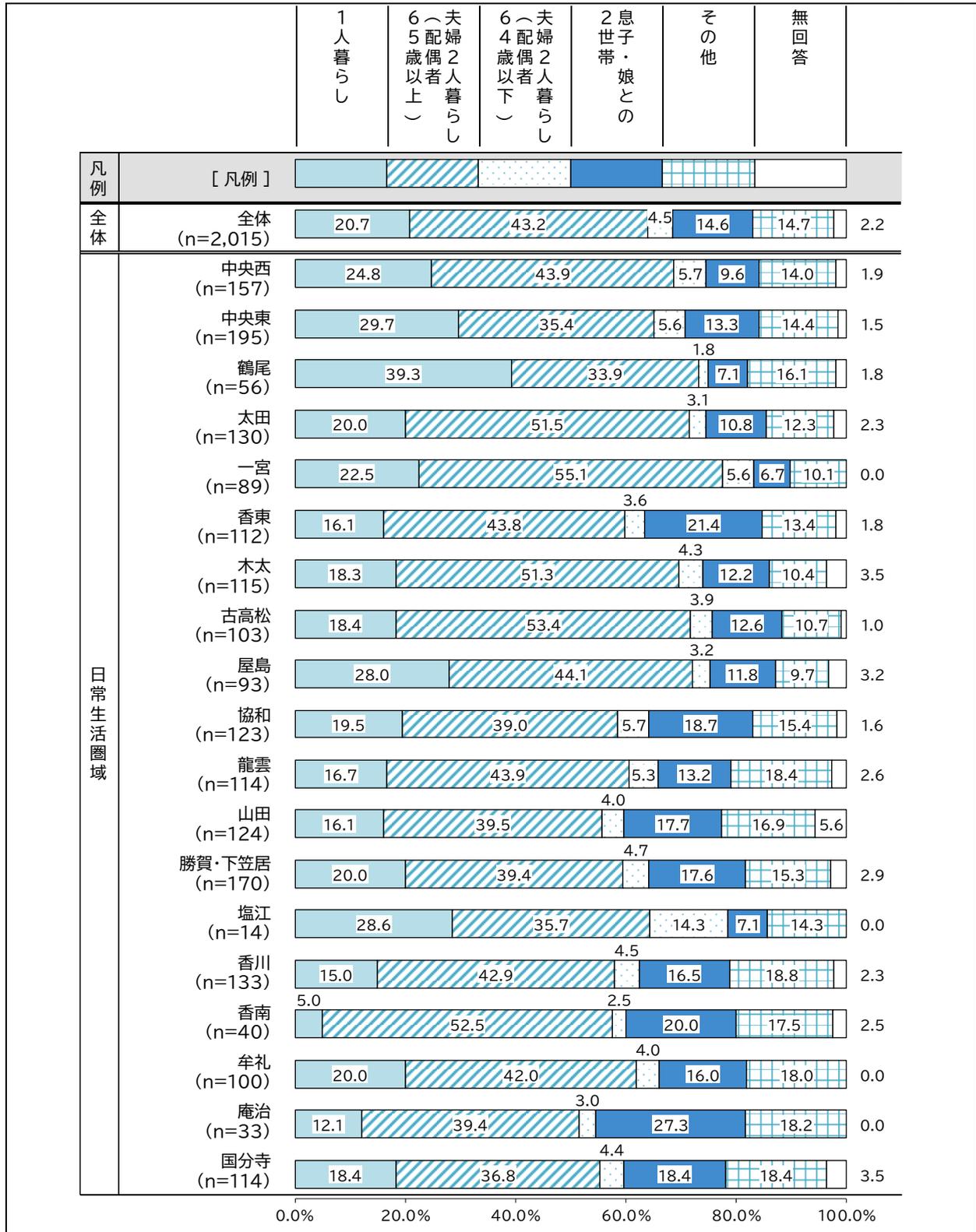
問1-1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

図表6 家族構成(全体)



● 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.2%で最も多く、次いで「1人暮らし」が20.7%、「息子・娘との2世帯」が14.6%となっています。

図表7 家族構成(日常生活圏域別)



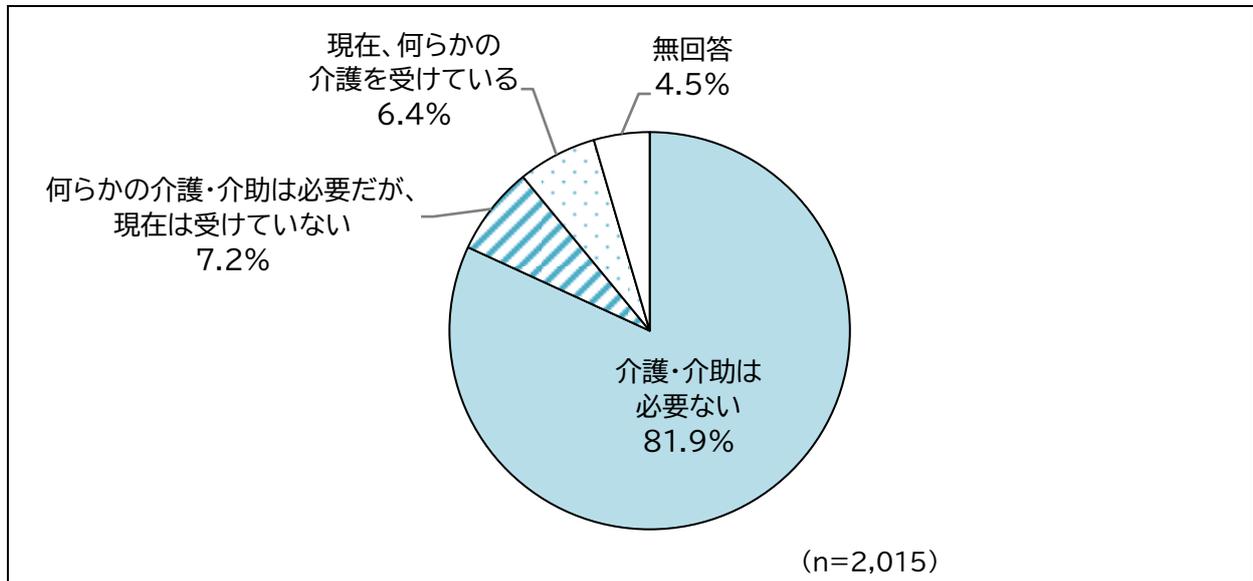
●家族構成を日常生活圏域別にみると、「鶴尾」を除くすべての圏域で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した人の割合が高くなっています。

●「1人暮らし」と回答した人の割合は、「鶴尾」39.3%、「中央東」29.7%、「塩江」28.6%、「屋島」28.0%、「中央西」24.8%、「一宮」22.5%、「太田」20.0%、「勝賀・下笠居」20.0%、「牟礼」20.0%と2割を超えており、その他の圏域に比べて高くなっています。

(2)介護・介助の状況について

問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

図表8 介護・介助の必要性(全体)



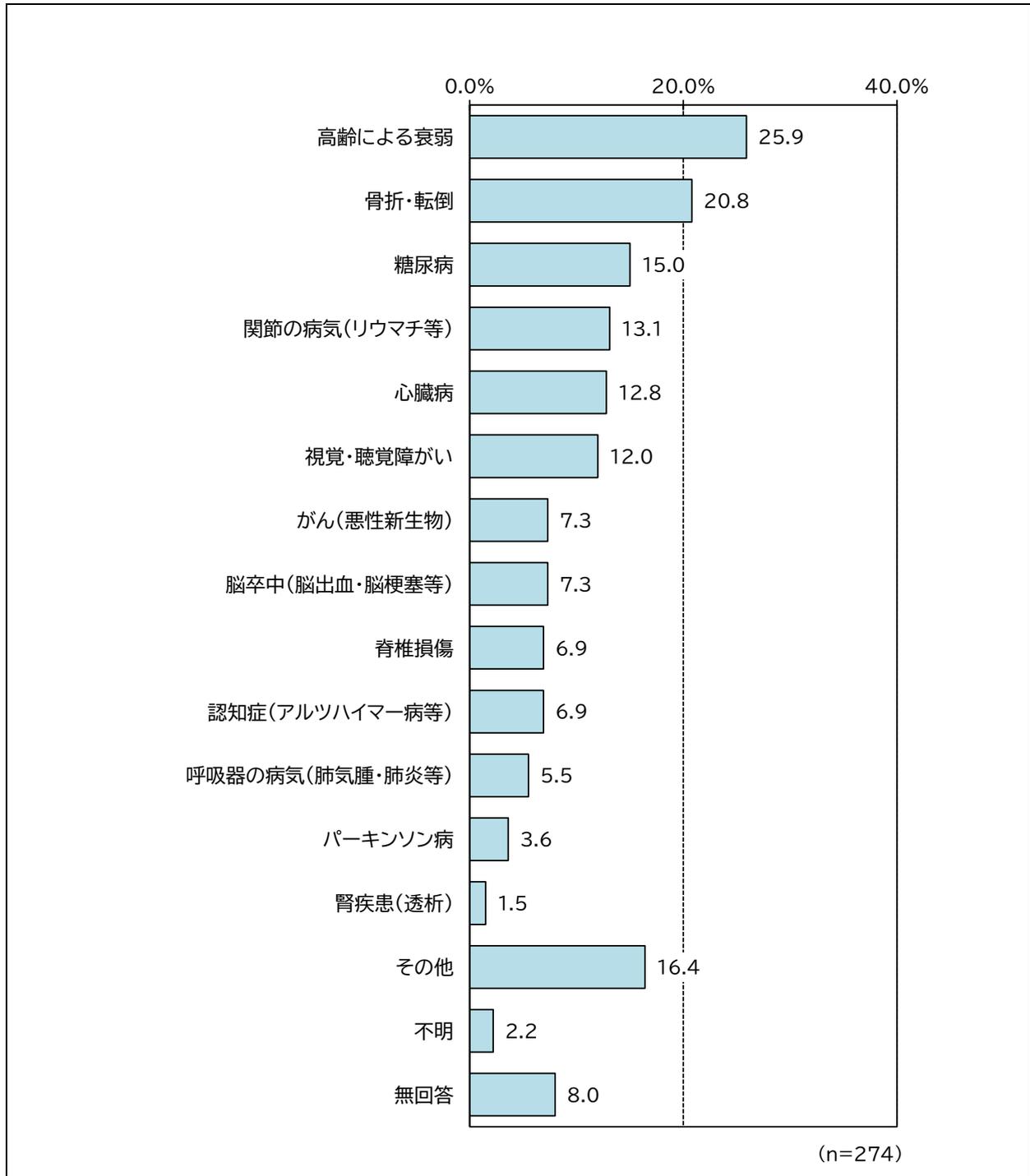
●介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が81.9%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が6.4%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

問1-2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方

問1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

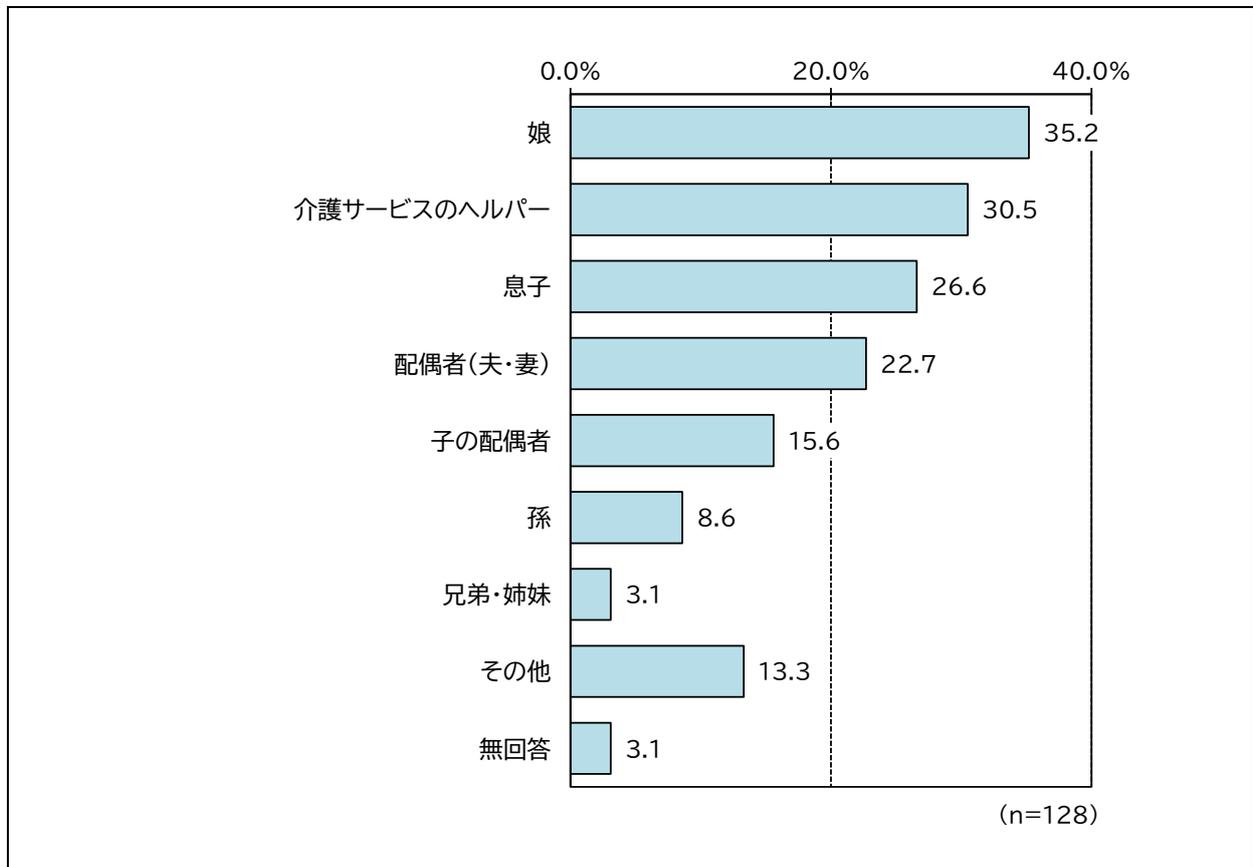
図表9 介護・介助が必要になった主な原因(全体/複数回答)



●介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が25.9%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が20.8%、「糖尿病」が15.0%となっています。

問1-2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方
 問1-2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

図表10 主な介護・介助者(全体/複数回答)

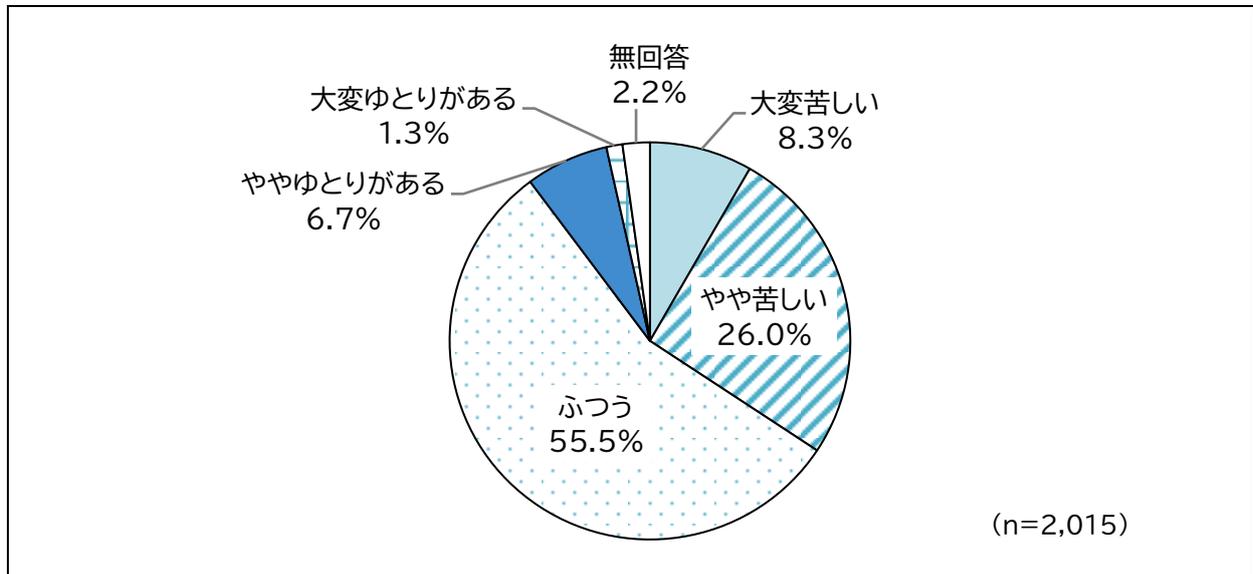


●主な介護者について、「娘」が35.2%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が30.5%、「息子」が26.6%となっています。

(3)現在の経済状況

問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

図表11 現在の経済的状況(全体)

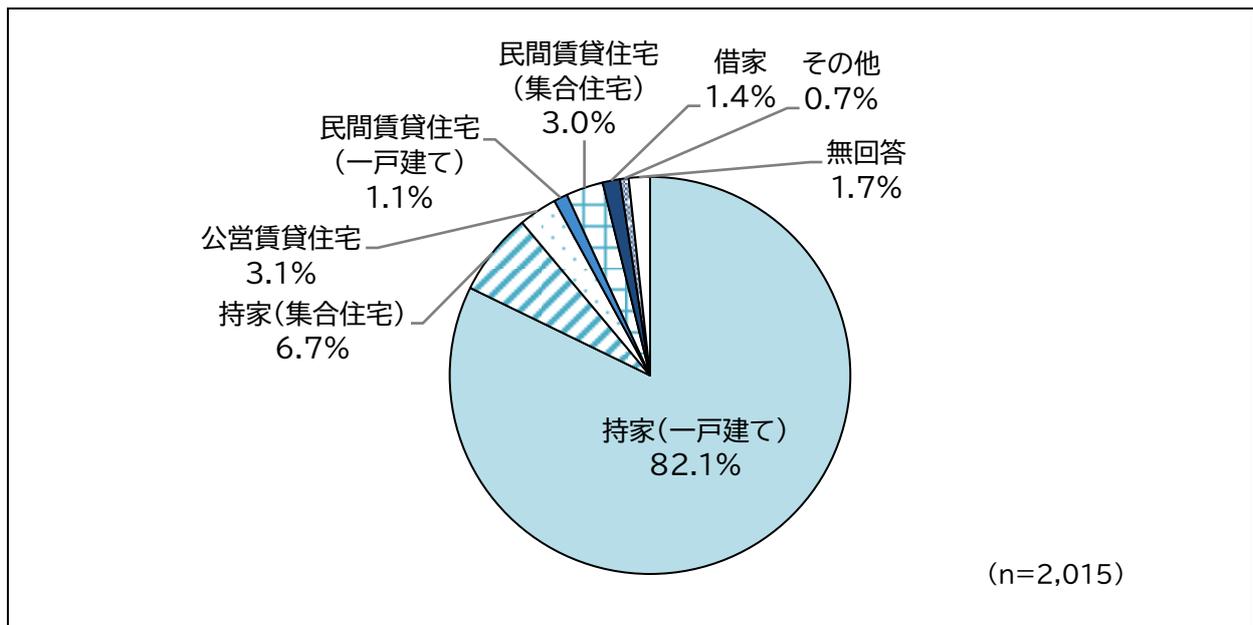


●経済状況について、「ふつう」が55.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」が26.0%、「大変苦しい」が8.3%となっています。「大変苦しい」、「やや苦しい」と回答した人を合算した割合は34.3%となっています。

(4)住まいの状況

問1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

図表12 住まいの状況について(全体)



●住まいについて、「持家(一戸建て)」が82.1%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が6.7%、「公営賃貸住宅」が3.1%となっています。

3. からだを動かすことについて

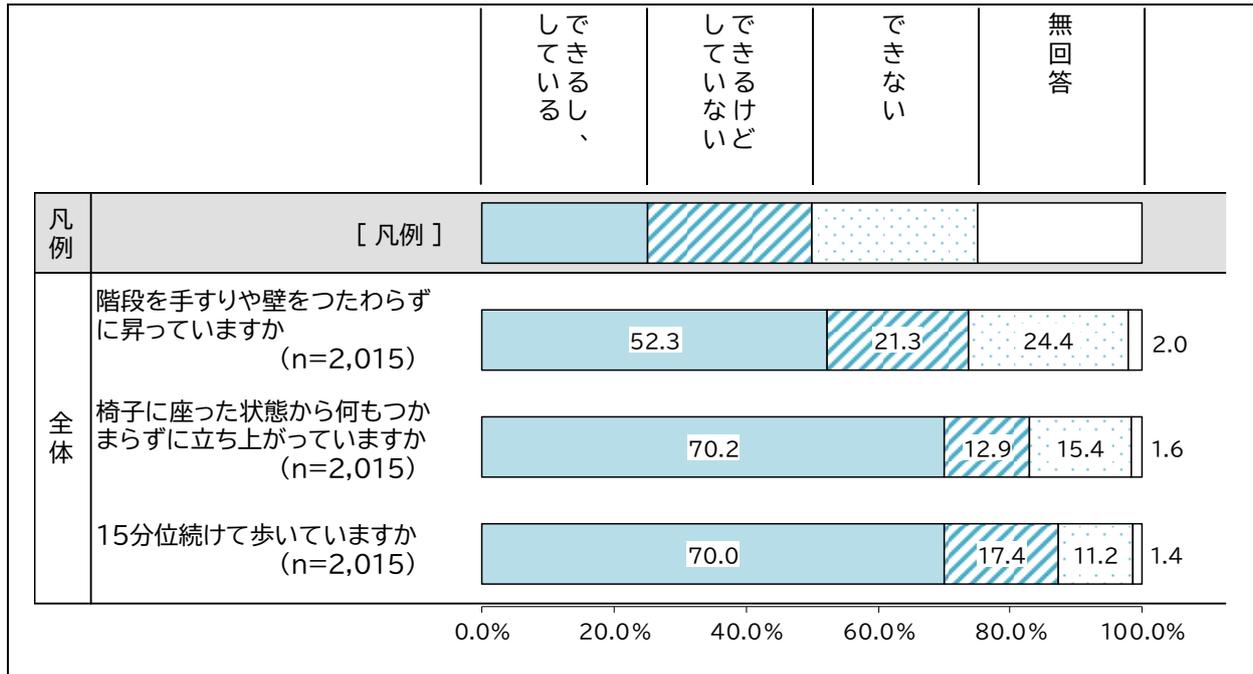
(1)運動器の機能について

問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)

問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)

問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

図表13 運動器の機能について(全体)

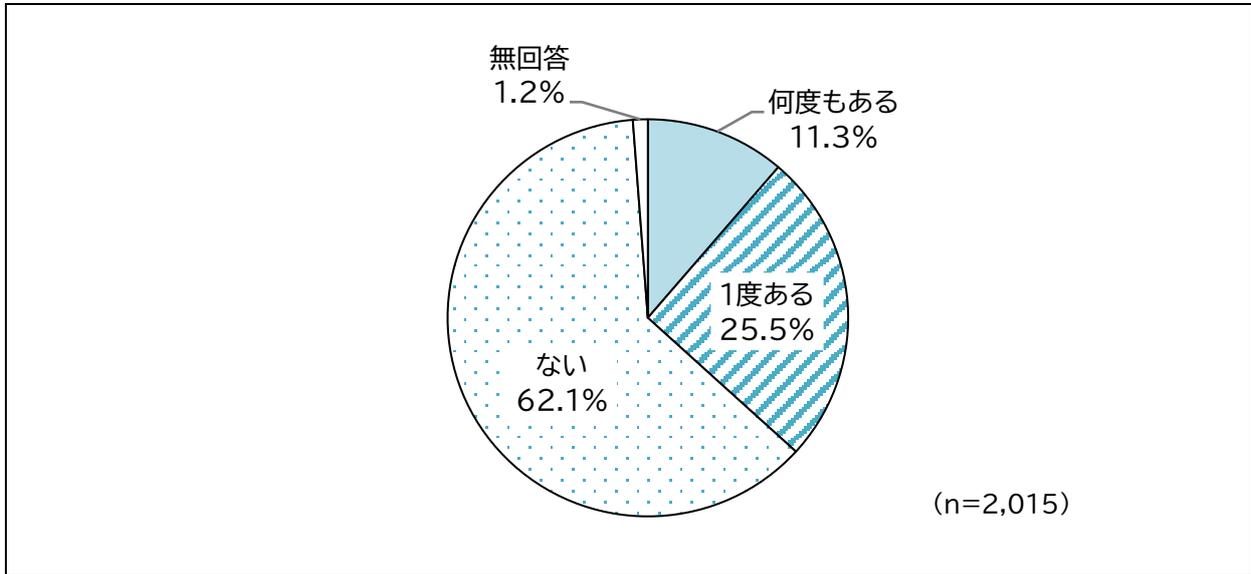


●運動器の機能について、すべての設問で「できるし、している」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」では、その他の設問に比べて割合が低くなっています。

(2)転倒について

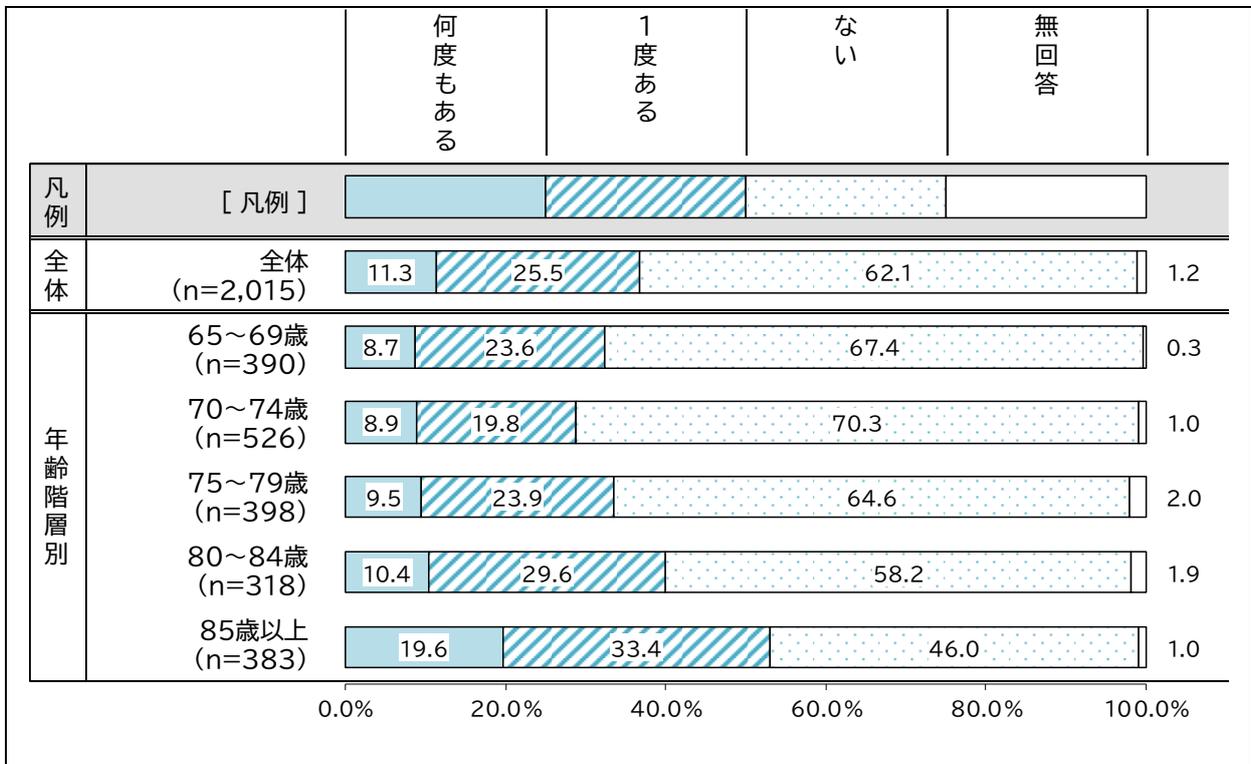
問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

図表14 転倒の経験(全体)



●転倒経験について、「ない」が62.1%で最も多く、次いで「1度ある」が25.5%、「何度もある」が11.3%となっています。

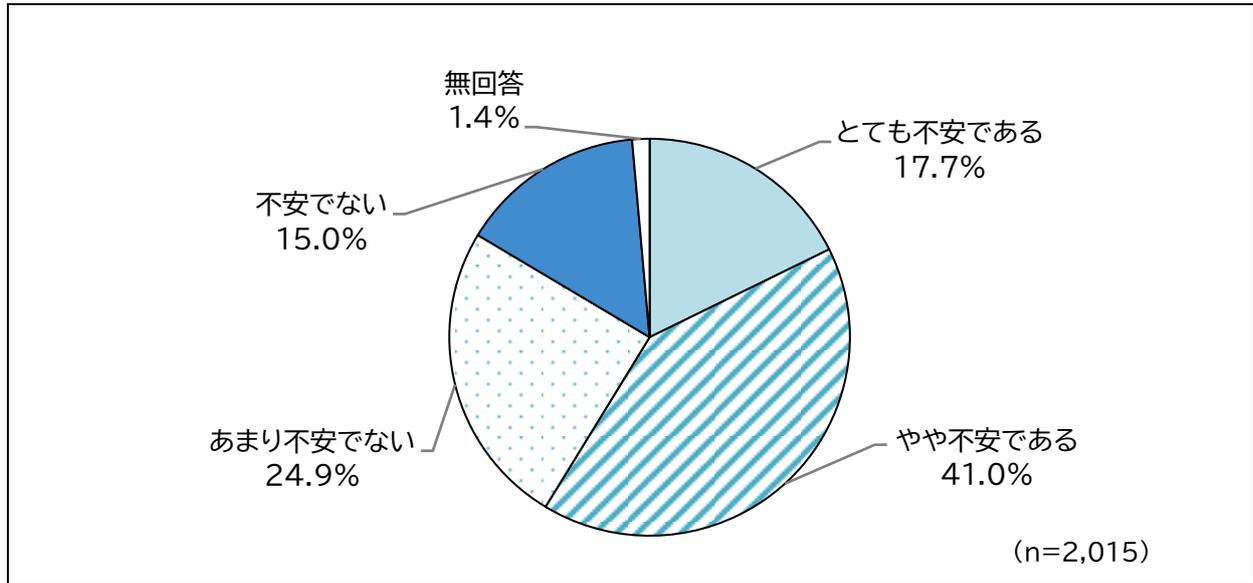
図表15 転倒の経験(年齢階層別)



●転倒の経験を年齢階層別にみると、「何度もある」、「1度ある」と回答した人を合算した割合は、「65～69歳」では32.3%、「70～74歳」では28.7%、「75～79歳」では33.4%、「80～84歳」では40.0%、「85歳以上」では53.0%となっており、年齢があがるにつれて高くなる傾向があります。

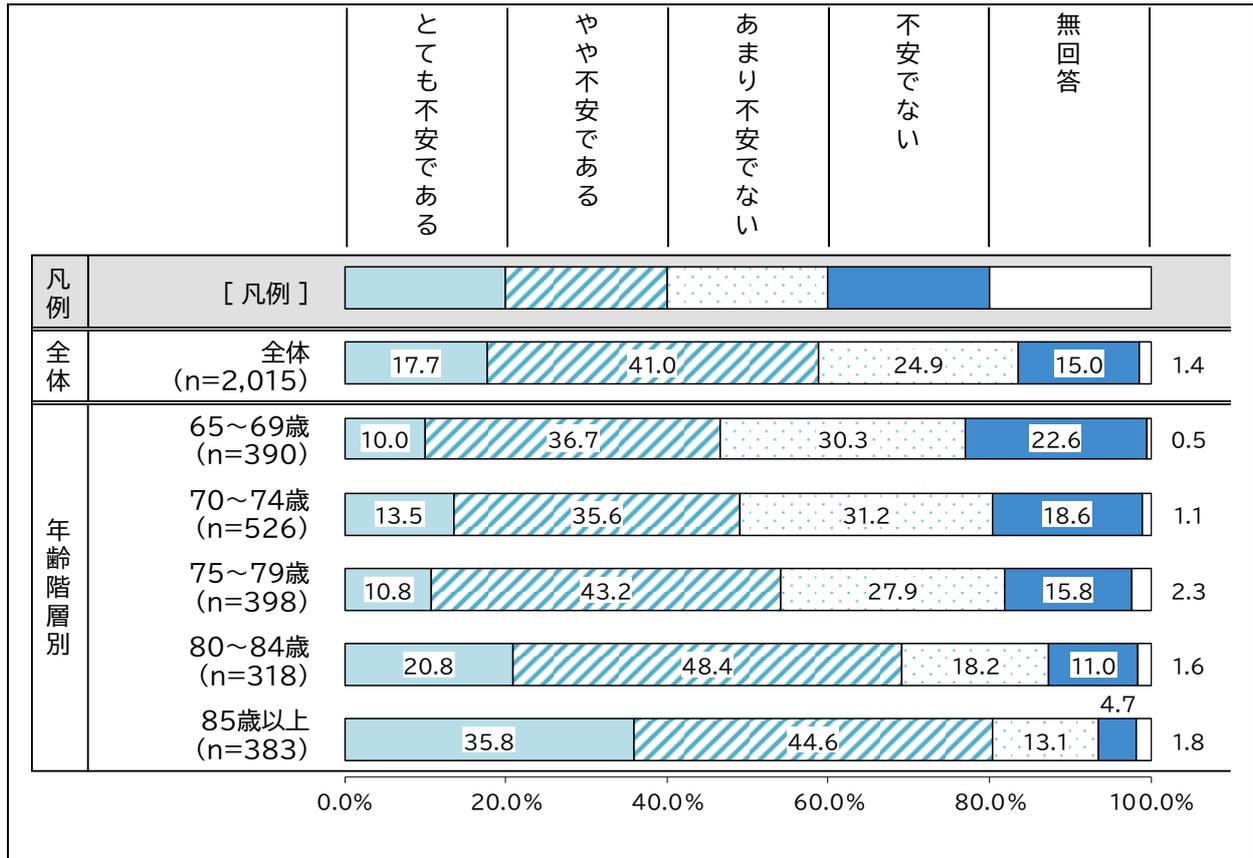
問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

図表16 転倒に対する不安(全体)



●転倒に対する不安について、「やや不安である」が41.0%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が24.9%、「とても不安である」が17.7%となっています。「とても不安である」、「やや不安である」と回答した人を合算した割合は58.7%となっています。

図表17 転倒に対する不安(年齢階層別)

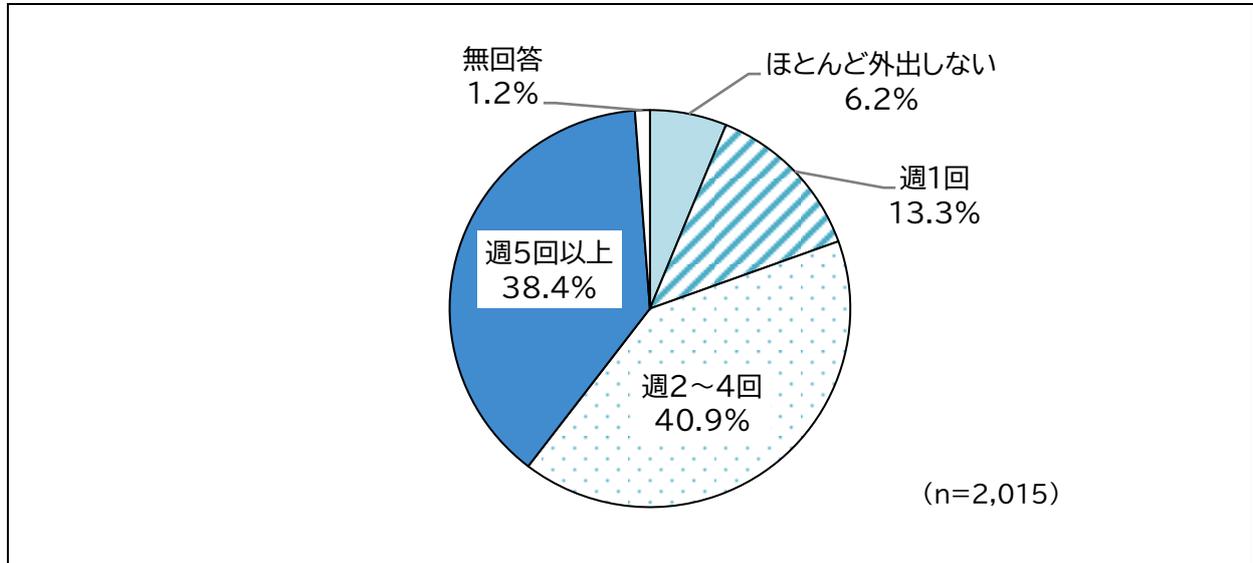


●転倒に対する不安を年齢階層別にみると、「とても不安である」、「やや不安である」と回答した人を合算した割合は、「65~69歳」では46.7%、「70~74歳」では49.1%、「75~79歳」では54.0%、「80~84歳」では69.2%、「85歳以上」では80.4%となっており、「転倒の経験」と同様に、年齢があがるにつれて高くなっていることがわかります。

(3)閉じこもり傾向について

問2-6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

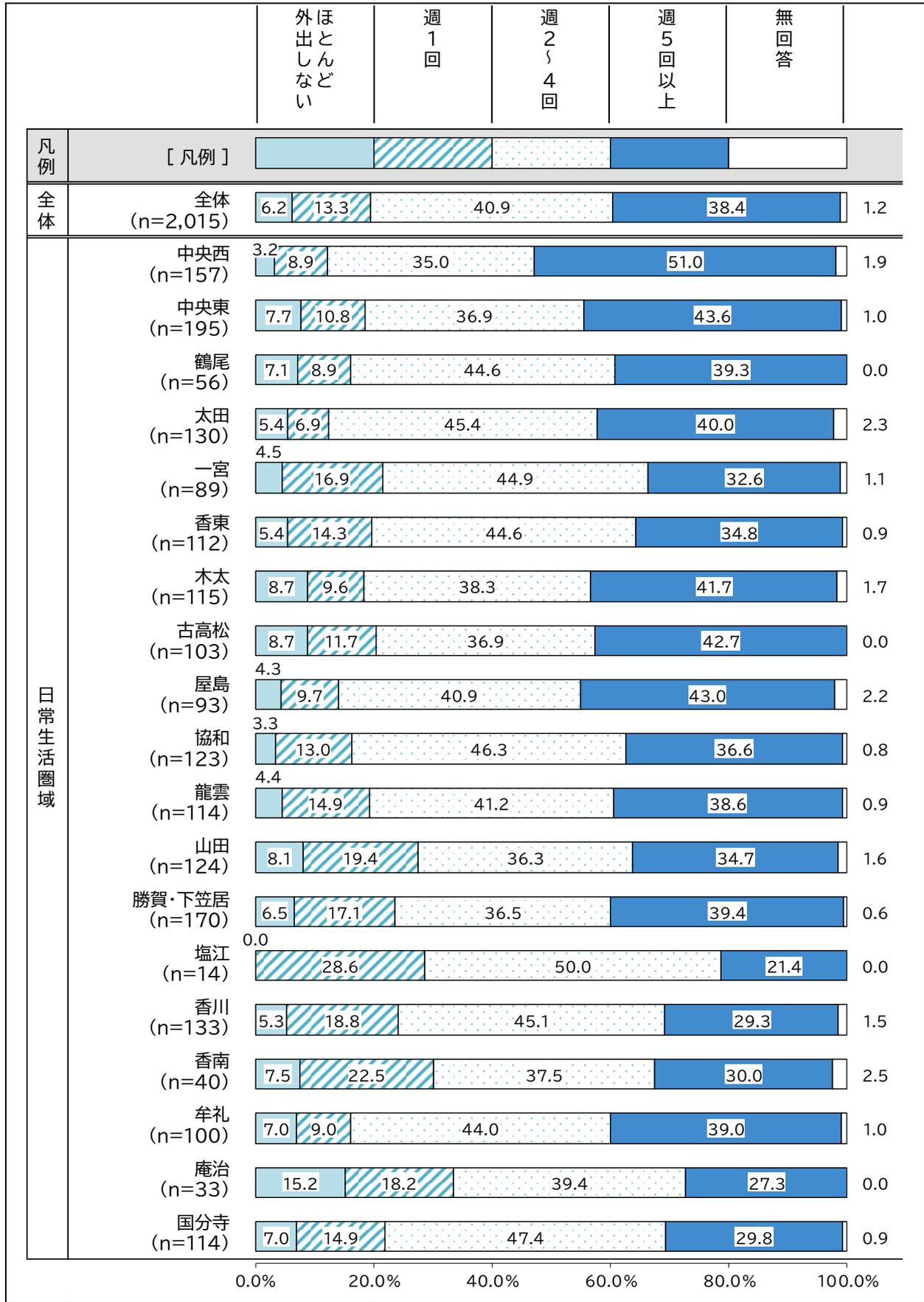
図表18 1週間当たりの外出回数について(全体)



●外出頻度について、「週2~4回」が40.9%で最も多く、次いで「週5回以上」が38.4%、「週1回」が13.3%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

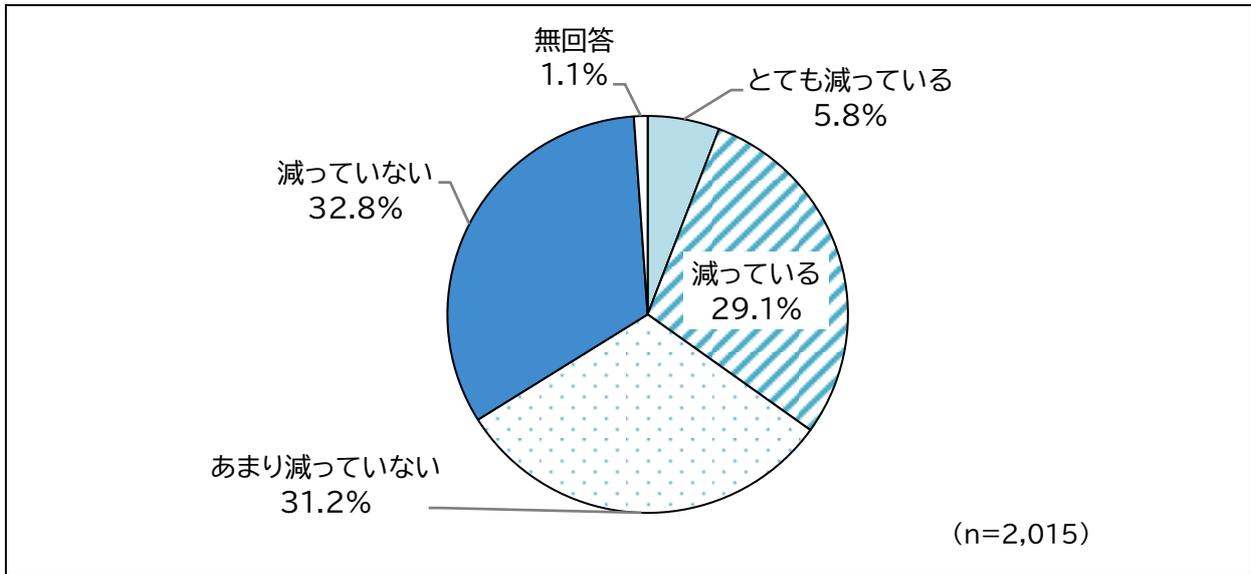
図表19 1週間当たりの外出回数について(日常生活圏域別)



●1週間当たりの外出回数を日常生活圏域別にみると、多くの圏域で「週5回以上」、「週2~4回」と回答した人を合算した割合は約7~8割です。

問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

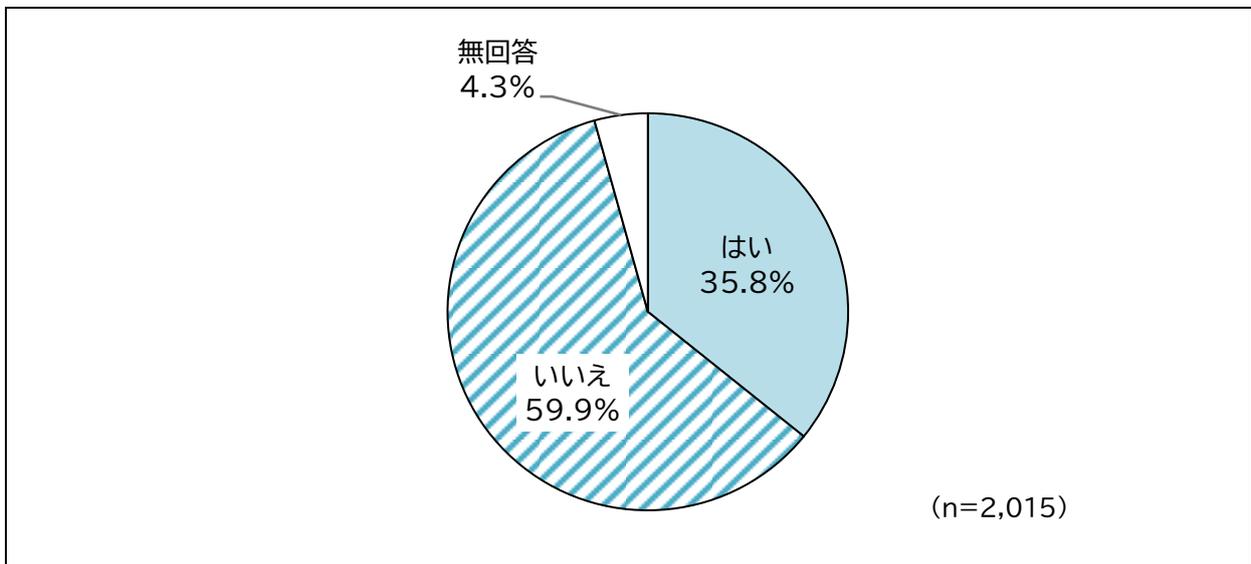
図表20 外出回数について(全体)



●昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が32.8%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が31.2%、「減っている」が29.1%となっています。「とても減っている」、「減っている」と回答した人を合算した割合は34.9%となっています。

問2-8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

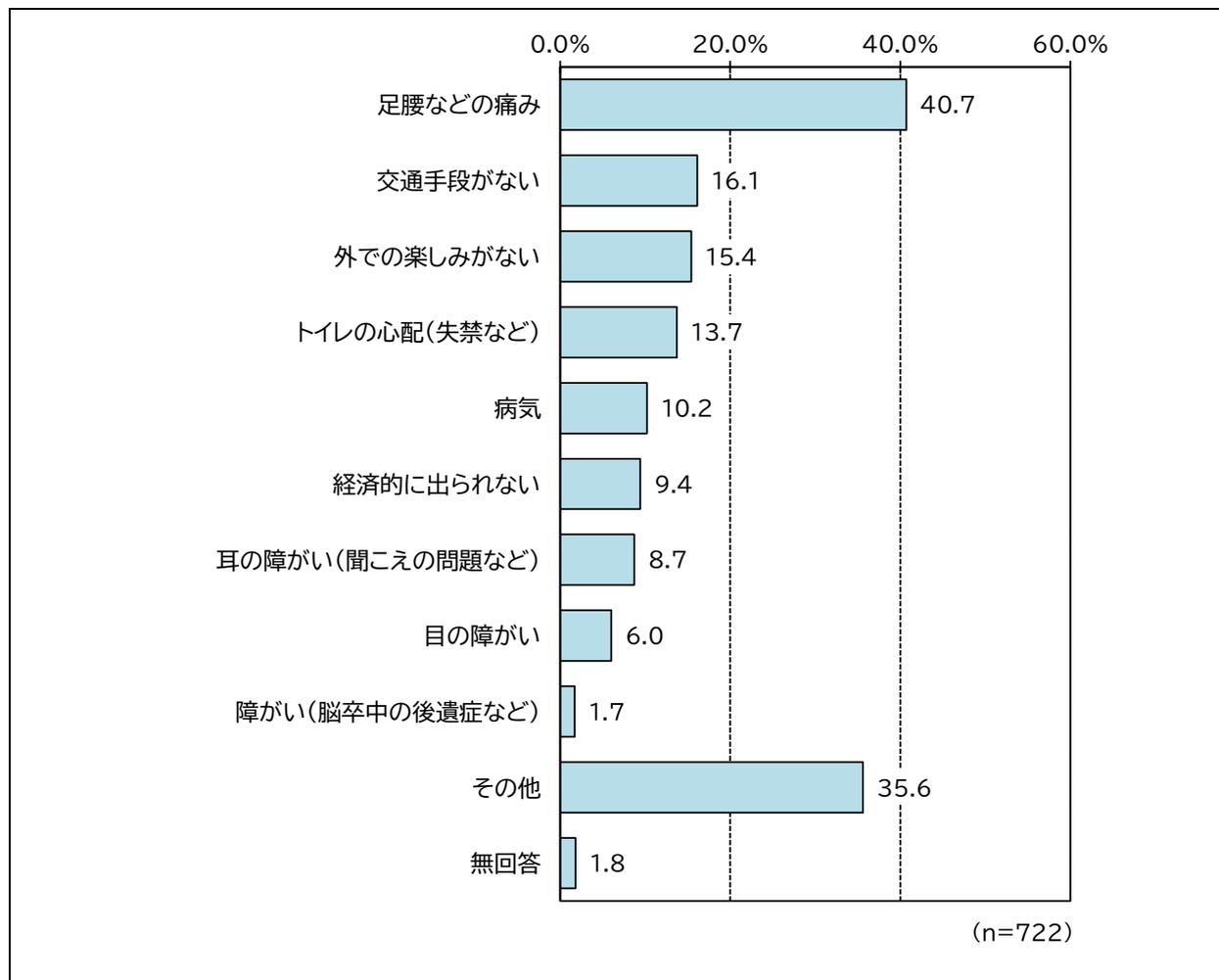
図表21 外出を控えているかについて(全体)



●外出を控えているかについて、「はい」が35.8%、「いいえ」が59.9%となっています。

問2-8で「1. はい(外出を控えている)」と回答した方
 問2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

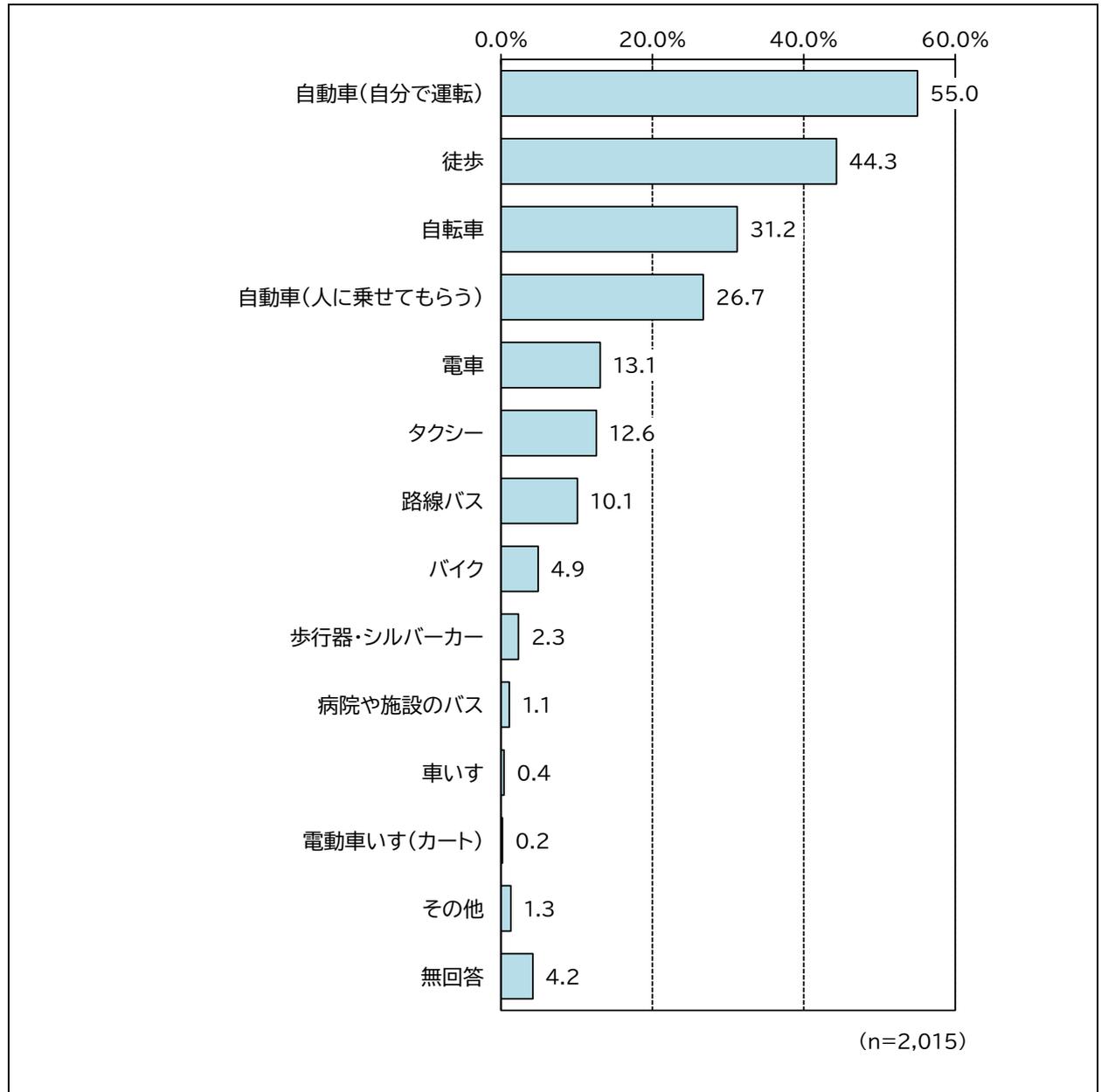
図表22 外出を控えている理由(全体/複数回答)



●外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が40.7%で最も多く、次いで「交通手段がない」が16.1%、「外での楽しみがない」が15.4%となっています。

問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

図表23 外出する際の移動手段(全体/複数回答)



●外出する際の移動手段について、「自動車(自分で運転)」が55.0%で最も多く、次いで「徒歩」が44.3%、「自転車」が31.2%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表24 外出する際の移動手段(日常生活圏域別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
日常生活圏域	全体 (n=2,015)	自動車(自分で運転) 55.0	徒歩 44.3	自転車 31.2
	中央西 (n=157)	徒歩 56.7	自転車 55.4	自動車(自分で運転) 39.5
	中央東 (n=195)	徒歩 61.0	自転車 51.3	自動車(自分で運転) 40.5
	鶴尾 (n=56)	自動車(自分で運転) 53.6	徒歩 39.3	自転車 30.4
	太田 (n=130)	徒歩/自動車(自分で運転) 50.0		自転車 38.5
	一宮 (n=89)	自動車(自分で運転) 46.1	徒歩 44.9	自転車 31.5
	香東 (n=112)	自動車(自分で運転) 61.6	徒歩 38.4	自転車/ 自動車(人に乗せてもらう) 28.6
	木太 (n=115)	自動車(自分で運転) 49.6	徒歩 47.0	自転車 45.2
	古高松 (n=103)	自動車(自分で運転) 61.2	徒歩 48.5	自転車/ 自動車(人に乗せてもらう) 24.3
	屋島 (n=93)	自動車(自分で運転) 57.0	徒歩 44.1	自転車 33.3
	協和 (n=123)	自動車(自分で運転) 68.3	徒歩 38.2	自転車 29.3
	龍雲 (n=114)	自動車(自分で運転) 61.4	徒歩 52.6	自転車 34.2
	山田 (n=124)	自動車(自分で運転) 58.9	徒歩 35.5	自動車(人に乗せてもらう) 29.8
	勝賀・下笠居 (n=170)	自動車(自分で運転) 60.6	徒歩 38.2	自動車(人に乗せてもらう) 30.0
	塩江 (n=14)	自動車(自分で運転) 57.1	徒歩 35.7	自動車(人に乗せてもらう) 21.4
	香川 (n=133)	自動車(自分で運転) 55.6	徒歩 33.8	自動車(人に乗せてもらう) 33.1
	香南 (n=40)	自動車(自分で運転) 67.5	徒歩/自動車(人に乗せてもらう) 25.0	
	牟礼 (n=100)	自動車(自分で運転) 65.0	徒歩 39.0	自動車(人に乗せてもらう) 20.0
	庵治 (n=33)	自動車(自分で運転) 57.6	自動車(人に乗せてもらう) 45.5	徒歩 30.3
	国分寺 (n=114)	自動車(自分で運転) 58.8	徒歩 38.6	自動車(人に乗せてもらう) 31.6

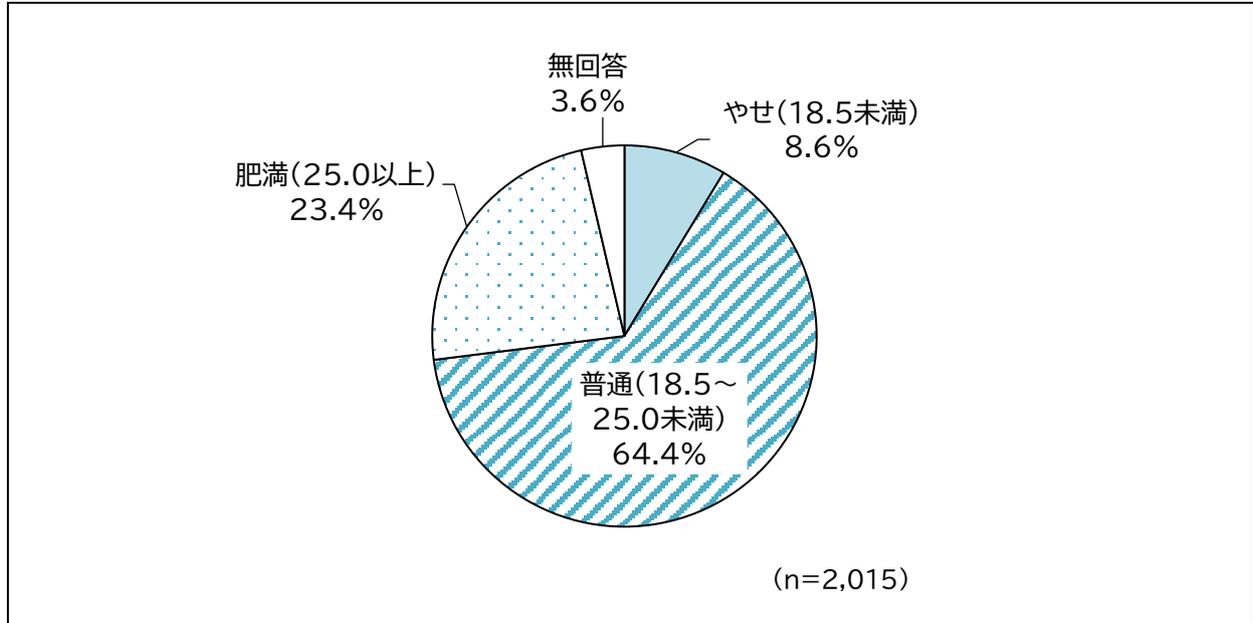
- 日常生活圏域別にみると、多くの圏域で「自動車(自分で運転)」が第1位、「徒歩」が第2位となっています。
- すべての圏域で、「自転車」や「徒歩」といった、自らが動く移動手段が上位3位以内に入っています。

4. 食べることについて

(1)BMI算出

問3-1 身長・体重を教えてください。

図表25 BMI値(全体)

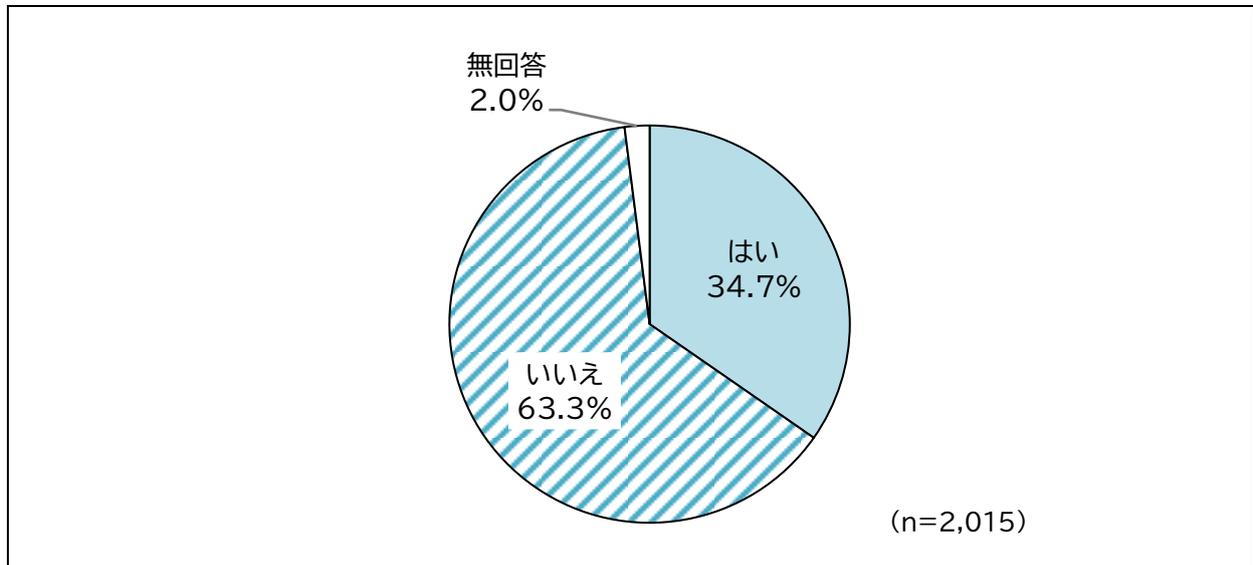


●BMI値について、「普通(18.5~25.0未満)」の割合が最も高く、64.4%となっています。次いで、「肥満(25.0以上)」23.4%、「やせ(18.5未満)」8.6%と続いています。

(2)口腔機能について

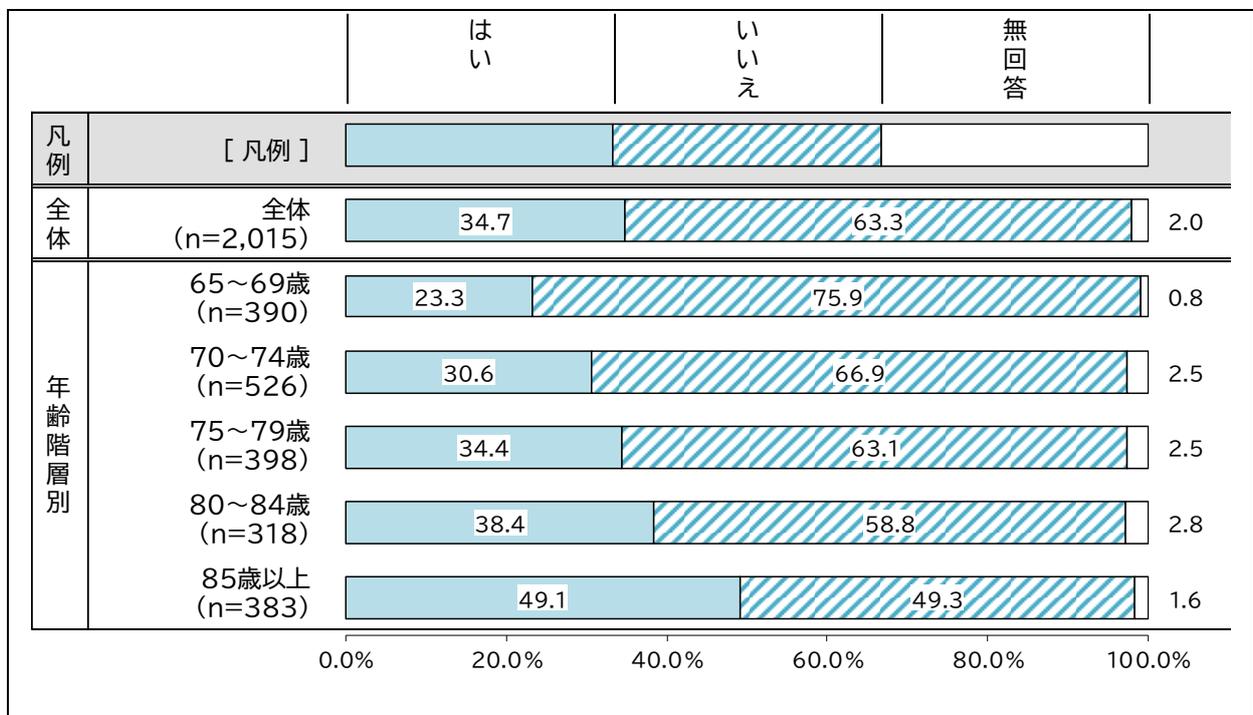
問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)

図表26 咀嚼機能について(全体)



●半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が34.7%、「いいえ」が63.3%となっています。

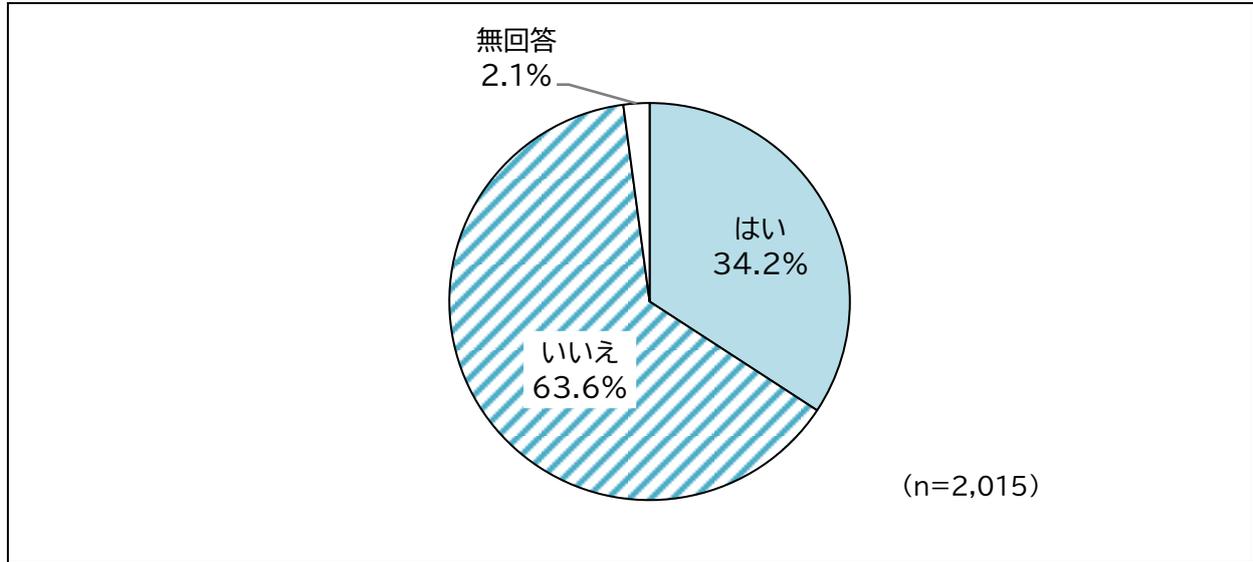
図表27 咀嚼機能について(年齢階層別)



●咀嚼機能を年齢階層別にみると、「はい」と回答した人の割合は、「65~69歳」で23.3%ですが、年齢があがるにつれて割合は増加し、「85歳以上」では49.1%まで上昇しています。

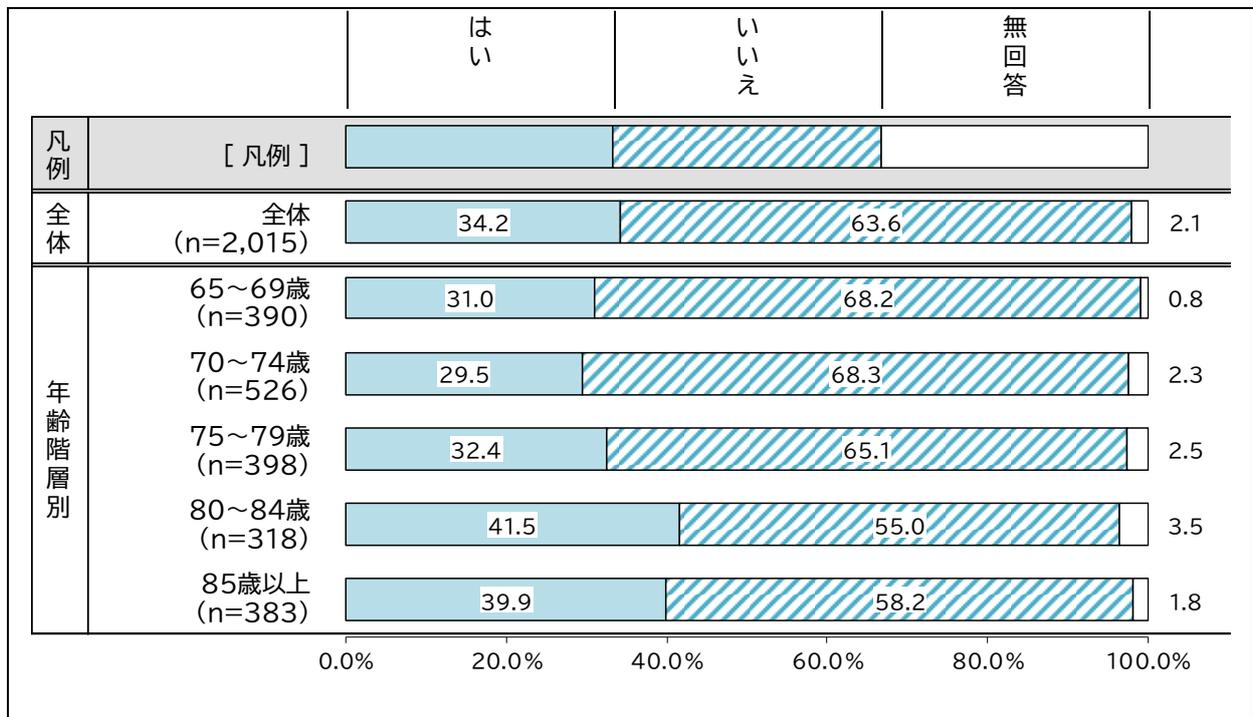
問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)

図表28 嚥下機能について(全体)



●お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が34.2%、「いいえ」が63.6%となっています。

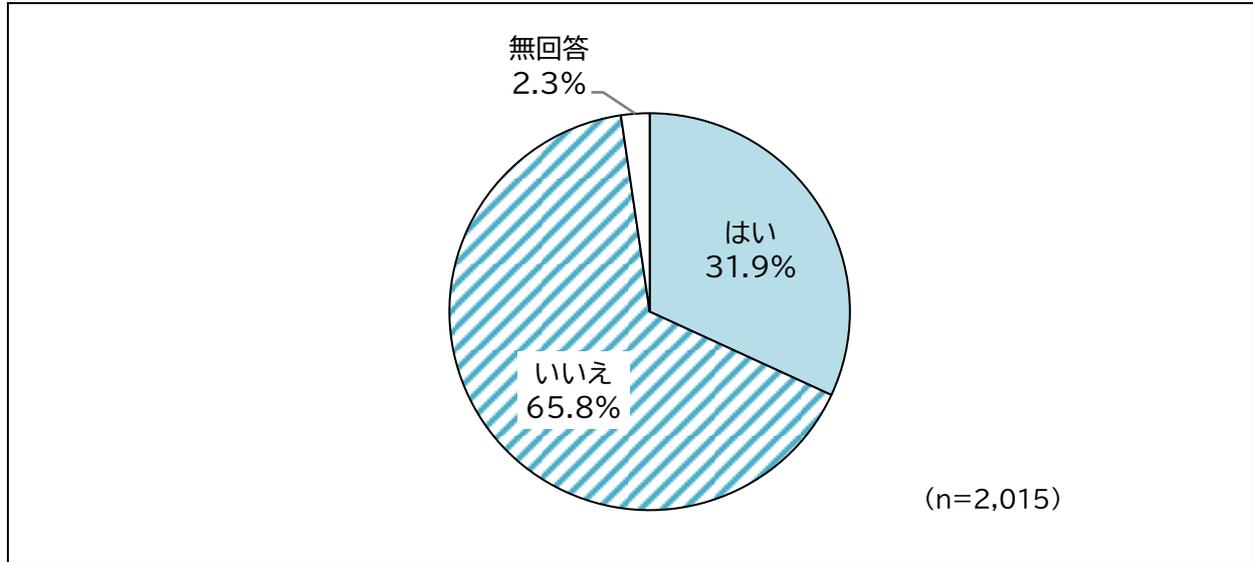
図表29 嚥下機能について(年齢階層別)



●嚥下機能を年齢階層別にみると、「はい」と回答した人の割合が、年齢があがるにつれて上昇傾向となっています。

問3-4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

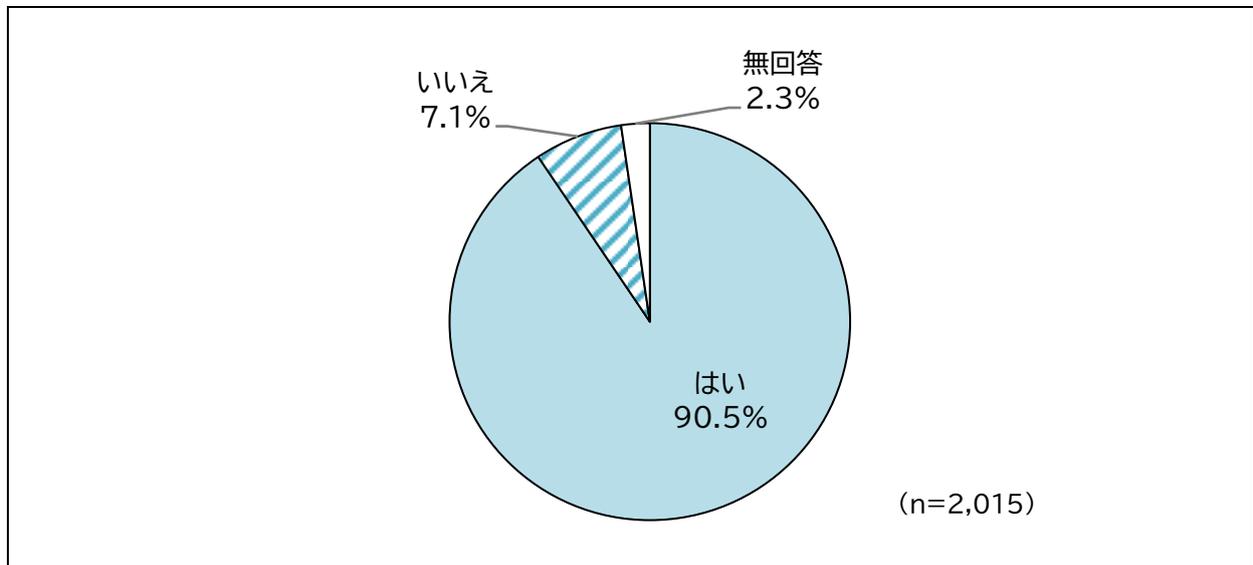
図表30 口の渇きについて(全体)



●口の渇きが気になるかについて、「はい」が31.9%、「いいえ」が65.8%となっています。

問3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つだけ○)

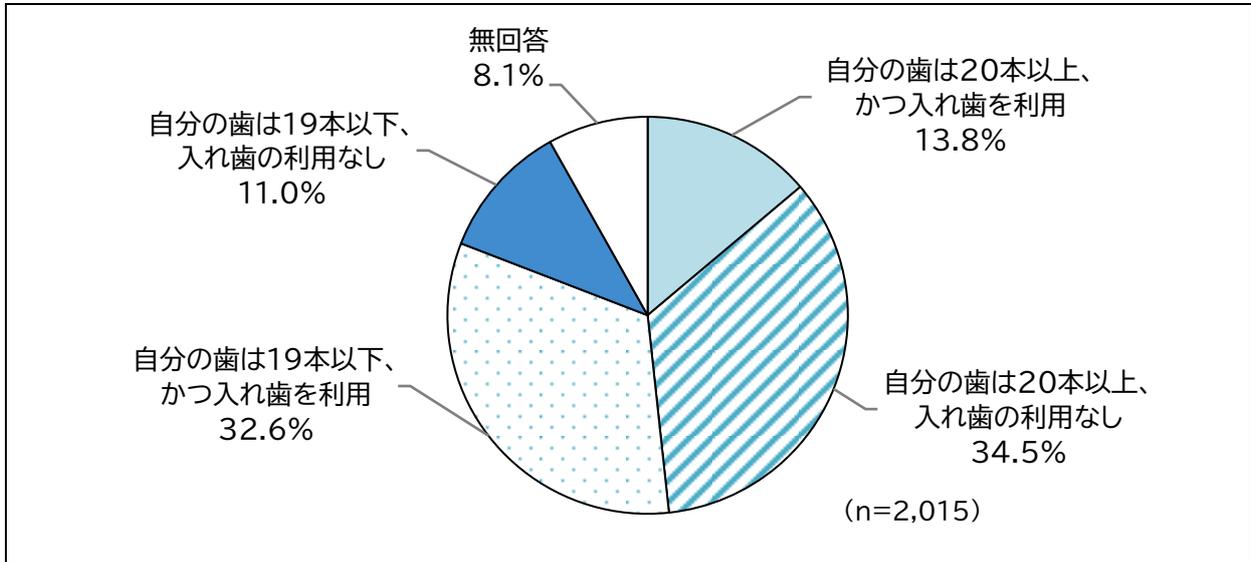
図表31 歯磨きの習慣について(全体)



●歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が90.5%、「いいえ」が7.1%となっています。

問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ○)
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

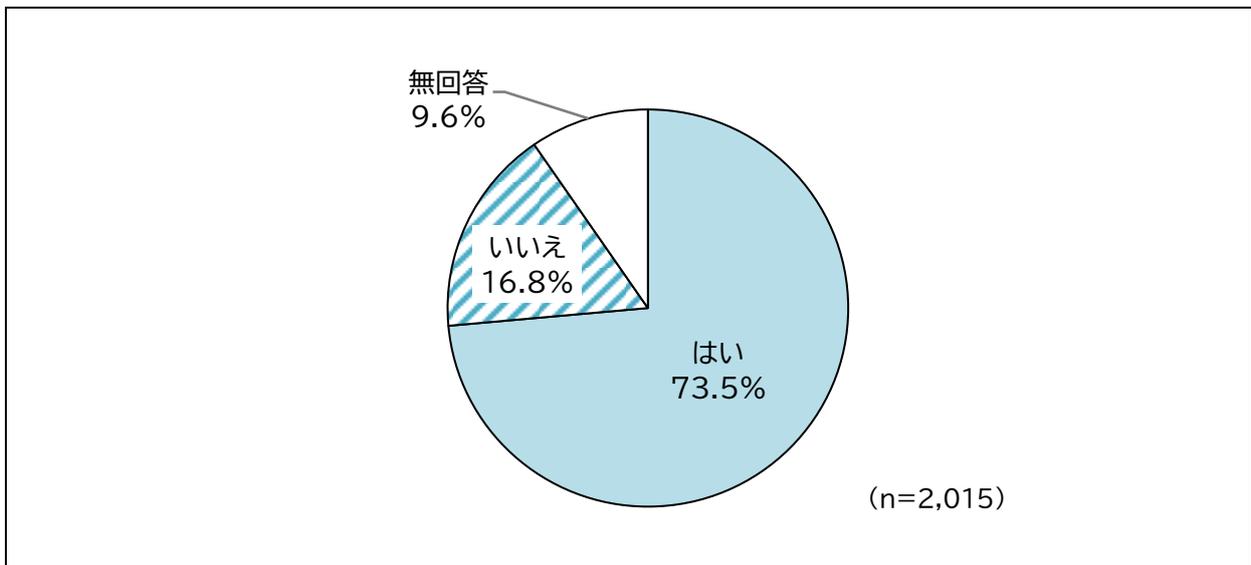
図表32 歯の数と入れ歯の利用状況(全体)



●歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.5%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.8%となっています。

問3-6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ○)

図表33 噛み合わせの状態について(全体)

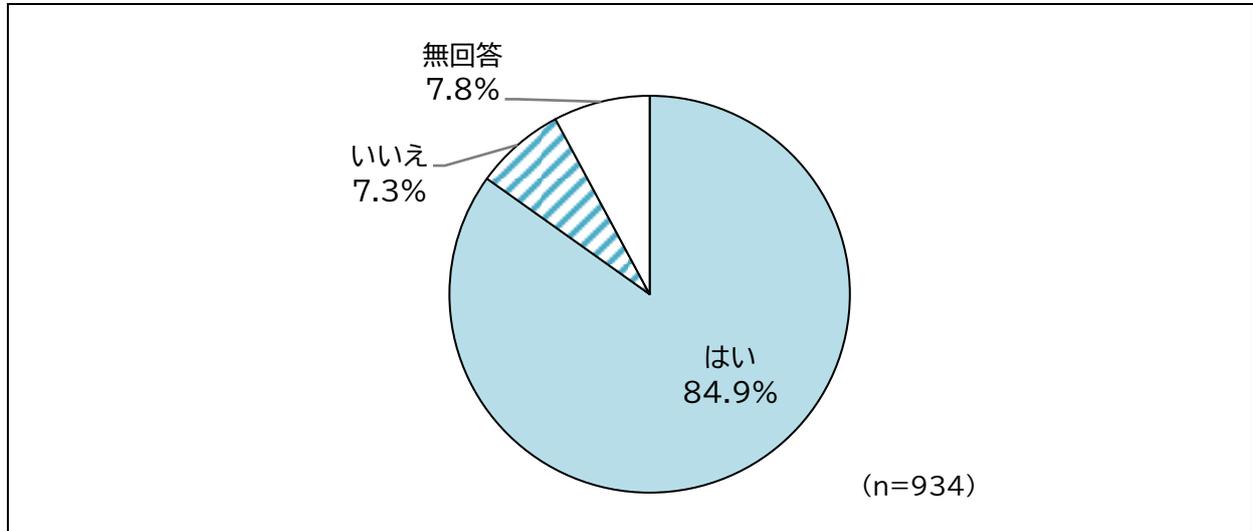


●噛み合わせは良いかについて、「はい」が73.5%、「いいえ」が16.8%となっています。

問3-6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方

問3-6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ○)

図表34 入れ歯の手入れについて(全体)

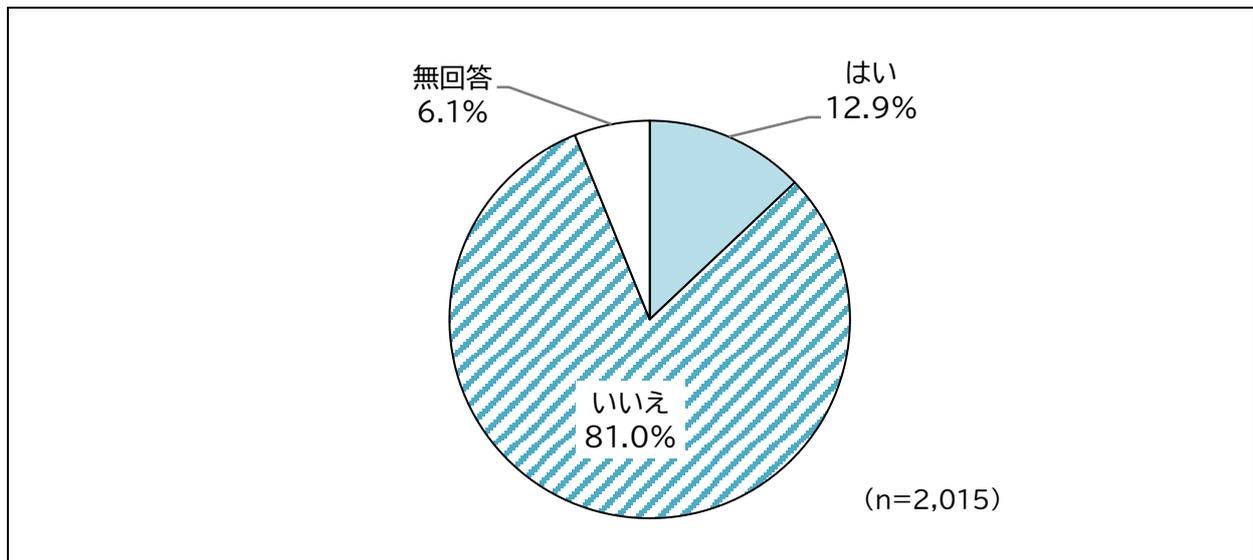


●毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が84.9%、「いいえ」が7.3%となっています。

(3)体重減少の有無について

問3-7 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

図表35 体重減少の有無について(全体)

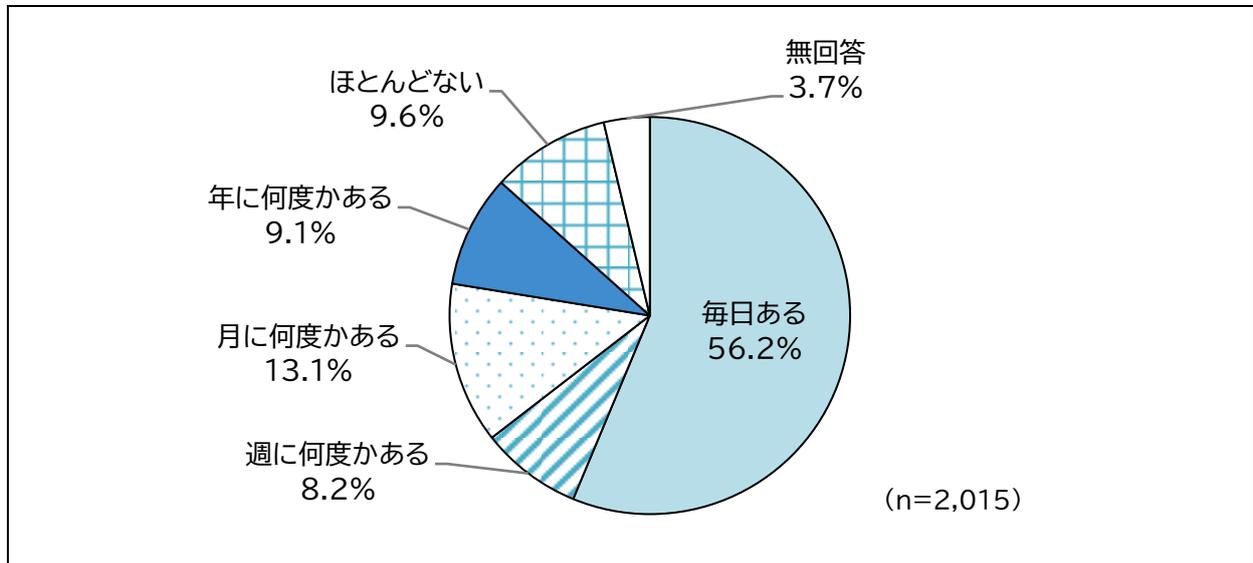


●6か月間で2~3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が12.9%、「いいえ」が81.0%となっています。

(4) 孤食の状況について

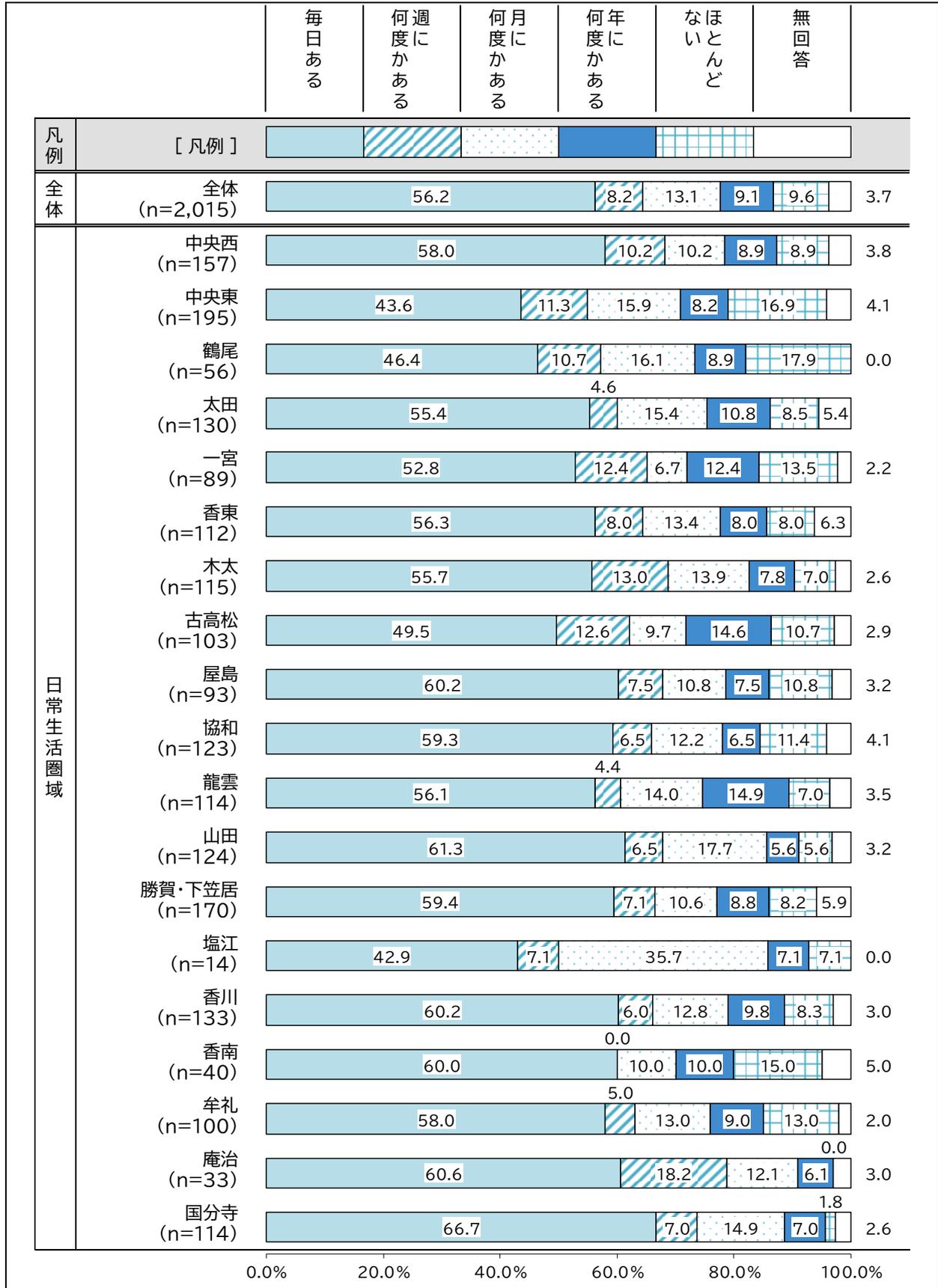
問3-8 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つだけ○)

図表36 誰かと食事をともにする機会の有無について(全体)



● 誰かと食事をともにする機会の有無について、「毎日ある」が56.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が13.1%、「ほとんどない」が9.6%となっています。「年に何度かある」、「ほとんどない」と回答した人を合算した割合は18.7%となっています。

図表37 誰かと食事をともにする機会の有無について(日常生活圏域別)



● 誰かと食事をともにする機会の有無を日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「毎日ある」と回答した人の割合が最も高くなっています。特に、「国分寺」では66.7%となっており、その他の圏域に比べて割合が高くなっています。

5. 毎日の生活について

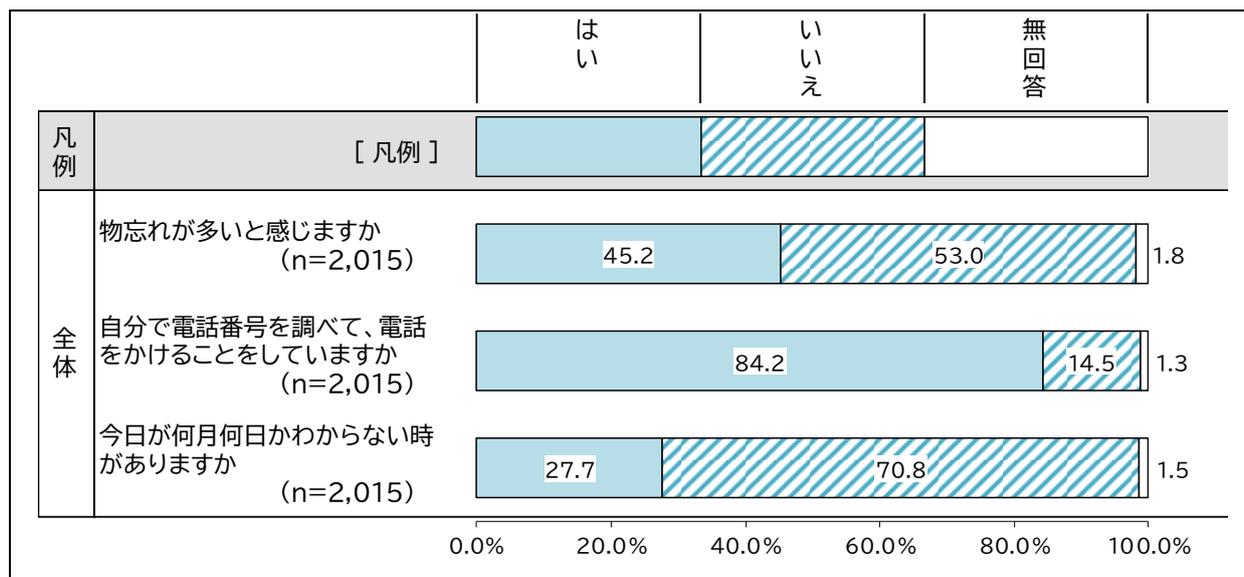
(1) 認知機能について

問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

問4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)

図表38 認知機能の低下について(全体)

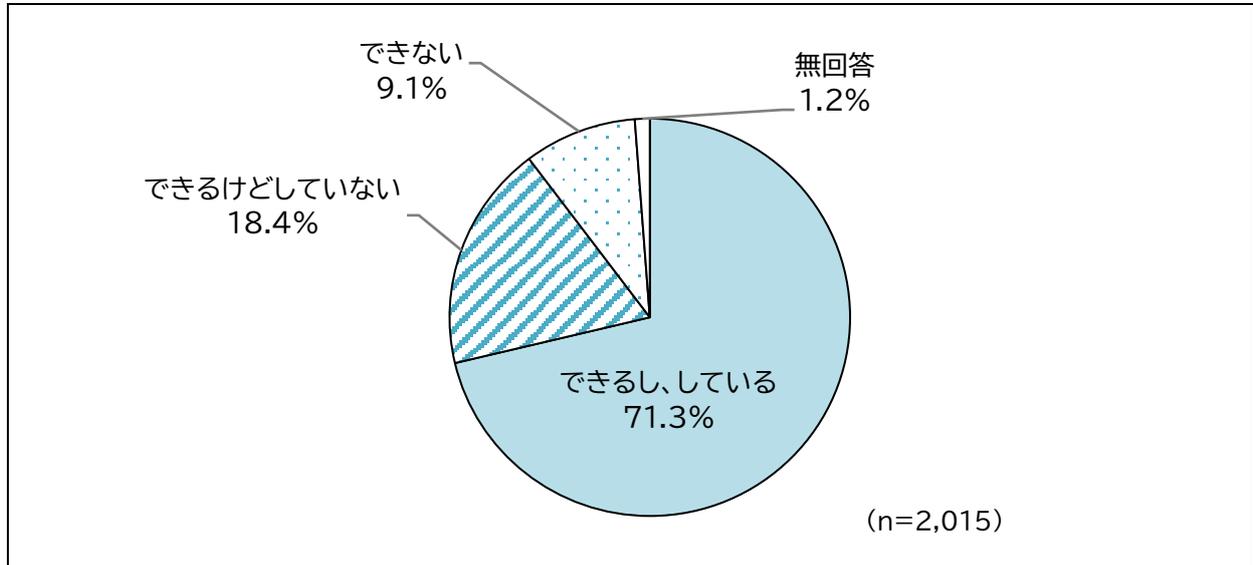


●認知機能について、「はい」と回答した人の割合は「物忘れが多いと感じますか」45.2%、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」84.2%、「今日が何月何日かわからない時がありますか」27.7%となっています。

(2)IADL<手段的日常生活動作>について(老研式活動能力指標)

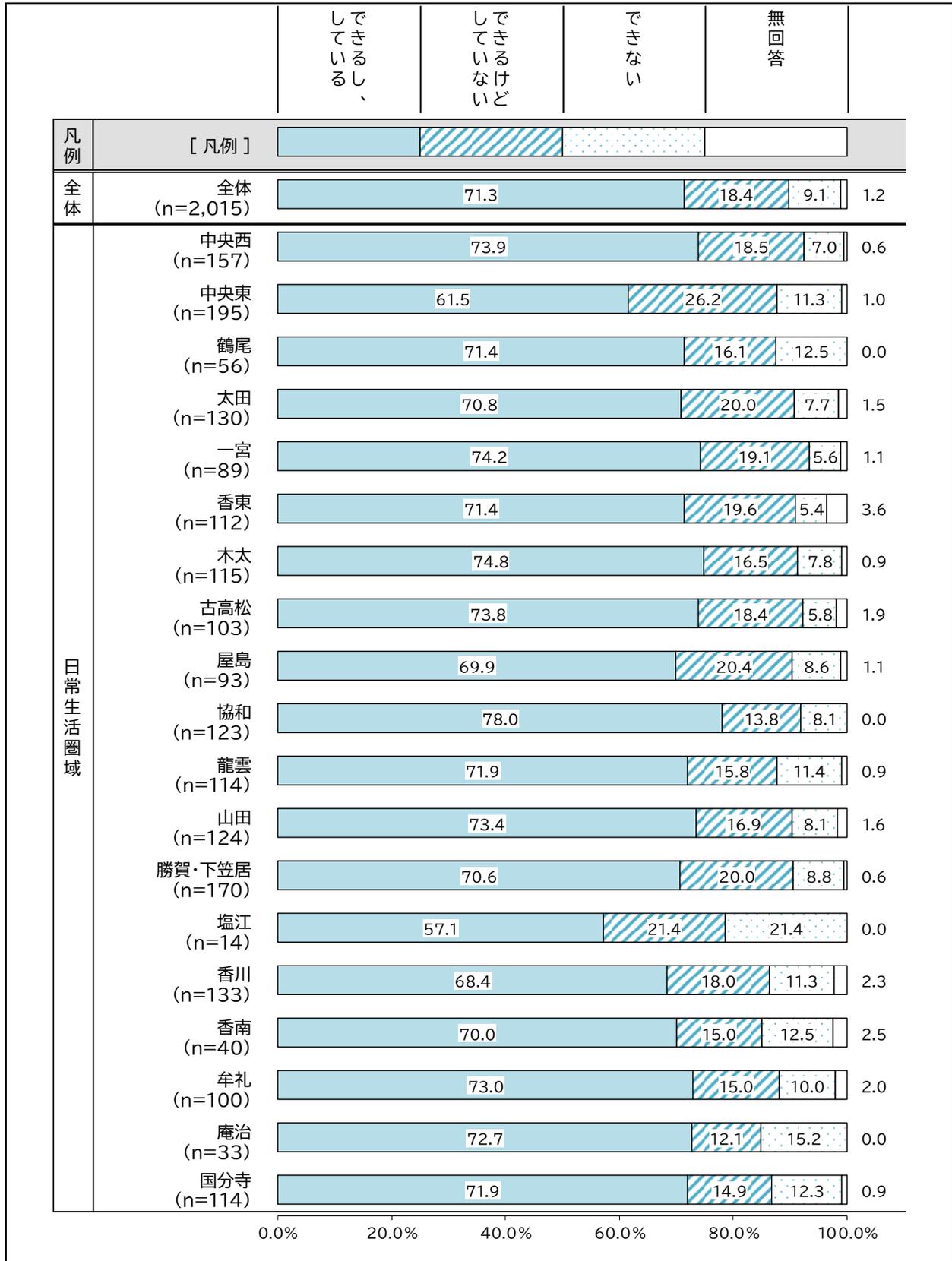
問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つだけ○)

図表39 公共交通機関を利用した1人での外出(全体)



●バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が71.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.4%、「できない」が9.1%となっています。

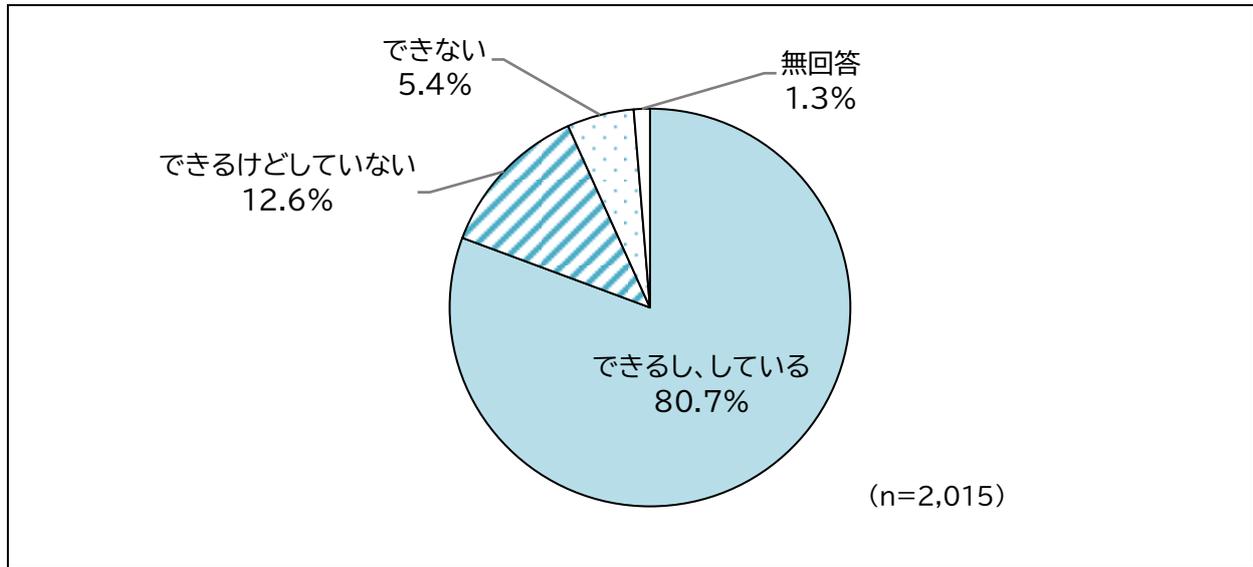
図表40 公共交通機関を利用した1人での外出(日常生活圏域別)



- 公共交通機関を利用した1人での外出を日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「できるし、している」と回答した人の割合が最も高くなっています。
- 「できない」と回答した人の割合が、「塩江」21.4%では2割を超えており、その他の圏域に比べて高くなっています。

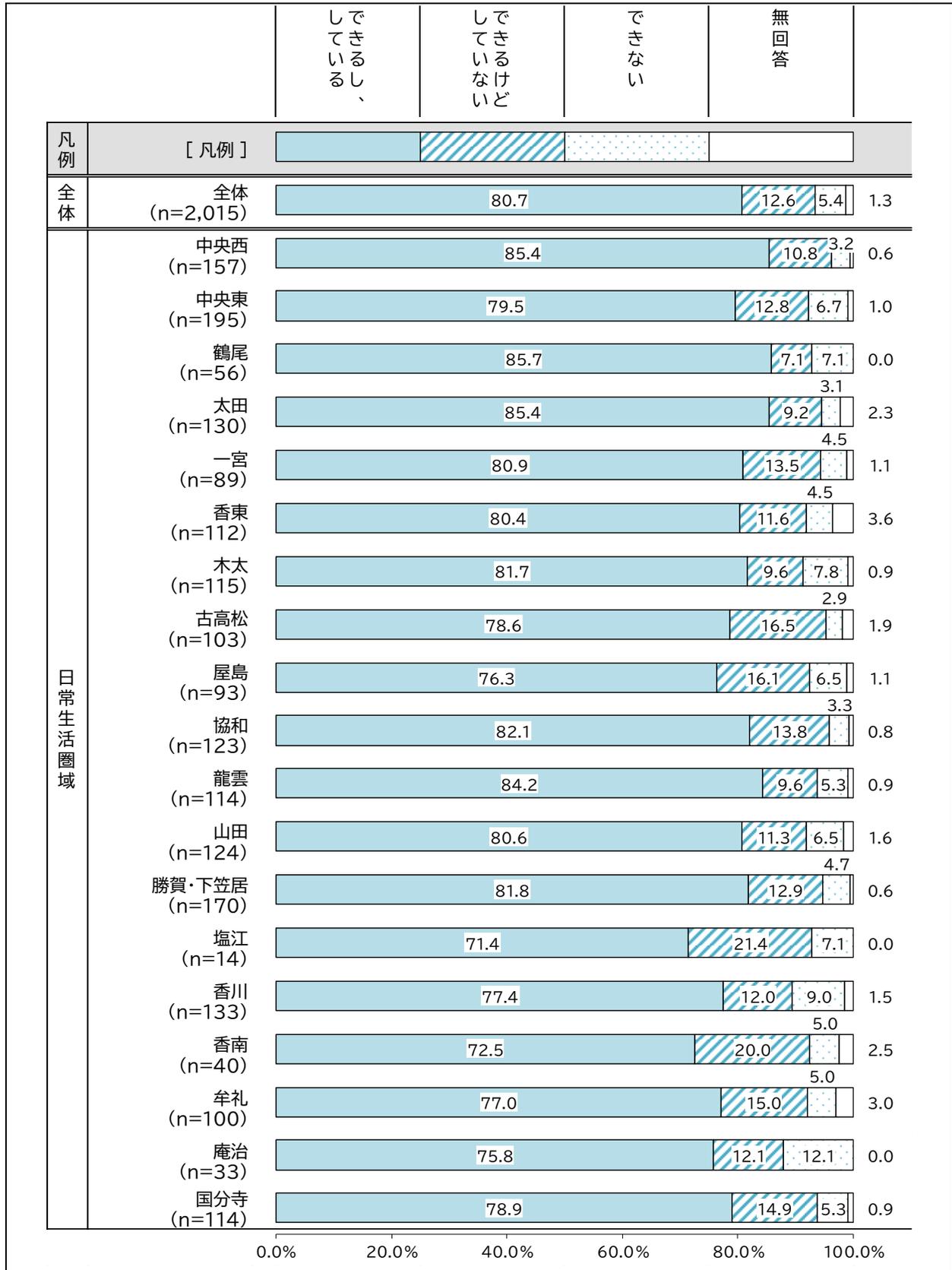
問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)

図表41 自分で食品・日用品の買物をしているかについて(全体)



●食品・日用品の買物について、「できるし、している」が80.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.6%、「できない」が5.4%となっています。

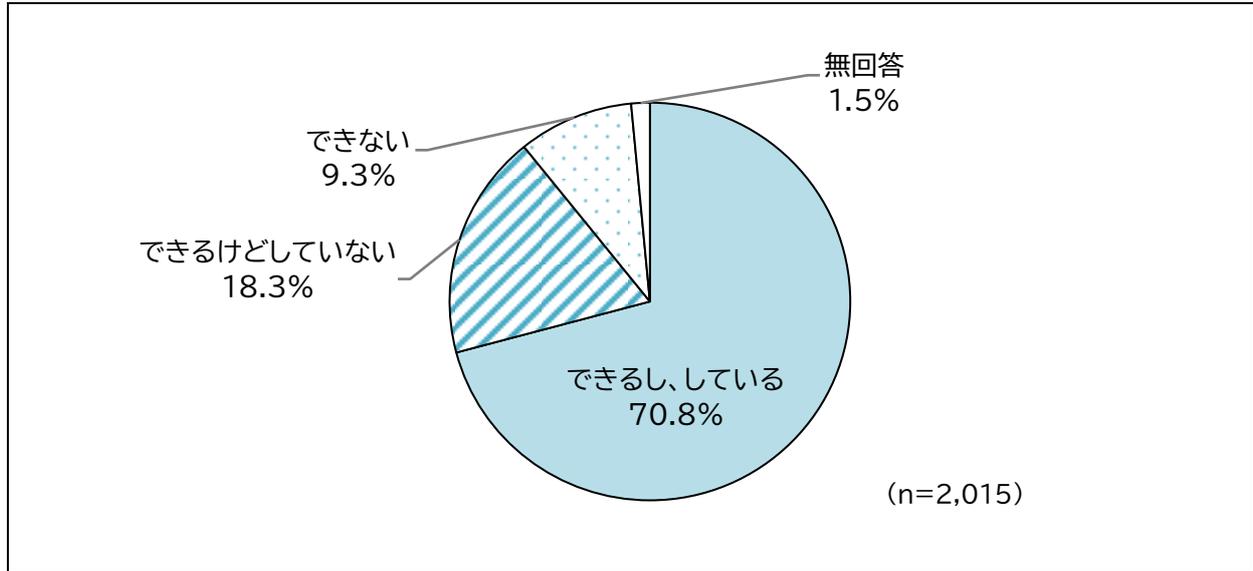
図表42 自分で食品・日用品の買物をしているかについて(日常生活圏域別)



- 自分で食品・日用品の買物をしているかについて、日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「できるし、している」と回答した人の割合が最も高くなっています。
- 「できない」と回答した人の割合が、「庵治」では12.1%となっており、その他の圏域に比べて高くなっています。

問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)

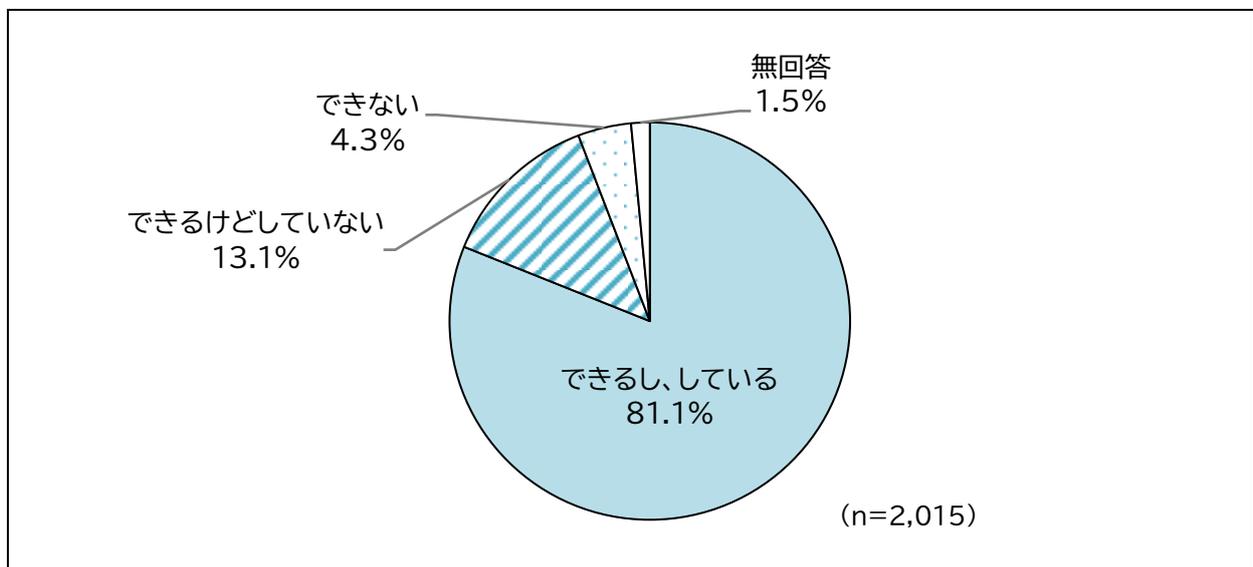
図表43 自分で食事の用意をしているかについて(全体)



● 食事の用意について、「できるし、している」が70.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.3%、「できない」が9.3%となっています。

問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)

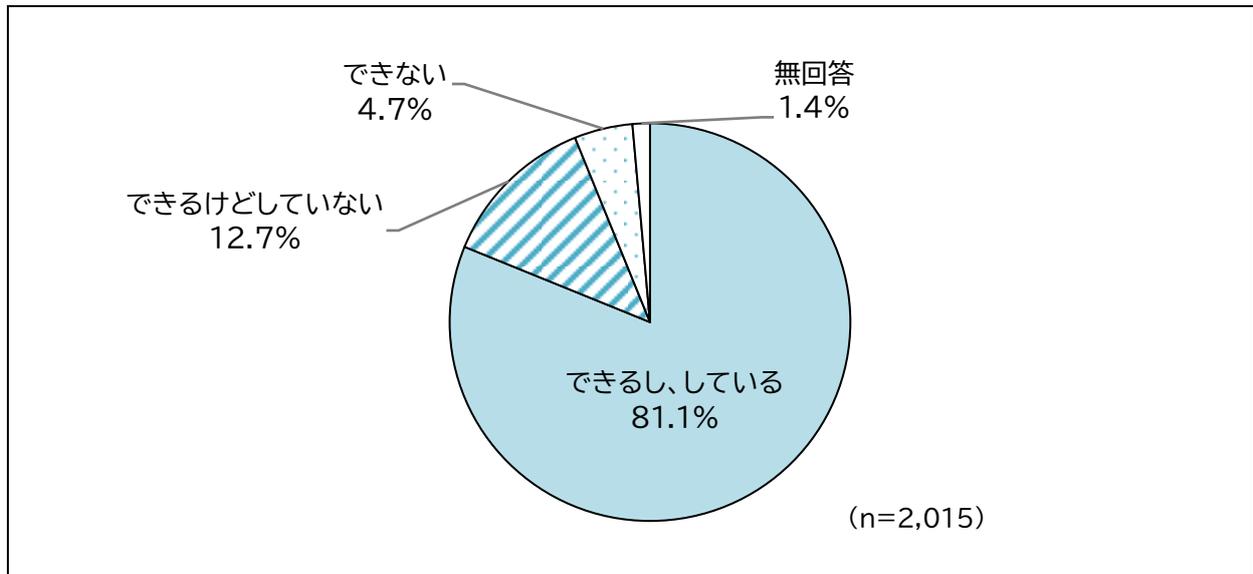
図表44 自分で請求書の支払いをしているかについて(全体)



● 請求書の支払いについて、「できるし、している」が81.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が4.3%となっています。

問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)

図表45 自分で預貯金の管理をしているかについて(全体)

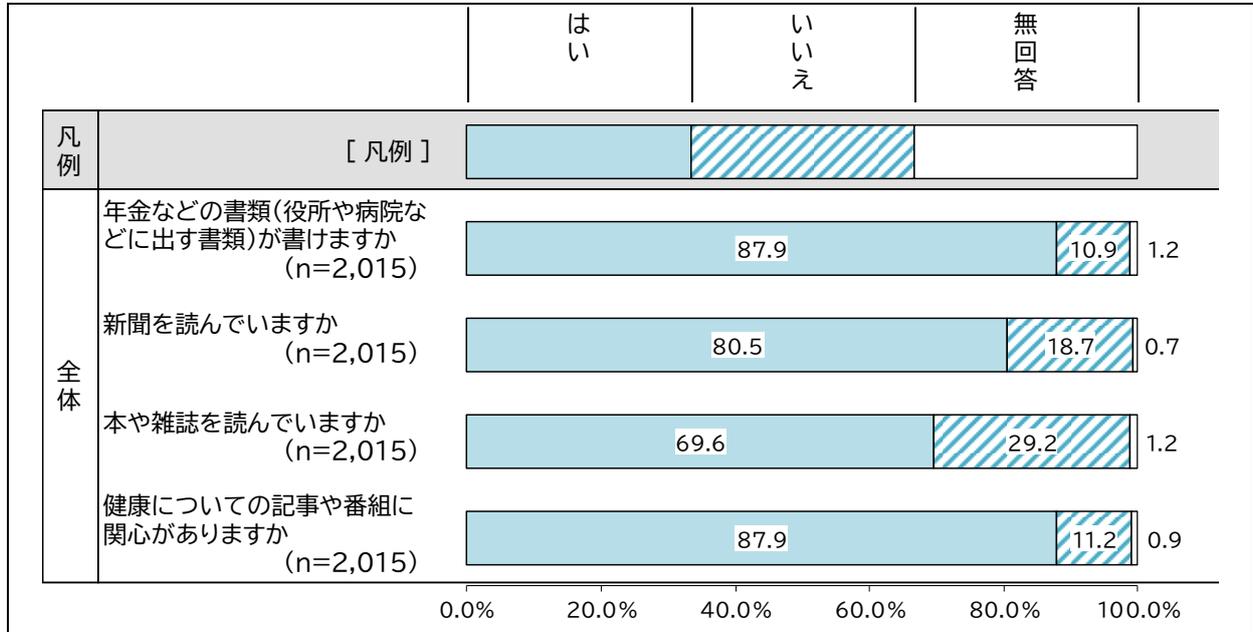


●預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が81.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が4.7%となっています。

(3)社会参加－知的能動性(老研式活動能力指標)

- 問4-9 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つだけ○)
 問4-10 新聞を読んでいますか。(1つだけ○)
 問4-11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ○)
 問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ○)

図表46 書類の記入や読書等について(全体)

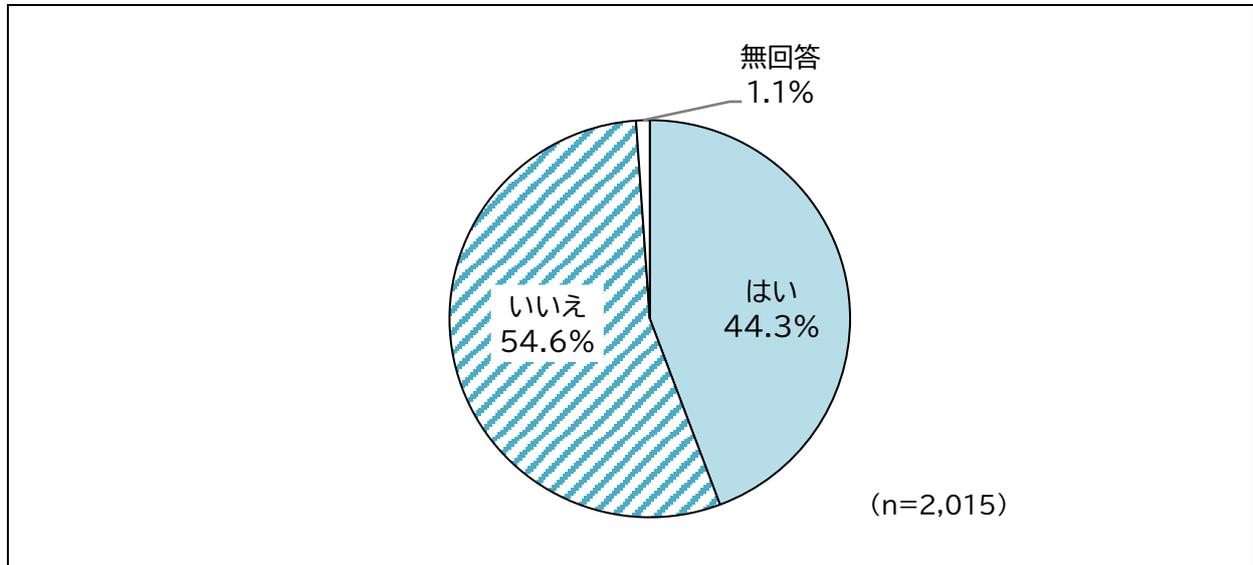


●知的能動性に関する項目について、すべての設問で「はい」と回答した人の割合が「いいえ」と回答した人の割合を上回っていますが、「本や雑誌を読んでいますか」については、「はい」と回答した人の割合がほかの設問に比べて低くなっています。

(4)社会参加－社会的役割(老研式活動能力指標)

問4-13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ○)

図表47 友人宅への訪問の有無について(全体)



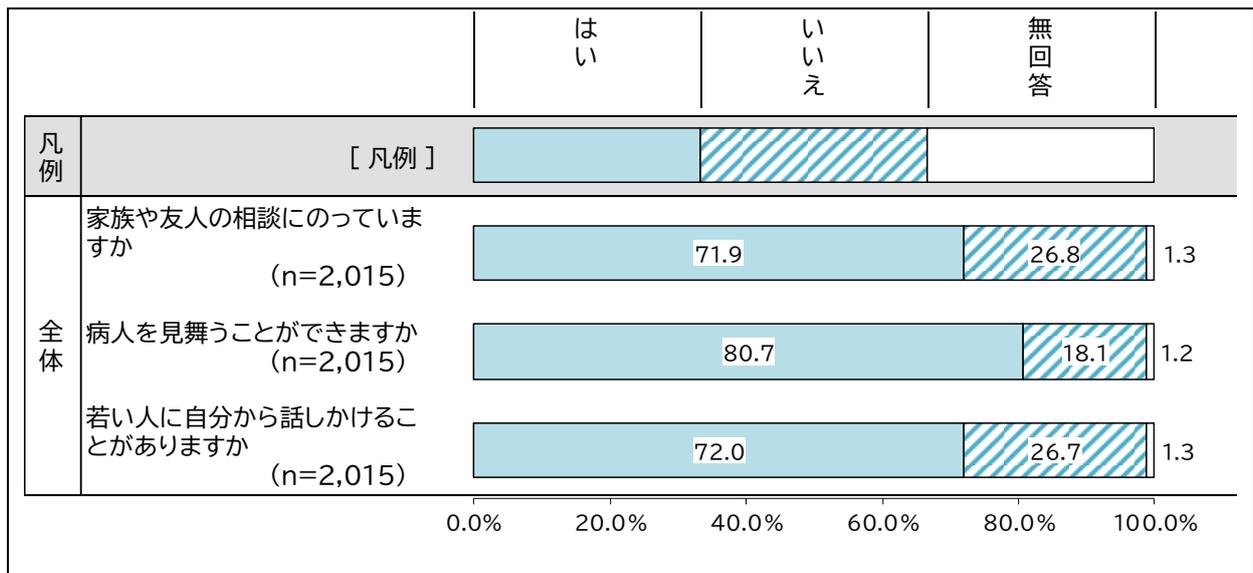
●友人の家を訪ねているかについて、「はい」が44.3%、「いいえ」が54.6%となっています。

問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ○)

問4-15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ○)

問4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ○)

図表48 社会的役割について(全体)

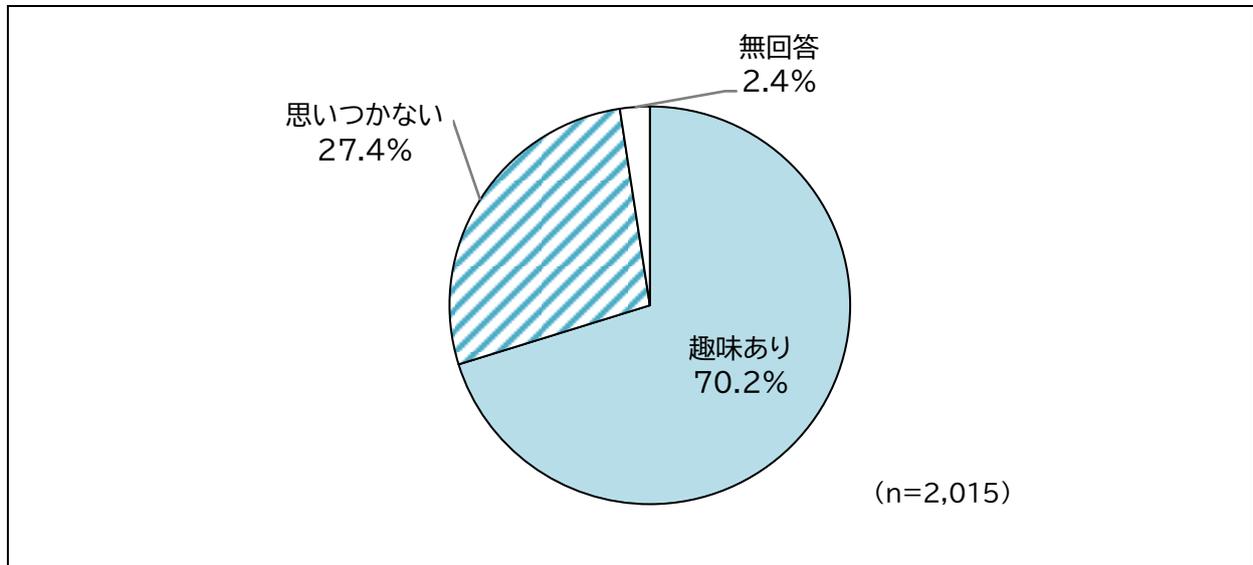


●社会的役割に関する項目について、すべての設問で「はい」と回答した人の割合が「いいえ」と回答した人の割合を上回っており、特に「病人を見舞うことができますか」については、「はい」と回答した人の割合がほかの設問に比べて高くなっています。

(5)趣味・生きがいの有無

問4-17 趣味はありますか。(1つだけ○)

図表49 趣味の有無と内容(全体)

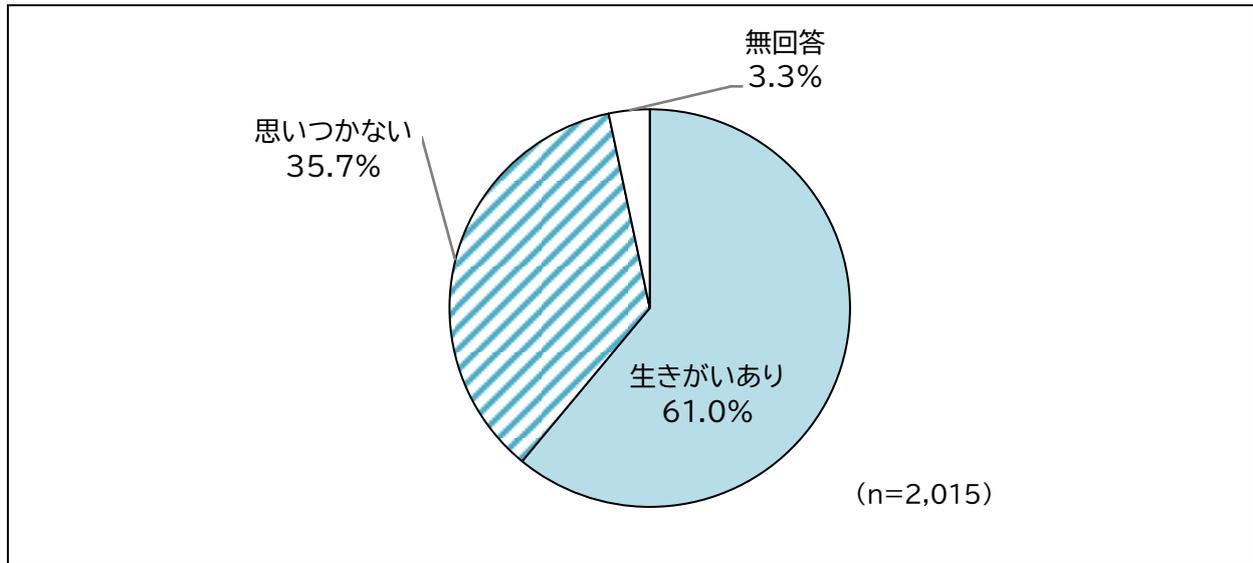


趣味の主な内容	件数
スポーツ(ゲートボール、ゴルフ、釣り、テニス、水泳など)	201
園芸、ガーデニング、草花の世話、家庭菜園	195
手芸(編み物、裁縫、折り紙、模型作成など)	102
外出、旅行、ドライブ	97
読書、文字を読む	91
音楽鑑賞、楽器演奏、ダンス	87
絵画、塗り絵、書道	50
歌、カラオケ	42
テレビ、ビデオ、DVD、映画鑑賞	42
ナンプレ、パズル、クイズ	27
囲碁、将棋	24
インターネット、パソコン、ゲーム	21
料理、食事	21
茶道・華道	19
短歌、俳句、川柳、詩吟	17
ギャンブル(競馬、パチンコ、マージャンなど)	15
物作り、日曜大工	15
カメラ、写真撮影	8
仕事	2
その他(ボランティア、手話など)	32

- 趣味の有無について、「趣味あり」が70.2%、「思いつかない」が27.4%となっています。
- 趣味の内容は、「スポーツ」、「園芸など」が多くなっています。

問4-18 生きがいがありますか。(1つだけ○)

図表50 生きがいの有無と内容(全体)



生きがいの主な内容	件数
子や孫の成長、交流	204
趣味(TV、料理、音楽、読書、手芸など)	84
園芸、ガーデニング、草花の世話、栽培	74
家族との交流	54
仕事	50
健康で自立した生活を送ること	50
外出、旅行	38
友人や地域の人達との交流	31
スポーツ(釣り、ゴルフ、ゲートボールなど)	29
ボランティア活動	14
信仰、宗教	12
ペットの世話	11
食事	7
散歩、運動	6
その他(手話、農業など)	31

- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が61.0%、「思いつかない」が35.7%となっています。
- 生きがいの内容は、「子や孫の成長、交流」、「趣味など」が多くなっています。

6. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
(①~⑧のそれぞれに1つだけ○)

図表51 社会参加の状況(全体)

	母数 (n)	(単位:%)							
		週 4 回 以上	週 2 ~ 3 回	週 1 回	月 1 ~ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 週 1 回 以 上 人
①ボランティアのグループ	2,015	0.5	0.7	1.4	3.0	5.6	72.1	16.8	2.6
②スポーツ関係のグループやクラブ	2,015	2.6	5.1	4.3	3.5	1.8	67.7	15.0	12.0
③趣味関係のグループ	2,015	1.8	3.8	6.7	9.0	5.0	59.8	13.9	12.3
④学習・教養サークル	2,015	0.4	0.6	1.4	3.0	3.4	74.2	17.0	2.4
⑤介護予防のための通いの場	2,015	0.4	3.0	1.9	0.8	1.2	76.4	16.1	5.3
⑥老人クラブ	2,015	0.3	0.1	0.9	1.2	4.1	76.7	16.6	1.3
⑦町内会・自治会	2,015	0.3	0.3	0.9	4.7	28.7	49.7	15.4	1.5
⑧収入のある仕事	2,015	13.8	5.0	1.1	1.4	2.4	61.0	15.1	19.9

※図表51、52の表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。

- 社会参加の頻度について、③趣味関係のグループや⑧収入のある仕事に参加している人が多くなっています。その頻度については、③趣味関係のグループでは「月1~3回」9.0%、⑧収入のある仕事では「週4回以上」13.8%の頻度で参加している人が多くなっています。一方、「参加していない」の割合については、③趣味関係のグループと⑦町内会・自治会以外の会・グループ等で6割を超える結果となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表52 介護予防のための通いの場の参加状況(日常生活圏域別)

(単位:%)

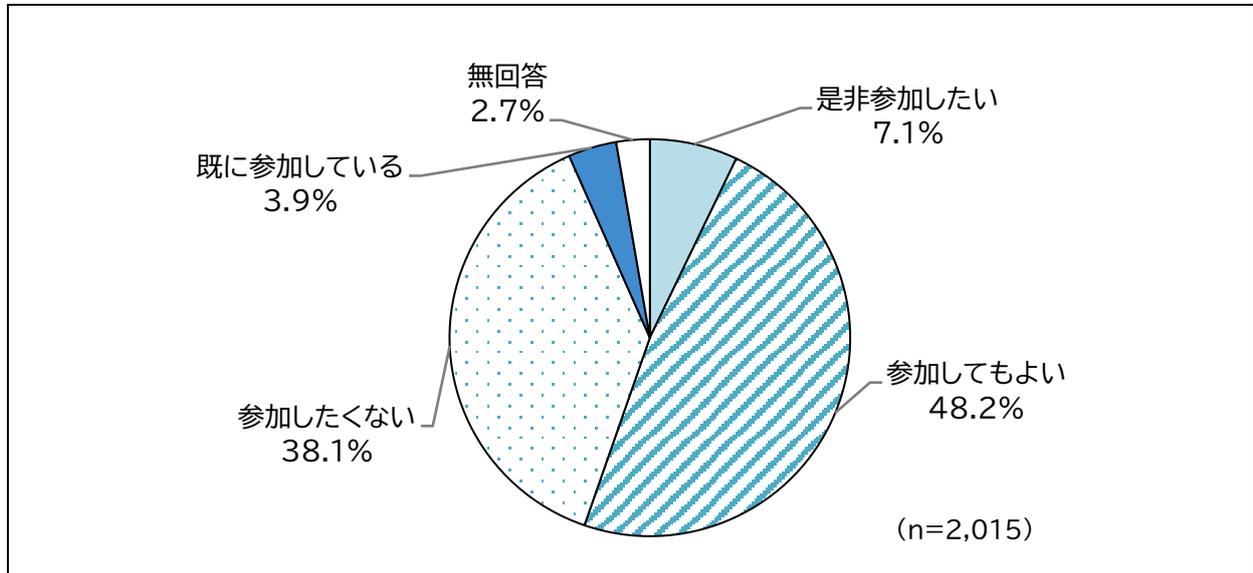
		母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 週 1 回 以 上 の 人
全体		2,015	0.4	3.0	1.9	0.8	1.2	76.4	16.1	5.3
日常生活圏域	中央西	157	-	3.2	2.5	-	1.3	79.0	14.0	5.7
	中央東	195	-	3.1	2.6	0.5	1.5	76.9	15.4	5.7
	鶴尾	56	-	5.4	-	1.8	-	69.6	23.2	5.4
	太田	130	-	3.1	3.1	1.5	0.8	74.6	16.9	6.2
	一宮	89	-	2.2	2.2	1.1	-	82.0	12.4	4.4
	香東	112	0.9	3.6	1.8	1.8	1.8	79.5	10.7	6.3
	木太	115	-	2.6	1.7	1.7	0.9	75.7	17.4	4.3
	古高松	103	1.9	2.9	1.9	-	-	75.7	17.5	6.7
	屋島	93	-	2.2	2.2	-	-	81.7	14.0	4.4
	協和	123	0.8	2.4	0.8	2.4	-	78.0	15.4	4.0
	龍雲	114	-	3.5	-	0.9	5.3	75.4	14.9	3.5
	山田	124	-	3.2	1.6	-	0.8	73.4	21.0	4.8
	勝賀・下笠居	170	1.8	2.4	1.2	1.2	1.8	74.1	17.6	5.4
	塩江	14	-	-	-	7.1	7.1	78.6	7.1	-
	香川	133	-	3.0	2.3	-	1.5	79.7	13.5	5.3
	香南	40	-	2.5	2.5	2.5	-	80.0	12.5	5.0
牟礼	100	1.0	5.0	-	-	1.0	74.0	19.0	6.0	
庵治	33	-	6.1	3.0	-	3.0	72.7	15.2	9.1	
国分寺	114	0.9	0.9	5.3	-	0.9	71.1	21.1	7.1	

●介護予防のための通いの場の参加状況を日常生活圏域別にみると、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」のいずれかを選択した“週に1回以上参加している人”の割合は、「庵治」9.1%となっており、その他の圏域に比べて割合が高くなっています。

(2)地域づくりへの参加意向(参加者)

問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

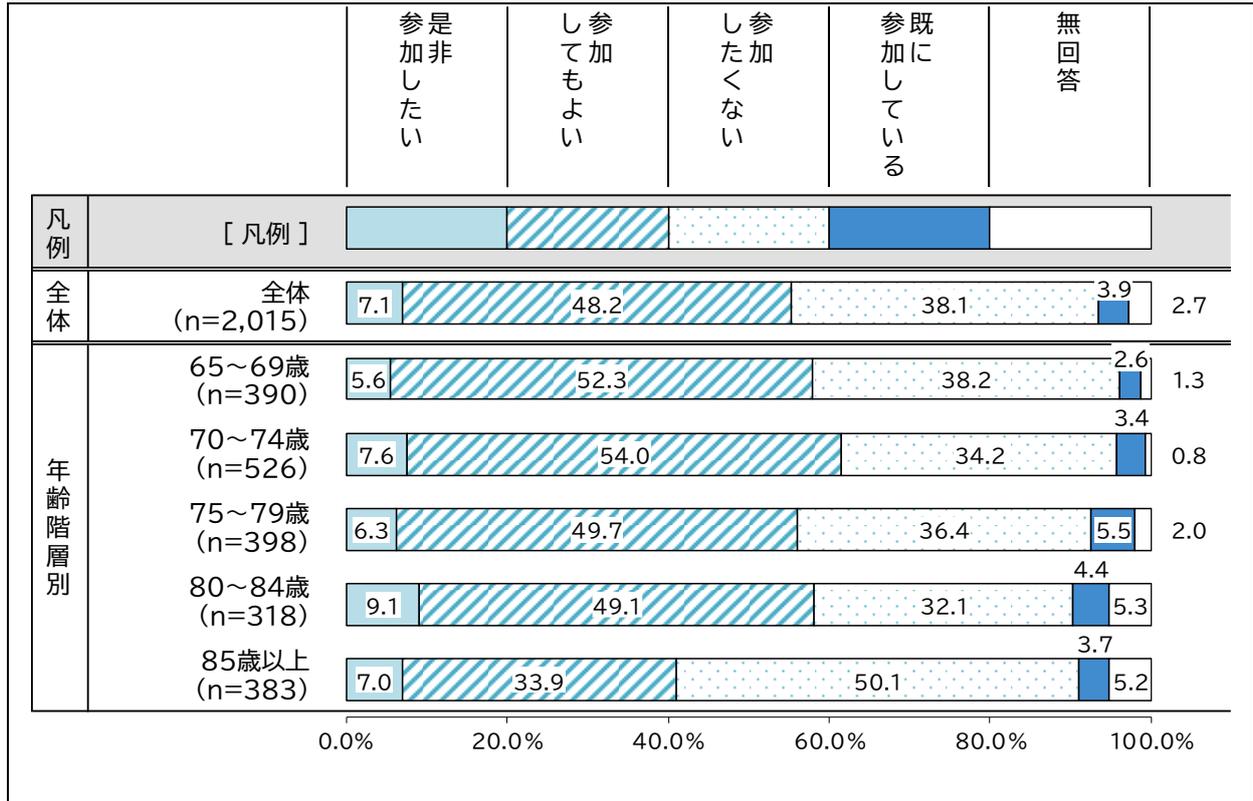
図表53 地域づくりへの参加意向(参加者)(全体)



●地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が48.2%で最も多く、次いで「参加したくない」が38.1%、「是非参加したい」が7.1%となっています。「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人を合算した割合は55.3%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

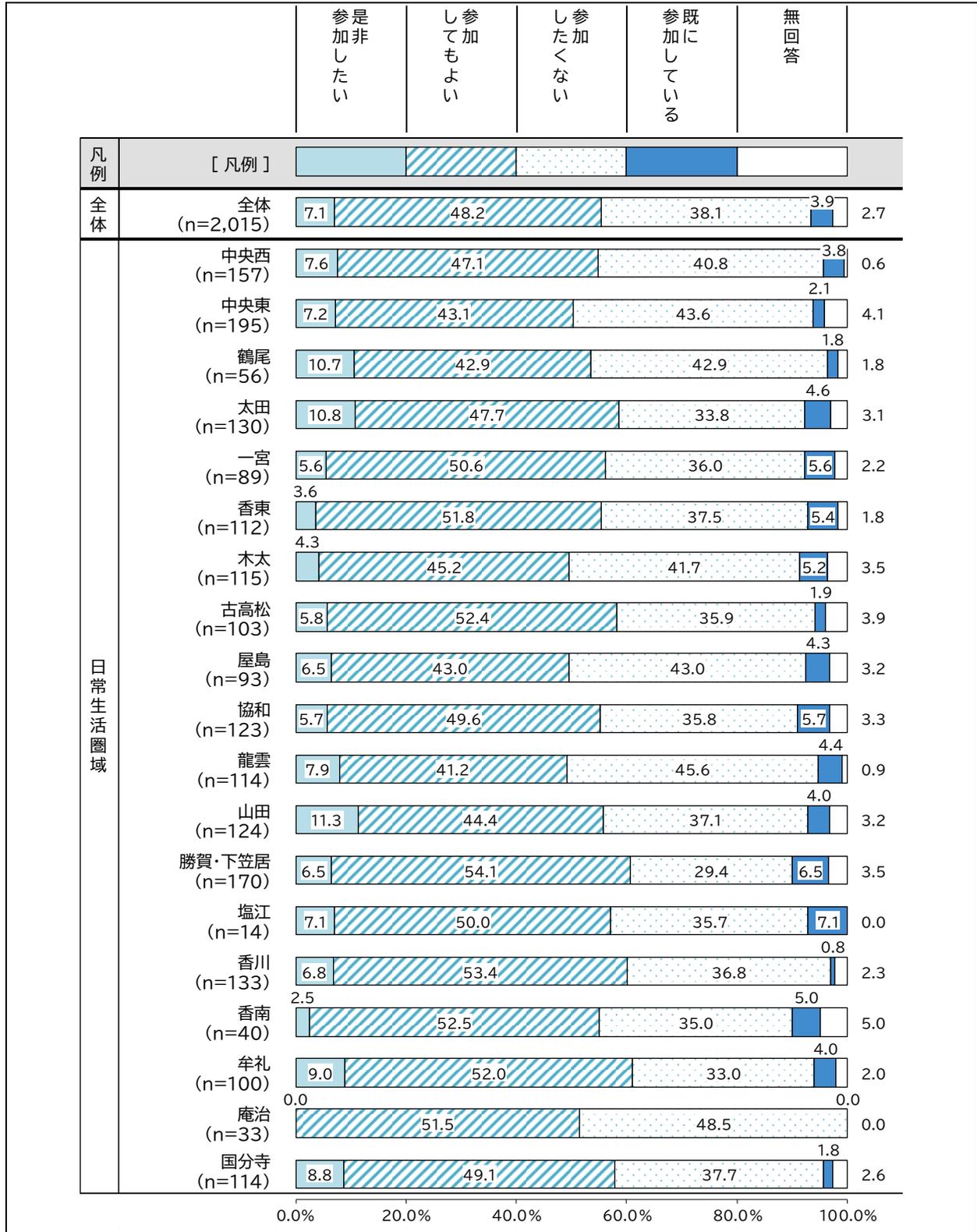
図表54 地域づくりへの参加意向(参加者)(年齢階層別)



●地域づくりへの参加意向を年齢階層別にみると、「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人の割合は、「65～84歳」の4つの年齢階層では概ね同様の傾向にありますが、「85歳以上」では割合が低下しています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表55 地域づくりへの参加意向(参加者)(日常生活圏域別)

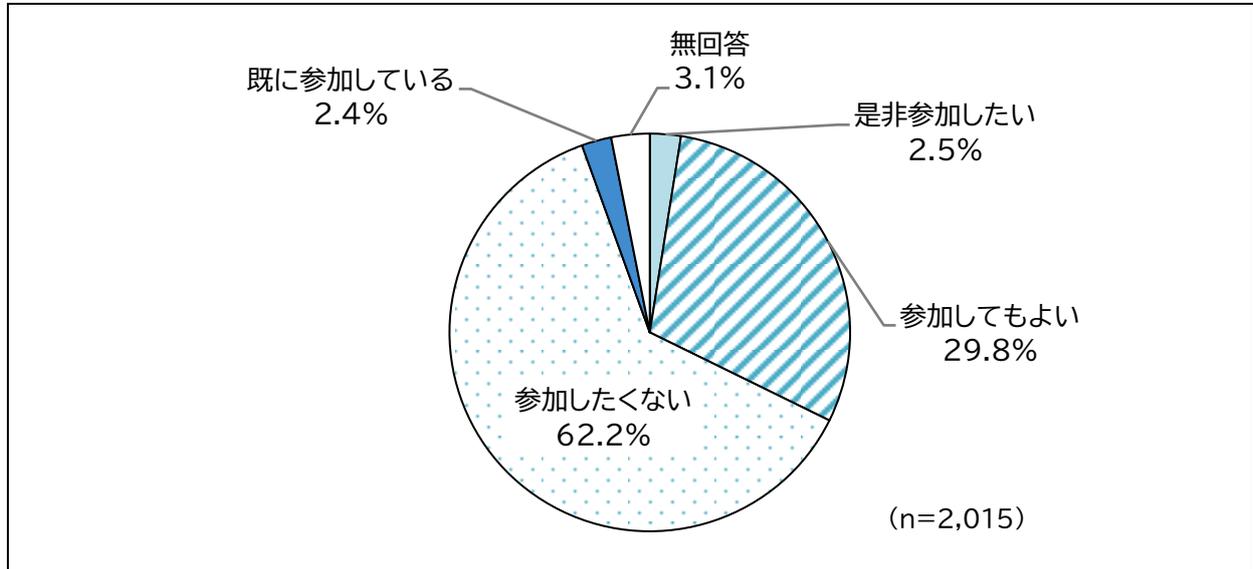


●地域づくりへの参加意向を日常生活圏域別にみると、「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した人の割合は、「牟礼」が最も高く61.0%となっています。次いで、「勝賀・下笠居」60.6%、「香川」60.2%と続いています。

(3)地域づくりへの参加意向(企画・運営)

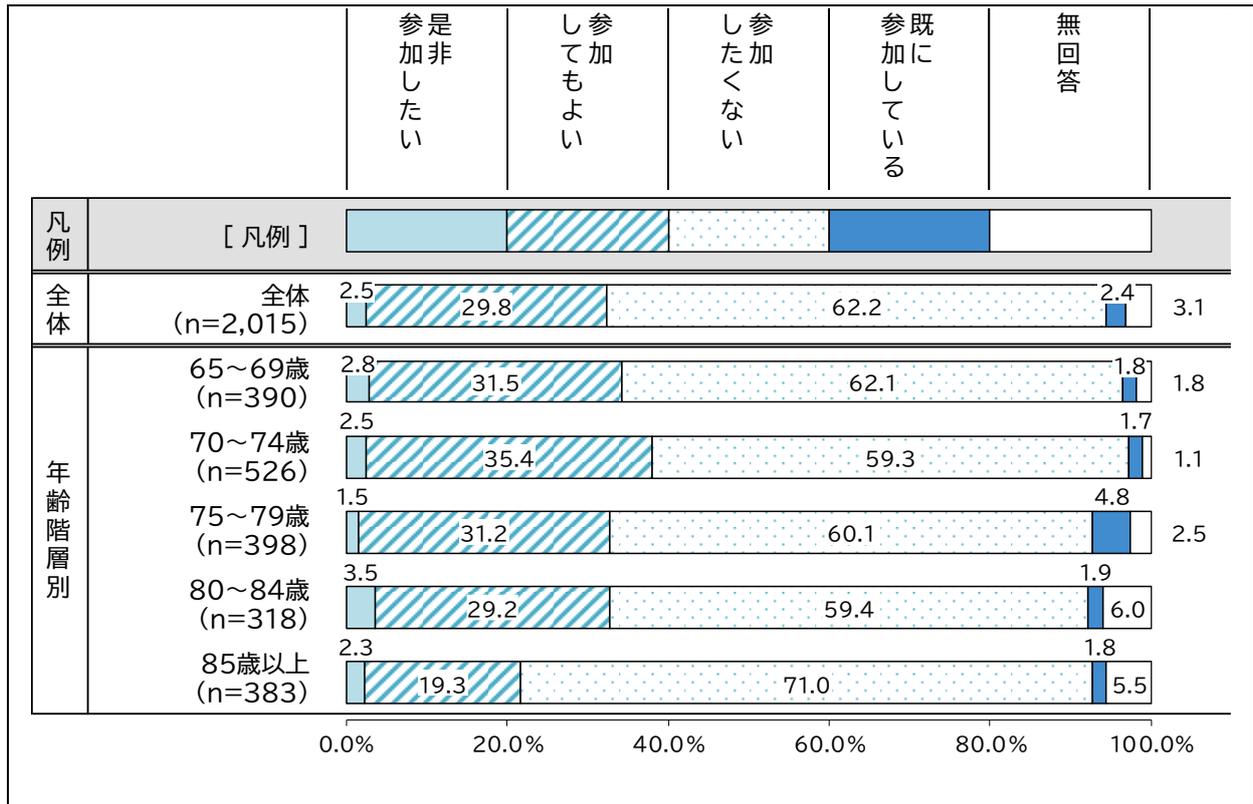
問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

図表56 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(全体)



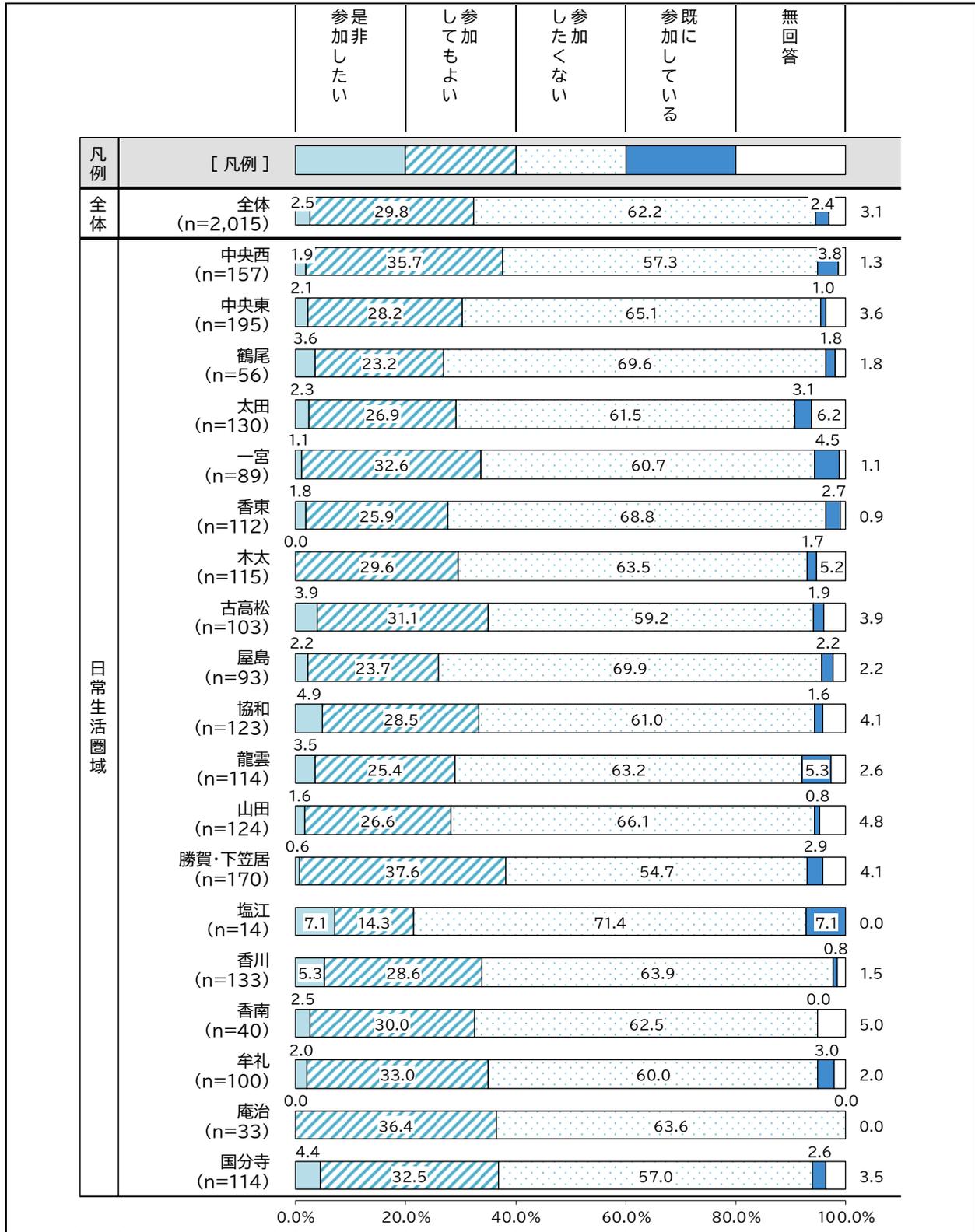
●地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が62.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が29.8%、「是非参加したい」が2.5%となっています。「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人を合算した割合は32.3%となっています。

図表57 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(年齢階層別)



- 地域づくりへの参加意向(企画・運営)を年齢階層別にみると、「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した人の割合は、「70~74歳」が最も高く37.9%となっています。次いで、「65~69歳」34.3%となっています。
- 年齢階層別に、図表54(P44)「参加者」として「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人と、「企画・運営」として「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人の割合を比較してみると、「80~84歳」については25.5ポイント低下しています。

図表58 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(日常生活圏域別)



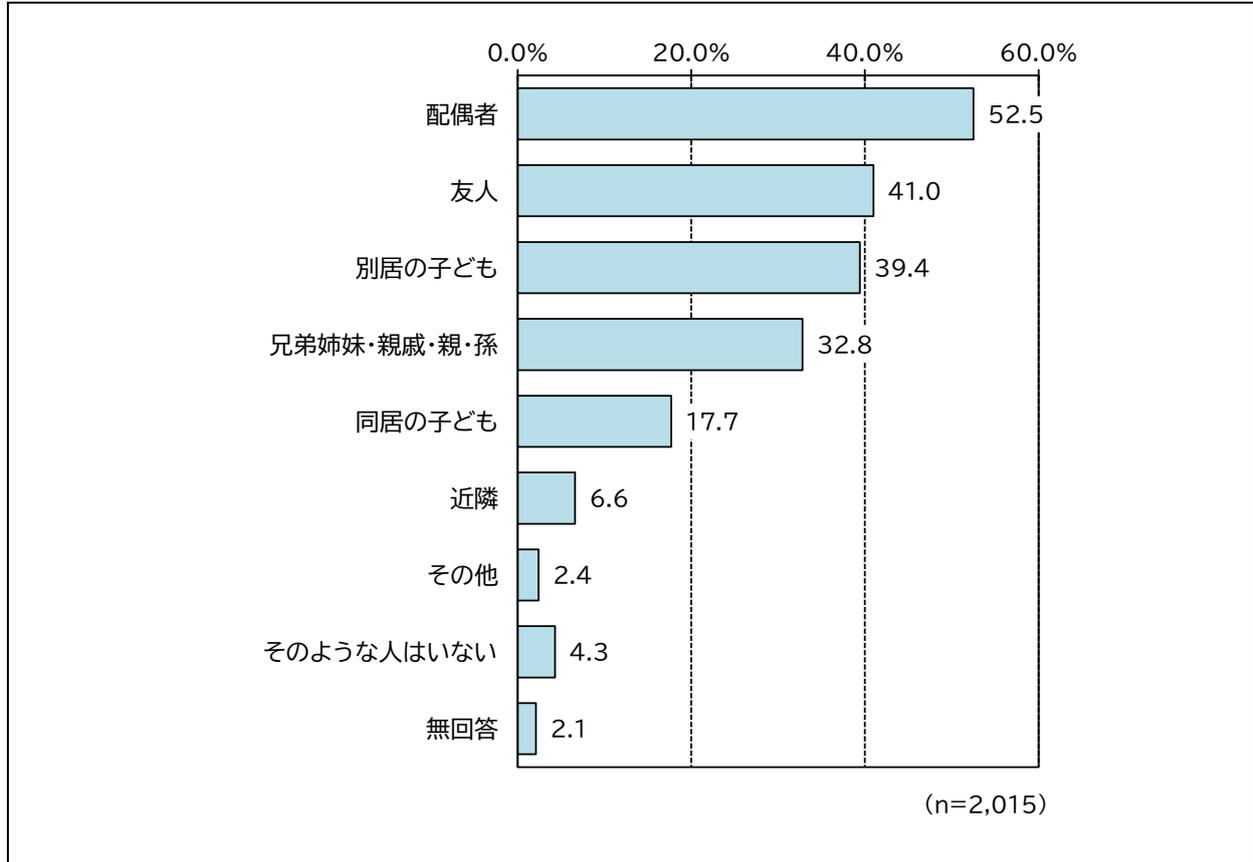
●地域づくりへの参加意向(企画・運営)を、日常生活圏域別にみると、「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人を合算した割合は、「勝賀・下笠居」が最も高く38.2%となっています。次いで、「中央西」37.6%、「国分寺」36.9%と続いています。

7. たすけあいについて

(1) たすけあいの状況

問6-1-(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。
(いくつでも○)

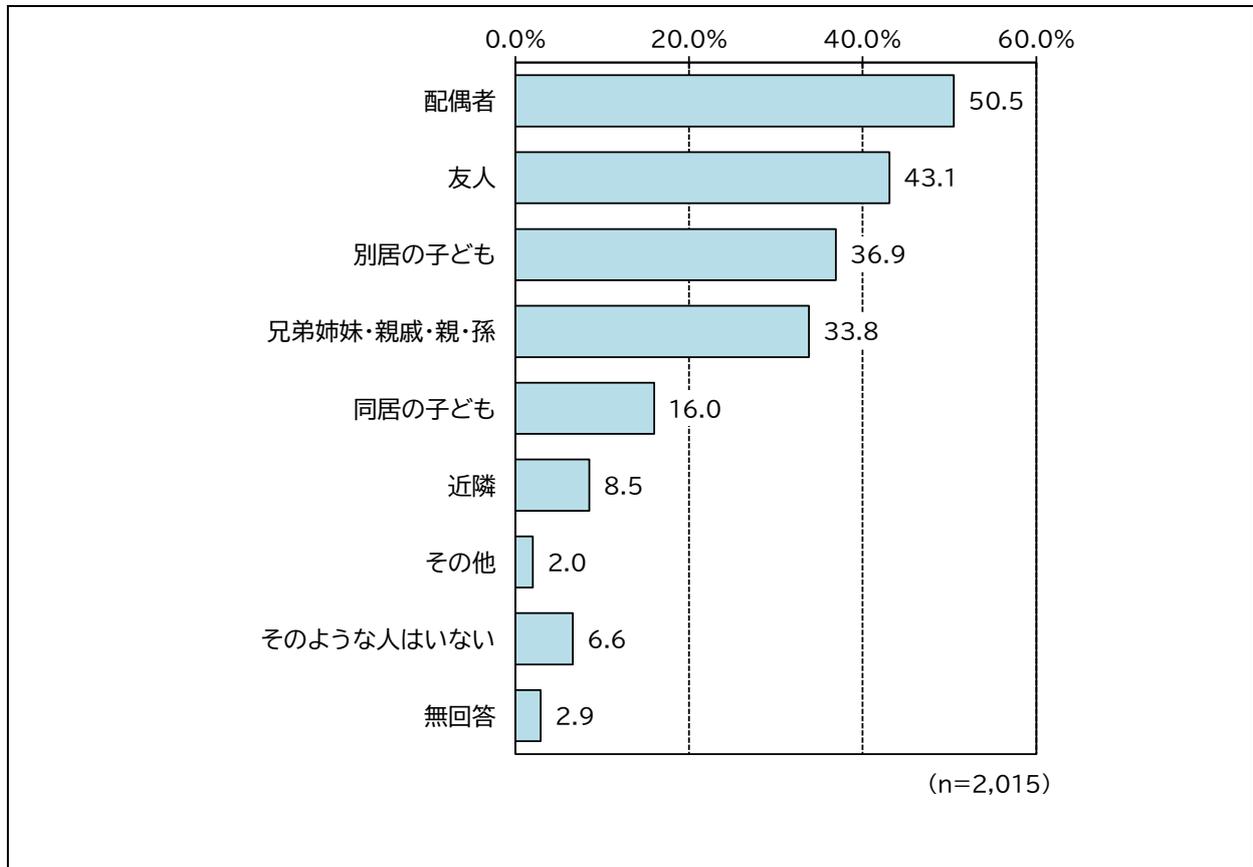
図表59 心配事や愚痴を聞いてくれる人(全体/複数回答)



●あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が52.5%で最も多く、次いで「友人」が41.0%、「別居の子ども」が39.4%となっています。

問6-1-(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。
(いくつでも○)

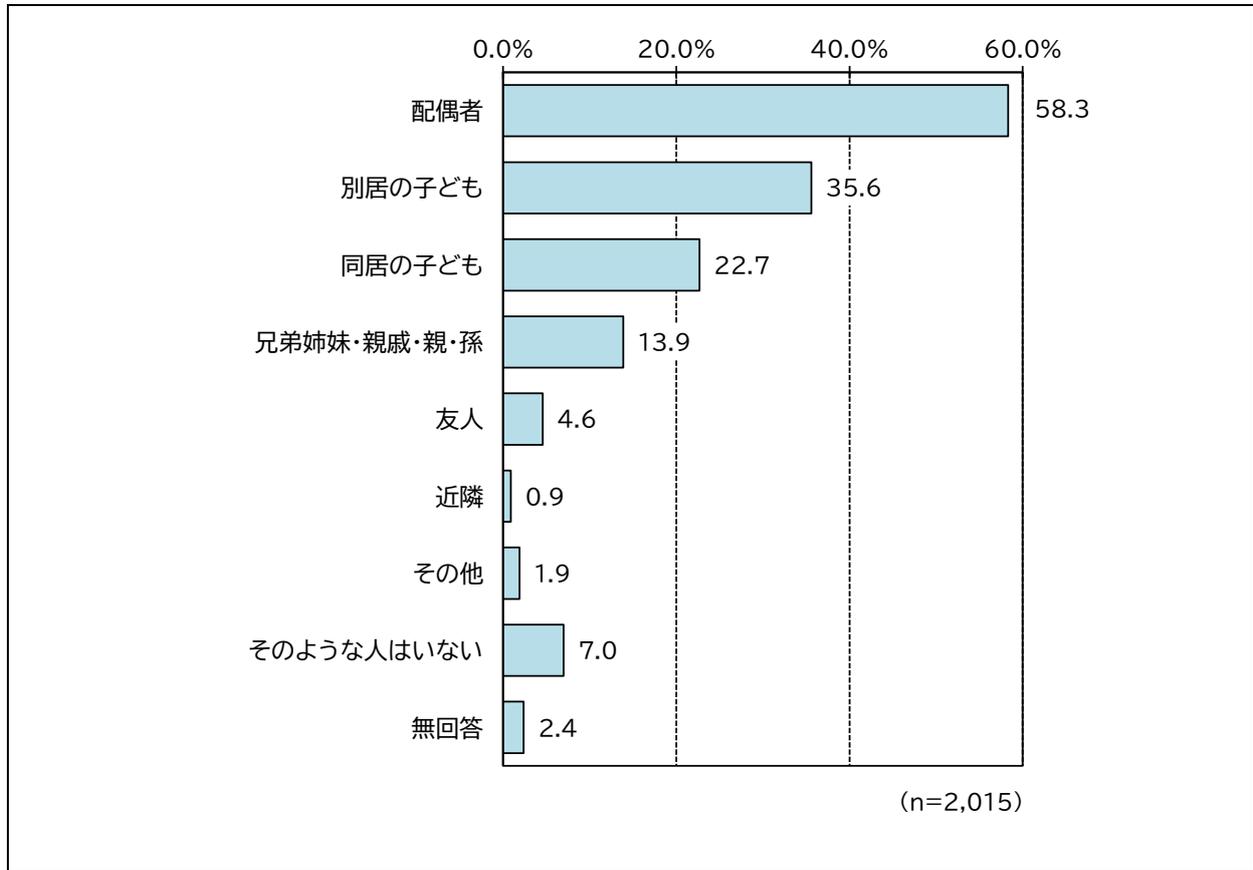
図表60 心配事や愚痴を聞いてあげる人(全体/複数回答)



●反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が50.5%で最も多く、次いで「友人」が43.1%、「別居の子ども」が36.9%となっています。

問6-1-(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)

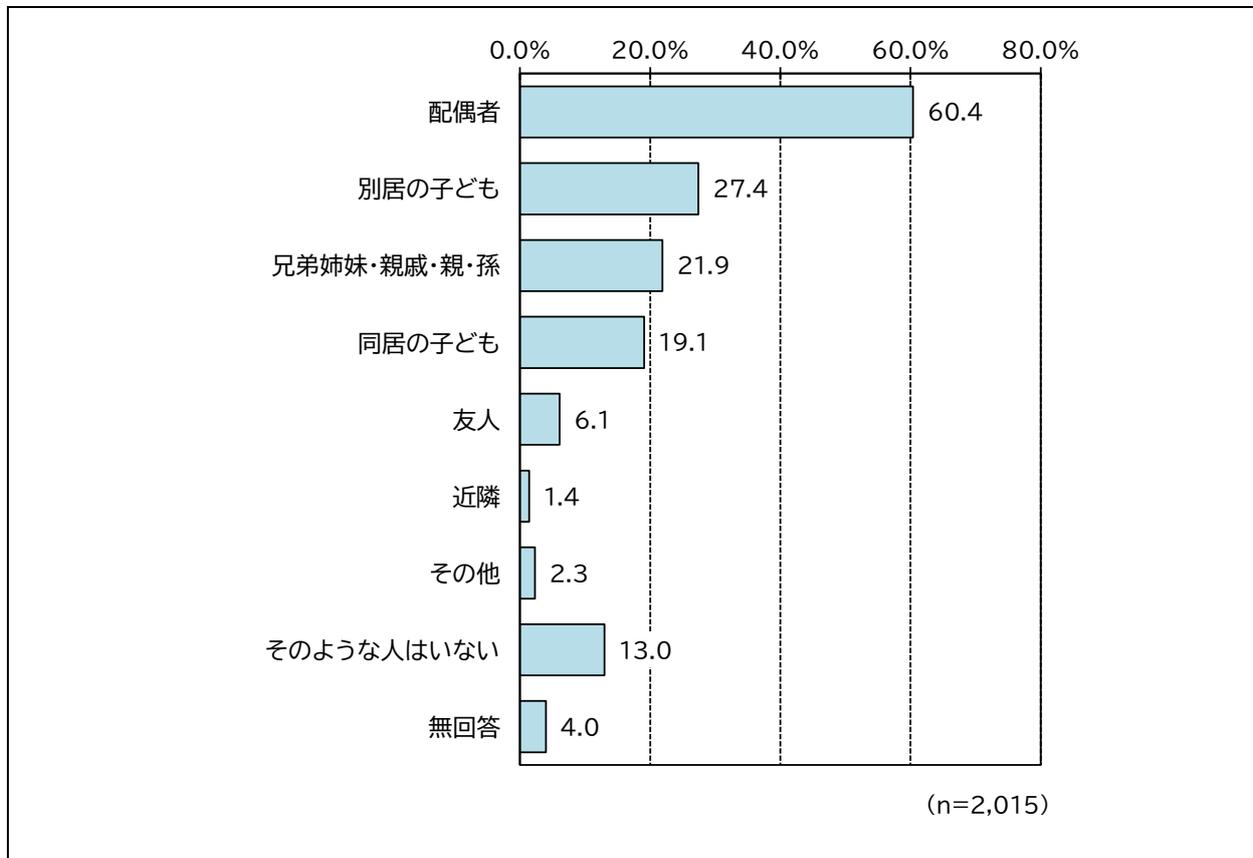
図表61 看病や世話をしてくれる人(全体/複数回答)



●あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が58.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」が35.6%、「同居の子ども」が22.7%となっています。

問6-1-(4) 反対に、あなたが看病や世話をしあける人はどなたですか。
(いくつでも○)

図表62 看病や世話をしあける人(全体/複数回答)

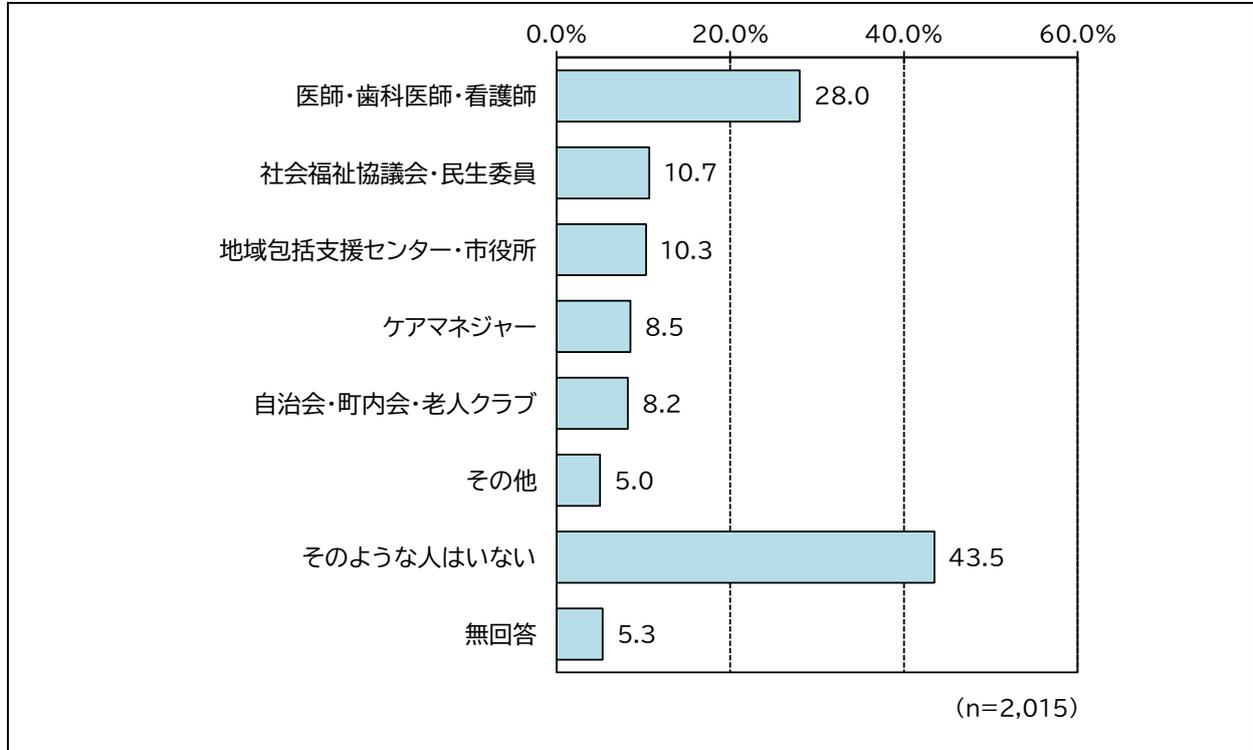


●反対に、看病や世話をしあける人について、「配偶者」が60.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」が27.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が21.9%となっています。

(2)地域の相談窓口の活用状況

問6-1-(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

図表63 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手(全体/複数回答)

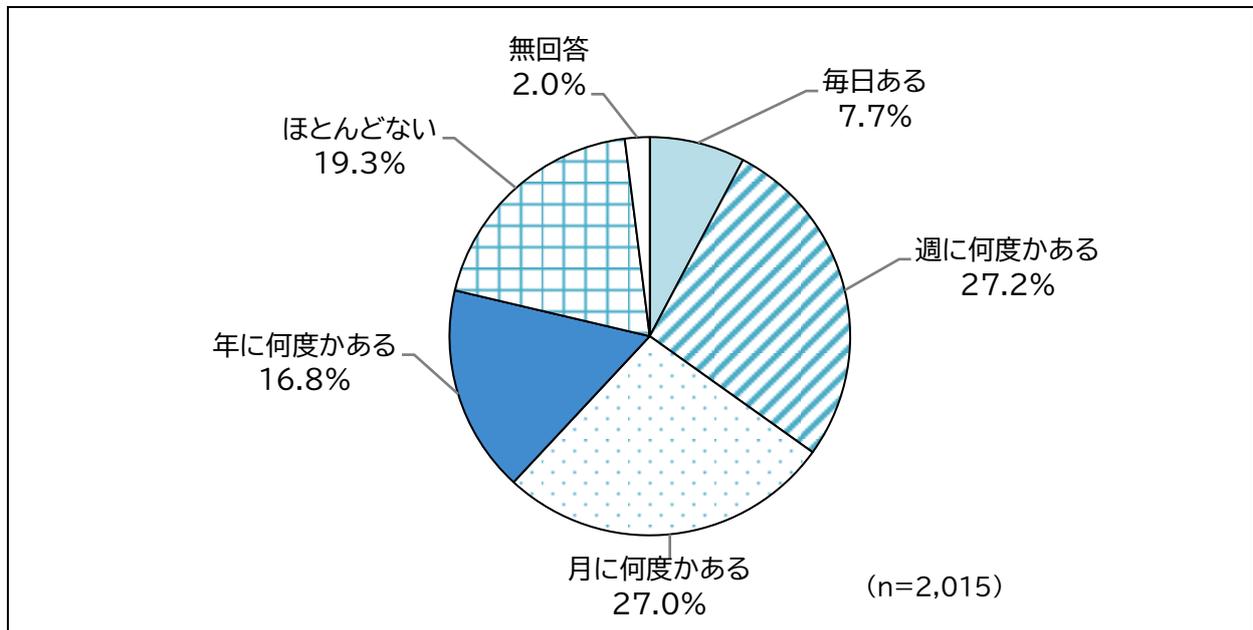


●何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が43.5%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が28.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が10.7%となっています。

(3)友人関係について

問6-1-(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

図表64 友人・知人と会う頻度(全体)

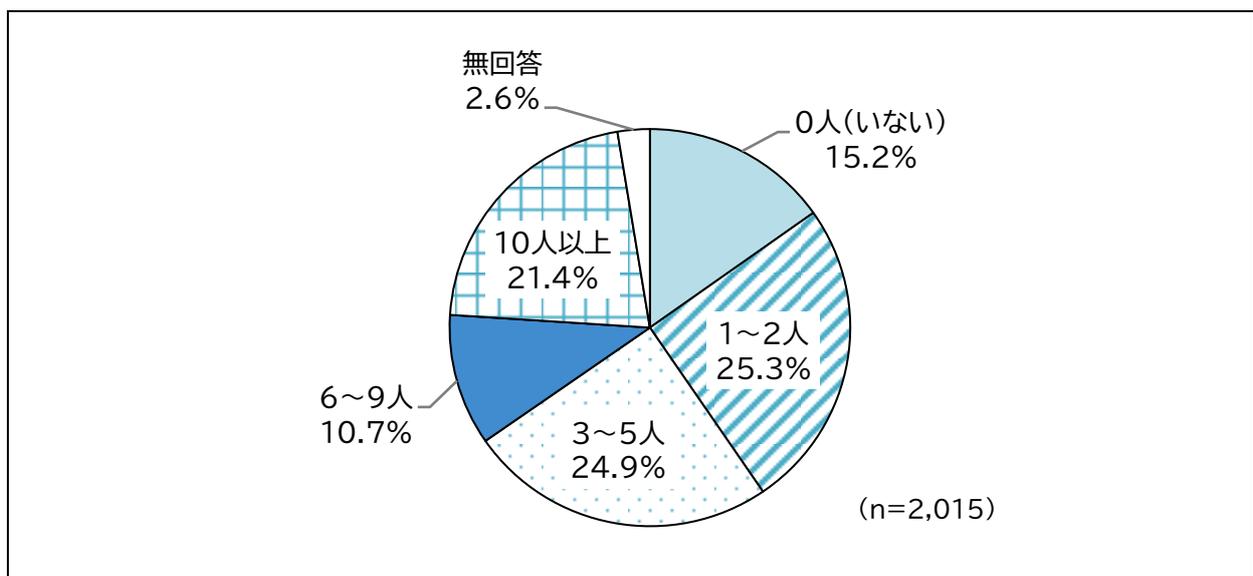


●友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が27.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が27.0%、「ほとんどない」が19.3%となっています。「毎日ある」、「週に何度かある」、「月に何度かある」と回答した人を合算した割合は61.9%となっています。

問6-1-(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)

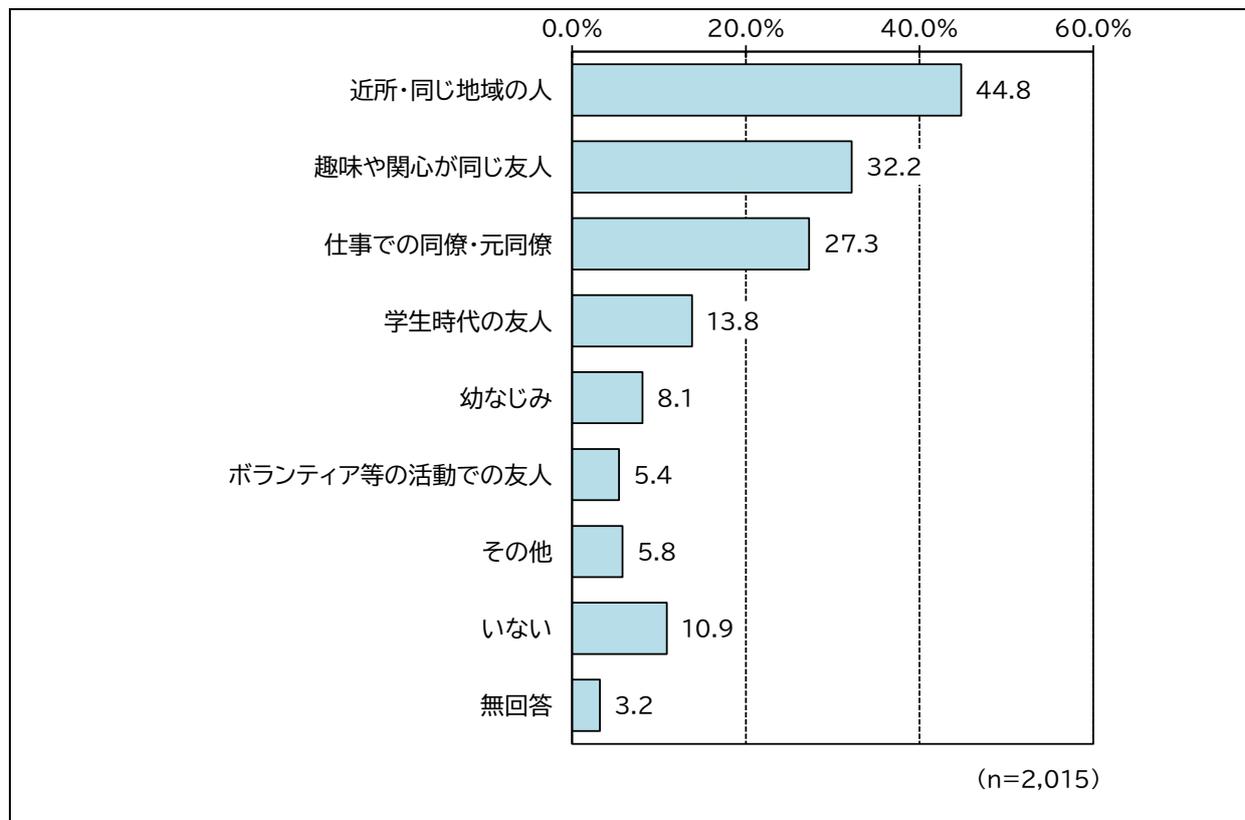
図表65 1か月間に会った友人・知人の人数(全体)



●この1か月間で会った友人・知人の数について、「1~2人」が25.3%で最も多く、次いで「3~5人」が24.9%、「10人以上」が21.4%となっています。

問6-1-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

図表66 よく会う友人・知人との間柄について(全体/複数回答)



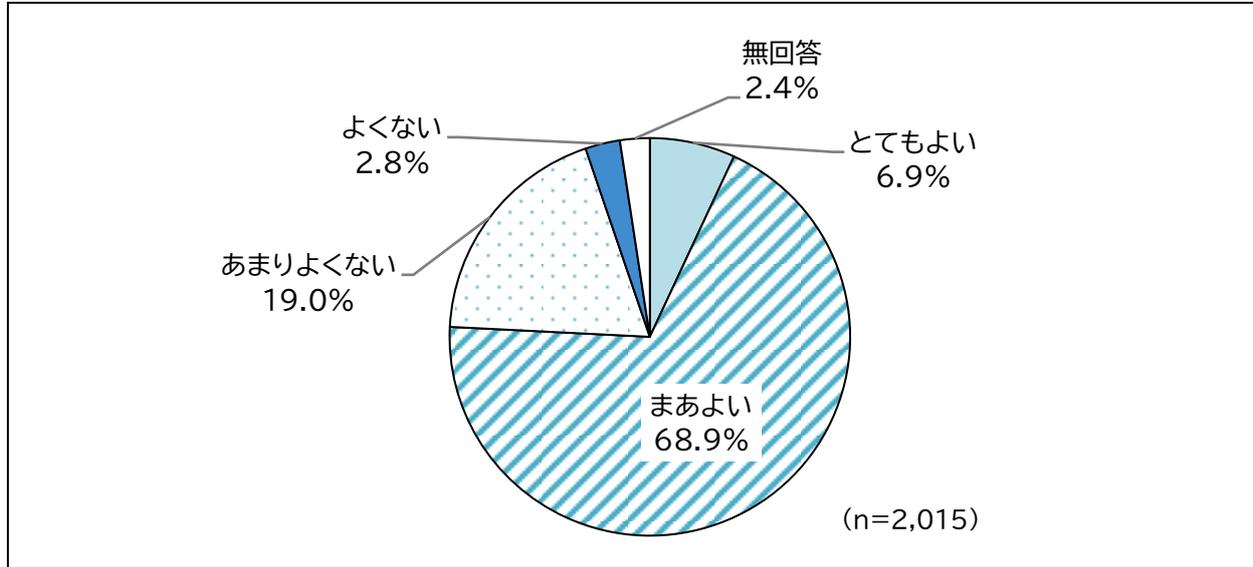
●よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が44.8%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.2%、「仕事での同僚・元同僚」が27.3%となっています。

8. 健康について

(1) 主観的健康感

問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

図表67 主観的健康感(全体)

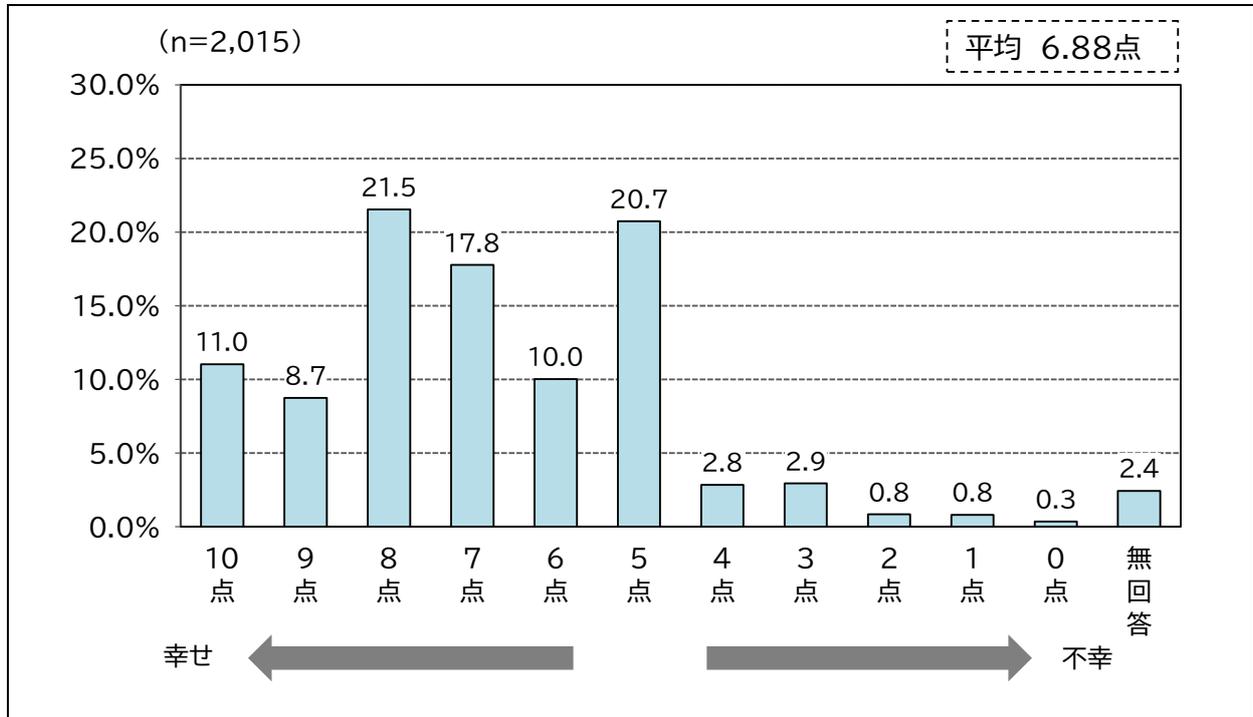


●主観的健康感について、「まあよい」が68.9%で最も多く、次いで「あまりよくない」が19.0%、「とてもよい」が6.9%となっています。「とてもよい」、「まあよい」と回答した人を合算した割合は75.8%、「あまりよくない」、「よくない」と回答した人を合算した割合は21.8%となっています。

(2)主観的幸福感

問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

図表68 主観的幸福感(全体、平均点)



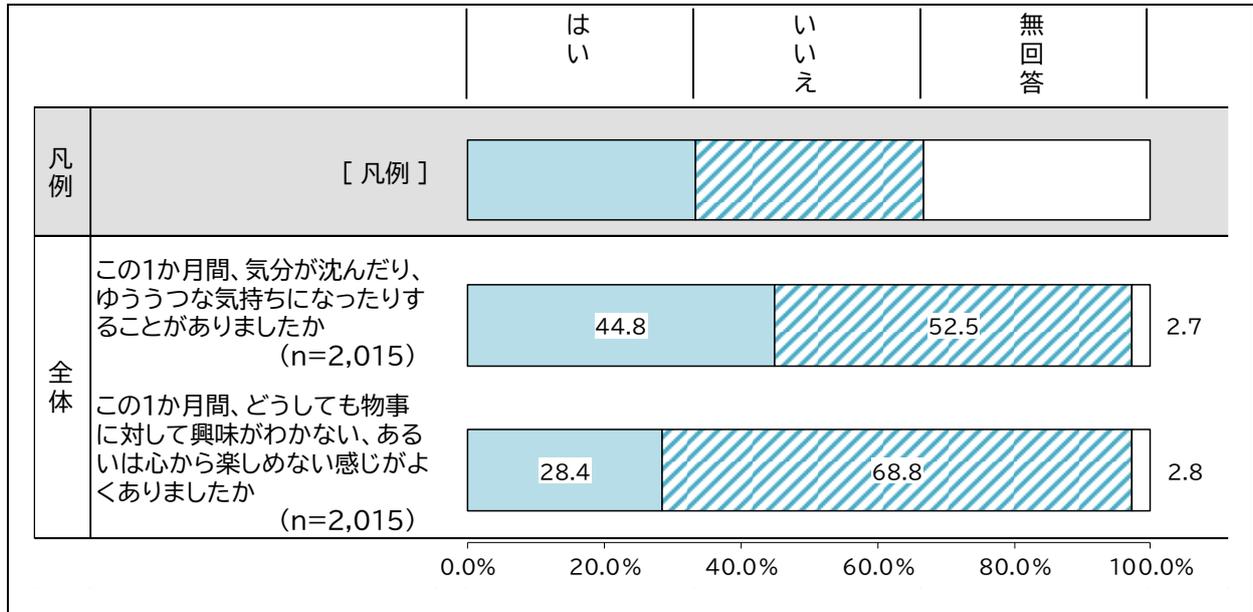
●主観的幸福感について点数で評価したところ、「8点」が21.5%と最も多く、次いで「5点」が20.7%、「7点」が17.8%となっています。平均は6.88点となっています。

(3)うつ傾向について

問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)

問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)

図表69 うつ傾向について(全体)

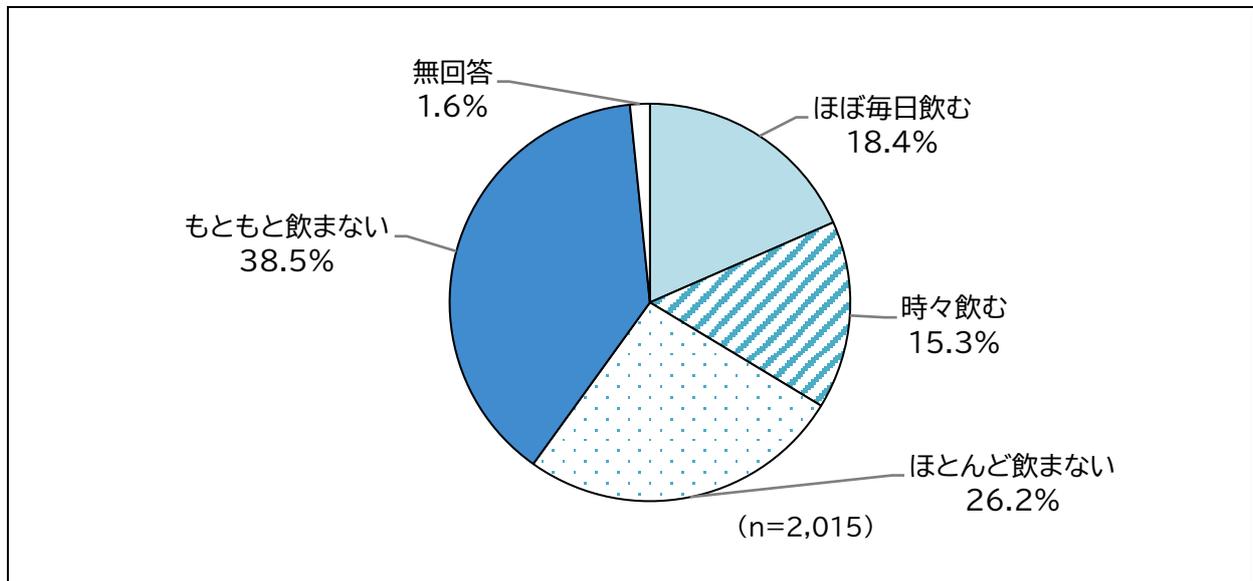


●この1か月のうつ傾向について、「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」について「はい」と回答した人の割合が44.8%、「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」について「はい」と回答した人の割合が28.4%となっています。

(4) 飲酒、喫煙の習慣

問7-5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

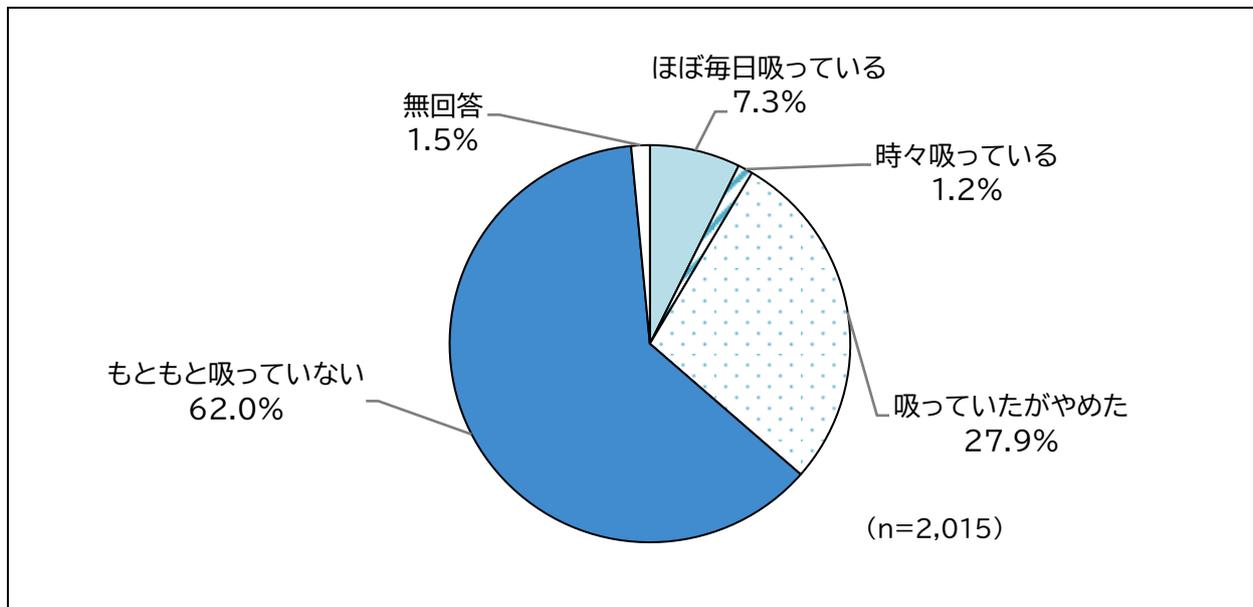
図表70 飲酒の習慣(全体)



● 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が38.5%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が26.2%、「ほぼ毎日飲む」が18.4%となっています。

問7-6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

図表71 喫煙の習慣(全体)

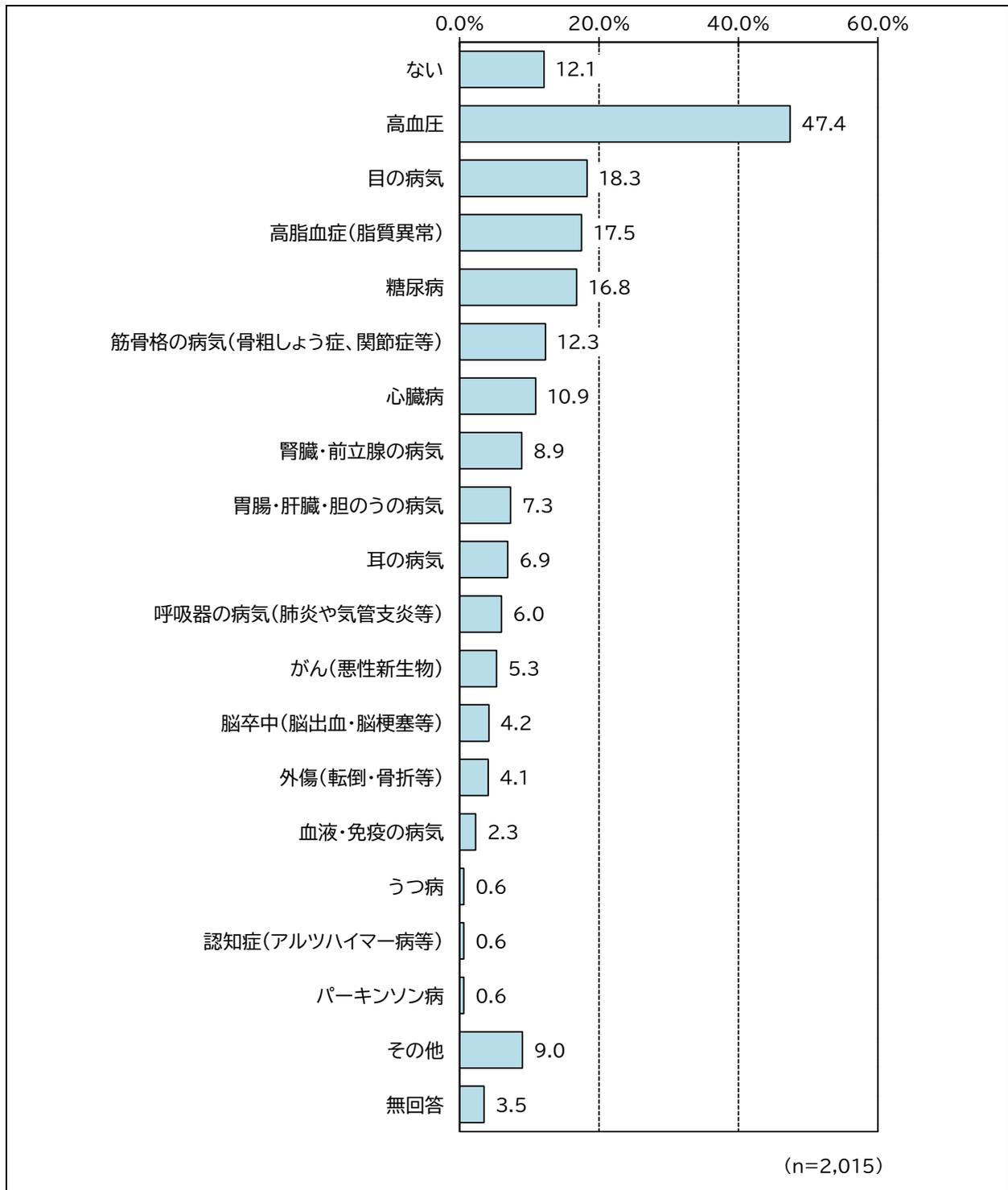


● 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が62.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.9%、「ほぼ毎日吸っている」が7.3%となっています。

(5)現在治療中、後遺症のある病気について

問7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

図表72 現在治療中、後遺症のある病気(全体/複数回答)



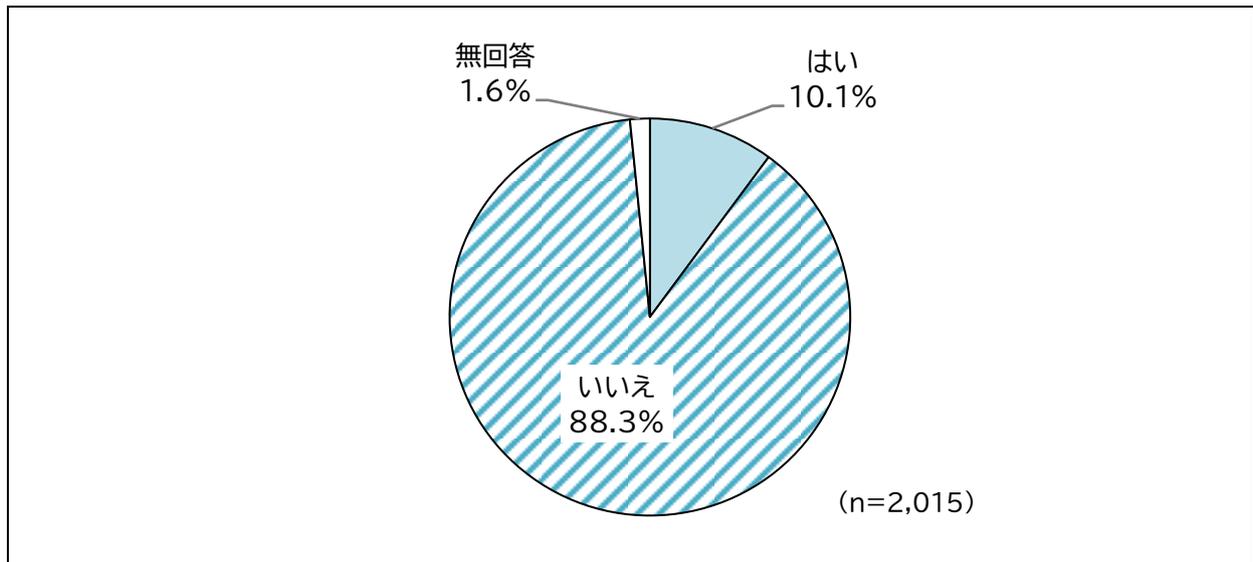
●現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が47.4%で最も多く、次いで「目の病気」が18.3%、「高脂血症(脂質異常)」が17.5%となっています。

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 本人または家族に認知症の症状がある人について

問8-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○)

図表73 本人または家族に認知症の症状がある人の有無について(全体)

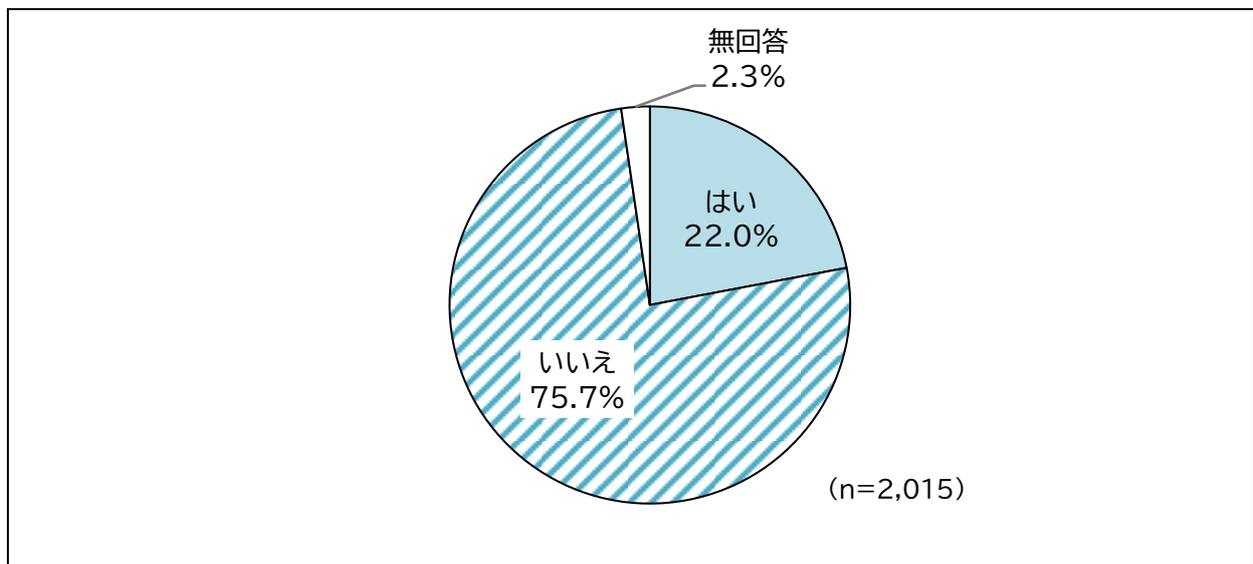


● 自身や家族の認知症の症状の有無について、「はい」が10.1%、「いいえ」が88.3%となっています。

(2) 認知症の相談窓口

問8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

図表74 認知症相談窓口の認知度(全体)

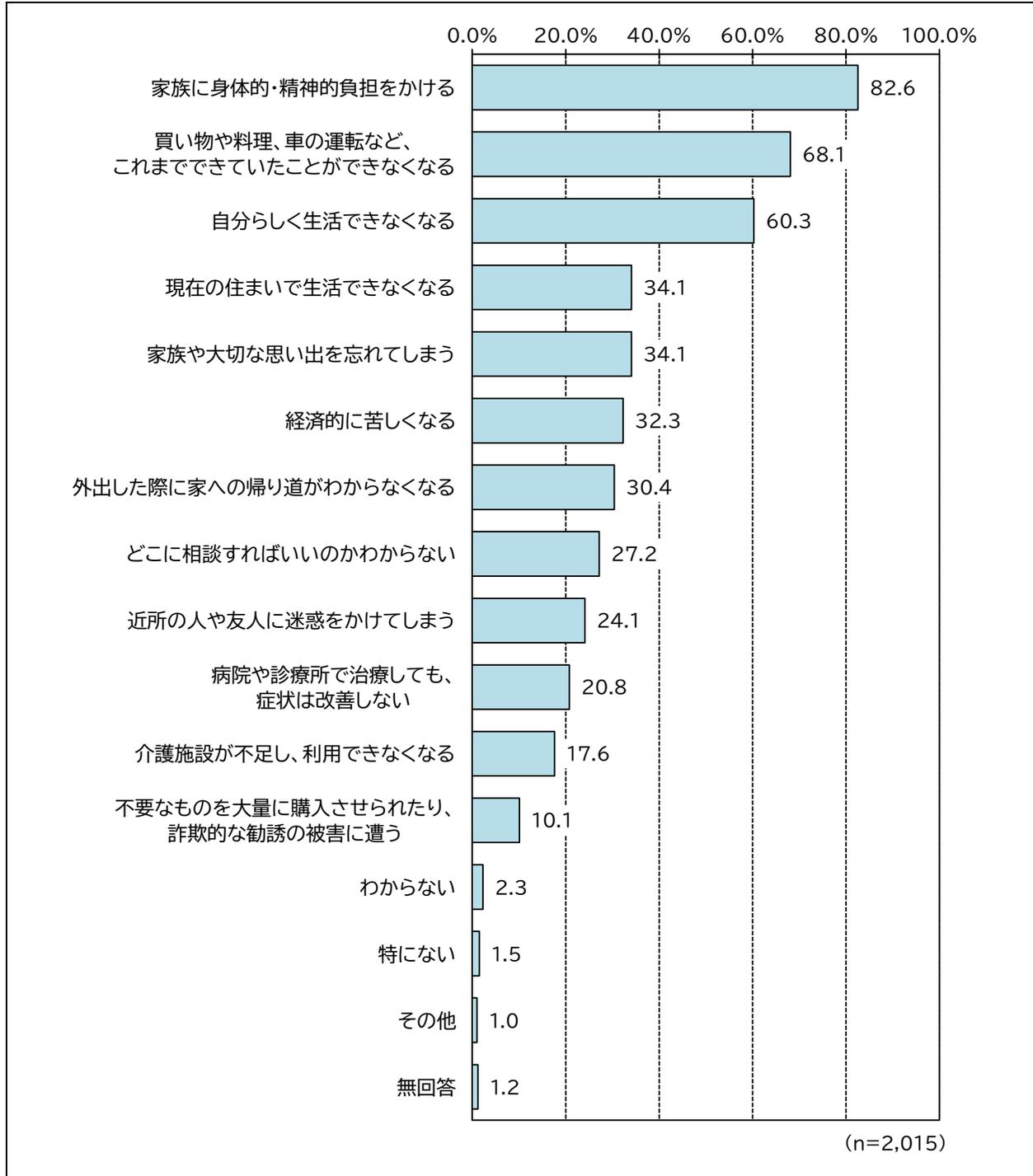


● 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が22.0%、「いいえ」が75.7%となっています。

(3) 認知症に対する不安

問8-3 もし、あなたが認知症になったら、どのようなことに不安を感じるとお思いますか。(いくつでも○)

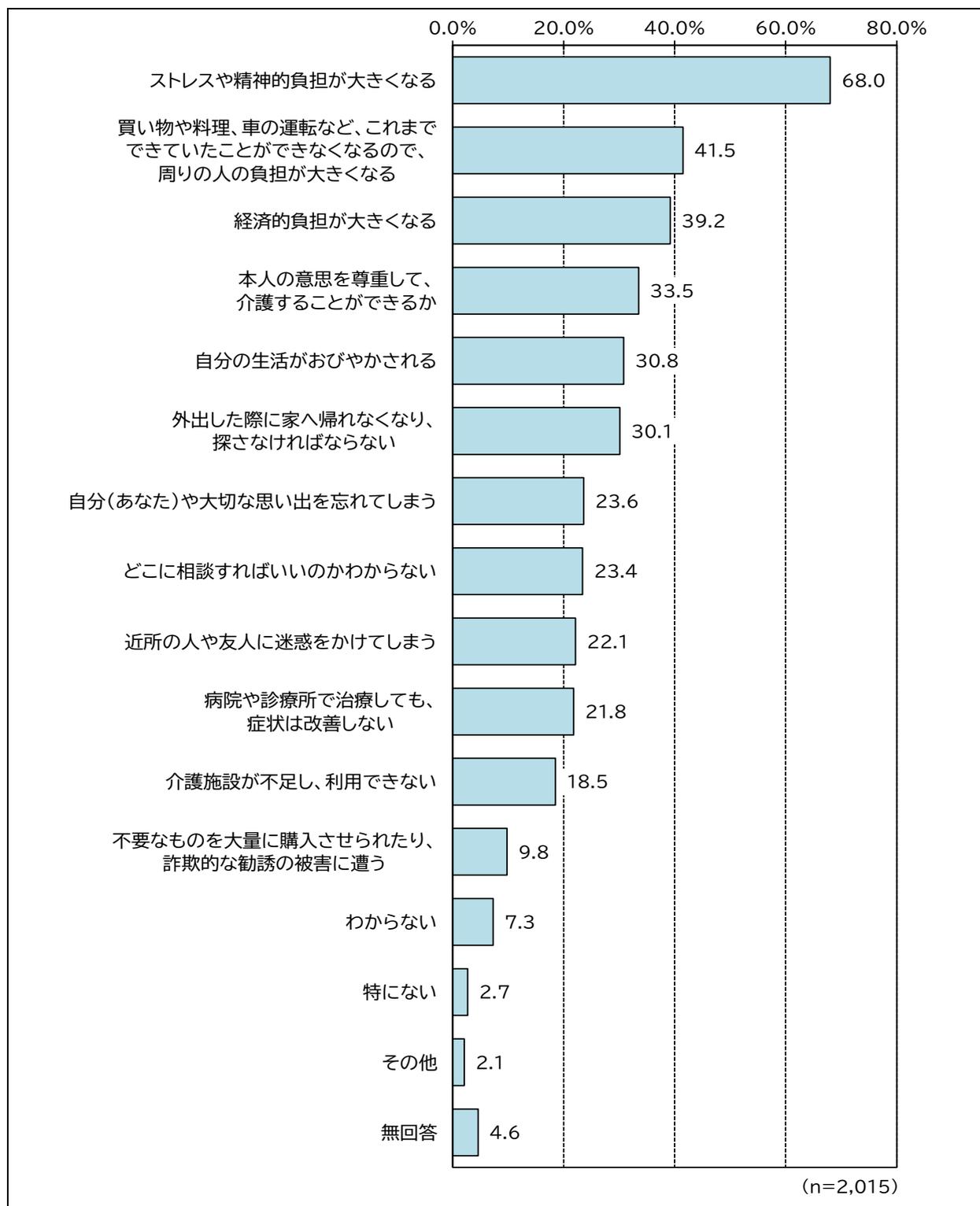
図表75 自分が認知症になった時の不安(全体/複数回答)



●あなたが認知症になったときに不安と覚えることについて、「家族に身体的・精神的負担をかける」が82.6%で最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなる」が68.1%、「自分らしく生活できなくなる」が60.3%となっています。

問8-4 もし、家族が認知症になったとしたら、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困りますか。(いくつでも○)

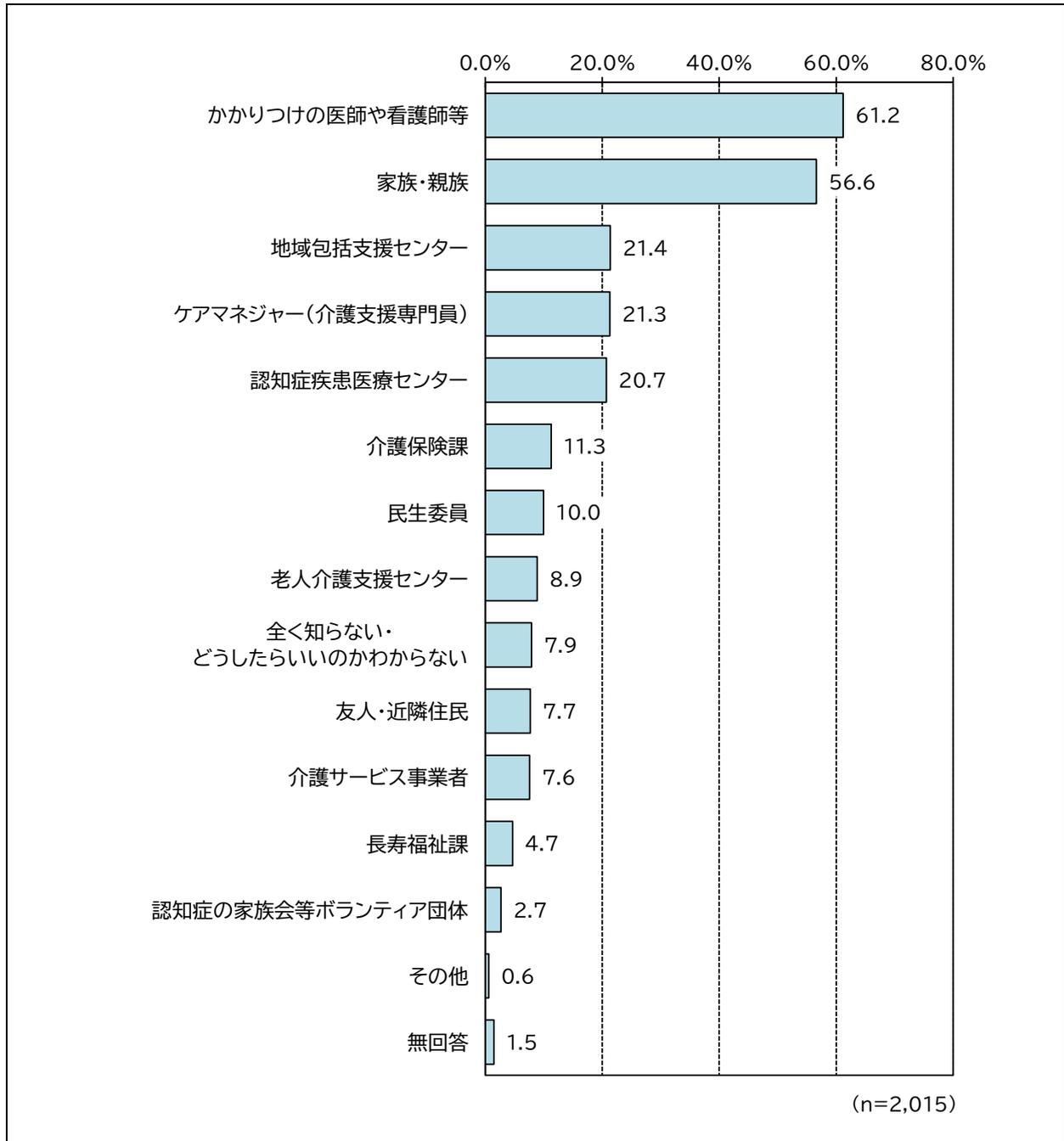
図表76 家族が認知症になった時の不安(全体/複数回答)



●家族が認知症になったとき、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困るかについて、「ストレスや精神的負担が大きくなる」が68.0%で最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなる」が41.5%、「経済的負担が大きくなる」が39.2%となっています。

問8-5 もし、あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときに、どこに相談したいですか。(いくつでも○)

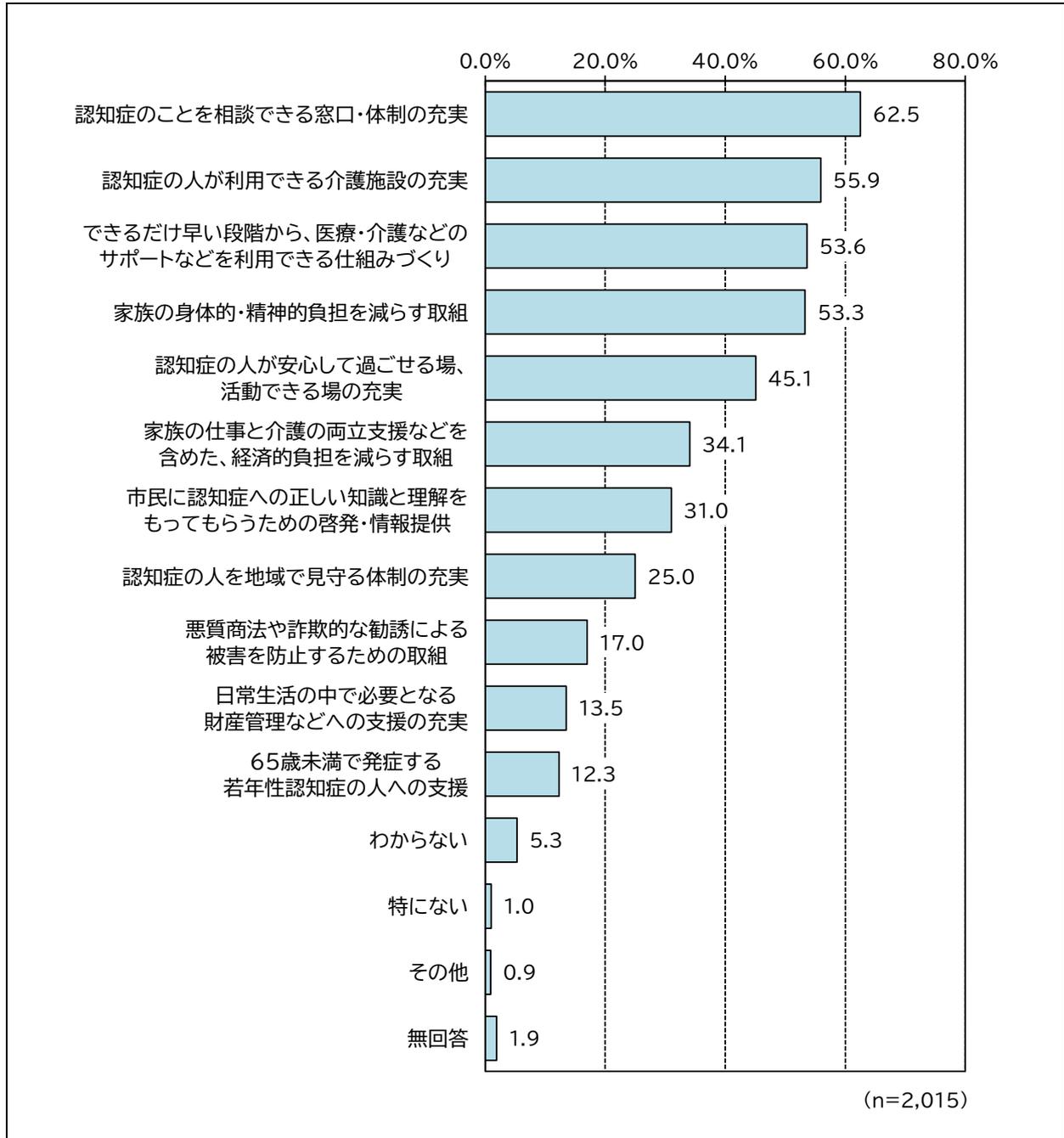
図表77 認知症の疑いが生じた際の相談先(全体/複数回答)



●あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときの相談先について、「かかりつけの医師や看護師等」が61.2%で最も多く、次いで「家族・親族」が56.6%、「地域包括支援センター」が21.4%となっています。

問8-6 認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるためには、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(いくつでも○)

図表78 認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきこと
(全体/複数回答)

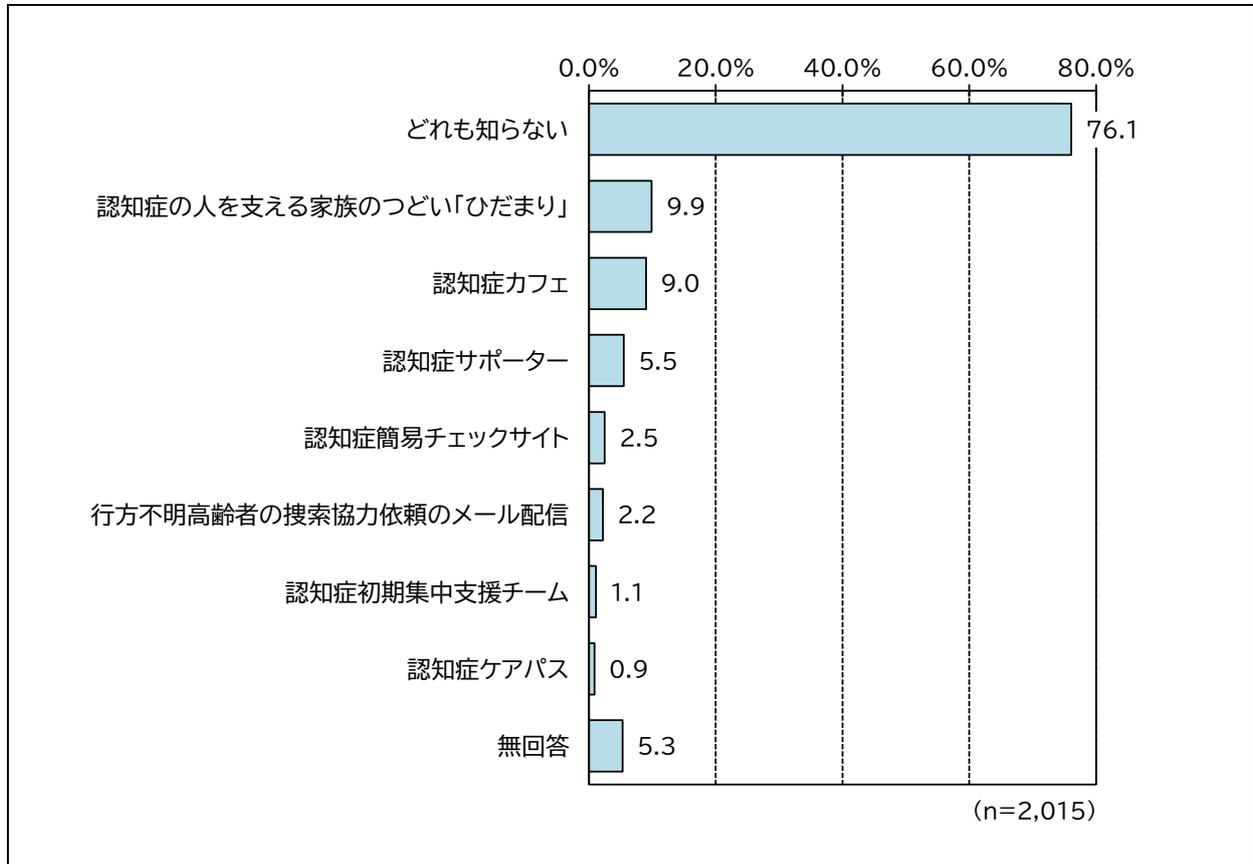


● 認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるために重点を置くべきことについて、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が62.5%で最も多く、次いで「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が55.9%、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートなどを利用できる仕組みづくり」が53.6%となっています。

(4) 認知症に対する取組について

問8-7 高松市の認知症に関する取組について、知っていることはありますか。
(いくつでも○)

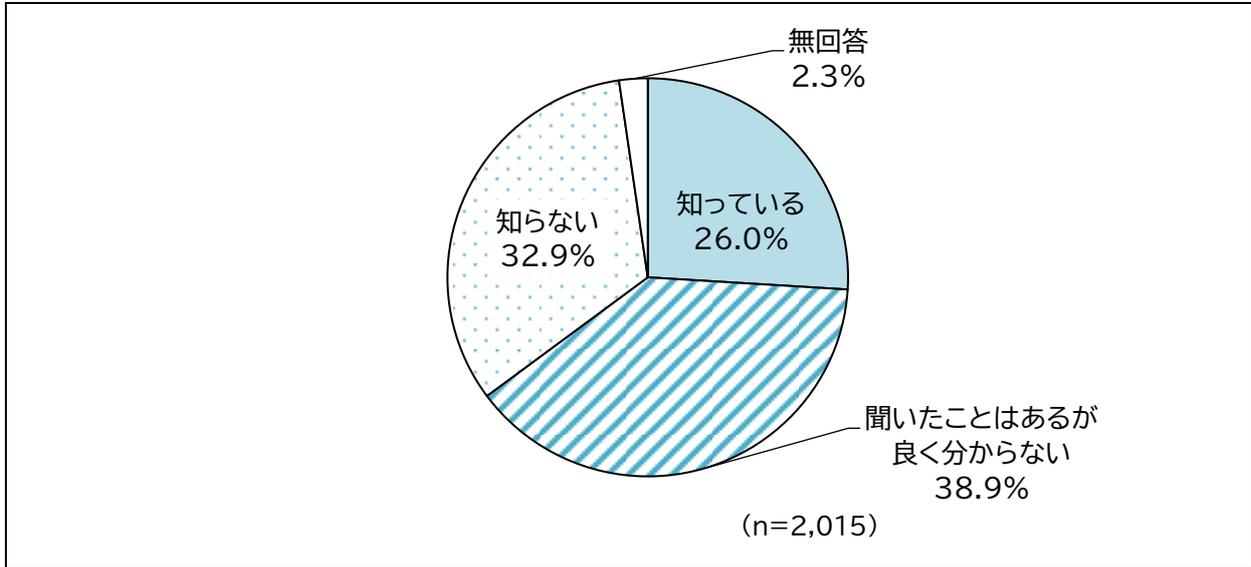
図表79 高松市の認知症に関する取組への認知度(全体/複数回答)



●高松市の認知症に関する取組の認知度について、「どれも知らない」が76.1%で最も多く、次いで「認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」」が9.9%、「認知症カフェ」が9.0%となっています。

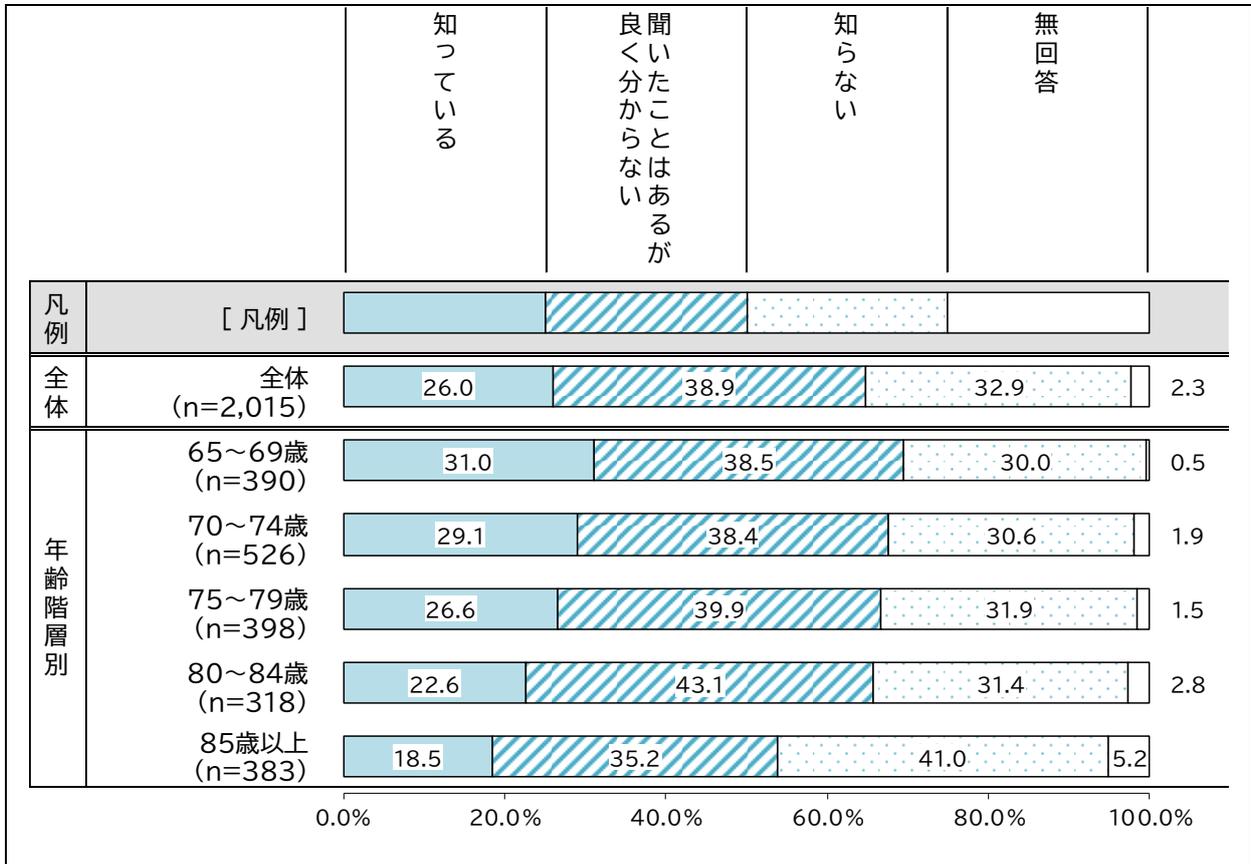
問8-8 認知症等で判断能力が十分でない方に、本人に代わって法的に支援できる成年後見制度を知っていますか。(1つだけ○)

図表80 成年後見制度の認知度(全体)



●成年後見制度の認知度について、「聞いたことはあるが良く分からない」が38.9%で最も多く、次いで「知らない」が32.9%、「知っている」が26.0%となっています。

図表81 成年後見制度の認知度(年齢階層別)



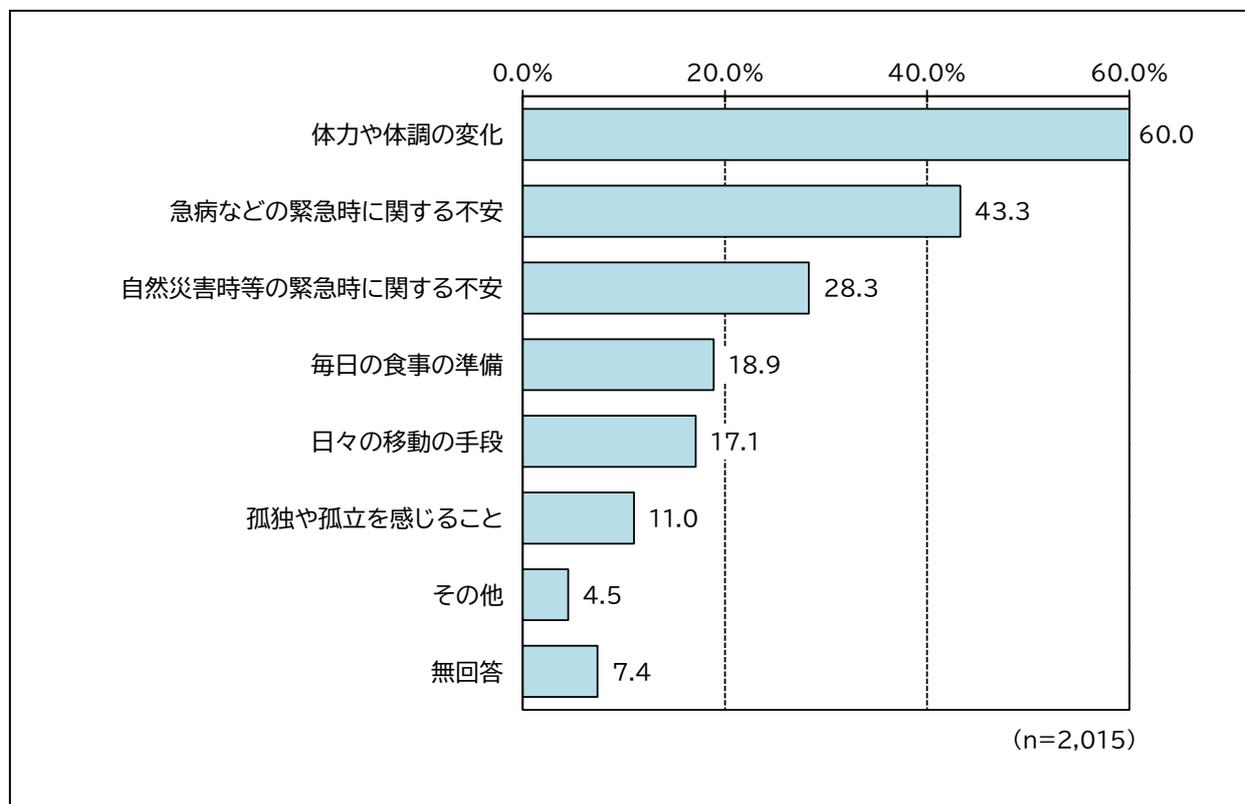
●成年後見制度の認知度を年齢階層別にみると、「知っている」と回答した人の割合は、年齢階層が上がるにつれて低下していくことがわかります。

10. 高齢者に必要な生活支援について

(1) 高齢者の生活について

問9-1 生活の中での不安や困りごとはありませんか。(いくつでも○)

図表82 生活の中の不安や困りごと(全体/複数回答)



●生活の中での不安や困りごとについて、「体力や体調の変化」が60.0%で最も多く、次いで「急病などの緊急時に関する不安」が43.3%、「自然災害時等の緊急時に関する不安」が28.3%となっています。

図表83 生活の中の不安や困りごと(年齢階層別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		体力や体調の変化 60.0	急病などの緊急時に 関する不安 43.3	自然災害時等の緊急 時に関する不安 28.3
年 齢 階 層 別	65~69歳 (n=390)	体力や体調の変化 62.6	急病などの緊急時に 関する不安 38.7	自然災害時等の緊急 時に関する不安 24.9
	70~74歳 (n=526)	体力や体調の変化 60.3	急病などの緊急時に 関する不安 39.4	自然災害時等の緊急 時に関する不安 23.8
	75~79歳 (n=398)	体力や体調の変化 57.8	急病などの緊急時に 関する不安 42.7	自然災害時等の緊急 時に関する不安 26.9
	80~84歳 (n=318)	体力や体調の変化 58.8	急病などの緊急時に 関する不安 51.6	自然災害時等の緊急 時に関する不安 35.5
	85歳以上 (n=383)	体力や体調の変化 60.1	急病などの緊急時に 関する不安 47.3	自然災害時等の緊急 時に関する不安 33.4

- 生活の中の不安や困りごとを年齢階層別にみると、すべての年齢階層で同じ順位となっています。「体力や体調の変化」と回答した人の割合が最も高く、次いで、「急病などの緊急時に関する不安」、「自然災害時等の緊急時に関する不安」と続いています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表84 生活の中の不安や困りごと(日常生活圏域別)

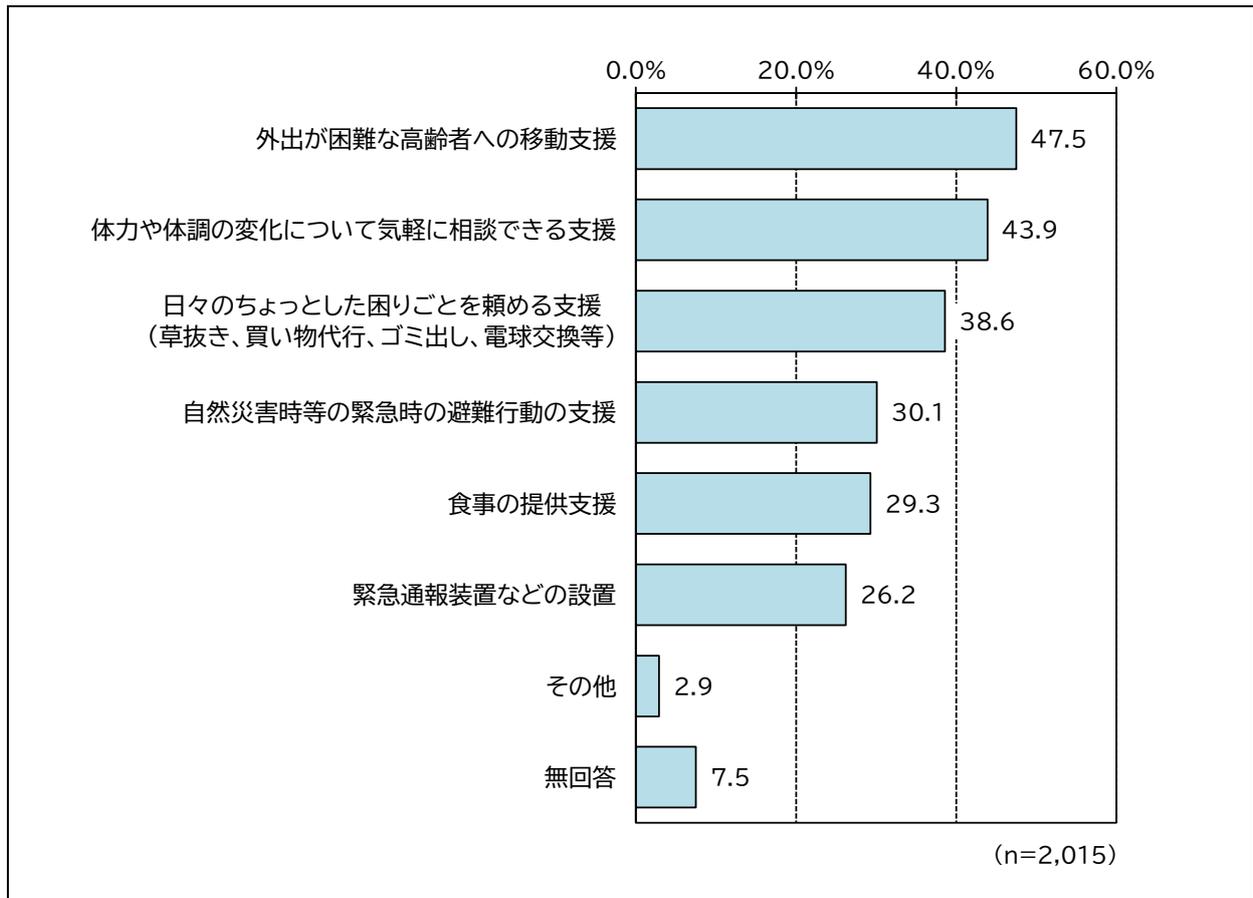
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
日常生活圏域	全体 (n=2,015)	体力や体調の変化 60.0	急病などの緊急時に関する不安 43.3	自然災害時等の緊急時に関する不安 28.3
	中央西 (n=157)	体力や体調の変化 61.1	急病などの緊急時に関する不安 42.0	自然災害時等の緊急時に関する不安 33.8
	中央東 (n=195)	体力や体調の変化 58.5	急病などの緊急時に関する不安 46.7	自然災害時等の緊急時に関する不安 30.3
	鶴尾 (n=56)	体力や体調の変化 58.9	急病などの緊急時に関する不安 42.9	自然災害時等の緊急時に関する不安 26.8
	太田 (n=130)	体力や体調の変化 57.7	急病などの緊急時に関する不安 43.1	自然災害時等の緊急時に関する不安 30.0
	一宮 (n=89)	体力や体調の変化 69.7	急病などの緊急時に関する不安 48.3	日々の移動の手段 29.2
	香東 (n=112)	体力や体調の変化 58.0	急病などの緊急時に関する不安 33.0	自然災害時等の緊急時に関する不安 21.4
	木太 (n=115)	体力や体調の変化 49.6	急病などの緊急時に関する不安 40.0	自然災害時等の緊急時に関する不安 31.3
	古高松 (n=103)	体力や体調の変化 49.5	急病などの緊急時に関する不安 40.8	自然災害時等の緊急時に関する不安 34.0
	屋島 (n=93)	体力や体調の変化 64.5	急病などの緊急時に関する不安 48.4	自然災害時等の緊急時に関する不安 40.9
	協和 (n=123)	体力や体調の変化 68.3	急病などの緊急時に関する不安 43.1	毎日の食事の準備/ 自然災害時等の緊急時に関する不安 22.8
	龍雲 (n=114)	体力や体調の変化 57.9	急病などの緊急時に関する不安 36.8	自然災害時等の緊急時に関する不安 24.6
	山田 (n=124)	体力や体調の変化 68.5	急病などの緊急時に関する不安 39.5	毎日の食事の準備 23.4
	勝負・下笠居 (n=170)	体力や体調の変化 58.2	急病などの緊急時に関する不安 41.8	自然災害時等の緊急時に関する不安 30.0
	塩江 (n=14)	体力や体調の変化/急病などの緊急時に関する不安 57.1		日々の移動の手段 28.6
	香川 (n=133)	体力や体調の変化 59.4	急病などの緊急時に関する不安 51.9	自然災害時等の緊急時に関する不安 30.8
	香南 (n=40)	体力や体調の変化 60.0	急病などの緊急時に関する不安 50.0	毎日の食事の準備 22.5
	牟礼 (n=100)	体力や体調の変化 62.0	急病などの緊急時に関する不安 45.0	自然災害時等の緊急時に関する不安 29.0
	庵治 (n=33)	体力や体調の変化 63.6	日々の移動の手段/急病などの緊急時に関する不安 39.4	
	国分寺 (n=114)	体力や体調の変化 58.8	急病などの緊急時に関する不安 46.5	自然災害時等の緊急時に関する不安 24.6

●生活の中の不安や困りごとを日常生活圏域別にみると、「体力や体調の変化」、「急病などの緊急時に関する不安」という回答項目が、すべての圏域で3位以内にはいっています。特に、「体力や体調の変化」はすべての圏域で第1位となっています。

問9-2 どのような生活支援があればいいと思いますか。(いくつでも○)

図表85 必要な生活支援(全体/複数回答)



●必要な生活支援について、「外出が困難な高齢者への移動支援」が47.5%で最も多く、次いで「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」が43.9%、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援(草抜き、買い物代行、ゴミ出し、電球交換等)」が38.6%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表86 必要な生活支援(年齢階層別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		外出が困難な高齢者への移動支援 47.5	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 43.9	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 38.6
年齢階層別	65~69歳 (n=390)	外出が困難な高齢者への移動支援 51.5	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 45.9	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 42.3
	70~74歳 (n=526)	外出が困難な高齢者への移動支援 46.0	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 43.3	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 39.7
	75~79歳 (n=398)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 48.7	外出が困難な高齢者への移動支援 44.0	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 36.9
	80~84歳 (n=318)	外出が困難な高齢者への移動支援 52.2	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 40.6	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 36.5
	85歳以上 (n=383)	外出が困難な高齢者への移動支援 45.4	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 43.9	日々のちょっとした困りごとを頼める支援／ 自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 32.9

●必要な生活支援を年齢階層別にみると、「外出が困難な高齢者への移動支援」「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援」という回答項目が、すべての年齢階層で3位以内にはなっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表87 必要な生活支援(日常生活圏域別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		外出が困難な高齢者への移動支援 47.5	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 43.9	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 38.6
日常生活圏域	中央西 (n=157)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 43.3	外出が困難な高齢者への移動支援 40.1	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 38.2
	中央東 (n=195)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 48.7	外出が困難な高齢者への移動支援 41.0	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 40.5
	鶴尾 (n=56)	外出が困難な高齢者への移動支援 50.0	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 41.1	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 37.5
	太田 (n=130)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 49.2	外出が困難な高齢者への移動支援 47.7	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 33.8
	一宮 (n=89)	外出が困難な高齢者への移動支援 48.3	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 43.8	食事の提供支援 37.1
	香東 (n=112)	外出が困難な高齢者への移動支援 55.4	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 38.4	食事の提供支援/日々のちょっとした困りごとを頼める支援 32.1
	木太 (n=115)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 48.7	外出が困難な高齢者への移動支援 40.9	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 39.1
	古高松 (n=103)	外出が困難な高齢者への移動支援 49.5	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 40.8	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 37.9
	屋島 (n=93)	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 50.5	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 43.0	外出が困難な高齢者への移動支援 39.8
	協和 (n=123)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 46.3	外出が困難な高齢者への移動支援 43.1	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 32.5
	龍雲 (n=114)	外出が困難な高齢者への移動支援 50.9	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 47.4	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 45.6
	山田 (n=124)	外出が困難な高齢者への移動支援 47.6	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 44.4	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 41.9
	勝賀・下笠居 (n=170)	外出が困難な高齢者への移動支援 50.6	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 40.6	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 35.9
	塩江 (n=14)	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 57.1	外出が困難な高齢者への移動支援/日々のちょっとした困りごとを頼める支援 50.0	
	香川 (n=133)	外出が困難な高齢者への移動支援 53.4	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 48.1	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 37.6
	香南 (n=40)	外出が困難な高齢者への移動支援 47.5	食事の提供支援 40.0	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援/日々のちょっとした困りごとを頼める支援/緊急通報装置などの設置 35.0
	牟礼 (n=100)	外出が困難な高齢者への移動支援 53.0	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 45.0	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 39.0
	庵治 (n=33)	外出が困難な高齢者への移動支援 54.5	日々のちょっとした困りごとを頼める支援 51.5	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 42.4
国分寺 (n=114)	外出が困難な高齢者への移動支援 53.5	体力や体調の変化について気軽に相談できる支援 45.6	自然災害時等の緊急時の避難行動の支援 30.7	

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

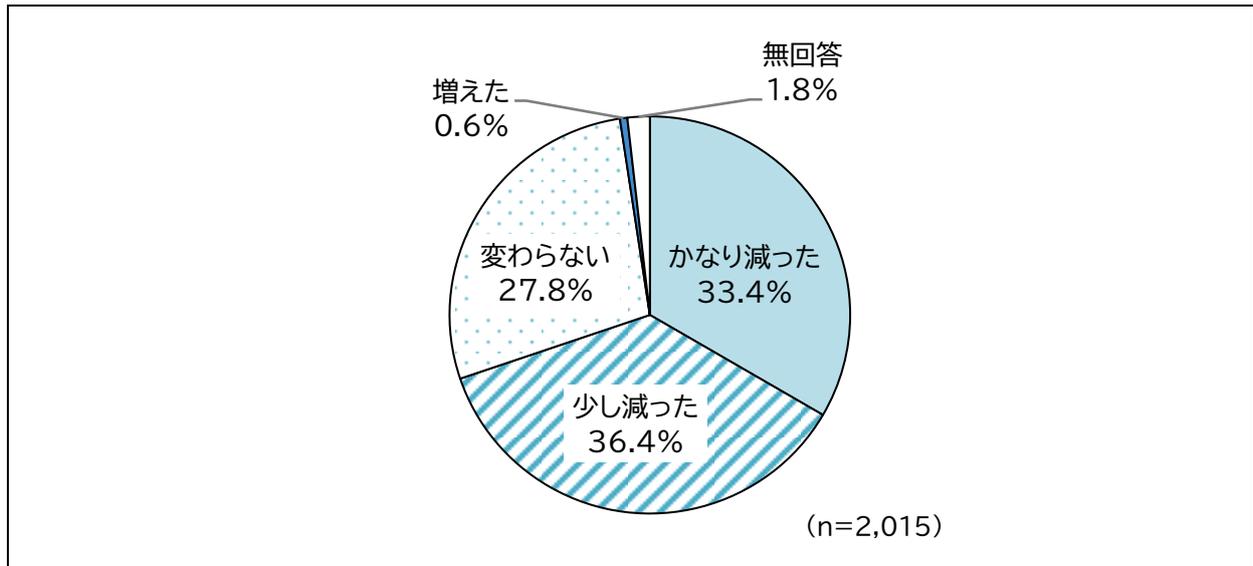
- 必要な生活支援を日常生活圏域別にみると、「外出が困難な高齢者への移動支援」と回答した人の割合が最も高かった圏域は12圏域、「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」と回答した人の割合が最も高かった圏域は6圏域、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援」と回答した人の割合が最も高かった圏域は1圏域となっています。第3位には、「食事の提供支援」、「緊急通報装置などの設置」、「自然災害時等の緊急時の避難行動の支援」といった回答項目も入っており、求められる必要な生活支援は圏域によって違うことがみてとれます。

11. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて

(1) 高齢者の居場所づくり

問10-1 家族や友人等身近な人と過ごす時間は、新型コロナウイルス感染症流行前と比べて変化しましたか。(1つだけ○)

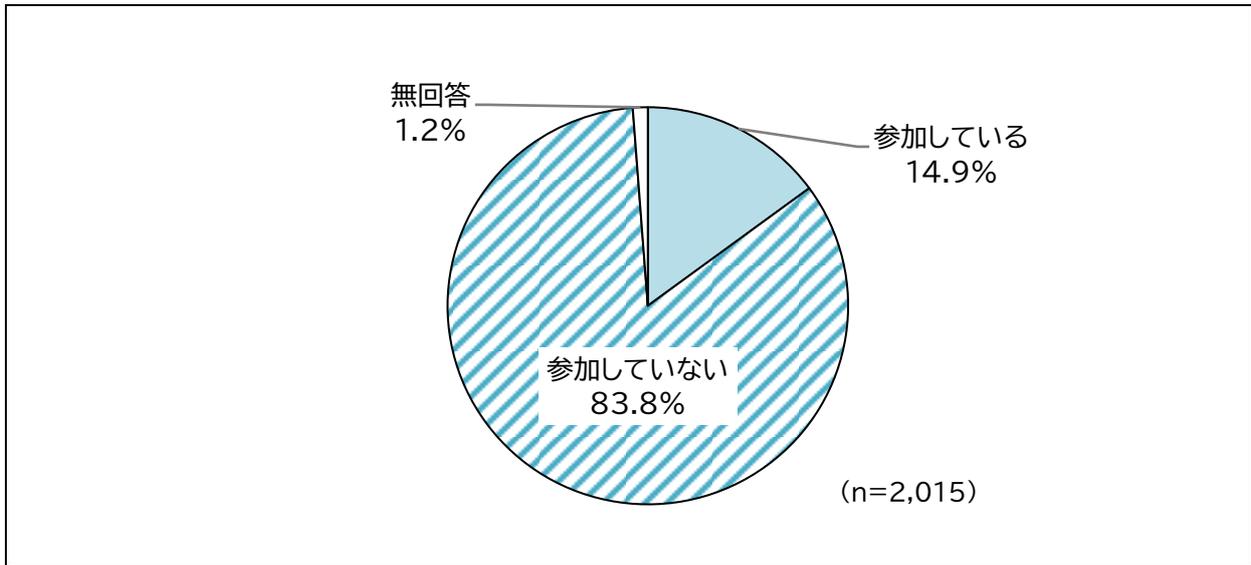
図表88 身近な人と過ごす時間の変化(全体)



●新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、家族や友人等身近な人と過ごす時間の変化について、「少し減った」が36.4%で最も多く、次いで「かなり減った」が33.4%、「変わらない」が27.8%となっています。

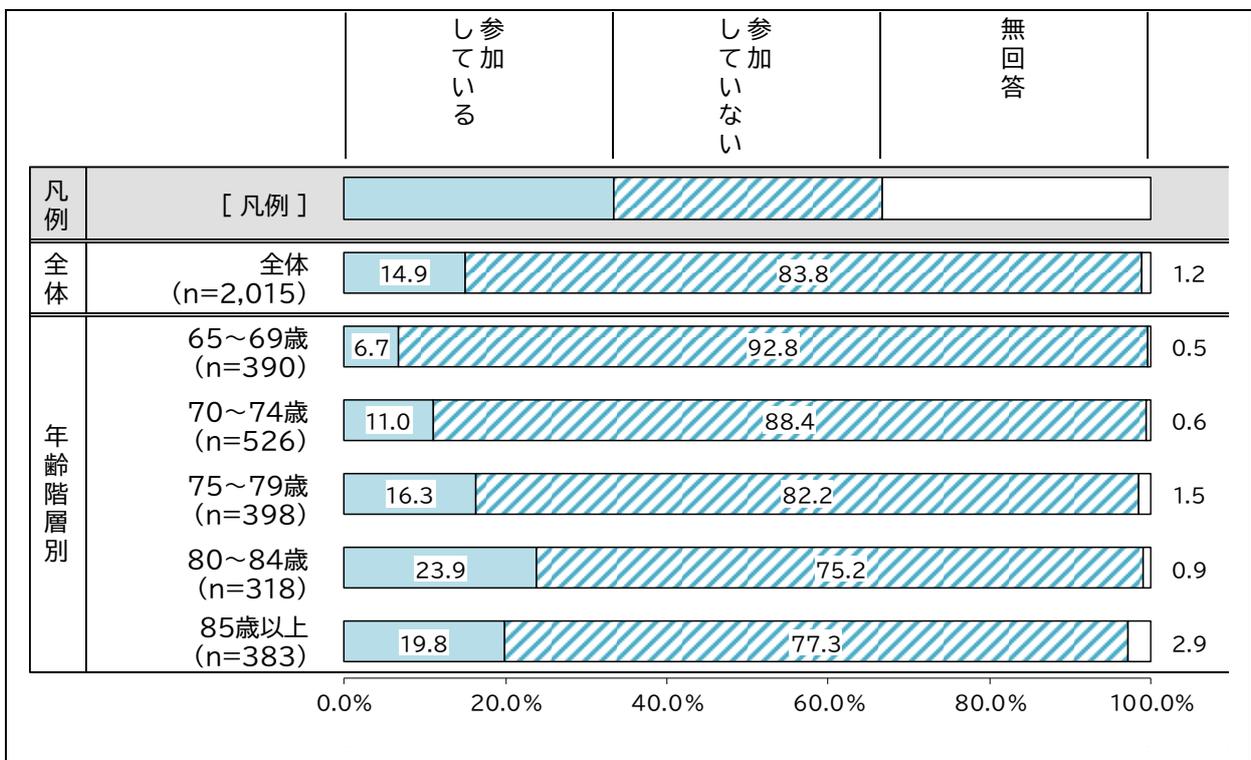
問10-2 高齢者が気軽に集える場所に参加していますか。(1つだけ○)

図表89 高齢者が集える場所への参加状況(全体)



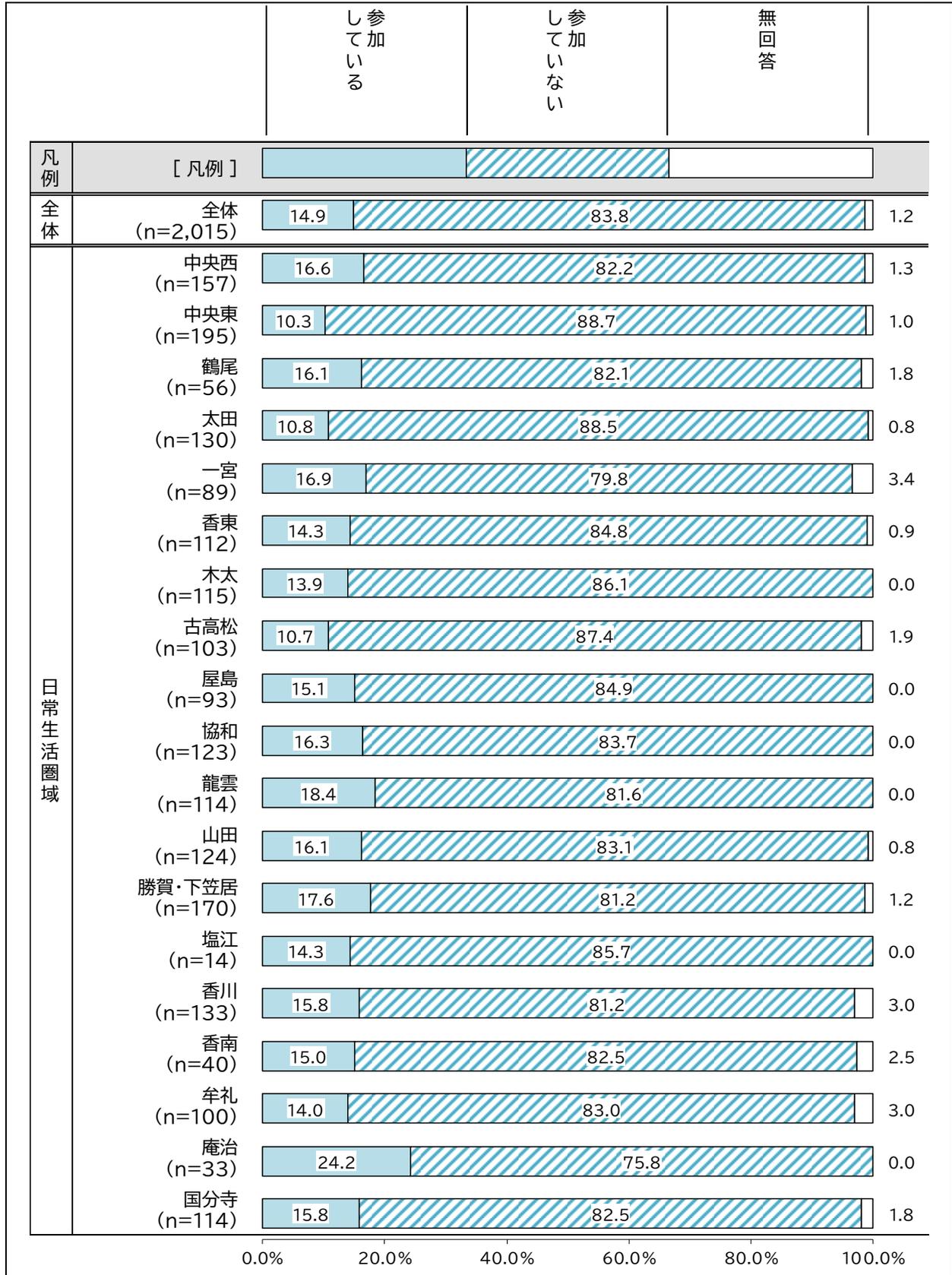
● 高齢者が気軽に集える場所への参加状況について、「参加している」が14.9%、「参加していない」が83.8%となっています。

図表90 高齢者が集える場所への参加状況(年齢階層別)



● 高齢者が集える場所への参加状況を年齢階層別にみると、「参加している」と回答した人の割合は、「80~84歳」が最も高く23.9%となっています。次いで、「85歳以上」19.8%、「75~79歳」16.3%と続いています。

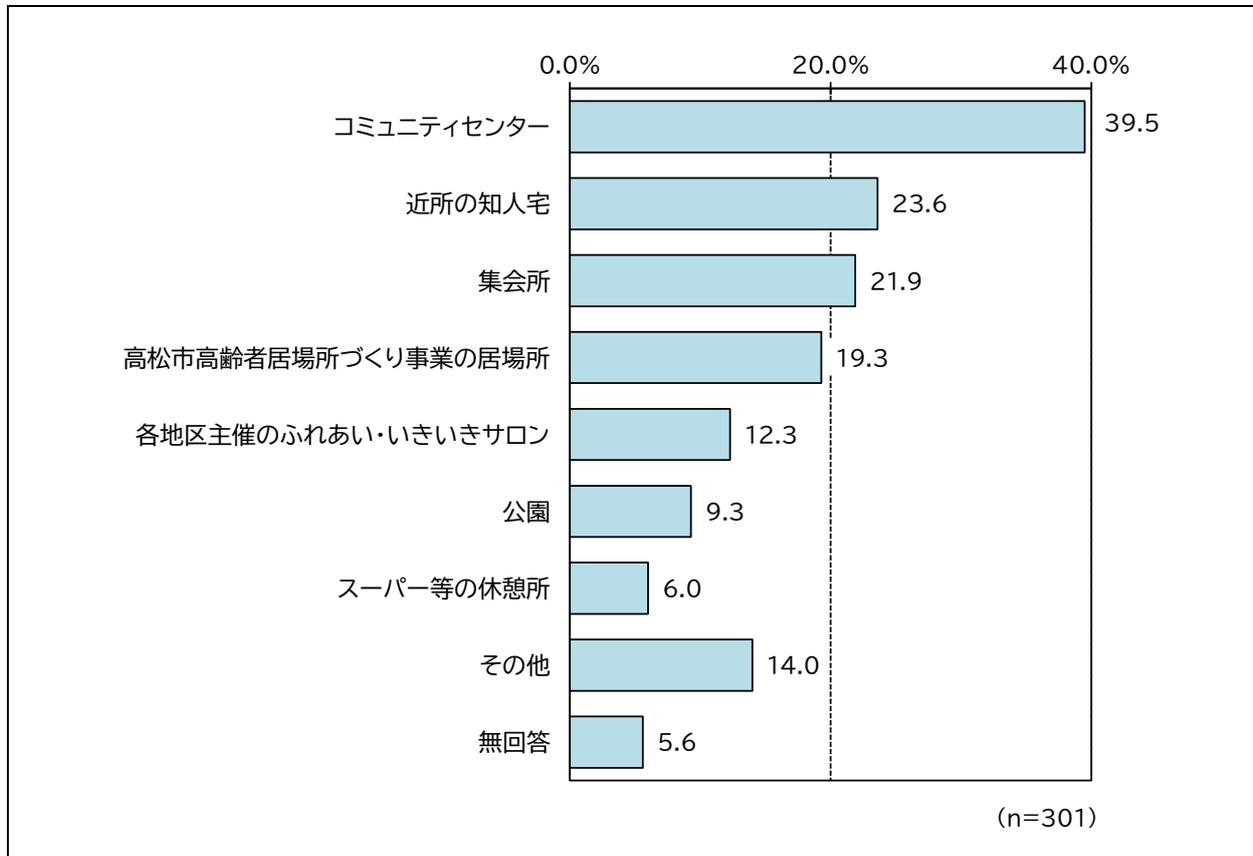
図表91 高齢者が集える場所の参加状況(日常生活圏域別)



● 高齢者が集える場所の参加状況を日常生活圏域別にみると、「参加している」と回答した人の割合は、「庵治」が最も高く、24.2%となっています。次いで、「龍雲」18.4%、「勝賀・下笠居」17.6%と続いています。

問10-2で「1.参加している」と回答した方
 問10-2-1 気軽に集える場所は、次のどれですか。(いくつでも○)

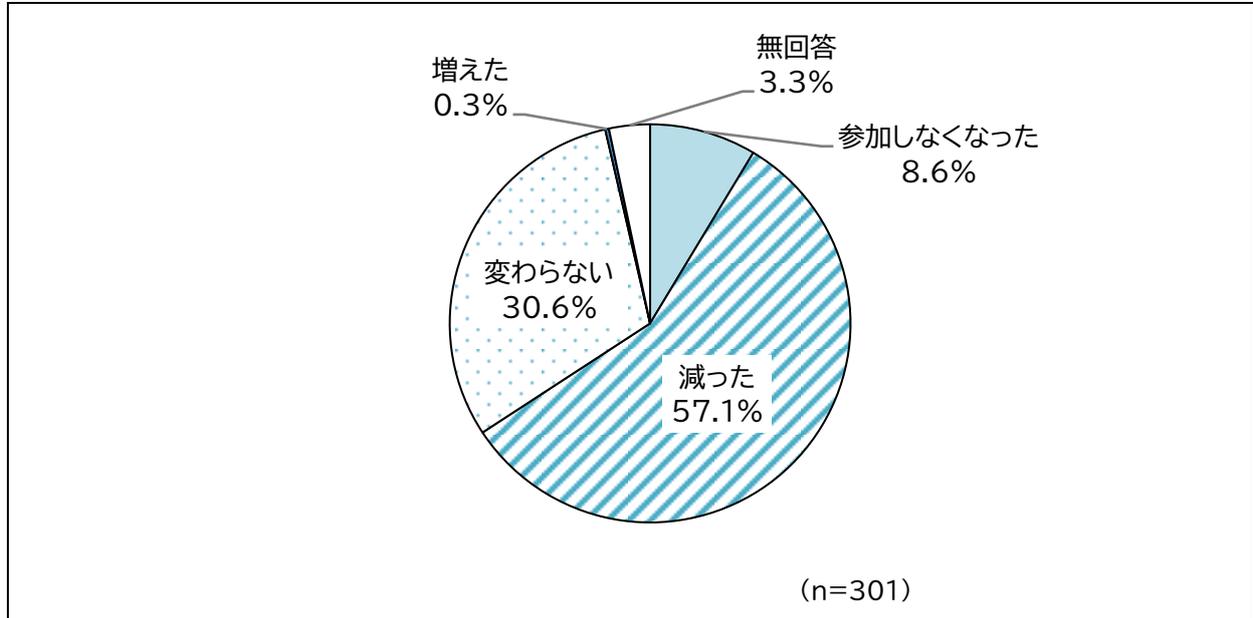
図表92 高齢者が気軽に集える場所(全体/複数回答)



●気軽に集える場所について、「コミュニティセンター」が39.5%で最も多く、次いで「近所の知人宅」が23.6%、「集会所」が21.9%となっています。

問10-2で「1.参加している」と回答した方
問10-2-2 新型コロナウイルス感染症流行前と比べ、参加頻度は変化しましたか。
(1つだけ○)

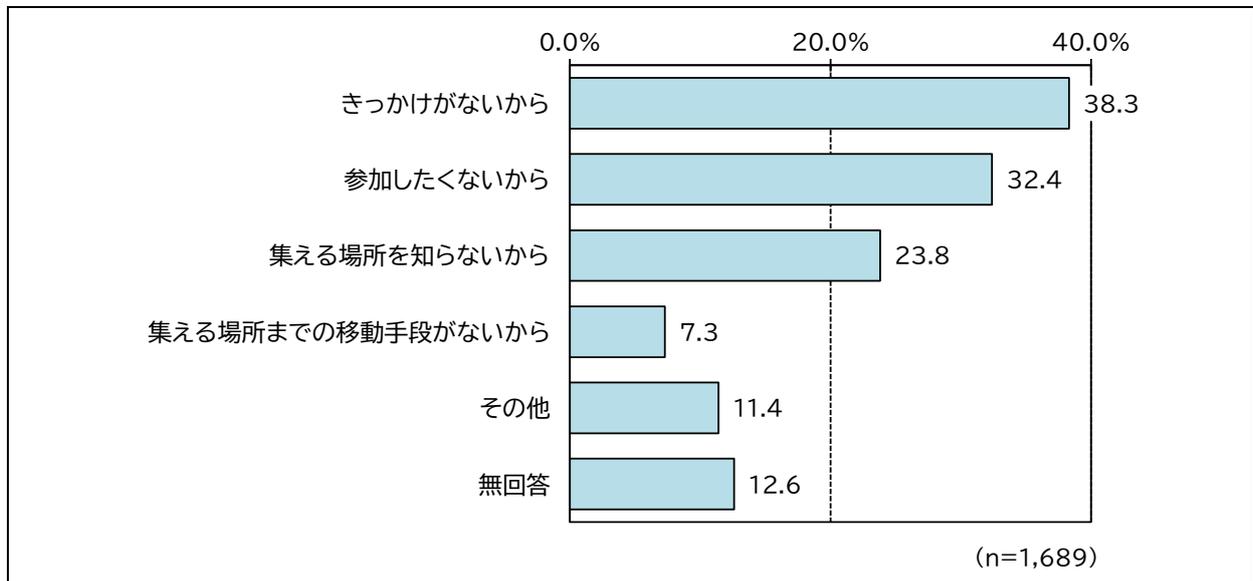
図表93 新型コロナウイルス感染症流行前と比べた参加頻度(全体)



●新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、高齢者が気軽に集える場所への参加頻度の変化について、「減った」が57.1%で最も多く、次いで「変わらない」が30.6%、「参加しなくなった」が8.6%となっています。

問10-2で「2. 参加していない」と回答した方
 問10-2-3 参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)

図表94 集える場所に参加しない理由(全体/複数回答)



● 高齢者が気軽に集える場所に参加しない理由について、「きっかけがないから」が38.3%で最も多く、次いで「参加したくないから」が32.4%、「集える場所を知らないから」が23.8%となっています。

図表95 集える場所に参加しない理由(年齢階層別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,689)		きっかけがないから 38.3	参加したくないから 32.4	集える場所を知らないから 23.8
年齢階層別	65~69歳 (n=362)	きっかけがないから 40.3	参加したくないから 32.0	集える場所を知らないから 25.4
	70~74歳 (n=465)	きっかけがないから 43.7	参加したくないから 32.5	集える場所を知らないから 24.3
	75~79歳 (n=327)	きっかけがないから 41.0	参加したくないから 31.2	集える場所を知らないから 21.1
	80~84歳 (n=239)	きっかけがないから 36.4	集える場所を知らないから/参加したくないから 29.3	
	85歳以上 (n=296)	参加したくないから 36.5	きっかけがないから 26.0	集える場所までの移動手段がないから 19.6

● 集える場所に参加しない理由を年齢階層別にみると、「65~84歳」の4つの年齢階層では、「きっかけがないから」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「85歳以上」は、「参加したくないから」と回答した人の割合が最も高くなっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表96 集える場所に参加しない理由(日常生活圏域別)

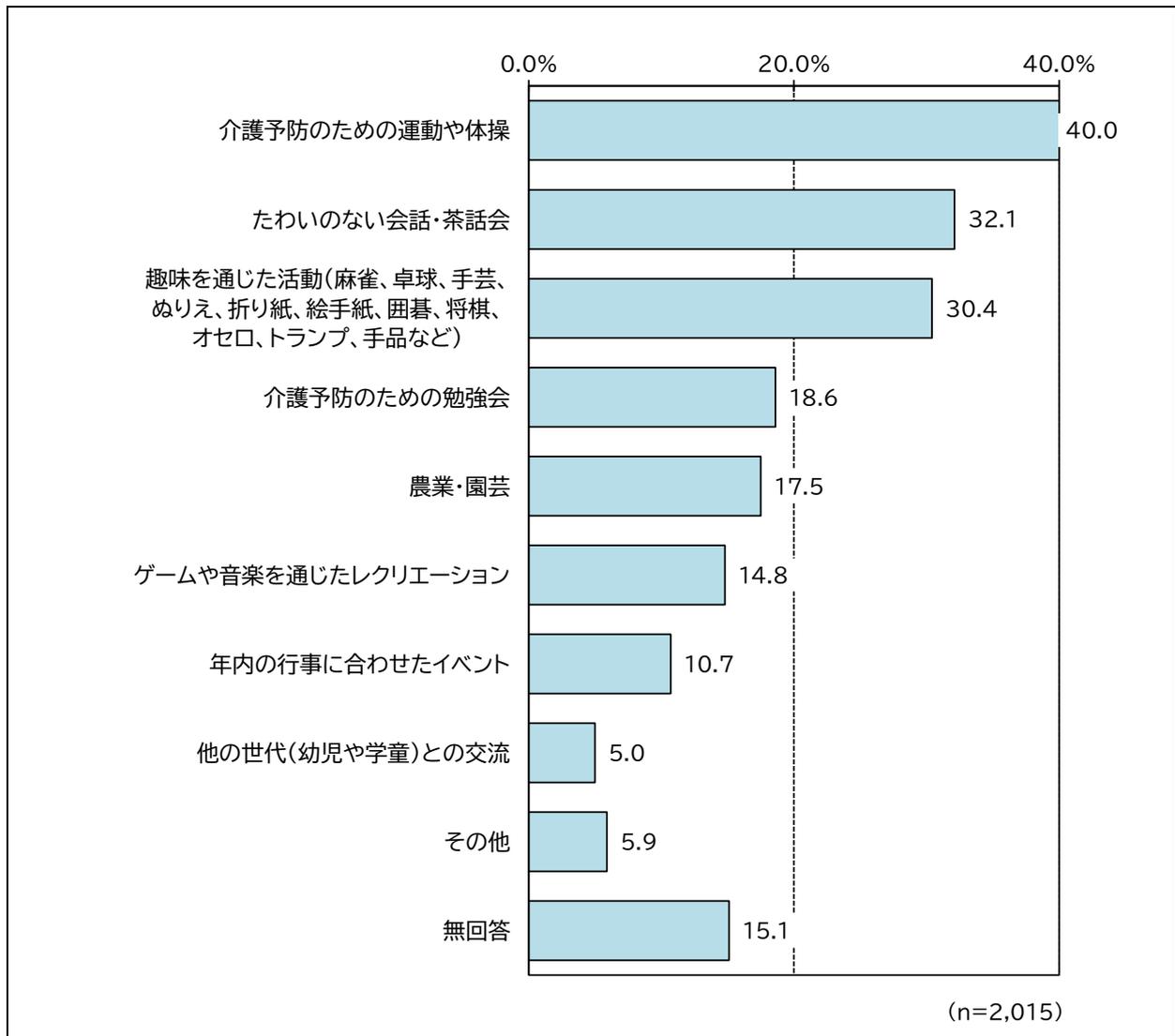
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,689)		きっかけがないから 38.3	参加したくないから 32.4	集える場所を知らないから 23.8
日常生活圏域	中央西 (n=129)	きっかけがないから 43.4	参加したくないから 31.0	集える場所を知らないから 23.3
	中央東 (n=173)	きっかけがないから/参加したくないから 35.8		集える場所を知らないから 20.8
	鶴尾 (n=46)	参加したくないから 28.3	集える場所を知らないから/きっかけがないから 26.1	
	太田 (n=115)	きっかけがないから 36.5	参加したくないから 31.3	集える場所を知らないから 29.6
	一宮 (n=71)	集える場所を知らないから/きっかけがないから 38.0		参加したくないから 26.8
	香東 (n=95)	きっかけがないから 42.1	参加したくないから 34.7	集える場所を知らないから 18.9
	木太 (n=99)	きっかけがないから 46.5	集える場所を知らないから 30.3	参加したくないから 26.3
	古高松 (n=90)	きっかけがないから 41.1	参加したくないから 35.6	集える場所を知らないから 16.7
	屋島 (n=79)	参加したくないから 39.2	集える場所を知らないから/きっかけがないから 25.3	
	協和 (n=103)	きっかけがないから 34.0	参加したくないから 30.1	集える場所を知らないから 28.2
	龍雲 (n=93)	きっかけがないから 41.9	参加したくないから 33.3	集える場所を知らないから 15.1
	山田 (n=103)	きっかけがないから 41.7	参加したくないから 33.0	集える場所を知らないから 21.4
	勝賀・下笠居 (n=138)	きっかけがないから 42.8	参加したくないから 27.5	集える場所を知らないから 21.7
	塩江 (n=12)	参加したくないから 50.0	きっかけがないから 41.7	集える場所を知らないから 8.3
	香川 (n=108)	きっかけがないから/参加したくないから 33.3		集える場所を知らないから 23.1
	香南 (n=33)	きっかけがないから 45.5	集える場所を知らないから/参加したくないから 30.3	
	牟礼 (n=83)	きっかけがないから 34.9	参加したくないから 30.1	集える場所を知らないから 21.7
	庵治 (n=25)	きっかけがないから 40.0	参加したくないから 36.0	集える場所を知らないから 24.0
国分寺 (n=94)	参加したくないから 37.2	きっかけがないから 36.2	集える場所を知らないから 26.6	

●集える場所に参加しない理由を日常生活圏域別にみると、概ね全体と同様の傾向にありますが、「鶴尾」、「屋島」、「塩江」、「国分寺」では「参加したくないから」、「一宮」では「集える場所を知らないから」といった回答の割合も高くなっています。

問10-3 集える場所ではどのような活動がしたいですか。(いくつでも○)

図表97 集える場所で行いたい活動内容(全体/複数回答)



●集える場所で行いたい活動内容について、「介護予防のための運動や体操」が40.0%で最も多く、次いで「たわいのない会話・茶話会」が32.1%、「趣味を通じた活動(麻雀、卓球、手芸、ぬりえ、折り紙、絵手紙、囲碁、将棋、オセロ、トランプ、手品など)」が30.4%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表98 集える場所で行いたい活動内容(年齢階層別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		介護予防のための運動 や体操 40.0	たわいのない会話・茶話会 32.1	趣味を通じた活動 30.4
年 齢 階 層 別	65~69歳 (n=390)	介護予防のための運動 や体操 36.2	趣味を通じた活動 35.4	たわいのない会話・茶話会 29.5
	70~74歳 (n=526)	介護予防のための運動 や体操 39.7	趣味を通じた活動 35.2	たわいのない会話・茶話会 33.1
	75~79歳 (n=398)	介護予防のための運動 や体操 38.9	たわいのない会話・茶話会 31.9	趣味を通じた活動 29.1
	80~84歳 (n=318)	介護予防のための運動 や体操 44.3	たわいのない会話・茶話会 33.6	趣味を通じた活動 28.3
	85歳以上 (n=383)	介護予防のための運動 や体操 41.8	たわいのない会話・茶話会 32.1	介護予防のための勉強会 ／趣味を通じた活動 21.7

- 集える場所で行いたい活動内容を年齢階層別にみると、すべての年齢階層で、「介護予防のための運動や体操」と回答した人の割合が最も高くなっています。
- 第2位をみると、「65~74歳」の2つの年齢階層では、「趣味を通じた活動」、「75歳以上」の3つの年齢階層では、「たわいのない会話・茶話会」と回答した人の割合が高くなっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

図表99 集える場所で行いたい活動内容(日常生活圏域別)

(単位:%)

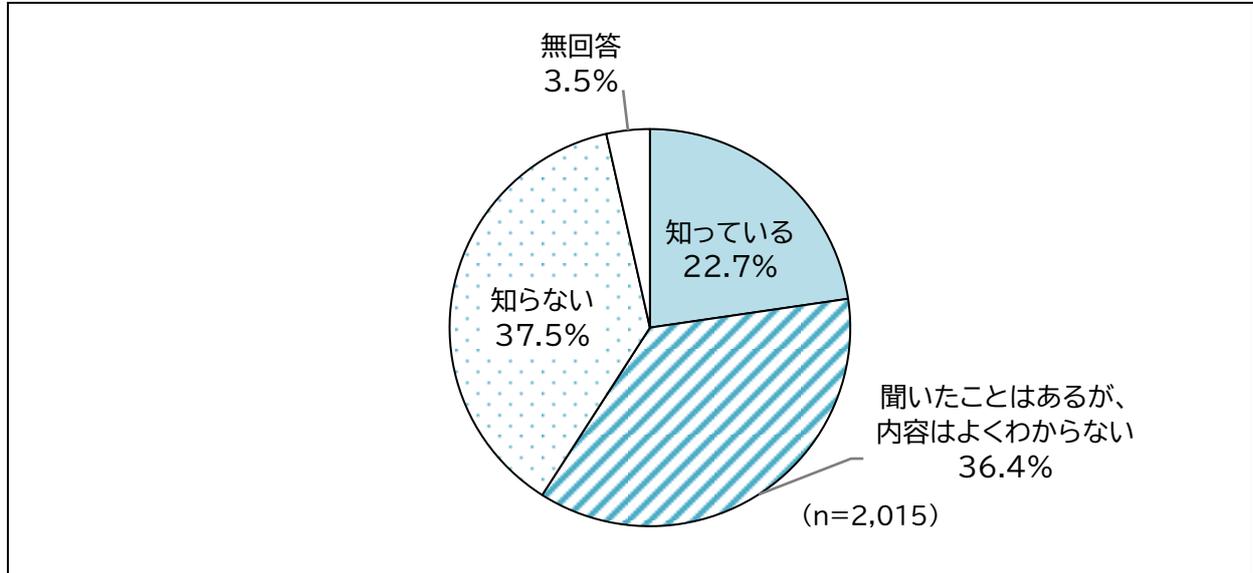
		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		介護予防のための運動や体操 40.0	たわいのない会話・茶話会 32.1	趣味を通じた活動 30.4
日常生活圏域	中央西 (n=157)	介護予防のための運動や体操 38.9	たわいのない会話・茶話会 31.2	趣味を通じた活動 29.9
	中央東 (n=195)	介護予防のための運動や体操 40.0	趣味を通じた活動 24.6	たわいのない会話・茶話会 24.1
	鶴尾 (n=56)	介護予防のための運動や体操 37.5	趣味を通じた活動 30.4	たわいのない会話・茶話会 21.4
	太田 (n=130)	介護予防のための運動や体操 46.9	趣味を通じた活動 31.5	たわいのない会話・茶話会 29.2
	一宮 (n=89)	たわいのない会話・茶話会 38.2	介護予防のための運動や体操 37.1	趣味を通じた活動 36.0
	香東 (n=112)	介護予防のための運動や体操 42.0	たわいのない会話・茶話会 33.0	趣味を通じた活動 27.7
	木太 (n=115)	趣味を通じた活動 36.5	介護予防のための運動や体操 34.8	たわいのない会話・茶話会 27.8
	古高松 (n=103)	介護予防のための運動や体操 45.6	たわいのない会話・茶話会 35.0	趣味を通じた活動 31.1
	屋島 (n=93)	介護予防のための運動や体操 32.3	趣味を通じた活動 31.2	たわいのない会話・茶話会 24.7
	協和 (n=123)	介護予防のための運動や体操 36.6	たわいのない会話・茶話会 34.1	趣味を通じた活動 32.5
	龍雲 (n=114)	介護予防のための運動や体操 43.9	たわいのない会話・茶話会 35.1	趣味を通じた活動 30.7
	山田 (n=124)	たわいのない会話・茶話会 38.7	介護予防のための運動や体操 33.9	趣味を通じた活動 29.8
	勝賀・下笠居 (n=170)	介護予防のための運動や体操 42.4	趣味を通じた活動 29.4	たわいのない会話・茶話会 28.2
	塩江 (n=14)	たわいのない会話・茶話会 50.0	ゲームや音楽を通じたレクリエーション／農業・園芸／趣味を通じた活動 21.4	
	香川 (n=133)	介護予防のための運動や体操 42.1	たわいのない会話・茶話会 39.1	趣味を通じた活動 28.6
	香南 (n=40)	たわいのない会話・茶話会 37.5	介護予防のための運動や体操 35.0	趣味を通じた活動 32.5
	牟礼 (n=100)	介護予防のための運動や体操 44.0	たわいのない会話・茶話会 30.0	趣味を通じた活動 29.0
	庵治 (n=33)	たわいのない会話・茶話会 48.5	介護予防のための運動や体操 36.4	趣味を通じた活動 27.3
国分寺 (n=114)	介護予防のための運動や体操 45.6	たわいのない会話・茶話会 35.1	趣味を通じた活動 34.2	

●集える場所で行いたい活動内容を日常生活圏域別にみると、多くの圏域で「介護予防のための運動や体操」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、「一宮」、「山田」、「塩江」、「香南」、「庵治」では「たわいのない会話・茶話会」、「木太」では「趣味を通じた活動」と回答した人の割合が高くなっています。

(2)高松市地域包括支援センターについて

問10-4 高松市では、地域における高齢者の身近な相談窓口として、「高松市地域包括支援センター」を設置しています。「高松市地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけ○)

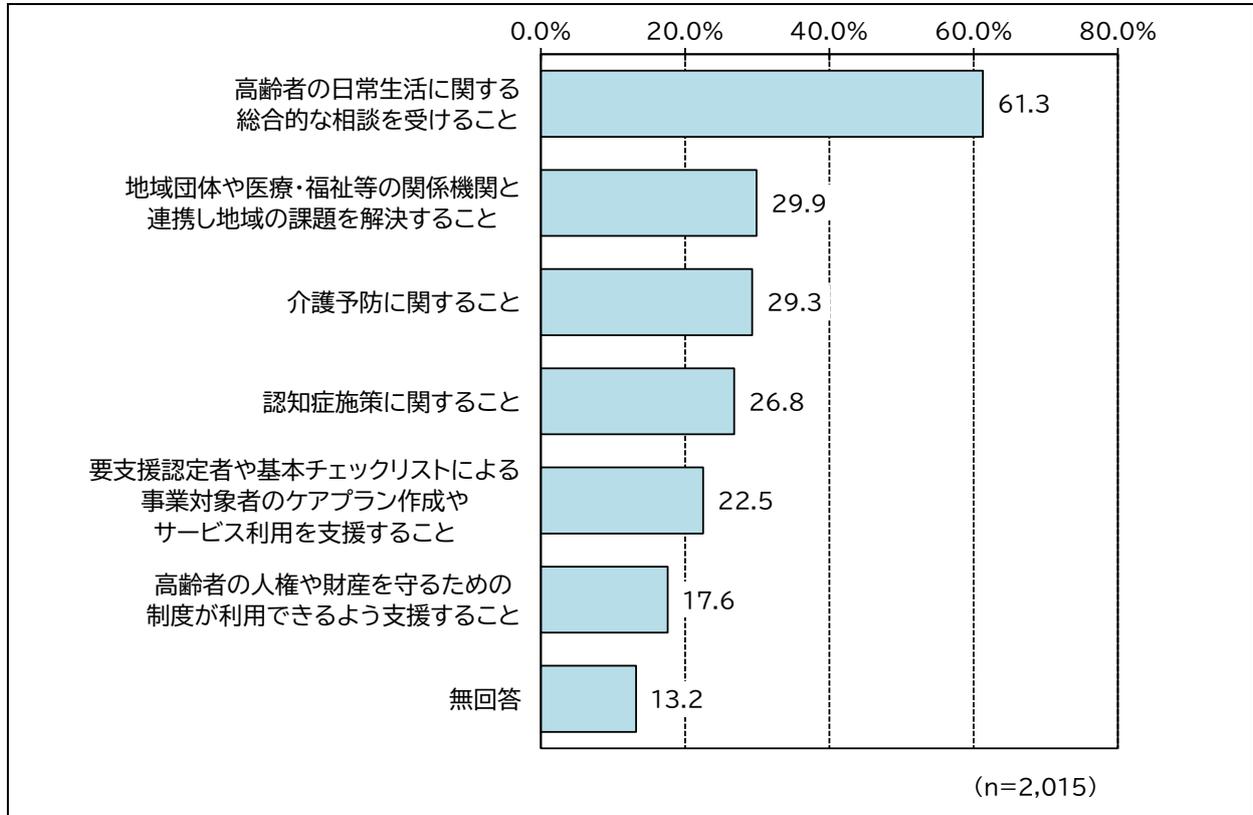
図表100 高松市地域包括支援センターの認知度(全体)



●「高松市地域包括支援センター」の認知度について、「知らない」が37.5%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が36.4%、「知っている」が22.7%となっています。

問10-5 地域包括支援センターは、今後、特にどの業務を充実すればよいと思いますか。
(いくつでも○)

図表101 地域包括支援センターが充実すべき業務(全体/複数回答)



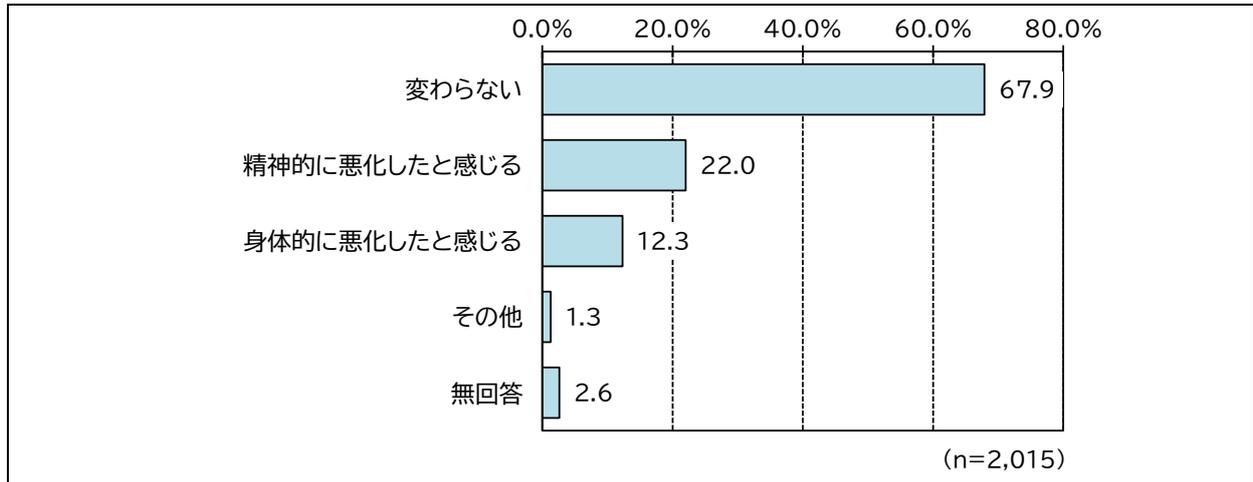
●特に充実すべき、地域包括支援センターの内容について、「高齢者の日常生活に関する総合的な相談を受けること」が61.3%で最も多く、次いで「地域団体や医療・福祉等の関係機関と連携し地域の課題を解決すること」が29.9%、「介護予防に関すること」が29.3%となっています。

12. 健康づくりについて

(1)健康への取組について

問11-1 新型コロナウイルス感染症流行前と比べ、健康状態に変化があったと感じますか。(いくつでも○)

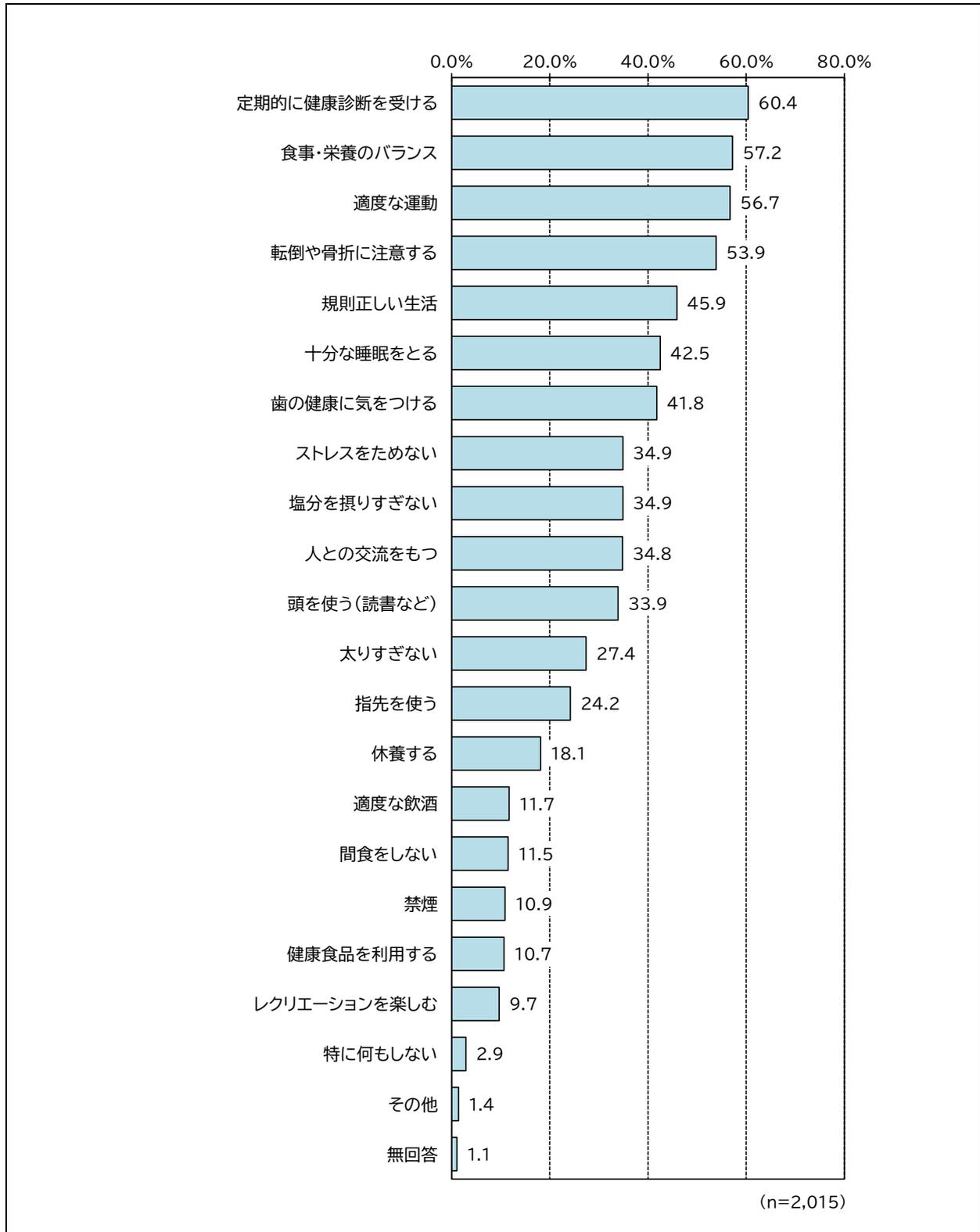
図表102 健康状態の変化(全体/複数回答)



●新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、健康状態に変化について、「変わらない」が67.9%で最も多く、次いで「精神的に悪化したと感じる」が22.0%、「身体的に悪化したと感じる」が12.3%となっています。

問11-2 あなたは健康を守るために、どのようなことに気をつけていますか。
(いくつでも○)

図表103 健康を守るために気をつけていること(全体/複数回答)



●健康を守るために気を付けていることについて、「定期的健康診断を受ける」が60.4%で最も多く、次いで「食事・栄養のバランス」が57.2%、「適度な運動」が56.7%となっています。

図表104 健康を守るために気をつけていること(年齢階層別)

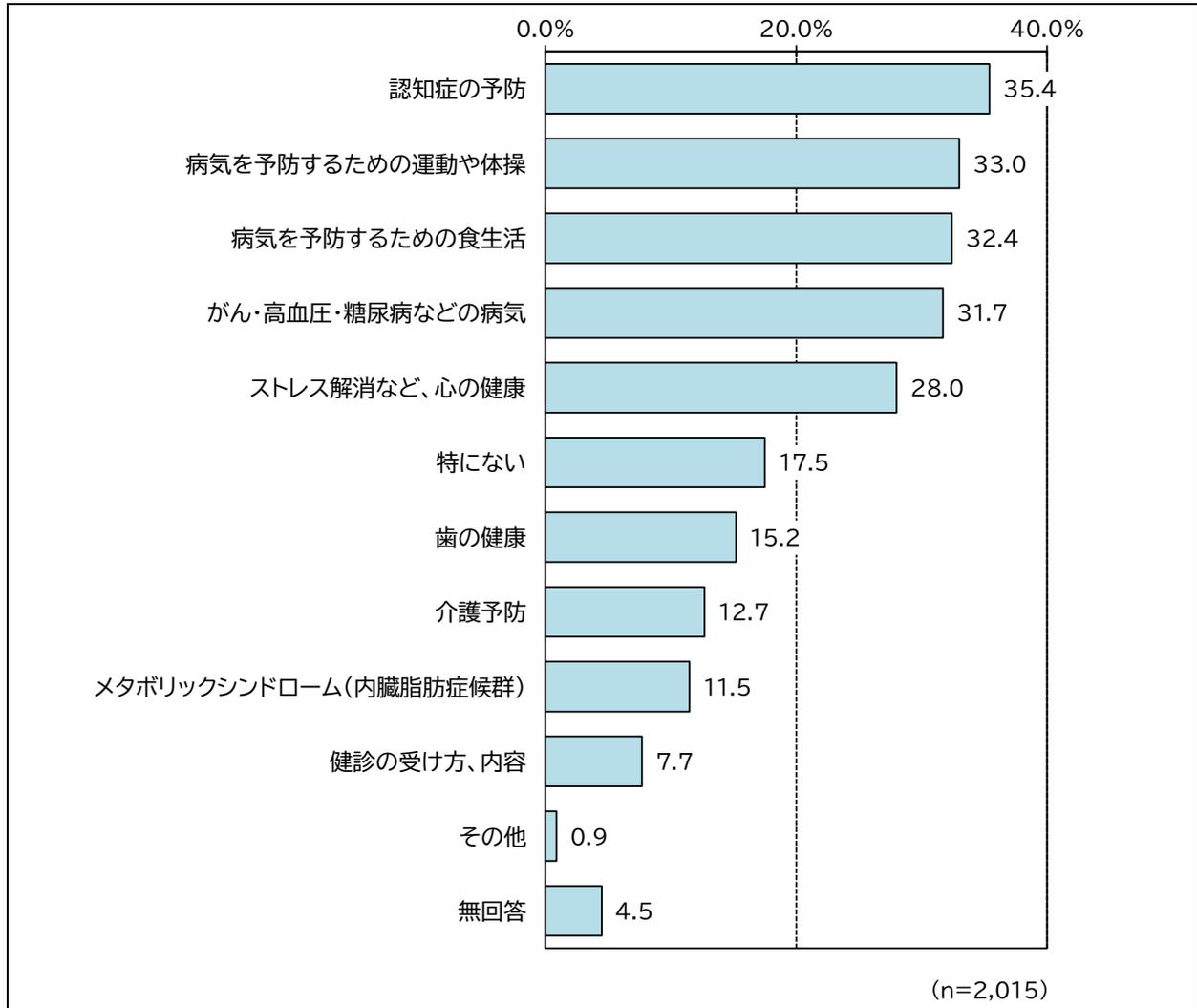
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		定期的に健康診断を受ける 60.4	食事・栄養のバランス 57.2	適度な運動 56.7
年齢階層別	65~69歳 (n=390)	定期的に健康診断を受ける 59.7	食事・栄養のバランス 57.4	適度な運動 54.6
	70~74歳 (n=526)	適度な運動 59.3	定期的に健康診断を受ける 55.7	食事・栄養のバランス 55.3
	75~79歳 (n=398)	定期的に健康診断を受ける 64.6	適度な運動 59.8	食事・栄養のバランス/ 転倒や骨折に注意する 54.8
	80~84歳 (n=318)	転倒や骨折に注意する 66.4	定期的に健康診断を受ける 64.5	食事・栄養のバランス 62.6
	85歳以上 (n=383)	転倒や骨折に注意する 70.8	定期的に健康診断を受ける 59.8	食事・栄養のバランス 57.4

- 健康を守るために気をつけていることを年齢階層別にみると、「65~69歳」、「75~79歳」では「定期的に健康診断を受ける」、「70~74歳」では「適度な運動」、「80歳以上」の2つの年齢階層では「転倒や骨折に注意する」と回答した人の割合が最も高くなっています。

問11-3 健康について知りたいことは何ですか。(いくつでも○)

図表105 健康に関して知りたい情報(全体/複数回答)



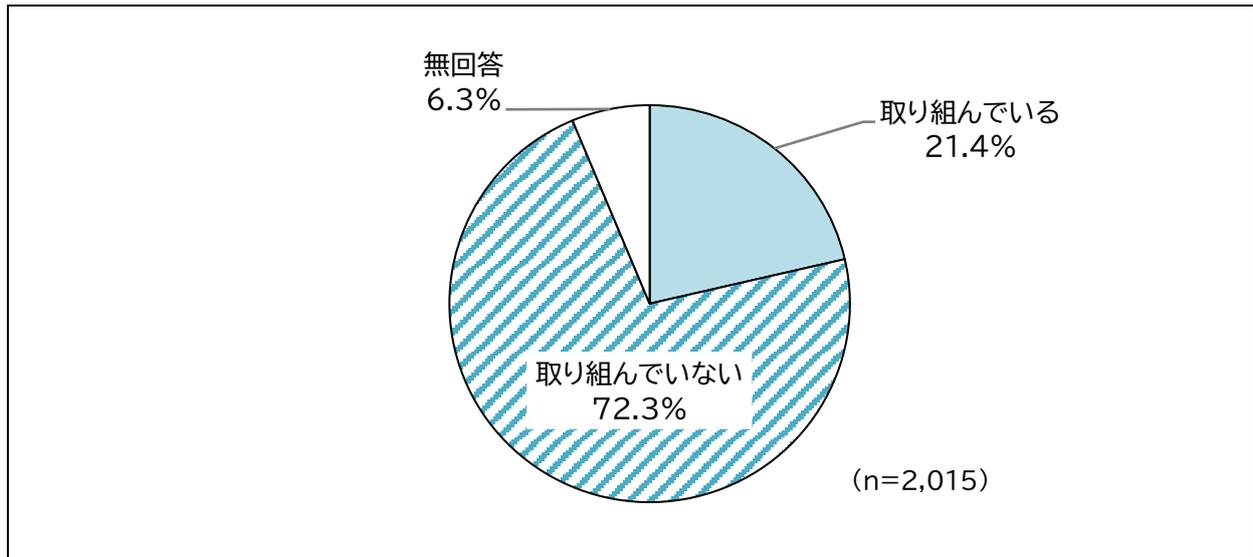
●健康について知りたいことについて、「認知症の予防」が35.4%で最も多く、次いで「病気を予防するための運動や体操」が33.0%、「病気を予防するための食生活」が32.4%となっています。

13. 一般介護予防事業について

(1) 介護予防への取組について

問12-1 フレイル対策が重視されている中、現在あなたは介護予防に取り組んでいますか。
(1つだけ○)

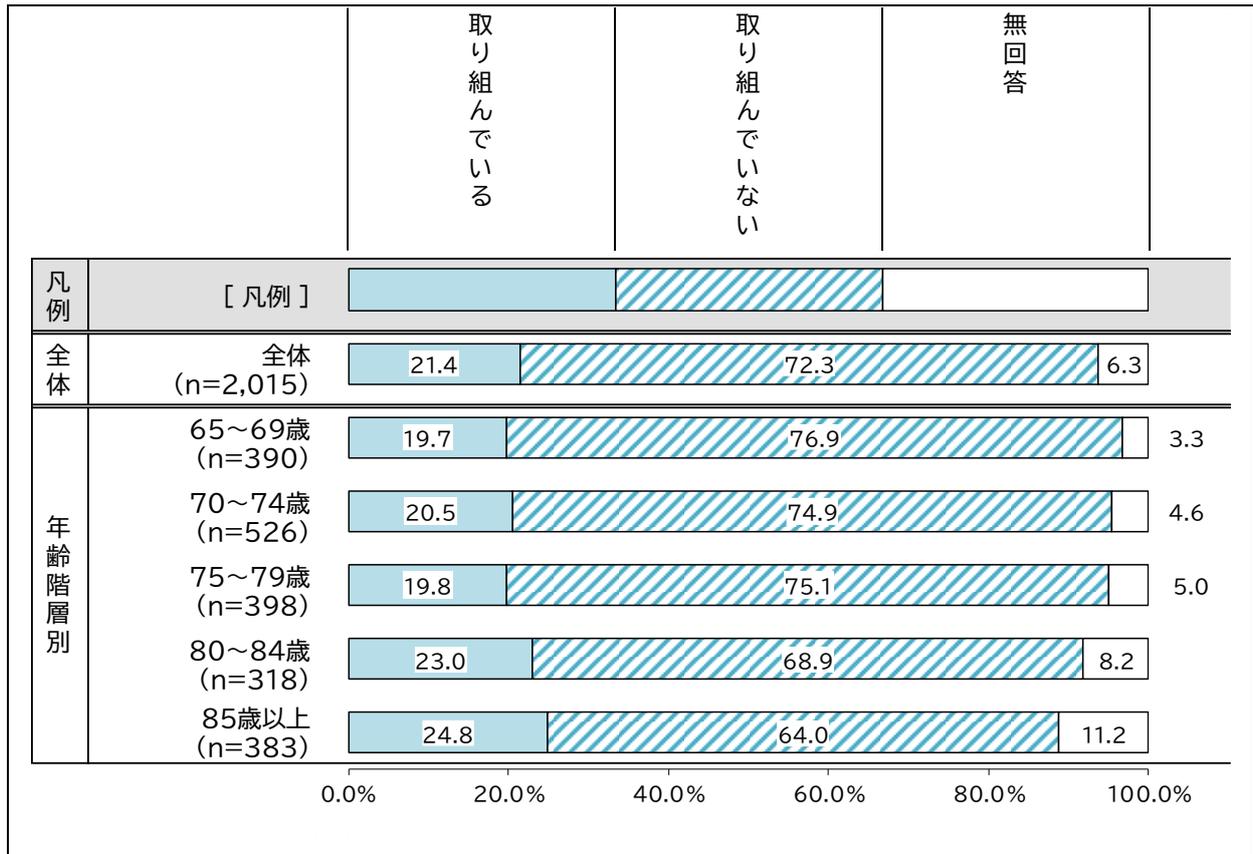
図表106 介護予防の取組状況(全体)



● 介護予防の取組状況について、「取り組んでいる」が21.4%、「取り組んでいない」が72.3%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

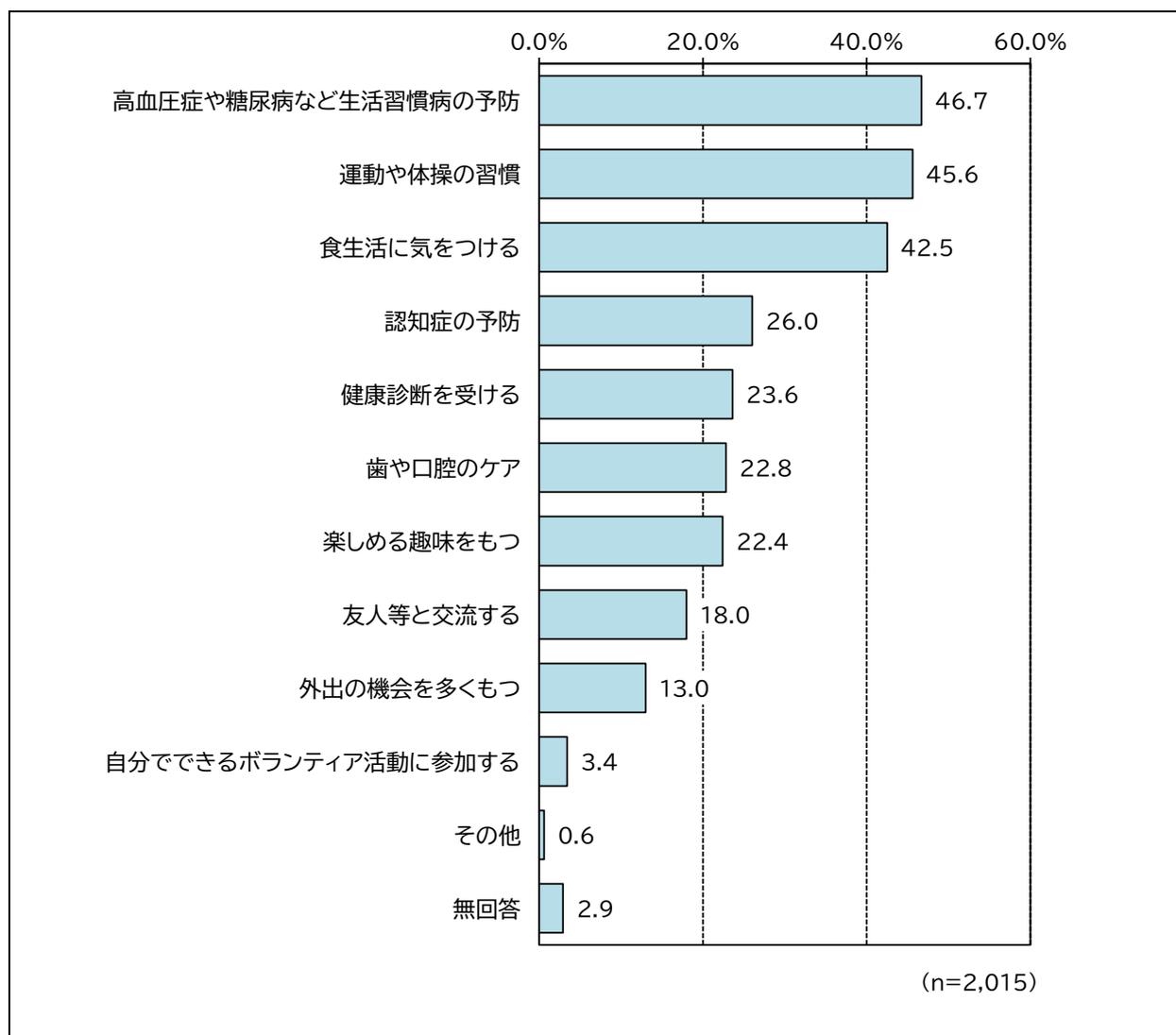
図表107 介護予防の取組状況(年齢階層別)



●介護予防の取組状況を年齢階層別にみると、「取り組んでいる」と回答した人の割合は、「85歳以上」が最も高く、24.8%となっています。次いで、「80～84歳」23.0%、「70～74歳」20.5%と続いています。

問12-2 介護予防の上で重要と思われるものは何ですか。(3つまで○)

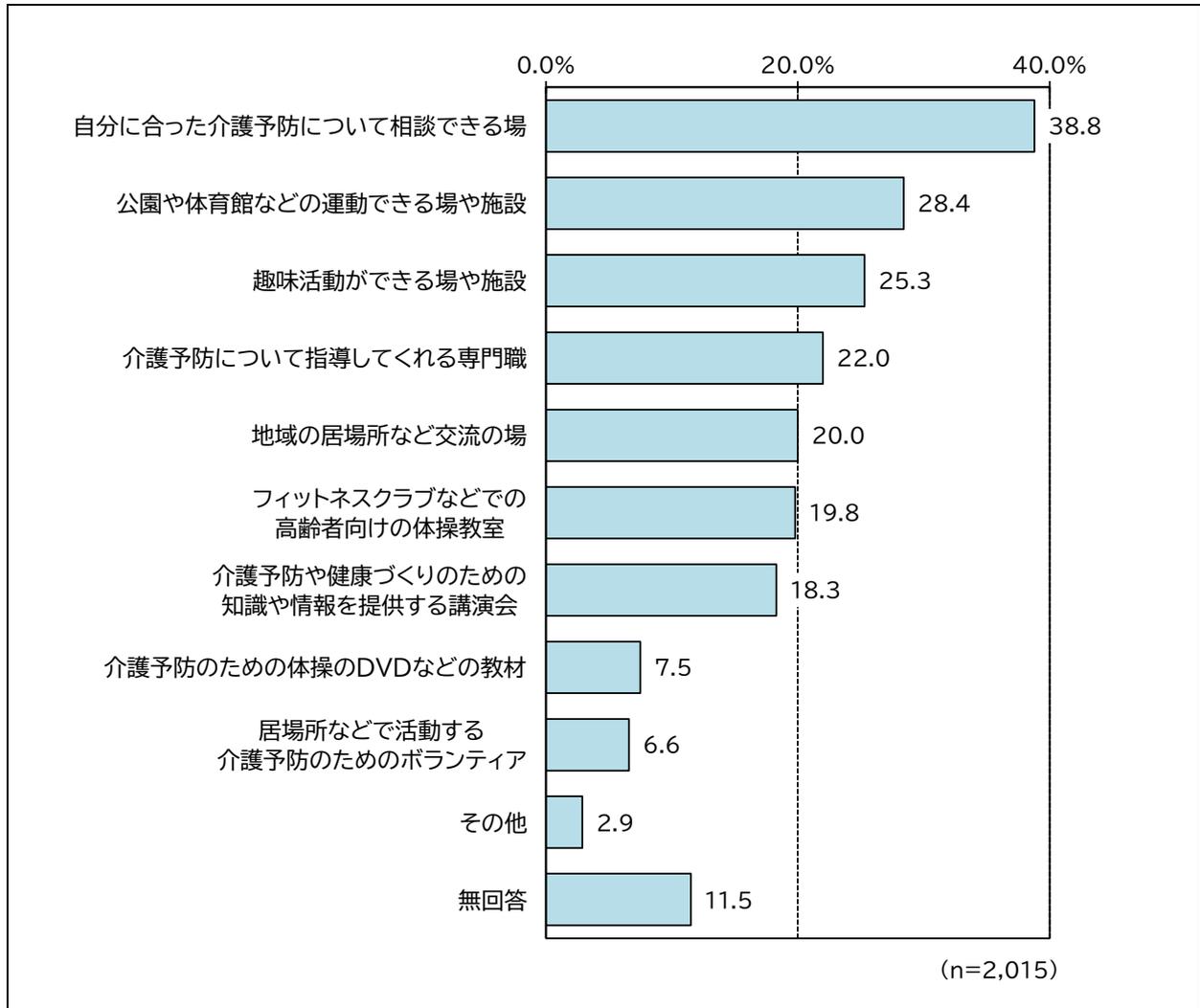
図表108 介護予防の上で重要な事(全体/複数回答)



●介護予防の上で重要と思われるものについて、「高血圧症や糖尿病など生活習慣病の予防」が46.7%で最も多く、次いで「運動や体操の習慣」が45.6%、「食生活に気をつける」が42.5%となっています。

問12-3 自分で介護予防に取り組むためにどのようなものがあればよいと思いますか。
(3つまで○)

図表109 自分で介護予防に取り組む上で必要なもの(全体/複数回答)

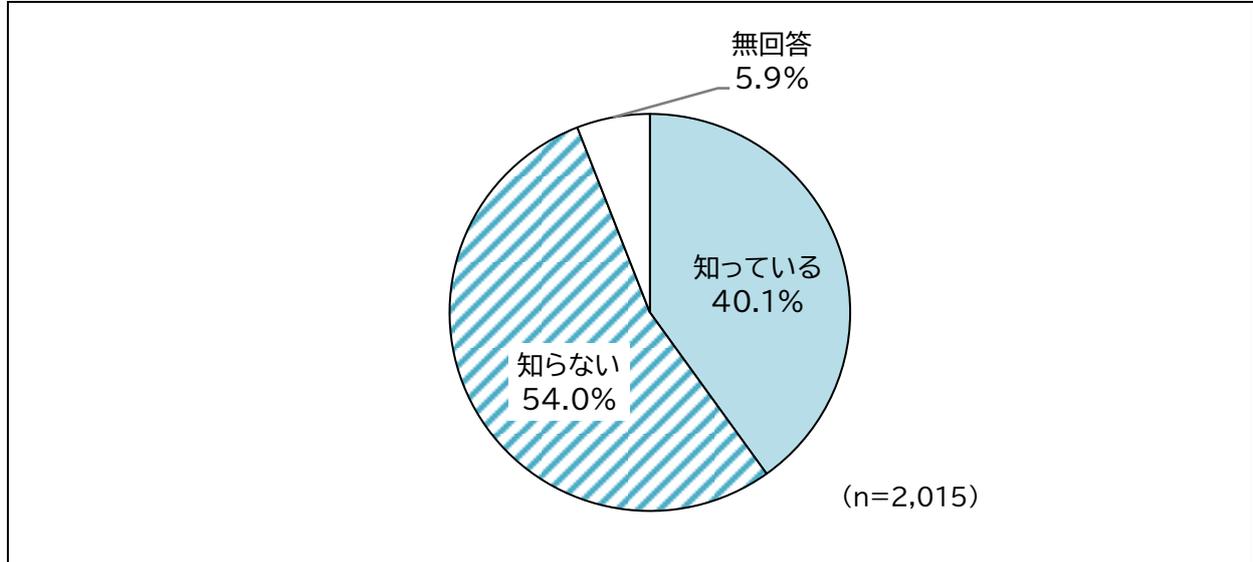


●自分で介護予防に取り組むために必要なものについて、「自分に合った介護予防について相談できる場」が38.8%で最も多く、次いで「公園や体育館などの運動できる場や施設」が28.4%、「趣味活動ができる場や施設」が25.3%となっています。

(2)介護予防とボランティア活動について

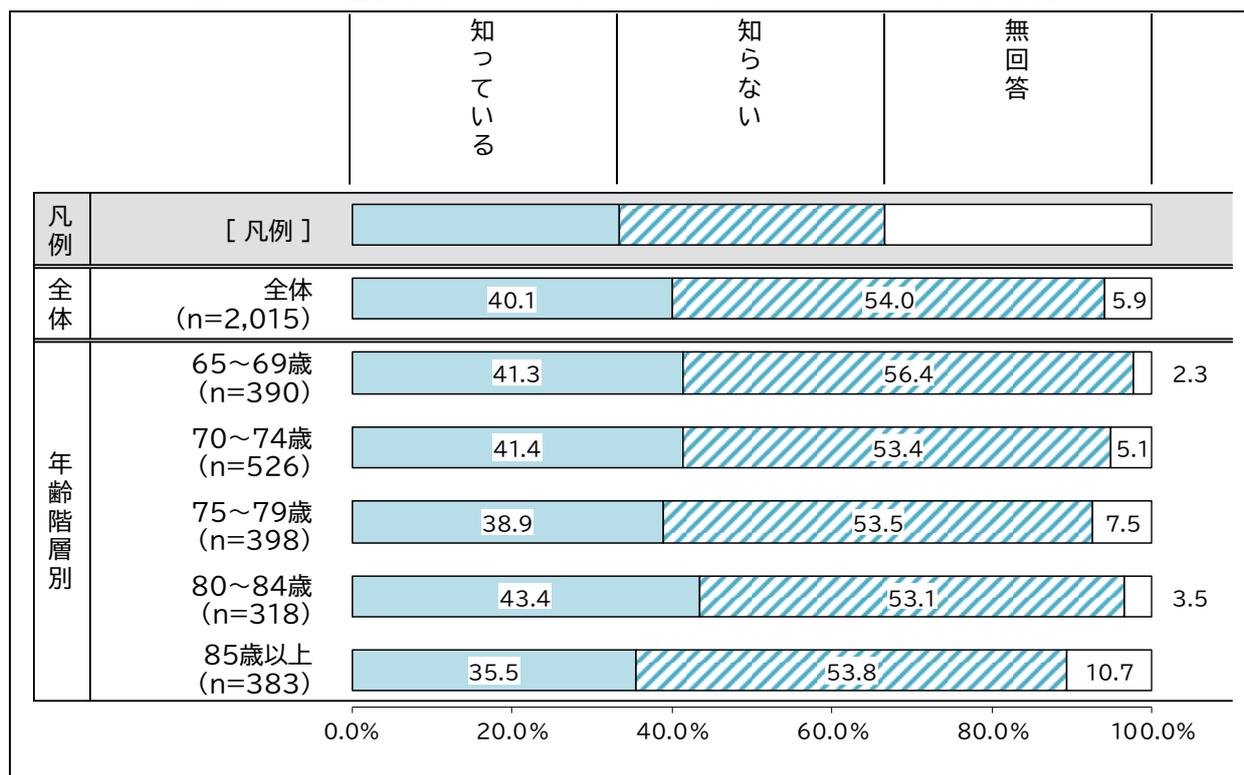
問12-4 ボランティア活動などの社会参加が介護予防に効果があることは、知っていますか。(1つだけ○)

図表110 社会参加の介護予防への効果について(全体)



●ボランティア活動などの社会参加が介護予防に効果があることを知っているかについて、「知っている」が40.1%、「知らない」が54.0%となっています。

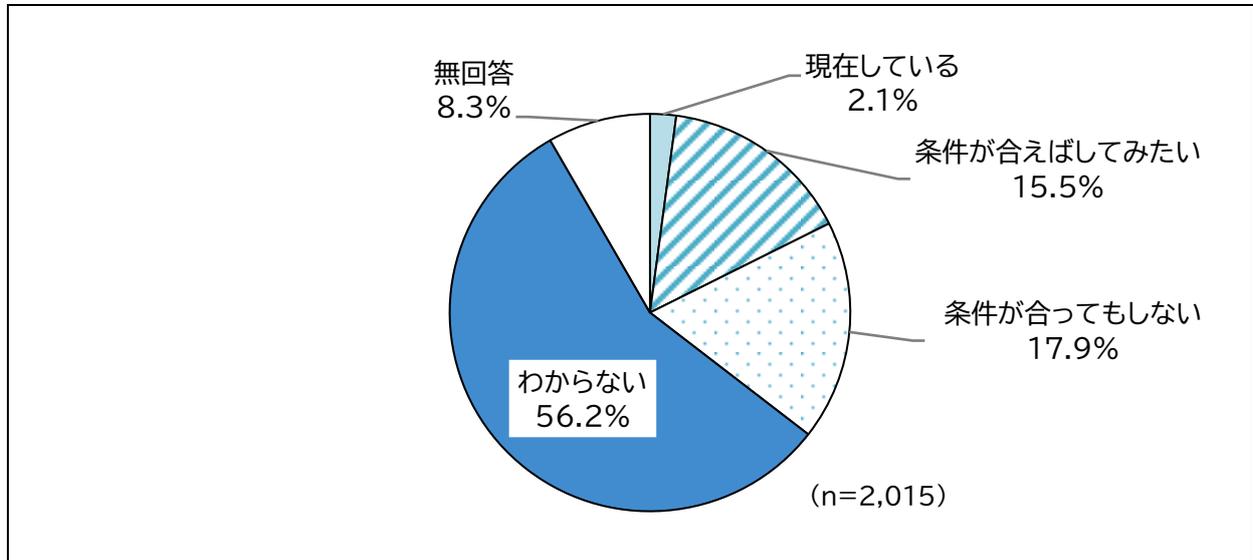
図表111 社会参加の介護予防への効果について(年齢階層別)



- 社会参加の介護予防への効果について年齢階層別にみると、すべての年齢階層で、「知っている」と回答した人の割合に比べて、「知らない」と回答した人の割合が上回っています。
- 「知っている」と回答した人の割合は、「80~84歳」が最も高く43.4%となっています。次いで、「70~74歳」41.4%、「65~69歳」41.3%となっています。

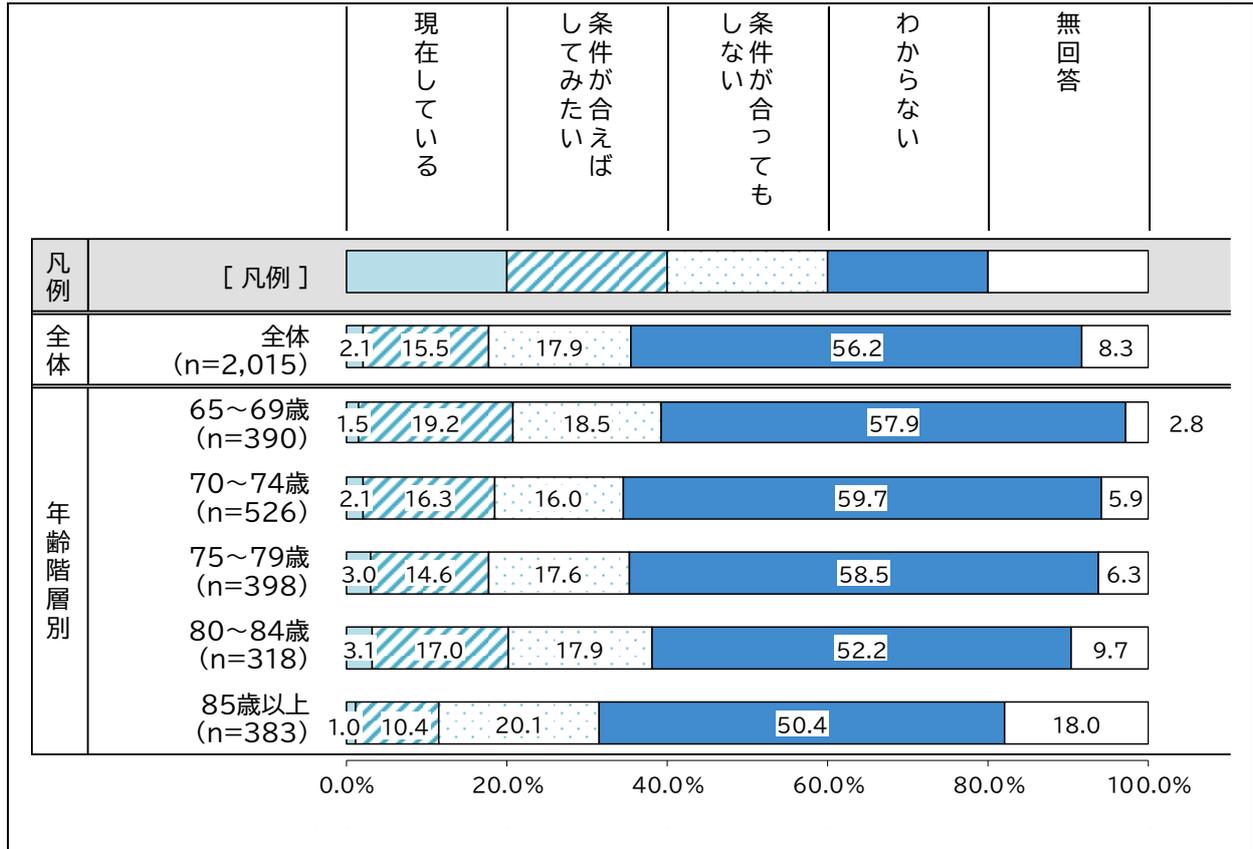
問12-5 様々なボランティア活動の種類がありますが、中でも、介護予防ボランティアの活動をしてみたいですか。(1つだけ○)

図表112 介護予防ボランティアへの参加意向(全体)



●介護予防ボランティアの活動をしてみたいかについて、「条件が合ってもしない」が17.9%で最も多く、次いで「条件が合えばしてみたい」が15.5%となっています。また、全体の56.2%の人が「わからない」と回答しています。

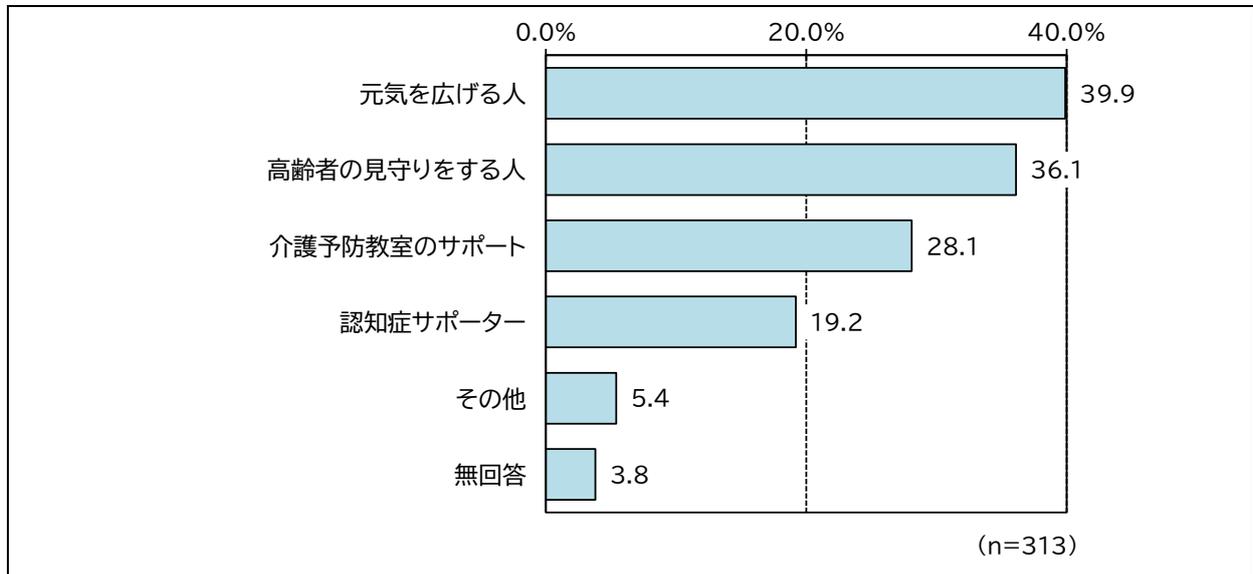
図表113 介護予防ボランティアへの参加意向(年齢階層別)



●介護予防ボランティアへの参加意向を年齢階層別にみると、「現在している」と回答した人の割合については、大きな差はみられません。「条件が合えばしてみたい」と回答した人の割合については、「85歳以上」が、その他の年齢階層に比べて低くなっています。

問12-5で「2.条件が合えばしてみたい」と回答した方
 問12-5-1 どのような介護予防ボランティア活動をしてみたいですか。(いくつでも○)

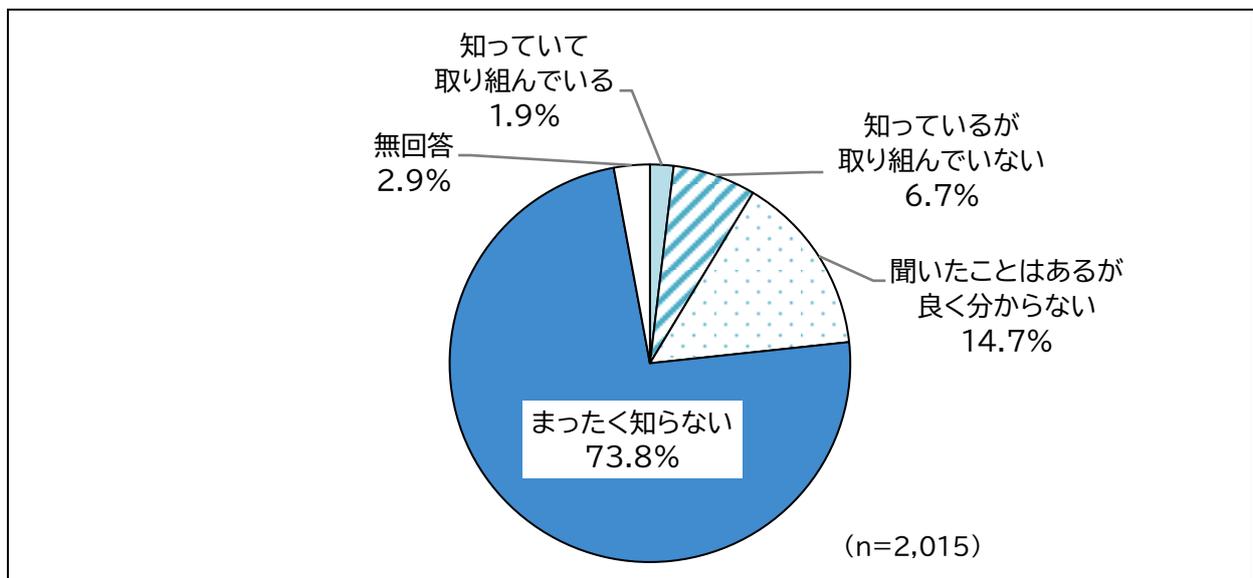
図表114 してみたい介護予防ボランティア活動の内容(全体/複数回答)



● してみたい介護予防ボランティア活動について、「元気を広げる人」が39.9%で最も多く、次いで「高齢者の見守りをする人」が36.1%、「介護予防教室のサポート」が28.1%となっています。

問12-6 高松市の「のびのび元気体操」を知っていますか。(1つだけ○)

図表115 「のびのび元気体操」の認知度(全体)



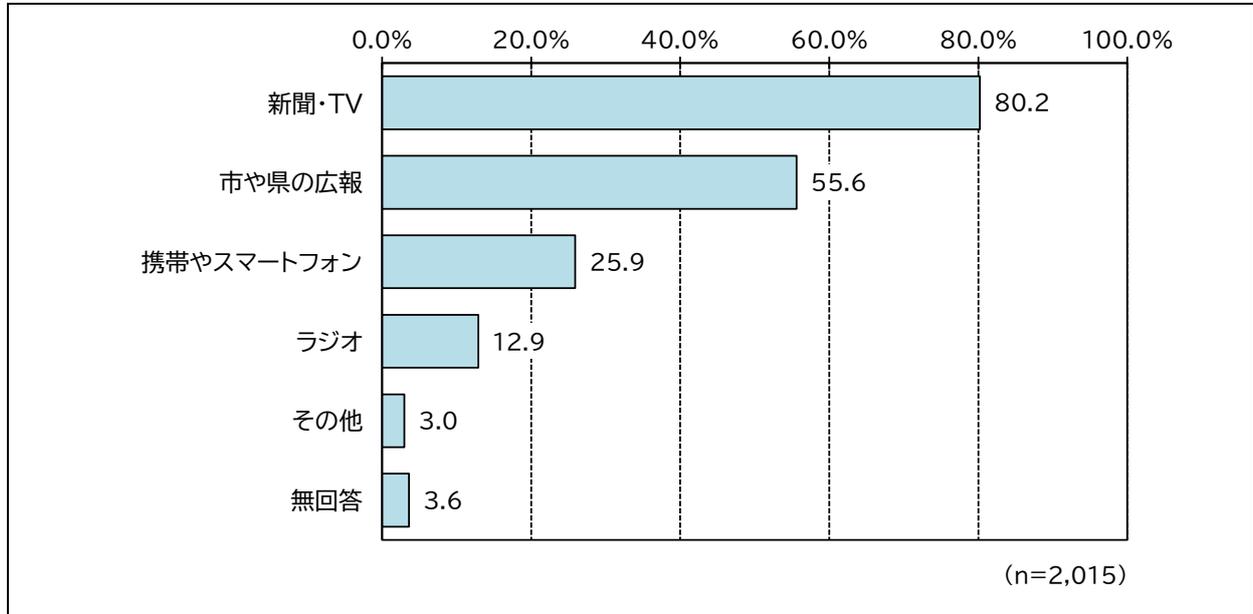
● 高松市の「のびのび元気体操」の周知状況について、「まったく知らない」が73.8%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが良く分からない」が14.7%、「知っているが取り組んでいない」が6.7%となっています。

14. 高齢者の保健福祉について

(1) 情報収集手段

問13-1 日常の情報収集手段は何ですか。(いくつでも○)

図表116 日常の情報収集手段(全体/複数回答)



● 日常の情報収集手段について、「新聞・TV」が80.2%で最も多く、次いで「市や県の広報」が55.6%、「携帯やスマートフォン」が25.9%となっています。

図表117 日常の情報収集手段(年齢階層別)

(単位:%)

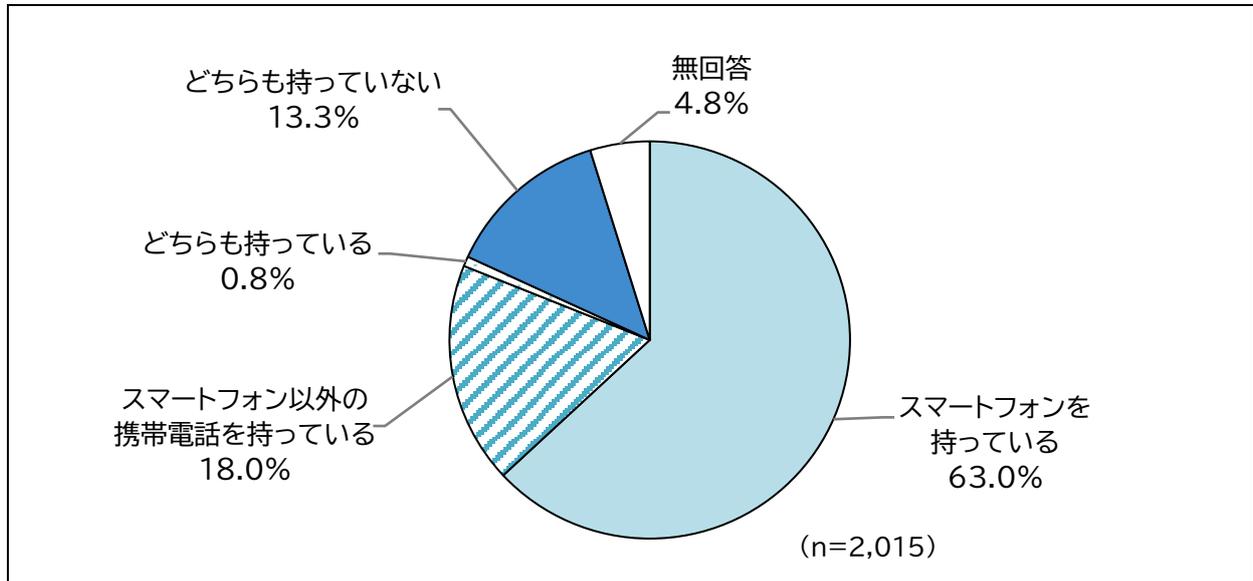
		第1位	第2位	第3位
全体 (n=2,015)		新聞・TV 80.2	市や県の広報 55.6	携帯やスマートフォン 25.9
年齢階層別	65~69歳 (n=390)	新聞・TV 76.9	市や県の広報 50.3	携帯やスマートフォン 49.7
	70~74歳 (n=526)	新聞・TV 80.0	市や県の広報 52.1	携帯やスマートフォン 34.8
	75~79歳 (n=398)	新聞・TV 81.7	市や県の広報 58.8	携帯やスマートフォン 18.3
	80~84歳 (n=318)	新聞・TV 82.7	市や県の広報 60.4	携帯やスマートフォン 15.1
	85歳以上 (n=383)	新聞・TV 80.2	市や県の広報 58.5	ラジオ 11.2

● 日常の情報収集手段を年齢階層別にみると、すべての年齢階層で第1位「新聞・TV」、第2位「市や県の広報」となっています。第3位については、「65~84歳」の4つの年齢階層は「携帯やスマートフォン」、「85歳以上」は「ラジオ」となっています。

(2) 携帯電話

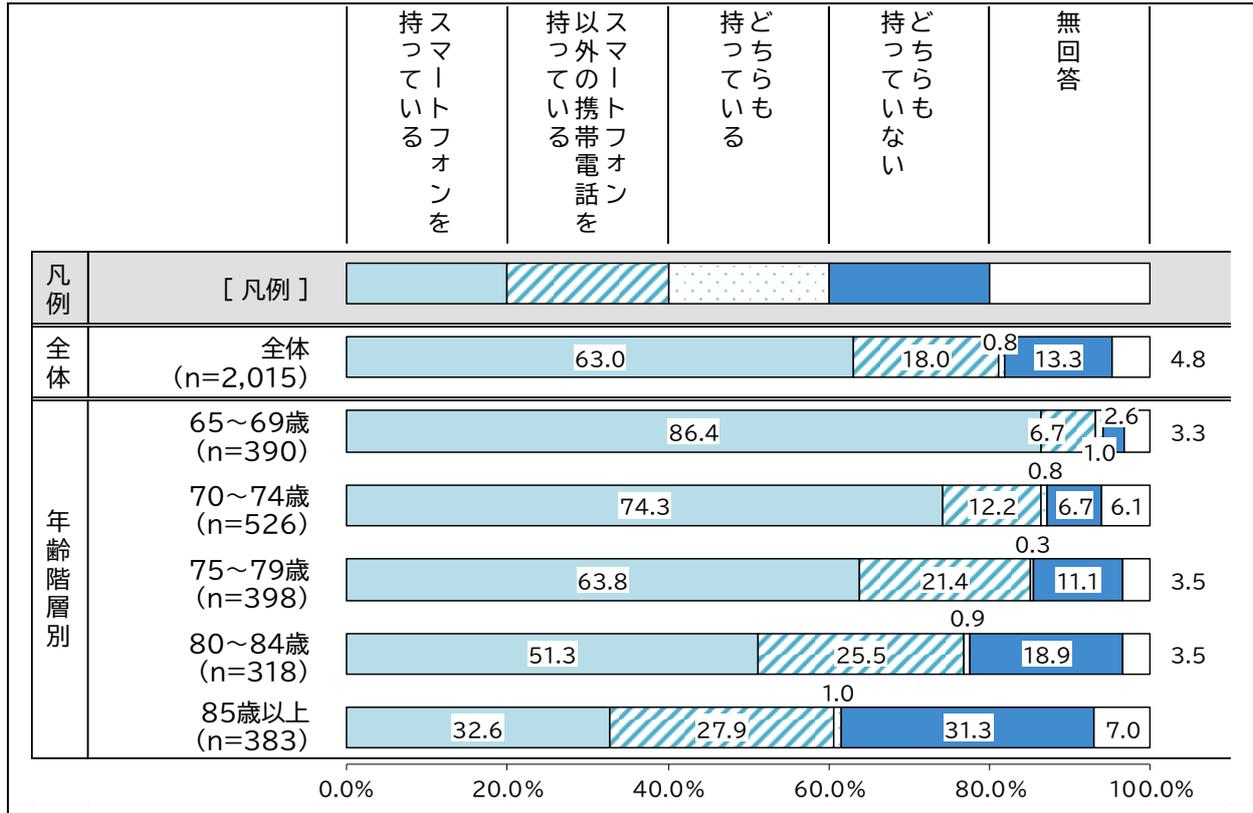
問13-2 現在、携帯電話を持っていますか。(1つだけ○)

図表118 携帯電話の所持状況(全体)



●携帯電話の所持状況について、「スマートフォンを持っている」が63.0%で最も多く、次いで「スマートフォン以外の携帯電話を持っている」が18.0%、「どちらも持っていない」が13.3%となっています。

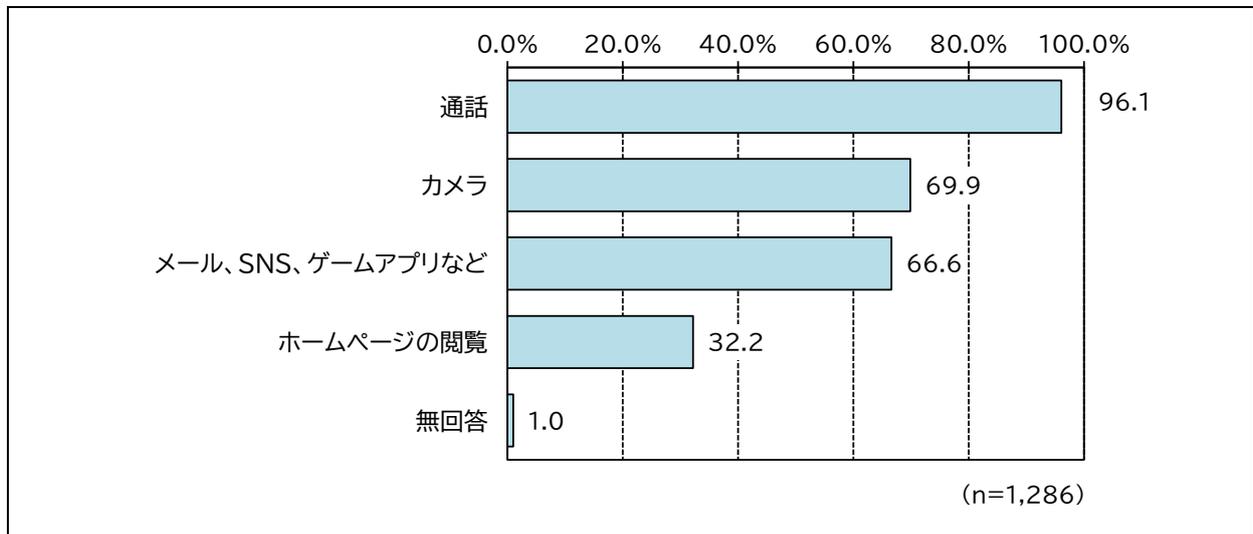
図表119 携帯電話の所持状況(年齢階層別)



●携帯電話の所持状況を年齢階層別にみると、「スマートフォンを持っている」、「どちらも持っている」と回答した人を合算したスマートフォンの所持率は、「65~69歳」が最も高く87.4%となっています。次いで、「70~74歳」75.1%、「75~79歳」64.1%となっており年齢階層が下がるにつれて所持率は上昇していくことがみてとれます。

問13-2で「1.スマートフォンを持っている」または「3.どちらも持っている」と回答した方
問13-2-1 スマートフォンをどのような用途で使っていますか。(いくつでも○)

図表120 スマートフォンの利用用途(全体/複数回答)

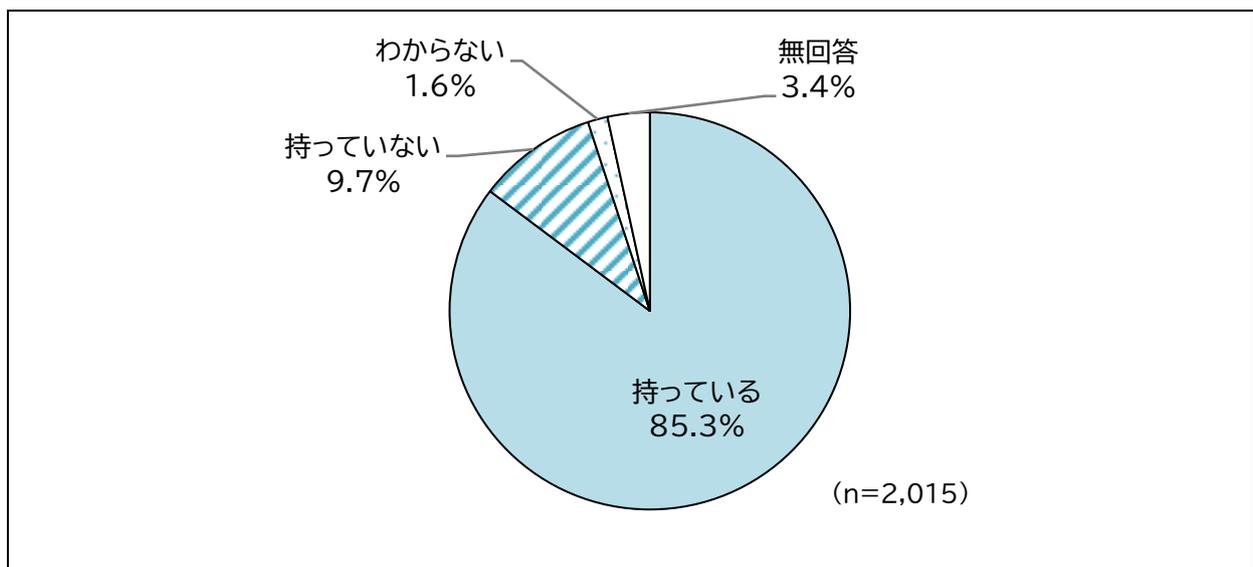


●スマートフォンの用途について、「通話」が96.1%で最も多く、次いで「カメラ」が69.9%、「メール、SNS、ゲームアプリなど」が66.6%となっています。

(3)かかりつけ医の有無について

問13-3 日頃から病気やけがの時に診察を受けることを決めている「かかりつけ医」を持っていますか。(1つだけ○)

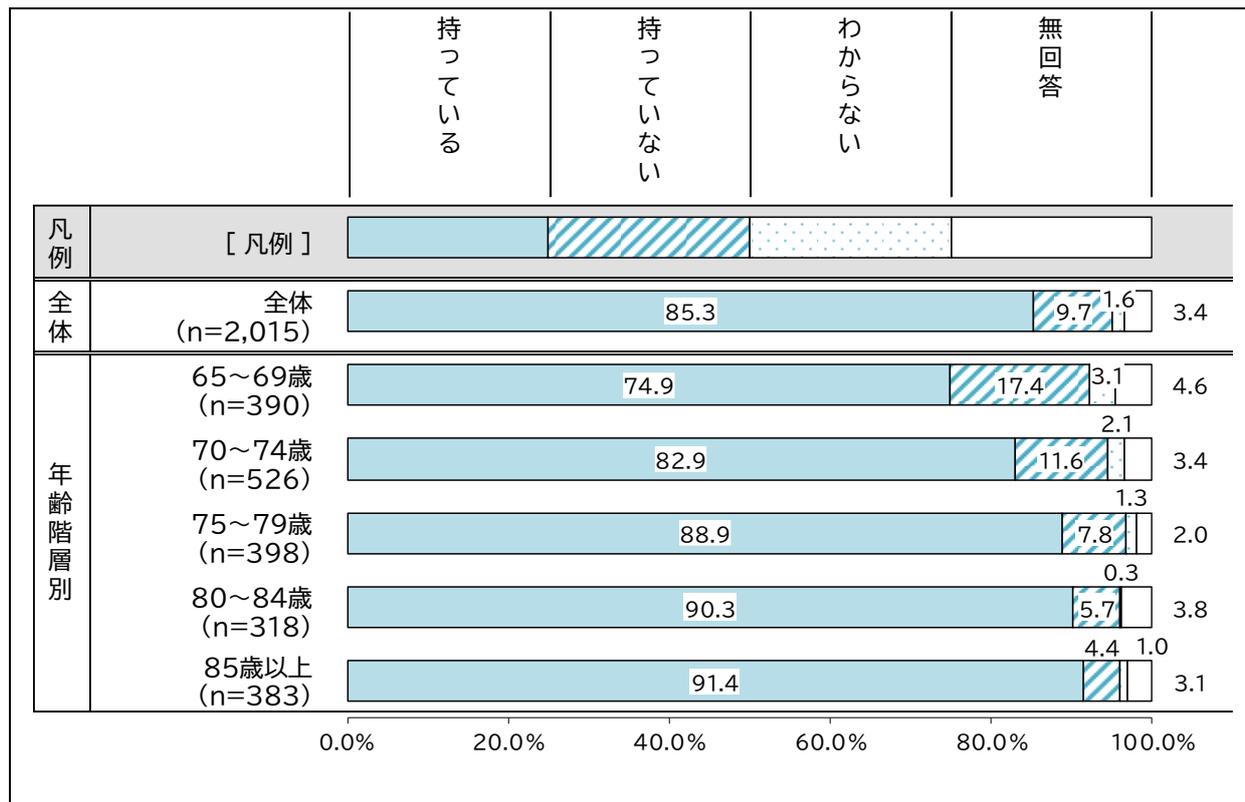
図表121 かかりつけ医の有無(全体)



●「かかりつけ医」の有無について、「持っている」が85.3%、「持っていない」が9.7%となっています。

● 第2章 調査結果 高齢者(65歳以上) ●

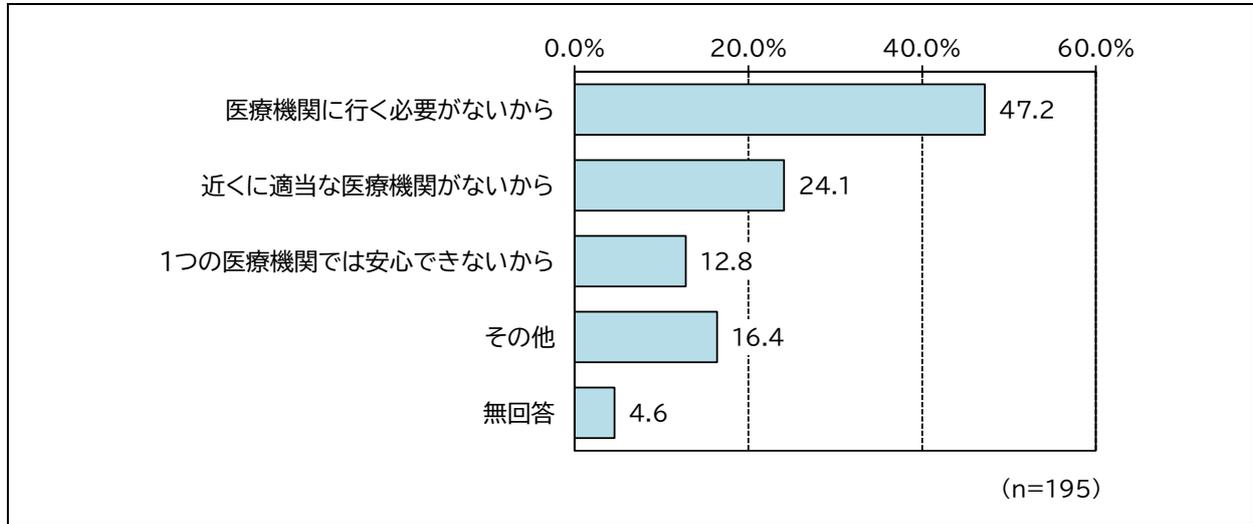
図表122 かかりつけ医の有無(年齢階層別)



● かかりつけ医の有無を年齢階層別にみると、「75歳以上」の3つの年齢階層では「持っている」と回答した人の割合が、約9割となっています。それに比べ、「65~74歳」の2つの年齢階層では「持っている」と回答した人の割合は若干低くなっています。

問13-3で「2. 持っていない」と回答した方
 問13-3-1 「かかりつけ医」を持っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

図表123 かかりつけ医を持っていない理由(全体/複数回答)

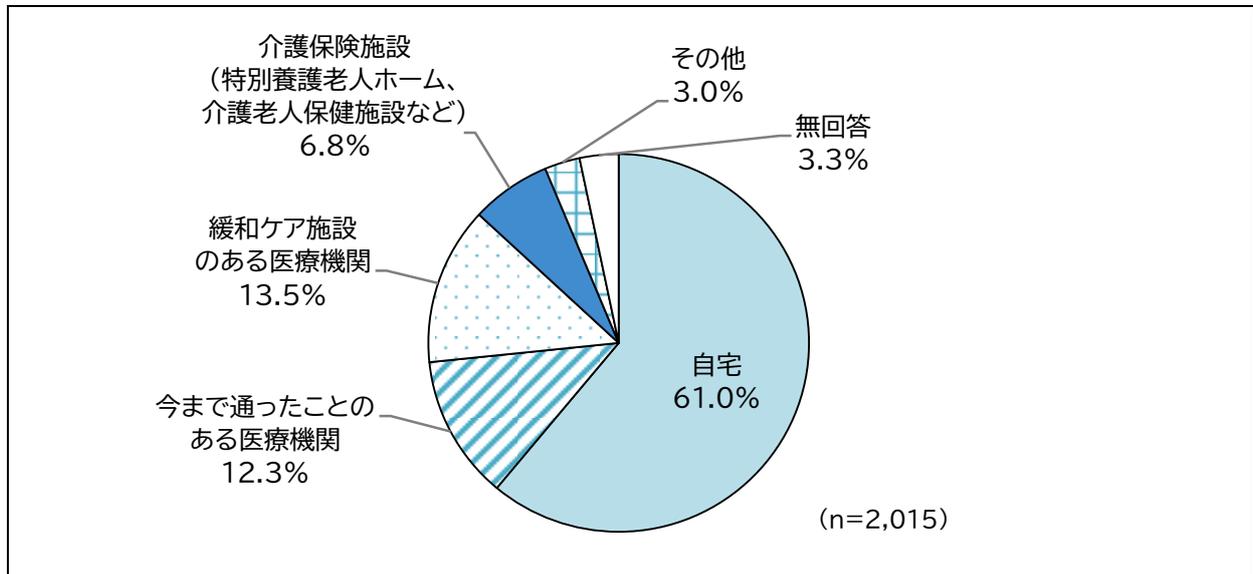


●「かかりつけ医」を持っていない理由について、「医療機関に行く必要がないから」が47.2%で最も多く、次いで「近くに適切な医療機関がないから」が24.1%、「1つの医療機関では安心できないから」が12.8%となっています。

(4)自分の最期について

問13-4 自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○)

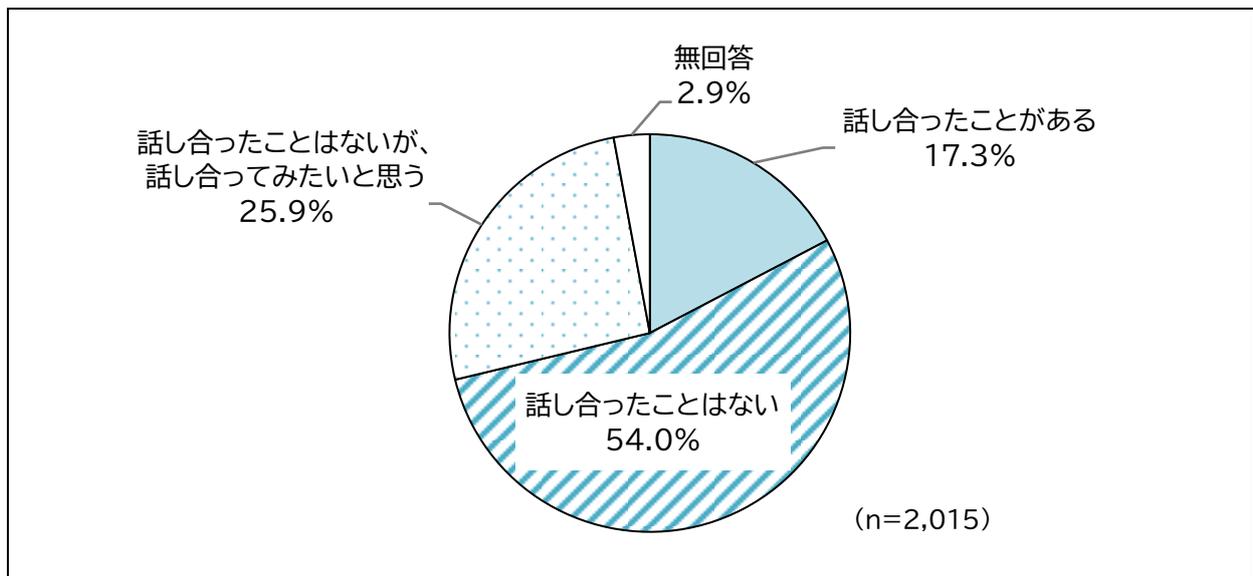
図表124 自分の最期を迎えたい場所(全体)



●最期を迎えたい場所について、「自宅」が61.0%で最も多く、次いで「緩和ケア施設のある医療機関」が13.5%、「今まで通ったことのある医療機関」が12.3%となっています。

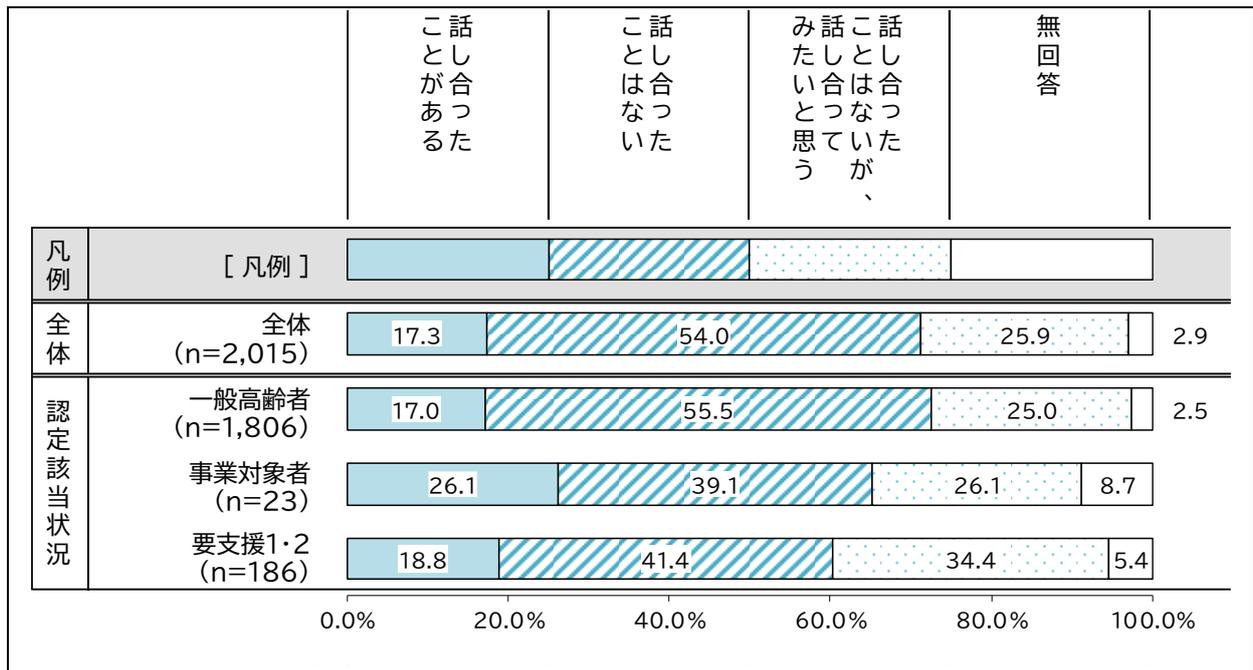
問13-5 自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。(1つだけ○)

図表125 自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験(全体)



●自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者との話し合いの有無をたずねたところ、「話し合ったことはない」が54.0%で最も多く、次いで「話し合ったことはないが、話し合ってみたいと思う」が25.9%、「話し合ったことがある」が17.3%となっています。

図表126 自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験
(認定該当状況別)

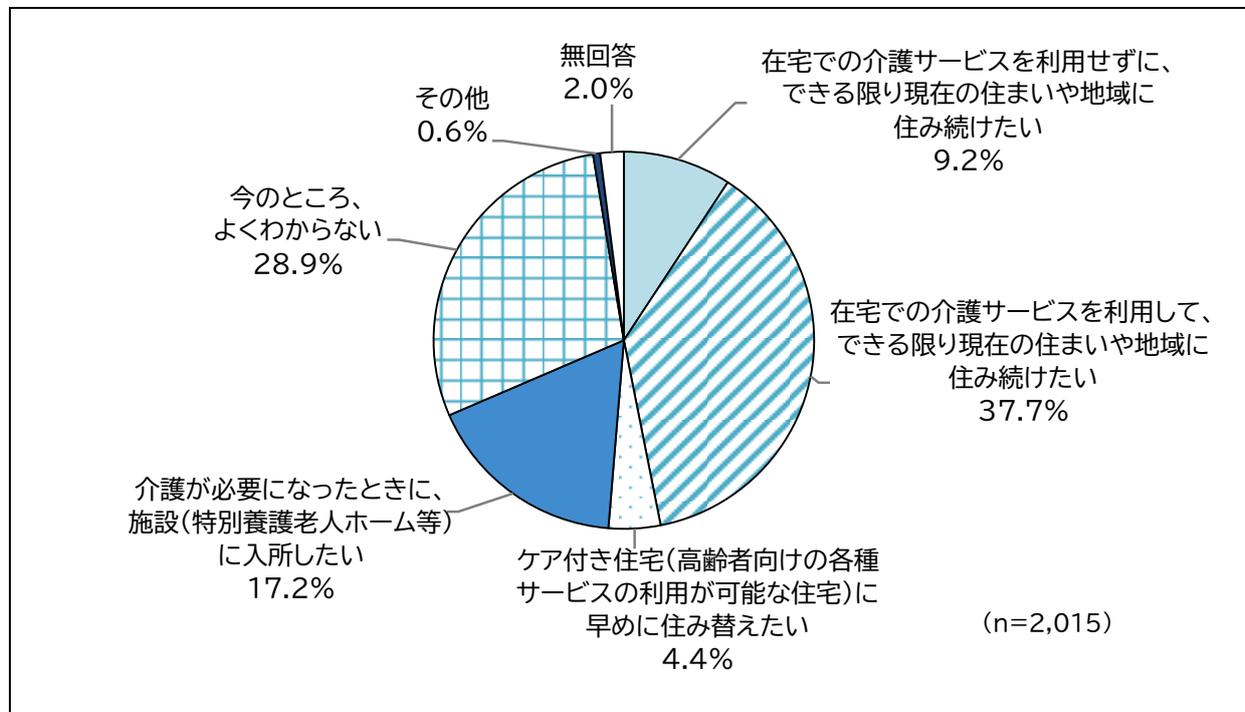


●自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験を、要支援度・事業対象者別にみると、「話し合ったことがある」と回答した人の割合が、「事業対象者」は26.1%となっており、「一般高齢者」、「要支援1・2」に比べて高くなっています。一方、「話し合ったことはないが、話し合ってみたいと思う」と回答した人の割合は、「要支援1・2」は34.4%となっており、「一般高齢者」、「事業対象者」に比べて高くなっています。

(5)住まいと介護サービスの利用について

問13-6 あなたに介護が必要になった場合、将来の住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

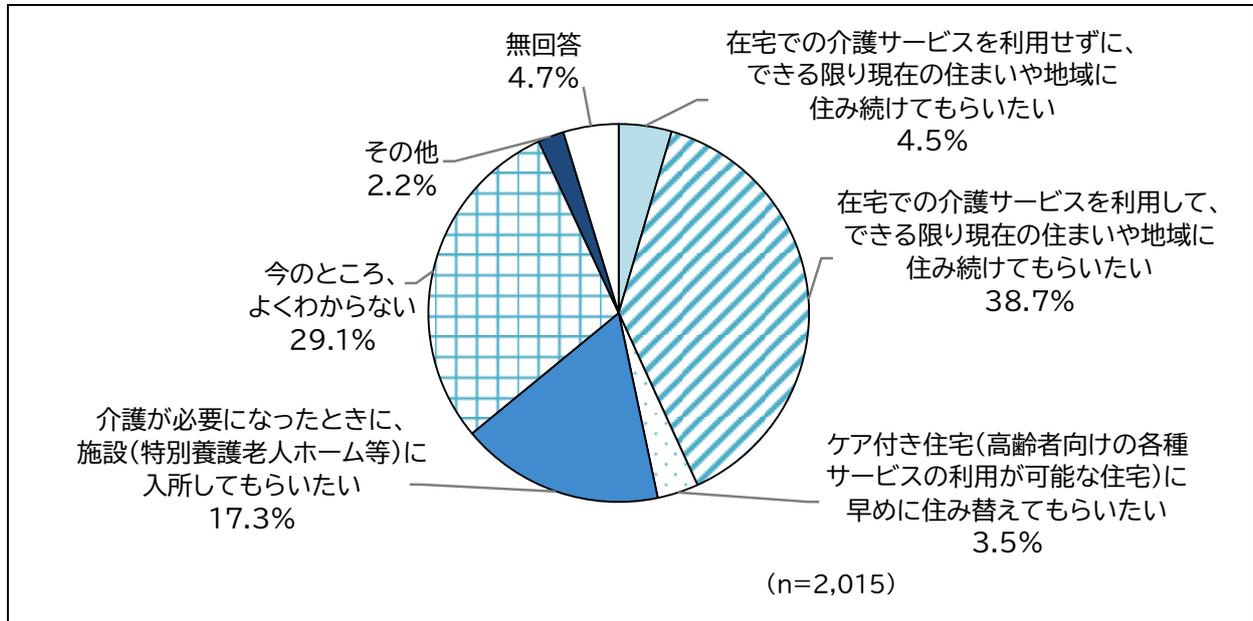
図表127 自身の将来の住まいと介護サービスの利用について(全体)



●あなたに介護が必要になった場合、将来の住まいと介護サービスの利用についての考えでは、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」が37.7%と最も多く、次いで「今のところ、よくわからない」が28.9%、「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい」が17.2%となっています。

問13-7 あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

図表128 家族の将来の住まいと介護サービスの利用について(全体)

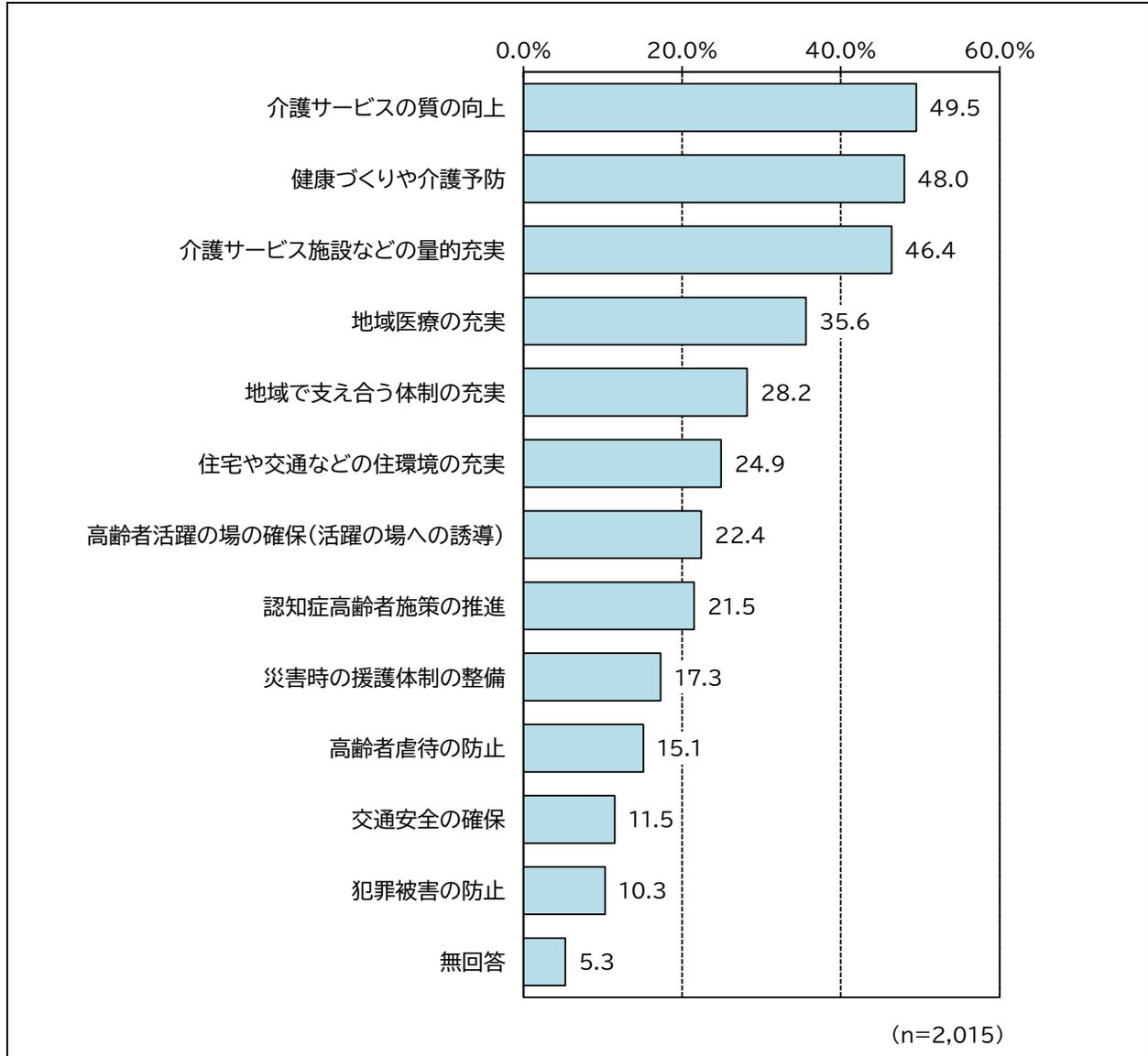


●あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用についての考えでは、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けてもらいたい」が38.7%と最も多く、次いで「今のところよくわからない」が29.1%、「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所してもらいたい」が17.3%となっています。

(6) 超高齢社会において重要な方策

問13-8 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策はどのようなことですか。
(いくつでも○)

図表129 超高齢社会において重要な方策(全体/複数回答)

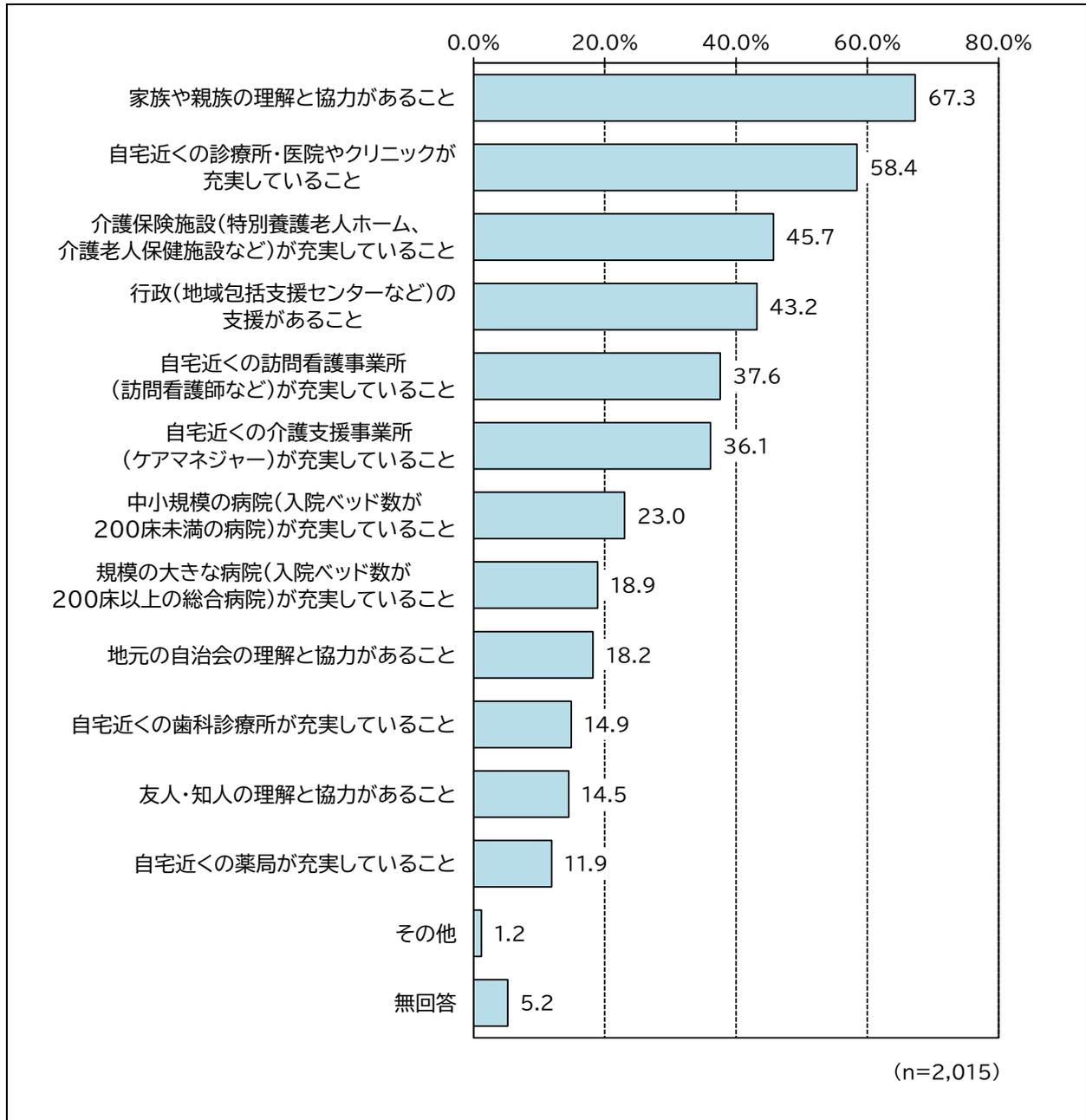


● 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について、「介護サービスの質の向上」が49.5%で最も多く、次いで「健康づくりや介護予防」が48.0%、「介護サービス施設などの量的充実」が46.4%となっています。

(7)地域包括ケアシステムにおいて重要なこと

問13-9 地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、特に重要だと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

図表130 地域包括ケアシステムの構築の推進において重要なこと(全体/複数回答)



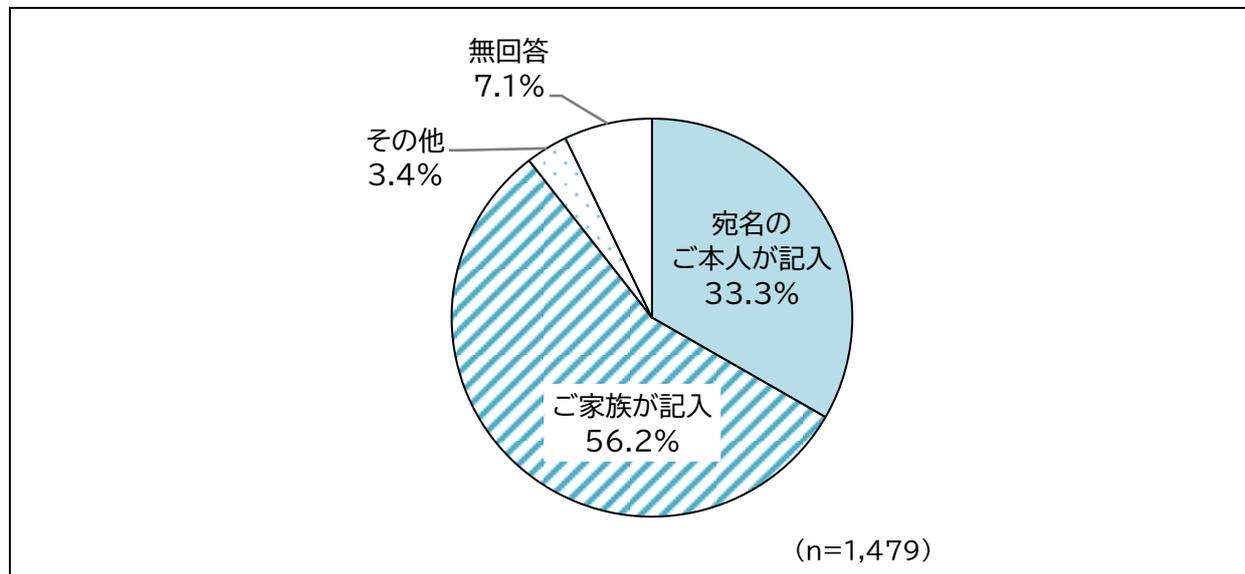
●地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、特に重要だと思うことについて、「家族や親族の理解と協力があること」が67.3%で最も多く、次いで「自宅近くの診療所・医院やクリニックが充実していること」が58.4%、「介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)が充実していること」が45.7%となっています。

第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上)

1. 回答者の属性

(1) 調査票を記入した方

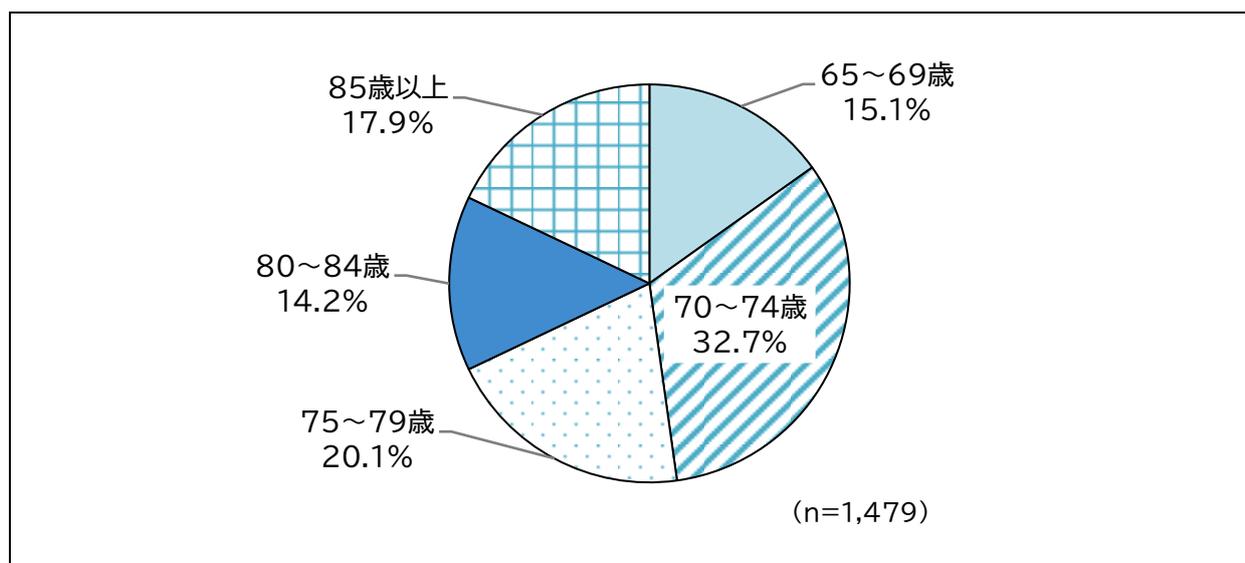
図表131 調査票記入者(全体)



●調査票の記入者について、「宛名のご本人が記入」と回答した人の割合は33.3%となっています。一方、「ご家族が記入」と回答した人の割合は56.2%となっています。

(2) 年齢

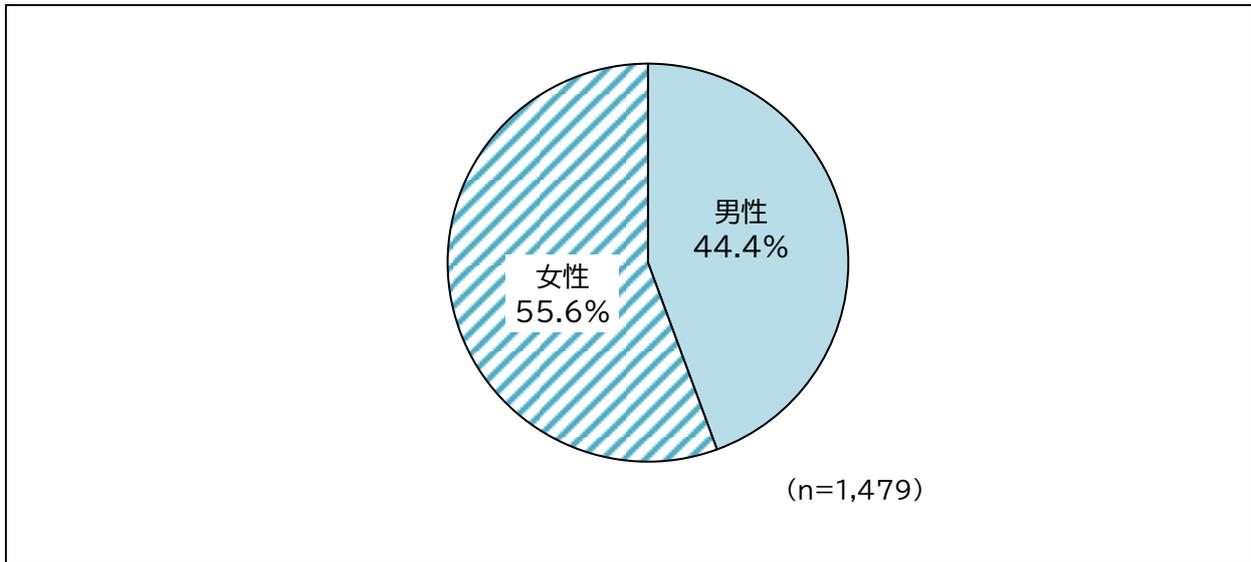
図表132 年齢(全体)



●年齢について、「70~74歳」と回答した人の割合が最も高く、32.7%となっています。次いで、「75~79歳」20.1%、「85歳以上」17.9%と続いています。

(3) 性別

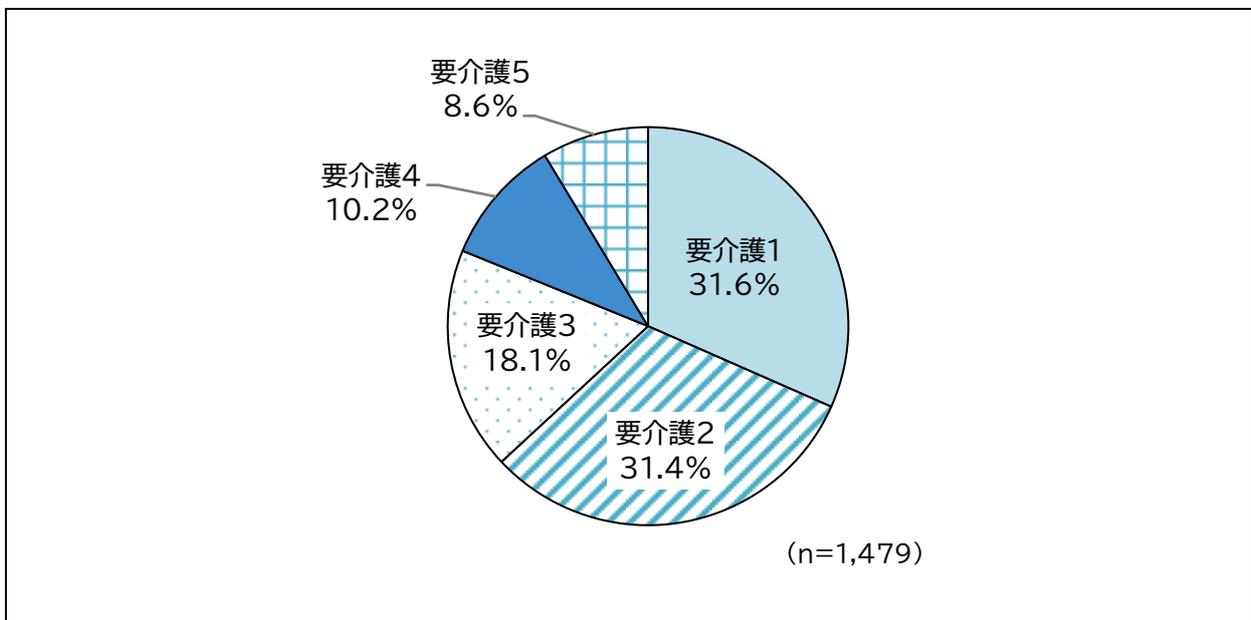
図表133 性別(全体)



●性別について、「男性」と回答した人の割合は44.4%となっています。一方、「女性」と回答した人の割合は55.6%となっています。

(4) 要介護認定状況

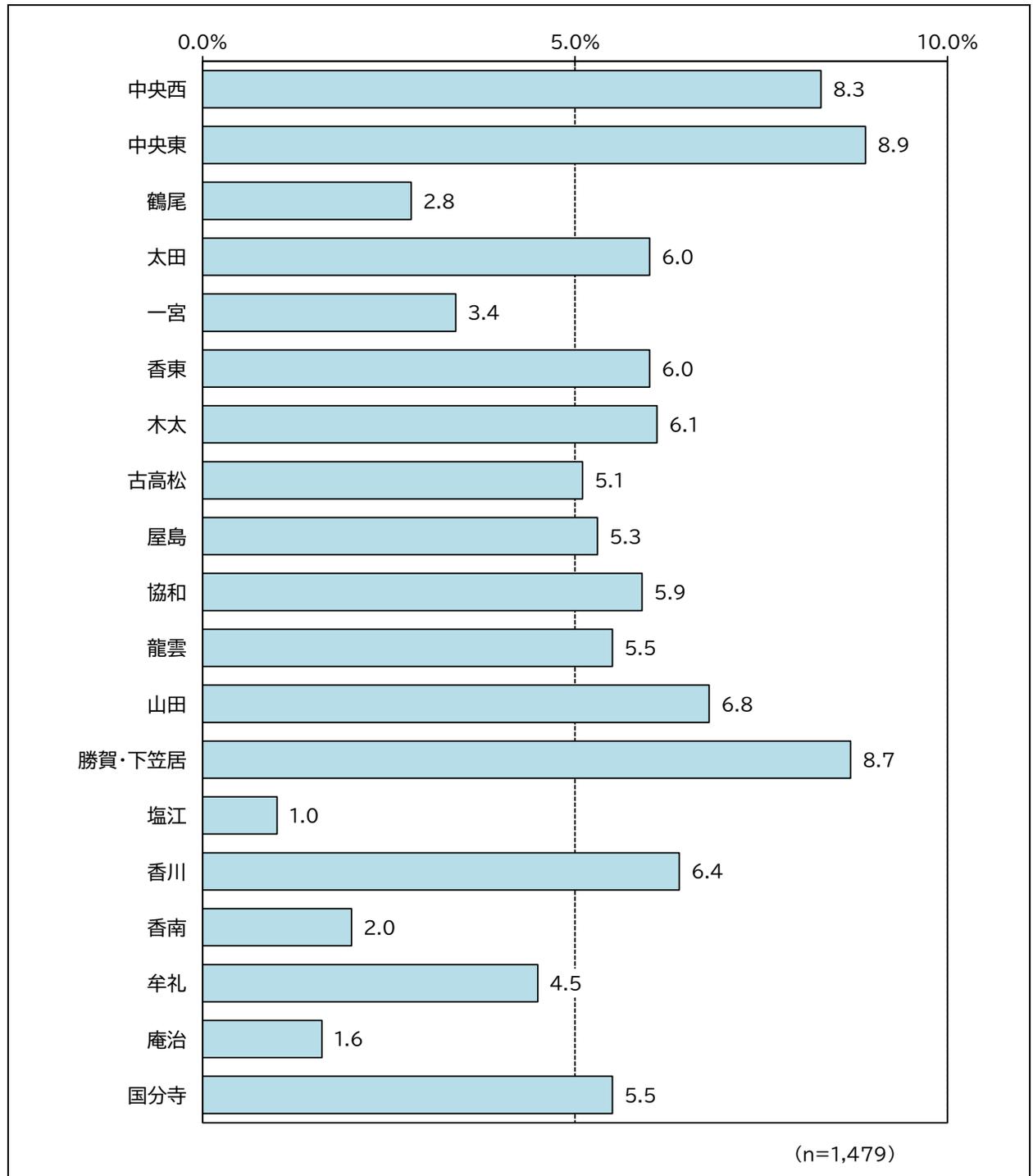
図表134 要介護認定状況(全体)



●要介護認定状況について、「要介護1」と回答した人の割合が最も高く、31.6%となっています。次いで、「要介護2」31.4%、「要介護3」18.1%と続いています。

(5) 日常生活圏域

図表135 日常生活圏域(全体)



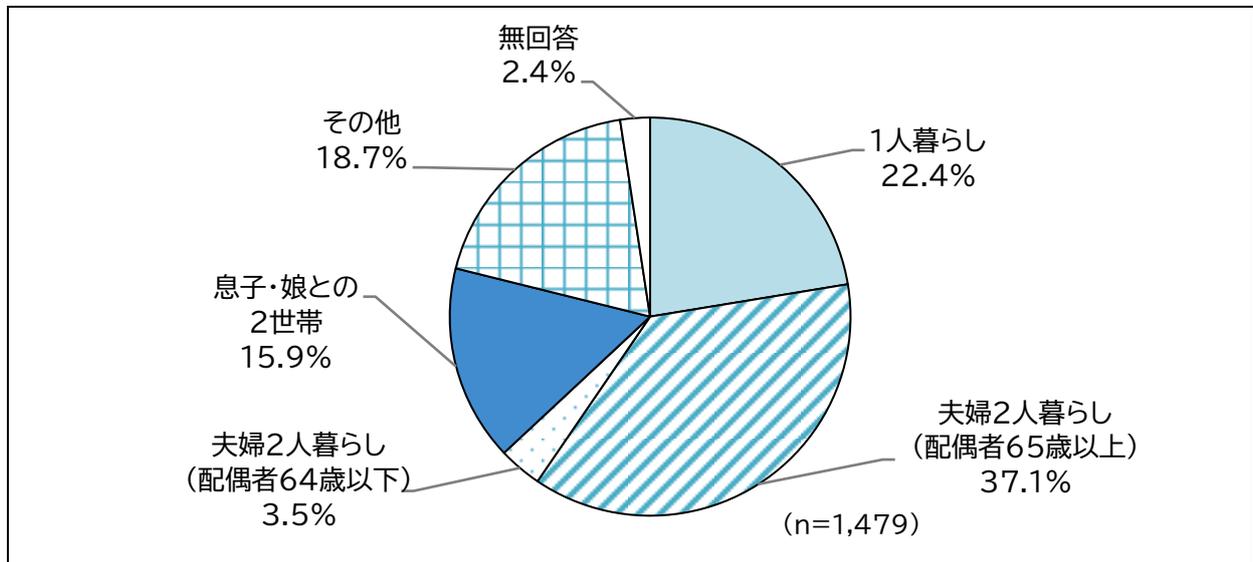
●お住まいの地域(日常生活圏域)について、「中央東」と回答した人の割合が最も高く、8.9%となっています。次いで、「勝賀・下笠居」8.7%、「中央西」8.3%と続いています。

2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成について

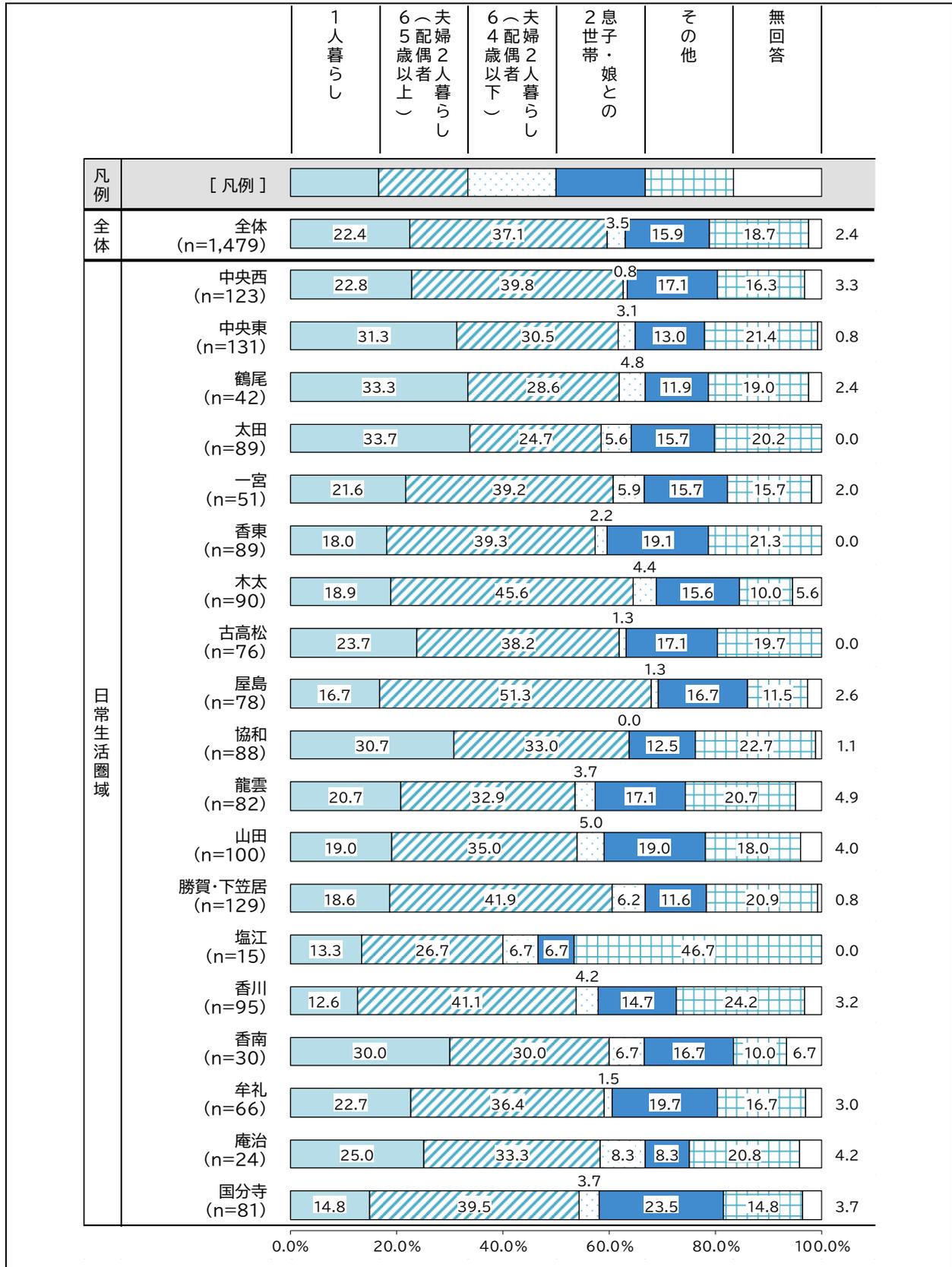
問1-1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

図表136 家族構成(全体)



● 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.1%で最も多く、次いで「1人暮らし」が22.4%、「息子・娘との2世帯」が15.9%となっています。

図表137 家族構成(日常生活圏域別)

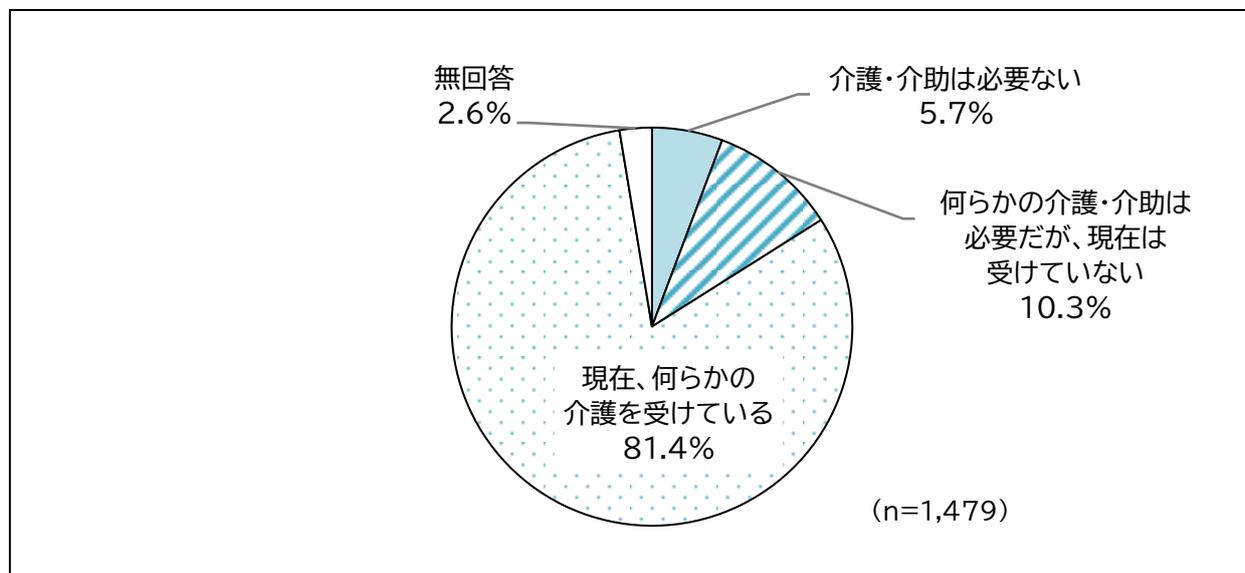


● 家族構成を日常生活圏域別にみると、大部分の圏域で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した人の割合が最も高くなっています。一方、「中央東」、「鶴尾」、「太田」では「一人暮らし」と回答した人の割合がその他の圏域に比べて高くなっています。

(2)介護・介助の状況について

問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

図表138 介護・介助の必要性(全体)

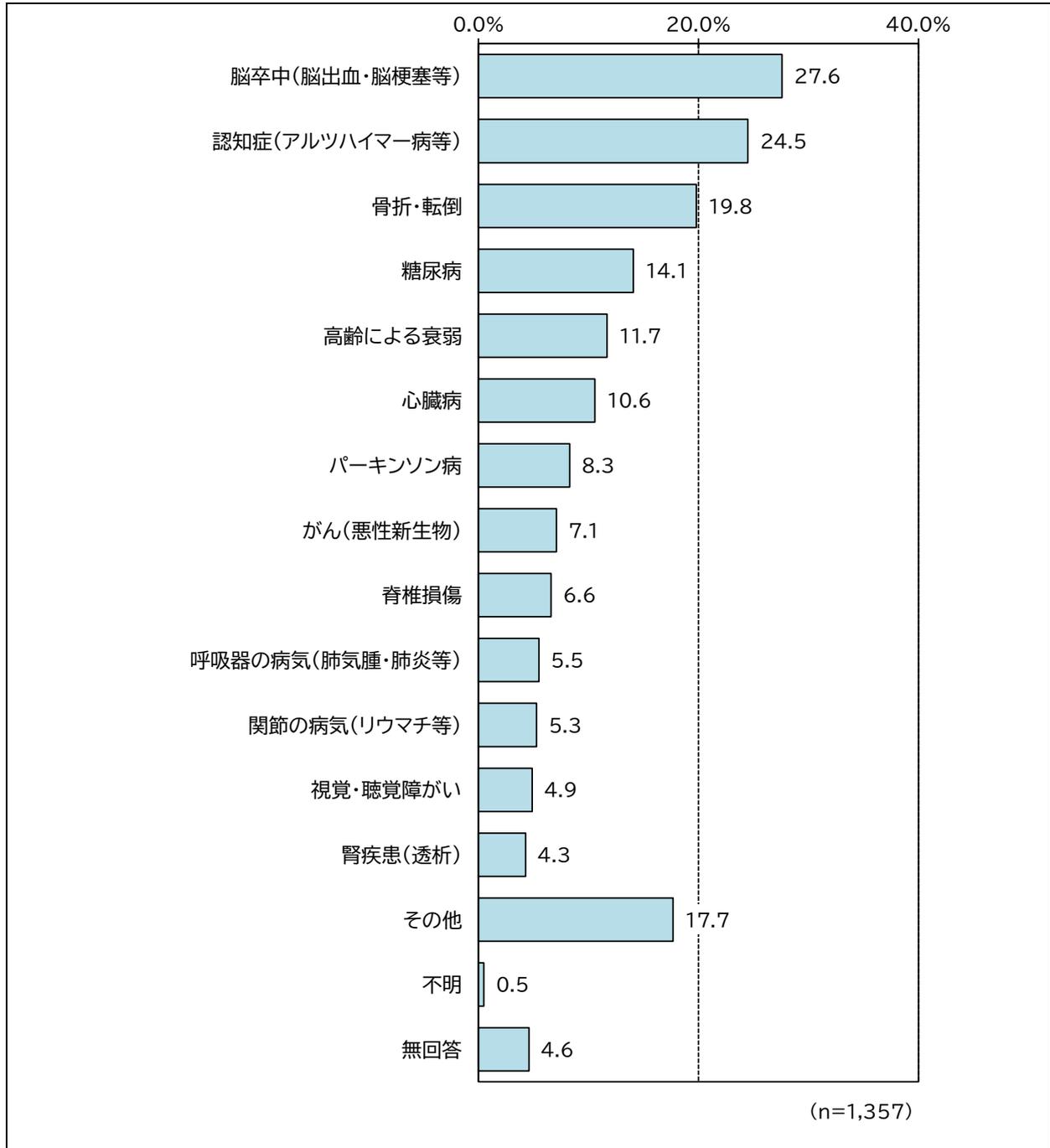


●介護・介助の必要性について、「現在、何らかの介護を受けている」が81.4%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.3%、「介護・介助は必要ない」が5.7%となっています。

問1-2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方

問1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

図表139 介護・介助が必要になった主な原因(全体/複数回答)



●介護・介助が必要になった主な原因について、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が27.6%で最も多く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」が24.5%、「骨折・転倒」が19.8%となっています。

● 第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上) ●

図表140 介護・介助が必要になった主な原因(年齢階層別)

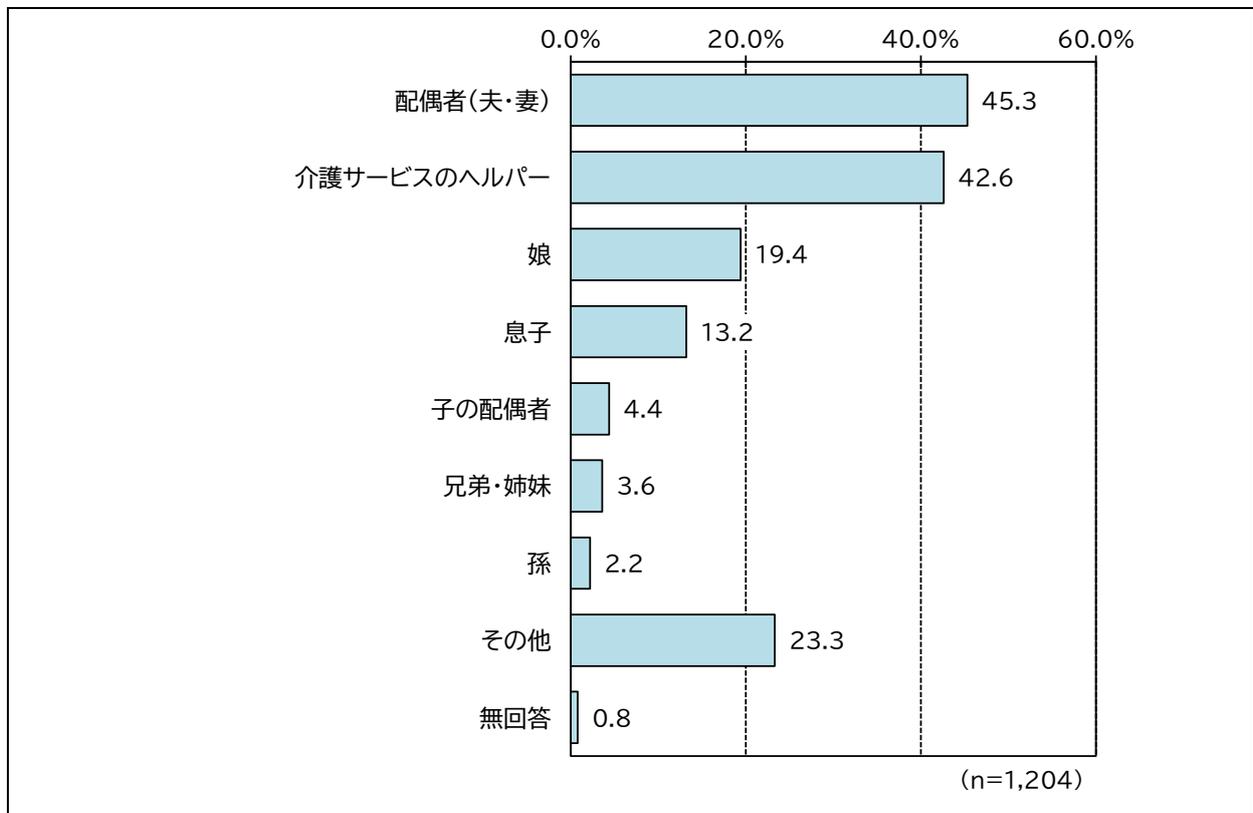
(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,357)		脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 27.6	認知症 (アルツハイマー病等) 24.5	骨折・転倒 19.8
年 齢 階 層 別	65~69歳 (n=213)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 36.2	糖尿病 14.1	骨折・転倒 11.7
	70~74歳 (n=443)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 30.7	認知症 (アルツハイマー病等) 22.6	骨折・転倒 16.5
	75~79歳 (n=269)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 29.4	認知症 (アルツハイマー病等) 25.7	骨折・転倒 20.1
	80~84歳 (n=188)	認知症 (アルツハイマー病等) 30.3	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 23.9	骨折・転倒 19.1
	85歳以上 (n=244)	認知症 (アルツハイマー病等) 34.4	骨折・転倒 33.2	高齢による衰弱 31.6

- 介護・介助が必要になった主な原因を年齢階層別にみると、「65~79歳」までの3つの年齢階層は「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が第1位となっています。また、「80歳以上」の2つの年齢階層は「認知症(アルツハイマー病等)」が第1位となっており、それぞれの年齢階層で介護・介助が必要になった主な原因に違いがみられます。

問1-2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方
 問1-2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

図表141 主な介護・介助者(全体/複数回答)

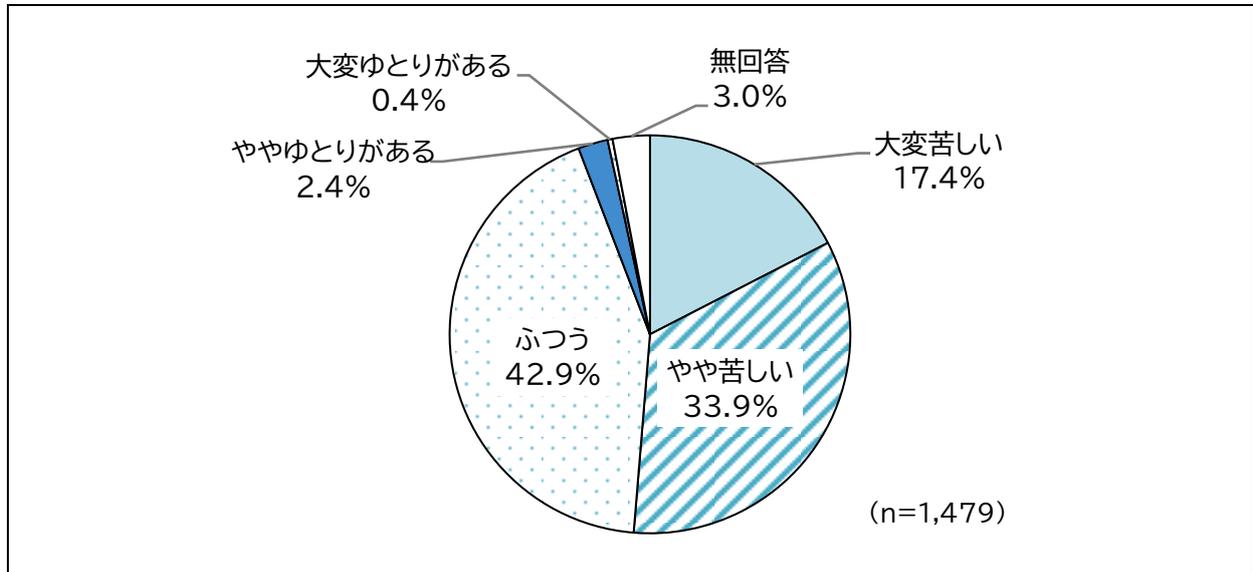


●主な介護者について、「配偶者(夫・妻)」が45.3%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が42.6%、「娘」が19.4%となっています。

(3)現在の経済状況

問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

図表142 現在の経済状況(全体)

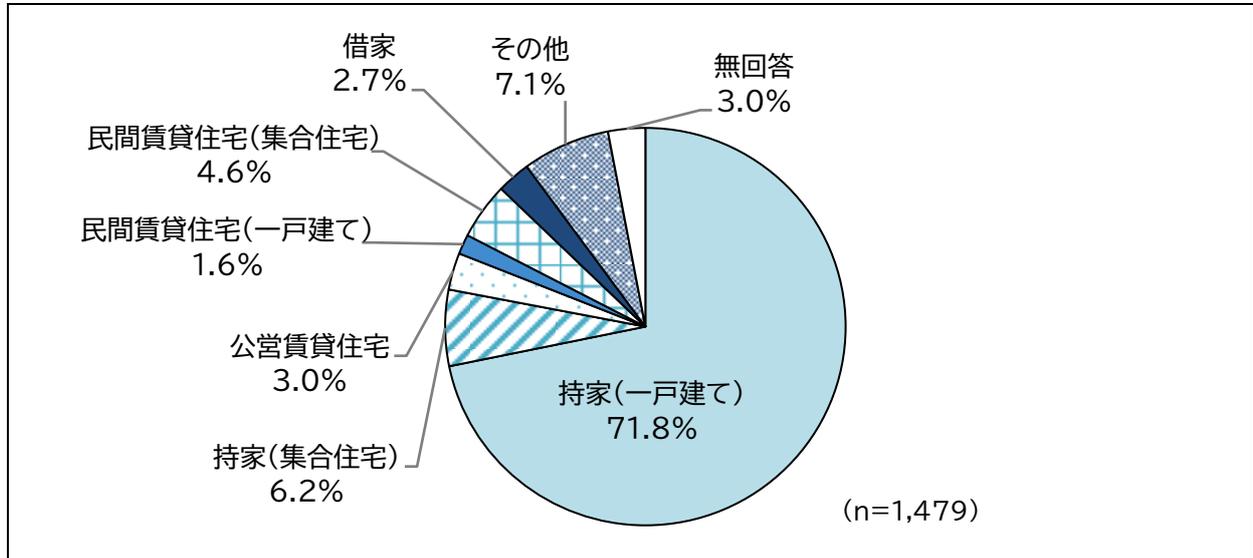


●経済状況について、「ふつう」が42.9%で最も多く、次いで「やや苦しい」が33.9%、「大変苦しい」が17.4%となっています。

(4)住まいの状況

問1-4 お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

図表143 住まいの状況について(全体)



●住まいについて、「持家(一人建て)」が71.8%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が6.2%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が4.6%となっています。

図表144 住まいの状況について(認定該当状況別)

(単位:%)

	母数 (n)	住まい								
		(持家一人建て)	(持家集合住宅)	公営賃貸住宅	(民間賃貸住宅一人建て)	(民間賃貸住宅集合住宅)	借家	その他	無回答	
全体	1,479	71.8	6.2	3.0	1.6	4.6	2.7	7.1	3.0	
認定該当状況	要介護1	468	76.1	5.6	3.4	1.5	5.1	3.0	3.4	1.9
	要介護2	465	71.2	7.5	2.8	1.9	5.2	2.4	5.2	3.9
	要介護3	268	70.1	5.6	3.7	1.1	4.1	3.0	9.7	2.6
	要介護4	151	65.6	7.9	2.0	1.3	1.3	2.6	15.2	4.0
	要介護5	127	69.3	3.1	1.6	1.6	5.5	2.4	12.6	3.9

※図表144の表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。

●住まいの状況を認定該当状況別にみると、全ての介護度で持家(一人建て)の割合が高くなっています。

3. からだを動かすことについて

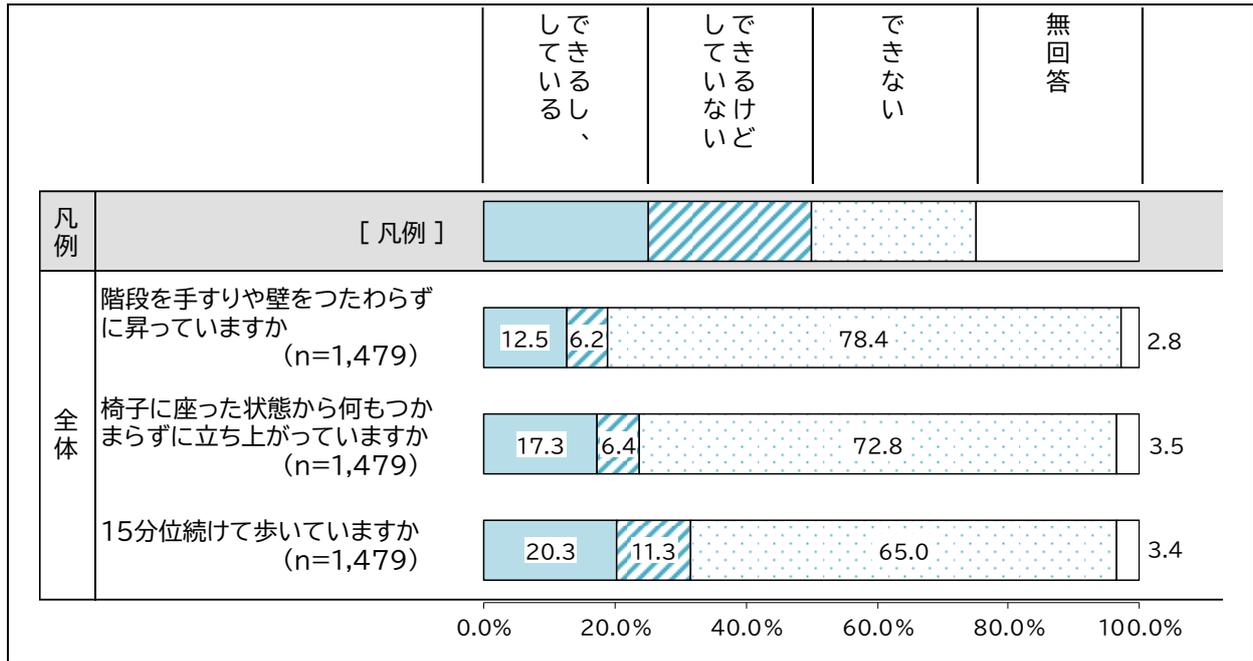
(1)運動器の機能について

問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)

問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)

問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

図表145 運動器の機能について(全体)

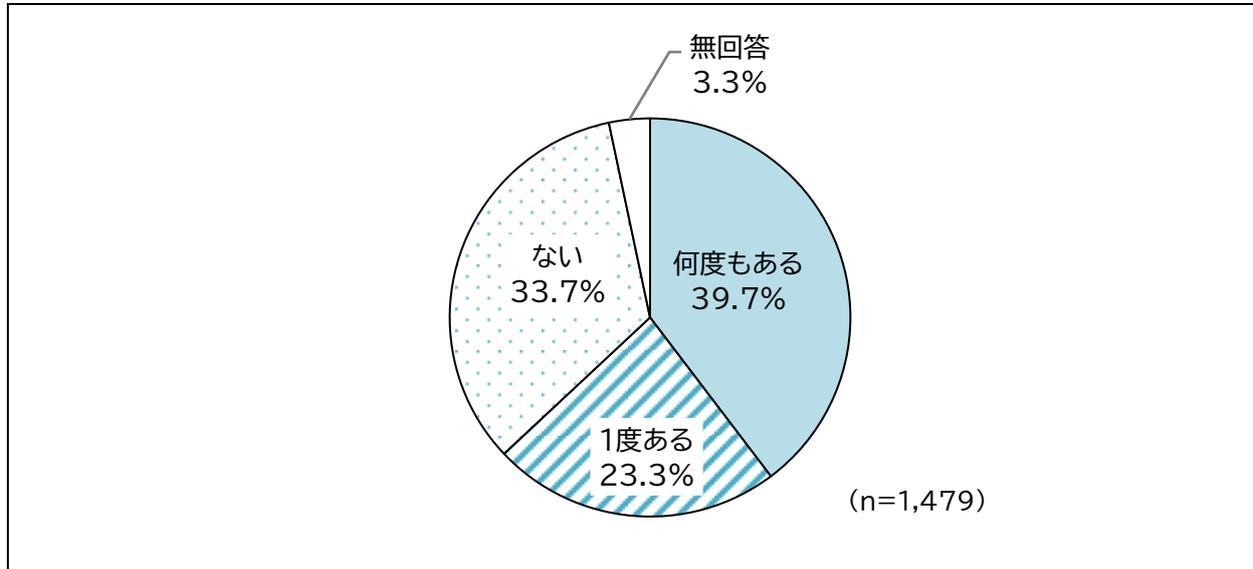


●運動器の機能について、全ての設問で「できない」と回答している人の割合が6割を超えています。特に、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」という設問では、「できない」と回答した人の割合が78.4%と、他の設問に比べて高くなっています。一方、「できるし、している」と回答した人の割合については、「15分位続けて歩いていますか」が最も高く、20.3%となっています。

(2)転倒について

問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

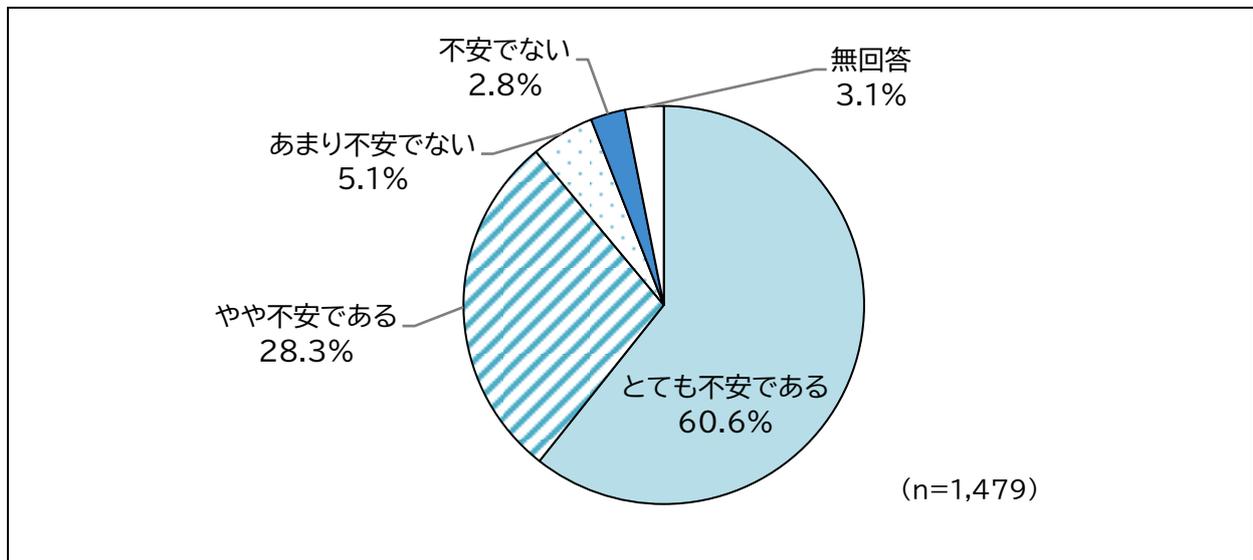
図表146 転倒の経験(全体)



●転倒経験について、「何度もある」が39.7%で最も多く、次いで「ない」が33.7%、「1度ある」が23.3%となっています。

問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

図表147 転倒に対する不安(全体)

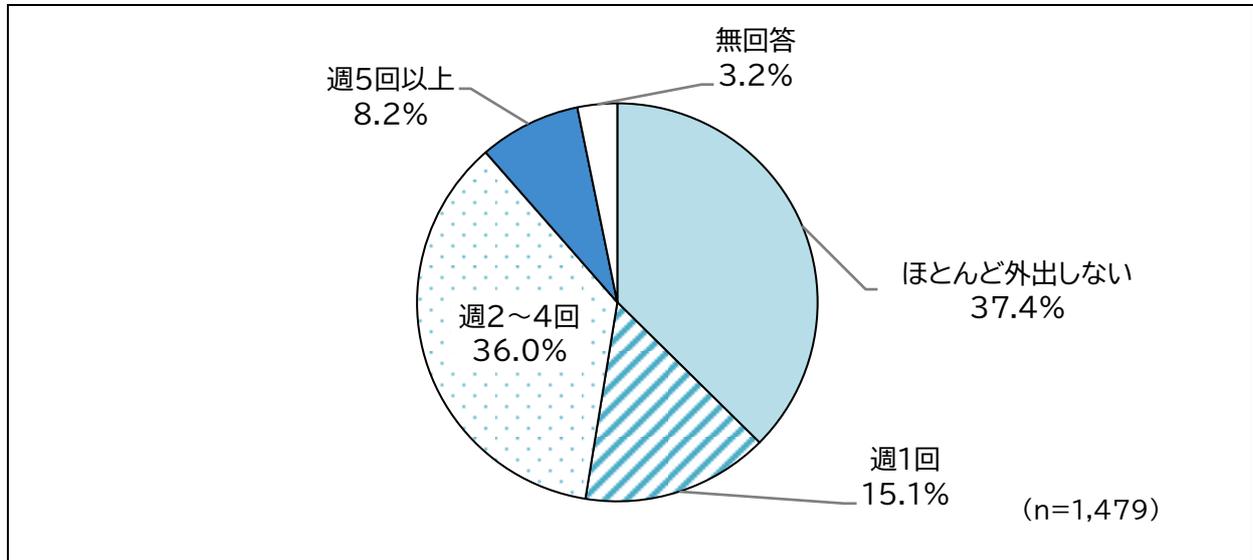


●転倒に対する不安について、「とても不安である」が60.6%で最も多く、次いで「やや不安である」が28.3%、「あまり不安でない」が5.1%となっています。

(3)閉じこもり傾向について

問2-6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

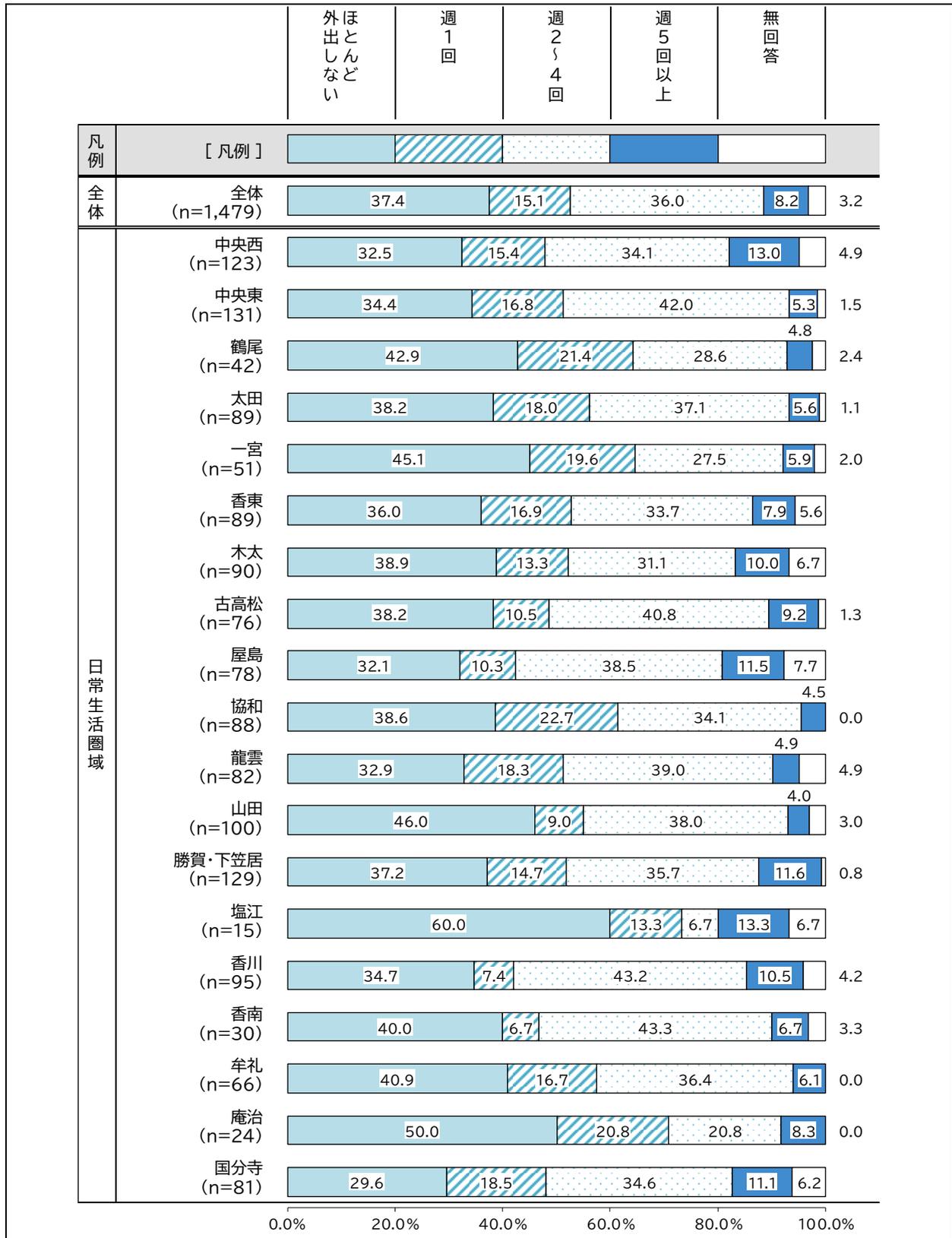
図表148 1週間当たりの外出回数について(全体)



●外出頻度について、「ほとんど外出しない」が37.4%で最も多く、次いで「週2~4回」が36.0%、「週1回」が15.1%となっています。

● 第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上) ●

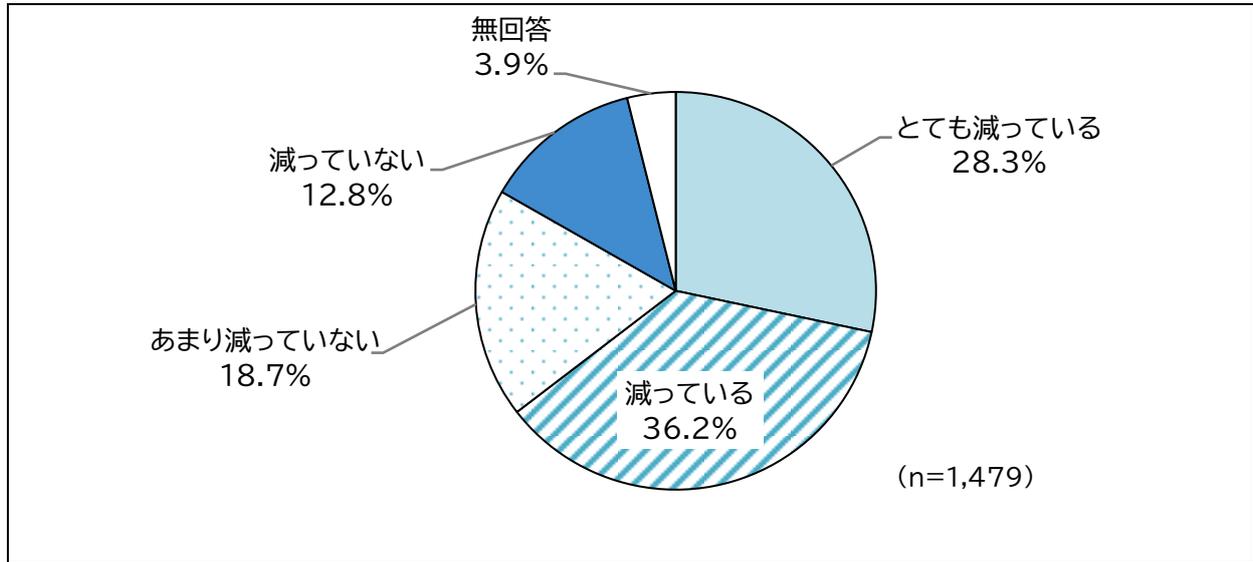
図表149 1週間当たりの外出回数について(日常生活圏域別)



●1週間当たりの外出回数について日常生活圏域別にみると、「ほとんど外出しない」と回答した人の割合が最も高い圏域が11圏域と、半数以上を占めており、特に、「塩江」では60.0%と高い割合となっています。一方、「週5回以上」と回答した人の割合が10%を超えている圏域は7圏域となっています。

問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

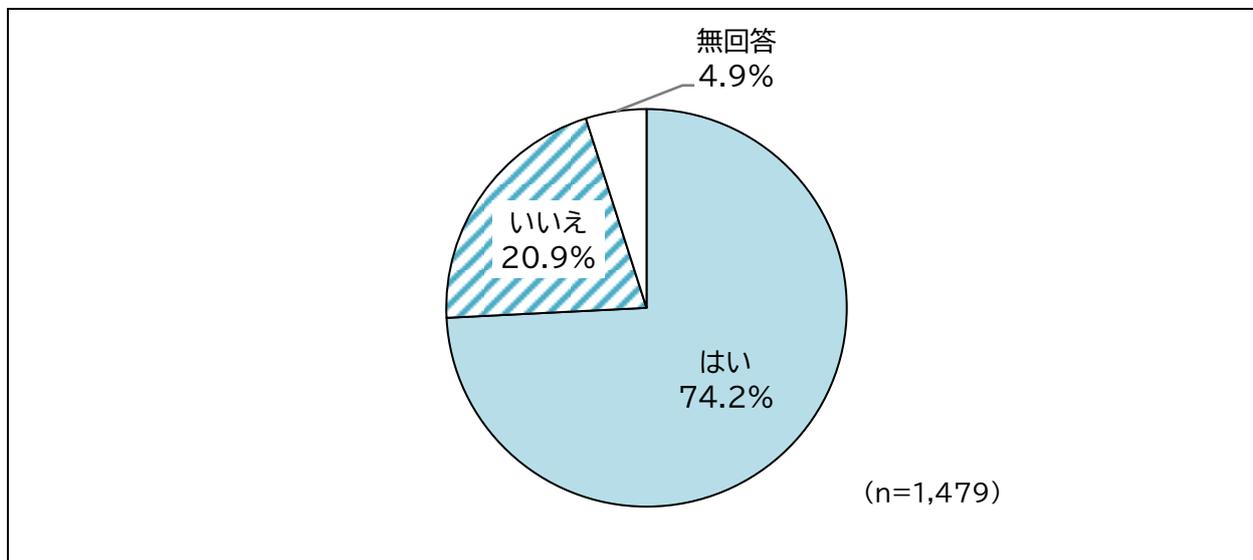
図表150 外出回数について(全体)



●昨年と比べて外出の回数について、「減っている」が36.2%で最も多く、次いで「とても減っている」が28.3%、「あまり減っていない」が18.7%となっています。

問2-8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

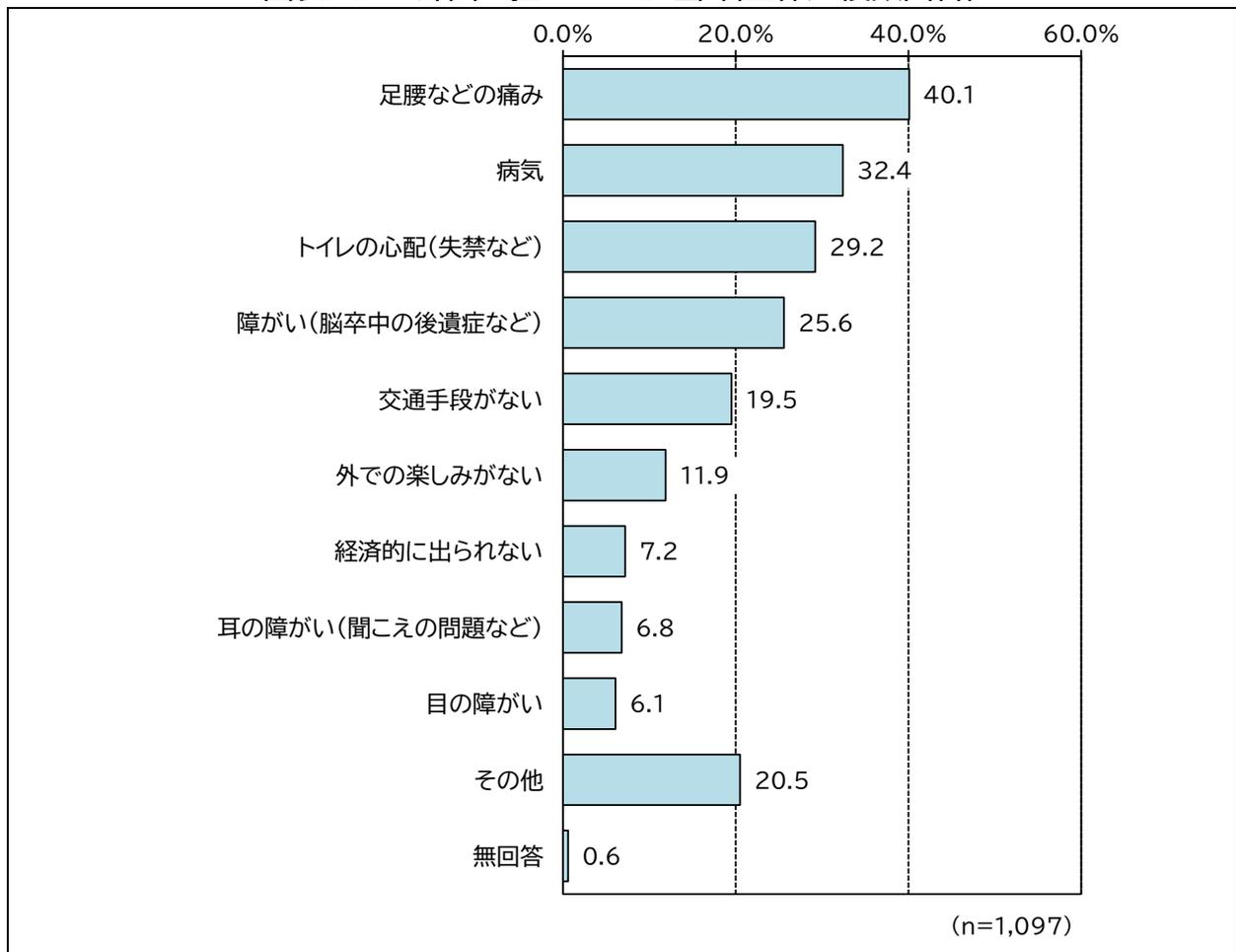
図表151 外出を控えているかについて(全体)



●外出を控えているかについて、「はい」が74.2%、「いいえ」が20.9%となっています。

問2-8で「1. はい(外出を控えている)」と回答した方
 問2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

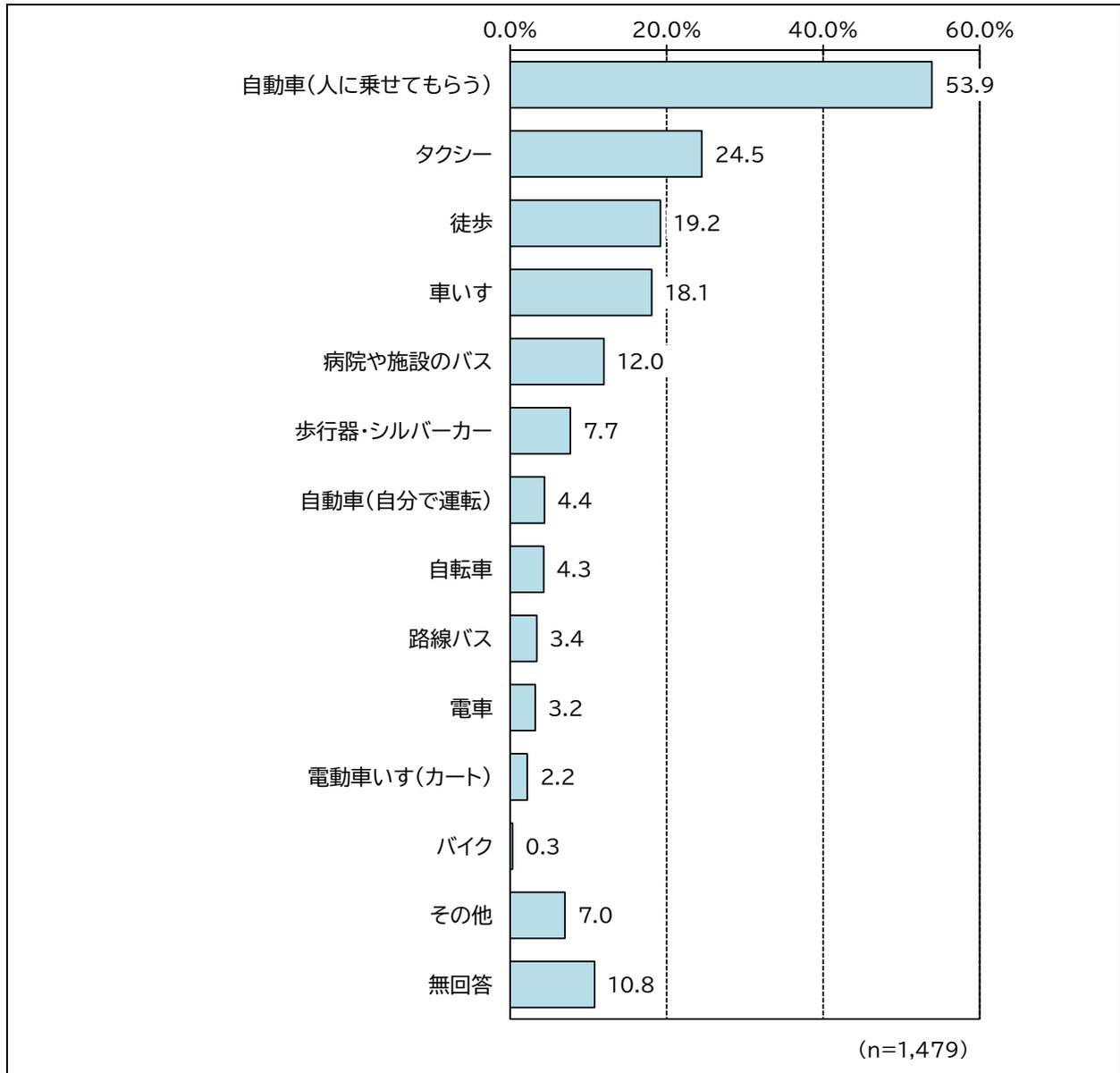
図表152 外出を控えている理由(全体/複数回答)



●外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が40.1%で最も多く、次いで「病気」が32.4%、「トイレの心配(失禁など)」が29.2%となっています。

問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

図表153 外出する際の移動手段(全体/複数回答)



●外出する際の移動手段について、「自動車(人に乗せてもらう)」が53.9%で最も多く、次いで「タクシー」が24.5%、「徒歩」が19.2%となっています。

● 第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上) ●

図表154 外出する際の移動手段(日常生活圏域別)

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位
日常生活圏域	全体 (n=1,479)	自動車(人に乗せてもらう) 53.9	タクシー 24.5	徒歩 19.2
	中央西 (n=123)	自動車(人に乗せてもらう) 46.3	タクシー 31.7	徒歩 26.8
	中央東 (n=131)	自動車(人に乗せてもらう) 43.5	タクシー 35.9	徒歩 22.9
	鶴尾 (n=42)	自動車(人に乗せてもらう) 45.2	徒歩/タクシー 31.0	
	太田 (n=89)	自動車(人に乗せてもらう) 41.6	タクシー 30.3	徒歩/車いす 20.2
	一宮 (n=51)	自動車(人に乗せてもらう) 58.8	車いす 29.4	徒歩/タクシー 17.6
	香東 (n=89)	自動車(人に乗せてもらう) 58.4	タクシー 21.3	車いす 18.0
	木太 (n=90)	自動車(人に乗せてもらう) 54.4	タクシー 27.8	徒歩/車いす 13.3
	古高松 (n=76)	自動車(人に乗せてもらう) 52.6	タクシー 26.3	徒歩 22.4
	屋島 (n=78)	自動車(人に乗せてもらう) 59.0	車いす/タクシー 21.8	
	協和 (n=88)	自動車(人に乗せてもらう) 55.7	徒歩 22.7	タクシー 21.6
	龍雲 (n=82)	自動車(人に乗せてもらう) 52.4	タクシー 23.2	徒歩 18.3
	山田 (n=100)	自動車(人に乗せてもらう) 63.0	車いす 19.0	徒歩 17.0
	勝賀・下笠居 (n=129)	自動車(人に乗せてもらう) 59.7	徒歩/タクシー 24.8	
	塩江 (n=15)	自動車(人に乗せてもらう) 60.0	徒歩/病院や施設のバス 13.3	
	香川 (n=95)	自動車(人に乗せてもらう) 61.1	タクシー 15.8	病院や施設のバス/車いす 13.7
	香南 (n=30)	自動車(人に乗せてもらう) 56.7	徒歩/車いす 20.0	
	牟礼 (n=66)	自動車(人に乗せてもらう) 48.5	タクシー 25.8	徒歩 19.7
	庵治 (n=24)	自動車(人に乗せてもらう) 66.7	病院や施設のバス 16.7	徒歩/車いす/タクシー 12.5
	国分寺 (n=81)	自動車(人に乗せてもらう) 56.8	タクシー 25.9	徒歩 19.8

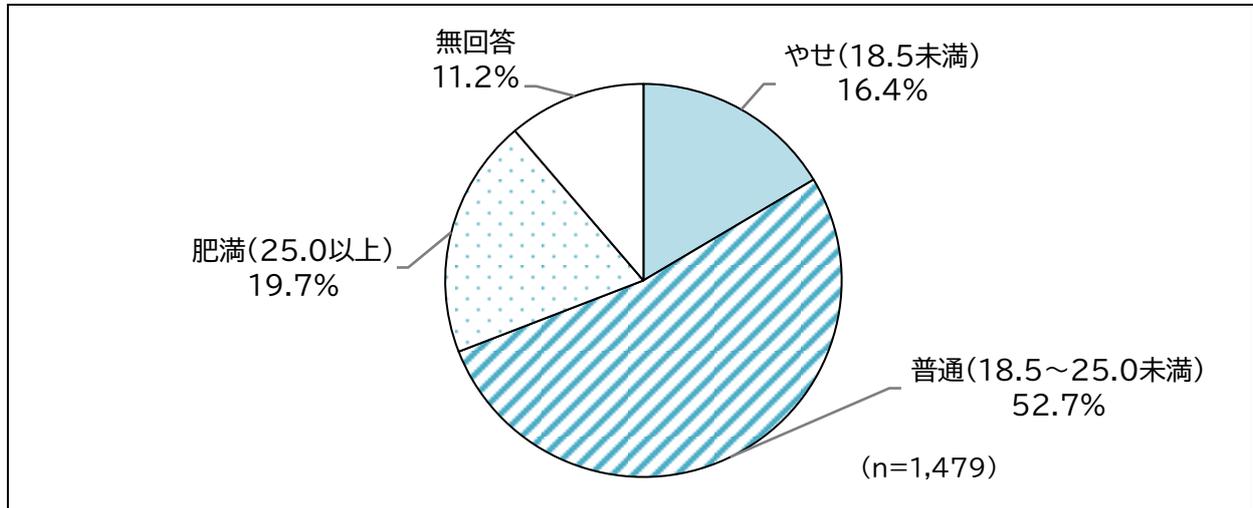
●外出する際の移動手段を日常生活圏域別にみると、すべての圏域で「自動車(人に乗せてもらう)」が第1位となっています。

4. 食べることについて

(1)BMI算出

問3-1 身長・体重を教えてください。

図表155 BMI値(全体)

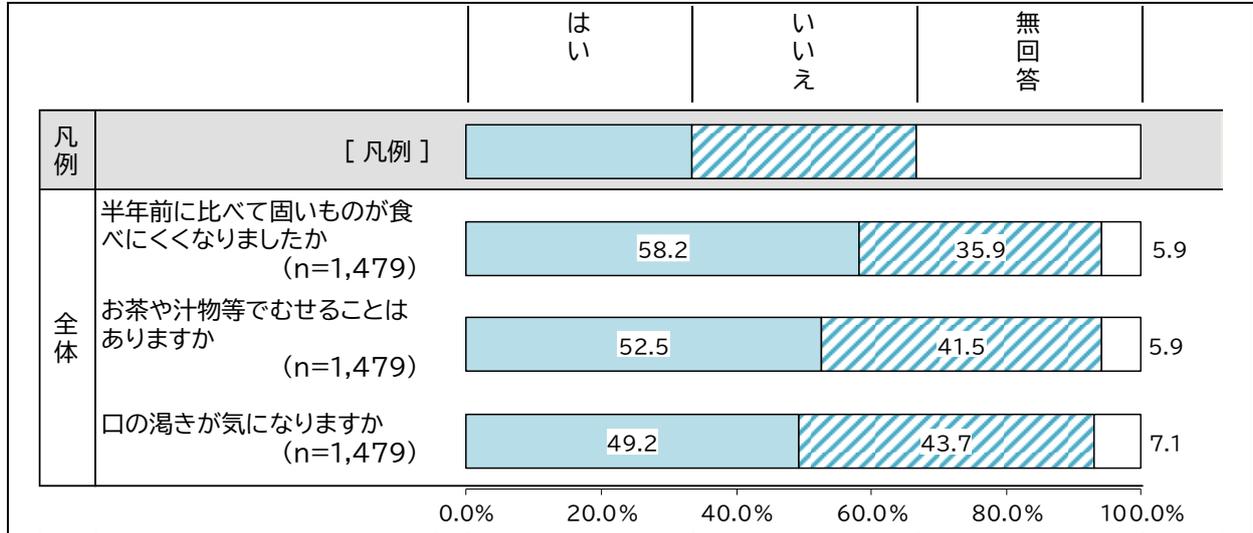


●BMI値について、「普通(18.5~25.0未満)」が52.7%で最も多く、次いで「肥満(25.0以上)」が19.7%、「やせ(18.5未満)」が16.4%となっています

(2)口腔機能について

- 問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)
 問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)
 問3-4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

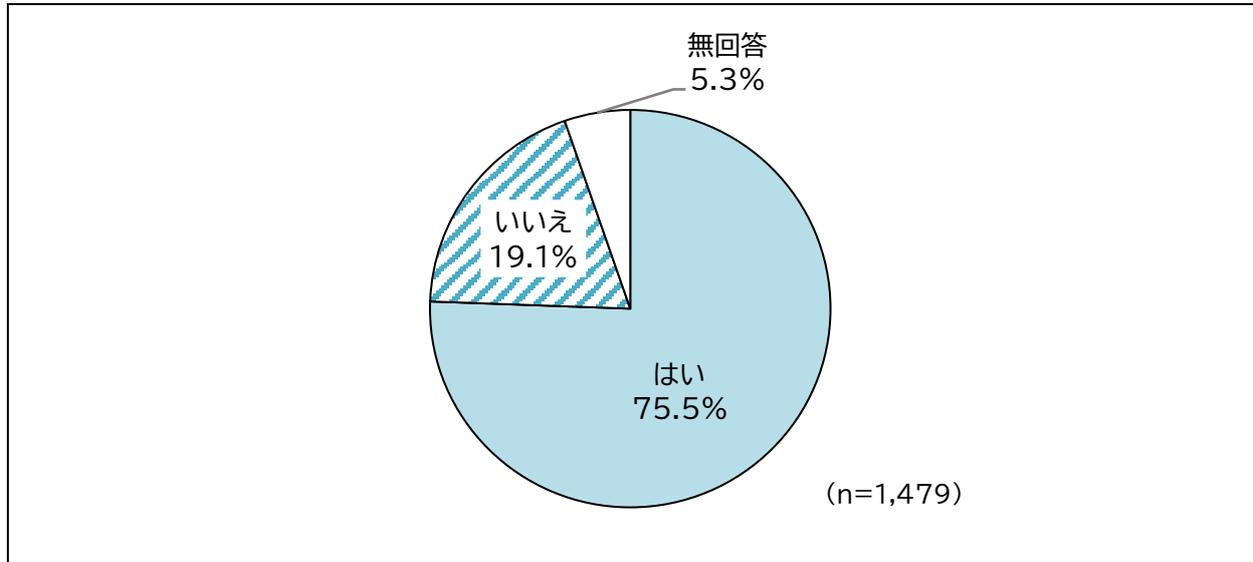
図表156 口腔機能について(全体)



●口腔機能について、どの設問においても「はい」と回答した人の割合が「いいえ」と回答した人の割合を上回っており、口腔機能の低下を感じている人の方が多くなっています。

問3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つだけ○)

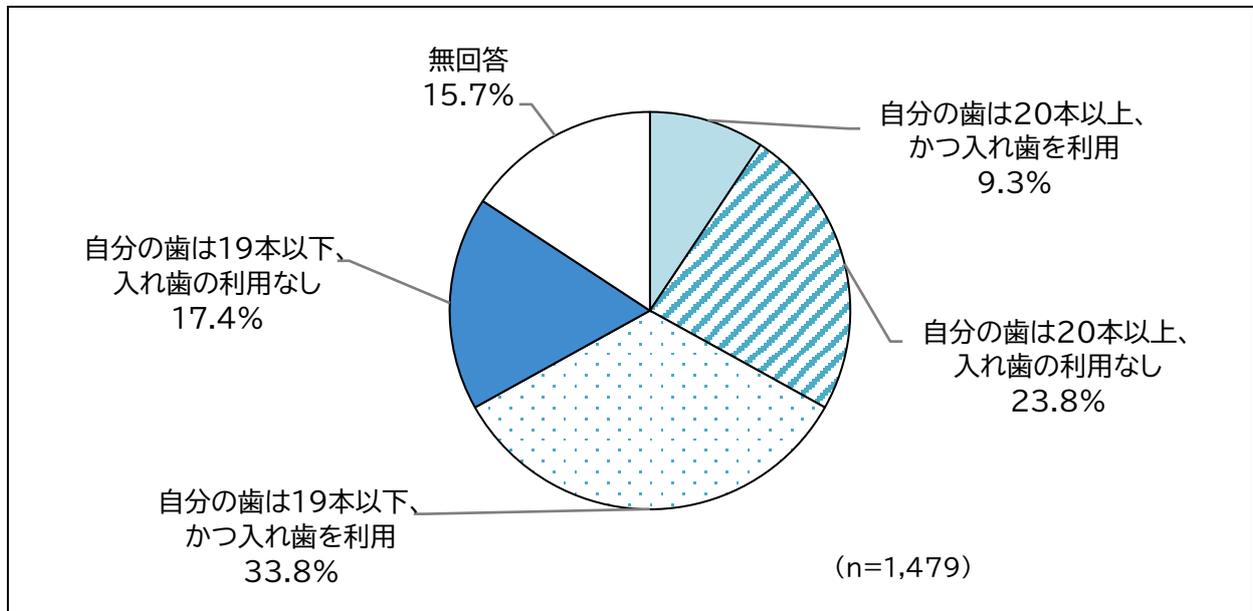
図表157 歯磨きの習慣について(全体)



●歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が75.5%、「いいえ」が19.1%となっています。

問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

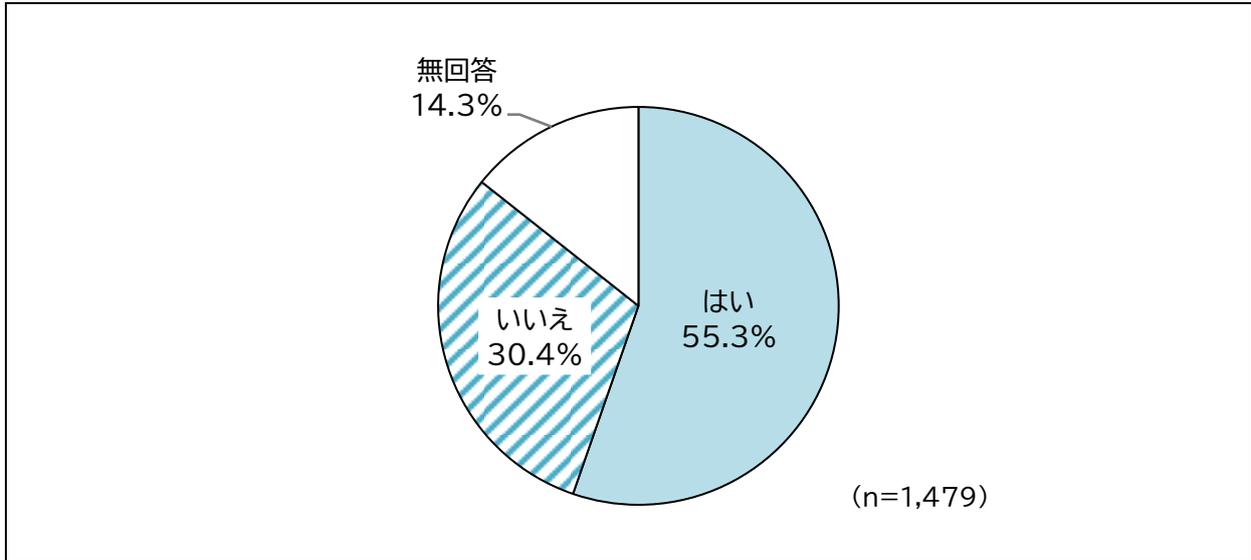
図表158 歯の数と入れ歯の利用状況(全体)



●歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が23.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が17.4%となっています。

問3-6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ○)

図表159 噛み合わせの状態について(全体)

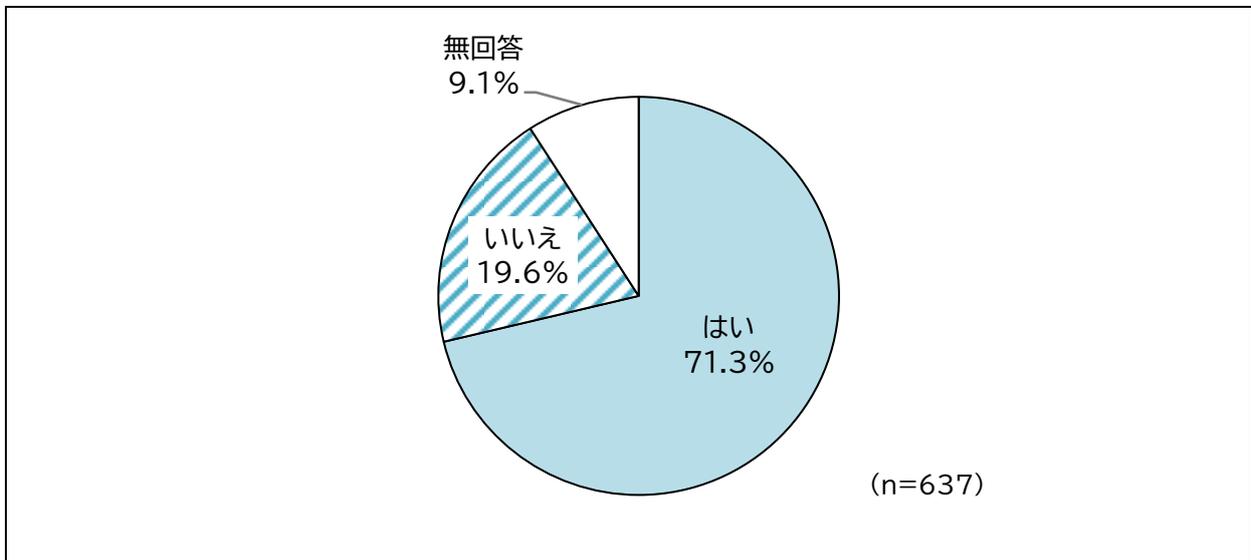


●噛み合わせは良いかについて、「はい」が55.3%、「いいえ」が30.4%となっています。

問3-6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方

問3-6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ○)

図表160 入れ歯の手入れについて(全体)

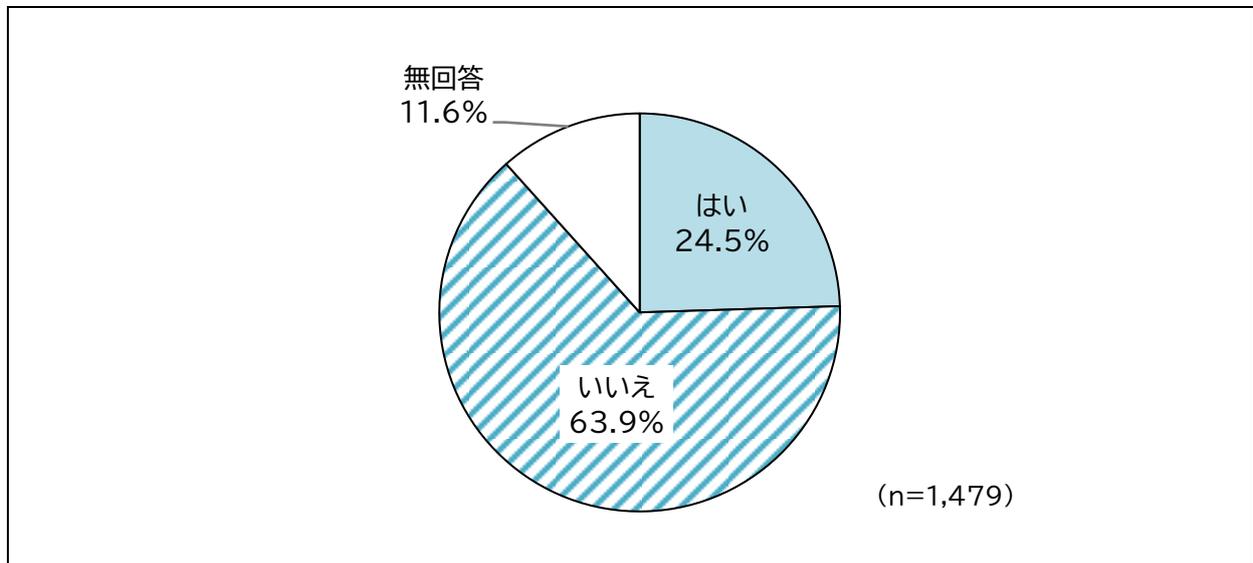


●毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が71.3%、「いいえ」が19.6%となっています。

(3)体重減少の有無について

問3-7 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

図表161 体重減少の有無について(全体)

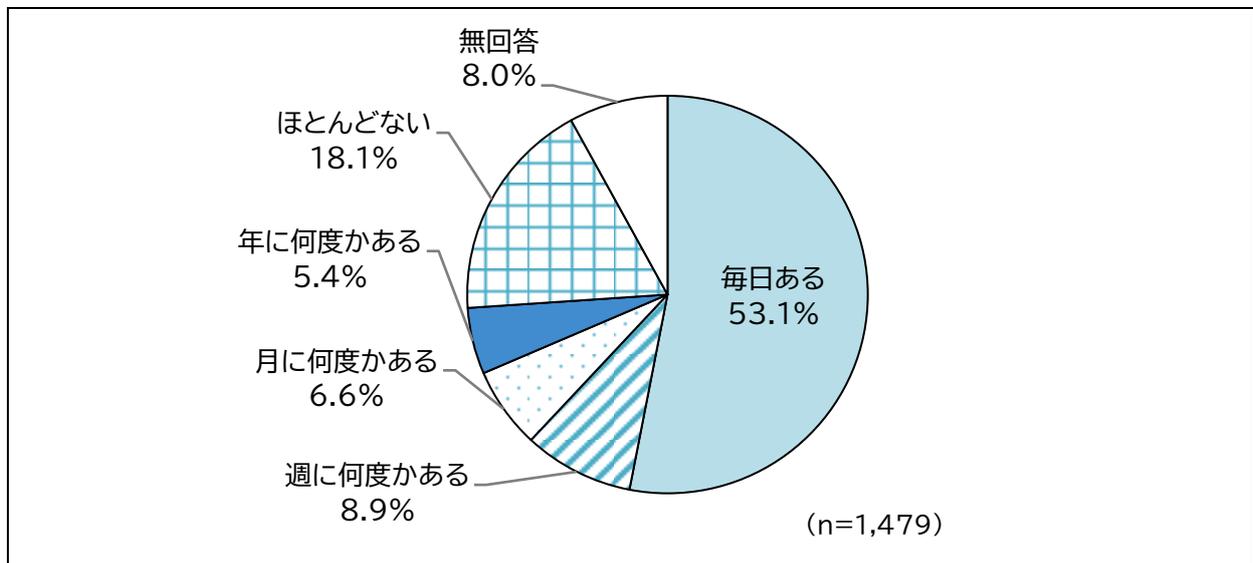


●6か月間で2~3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が24.5%、「いいえ」が63.9%となっています。

(4) 孤食の状況について

問3-8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)

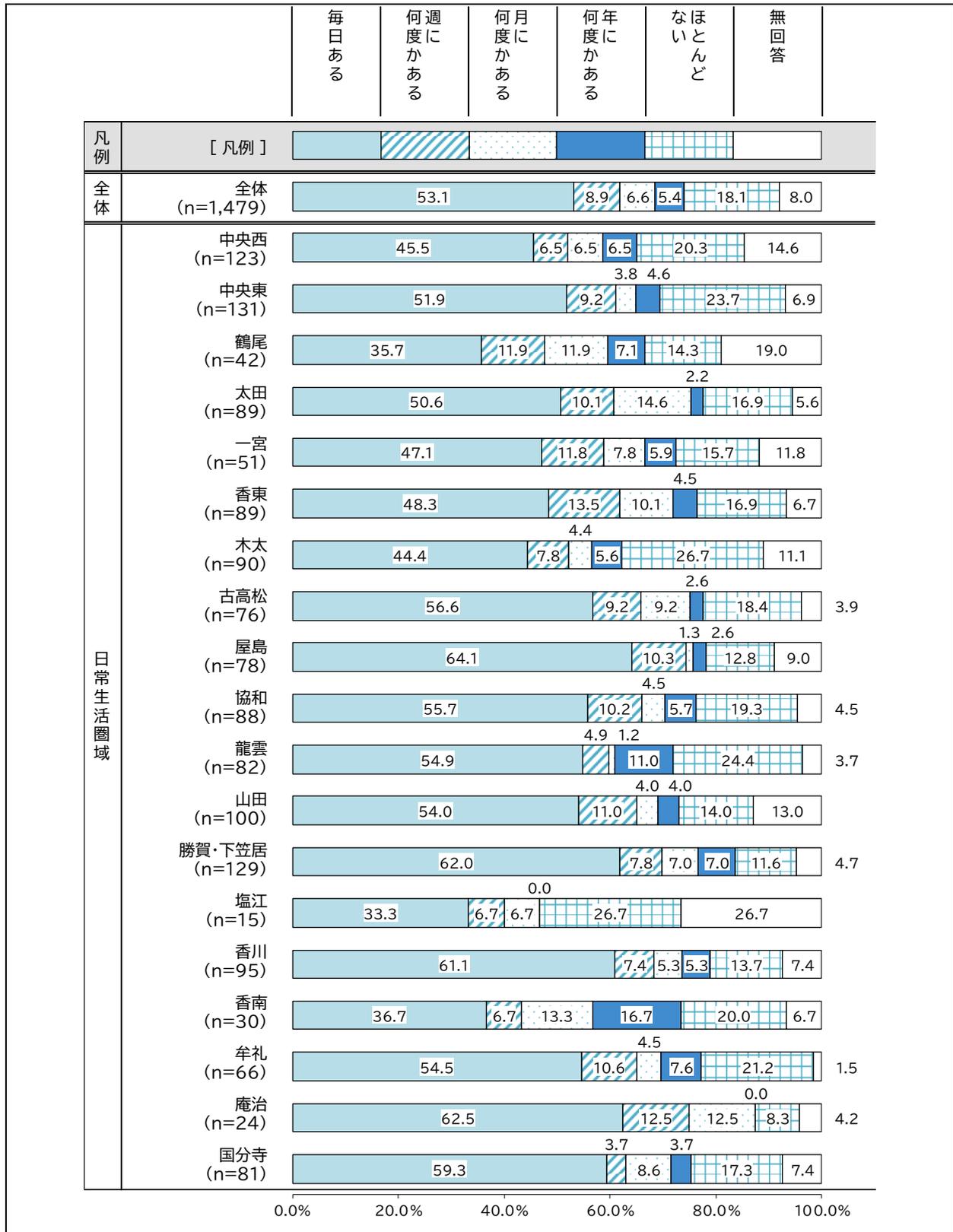
図表162 誰かと食事をとる機会の有無について(全体)



● 誰かと食事をとる機会の有無について、「毎日ある」が53.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.1%、「週に何度かある」が8.9%となっています。

● 第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上) ●

図表163 誰かと食事をとにもする機会の有無について(日常生活圏域別)



● 誰かと食事をとにもする機会の有無について日常生活圏域別にみると、全ての圏域で「毎日ある」と回答した人の割合が最も高くなっています。一方、「ほとんどない」と回答した人の割合が「木太」、「塩江」では26.7%、「龍雲」では24.4%となっており、その他の圏域に比べて割合が高くなっています。

5. 毎日の生活について

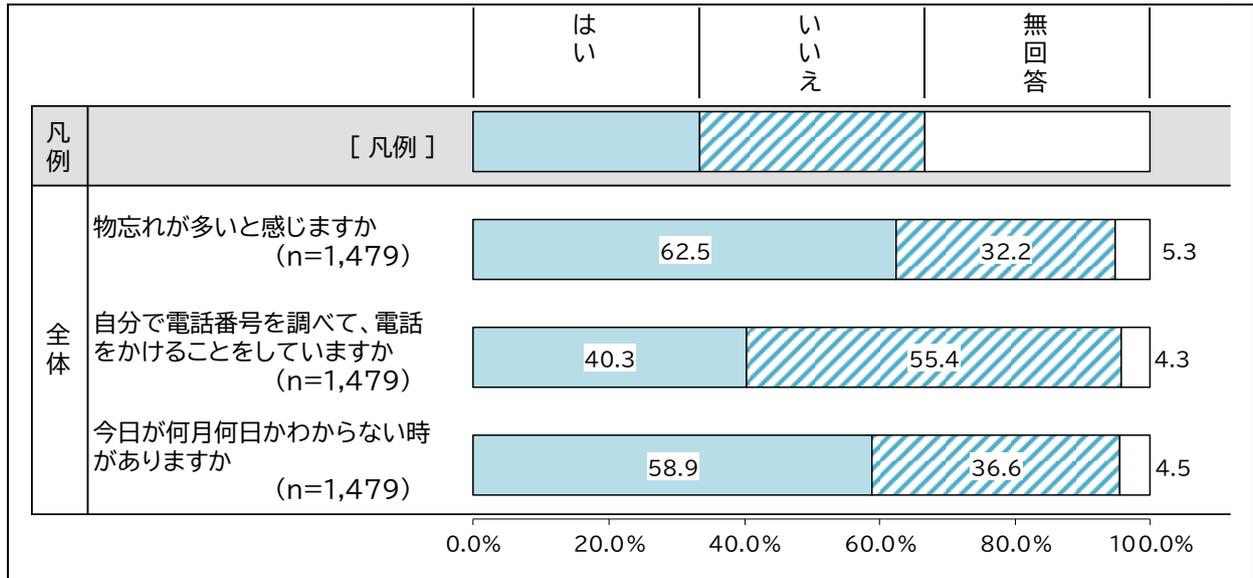
(1) 認知機能について

問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

問4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)

図表164 認知機能の低下について(全体)

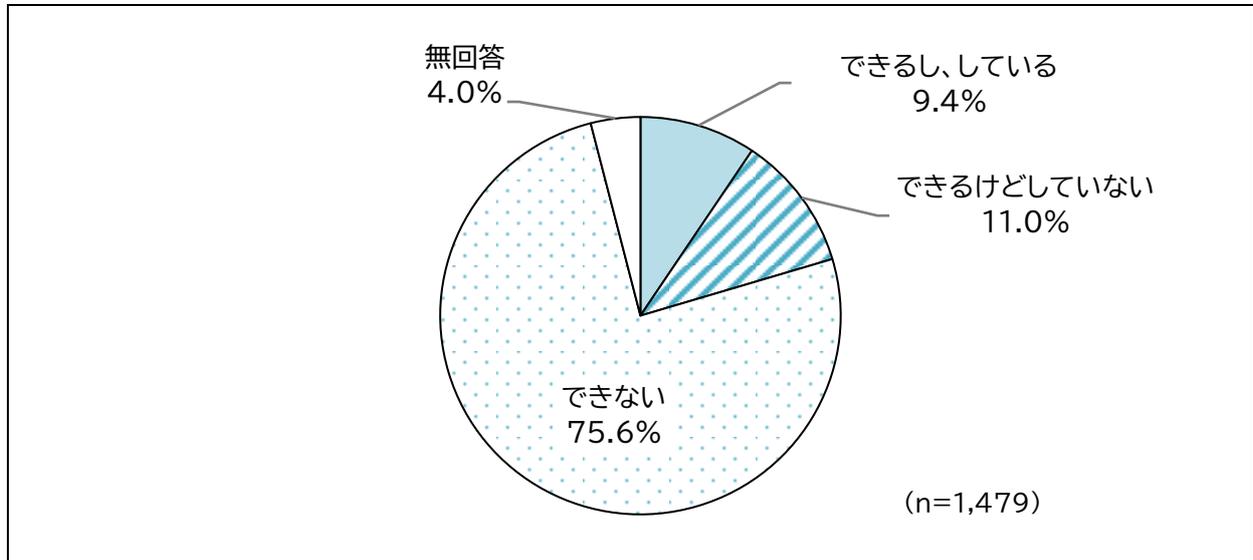


●認知機能について、「はい」と回答した人の割合は「物忘れが多いと感じますか」62.5%、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」40.3%、「今日が何月何日かわからない時がありますか」58.9%となっています。

(2)IADL<手段的日常生活動作>について(老研式活動能力指標)

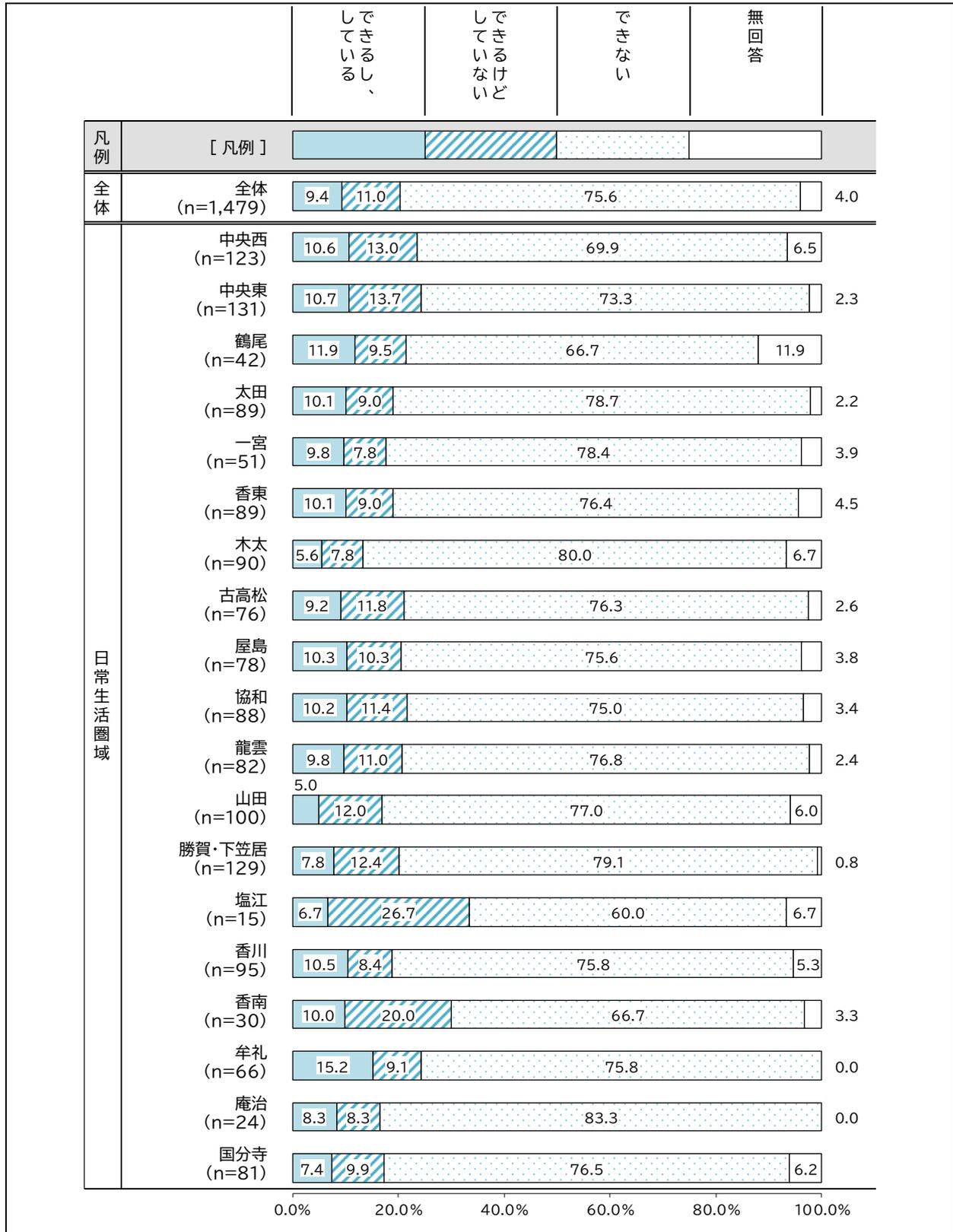
問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つだけ○)

図表165 公共交通機関を利用した1人での外出(全体)



●バスや電車を使った1人での外出について、「できない」が75.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.0%、「できるし、している」が9.4%となっています。

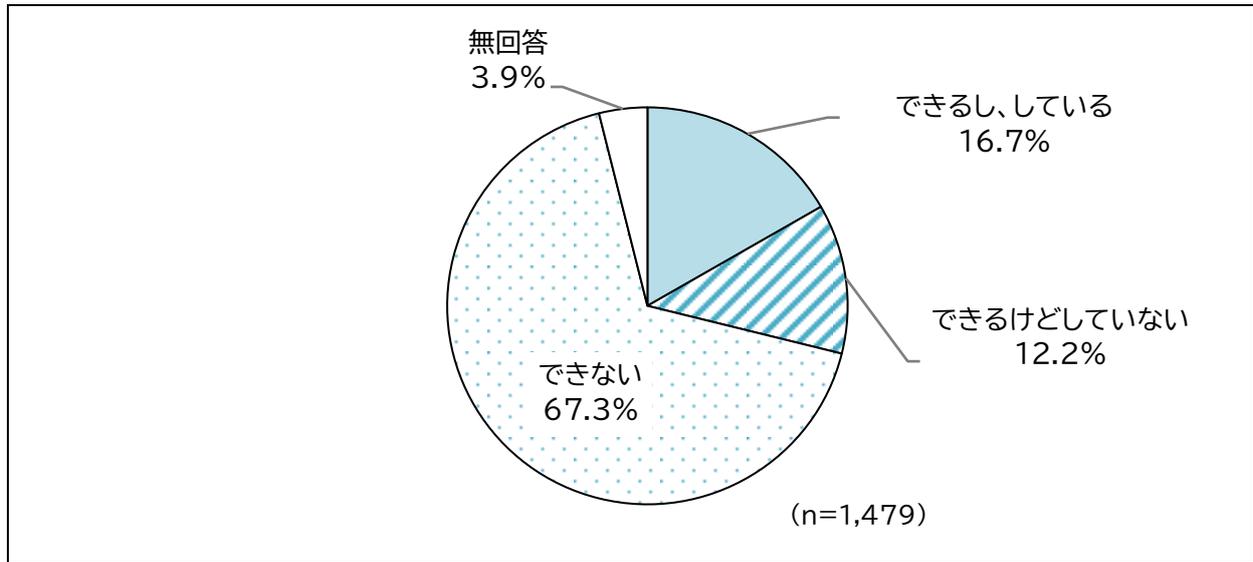
図表166 公共交通機関を利用した1人での外出(日常生活圏域別)



●公共交通機関を利用した1人での外出を日常生活圏域別にみると、概ね全体の割合と同様の傾向にありますが、「できない」と回答した人の割合が「庵治」では83.3%、「木太」では80.0%とその他の圏域に比べて高い割合となっています。

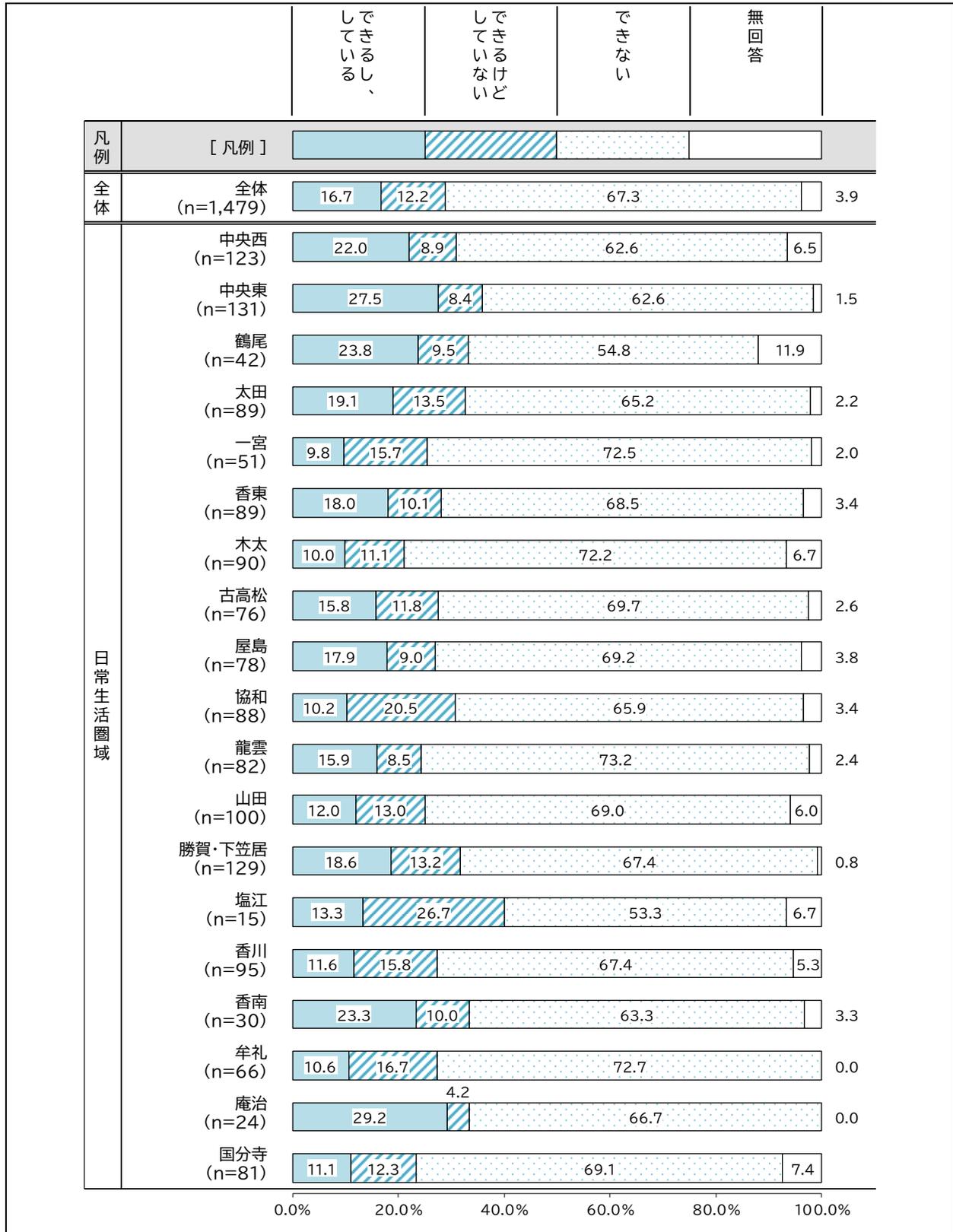
問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)

図表167 自分で食品・日用品の買物をしているかについて(全体)



●食品・日用品の買物について、「できない」が67.3%で最も多く、次いで「できるし、している」が16.7%、「できるけどしていない」が12.2%となっています。

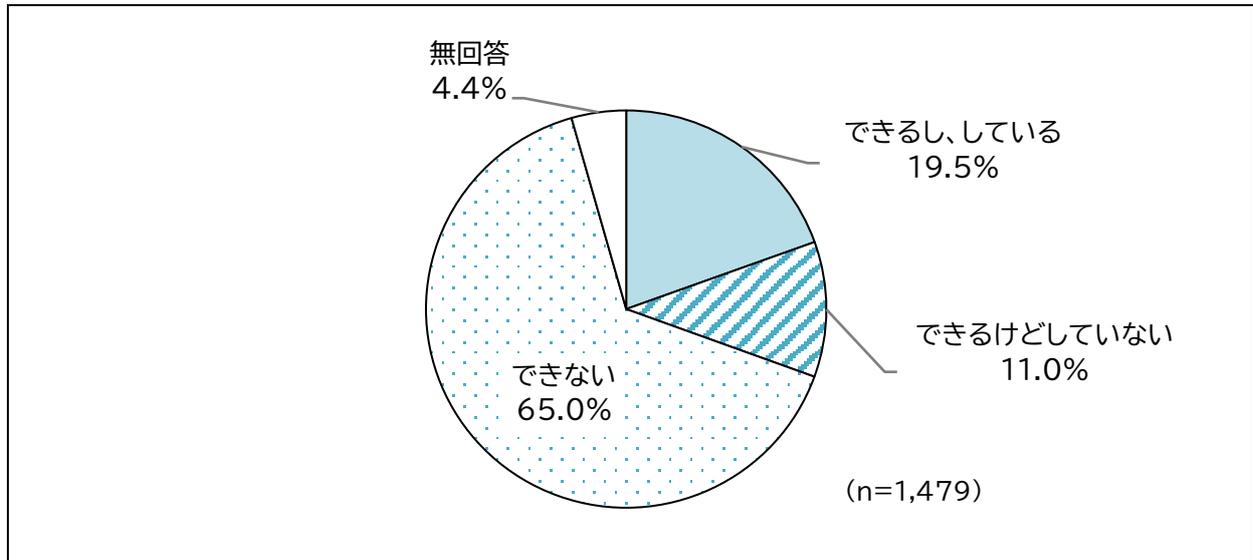
図表168 自分で食品・日用品の買物をしているかについて(日常生活圏域別)



●自分で食品・日用品の買物をしているかについて日常生活圏域別にみると、概ね全体の割合と同様の傾向にありますが、「できない」と回答した人の割合が「龍雲」では73.2%、「牟礼」では72.7%、「一宮」では72.5%、「木太」では72.2%と7割を超えており、その他の圏域に比べて高い割合となっています。一方、「庵治」では、「できるし、している」と回答した人の割合が、その他の圏域に比べて高くなっています。

問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)

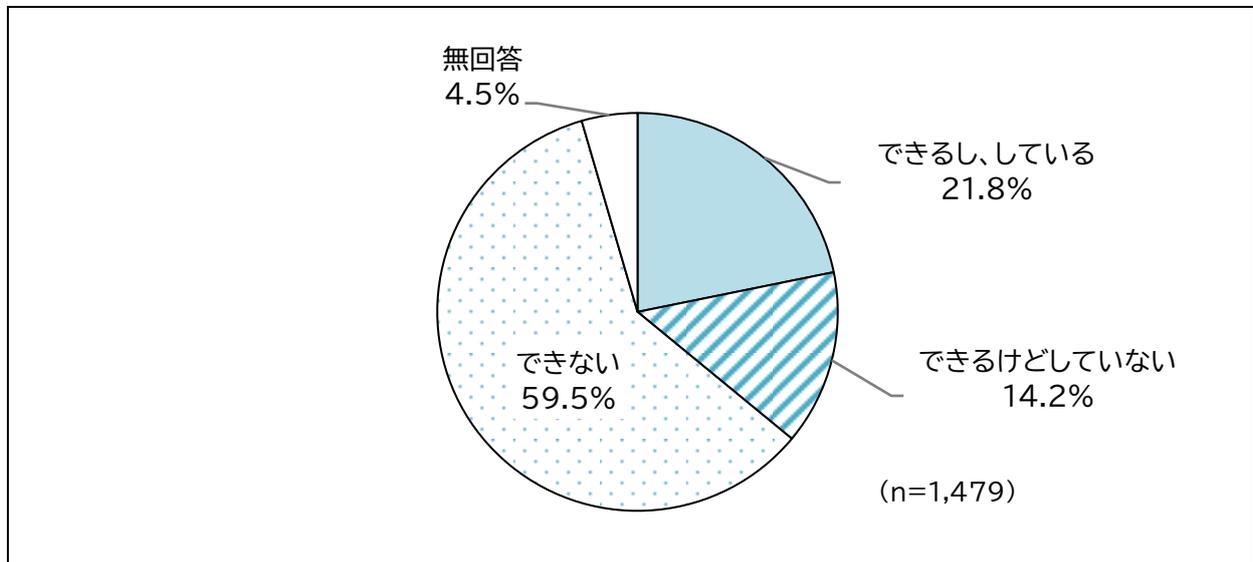
図表169 自分で食事の用意をしているかについて(全体)



● 食事の用意について、「できない」が65.0%で最も多く、次いで「できるし、している」が19.5%、「できるけどしていない」が11.0%となっています。

問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)

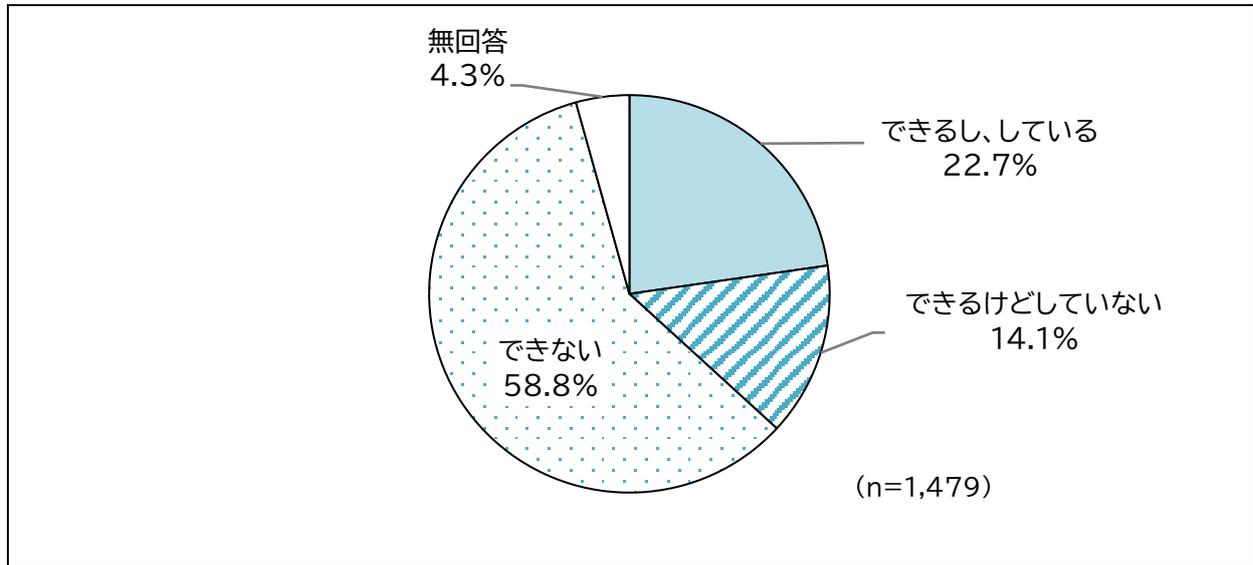
図表170 自分で請求書の支払いをしているかについて(全体)



● 請求書の支払いについて、「できない」が59.5%で最も多く、次いで「できるし、している」が21.8%、「できるけどしていない」が14.2%となっています。

問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)

図表171 自分で預貯金の管理をしているかについて(全体)

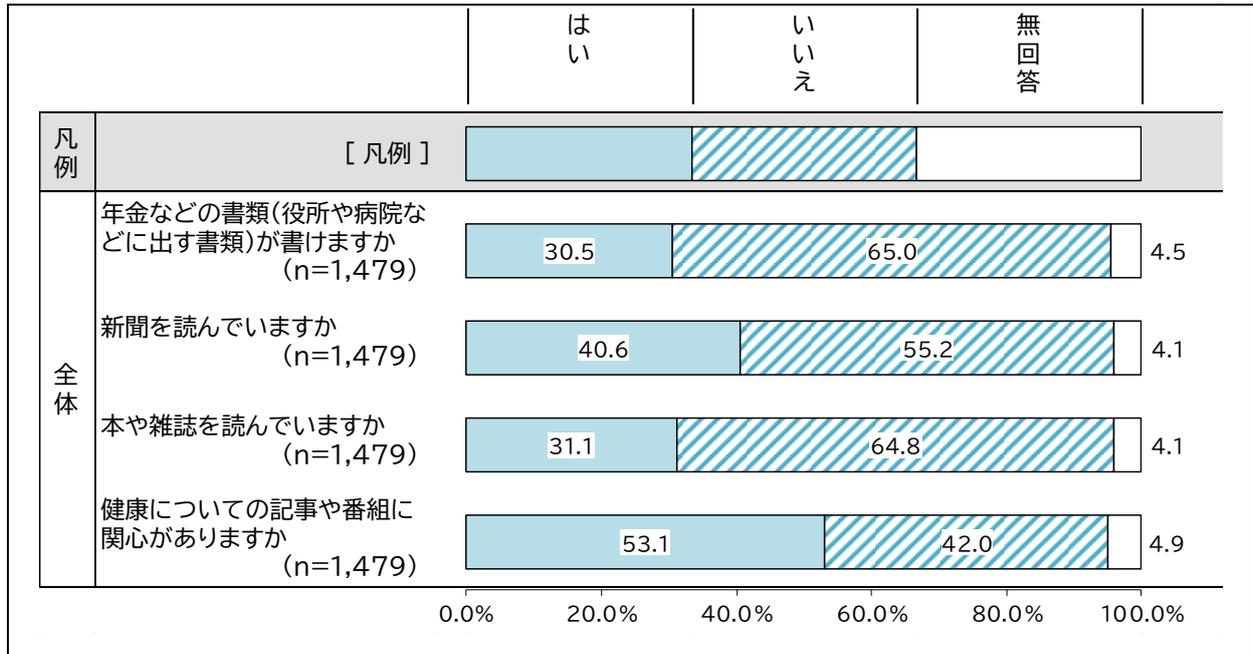


●預貯金の出し入れについて、「できない」が58.8%で最も多く、次いで「できるし、している」が22.7%、「できるけどしていない」が14.1%となっています。

(3)社会参加－知的能動性(老研式活動能力指標)

- 問4-9 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つだけ○)
 問4-10 新聞を読んでいますか。(1つだけ○)
 問4-11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ○)
 問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ○)

図表172 書類の記入や読書等について(全体)

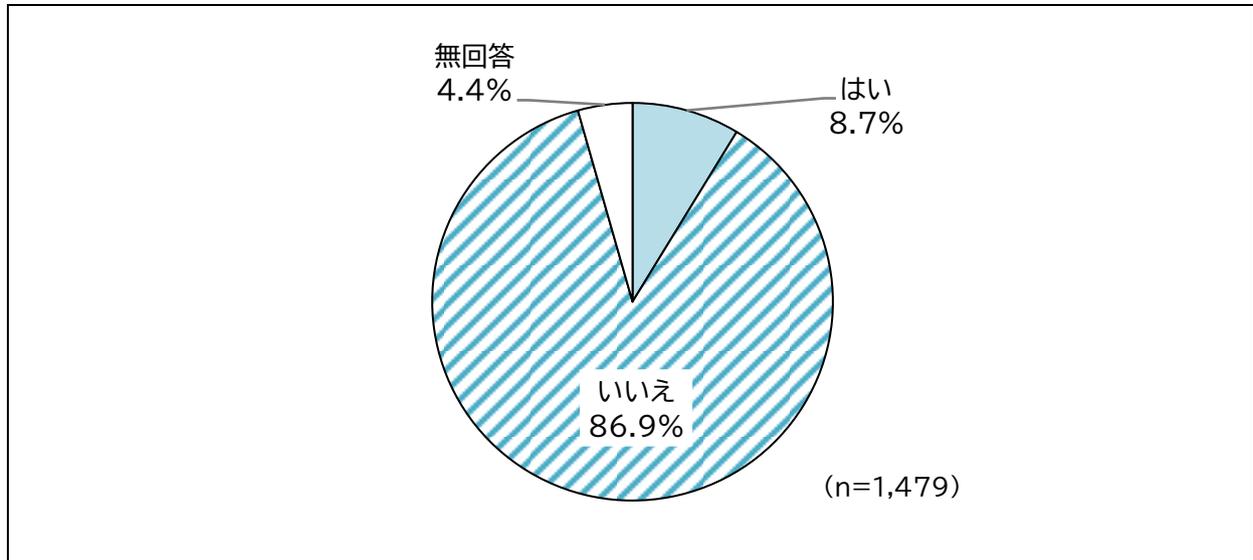


●知的能動性に関する項目について、「健康についての記事や番組に関心がありますか」という設問については「はい」と回答した人が53.1%と5割を超え、「いいえ」42.0%と回答した人を11.1ポイント上回っています。一方、それ以外の設問については、「はい」と回答した人は5割を下回っており、低い割合となっています。

(4)社会参加－社会的役割(老研式活動能力指標)

問4-13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ○)

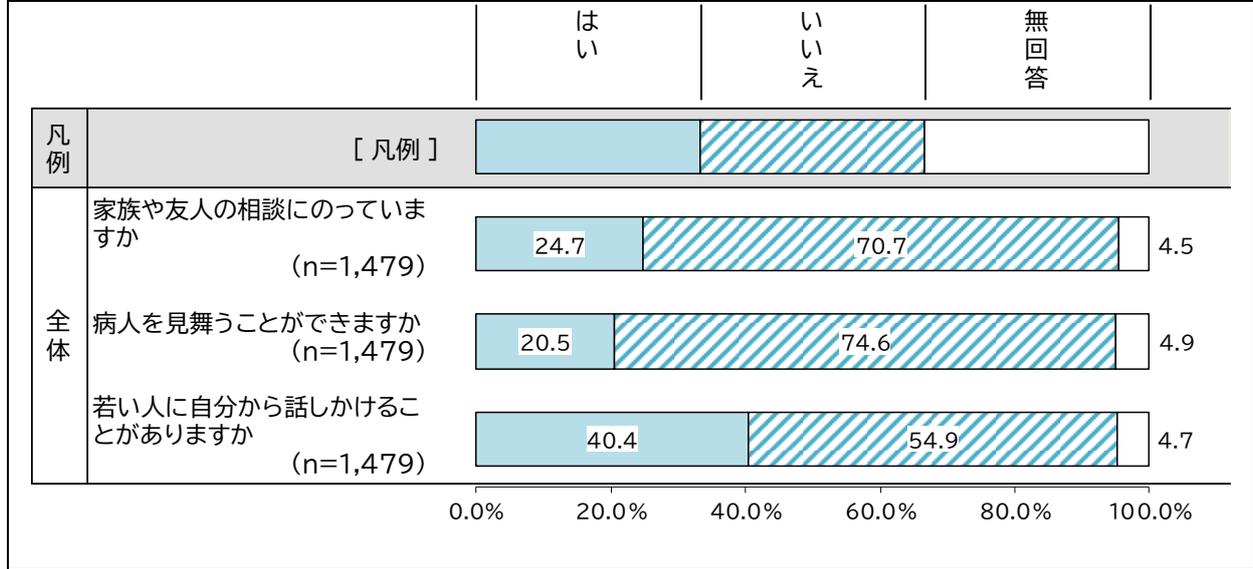
図表173 友人宅への訪問の有無について(全体)



●友人の家を訪ねているかについて、「はい」が8.7%、「いいえ」が86.9%となっています。

問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ○)
 問4-15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ○)
 問4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ○)

図表174 社会的役割について(全体)

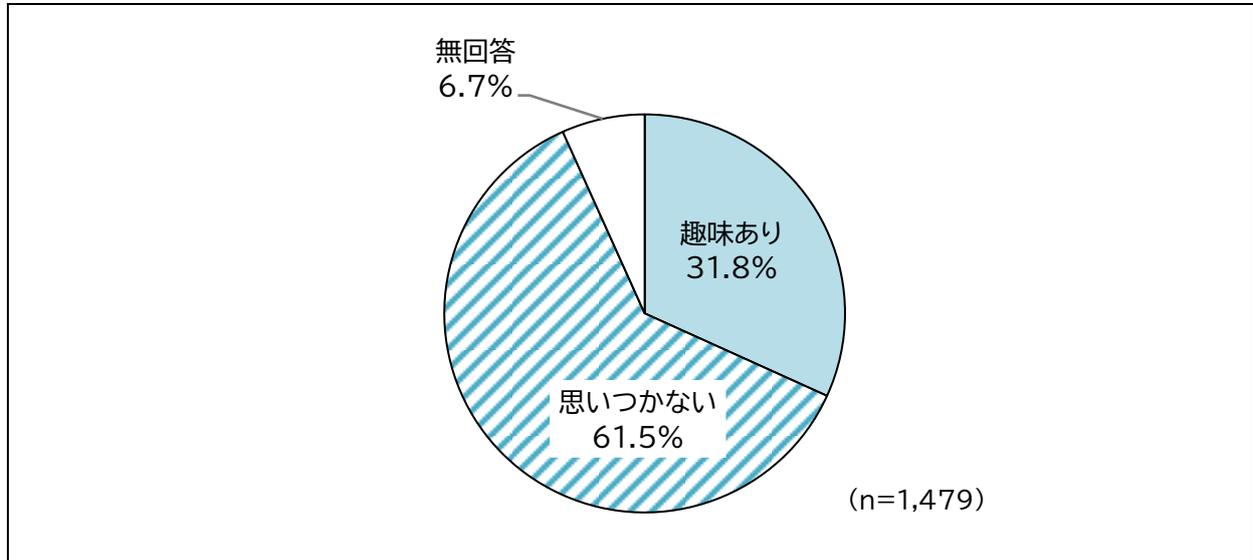


●社会的役割に関する項目について、全ての設問で「はい」と回答した人が半数を切る割合となっており、概ね同様の傾向にあります。しかし、「若い人に自分から話しかけることがありますか」という設問については、その他の設問に比べて「はい」と回答した人の割合が高くなっています。

(5)趣味・生きがいの有無

問4-17 趣味はありますか。(1つだけ○)

図表175 趣味の有無と内容(全体)

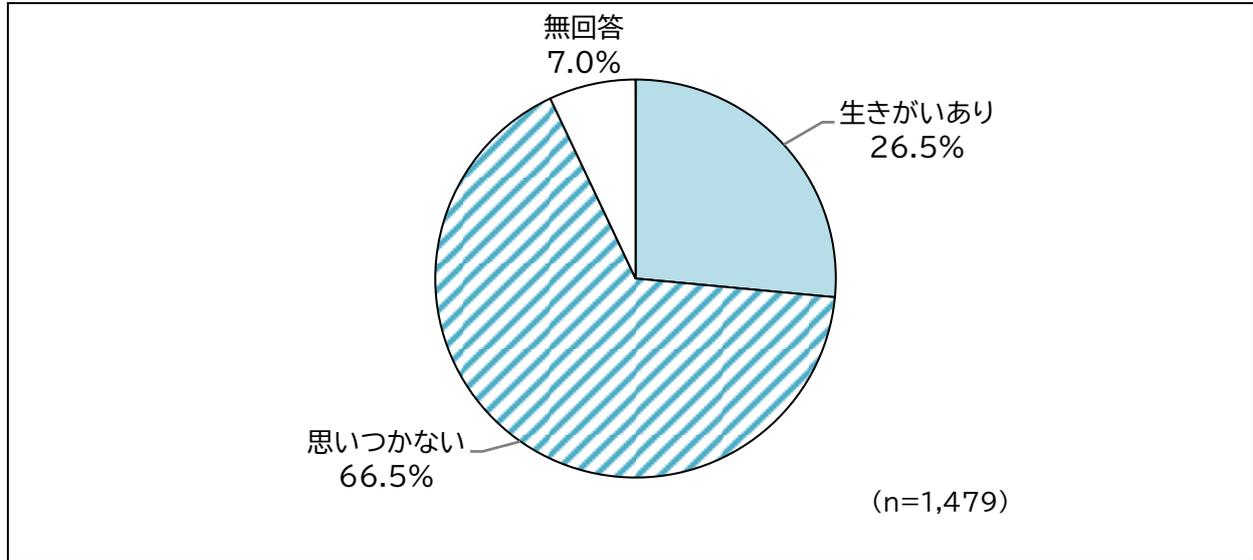


趣味の主な内容	件数
音楽、歌、カラオケ、ダンス	58
読書、新聞	55
TV、ラジオ、DVD、ビデオ鑑賞(スポーツ、ドラマ、映画など)	49
畑仕事、ガーデニング、草花の世話	48
手芸、物づくり(編み物、パッチワーク、陶芸、折り紙、プラモデル)	42
書道、絵画、塗り絵	27
スポーツ(ゴルフ、テニス、ボーリング、釣り等)	24
ナンプレ、パズル、クイズ	18
囲碁、将棋	17
インターネット、パソコン、ゲーム	15
外出、ドライブ、旅行	10
出来ない(昔はあったが、今はできない、あるが病気でできないなど)	9
俳句、川柳、和歌、詩吟	8
茶道・華道	8
ギャンブル(競輪、パチンコ、マージャンなど)	7
勉強、文字を書く	7
物作り、日曜大工	5
カメラ、写真	4
その他(散歩、食べることなど)	23

- 趣味の有無について、「趣味あり」が31.8%、「思いつかない」が61.5%となっています。
- 趣味の内容は、「音楽、歌、カラオケ、ダンス」、「読書、新聞」などが多くなっています。

問4-18 生きがいがありますか。(1つだけ○)

図表176 生きがいの有無と内容(全体)



生きがいの主な内容	件数
子や孫の成長、交流	90
趣味(旅行、カラオケ、釣り、ドライブ、スポーツ、手芸、テレビなど)	29
家族との生活や交流	19
健康に元気よく暮らす	19
農作業、畑仕事、草花の手入れ	19
食事	12
友人や地域の人達との交流	9
外出、旅行	8
デイサービス	7
ペットとの交流	5
信仰、宗教	3
散歩、運動	3
その他(仕事、ボランティア活動など)	18

- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が26.5%、「思いつかない」が66.5%となっています。
- 生きがいの内容は、「子や孫の成長、交流」が多くなっています。

6. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑧のそれぞれに1つだけ○)

図表177 社会参加の状況(全体)

	母数 (n)	(単位:%)							
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 週 1 回 以 上 人
①ボランティアのグループ	1,479	0.3	0.2	0.4	0.4	0.8	80.5	17.4	0.9
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,479	0.2	0.3	0.7	0.5	0.5	80.9	16.9	1.2
③趣味関係のグループ	1,479	0.3	0.6	1.1	1.6	1.3	78.2	16.9	2.0
④学習・教養サークル	1,479	0.2	0.5	0.5	0.9	1.1	79.2	17.5	1.2
⑤介護予防のための通いの場	1,479	3.2	13.5	5.1	1.6	0.9	62.1	13.6	21.8
⑥老人クラブ	1,479	0.1	0.5	0.5	0.2	0.9	80.9	16.9	1.1
⑦町内会・自治会	1,479	0.1	0.1	0.6	0.8	4.3	77.3	16.7	0.8
⑧収入のある仕事	1,479	1.1	0.3	0.1	0.2	0.4	80.5	17.4	1.5

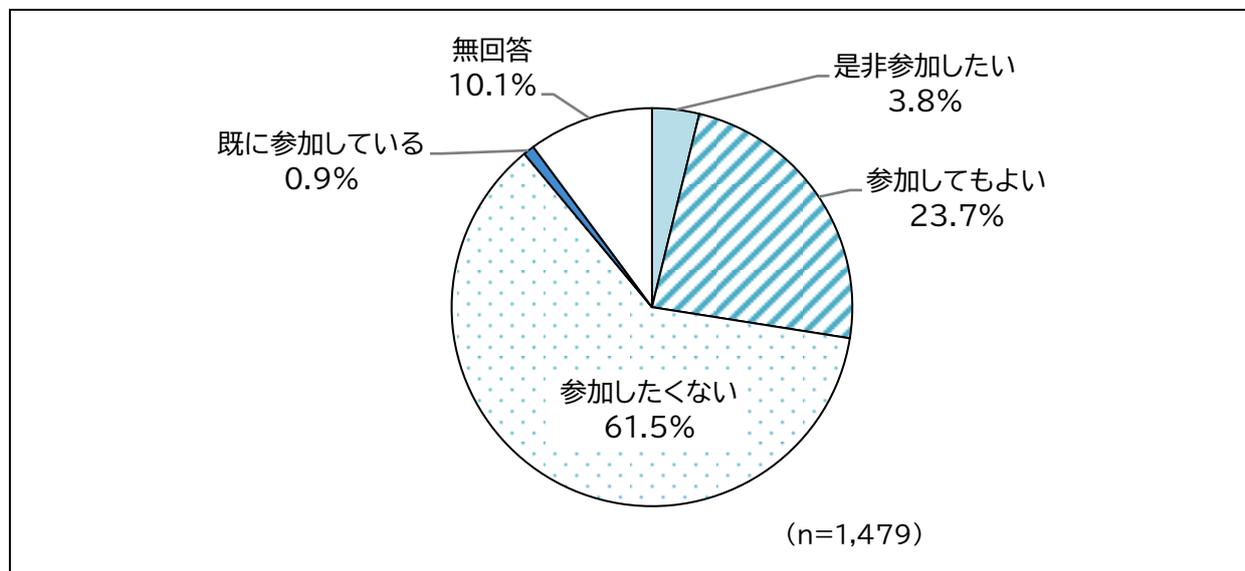
※図表177の表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。

- 社会参加の状況について、すべての会・グループにおいて「参加していない」が6割～8割程度を占めています。「⑤介護予防のための通いの場」については、「週4回以上」3.2%、「週2～3回」13.5%、「週1回」5.1%と回答した人の割合がその他の会・グループに比べて高くなっています。

(2)地域づくりへの参加意向(参加者)

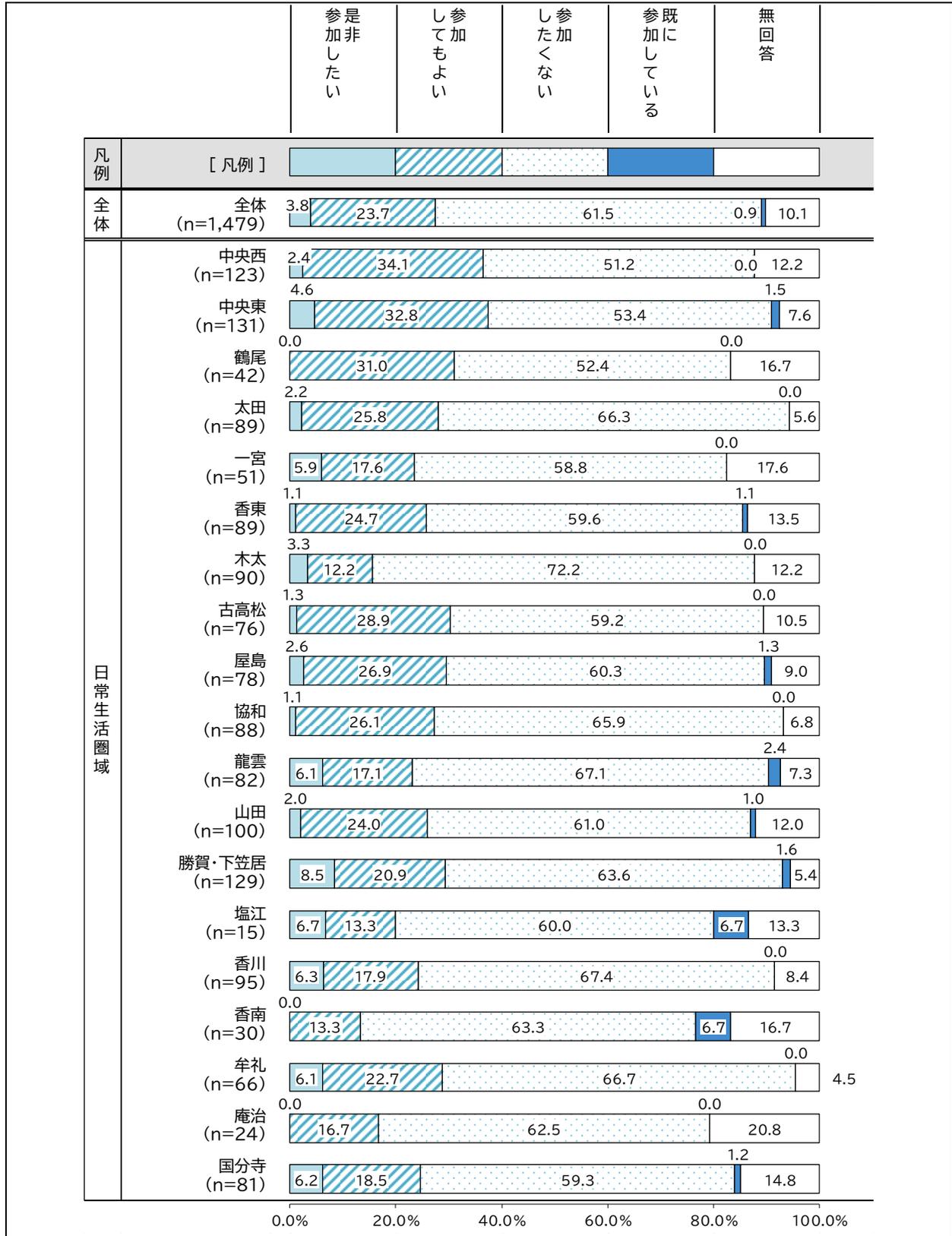
問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

図表178 地域づくりへの参加意向(参加者)(全体)



●地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加したくない」が61.5%で最も多く、次いで「参加してもよい」が23.7%、「是非参加したい」が3.8%となっています。

図表179 地域づくりへの参加意向(参加者)(日常生活圏域別)

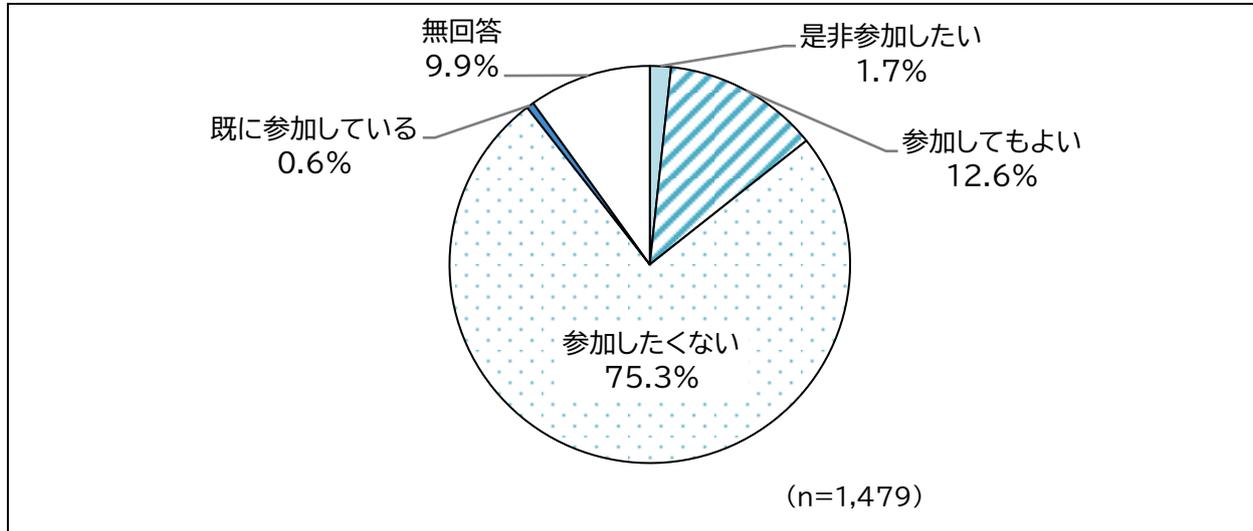


●地域づくりへの参加意向について日常生活圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が、全ての圏域で最も高くなっています。一方、「是非参加したい」、「参加してもよい」と回答した人の割合が「中央東」では37.4%、「中央西」では36.5%、「鶴尾」では31.0%、「古高松」では30.2%となっており、その他の圏域に比べ高くなっています。

(3)地域づくりへの参加意向(企画・運営)

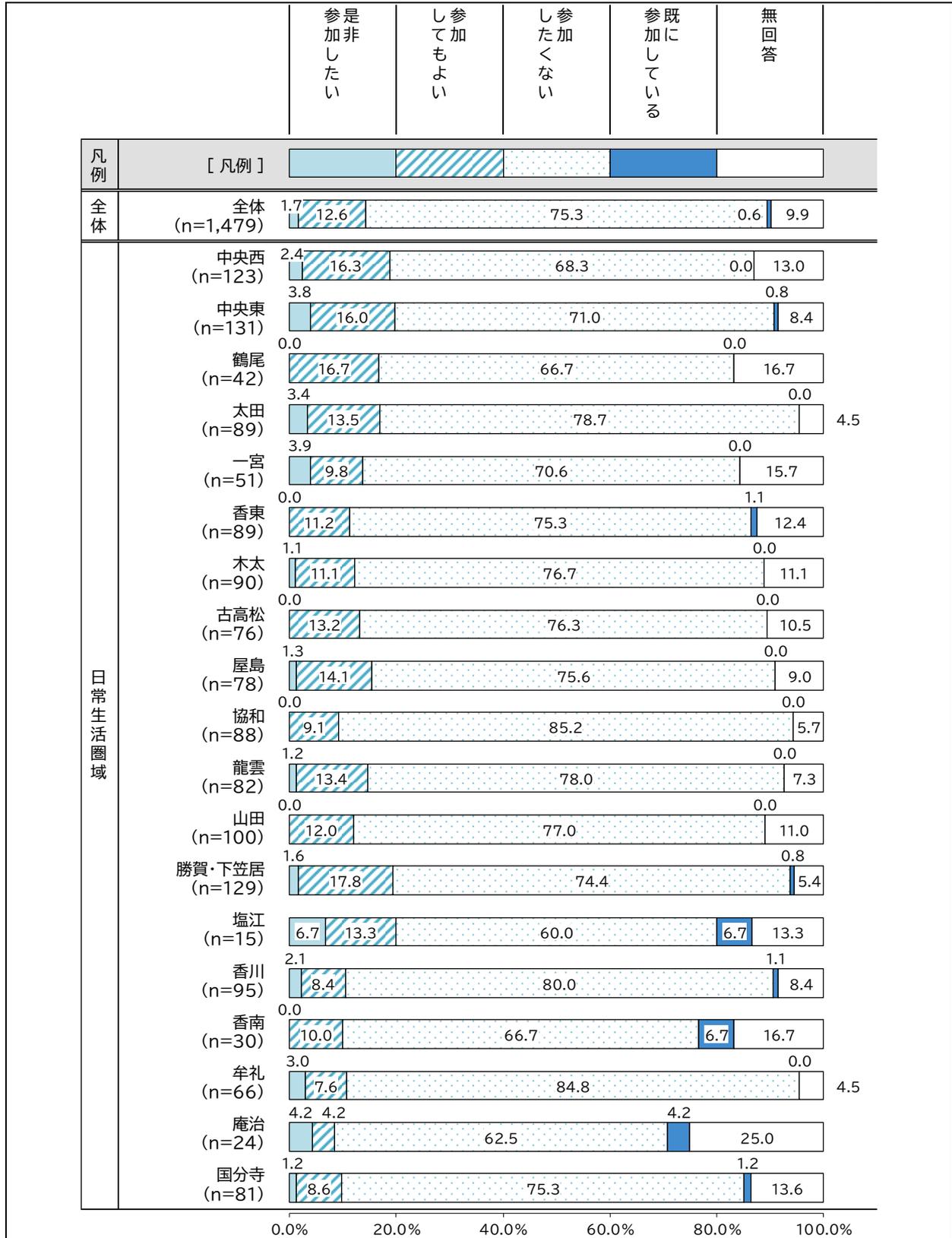
問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

図表180 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(全体)



●地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が75.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が12.6%、「是非参加したい」が1.7%となっています。

図表181 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(日常生活圏域別)



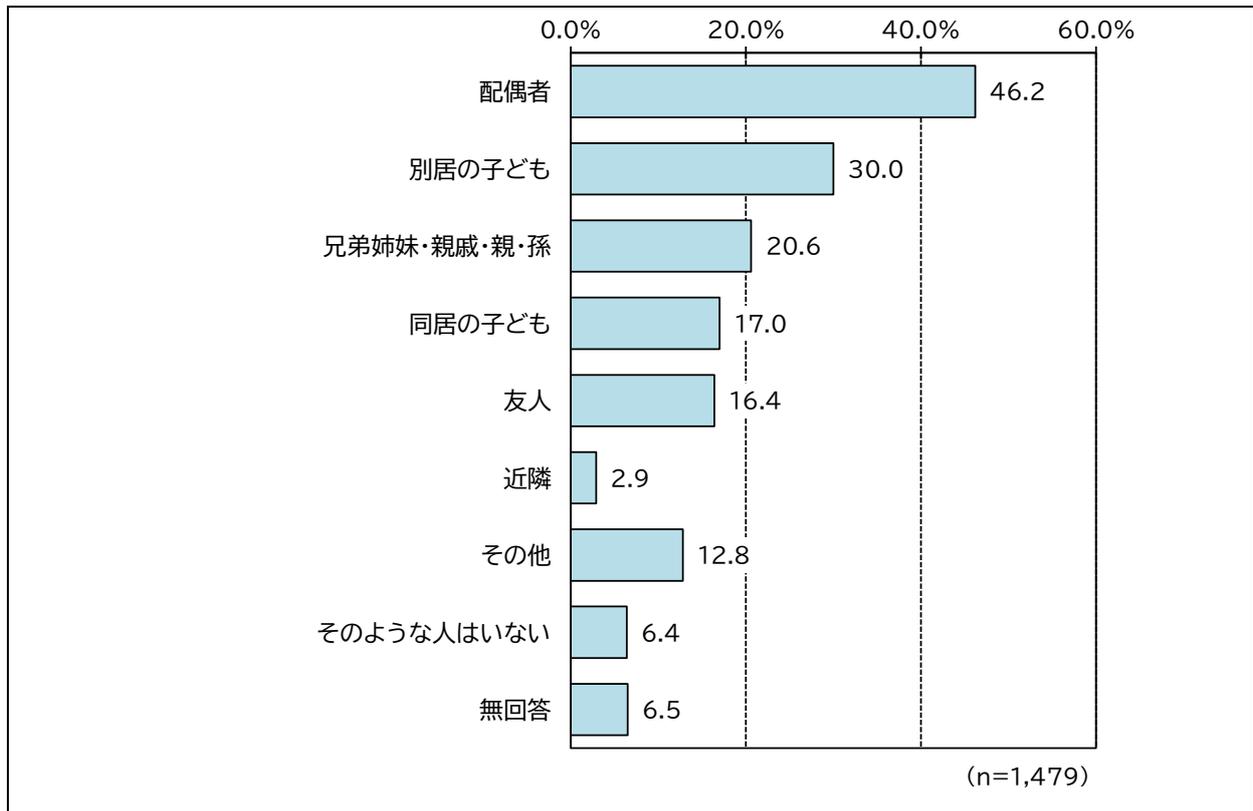
●地域づくりへの参加意向(企画・運営)について日常生活圏域別にみると、「参加したくない」と回答した人の割合が、全ての圏域で最も高くなっています。「塩江」では「是非参加したい」と回答した人の割合が6.7%、「塩江」、「香南」では「既に参加している」と回答した人の割合が6.7%となっており、それぞれその他の圏域に比べて高くなっています。

7. たすけあいについて

(1) たすけあいの状況

問6-1-(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。
(いくつでも○)

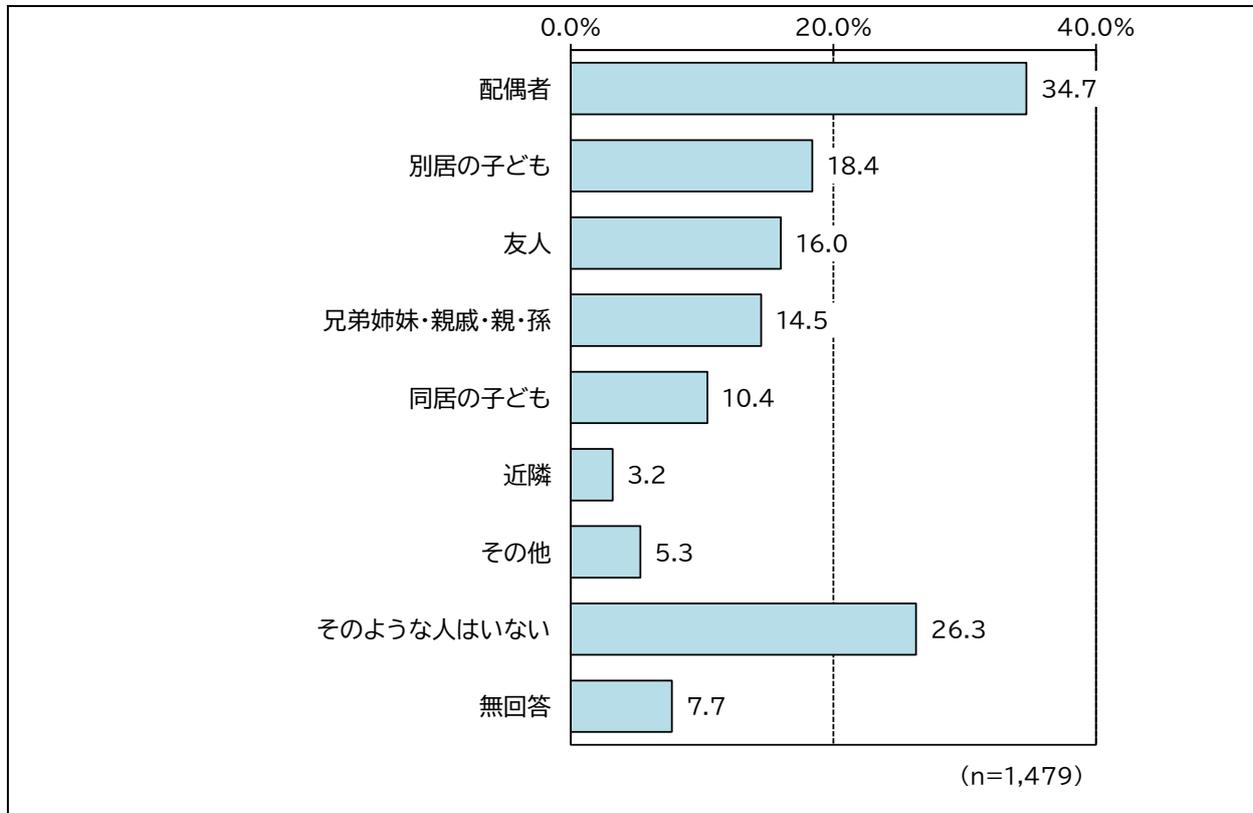
図表182 心配事や愚痴を聞いてくれる人(全体/複数回答)



●あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が46.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」が30.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.6%となっています。

問6-1-(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。
(いくつでも○)

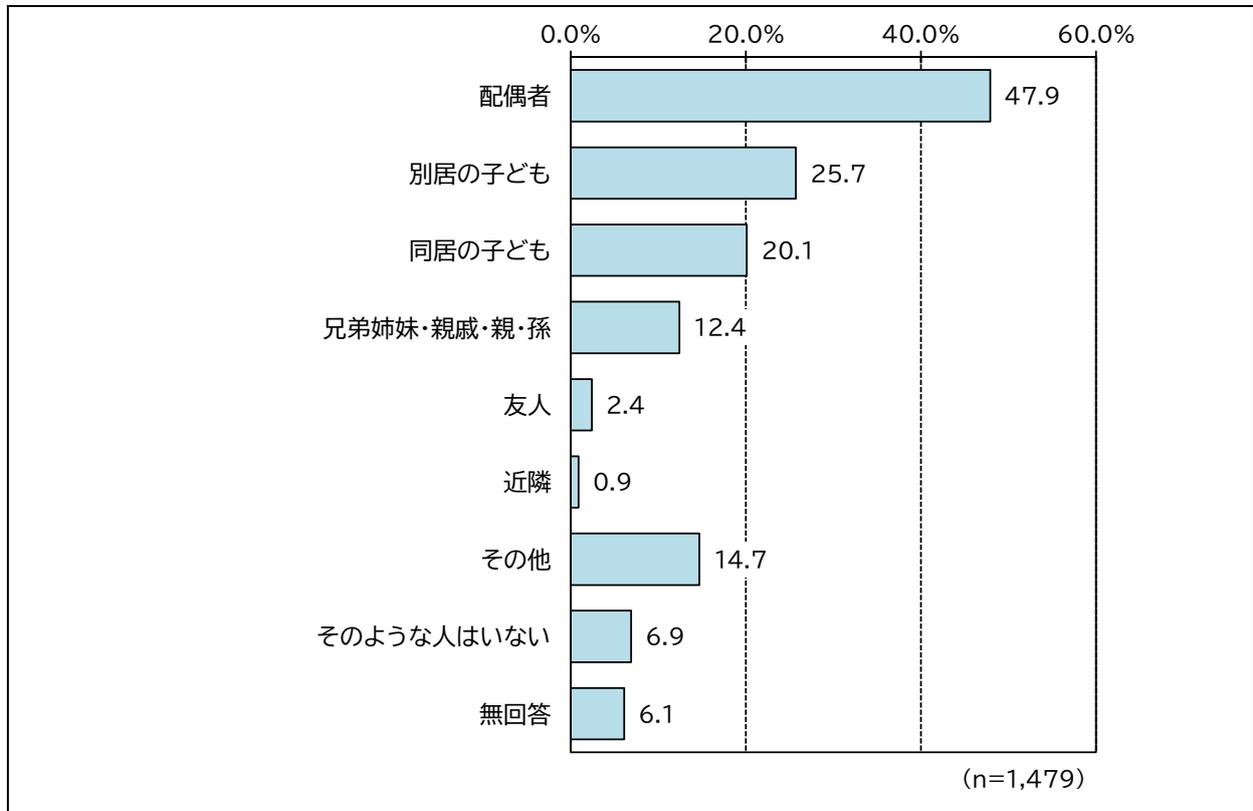
図表183 心配事や愚痴を聞いてあげる人(全体/複数回答)



●反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が34.7%で最も多く、次いで「そのような人はいない」が26.3%、「別居の子ども」が18.4%となっています。

問6-1-(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)

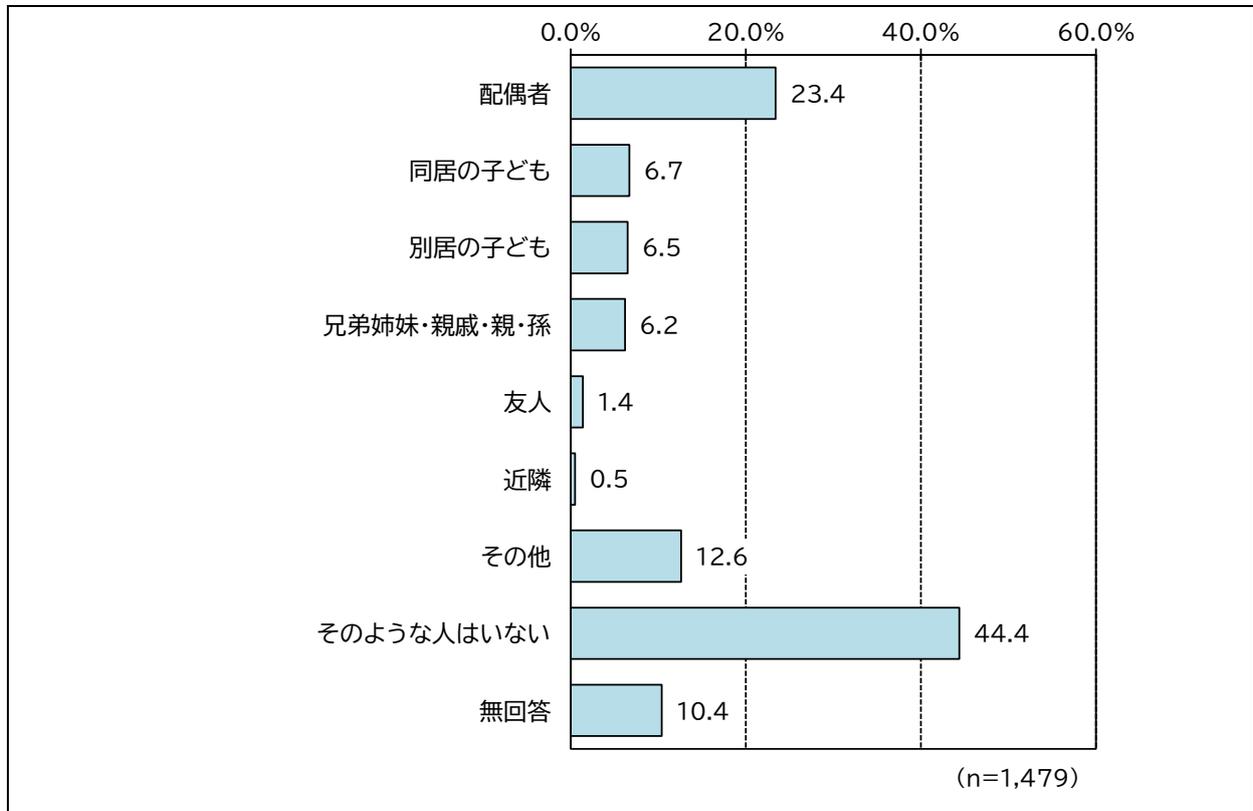
図表184 看病や世話をしてくれる人(全体/複数回答)



●あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が47.9%で最も多く、次いで「別居の子ども」が25.7%、「同居の子ども」が20.1%となっています。

問6-1-(4) 反対に、あなたが看病や世話をしあける人はどなたですか。
(いくつでも○)

図表185 看病や世話をしあける人(全体/複数回答)

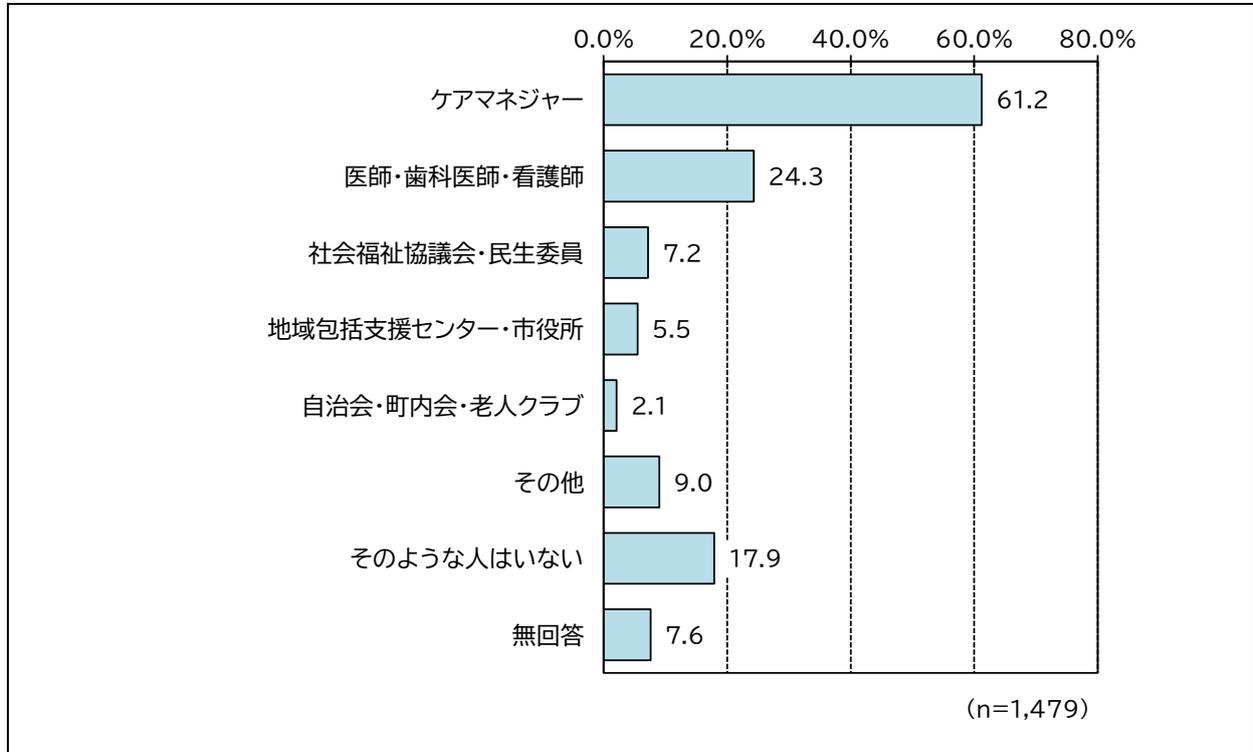


●反対に、看病や世話をしあける人について、「そのような人はいない」が44.4%で最も多く、次いで「配偶者」が23.4%、「同居の子ども」が6.7%となっています。

(2)地域の相談窓口の活用状況

問6-1-(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

図表186 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手(全体/複数回答)

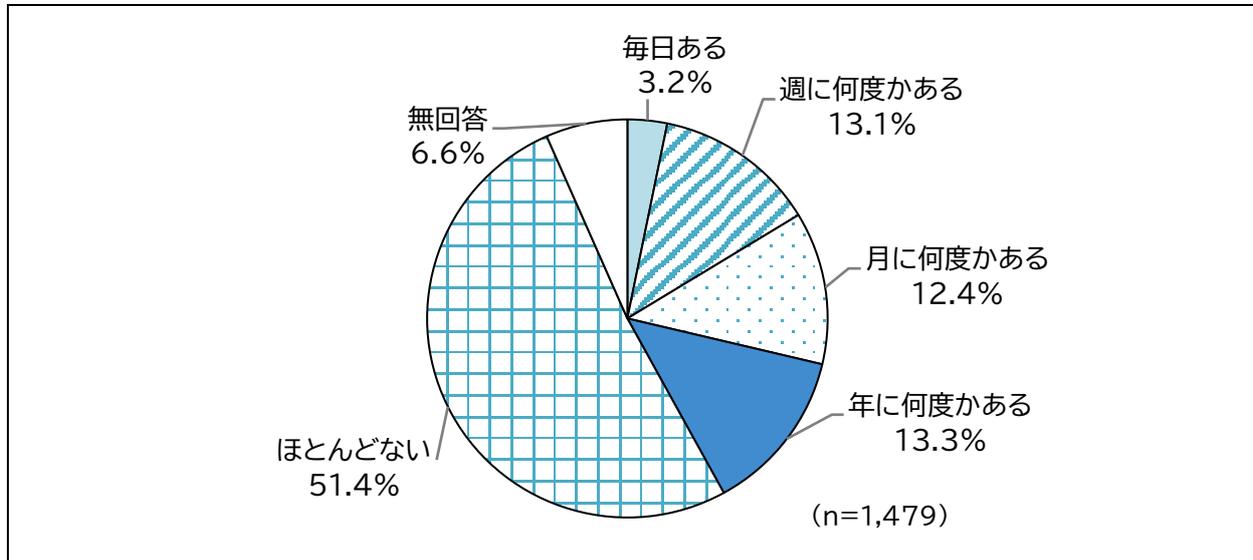


●何かあったときの相談相手について、「ケアマネジャー」が61.2%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が24.3%、「そのような人はいない」が17.9%となっています。

(3)友人関係について

問6-1-(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

図表187 友人・知人と会う頻度(全体)

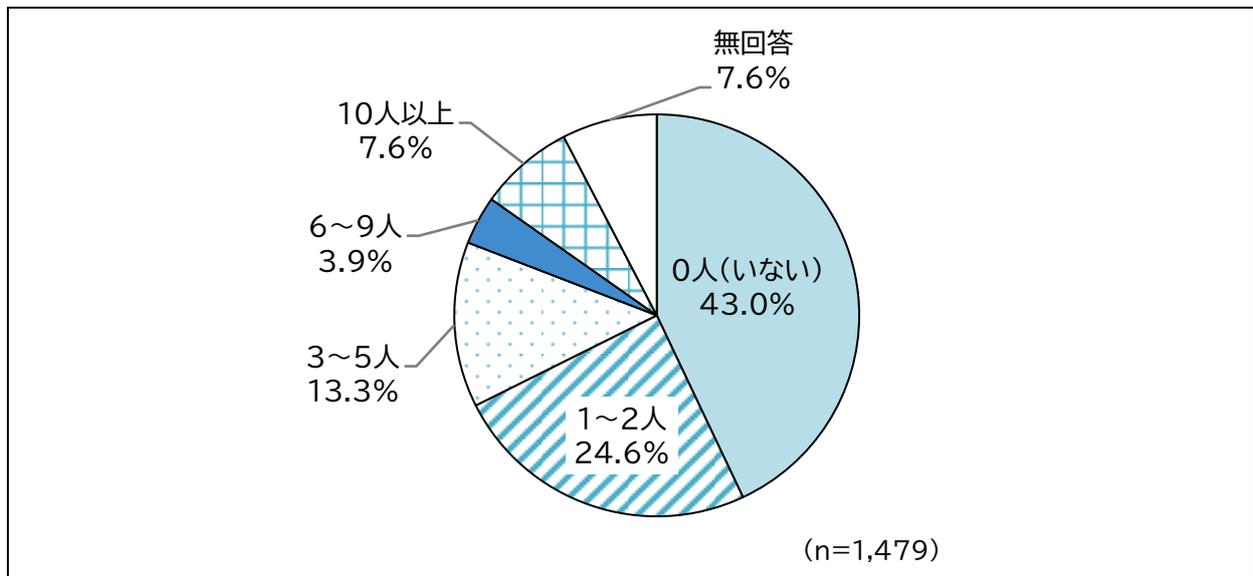


●友人・知人と会う頻度について、「ほとんどない」が51.4%で最も多く、次いで「年に何度かある」が13.3%、「週に何度かある」が13.1%となっています。

問6-1-(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)

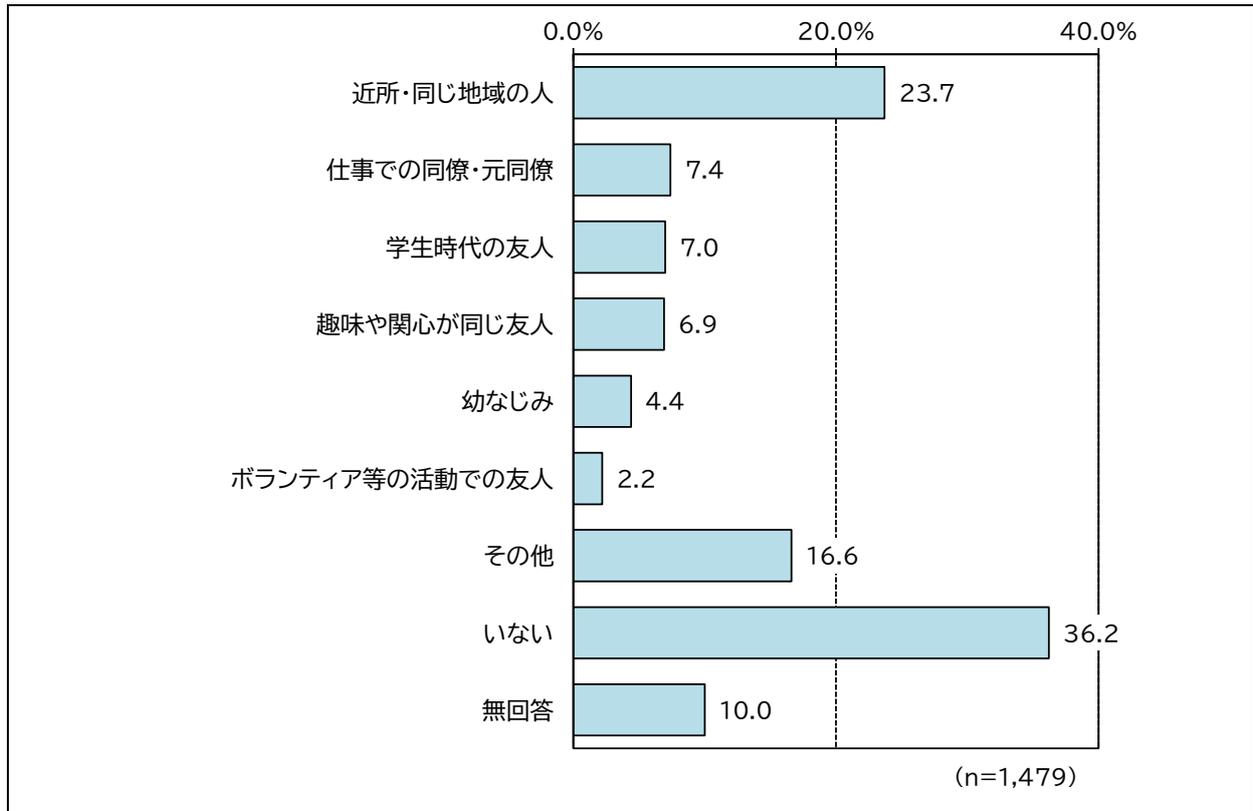
図表188 1か月間に会った友人・知人の人数(全体)



●この1か月間で会った友人・知人の数について、「0人(いない)」が43.0%で最も多く、次いで「1~2人」が24.6%、「3~5人」が13.3%となっています。

問6-1-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

図表189 よく会う友人・知人との間柄について(全体/複数回答)



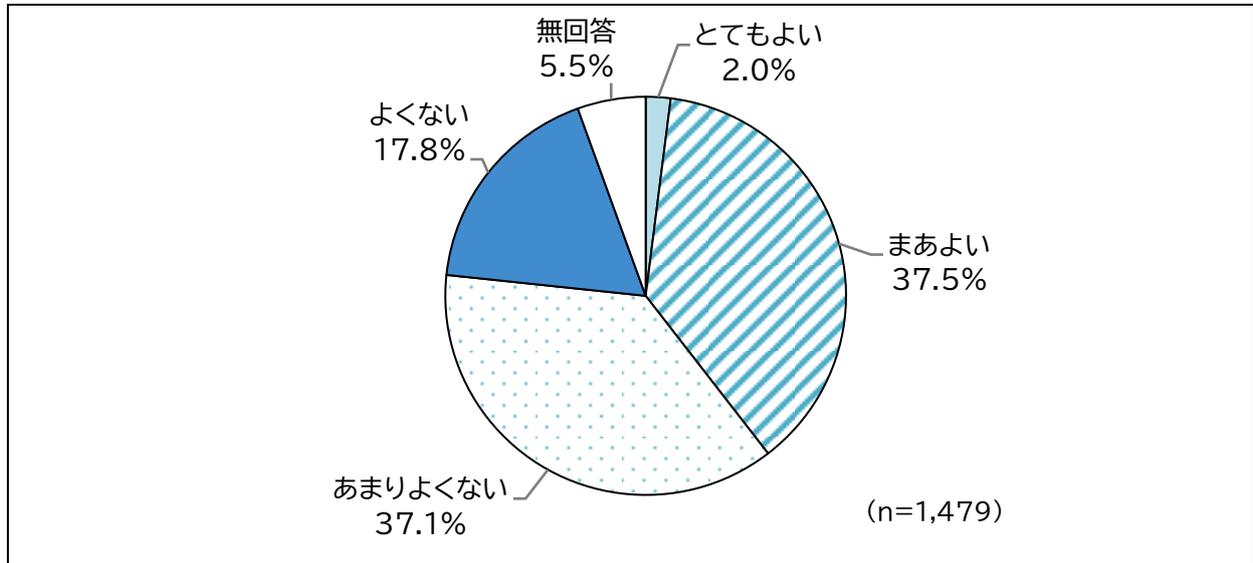
●よく会う友人・知人との関係について、「いない」が36.2%で最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」が23.7%、「仕事での同僚・元同僚」が7.4%となっています。

8. 健康について

(1) 主観的健康感

問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

図表190 主観的健康感(全体)

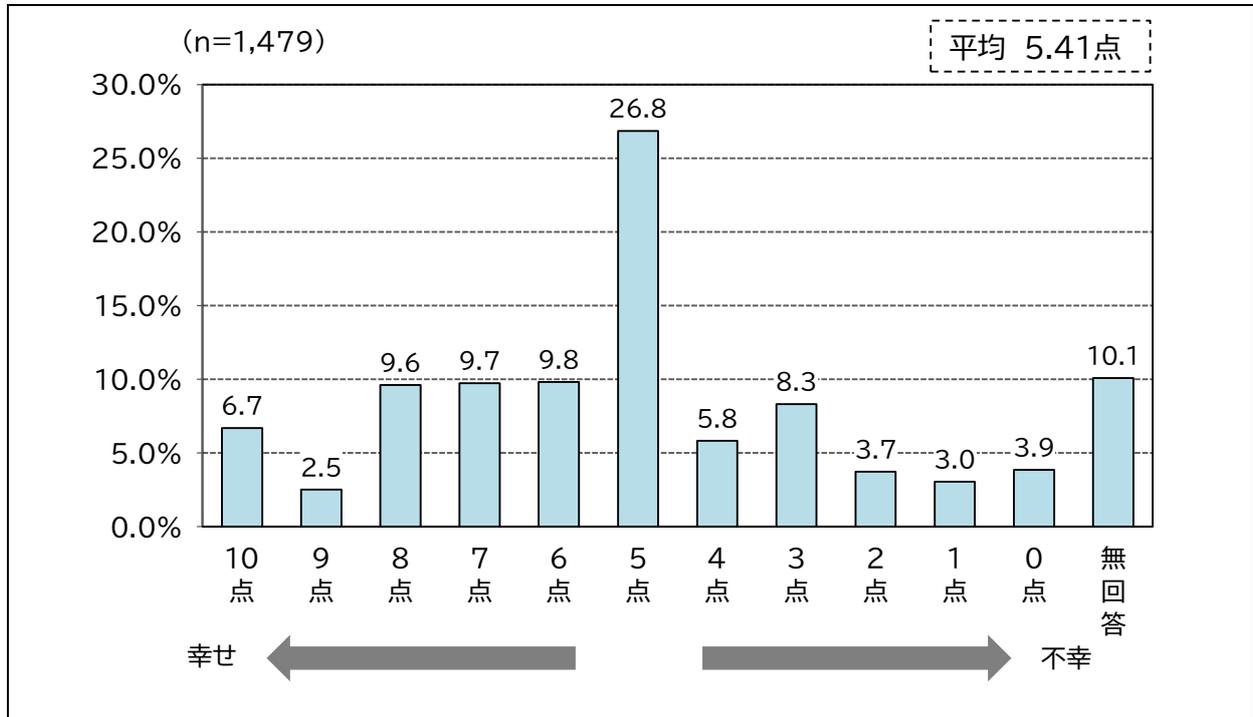


●主観的健康感について、「まあよい」が37.5%で最も多く、次いで「あまりよくない」が37.1%、「よくない」が17.8%となっています。

(2)主観的幸福感

問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

図表191 主観的幸福感(全体、平均点)



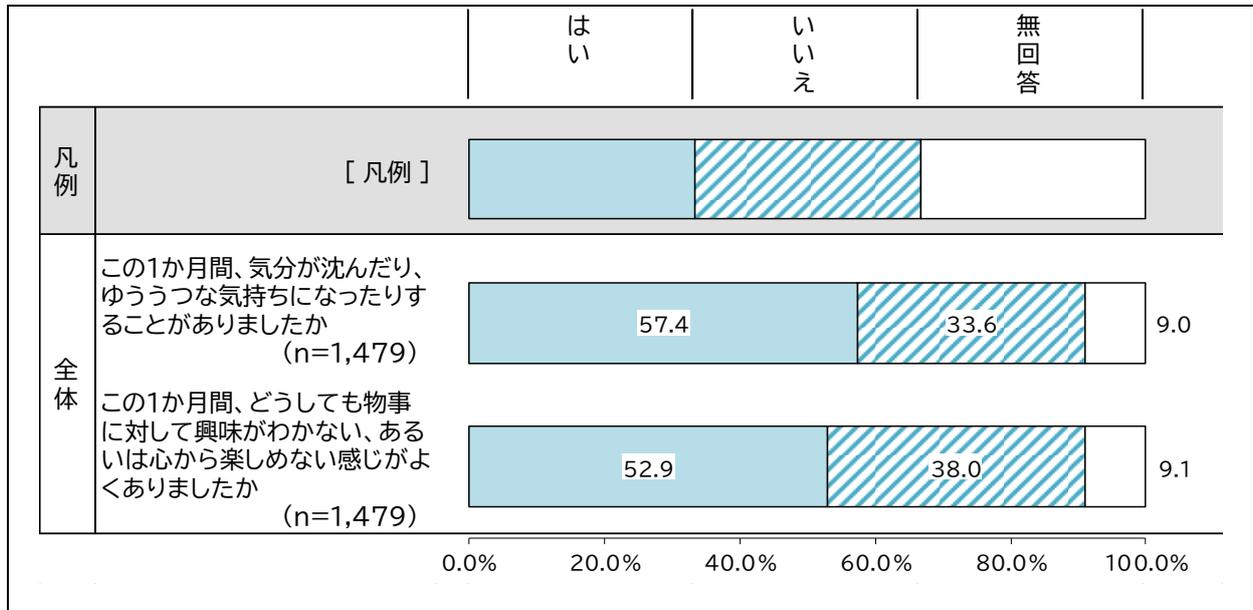
●主観的幸福感について、「5点」が26.8%と最も高くなっています。次いで「6点」9.8%、「7点」9.7%、「8点」9.6%となっています。平均は5.41点となっています。

(3)うつ傾向について

問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)

問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)

図表192 うつ傾向について(全体)

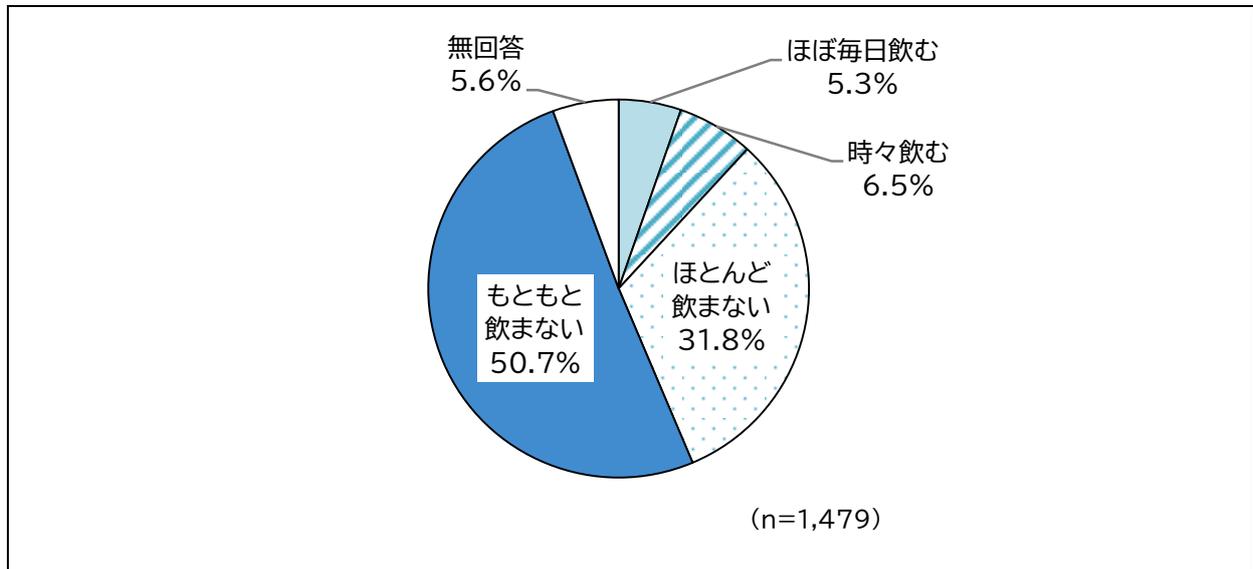


●この1か月のうつ傾向について、「はい」と回答した人の割合が「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」は57.4%、「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」は52.9%となっており、約5割を占めています。

(4) 飲酒、喫煙の習慣

問7-5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

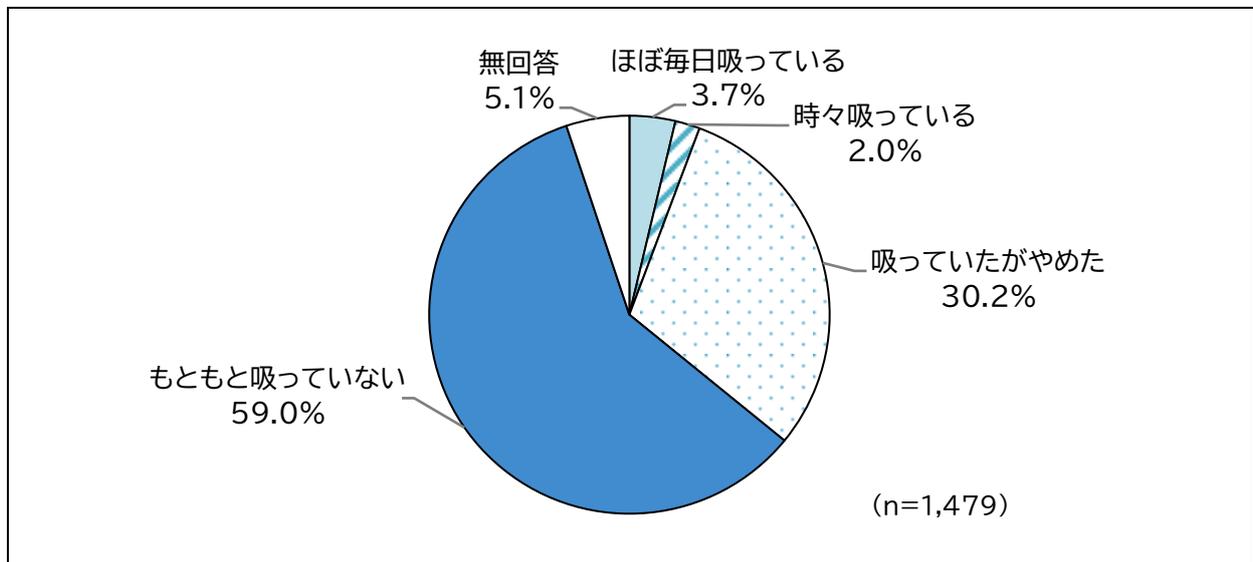
図表193 飲酒の習慣(全体)



● 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が50.7%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が31.8%、「時々飲む」が6.5%となっています。

問7-6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

図表194 喫煙の習慣(全体)

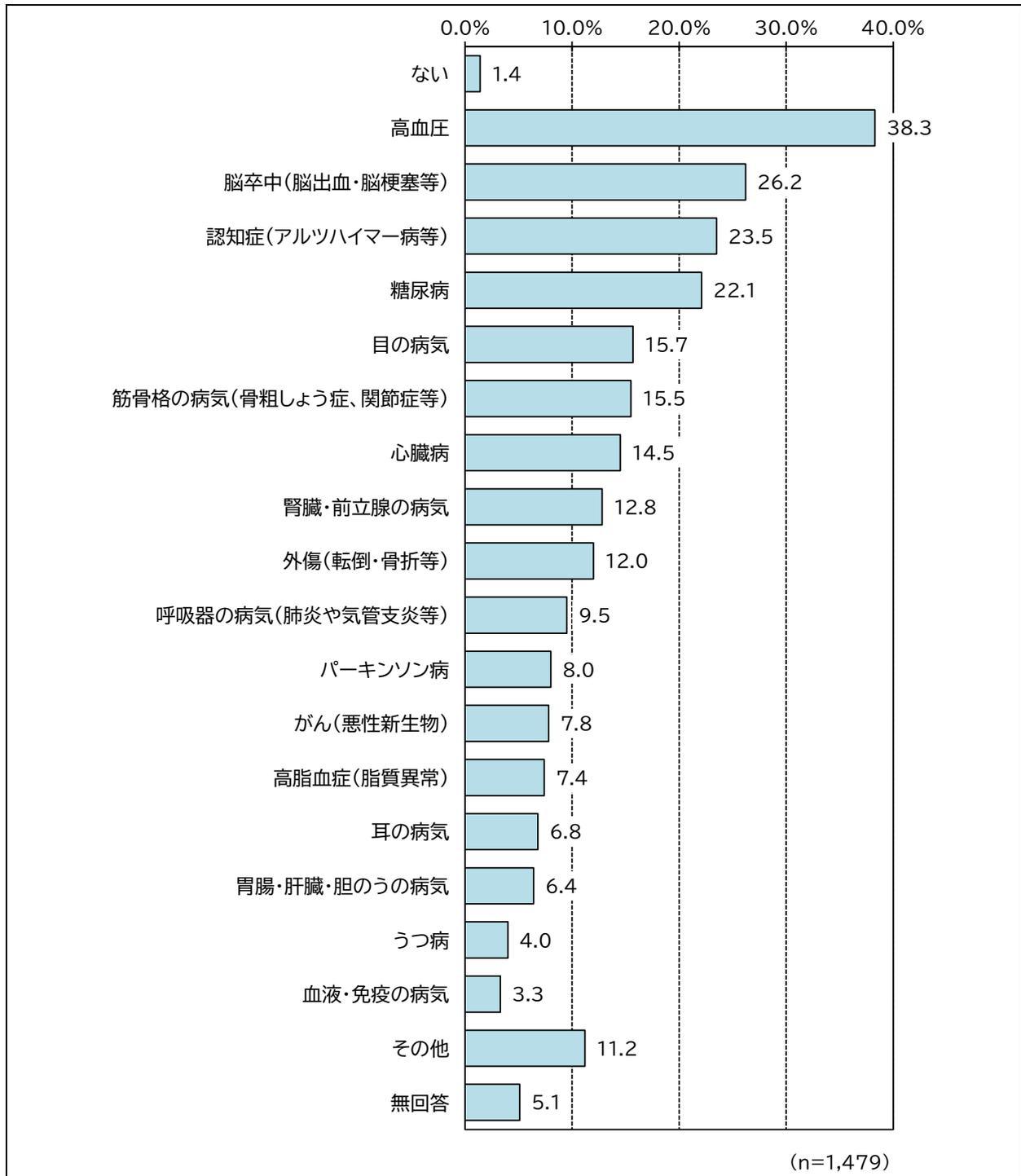


● 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が59.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が30.2%、「ほぼ毎日吸っている」が3.7%となっています。

(5)現在治療中、後遺症のある病気について

問7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

図表195 現在治療中、後遺症のある病気(全体/複数回答)



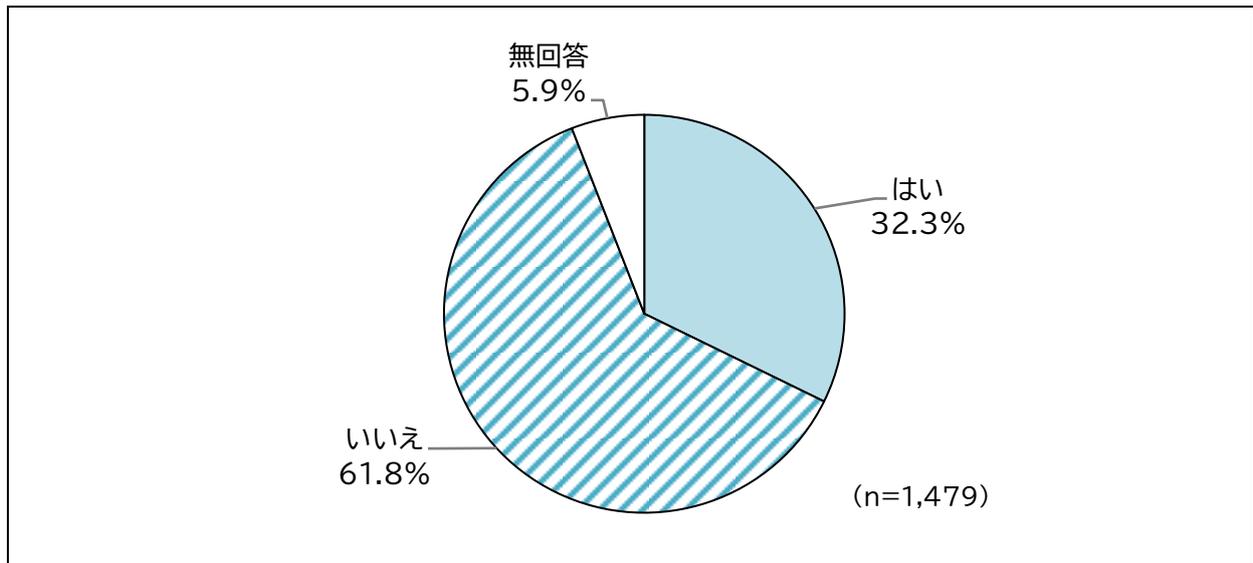
- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「ない」と回答した人の割合が1.4%となっており、これと無回答5.1%を除いた93.5%の人が何らかの現在治療中、または後遺症のある病気があると回答しています。
- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が38.3%で最も多く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が26.2%、「認知症(アルツハイマー病等)」が23.5%となっています。

9. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて

(1) 本人または家族に認知症の症状がある人について

問8-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人いますか。
(1つだけ○)

図表196 本人または家族に認知症の症状がある人の有無(全体)

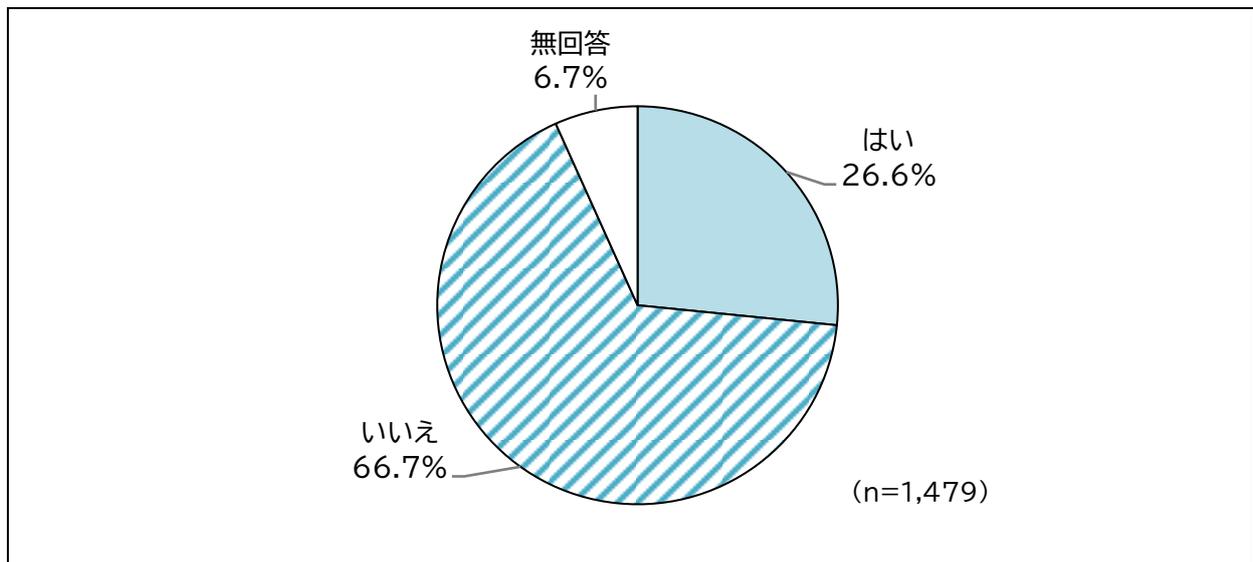


● 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が32.3%、「いいえ」が61.8%となっています。

(2) 認知症の相談窓口

問8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

図表197 認知症の相談窓口の認知度(全体)

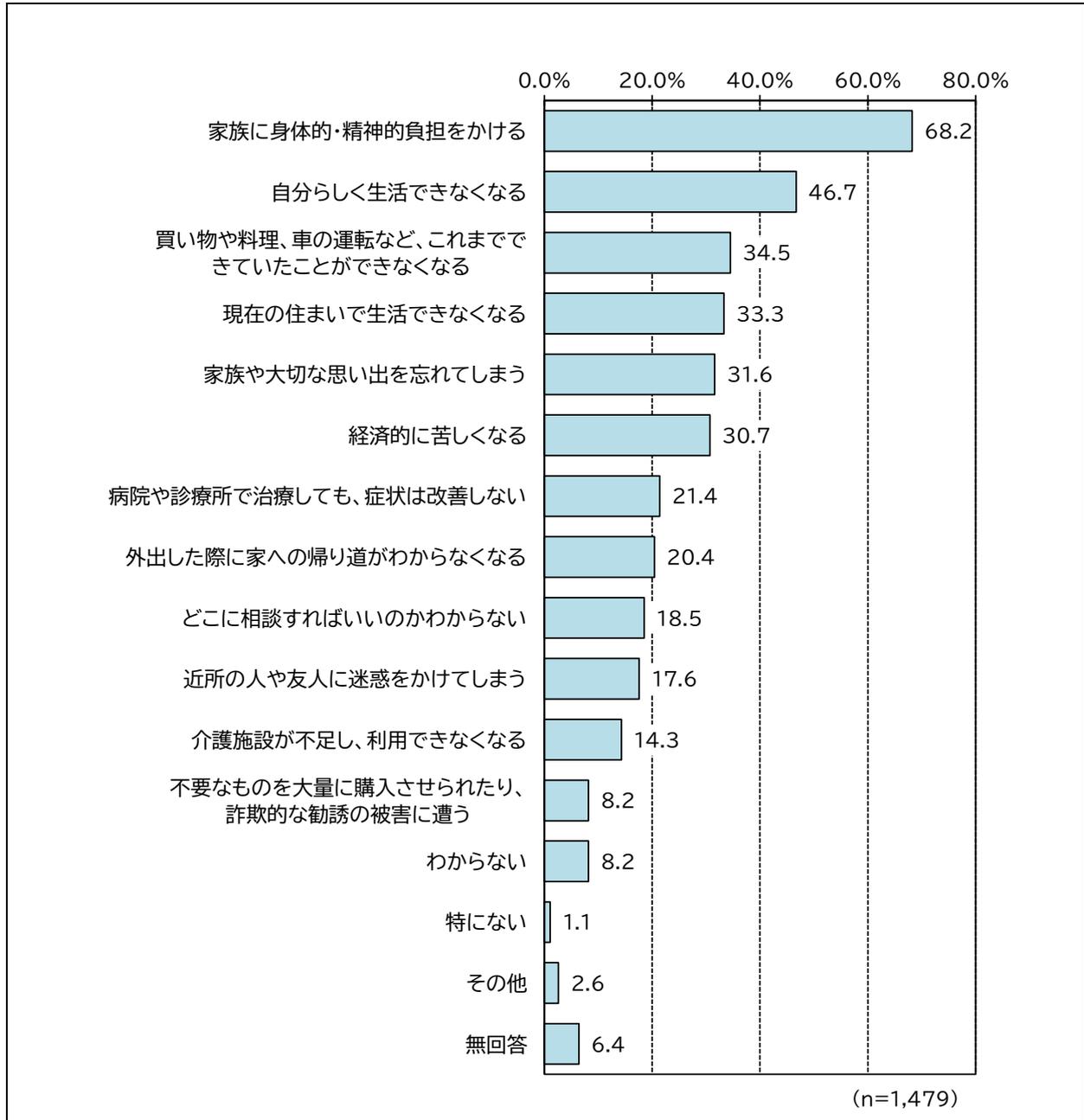


● 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が26.6%、「いいえ」が66.7%となっています。

(3) 認知症に対する不安

問8-3 もし、あなたが認知症になったら、どのようなことに不安を感じるといいますか。
(いくつでも○)

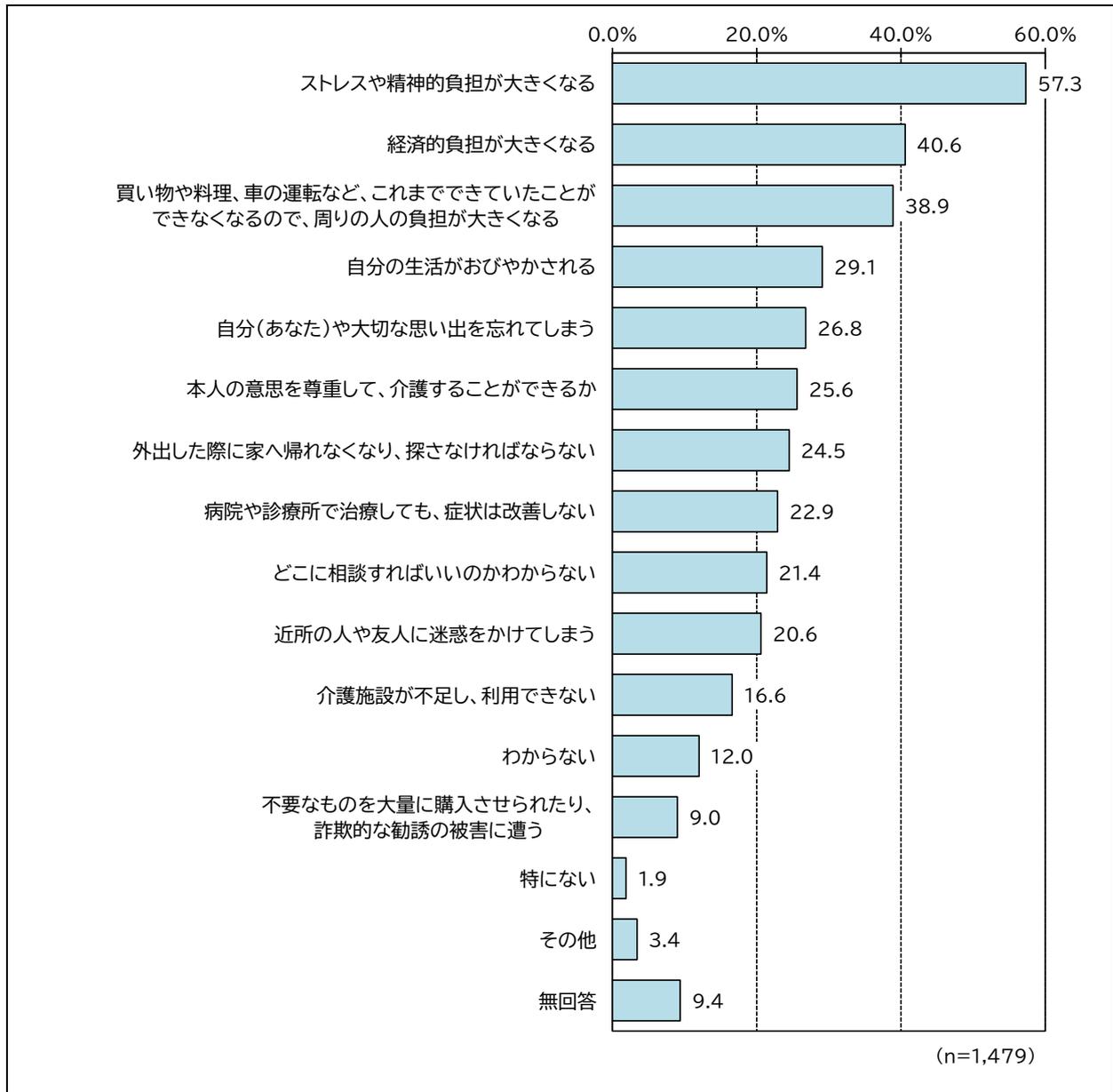
図表198 自分が認知症になった時の不安(全体/複数回答)



- あなたが認知症になったときに不安と覚えることについて、「特にない」と回答した人の割合が1.1%となっており、これと「わからない」8.2%と「無回答」6.4%を除いた84.3%の人が認知症になったら何らかの不安を感じると回答しています。
- あなたが認知症になったときに不安と覚えることについて、「家族に身体的・精神的負担をかける」が68.2%で最も多く、次いで「自分らしく生活できなくなる」が46.7%、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなる」が34.5%となっています。

問8-4 もし、家族が認知症になったとしたら、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困りますか。(いくつでも○)

図表199 家族が認知症になった時の不安(全体/複数回答)

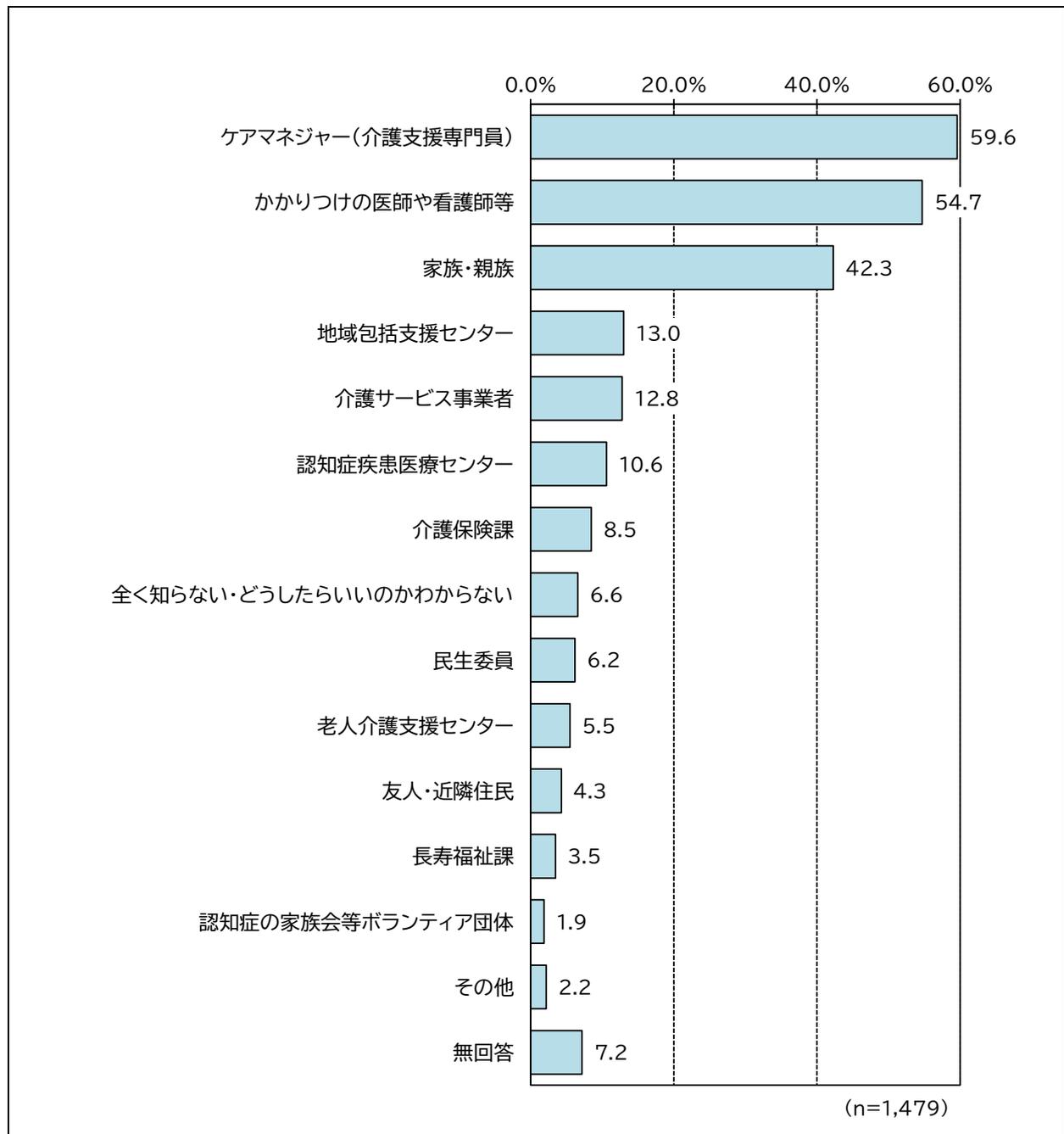


●家族が認知症になった時に不安に感じることについて、「特にない」と回答した人の割合が1.9%となっており、これと「わからない」12.0%と「無回答」9.4%を除いた76.7%の人が家族が認知症になったとしたら、また、現在認知症の家族がいる場合、困りごとがあると回答しています。

●家族が認知症になったとき、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困るかについて、「ストレスや精神的負担が大きくなる」が57.3%で最も多く、次いで「経済的負担が大きくなる」が40.6%、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなる」が38.9%となっています。

問8-5 もし、あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときに、どこに相談
したいですか。(いくつでも○)

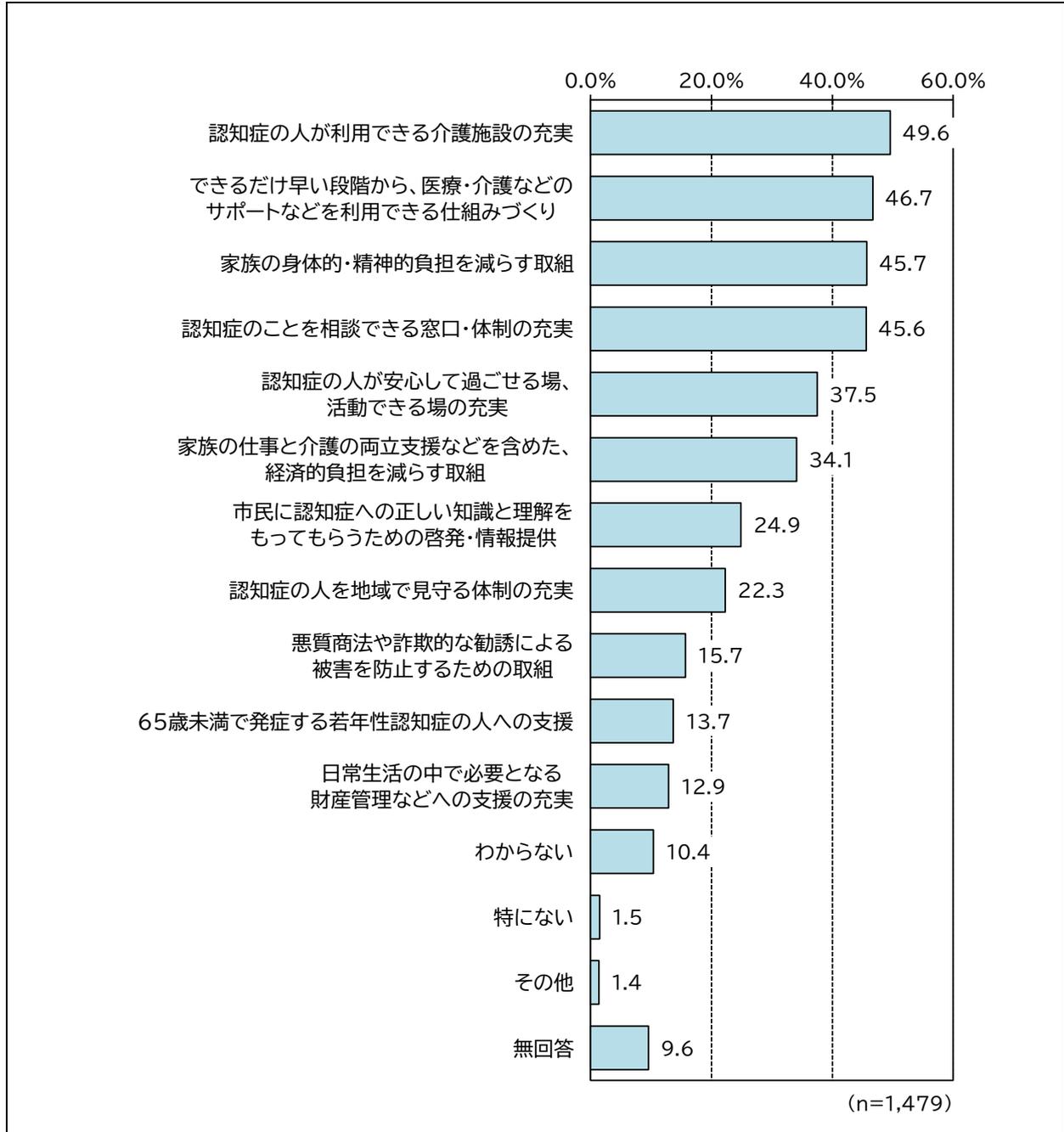
図表200 認知症の疑いが生じた際の相談先(全体/複数回答)



●あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときの相談先について、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」が59.6%で最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師等」が54.7%、「家族・親族」が42.3%となっています。

問8-6 認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるためには、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(いくつでも○)

図表201 認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきこと
(全体/複数回答)

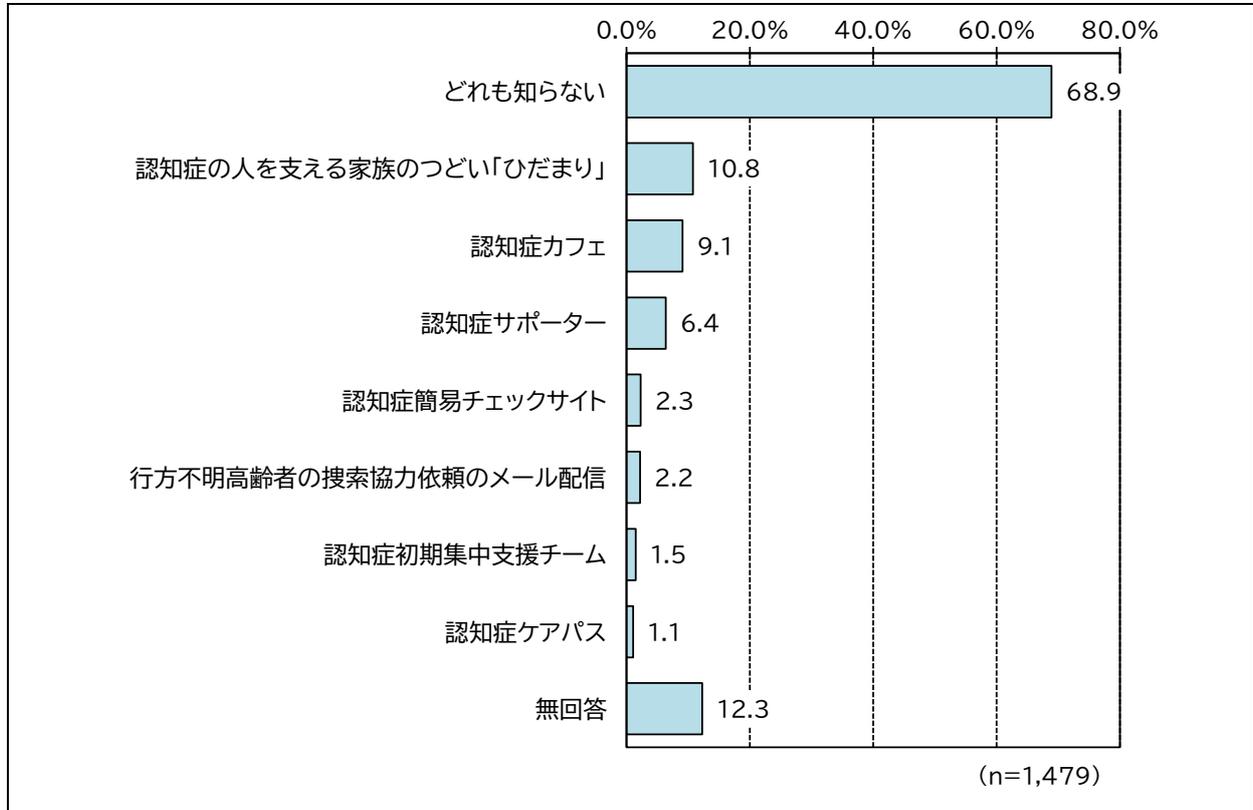


●認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるために重点を置くべきことについて、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が49.6%で最も多く、次いで「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートなどを利用できる仕組みづくり」が46.7%、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が45.7%となっています。

(4) 認知症に対する取組について

問8-7 高松市の認知症に関する取組について、知っていることはありますか。
(いくつでも○)

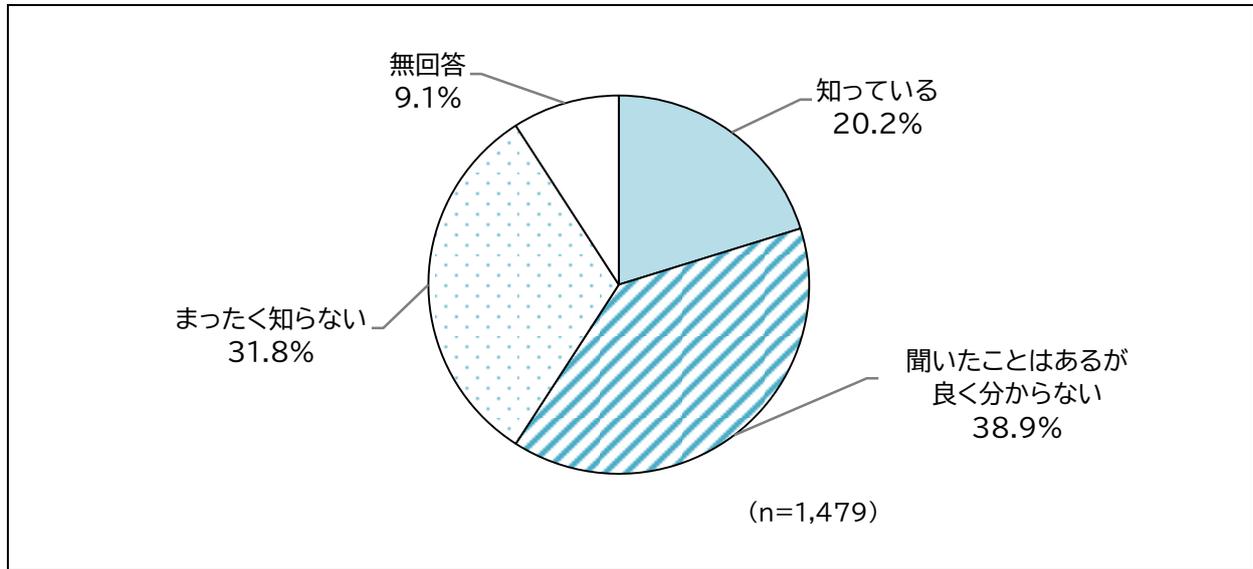
図表202 高松市の認知症に関する取組への認知度(全体/複数回答)



●高松市の認知症に関する取組の認知度について、「どれも知らない」が68.9%で最も多く、次いで「認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」」が10.8%、「認知症カフェ」が9.1%となっています。一方、「どれも知らない」68.9%、「無回答」12.3%を差し引いた18.8%は、高松市の認知症に関する取組を知っていると回答しています。

問8-8 認知症等で判断能力が十分でない方に、本人に代わって法的に支援できる成年後見制度を知っていますか。(1つだけ○)

図表203 成年後見制度の認知度(全体)



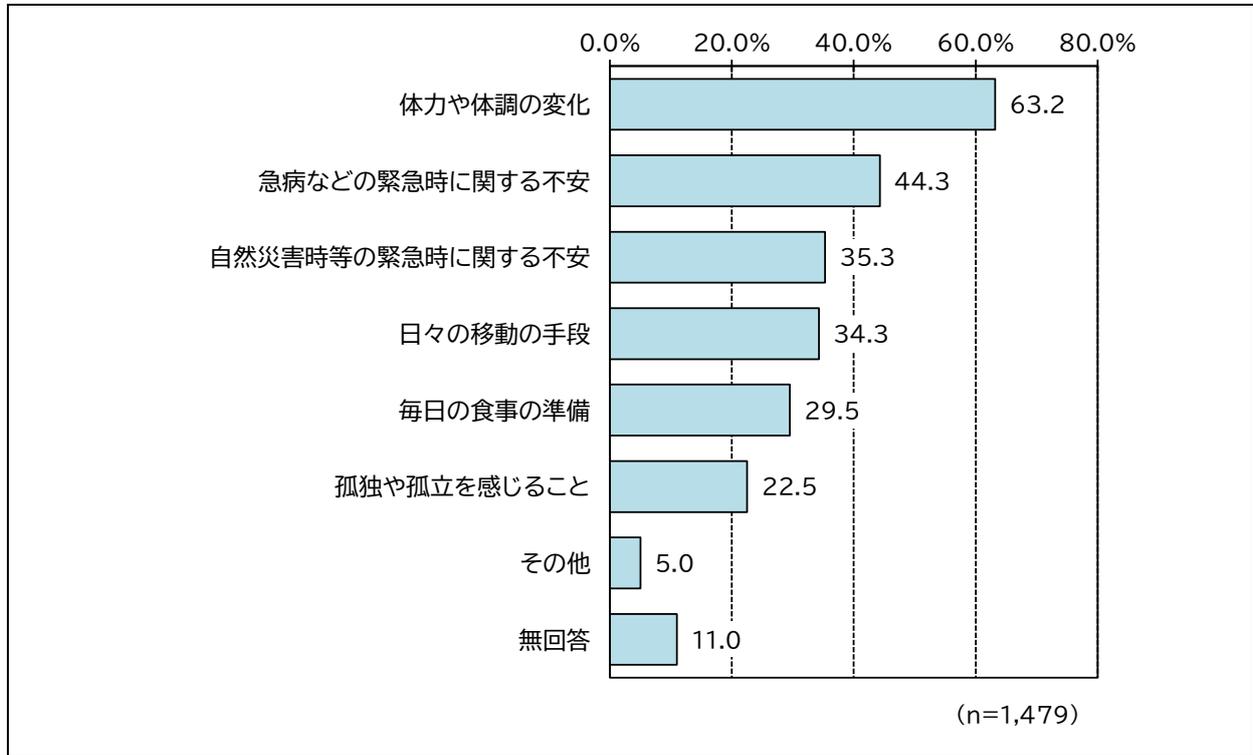
●成年後見制度の認知度について、「聞いたことはあるが良く分からない」が38.9%で最も多く、次いで「まったく知らない」が31.8%、「知っている」が20.2%となっています。

10. 高齢者に必要な生活支援について

(1) 高齢者の生活について

問9-1 生活の中での不安や困りごとはありますか。(いくつでも○)

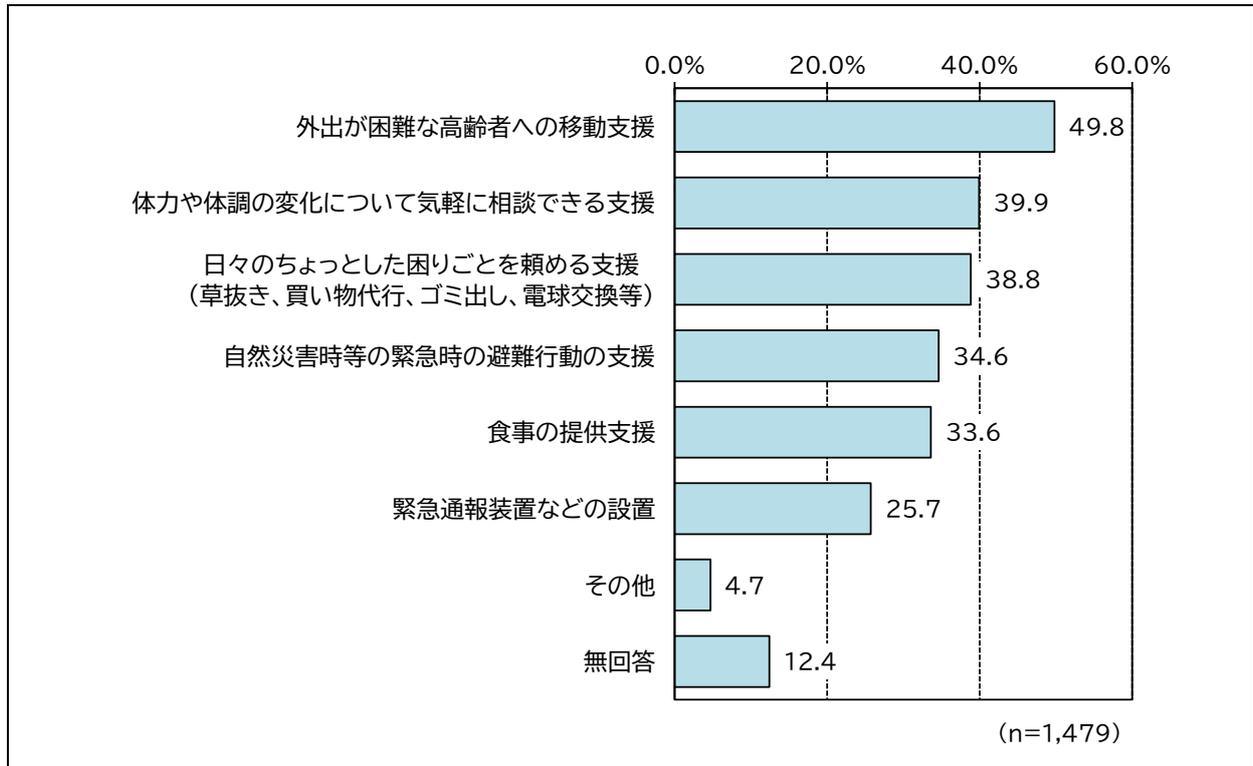
図表204 生活の中の不安や困りごと(全体/複数回答)



- 生活の中での不安や困りごとについて、「体力や体調の変化」が63.2%で最も多く、次いで「急病などの緊急時に関する不安」が44.3%、「自然災害時等の緊急時に関する不安」が35.3%となっています。

問9-2 どんな生活支援があればいいと思いますか。(いくつでも○)

図表205 必要な生活支援(全体/複数回答)



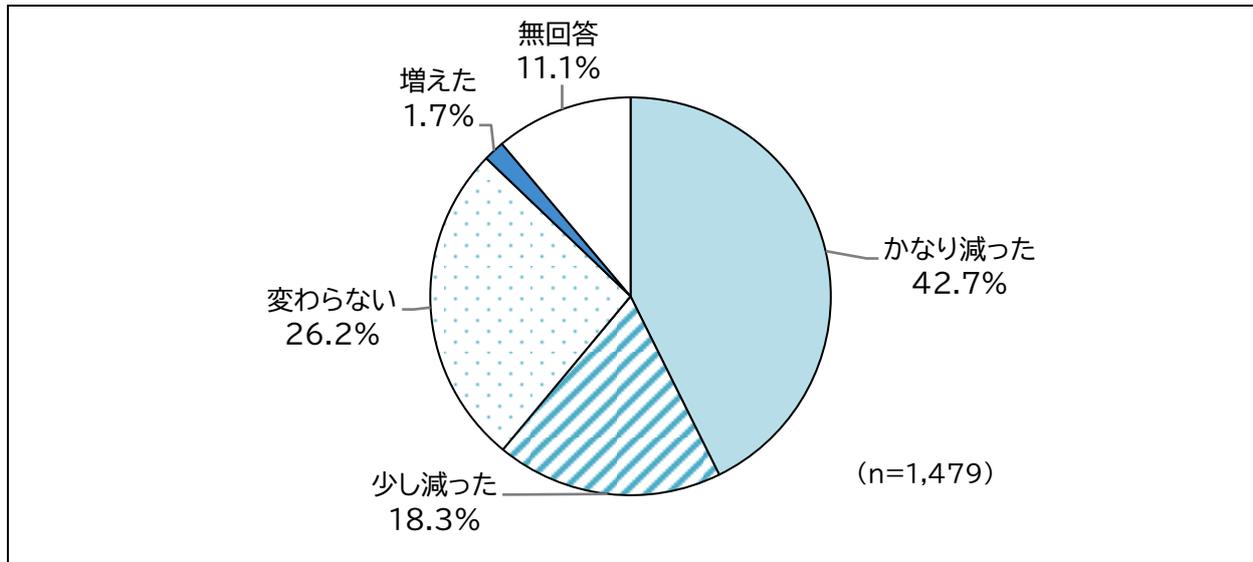
●必要な生活支援について、「外出が困難な高齢者への移動支援」が49.8%で最も多く、次いで「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」が39.9%、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援(草抜き、買い物代行、ゴミ出し、電球交換等)」が38.8%となっています。

11. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて

(1) 高齢者の居場所づくり

問10-1 家族や友人等身近な人と過ごす時間は、新型コロナウイルス感染症流行前と比べて変化しましたか。(1つだけ○)

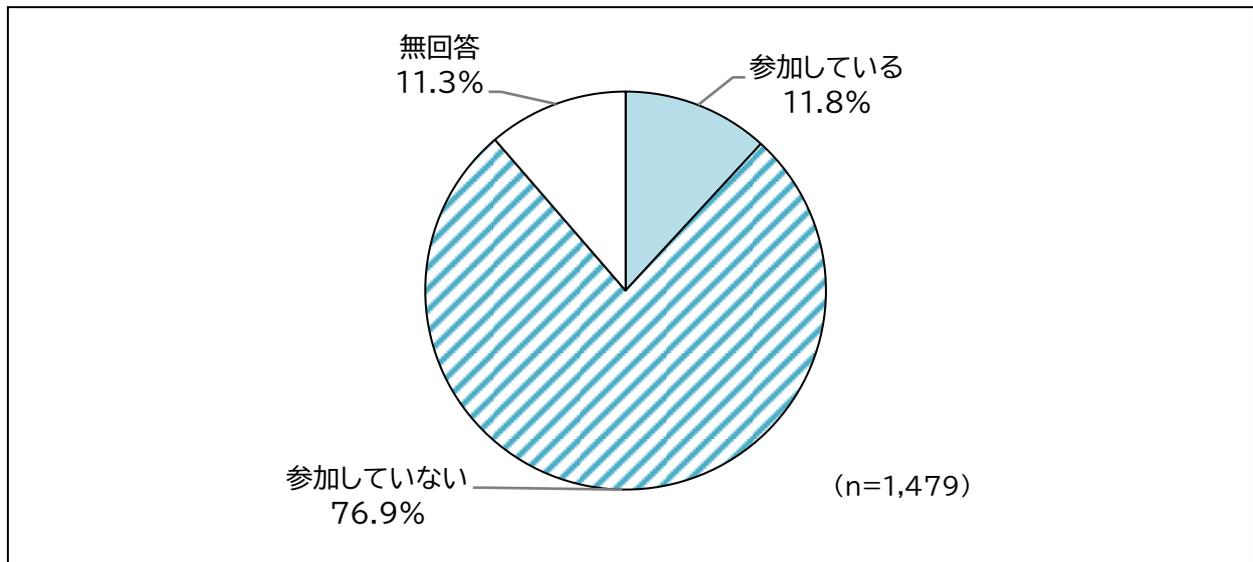
図表206 身近な人と過ごす時間の変化(全体)



●新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、家族や友人等身近な人と過ごす時間の変化について、「かなり減った」が42.7%で最も多く、次いで「変わらない」が26.2%、「少し減った」が18.3%となっています。

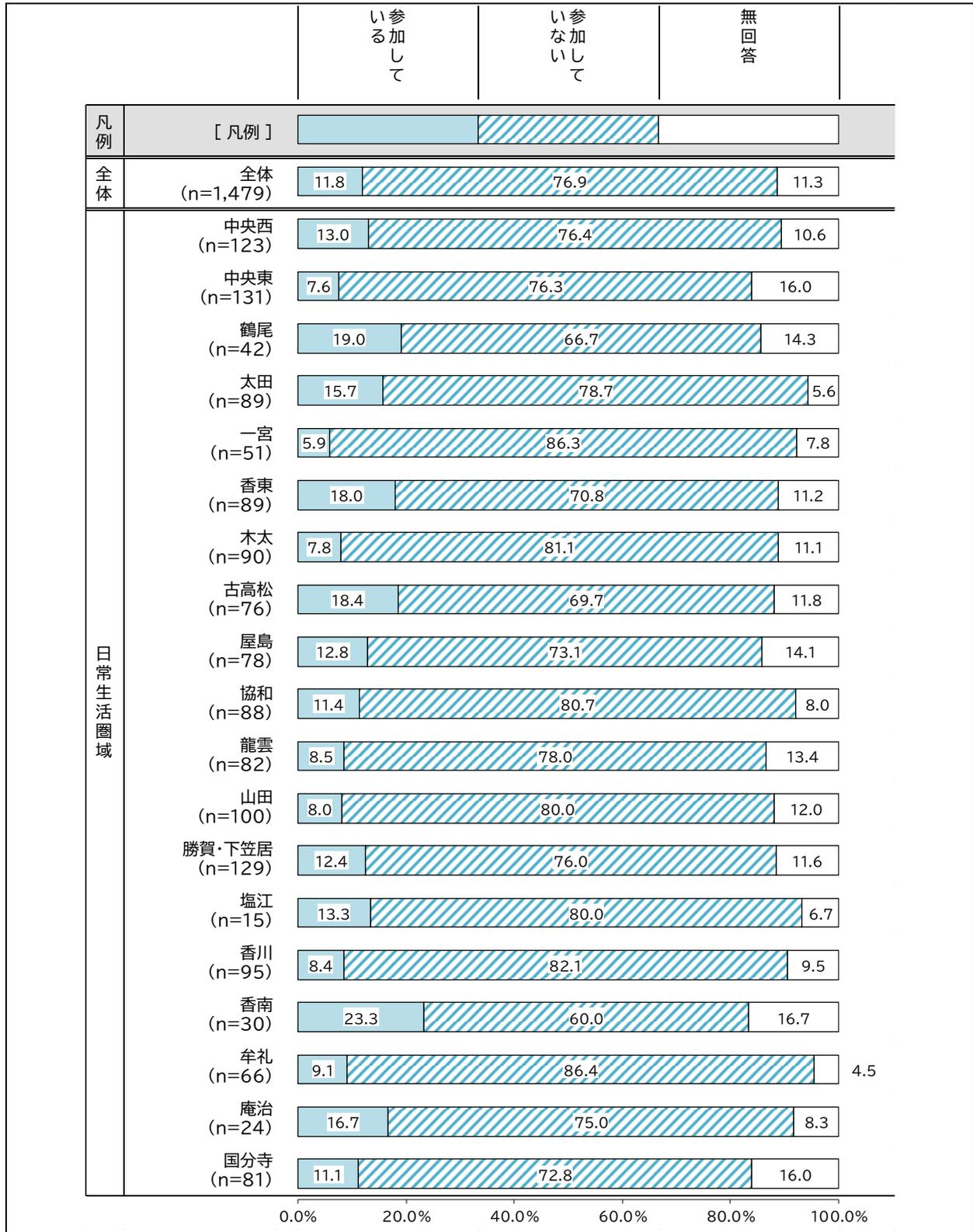
問10-2 高齢者が気軽に集える場所に参加していますか。(1つだけ○)

図表207 高齢者が集える場所への参加状況(全体)



●高齢者が気軽に集える場所への参加状況について、「参加している」が11.8%、「参加していない」が76.9%となっています。

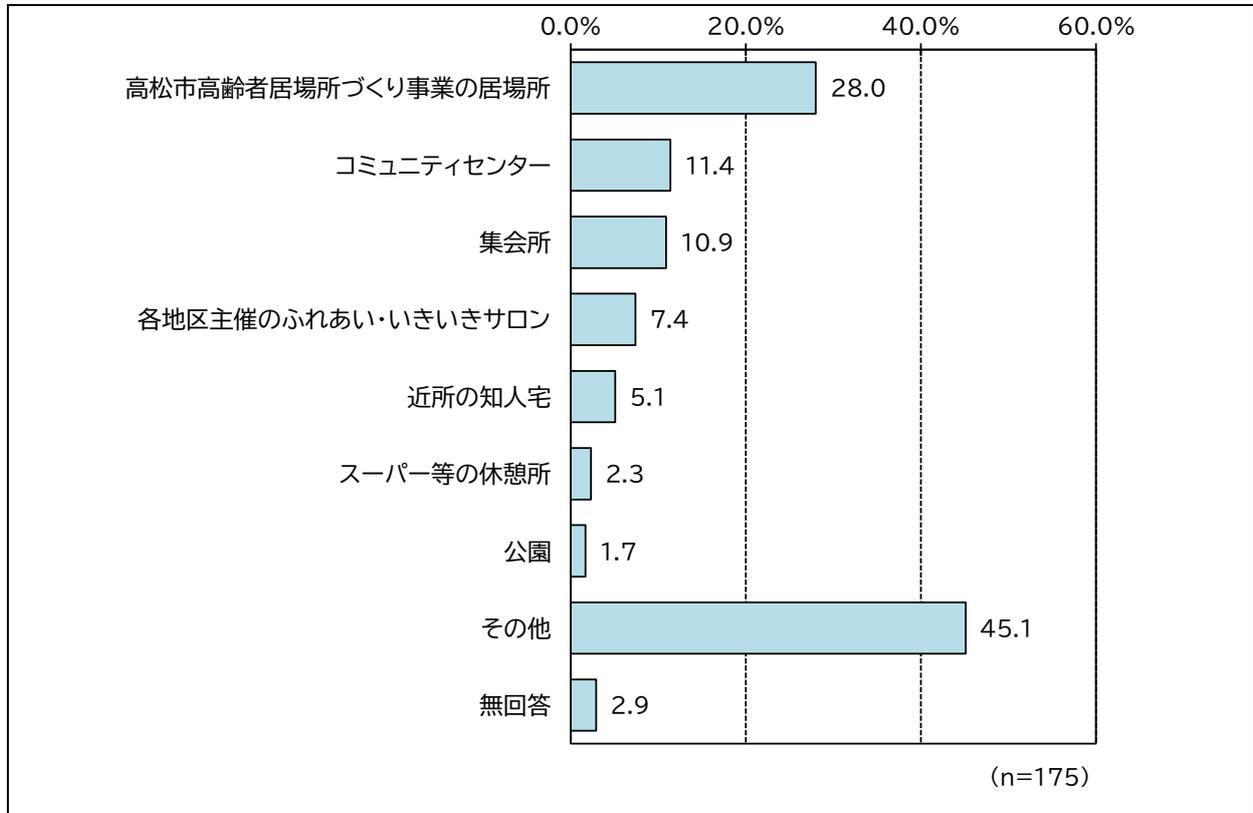
図表208 高齢者が集える場所への参加状況(日常生活圏域別)



- 高齢者が集える場所への参加状況を日常生活圏域別にみると、全ての圏域で「参加していない」と回答した人の割合が、「参加している」と回答した人の割合に比べて高くなっています。
- 「参加している」と回答した人の割合が「香南」で23.3%、「鶴尾」で19.0%となっており、その他の圏域より比較的高い割合となっています。

問10-2で「1.参加している」と回答した方
 問10-2-1 気軽に集える場所は、次のどれですか。(いくつでも○)

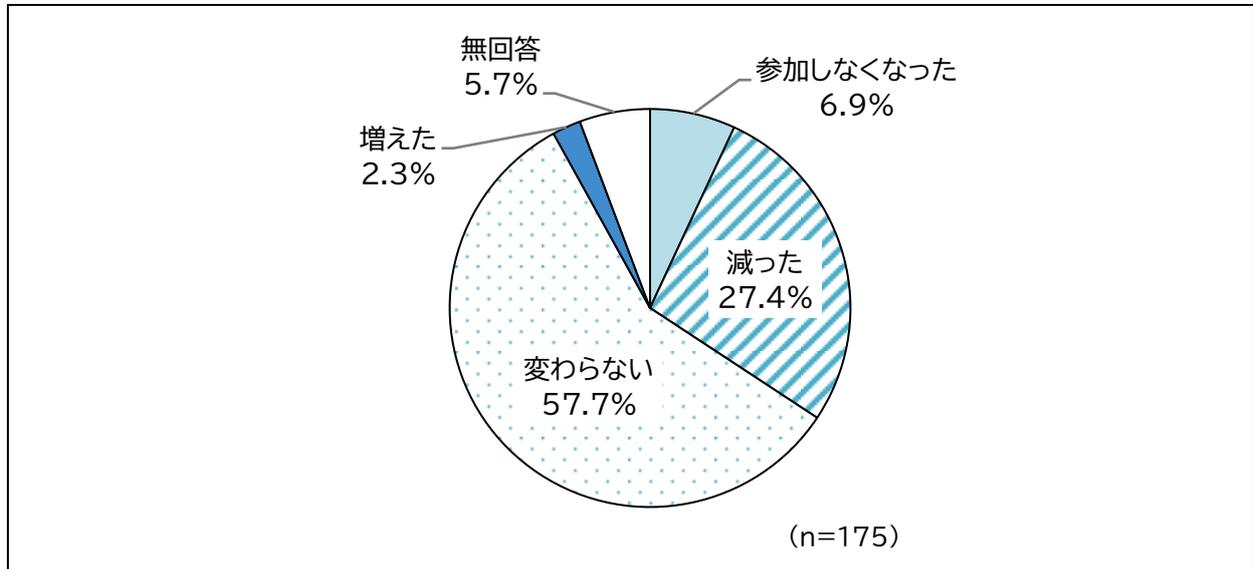
図表209 高齢者が集える場所(全体/複数回答)



●気軽に集える場所について、「高松市高齢者居場所づくり事業の居場所」が28.0%で最も多く、次いで「コミュニティセンター」が11.4%、「集会所」が10.9%となっています。

問10-2で「1.参加している」と回答した方
問10-2-2 新型コロナウイルス感染症流行前と比べ、参加頻度は変化しましたか。
(1つだけ○)

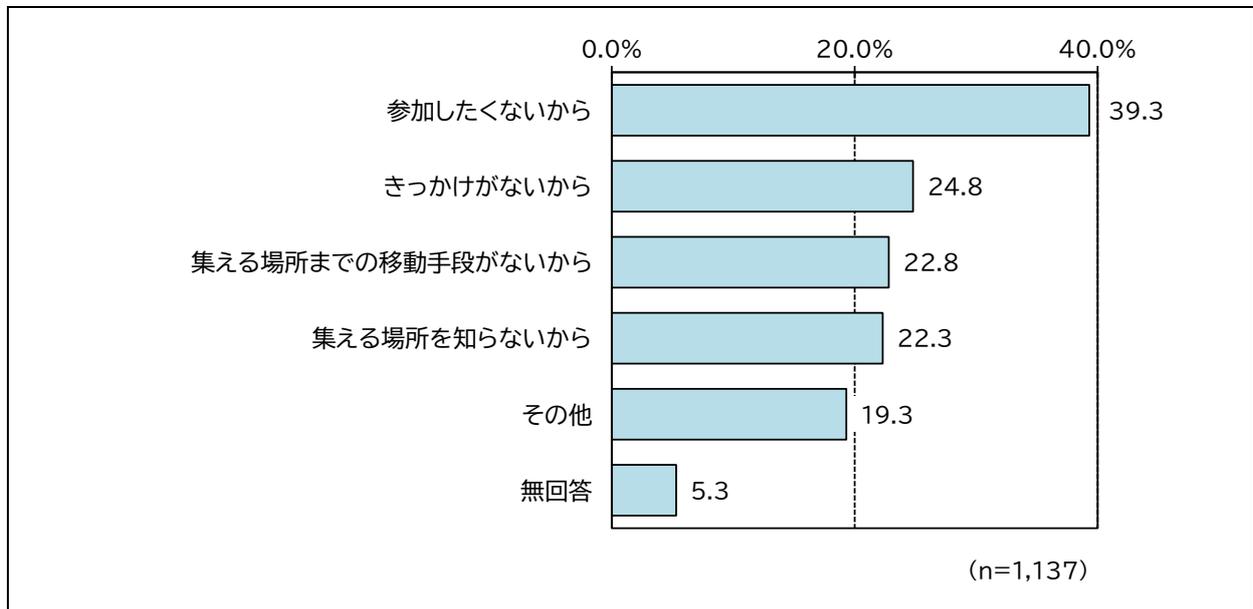
図表210 新型コロナウイルス感染症流行前と比べた参加頻度(全体)



●新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、高齢者が気軽に集える場所への参加頻度の変化について、「変わらない」が57.7%で最も多く、次いで「減った」が27.4%、「参加しなくなった」が6.9%となっています。

問10-2で「2. 参加していない」と回答した方
 問10-2-3 参加しない理由は何ですか。(いくつでも○)

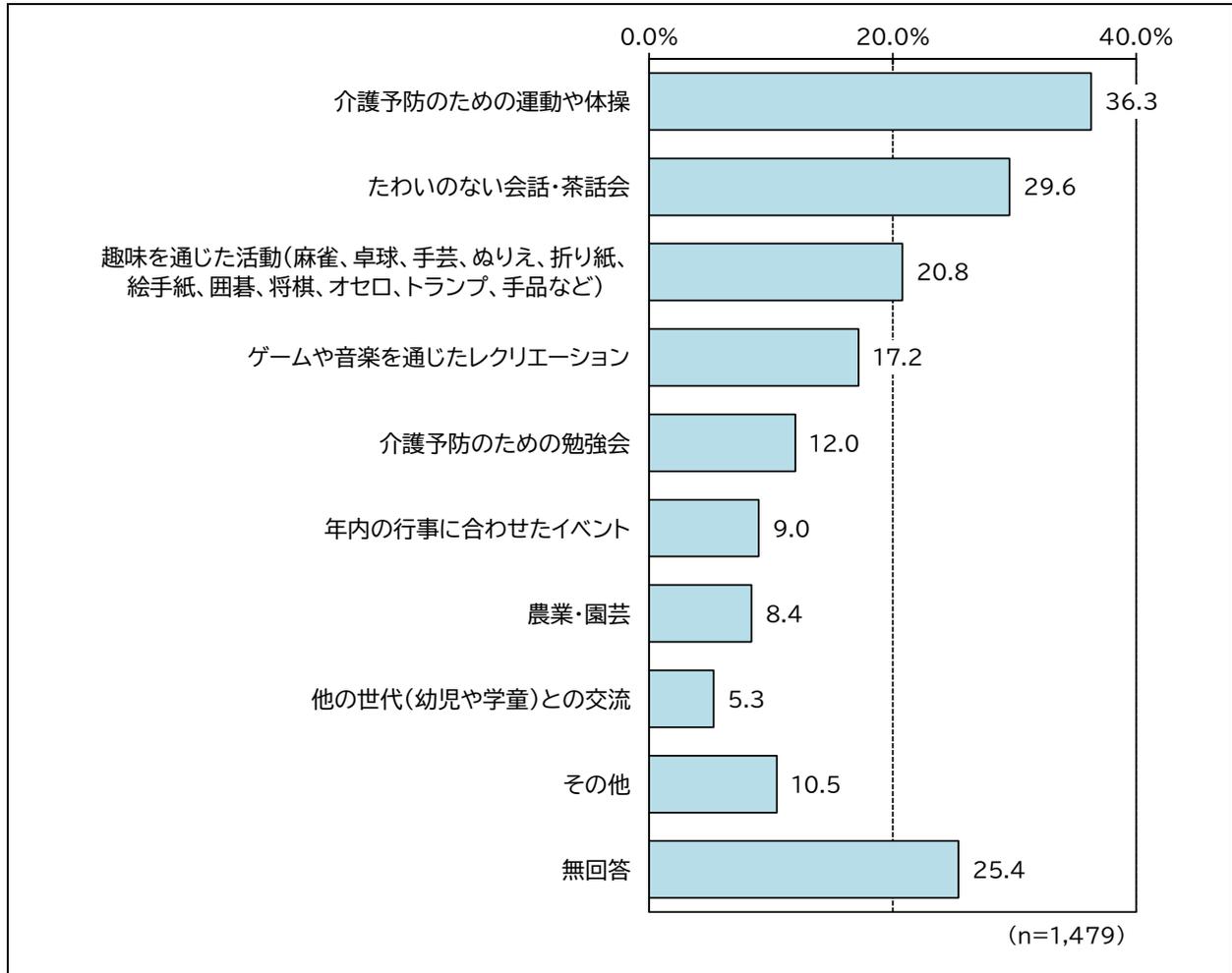
図表211 集える場所に参加しない理由(全体/複数回答)



● 高齢者が気軽に集える場所に参加しない理由について、「参加したくないから」が39.3%で最も多く、次いで「きっかけがないから」が24.8%、「集える場所までの移動手段がないから」が22.8%となっています。

問10-3 集える場所ではどのような活動がしたいですか。(いくつでも○)

図表212 集える場所で行いたい活動内容(全体/複数回答)

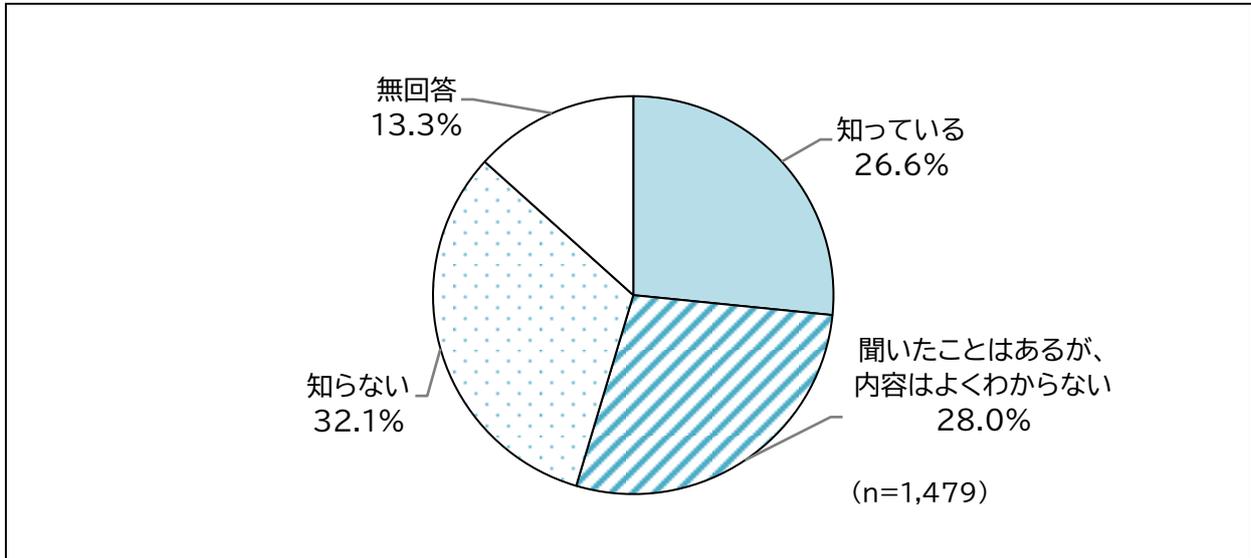


●集える場所で行いたい活動内容について、「介護予防のための運動や体操」が36.3%で最も多く、次いで「たわいのない会話・茶話会」が29.6%、「趣味を通じた活動(麻雀、卓球、手芸、ぬりえ、折り紙、絵手紙、囲碁、将棋、オセロ、トランプ、手品など)」が20.8%となっています。

(2)高松市地域包括支援センターについて

問10-4 高松市では、地域における高齢者の身近な相談窓口として、「高松市地域包括支援センター」を設置しています。
「高松市地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけ○)

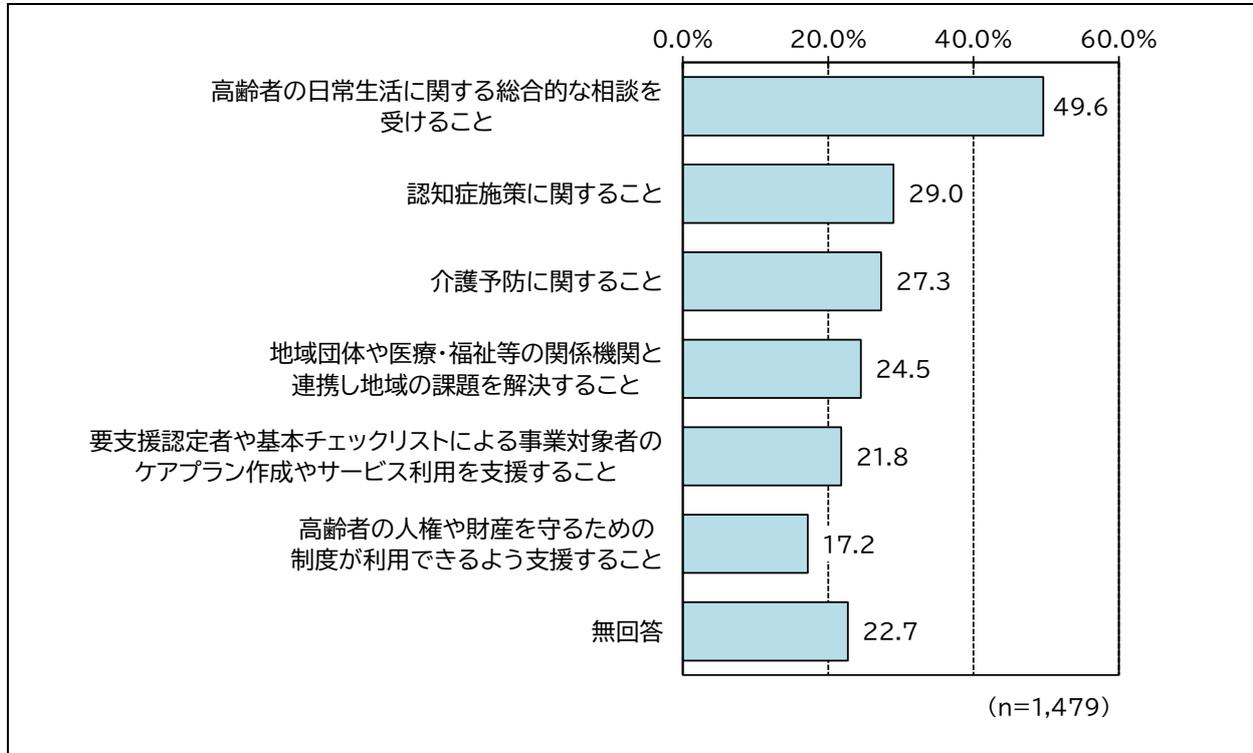
図表213 高松市地域包括支援センターの認知度(全体)



●「高松市地域包括支援センター」の認知度について、「知らない」が32.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が28.0%、「知っている」が26.6%となっています。

問10-5 地域包括支援センターは、今後、特にどの業務を充実すればよいと思いますか。
(いくつでも○)

図表214 地域包括支援センターが充実すべき業務(全体/複数回答)

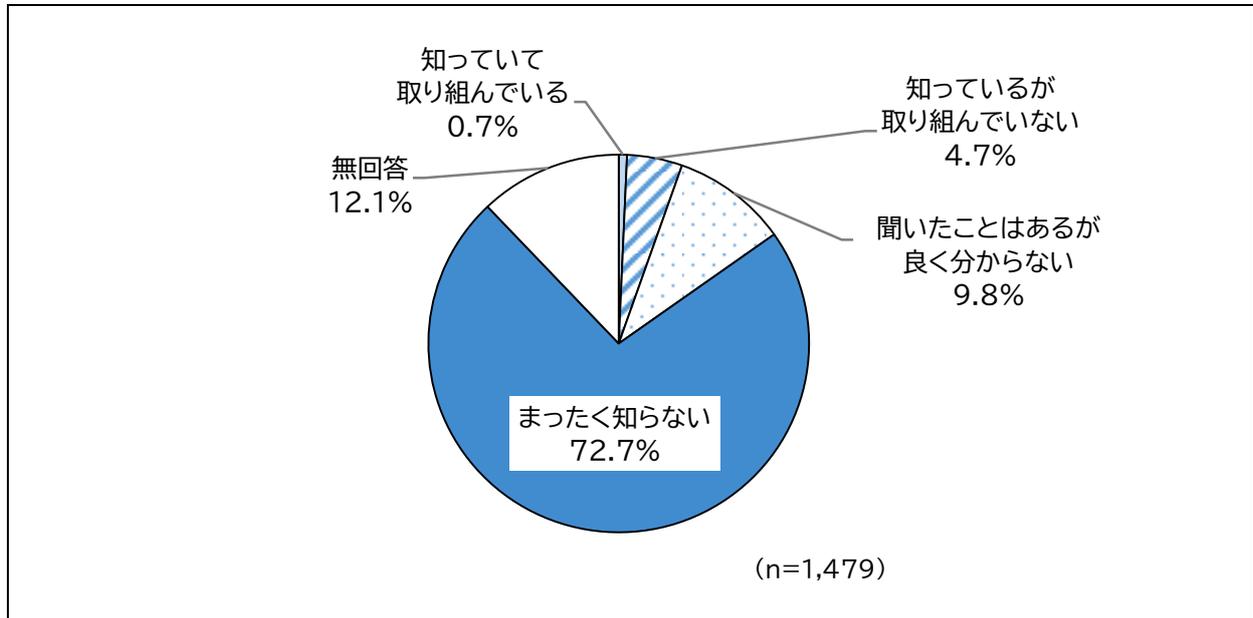


●特に充実すべき、地域包括支援センターの内容について、「高齢者の日常生活に関する総合的な相談を受けること」が49.6%で最も多く、次いで「認知症施策に関すること」が29.0%、「介護予防に関すること」が27.3%となっています。

(3)介護予防について

問10-6 高松市の「のびのび元気体操」を知っていますか。(1つだけ○)

図表215 「のびのび元気体操」の認知度(全体)



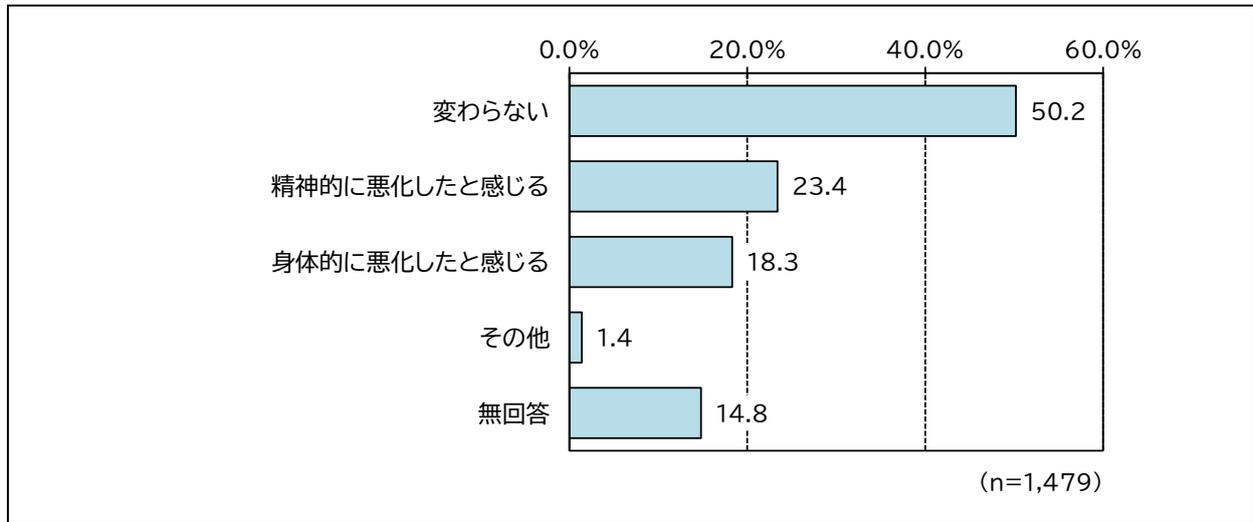
●「のびのび元気体操」の認知度について、「まったく知らない」と回答した人の割合が最も高く、72.7%となっています。次いで、「聞いたことはあるが良く分からない」9.8%、「知っているが取り組んでいない」4.7%と続いています。

12. 健康づくりについて

(1)健康への取り組みについて

問11-1 新型コロナウイルス感染症流行前と比べ、健康状態に変化があったと感じますか。
(いくつでも○)

図表216 健康状態の変化(全体/複数回答)



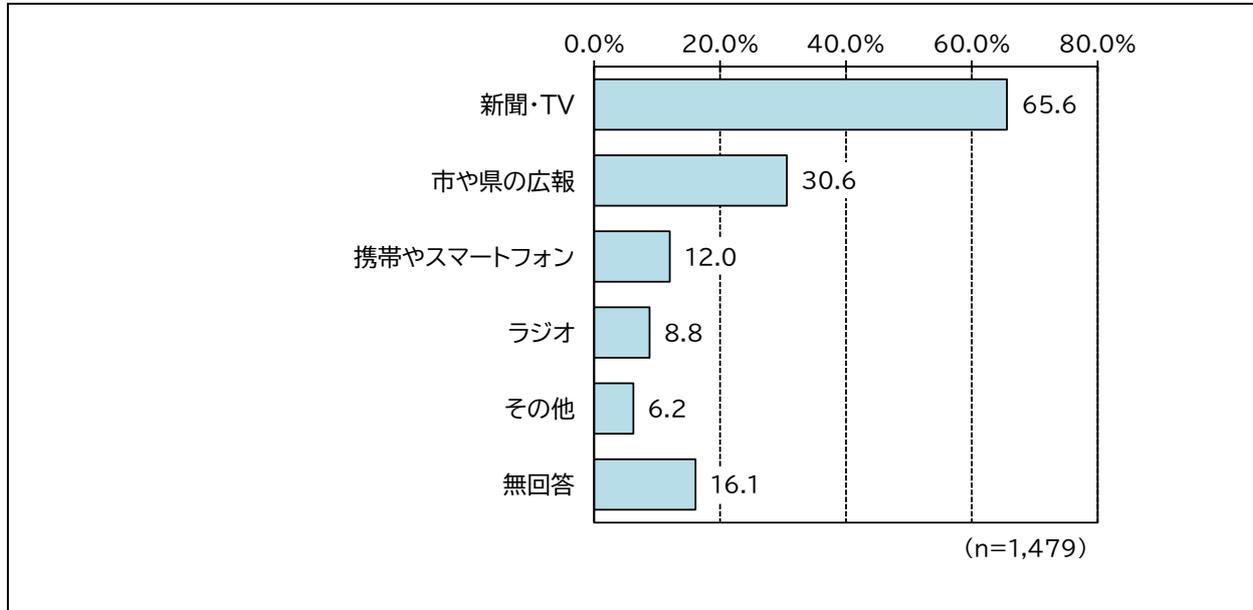
●新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、健康状態の変化について、「変わらない」が50.2%で最も多く、次いで「精神的に悪化したと感じる」が23.4%、「身体的に悪化したと感じる」が18.3%となっています。

13. 高齢者の保健福祉について

(1) 情報収集手段

問12-1 日常の情報収集手段は何ですか。(いくつでも○)

図表217 日常の情報収集手段(全体/複数回答)



● 日常の情報収集手段について、「新聞・TV」が65.6%で最も多く、次いで「市や県の広報」が30.6%、「携帯やスマートフォン」が12.0%となっています。

● 第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上) ●

図表218 日常の情報収集手段(年齢階層別)

(単位:%)

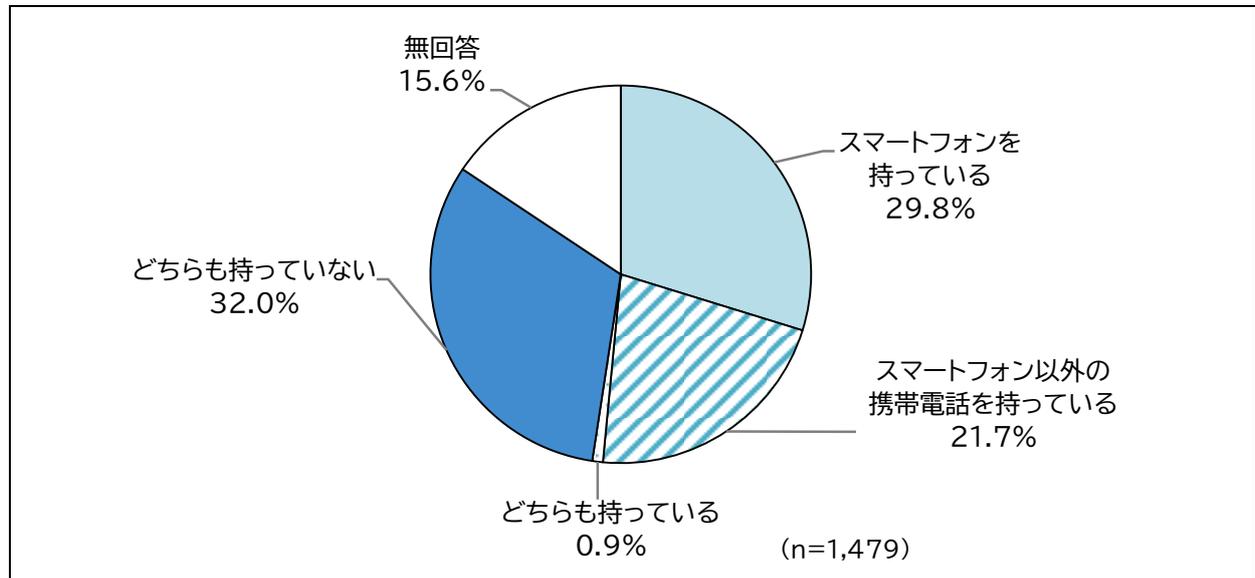
		第1位	第2位	第3位
全体 (n=1,479)		新聞・TV 65.6	市や県の広報 30.6	携帯やスマートフォン 12.0
年 齢 階 層 別	65～69歳 (n=223)	新聞・TV 65.5	携帯やスマートフォン 23.3	市や県の広報 21.5
	70～74歳 (n=483)	新聞・TV 67.9	市や県の広報 31.1	携帯やスマートフォン 15.7
	75～79歳 (n=298)	新聞・TV 66.4	市や県の広報 36.6	ラジオ 9.1
	80～84歳 (n=210)	新聞・TV 66.7	市や県の広報 35.7	ラジオ 11.0
	85歳以上 (n=265)	新聞・TV 59.6	市や県の広報 26.4	ラジオ 8.7

● 日常の情報収集手段を年齢階層別にみると、全体と概ね同様の傾向にありますが、「65～69歳」において第2位が「携帯やスマートフォン」となっています。

(2) 携帯電話

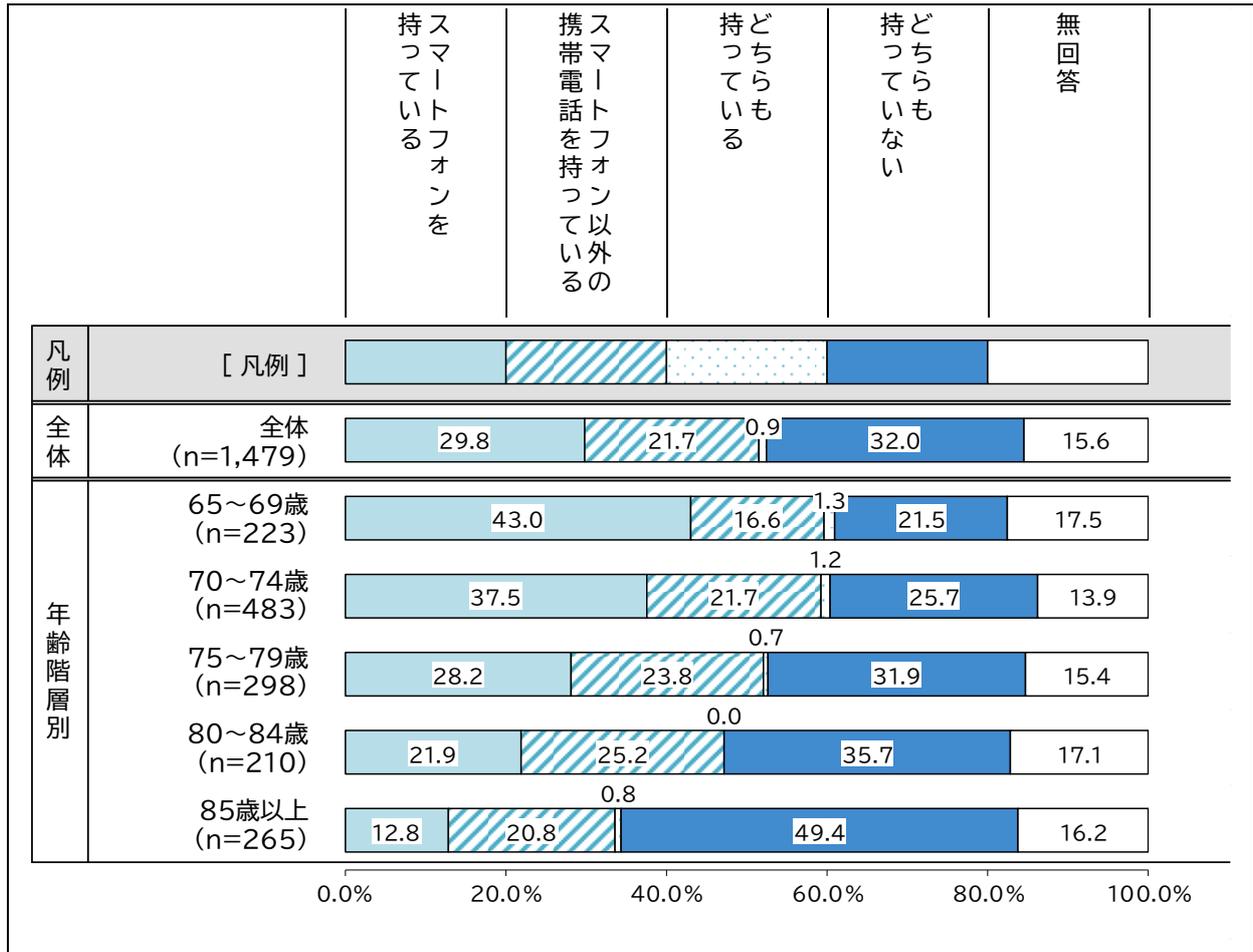
問12-2 現在、携帯電話を持っていますか。(1つだけ○)

図表219 携帯電話の所持状況(全体)



●携帯電話の所持状況について、「どちらも持っていない」が32.0%で最も多く、次いで「スマートフォンを持っている」が29.8%、「スマートフォン以外の携帯電話を持っている」が21.7%となっています。

図表220 携帯電話の所持状況(年齢階層別)

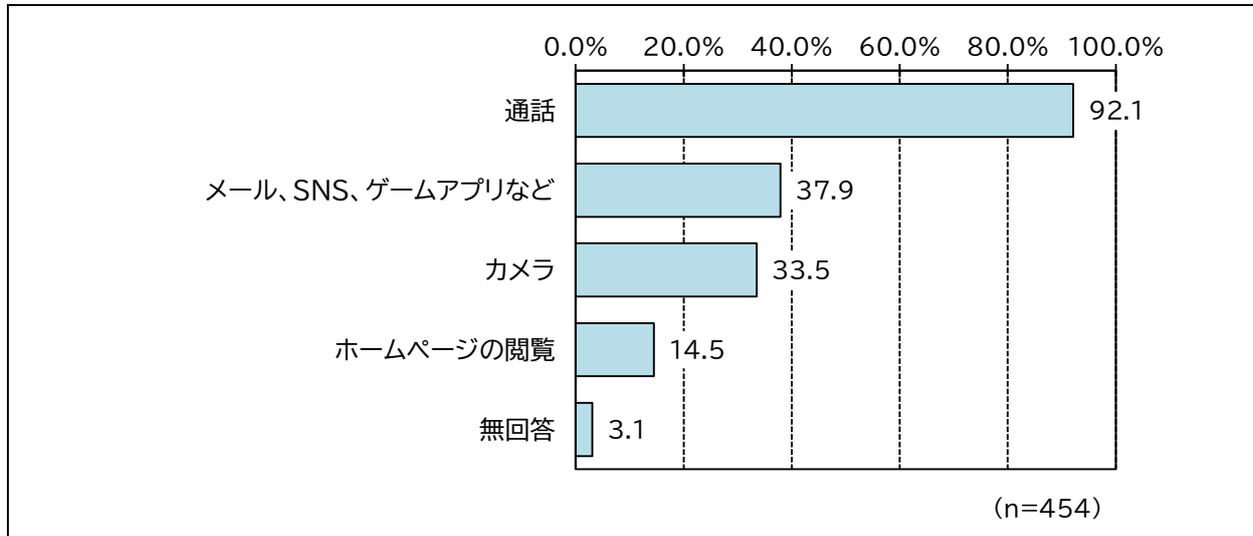


●携帯電話の所持状況を年齢階層別にみると、「スマートフォンを持っている」、「スマートフォン以外の携帯電話を持っている」、「どちらも持っている」のいずれかを回答した、携帯電話所持者の割合は、年齢階層が下がるにつれて上昇しています。

● 第3章 調査結果 要介護認定者(65歳以上) ●

問12-2で「1.スマートフォンを持っている」または「3.どちらも持っている」と回答した方
問12-2-1 スマートフォンをどのような用途で使っていますか。(いくつでも○)

図表221 スマートフォンの利用用途(全体/複数回答)

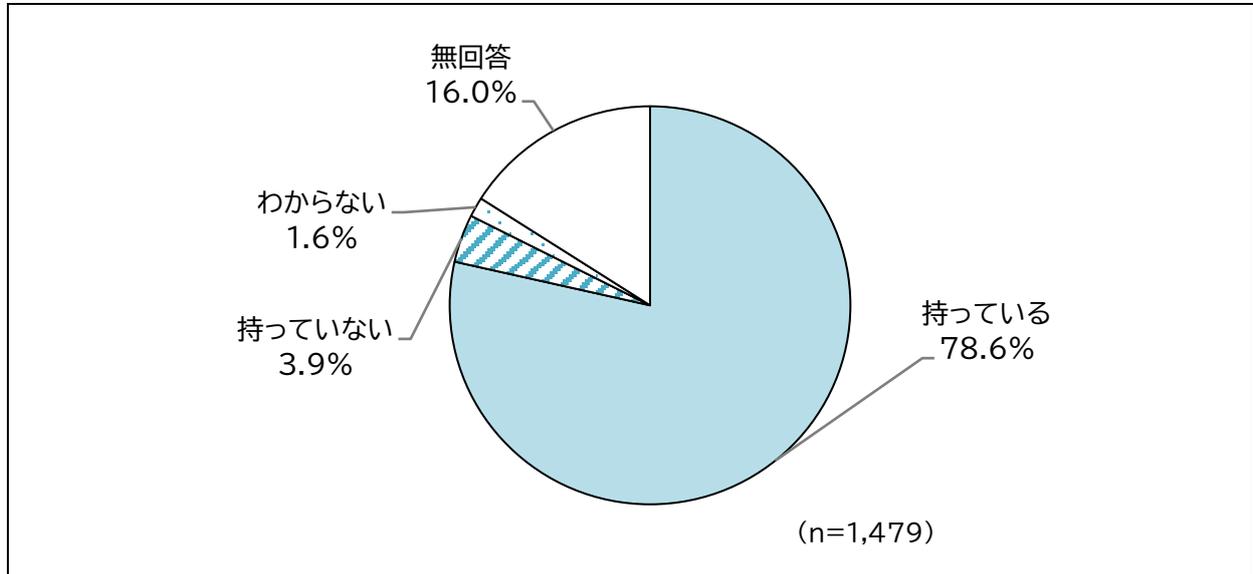


● スマートフォンの用途について、「通話」が92.1%で最も多く、次いで「メール、SNS、ゲームアプリなど」が37.9%、「カメラ」が33.5%となっています。

(3) かかりつけ医の有無について

問12-3 日頃から病気やけがの時に診察を受けることを決めている「かかりつけ医」を持っていますか。(1つだけ○)

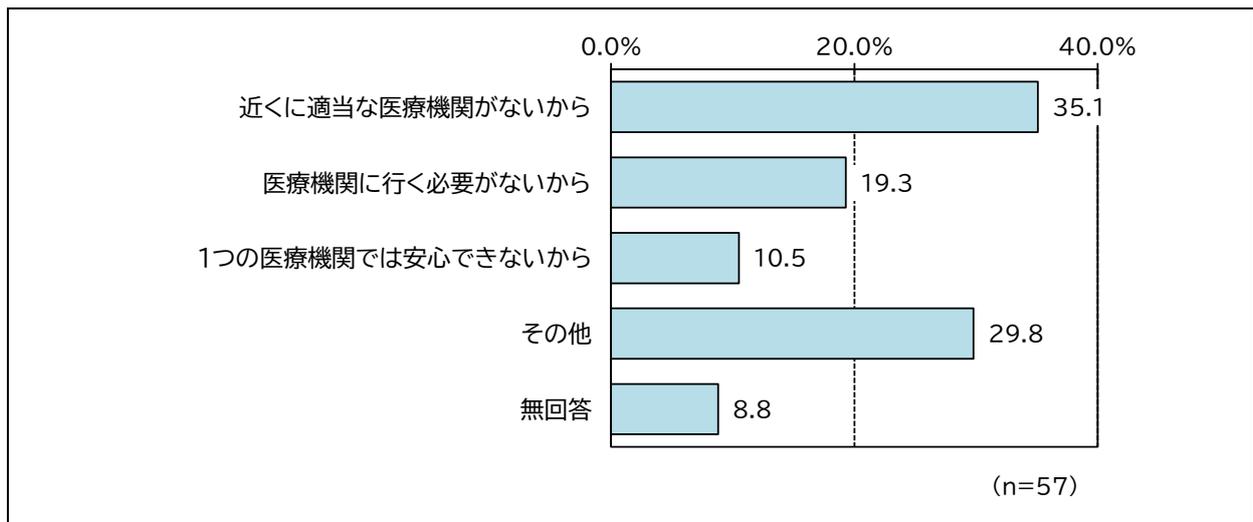
図表222 かかりつけ医の有無(全体)



●「かかりつけ医」の有無について、「持っている」が78.6%、「持っていない」が3.9%となっています。

問12-3で「2. 持っていない」と回答した方
問12-3-1 「かかりつけ医」を持っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

図表223 かかりつけ医を持っていない理由(全体/複数回答)

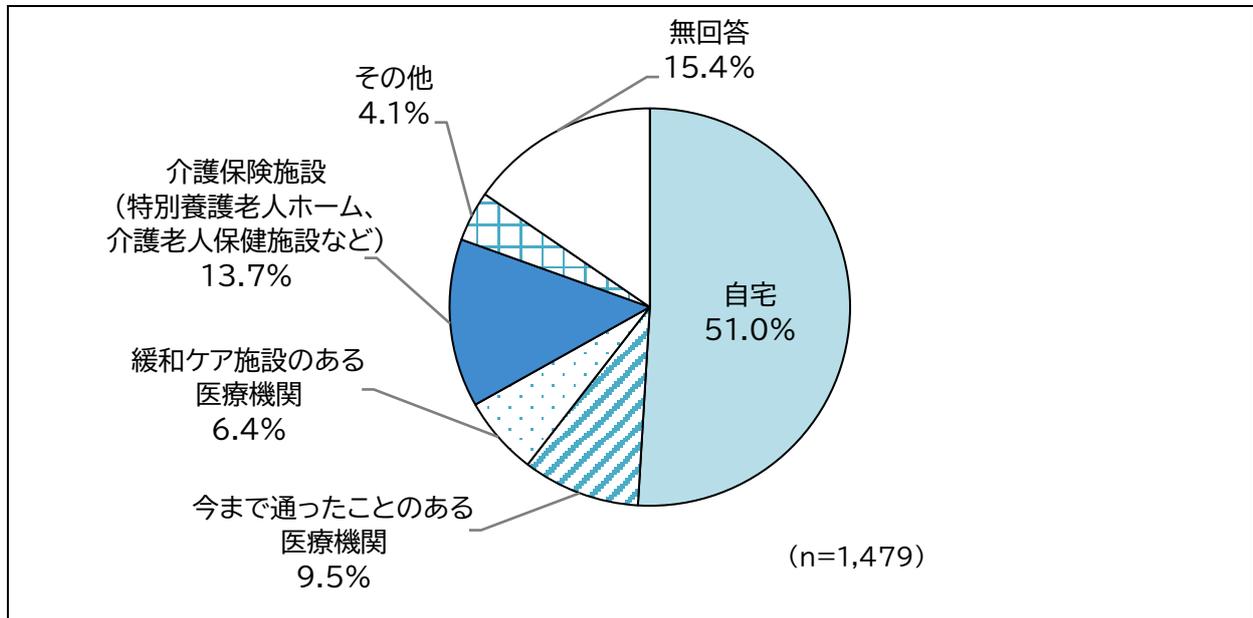


●「かかりつけ医」を持っていない理由について、「近くに適切な医療機関がないから」が35.1%で最も多く、次いで「医療機関に行く必要がないから」が19.3%、「1つの医療機関では安心できないから」が10.5%となっています。

(4)自分の最期について

問12-4 自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○)

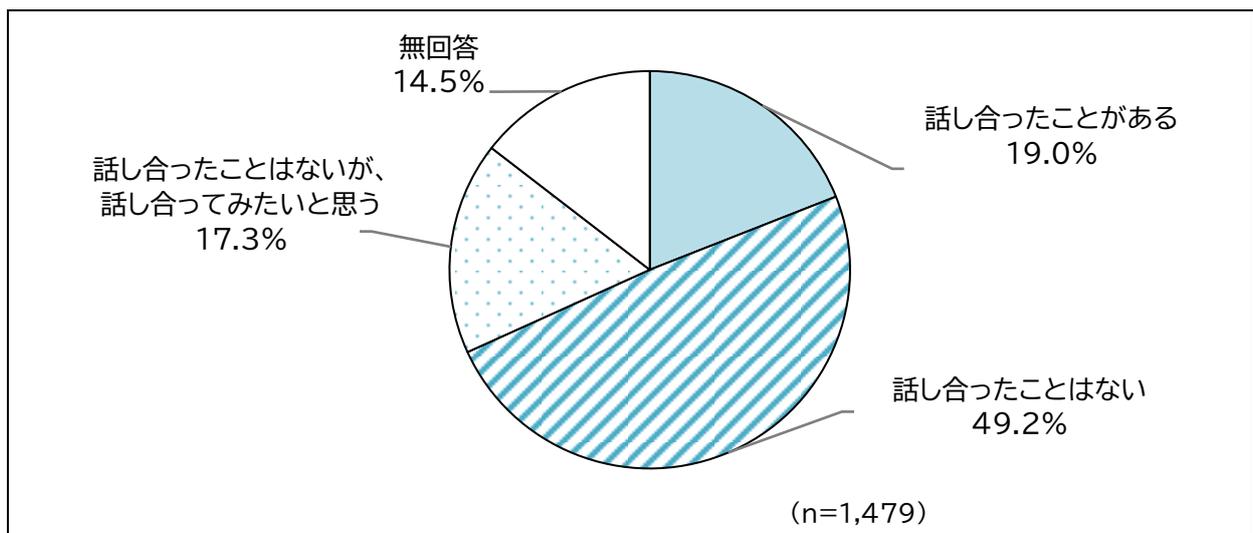
図表224 自分の最期を迎えたい場所(全体)



●最期を迎えたい場所について、「自宅」が51.0%で最も多く、次いで「介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)」が13.7%、「今まで通ったことのある医療機関」が9.5%となっています。

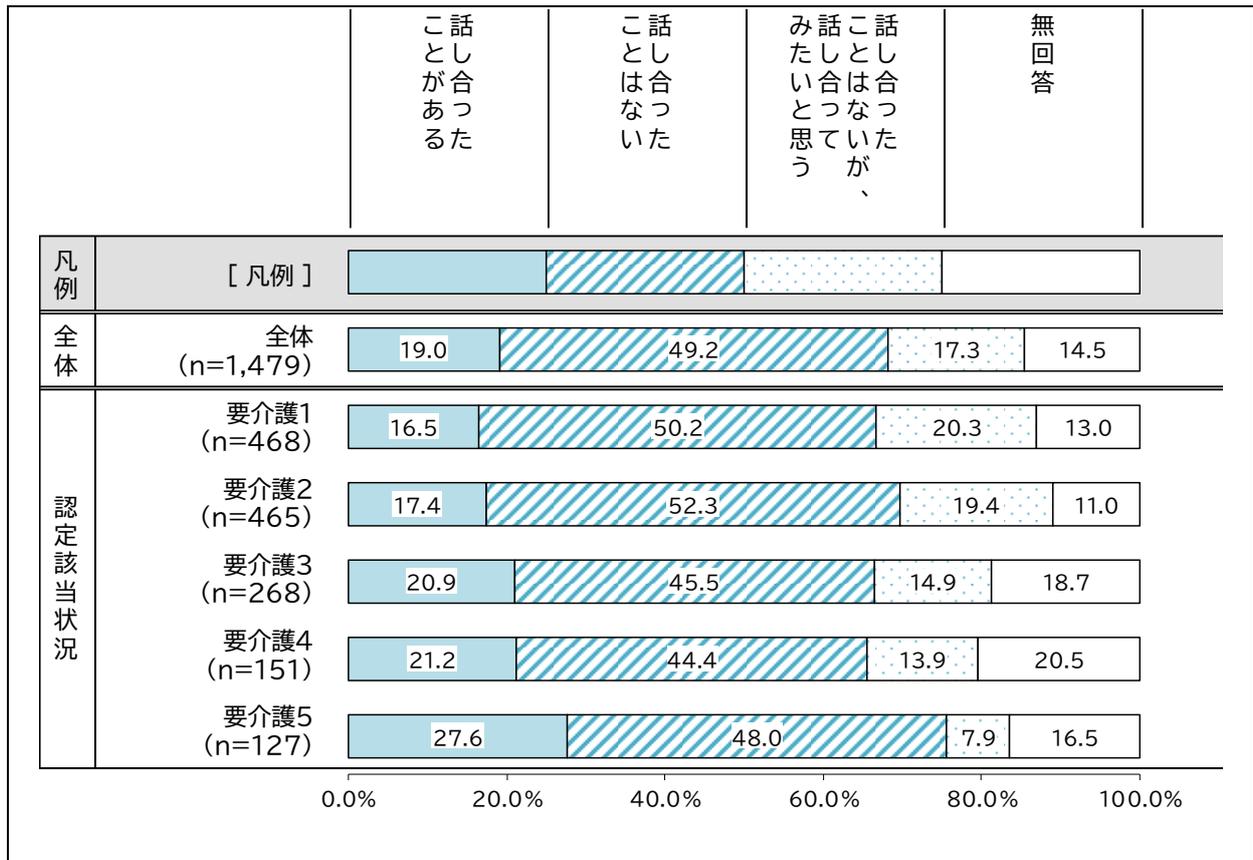
問12-5 自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。(1つだけ○)

図表225 自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験(全体)



●自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者との話し合いの有無をたずねたところ、「話し合ったことはない」が49.2%で最も多く、次いで「話し合ったことがある」が19.0%、「話し合ったことはないが、話し合ってみたいと思う」が17.3%となっています。

図表226 自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験
(認定該当状況別)

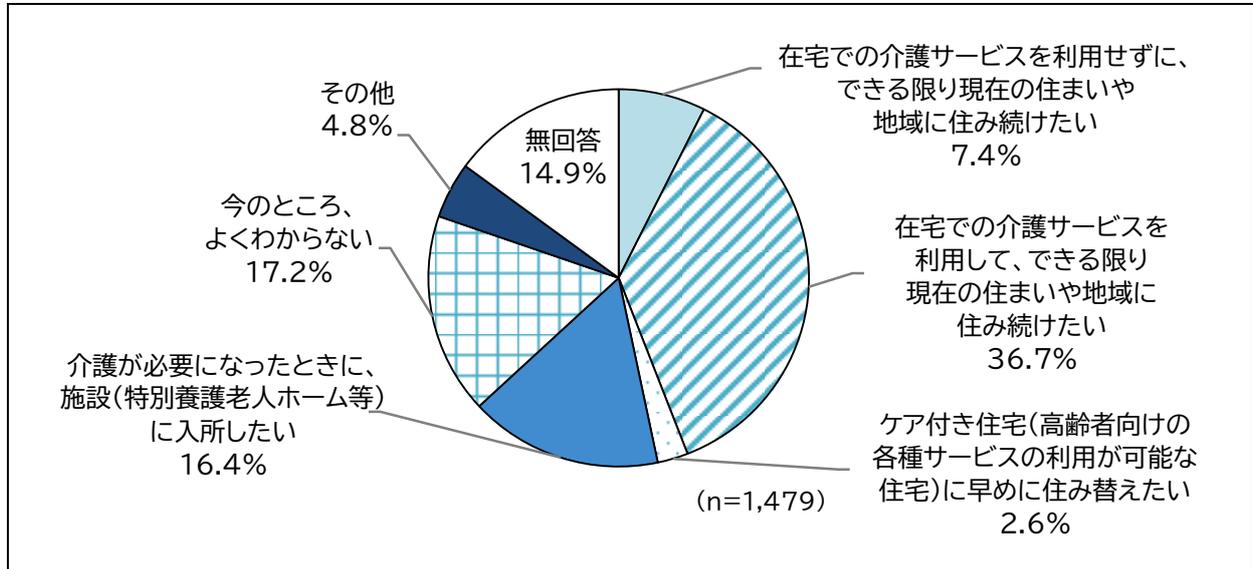


●自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験を、認定該当状況別にみると、「話し合ったことはない」がすべての認定該当状況で最も高い割合となっています。要介護5の「話し合ったことがある」と回答した人の割合が、その他の認定該当状況と比べて高くなっています。

(5) 住まいと介護サービスの利用について

問12-6 住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。
(1つだけ○)

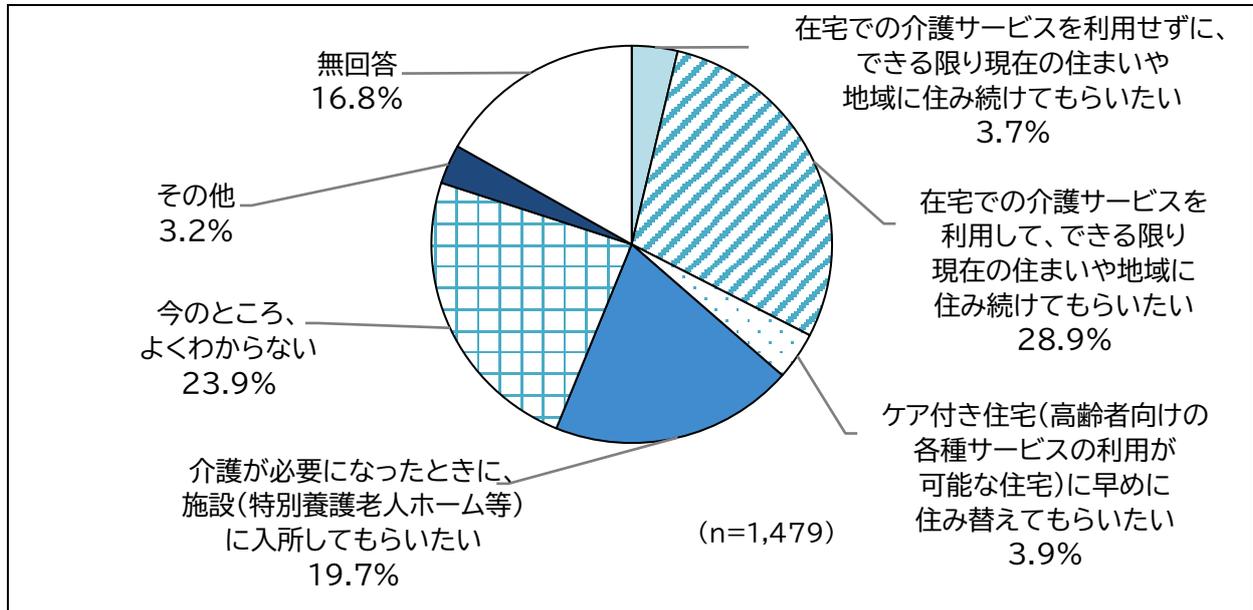
図表227 自身の将来の住まいと介護サービスの利用について(全体)



● 住まいと介護サービスの利用についての考えでは、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」が36.7%で最も多く、次いで「今のところ、よくわからない」が17.2%、「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい」が16.4%となっています。

問12-7 あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

図表228 家族の将来の住まいと介護サービスの利用について(全体)

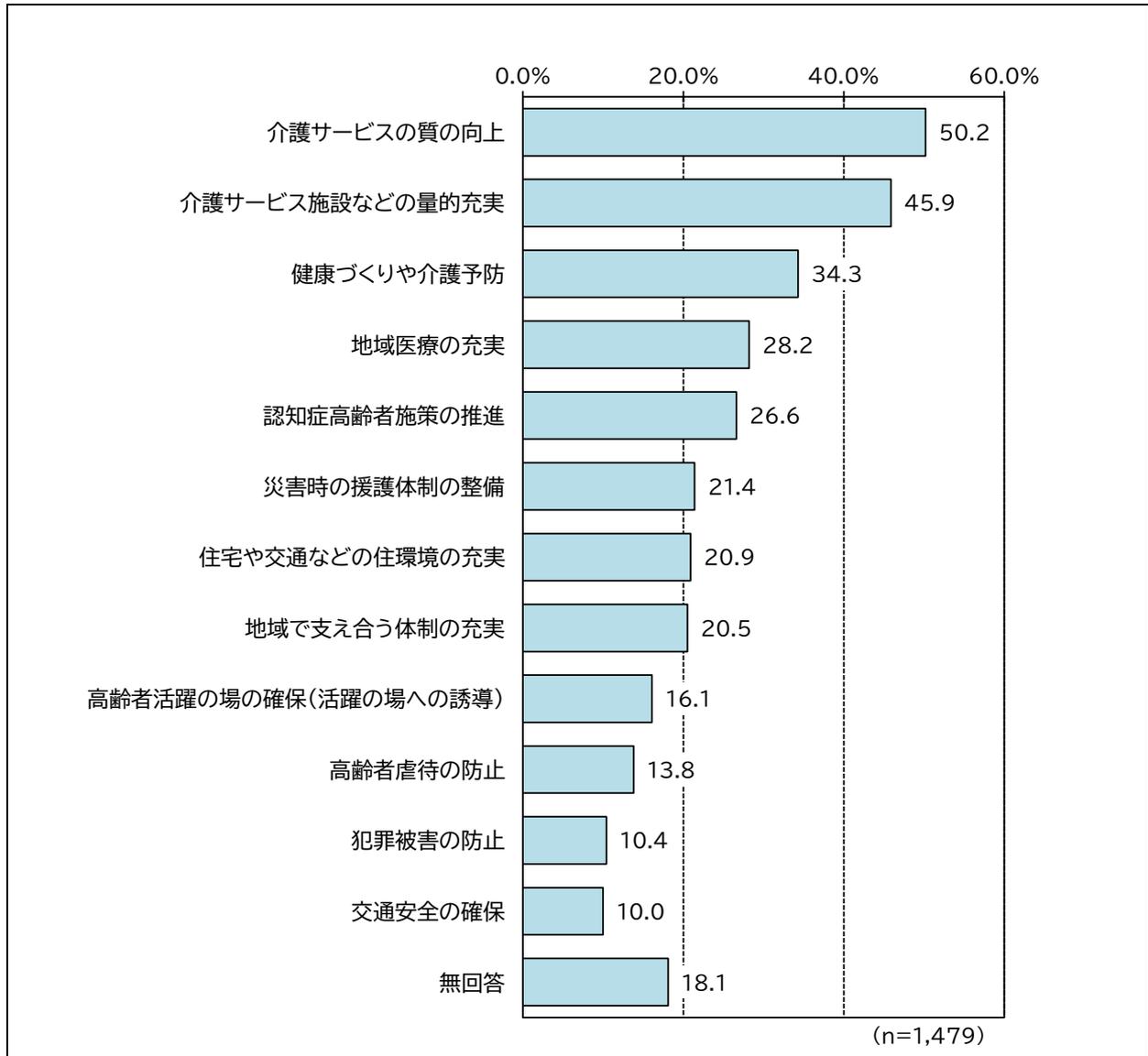


●あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用についての考えでは、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けてもらいたい」が28.9%と最も多く、次いで「今のところよくわからない」23.9%、「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所してもらいたい」が19.7%となっています。

(6) 超高齢社会において重要な方策

問12-8 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策はどのようなことですか。(いくつでも○)

図表229 超高齢社会において重要な方策(全体/複数回答)

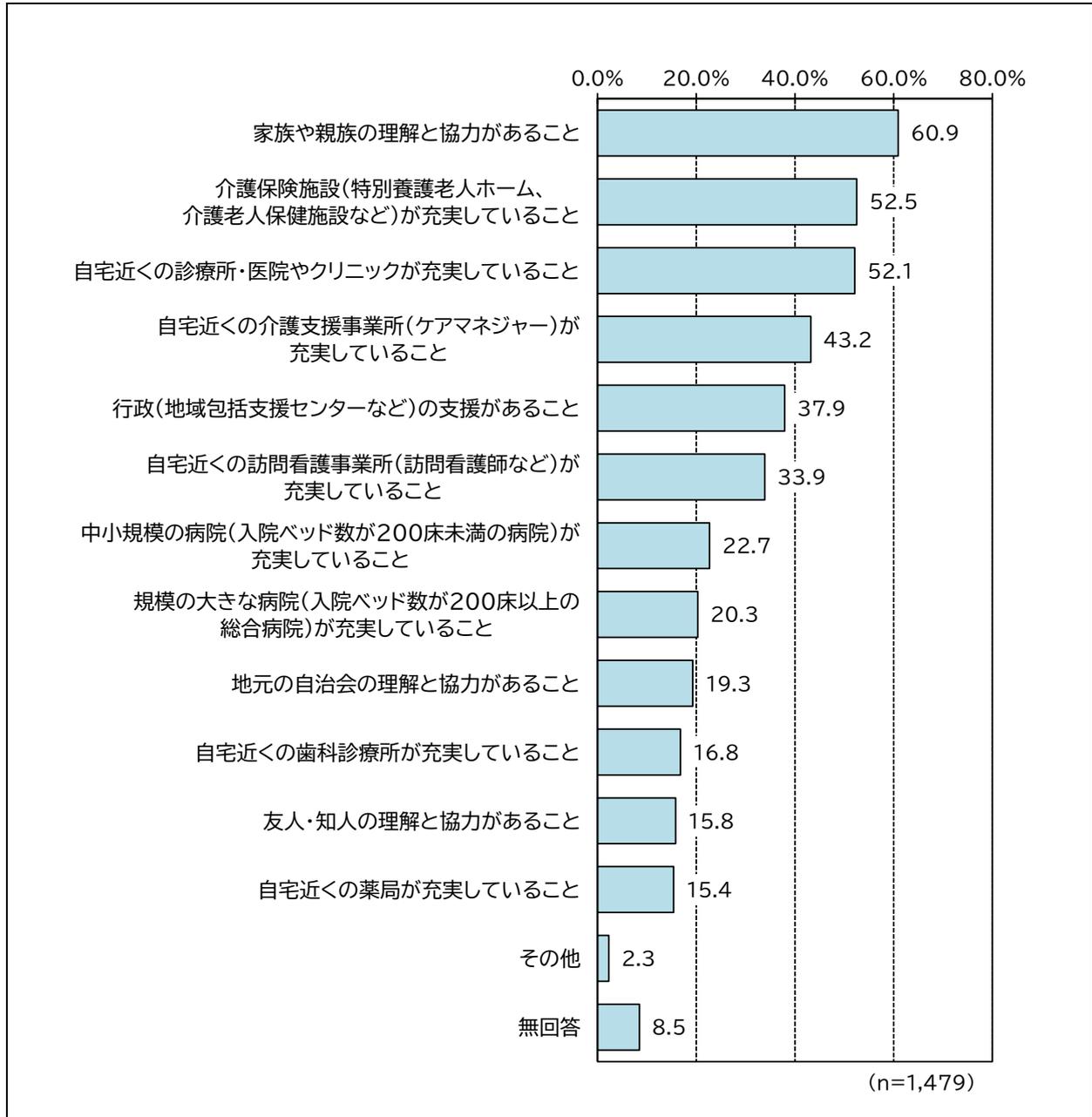


● 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について、「介護サービスの質の向上」が50.2%で最も多く、次いで「介護サービス施設などの量的充実」が45.9%、「健康づくりや介護予防」が34.3%となっています。

(7)地域包括ケアシステムにおいて重要なこと

問12-9 地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、特に重要だと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

図表230 地域包括ケアシステムの構築の推進において重要なこと(全体/複数回答)



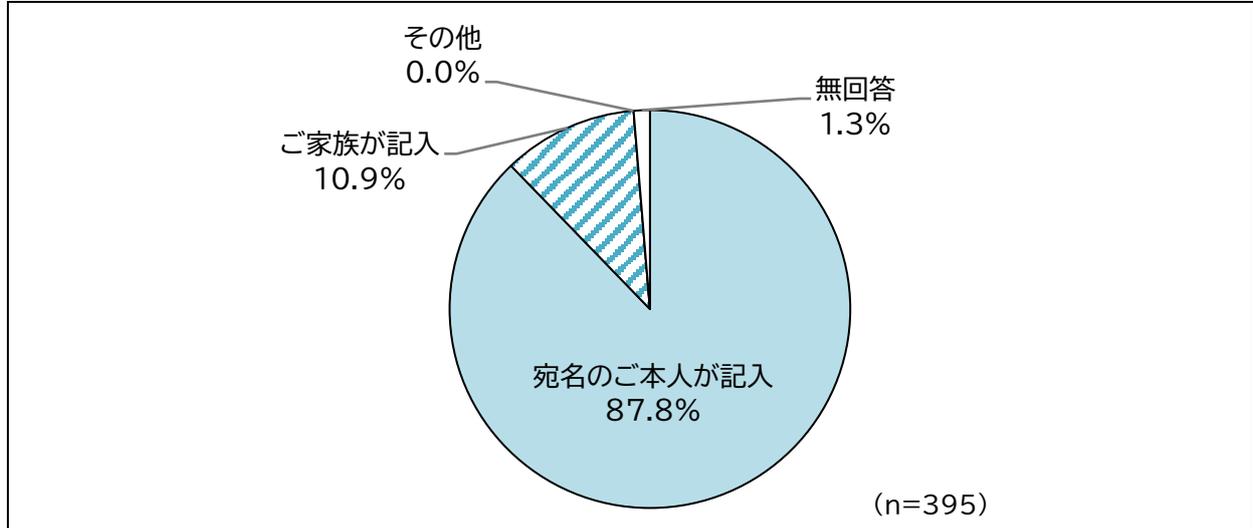
●地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、特に重要だと思うことについて、「家族や親族の理解と協力があること」が60.9%で最も多く、次いで「介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)が充実していること」が52.5%、「自宅近くの診療所・医院やクリニックが充実していること」が52.1%となっています。

第4章 調査結果 一般市民(40歳以上65歳未満)

1. 回答者の属性

(1) 調査票を記入した方

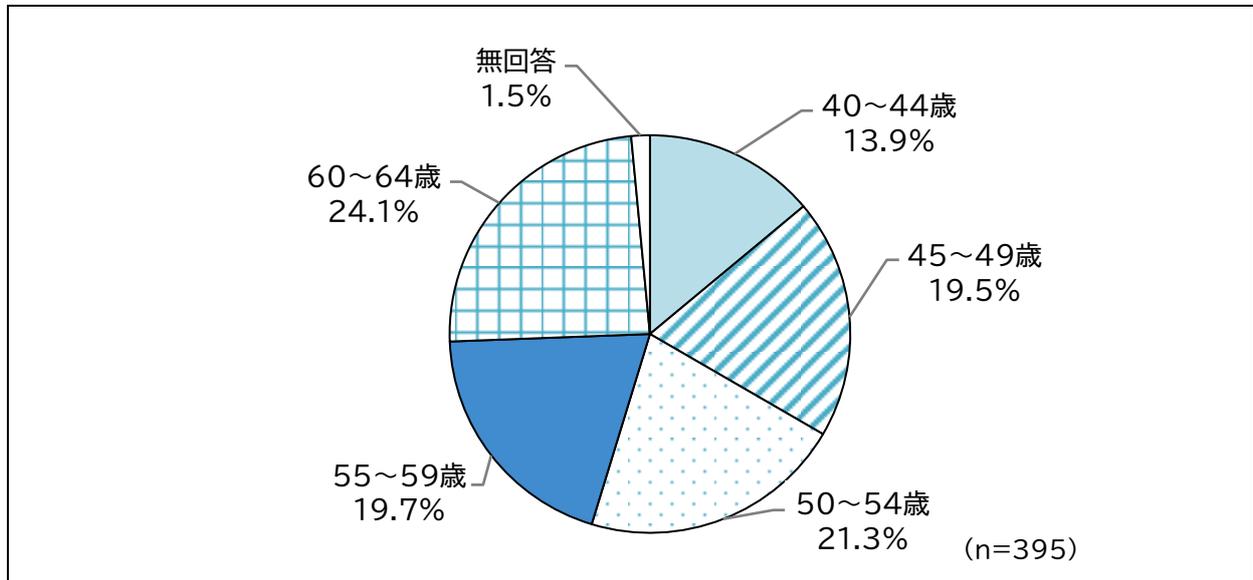
図表231 調査票記入者(全体)



●調査票の記入者について、「宛名のご本人が記入」と回答した人の割合は87.8%となっています。一方、「ご家族が記入」と回答した人の割合は10.9%となっています。

(2) 年齢

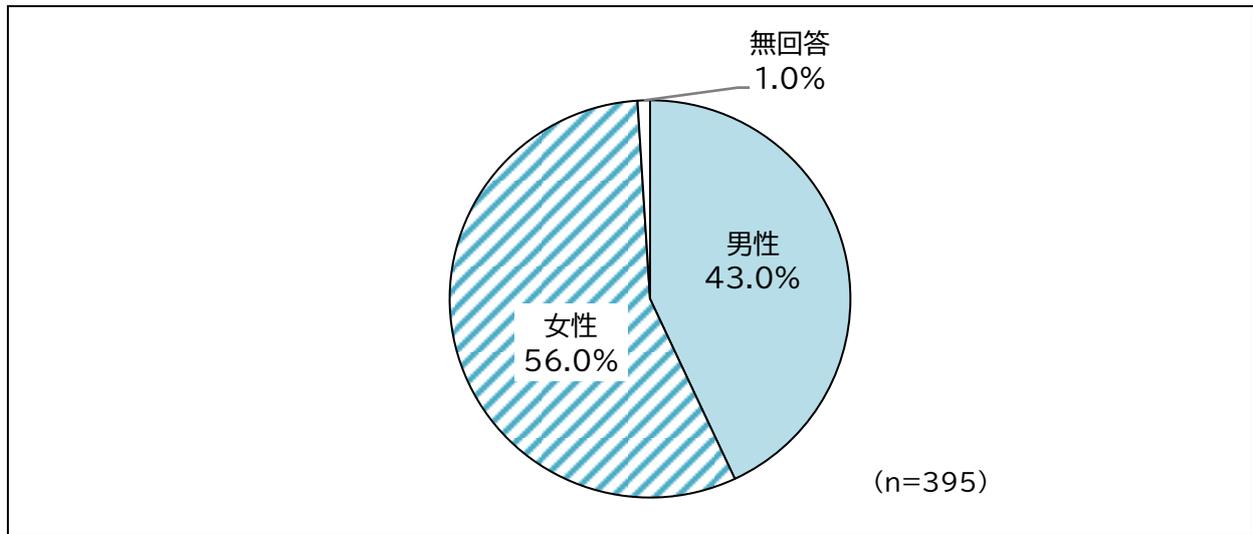
図表232 年齢(全体)



●年齢について、「60~64歳」と回答した人の割合が最も高く、24.1%となっています。次いで、「50~54歳」21.3%、「55~59歳」19.7%と続いています。

(3) 性別

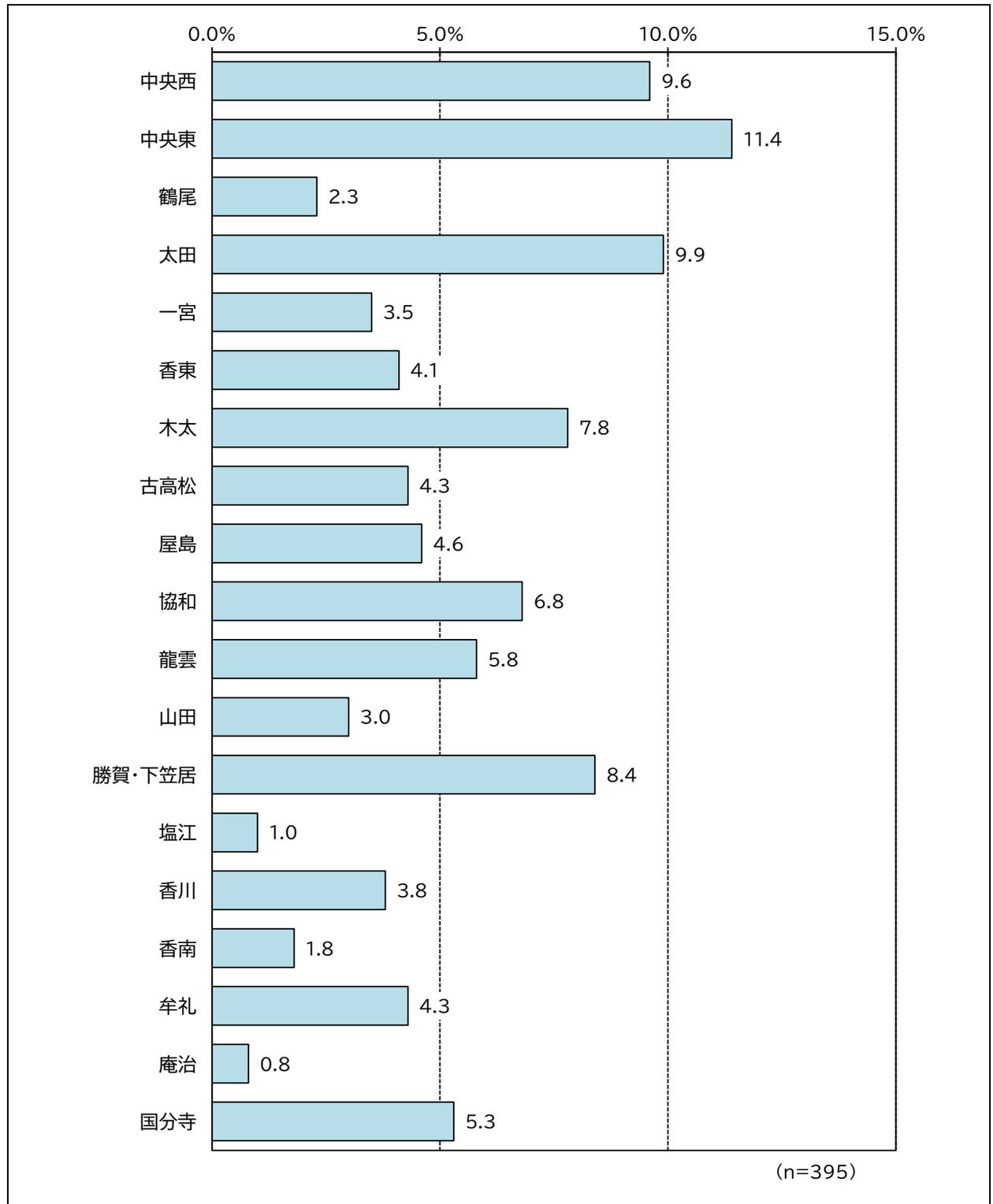
図表233 性別(全体)



●性別について、「男性」と回答した人の割合は43.0%となっています。一方、「女性」と回答した人の割合は56.0%となっています。

(4) 日常生活圏域

図表234 日常生活圏域(全体)



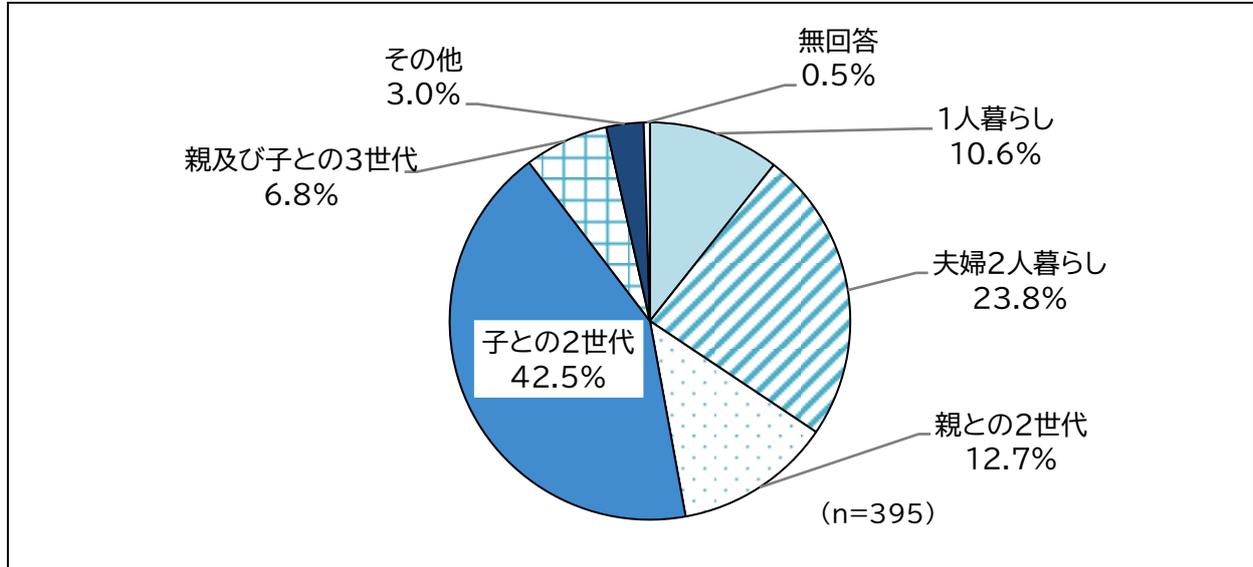
●お住まいの地域(日常生活圏域)について、「中央東」と回答した人の割合が最も高く、11.4%となっています。次いで、「太田」9.9%、「中央西」9.6%と続いています。

2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成について

問1-1 家族構成をお教えてください。(1つだけ○)

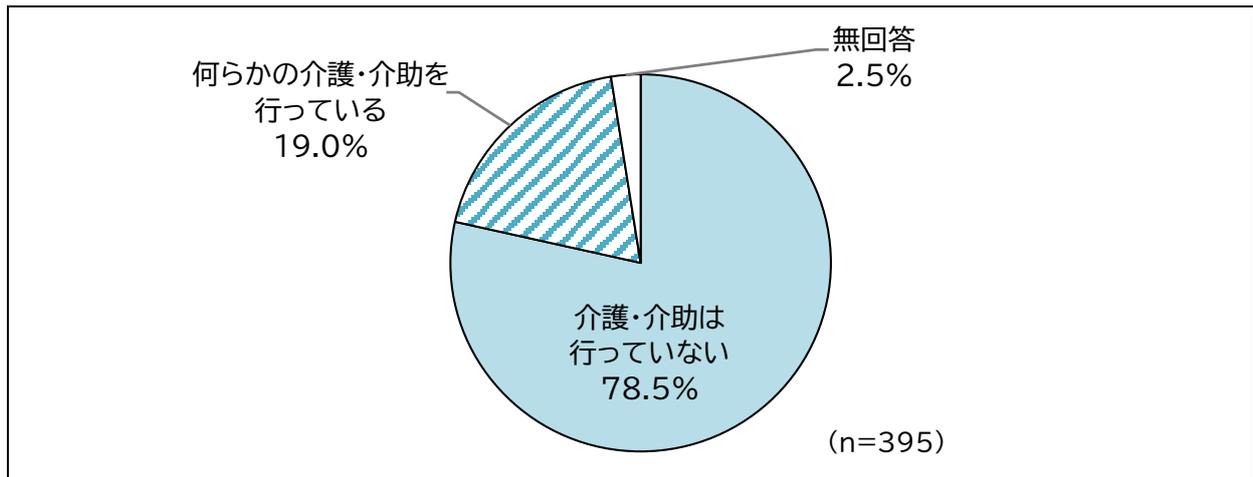
図表235 家族構成(全体)



● 家族構成について、「子との2世代」が42.5%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし」が23.8%、「親との2世代」が12.7%となっています。

問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。(1つだけ○)

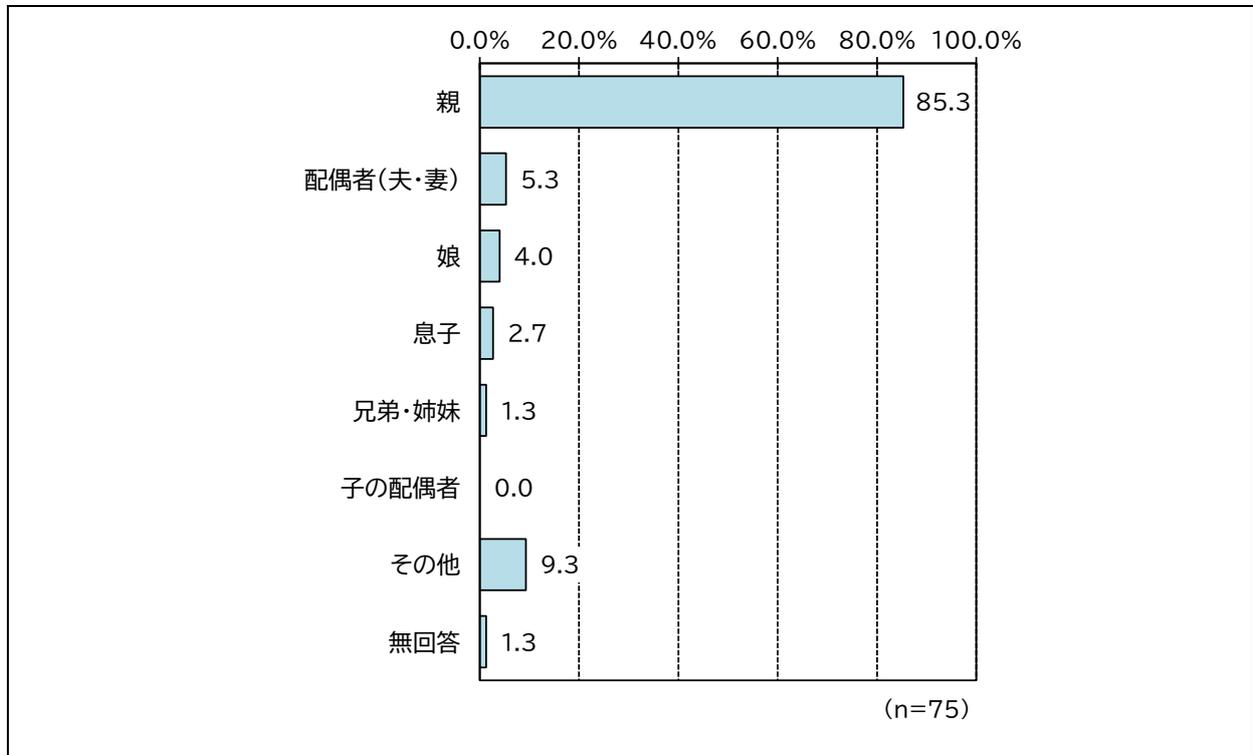
図表236 誰かの介護・介助を行っているか(全体)



● 介護・介助を行っているかについて、「介護・介助は行っていない」が78.5%、「何らかの介護・介助を行っている」が19.0%となっています。

問1-2で「2.何らかの介護・介助を行っている」と回答した方
 問1-2-1 主にどなたの介護・介助を行っていますか。(いくつでも○)

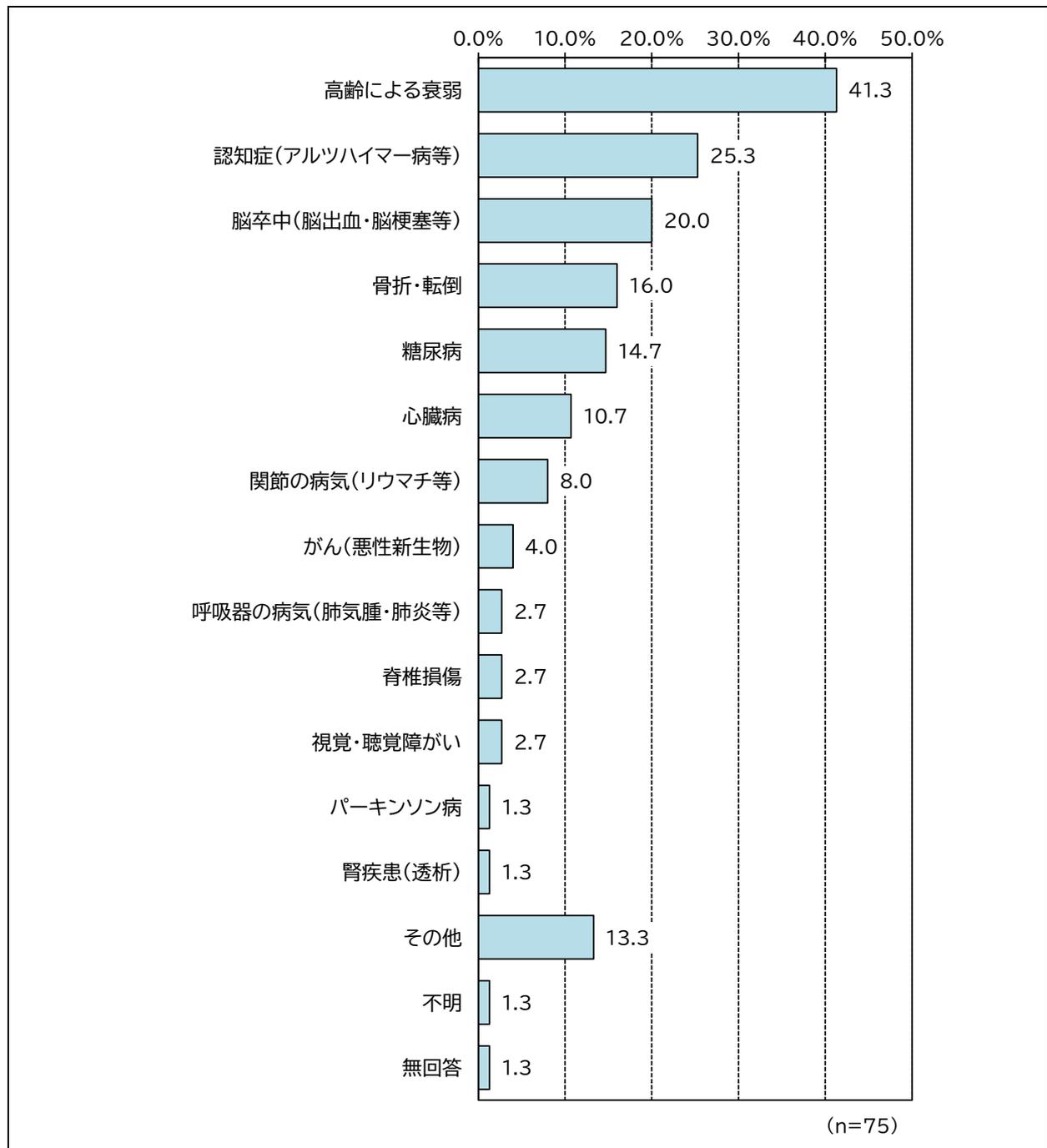
図表237 介護・介助を行っている相手(全体/複数回答)



●介護・介助を行っている相手について、「親」が85.3%で最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が5.3%、「娘」が4.0%となっています。

1-2で「2.何らかの介護・介助を行っている」と回答した方
 問1-2-2 その方の、介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも○)

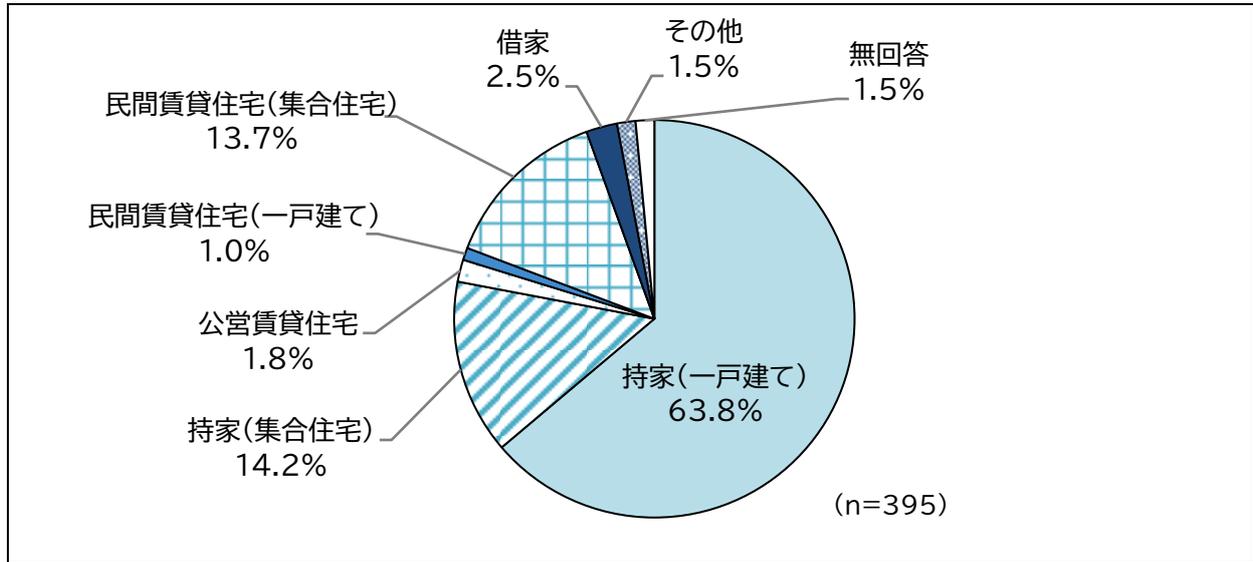
図表238 介護・介助が必要になった原因(全体/複数回答)



●介護・介助が必要になった原因について、「高齢による衰弱」が41.3%で最も多く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」が25.3%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が20.0%となっています。

問1-3 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

図表239 住まいの状況について(全体)



●住まいについて、「持家(一戸建て)」が63.8%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が14.2%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が13.7%となっています。

3. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

問2-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑤のそれぞれに1つだけ○)

図表240 地域活動の頻度(全体)

(単位:%)

	母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 週 1 回 以 上 の 人
①ボランティアのグループ	395	0.3	0.3	0.5	2.5	4.3	82.5	9.6	1.1
②スポーツ関係のグループやクラブ	395	0.5	3.8	4.8	3.8	3.0	76.2	7.8	9.1
③趣味関係のグループ	395	-	1.0	2.3	5.6	6.3	76.5	8.4	3.3
④学習・教養サークル	395	-	0.3	1.3	2.3	1.8	85.1	9.4	1.6
⑤町内会・自治会	395	-	-	-	3.5	34.7	56.7	5.1	-

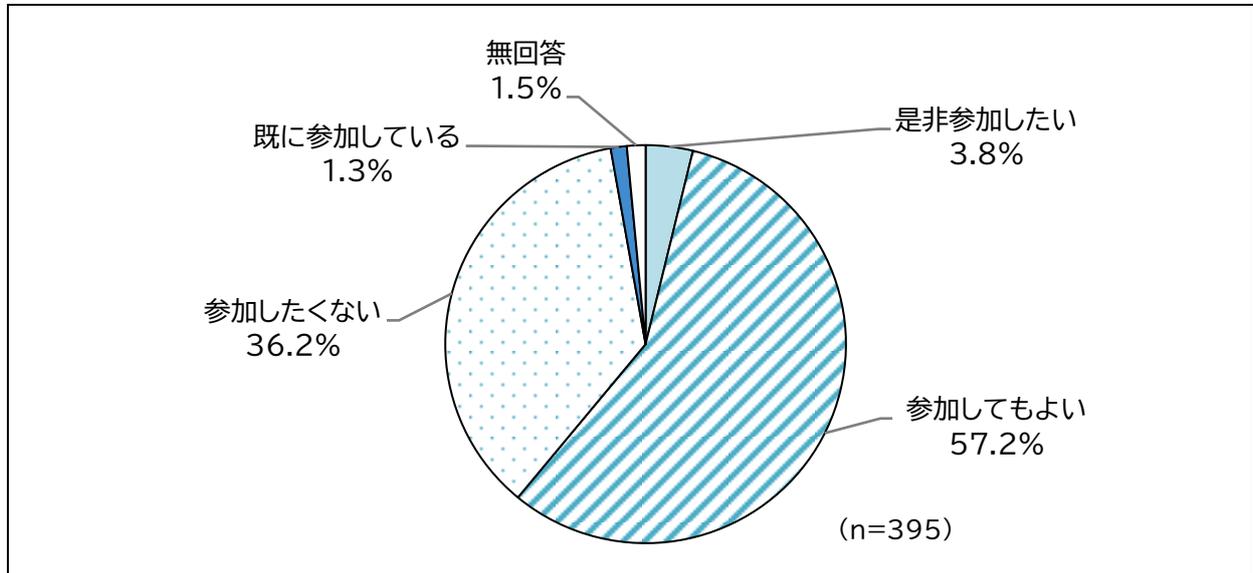
※図表240の表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。

●地域活動の頻度について、「⑤町内会・自治会」は「月1～3回」と「年に数回」を合わせると、全体の38.2%の人が参加しています。「⑤町内会・自治会」以外のグループにおいては、「参加していない」が7割を超えています。

(2)地域づくりへの参加意向(参加者)

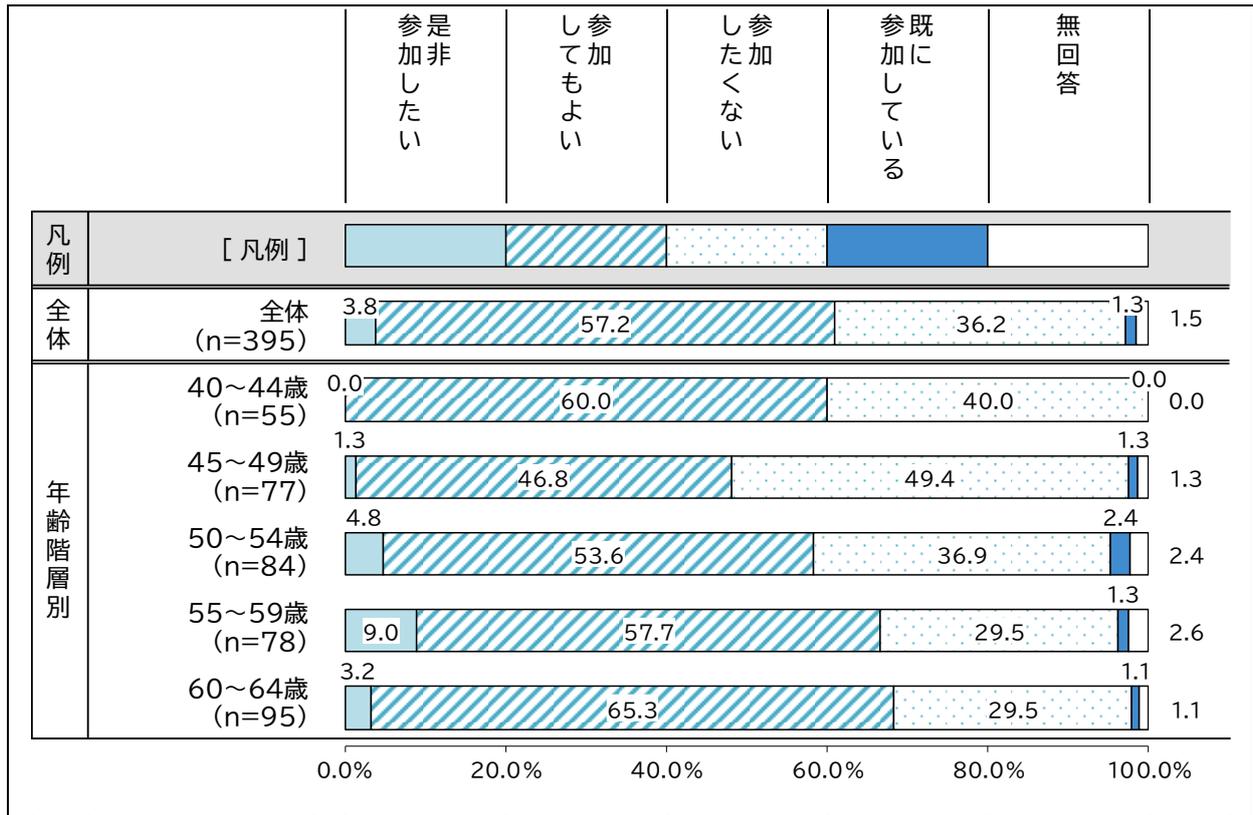
問2-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

図表241 地域づくりへの参加意向(参加者)(全体)



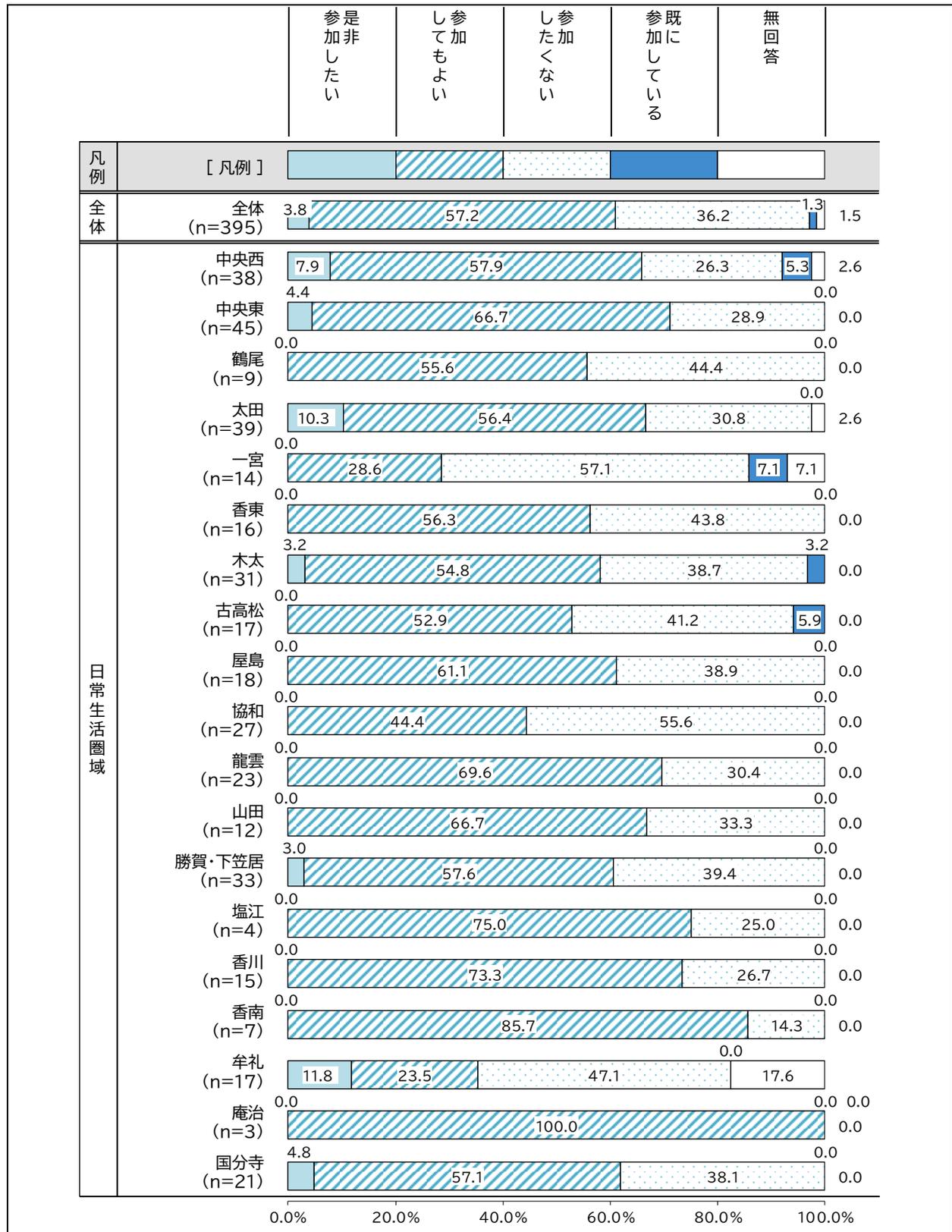
●地域づくりへの参加意向(参加者)について、「参加してもよい」が57.2%で最も多く、次いで「参加したくない」が36.2%、「是非参加したい」が3.8%となっています。

図表242 地域づくりへの参加意向(参加者)(年齢階層別)



●地域づくりへの参加意向(参加者)を年齢階層別にみると、「45~49歳」以外の区分で「参加してもよい」と回答した人の割合が最も高くなっています。中でも、「60~64歳」が65.3%と、最も高くなっています。一方、「参加したくない」と回答した人の割合は「45~49歳」が49.4%と、最も高くなっています。

図表243 地域づくりへの参加意向(参加者)(日常生活圏域別)

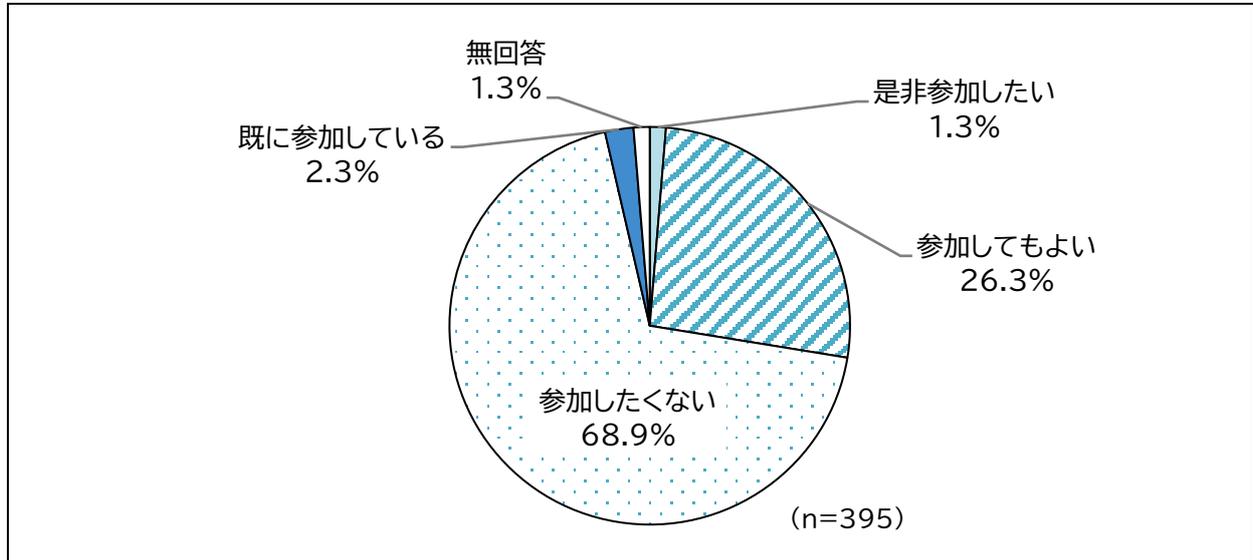


●地域づくりへの参加意向(参加者)を日常生活圏域別にみると、「是非参加したい」および「参加してもよい」の割合が「庵治」で100.0%と最も高く、次いで「香南」が85.7%となっています。一方、「参加したくない」の割合は、「一宮」が57.1%と最も高く、次いで「協和」55.6%、「牟礼」47.1%と続いています。

(3)地域づくりへの参加意向(企画・運営)

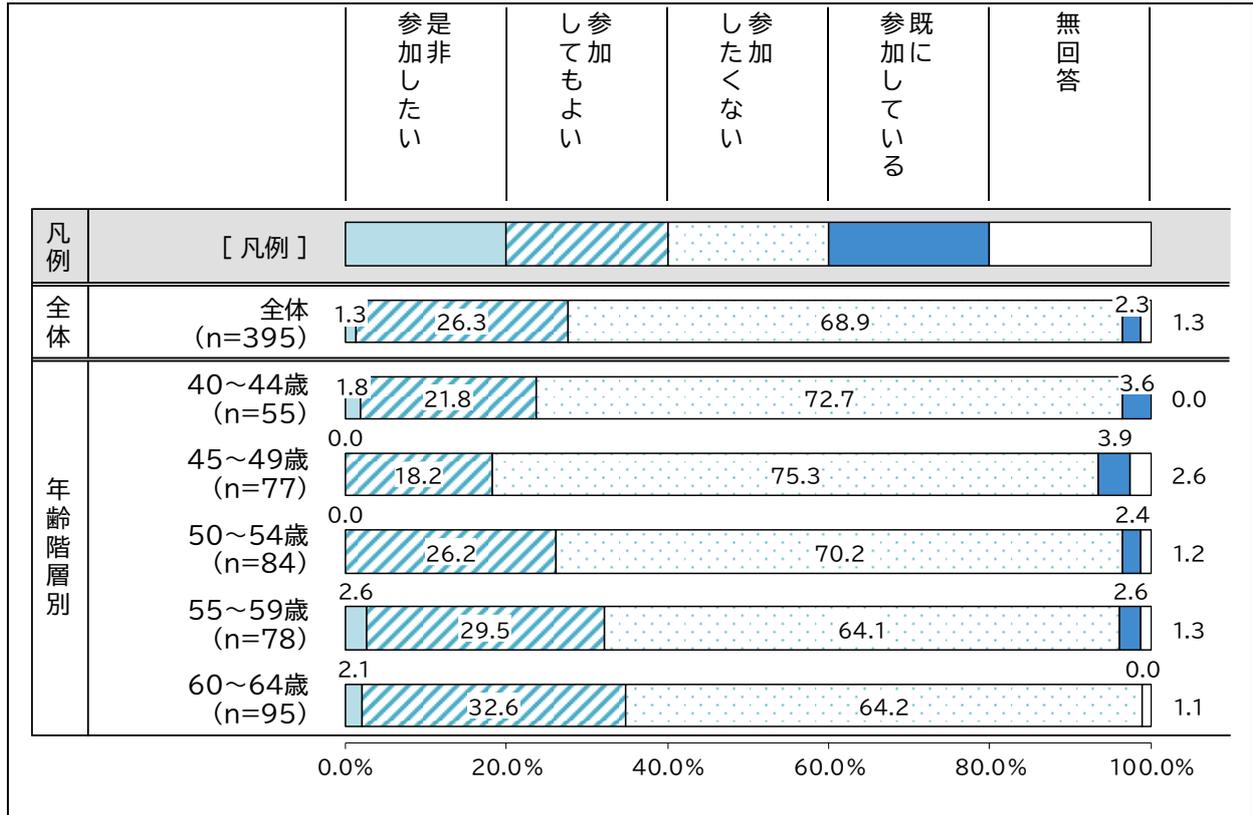
問2-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

図表244 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(全体)



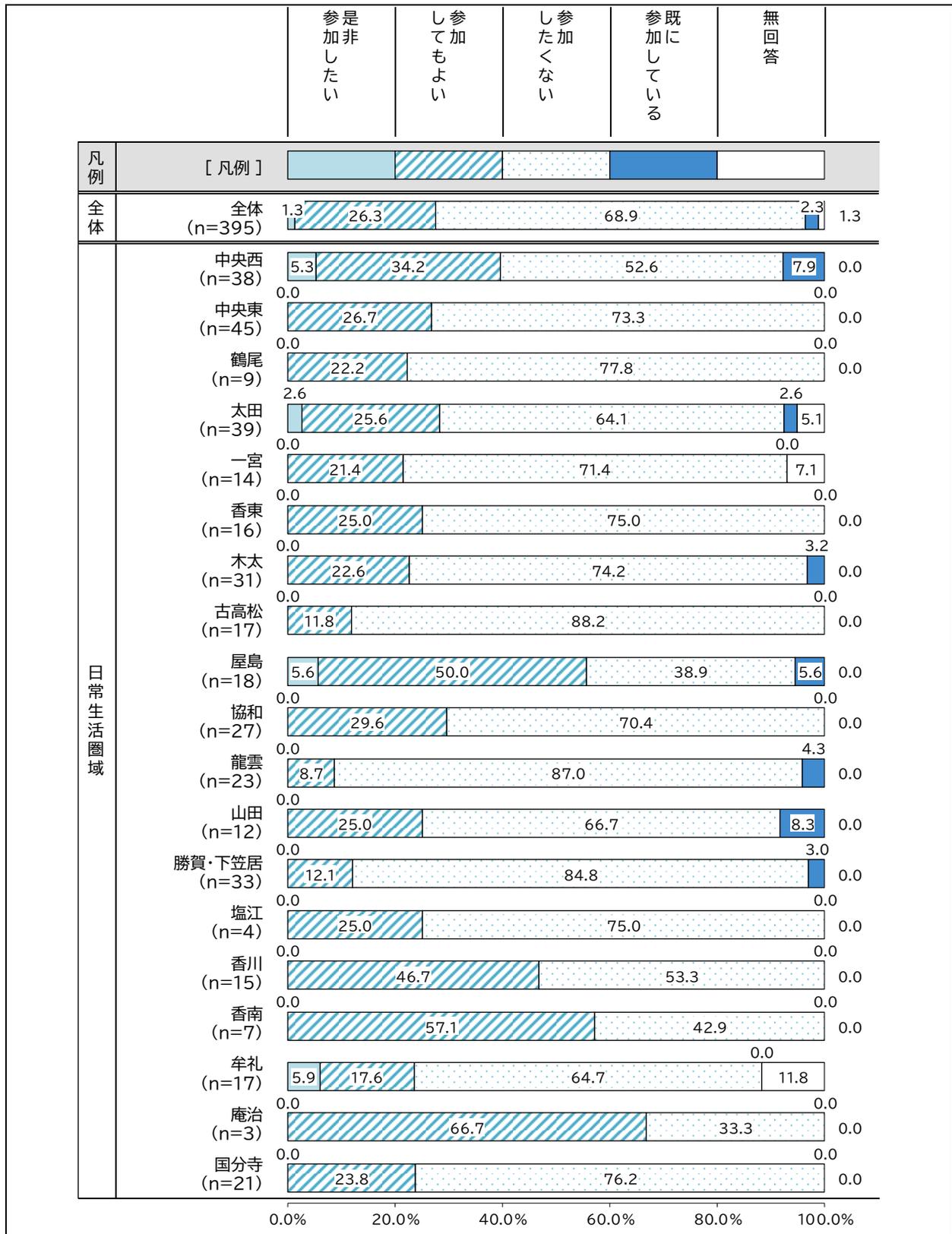
●地域づくりへの参加意向(企画・運営)について、「参加したくない」が68.9%で最も多く、次いで「参加してもよい」が26.3%、「既に参加している」が2.3%となっています。

図表245 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(年齢階層別)



●地域づくりへの参加意向(企画・運営)について年齢階層別にみると、企画・運営(お世話役)として「参加してもよい」の割合は「60~64歳」で32.6%と、最も高くなっています。次いで、「55~59歳」が29.5%と続いています。一方、「参加したくない」の割合は「45~49歳」が75.3%と最も高く、次いで「40~44歳」が72.7%と続いています。

図表246 地域づくりへの参加意向(企画・運営)(日常生活圏域別)



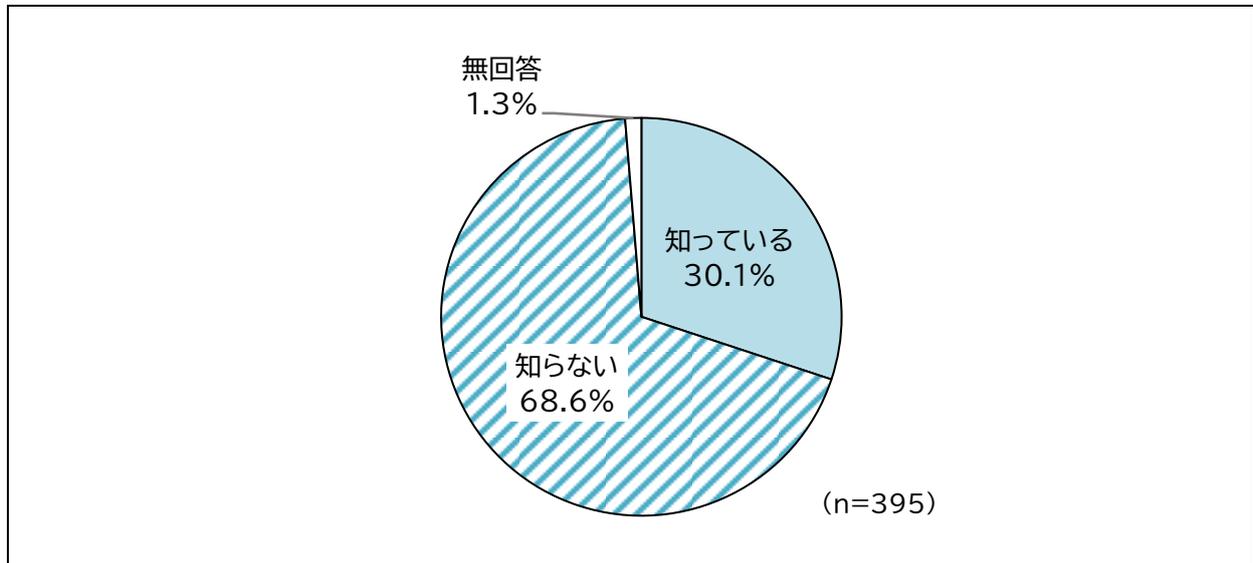
●地域づくりへの参加意向(企画・運営)を日常生活圏域別にみると、企画・運営(お世話役)として「是非参加したい」および「参加してもよい」の割合が最も高いのは「庵治」で66.7%、次いで、「香南」が57.1%と続いています。一方、「参加したくない」の割合は「古高松」が88.2%と、最も高く、次いで「龍雲」が87.0%と続いています。

4. 高齢者を地域で支えるネットワークづくりについて

(1) 高齢者の居場所づくり

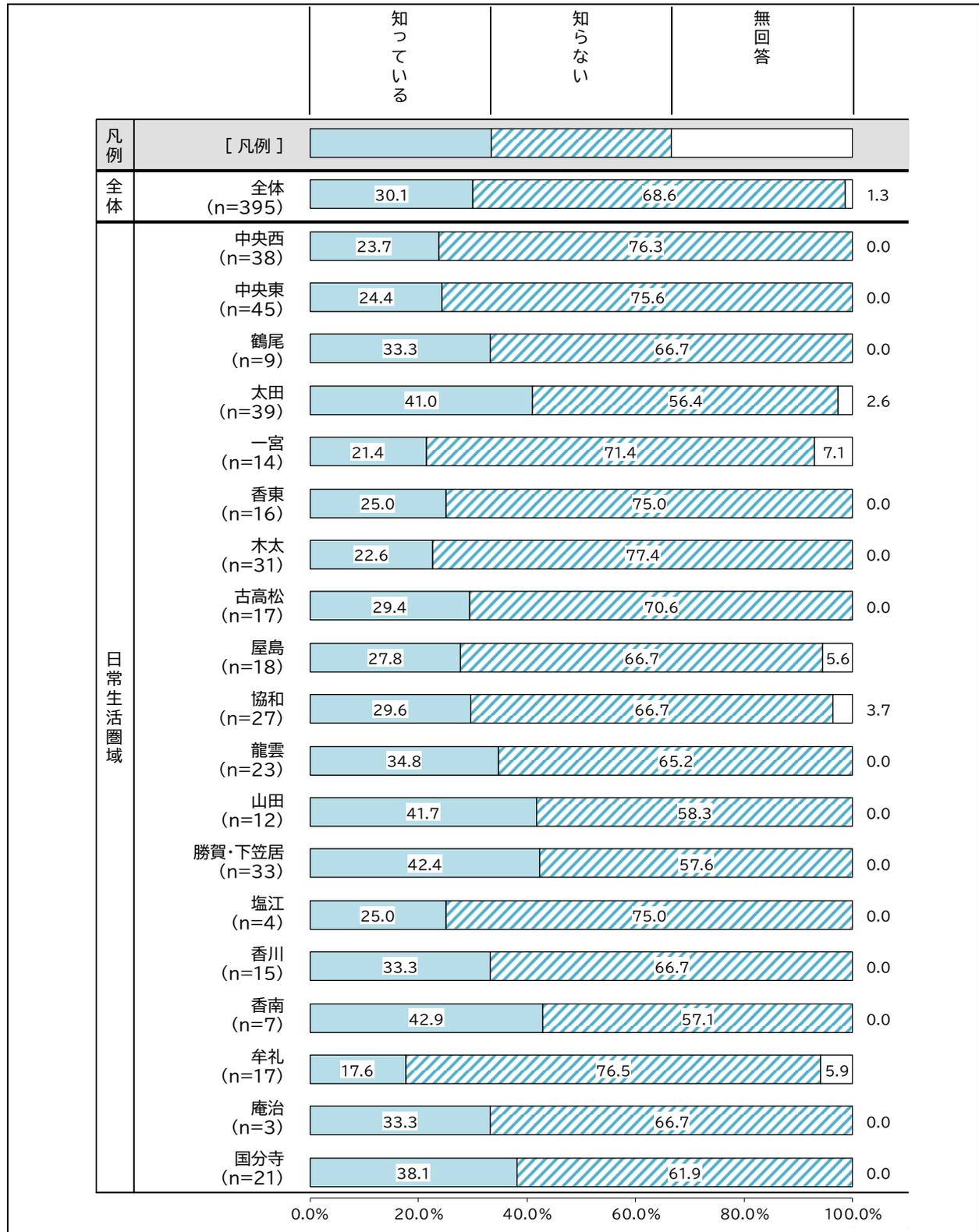
問3-1 近所の高齢者が気軽に集える場所を知っていますか。(1つだけ○)

図表247 高齢者が気軽に集える場所の認知度(全体)



● 高齢者が気軽に集える場所の認知度について、「知っている」が30.1%、「知らない」が68.6%となっています。

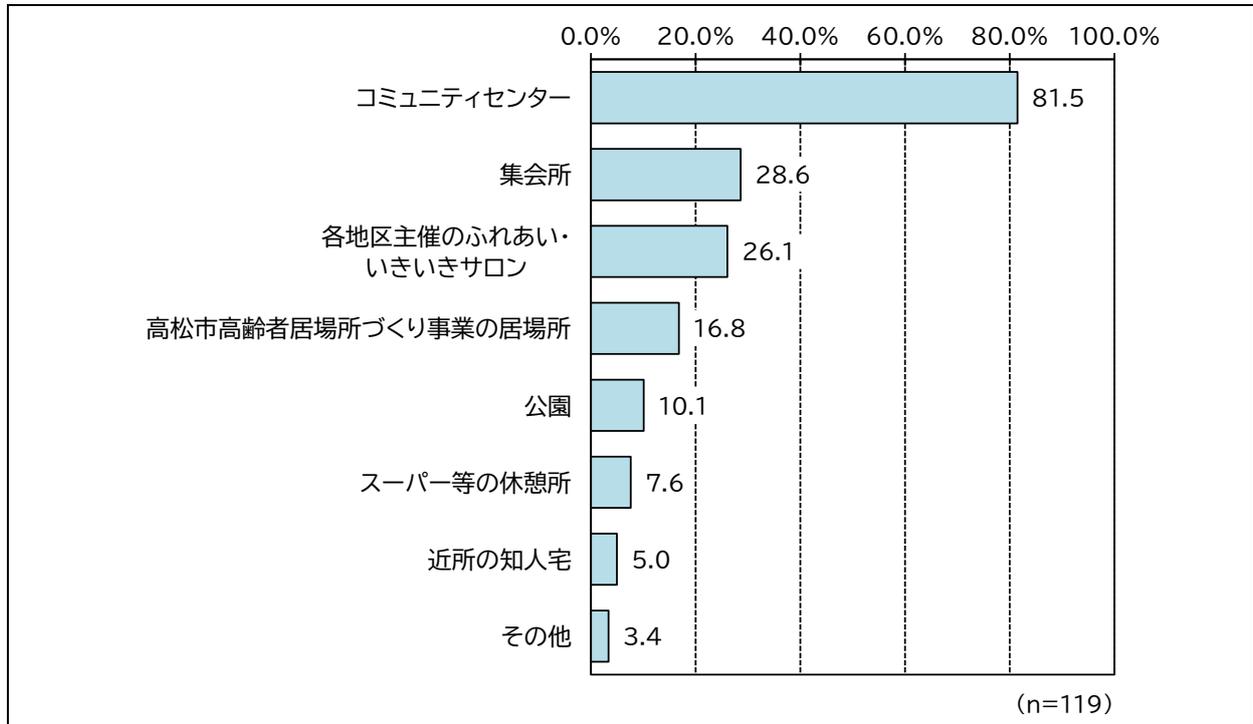
図表248 高齢者が集える場所の認知度(日常生活圏域別)



● 高齢者が集える場所の認知度を日常生活圏域別にみると、気軽に集える場所を「知っている」割合が最も高いのは「香南」で42.9%、次いで、「勝賀・下笠居」42.4%、「山田」41.7%と続いています。一方、「知らない」の割合は「木太」が77.4%と、最も高く、次いで「牟礼」が76.5%、「中央西」76.3%と続いています。

問3-1で「1.知っている」と回答した方
 問3-1-1 気軽に集える場所は、次のどれですか。(いくつでも○)

図表249 高齢者が集える場所(全体/複数回答)

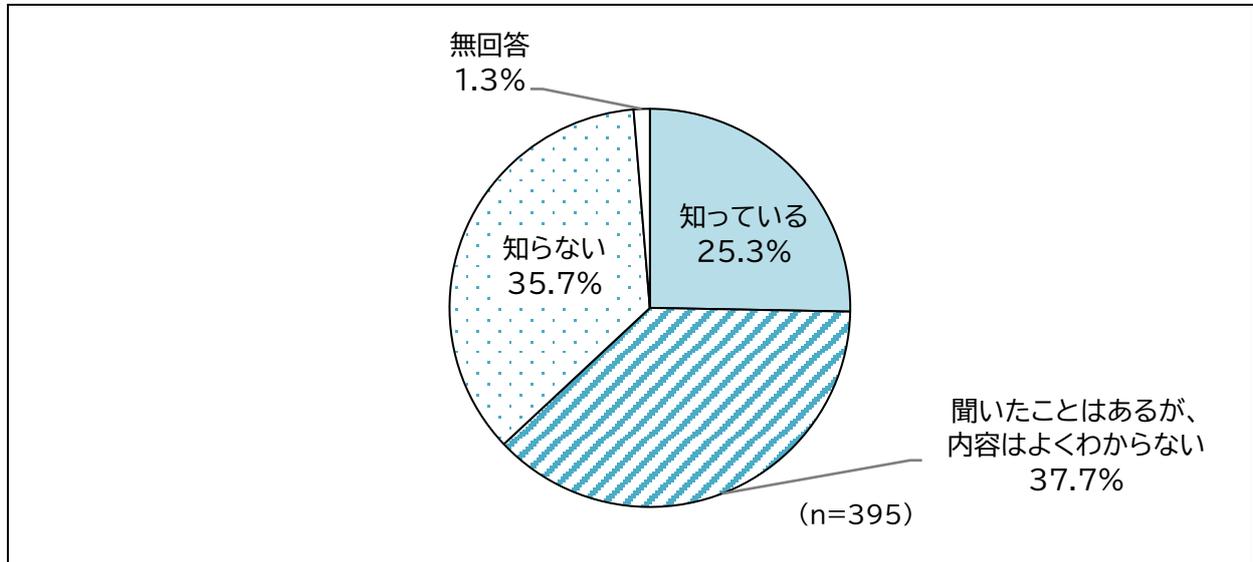


● 高齢者が集える場所について、「コミュニティセンター」が81.5%で最も多く、次いで「集会所」が28.6%、「各地区主催のふれあい・いきいきサロン」が26.1%となっています。

(2)高松市地域包括支援センターについて

問3-2 高松市では、地域における高齢者の身近な相談窓口として、「高松市地域包括支援センター」を設置しています。
「高松市地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけ○)

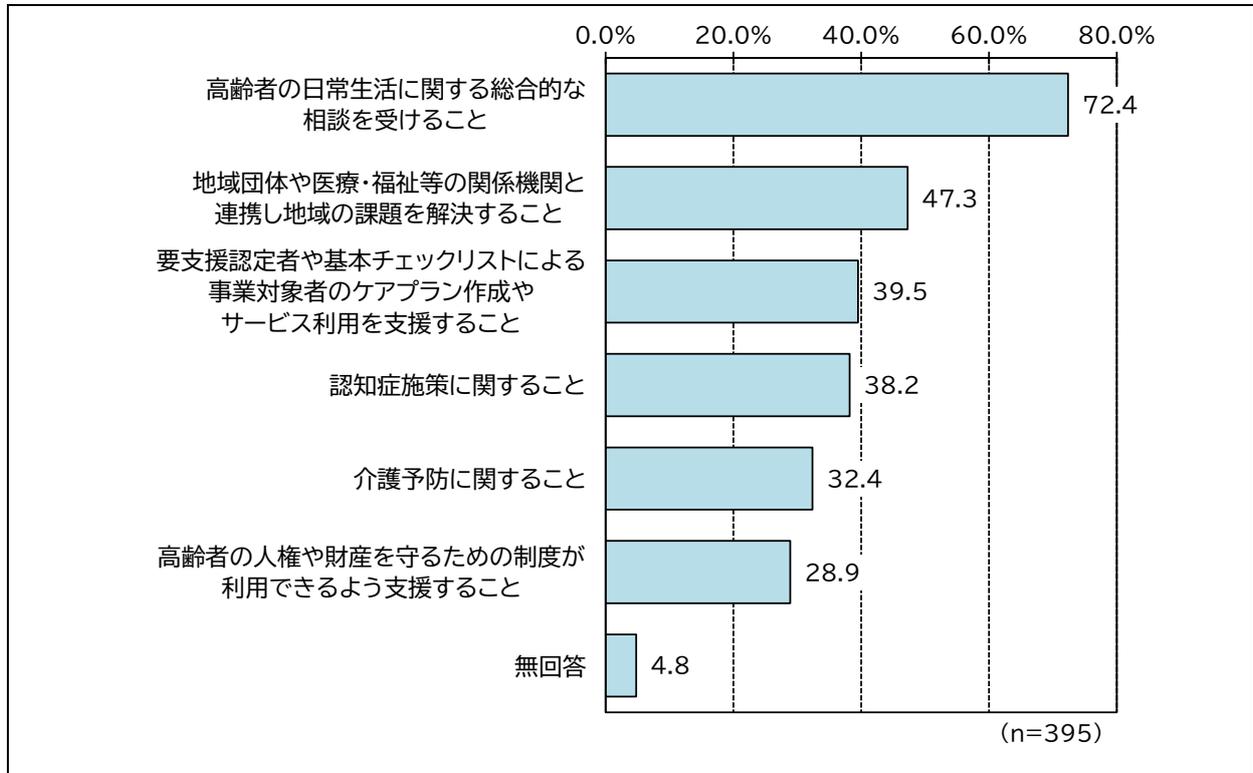
図表250 高松市地域包括支援センターの認知度(全体)



●高松市地域包括支援センターの認知度について、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が37.7%で最も多く、次いで「知らない」が35.7%、「知っている」が25.3%となっています。

問3-3 地域包括支援センターは、今後、特にどの業務を充実すればよいと思いますか。
(いくつでも○)

図表251 地域包括支援センターが充実すべき業務(全体/複数回答)



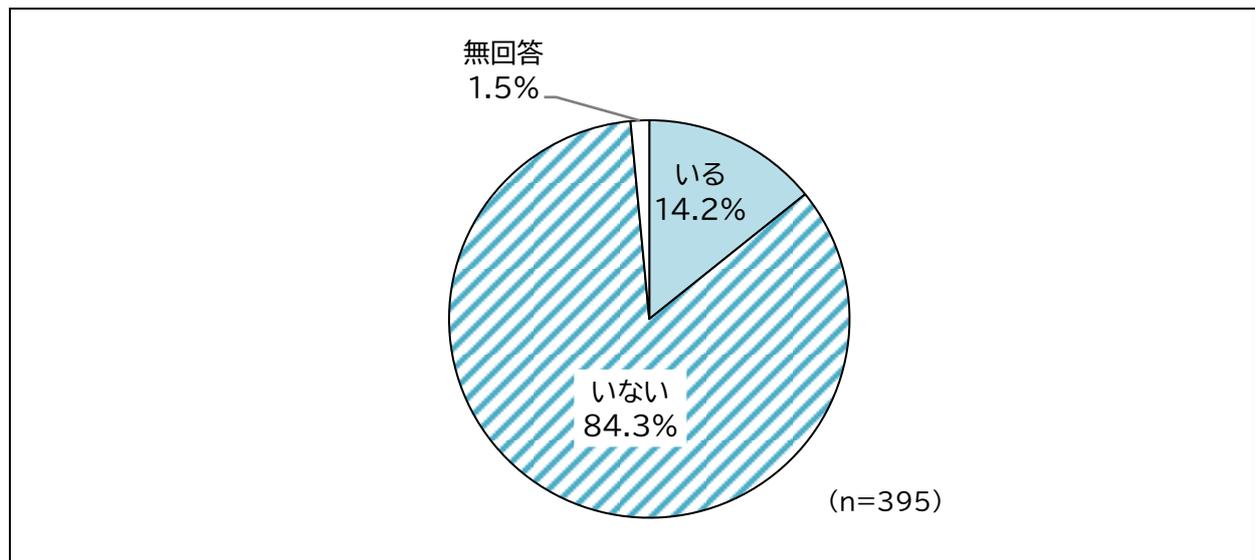
●地域包括支援センターが充実すべき業務について、「高齢者の日常生活に関する総合的な相談を受けること」が72.4%で最も多く、次いで「地域団体や医療・福祉等の関係機関と連携し地域の課題を解決すること」が47.3%、「要支援認定者や基本チェックリストによる事業対象者のケアプラン作成やサービス利用を支援すること」が39.5%となっています。

5. 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて

(1) 本人または家族の認知症の症状について

問4-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人はいませんか。
(1つだけ○)

図表252 本人または家族に認知症の症状がある人の有無について(全体)

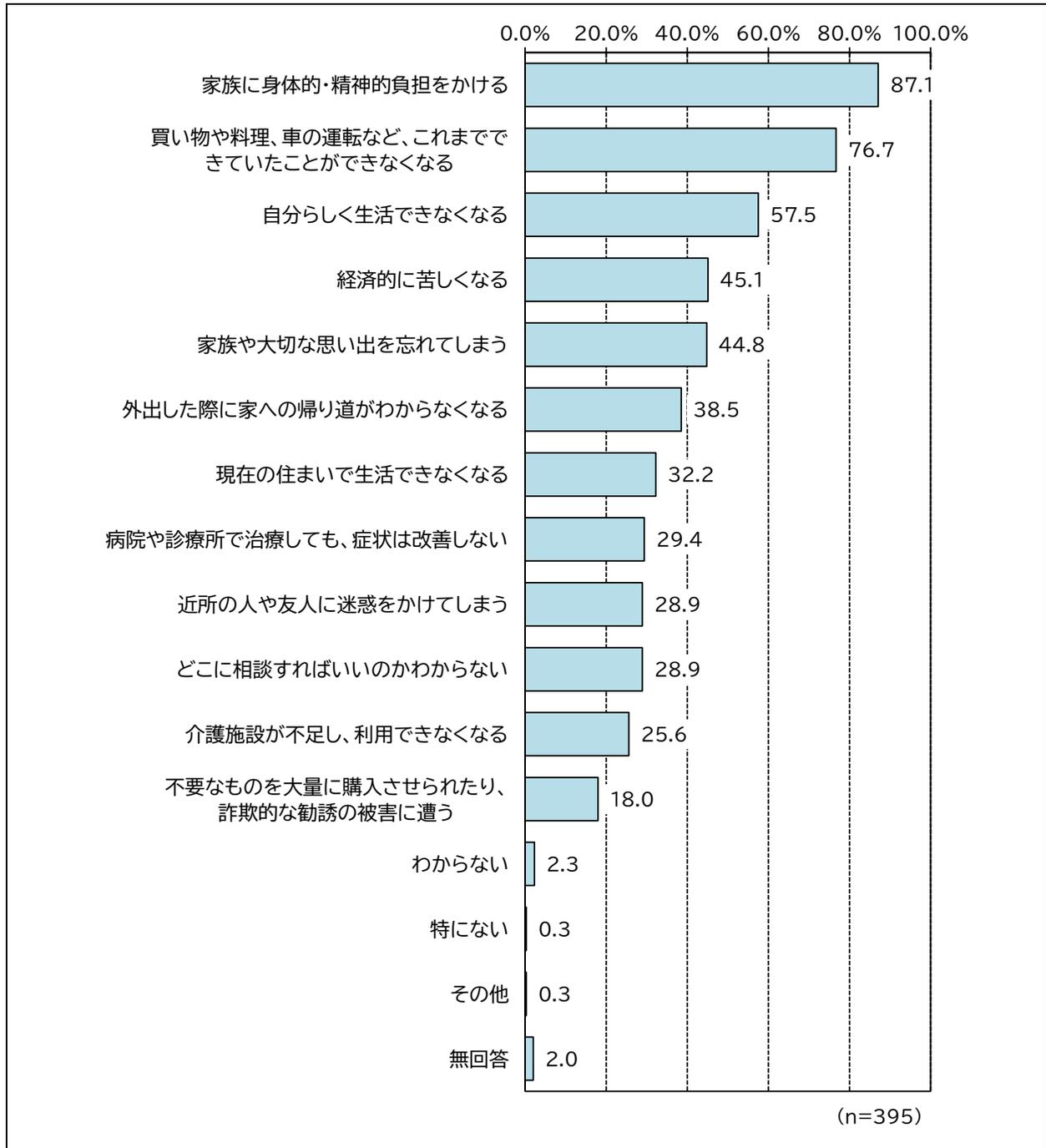


● 本人または家族に認知症の症状がある人の有無について、「いる」が14.2%、「いない」が84.3%となっています。

(2) 認知症に対する不安

問4-2 もし、あなたが認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。
(いくつでも○)

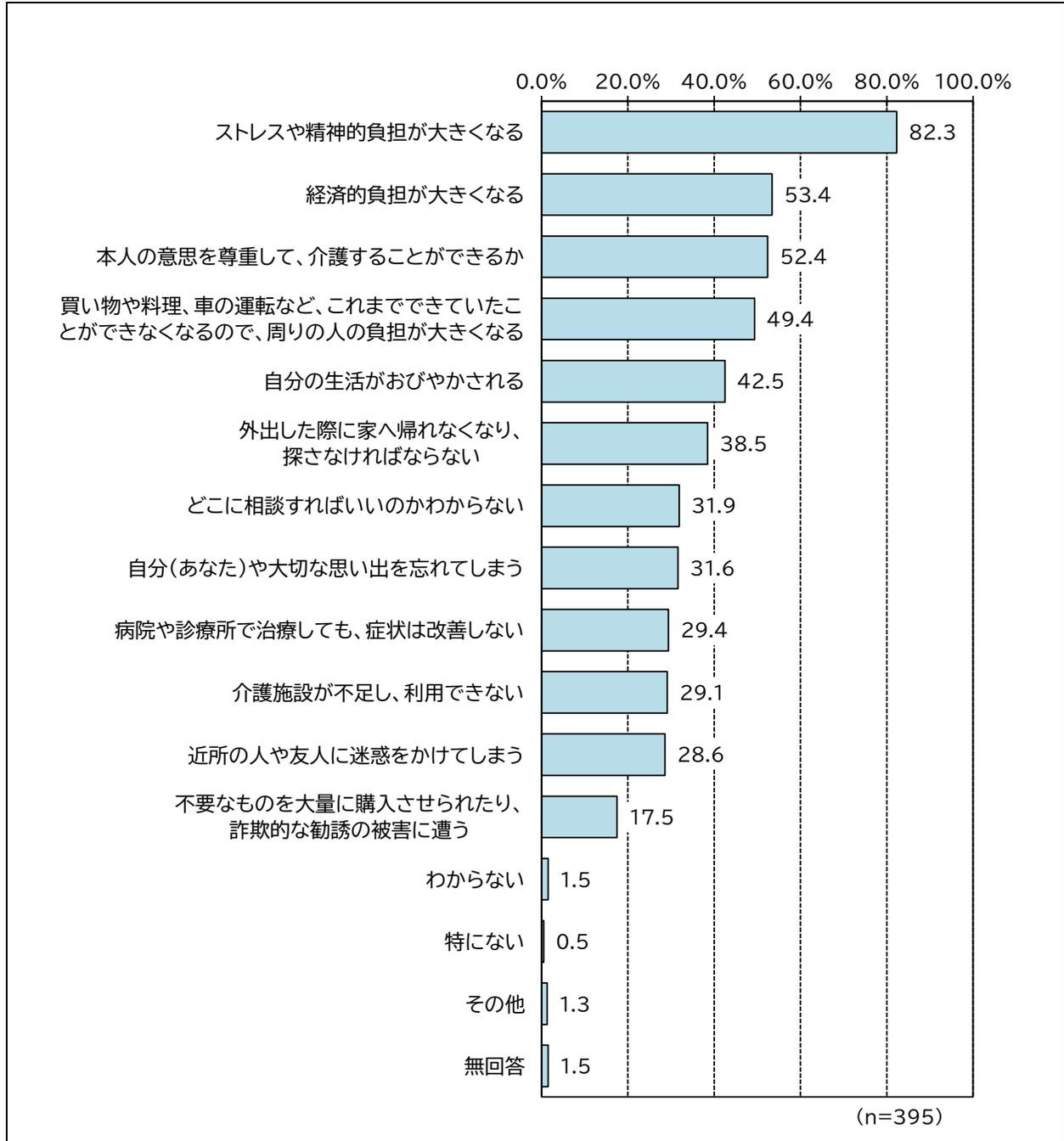
図表253 自分が認知症になった時の不安(全体/複数回答)



- 自分が認知症になった時の不安について、「特にない」0.3%、「わからない」2.3%、「無回答」2.0%を除いた95.4%の人が認知症になったら何らかの不安を感じると回答しています。
- 不安を感じることにして、「家族に身体的・精神的負担をかける」が87.1%で最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなる」が76.7%、「自分らしく生活できなくなる」が57.5%となっています。

問4-3 もし、家族が認知症になったとしたら、また、現在認知症の家族がいる場合どのようなことに困りますか。(いくつでも○)

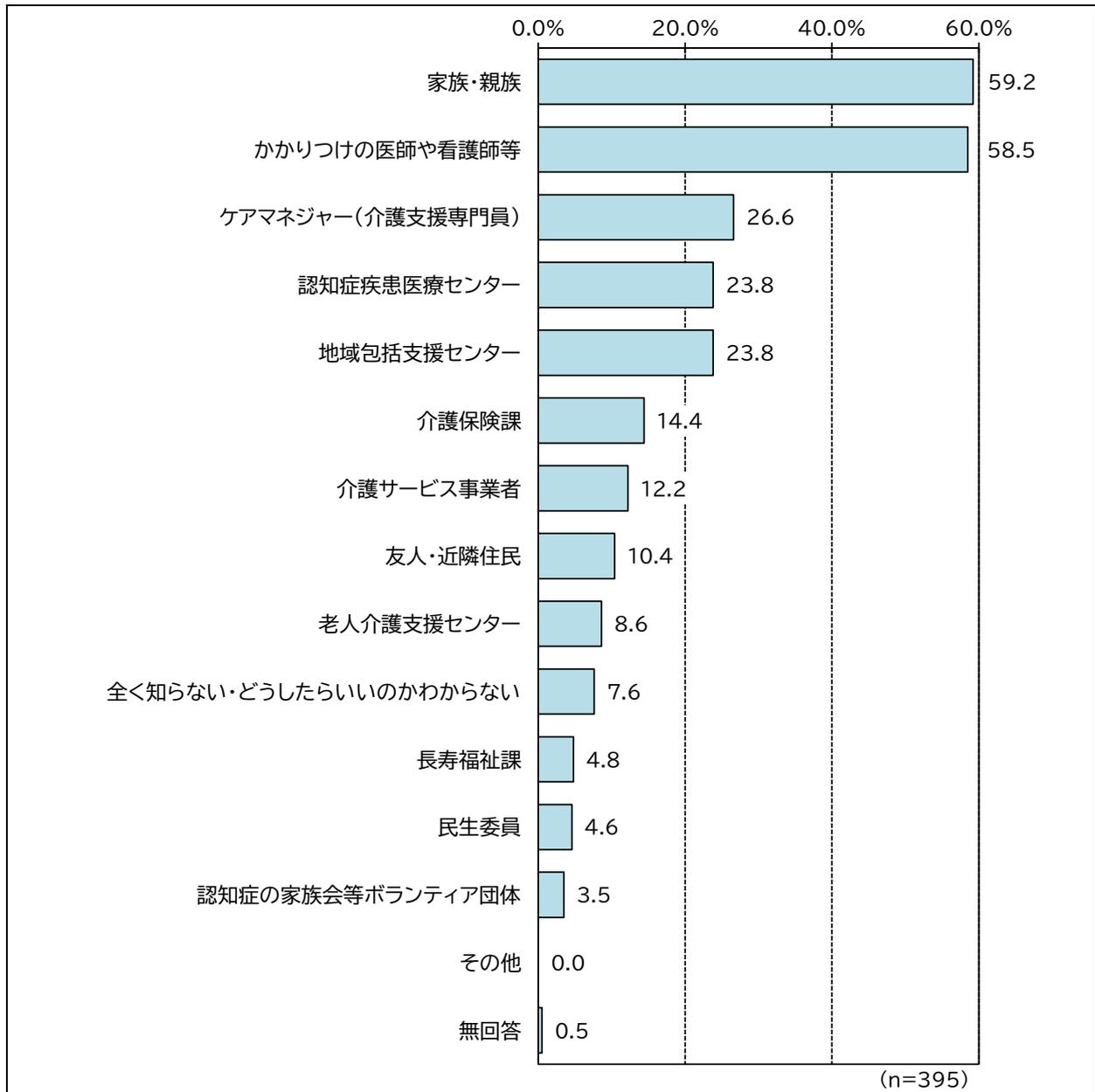
図表254 家族が認知症になった時の不安(全体/複数回答)



- 家族が認知症になった時の不安をたずねたところ、「特にない」0.5%、「わからない」1.5%、「無回答」1.5%を除いた、96.5%の人が、家族が認知症になったとしたら、また、現在認知症の家族がいる場合、何らかの困りごとがあると回答しています。
- 不安を感じることにについて、「ストレスや精神的負担が大きくなる」が82.3%で最も多く、次いで「経済的負担が大きくなる」が53.4%、「本人の意思を尊重して、介護することができるか」が52.4%となっています。

問4-4 もし、あなたや家族が「認知症かもしれない」と不安になったときに、どこに相談
したいですか。(いくつでも○)

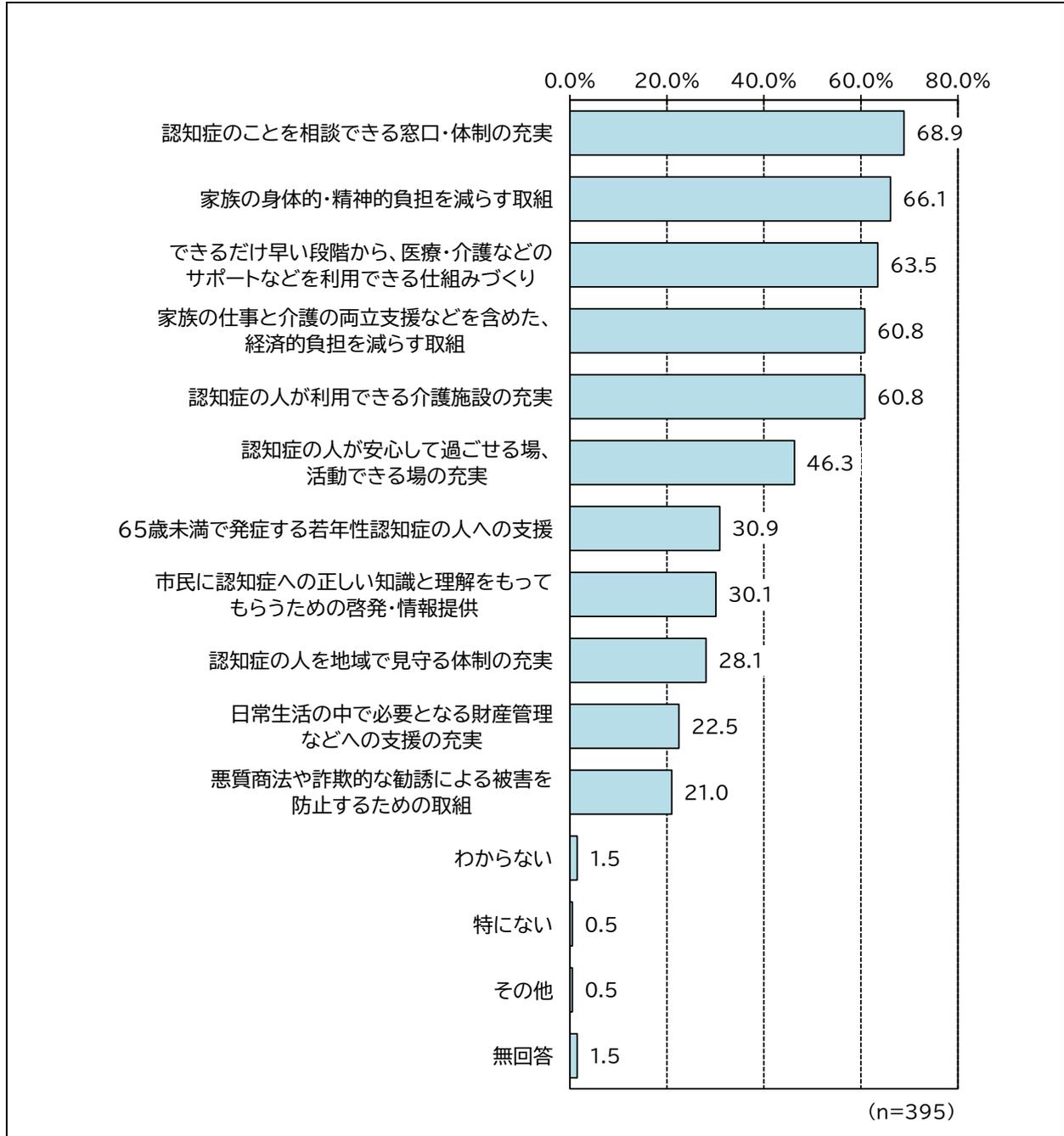
図表255 認知症の疑いが生じた際の相談先(全体/複数回答)



● 認知症の疑いが生じた際の相談先について、「家族・親族」が59.2%で最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師等」が58.5%、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」が26.6%となっています。

問4-5 認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるためには、どのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(いくつでも○)

図表256 認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきこと
(全体/複数回答)

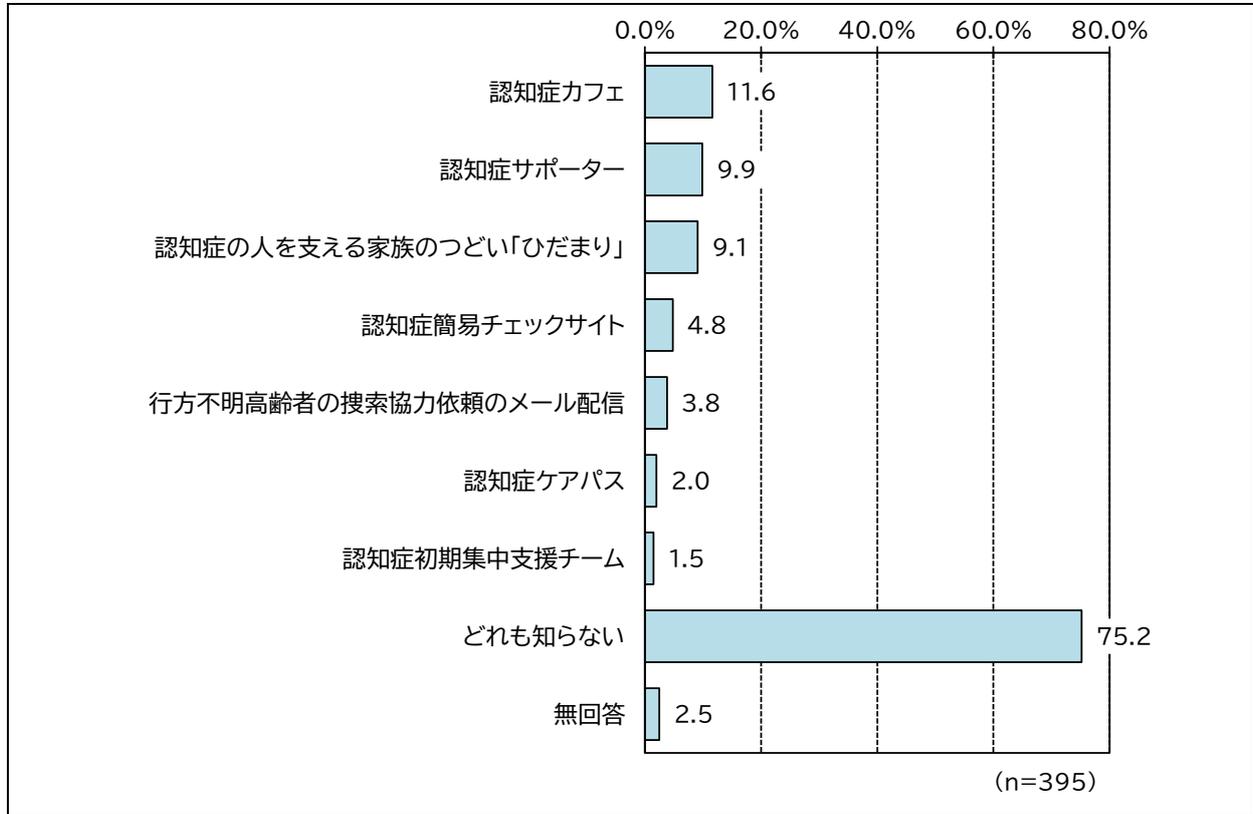


● 認知症になっても地域で安心して暮らせるために重点を置くべきことについて、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が68.9%で最も多く、次いで「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が66.1%、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートなどを利用できる仕組みづくり」が63.5%となっています。

(3) 認知症に対する取組について

問4-6 高松市の認知症についての取組について知っていることはありますか。
(いくつでも○)

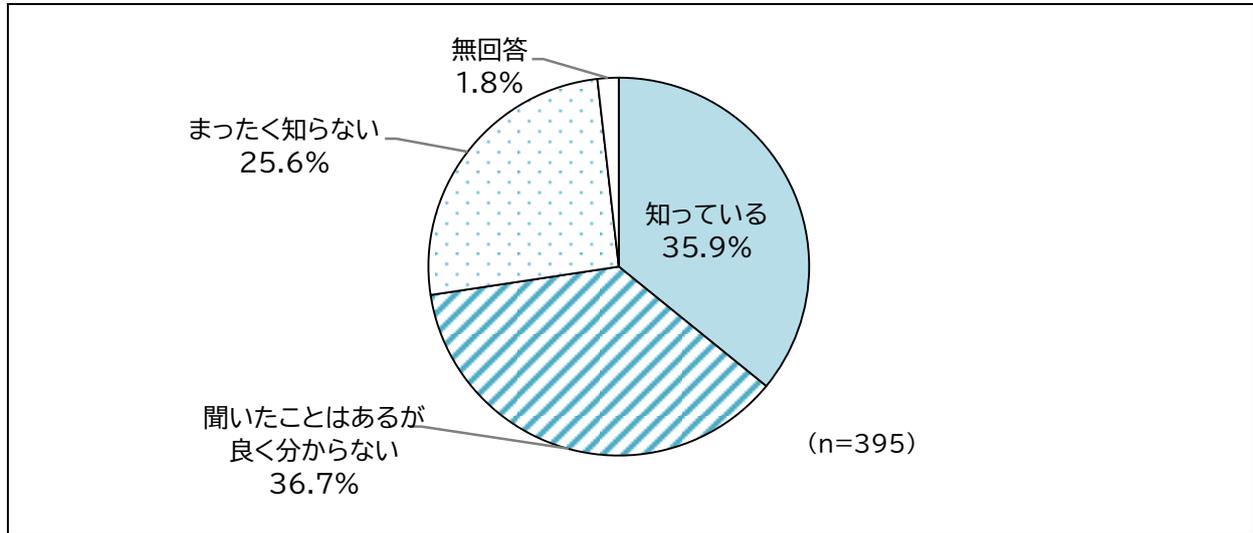
図表257 高松市の認知症に関する取組への認知度(全体/複数回答)



- 高松市の認知症に関する取組への認知度について、「認知症カフェ」が11.6%で最も多く、次いで「認知症サポーター」が9.9%。「認知症の人を支える家族の集い「ひだまり」」が9.1%となっています。
- 「どれも知らない」と回答した人の割合は、75.2%となっています。

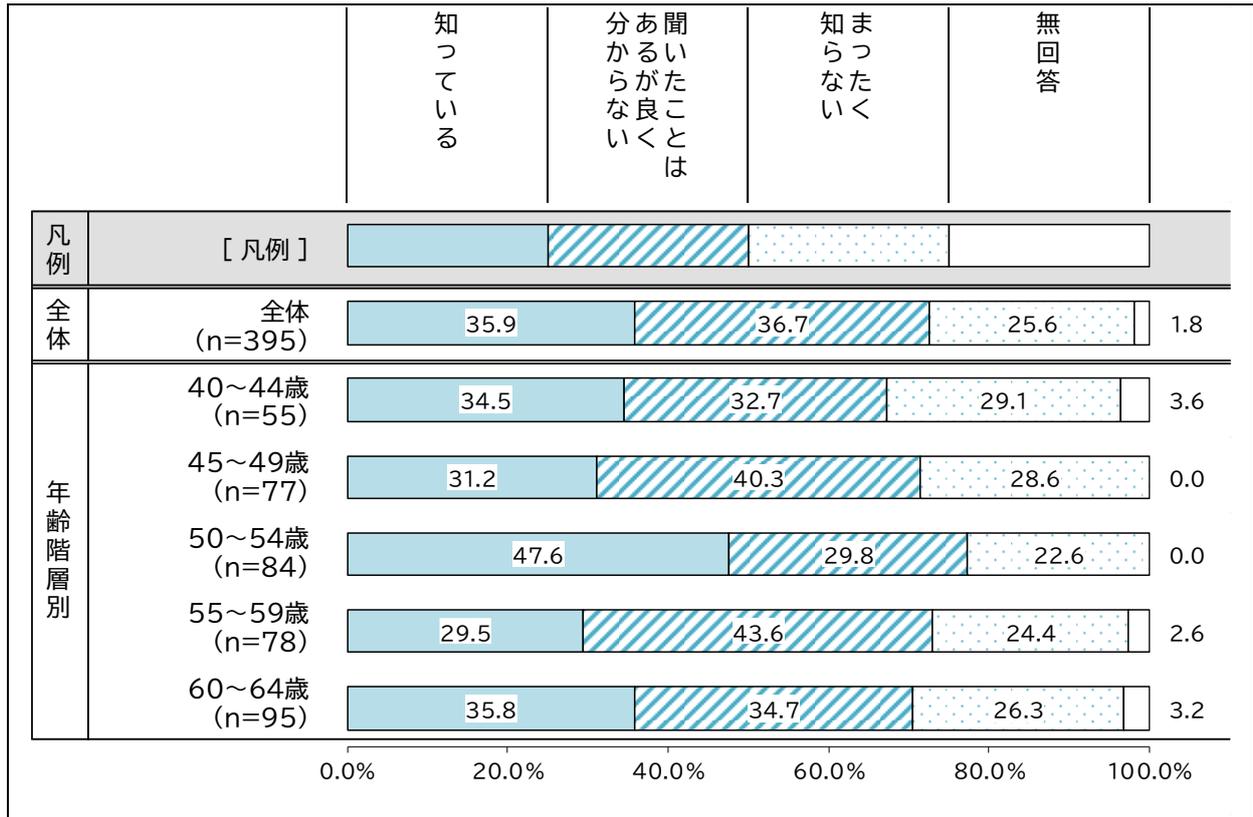
問4-7 認知症等で判断能力が十分でない方に、本人に代わって法的に支援できる成年後見制度を知っていますか。(1つだけ○)

図表258 成年後見制度の認知度(全体)



●成年後見制度の認知度について、「聞いたことはあるが良く分からない」が36.7%で最も多く、次いで「知っている」が35.9%、「まったく知らない」が25.6%となっています。

図表259 成年後見制度の認知度(年齢階層別)



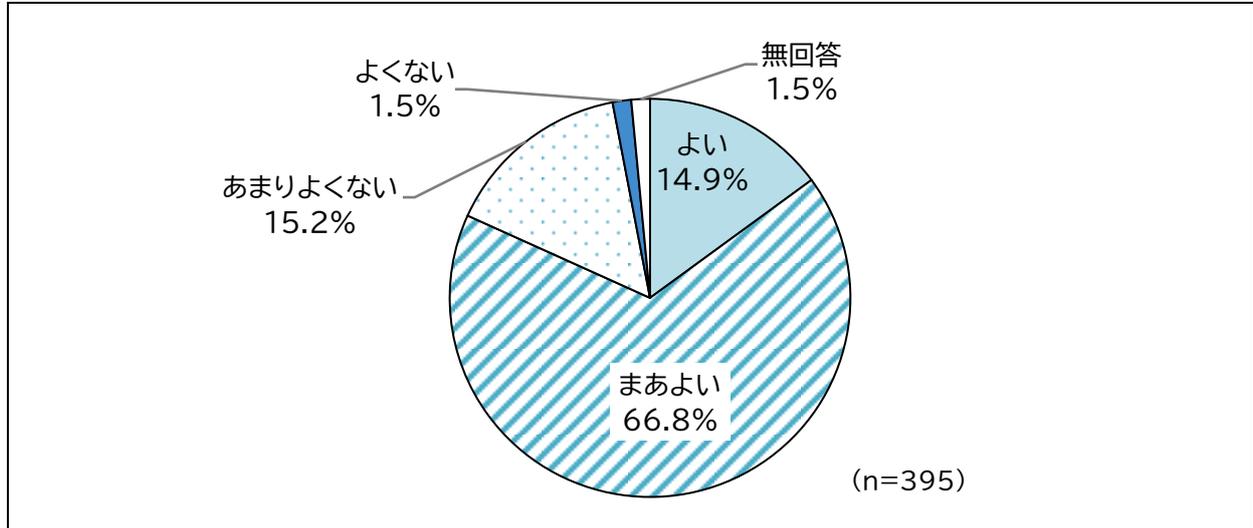
●成年後見制度の認知度を年齢階層別にみると、「知っている」と回答した人は、「50～54歳」が47.6%と最も高く、次いで「60～64歳」35.8%、「40～44歳」34.5%と続いています。「まったく知らない」と回答した人は、「40～44歳」が29.1%と最も高く、次いで「45～49歳」28.6%、「60～64歳」26.3%と続いています。

6. 健康づくりについて

(1)健康への取組について

問5-1 自分の健康をどのように感じていますか。(1つだけ○)

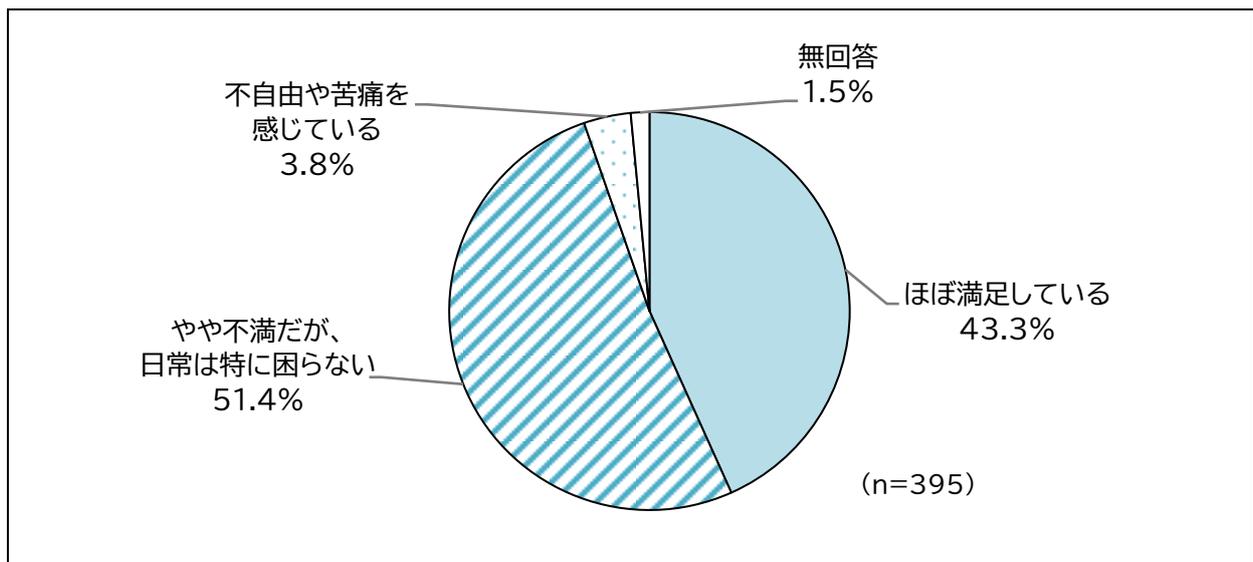
図表260 主観的健康感(全体)



●主観的健康感について、「まあよい」が66.8%で最も多く、次いで「あまりよくない」が15.2%、「よい」が14.9%となっています。

問5-2 現在、あなたの歯や口の中の状態について、どのように感じていますか(入れ歯を入れた状態でもかまいません)。(1つだけ○)

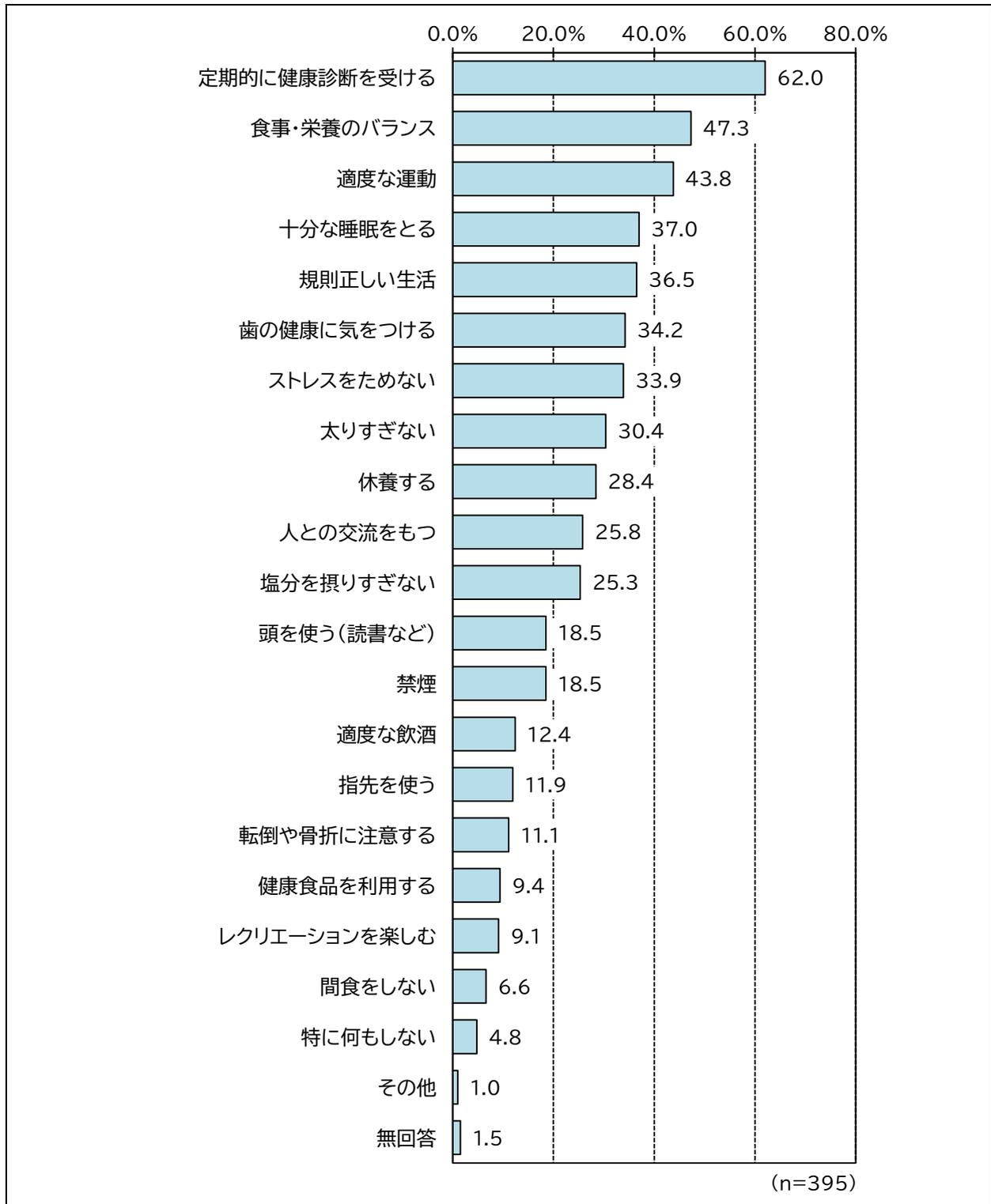
図表261 歯や口腔内の健康状態について(全体)



●歯や口腔内の健康状態について、「やや不満だが、日常は特に困らない」が51.4%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」が43.3%、「不自由や苦痛を感じている」が3.8%となっています。

問5-3 あなたは健康を守るために、どのようなことに気をつけていますか。
(いくつでも○)

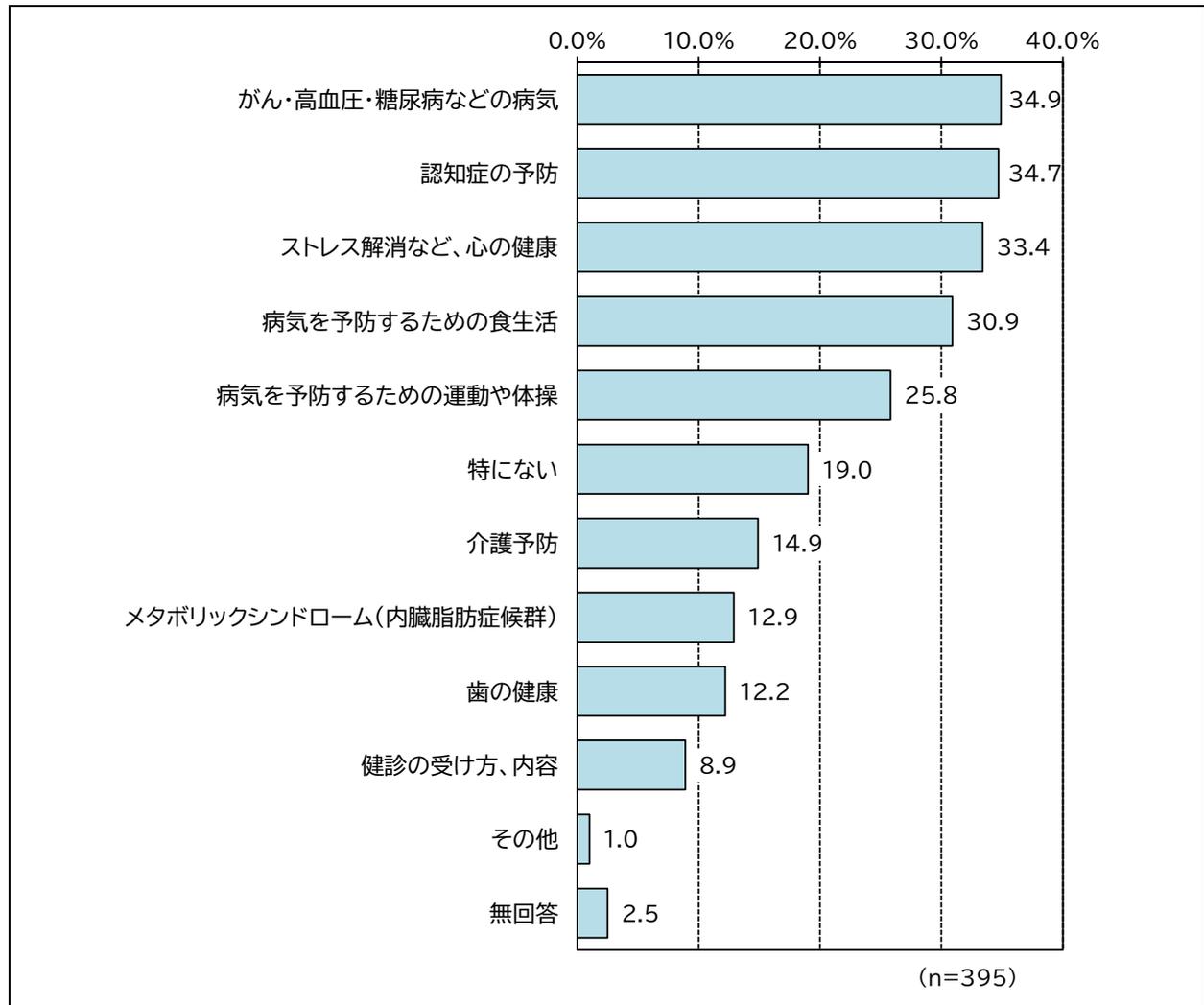
図表262 健康を守るために気をつけていること(全体/複数回答)



●健康を守るために気をつけていることについて、「定期的健康診断を受ける」が62.0%で最も多く、次いで「食事・栄養のバランス」が47.3%、「適度な運動」が43.8%となっています。

問5-4 健康について知りたいことは何ですか。(いくつでも○)

図表263 健康について知りたいこと(全体/複数回答)



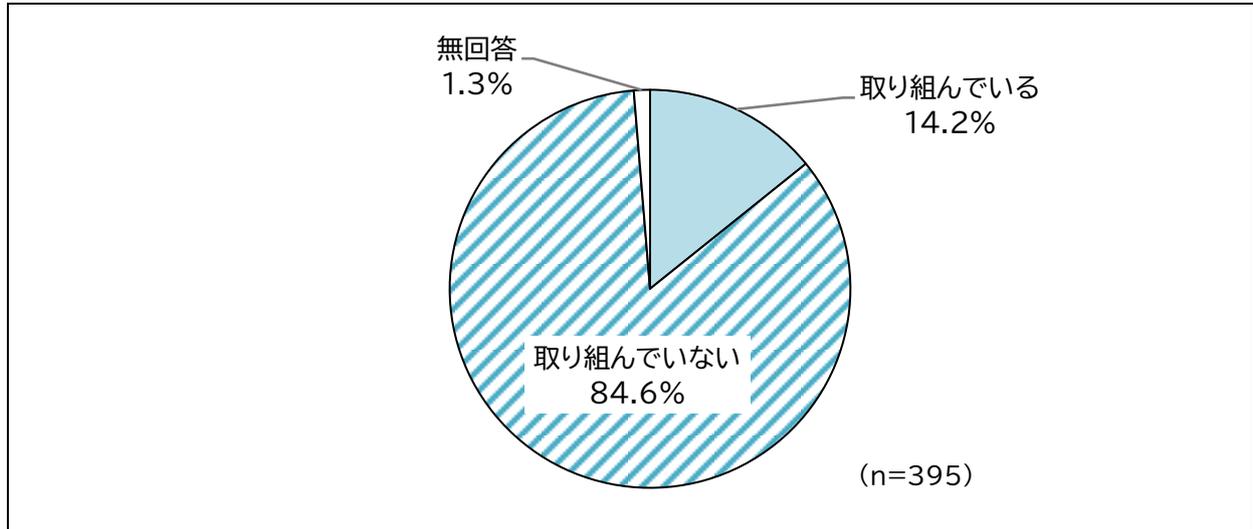
●健康について知りたいことについて、「がん・高血圧・糖尿病などの病気」が34.9%で最も多く、次いで「認知症の予防」が34.7%、「ストレス解消など、心の健康」が33.4%となっています。

7. 一般介護予防事業について

(1) 介護予防への取組について

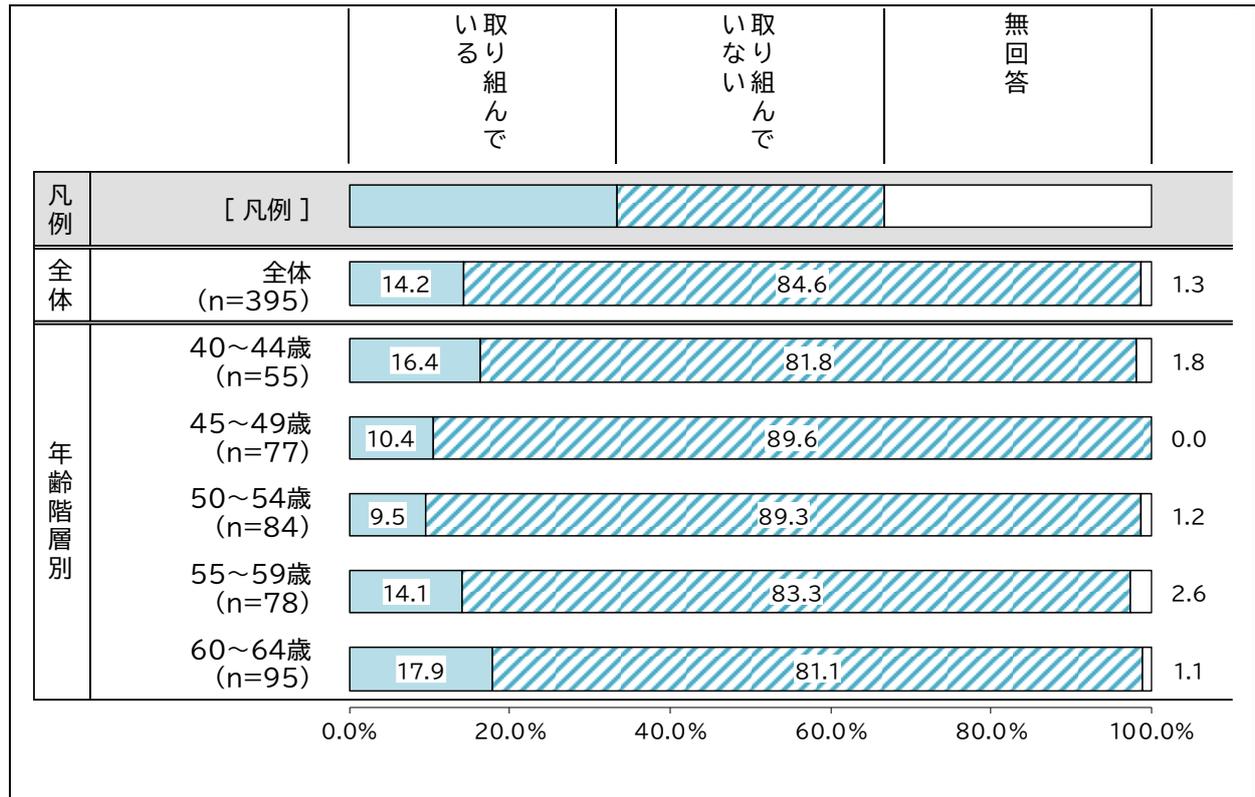
問6-1 フレイル対策が重視されている中、現在あなたは介護予防に取り組んでいますか。
(1つだけ○)

図表264 介護予防の取組状況(全体)



● 介護予防の取組状況について、「取り組んでいる」が14.2%、「取り組んでいない」が84.6%となっています。

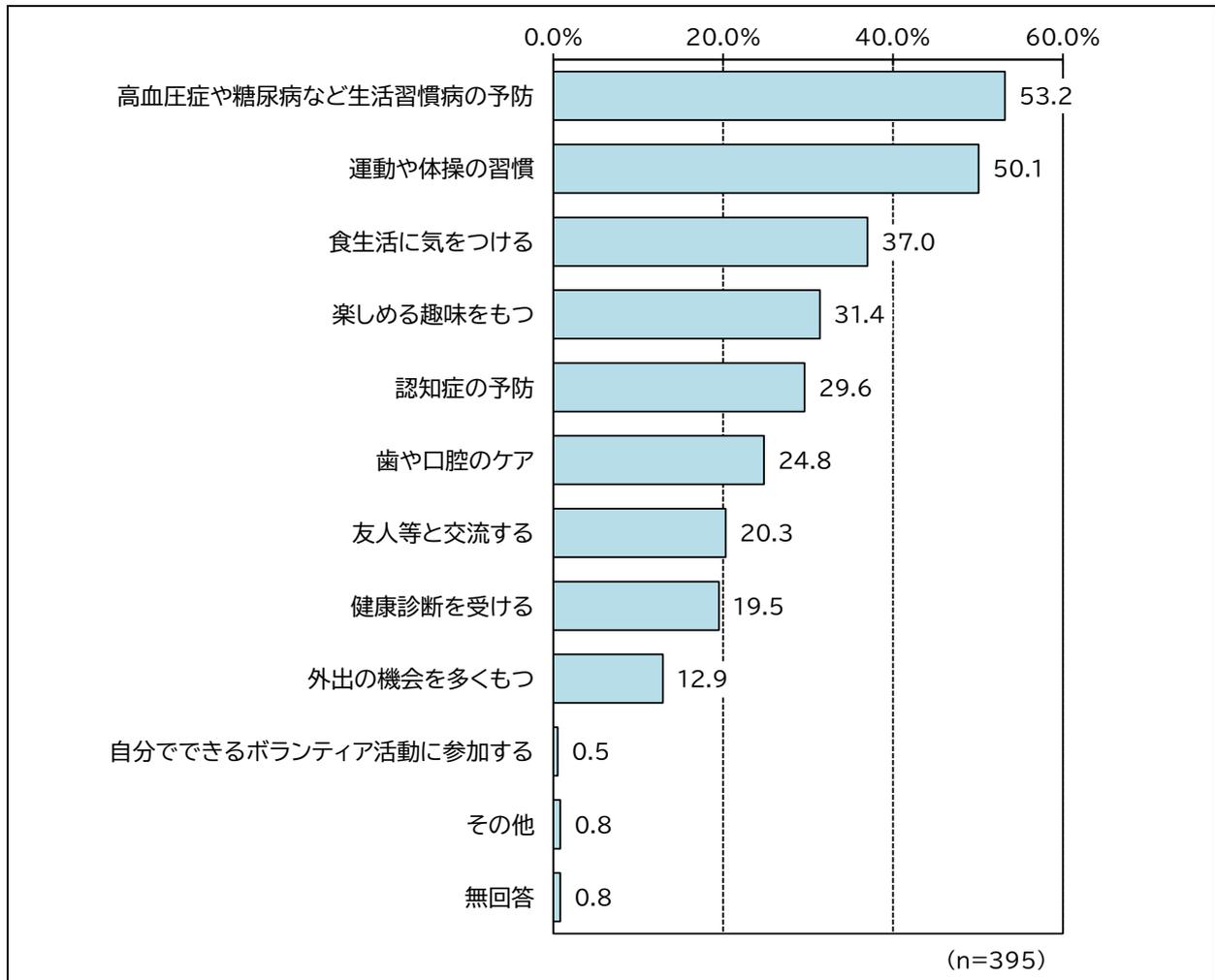
図表265 介護予防の取組状況(年齢階層別)



●介護予防の取組状況を年齢階層別にみると、「取り組んでいる」と回答した人の割合は、「60～64歳」が最も高く、17.9%となっています。次いで、「40～44歳」16.4%、「55～59歳」14.1%と続いています。

問6-2 介護予防の上で重要と思われるものは何ですか。(3つまで○)

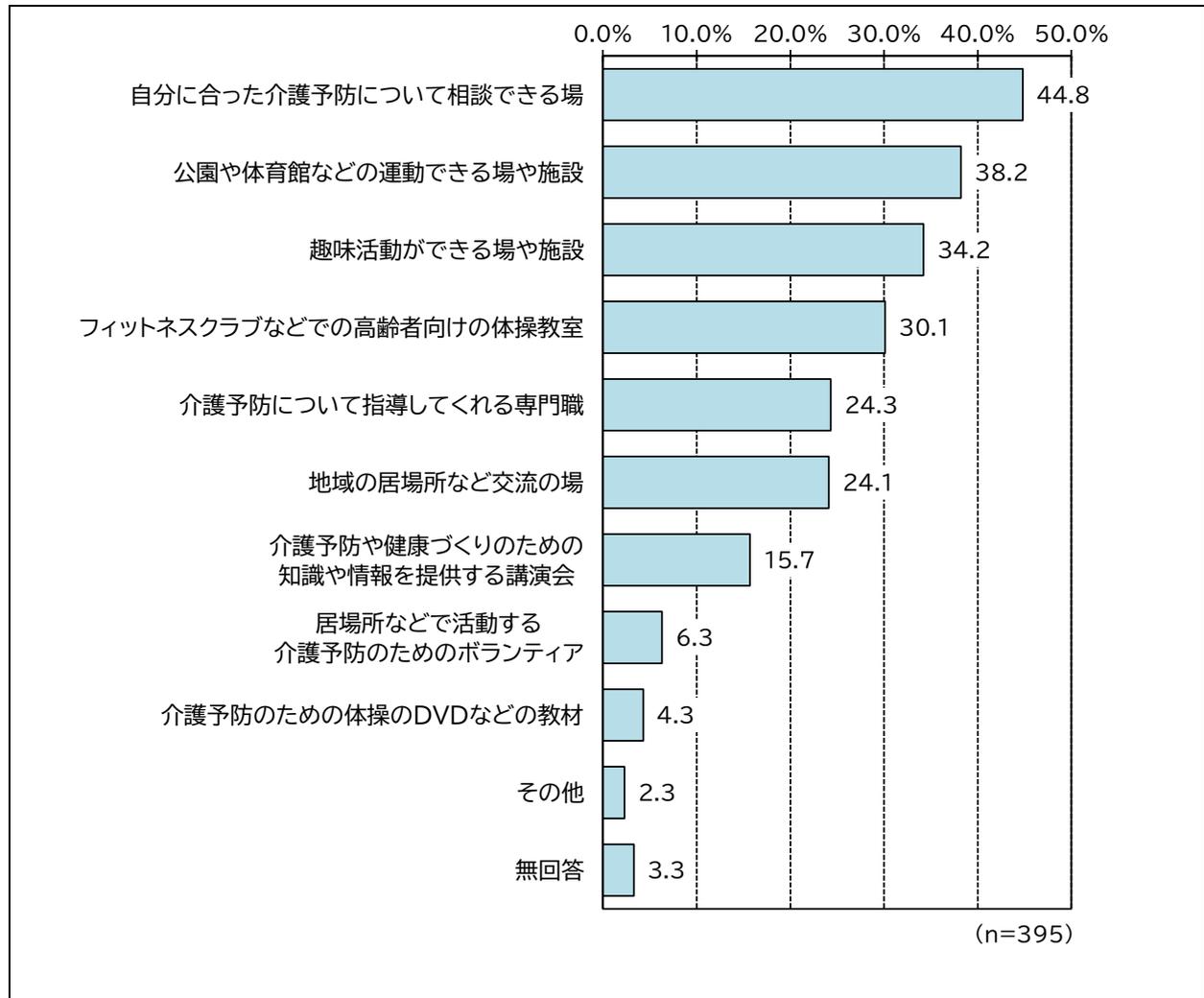
図表266 介護予防の上で重要なこと(全体/複数回答)



●介護予防の上で重要なことについて、「高血圧症や糖尿病など生活習慣病の予防」が53.2%で最も多く、次いで「運動や体操の習慣」が50.1%、「食生活に気をつける」が37.0%となっています。

問6-3 自分で介護予防に取り組むためにどのようなものがあればよいと思いますか。
(3つまで○)

図表267 自分で介護予防に取り組むために必要なもの(全体/複数回答)

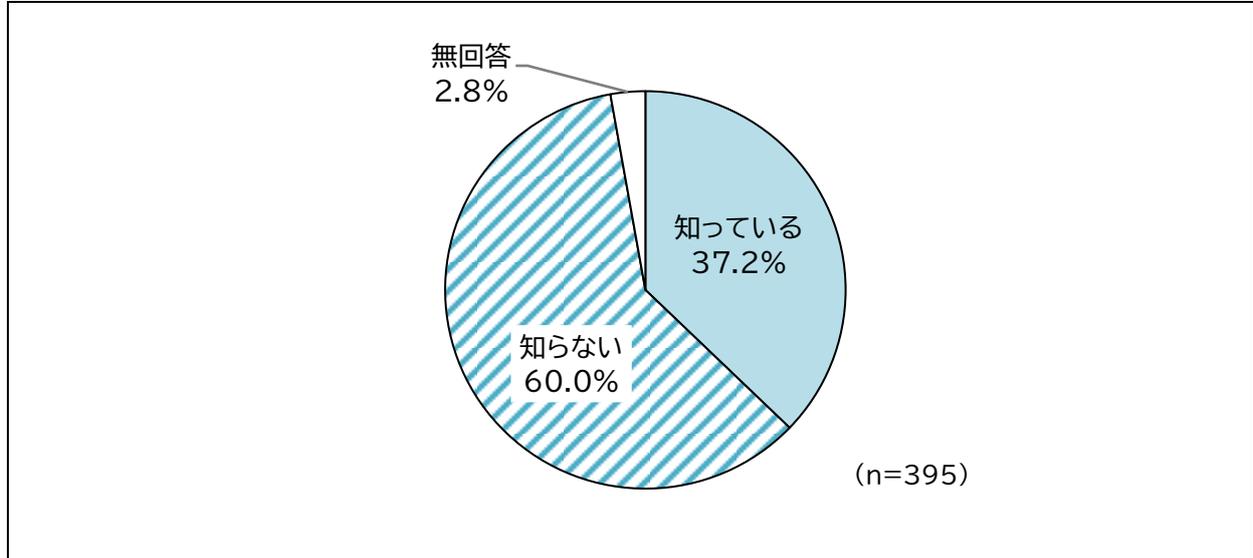


●自分で介護予防に取り組むために必要なものについて、「自分に合った介護予防について相談できる場」が44.8%で最も多く、次いで「公園や体育館などの運動できる場や施設」が38.2%、「趣味活動ができる場や施設」が34.2%となっています。

(2) 介護予防とボランティア活動について

問6-4 ボランティア活動などの社会参加が介護予防に効果があることは、知っていますか。
(1つだけ○)

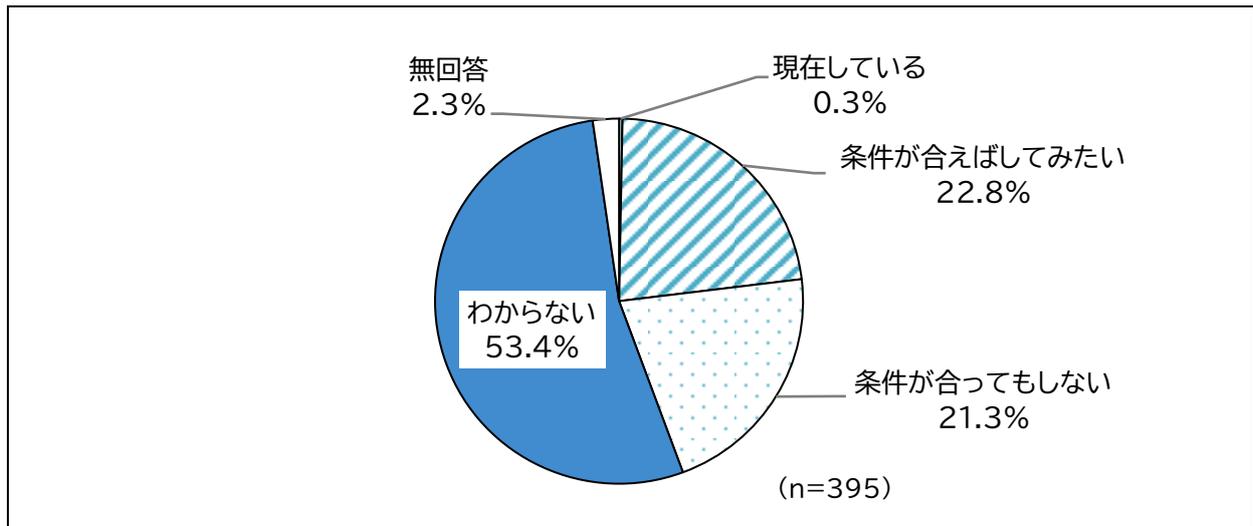
図表268 社会参加による介護予防効果の認知度(全体)



●社会参加による介護予防効果の認知度について、「知っている」が37.2%、「知らない」が60.0%となっています。

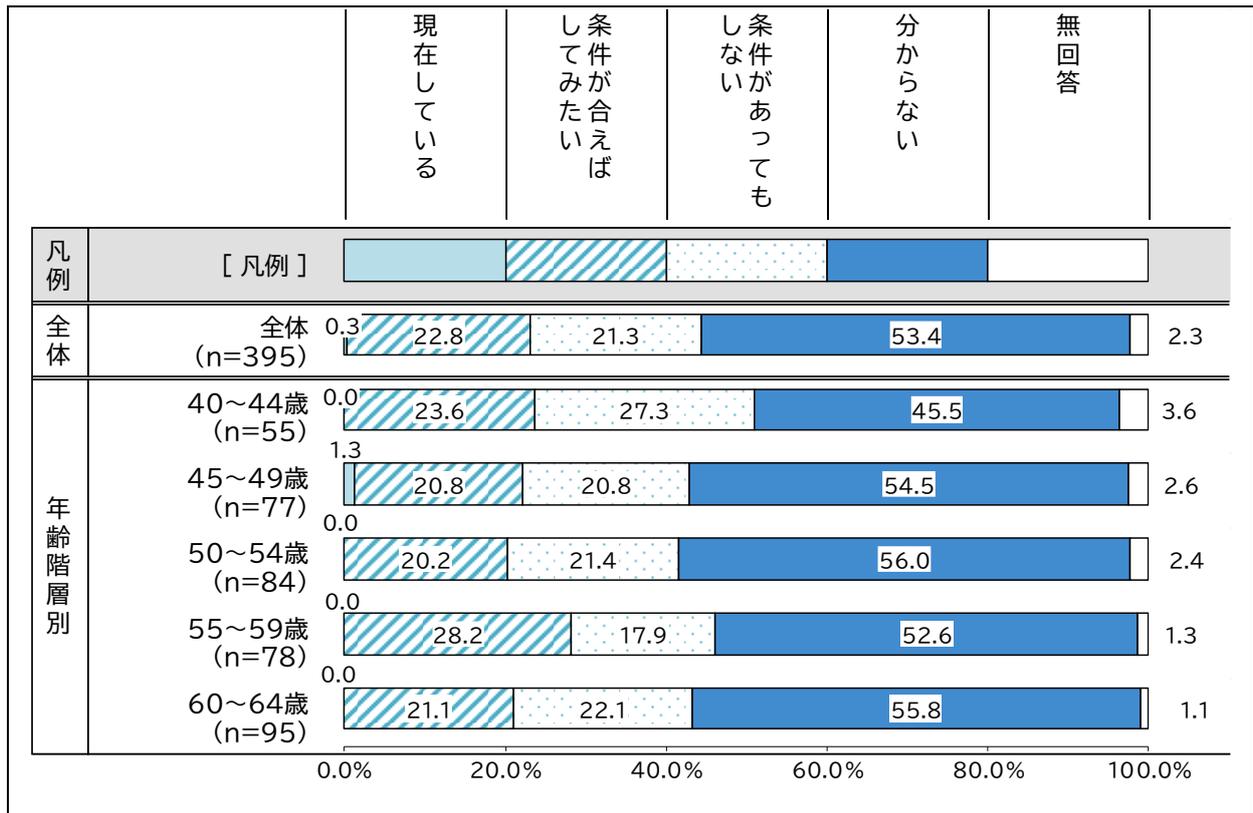
問6-5 様々なボランティア活動の種類がありますが、中でも、介護予防ボランティアの活動をしてみたいですか。(1つだけ○)

図表269 介護予防ボランティアへの参加意向(全体)



●介護予防ボランティアへの参加意向について、「条件が合えばしてみたい」が22.8%で最も多く、次いで「条件が合ってもしない」が21.3%となっています。また、全体の53.4%の人が「わからない」と回答しています。

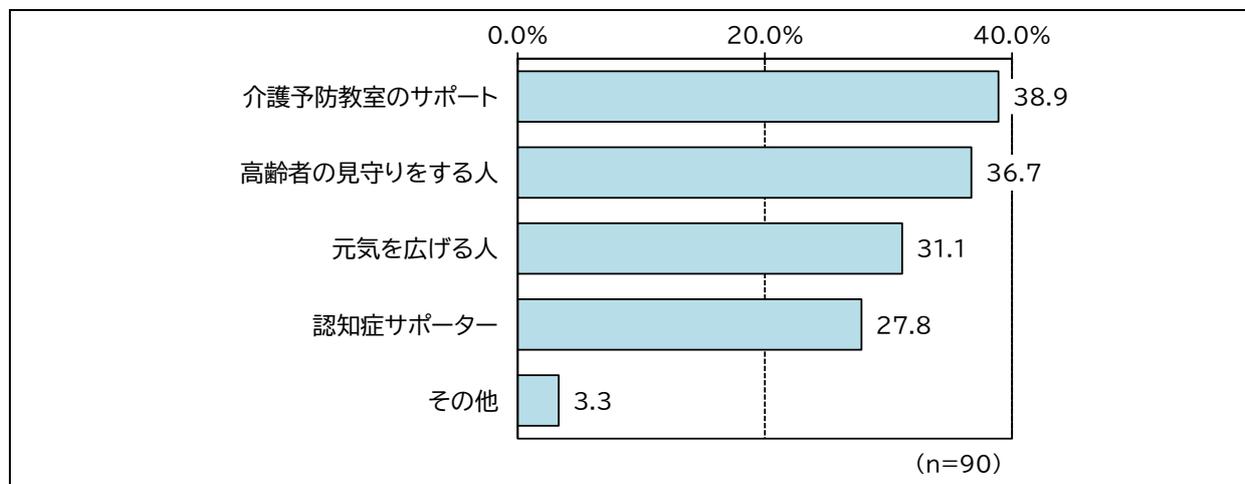
図表270 介護予防ボランティアへの参加意向(年齢階層別)



●介護予防ボランティアへの参加意向を年齢階層別にみると、「条件が合えばしてみたい」の割合が、「55～59歳」で28.2%と最も高く、他の年齢層に比べ参加意欲がやや高い年齢層となっています。次いで、「40～44歳」23.6%、「60～64歳」21.1%と続いています。

問6-5で「2.条件が合えばしてみたい」と回答した方
 問6-5-1 どのような介護予防ボランティア活動をしてみたいですか。(いくつでも○)

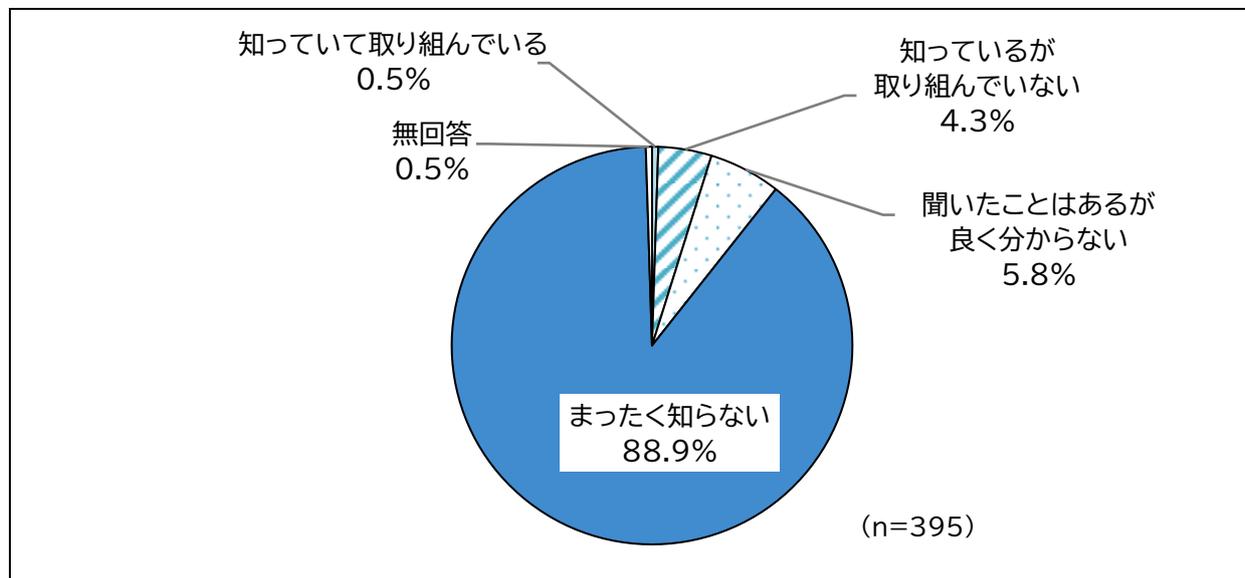
図表271 してみたい介護予防ボランティア活動の内容(全体/複数回答)



● してみたい介護予防ボランティア活動の内容について、「介護予防教室のサポート」が38.9%で最も多く、次いで「高齢者の見守りをする人」が36.7%、「元気を広げる人」が31.1%となっています。

問6-6 高松市の「のびのび元気体操」を知っていますか。(1つだけ○)

図表272 「のびのび元気体操」の認知度(全体)



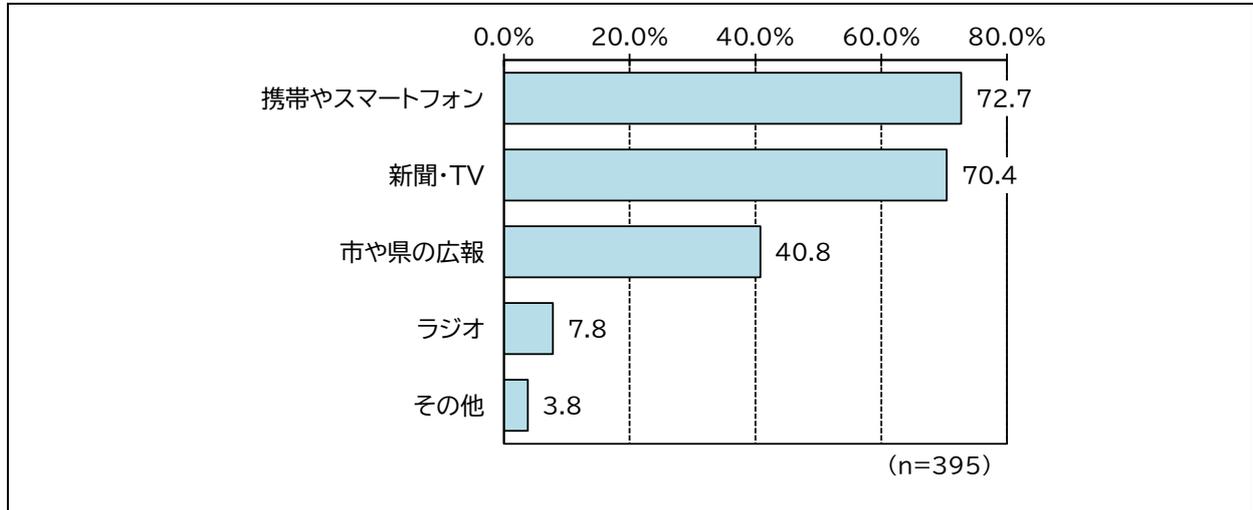
● 「のびのび元気体操」の認知度について、「まったく知らない」が88.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが良く分からない」が5.8%、「知っているが取り組んでいない」が4.3%となっています。

8. 高齢者の保健福祉について

(1) 情報収集手段

問7-1 日常の情報収集手段は何ですか。(いくつでも○)

図表273 日常の情報収集手段(全体/複数回答)



● 日常の情報収集手段について、「携帯やスマートフォン」が72.7%で最も多く、次いで「新聞・TV」が70.4%、「市や県の広報」が40.8%となっています。

図表274 日常の情報収集手段(年齢階層別)

(単位%)

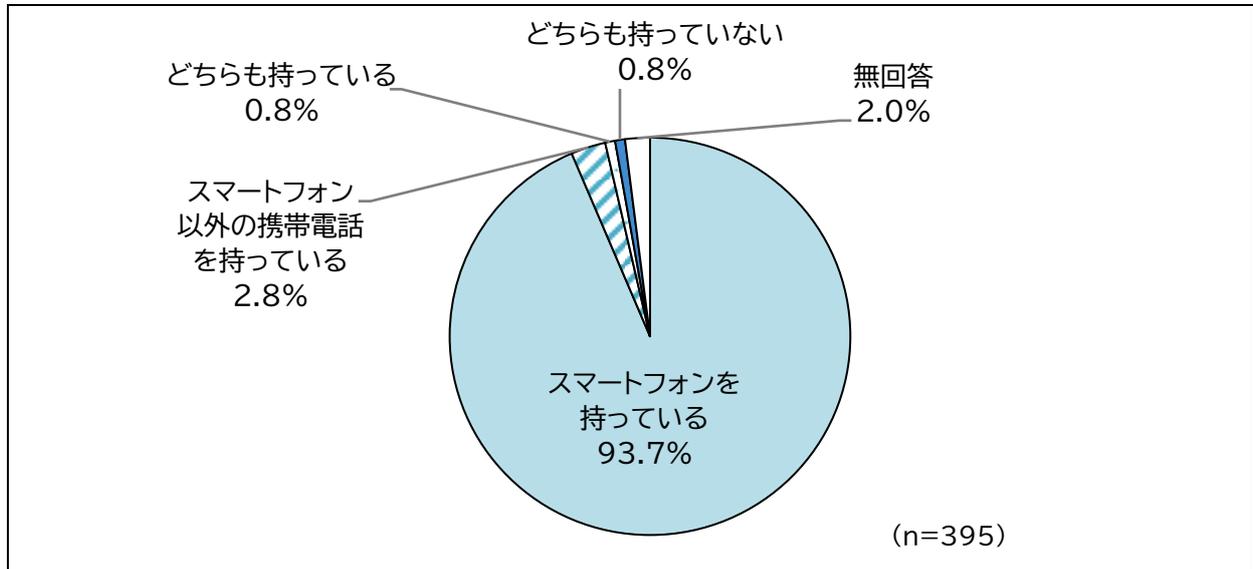
		第1位	第2位	第3位
全体 (n=395)		携帯やスマートフォン 72.7	新聞・TV 70.4	市や県の広報 40.8
年齢階層別	40~44歳 (n=55)	携帯やスマートフォン 81.8	新聞・TV 60.0	市や県の広報 38.2
	45~49歳 (n=77)	携帯やスマートフォン 84.4	新聞・TV 71.4	市や県の広報 39.0
	50~54歳 (n=84)	携帯やスマートフォン 78.6	新聞・TV 70.2	市や県の広報 41.7
	55~59歳 (n=78)	携帯やスマートフォン 74.4	新聞・TV 71.8	市や県の広報 38.5
	60~64歳 (n=95)	新聞・TV 74.7	携帯やスマートフォン 52.6	市や県の広報 43.2

● 日常の情報収集手段を年齢階層別にみると、「40歳~59歳」までの4つの年齢階層では、「携帯やスマートフォン」がいずれも第1位となっています。

(2) 携帯電話

問7-2 現在、携帯電話を持っていますか。(1つだけ○)

図表275 携帯電話の所持状況(全体)



●携帯電話の所持状況について、「スマートフォンを持っている」が93.7%で最も多く、次いで「スマートフォン以外の携帯電話を持っている」が2.8%、「どちらも持っている」「どちらも持っていない」が0.8%となっています。

図表276 携帯電話の所持状況(年齢階層別)

(単位:%)

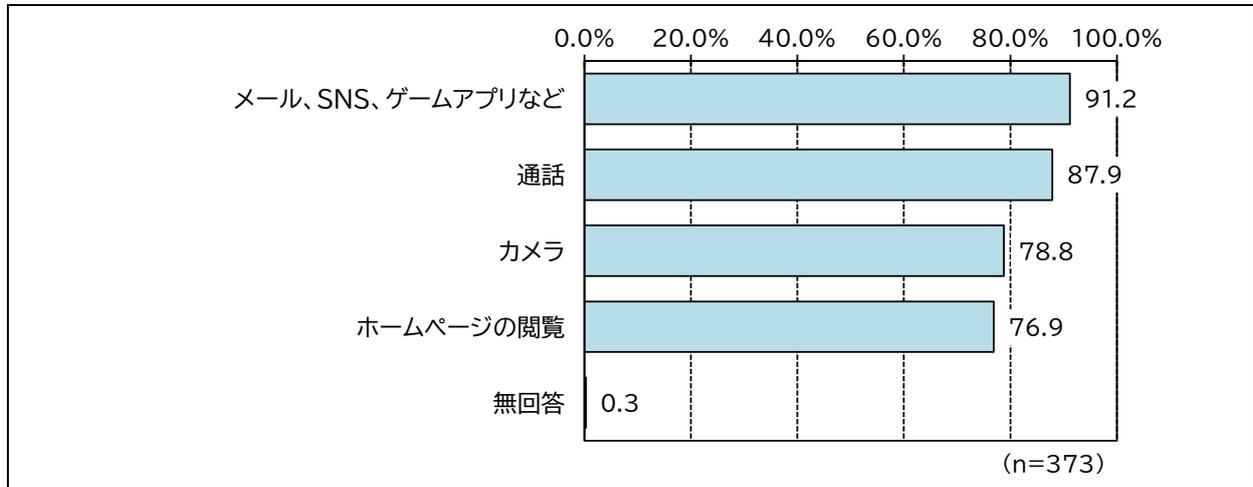
	母数 (n)	携帯電話の所持状況					
		スマ ート フォ ン を 持 っ て い る	携 帯 マ ー ケ ッ ト の 携 帯 電 話 を 持 っ て い る の 外 の	ど ち ら も 持 っ て い る	ど ち ら も 持 っ て い な い	無 回 答	
全体	395	93.7	2.8	0.8	0.8	2.0	
年 齢 階 層 別	40~44歳	55	98.2	-	-	-	1.8
	45~49歳	77	96.1	2.6	-	-	1.3
	50~54歳	84	94.0	1.2	2.4	-	2.4
	55~59歳	78	97.4	-	1.3	1.3	-
	60~64歳	95	86.3	8.4	-	2.1	3.2

※図表276の表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。

●携帯電話の所持状況を年齢階層別にみると、「スマートフォンを持っている」、「どちらも持っている」と回答したのは、「55~59歳」が最も高く、98.7%となっています。次いで、「40~44歳」98.2%、「45~49歳」96.1%と続いています。

問7-2で「1.スマートフォンを持っている」または「3.どちらも持っている」と回答した方
 問7-2-1 スマートフォンをどのような用途で使っていますか。(いくつでも○)

図表277 スマートフォンの使用用途(全体/複数回答)

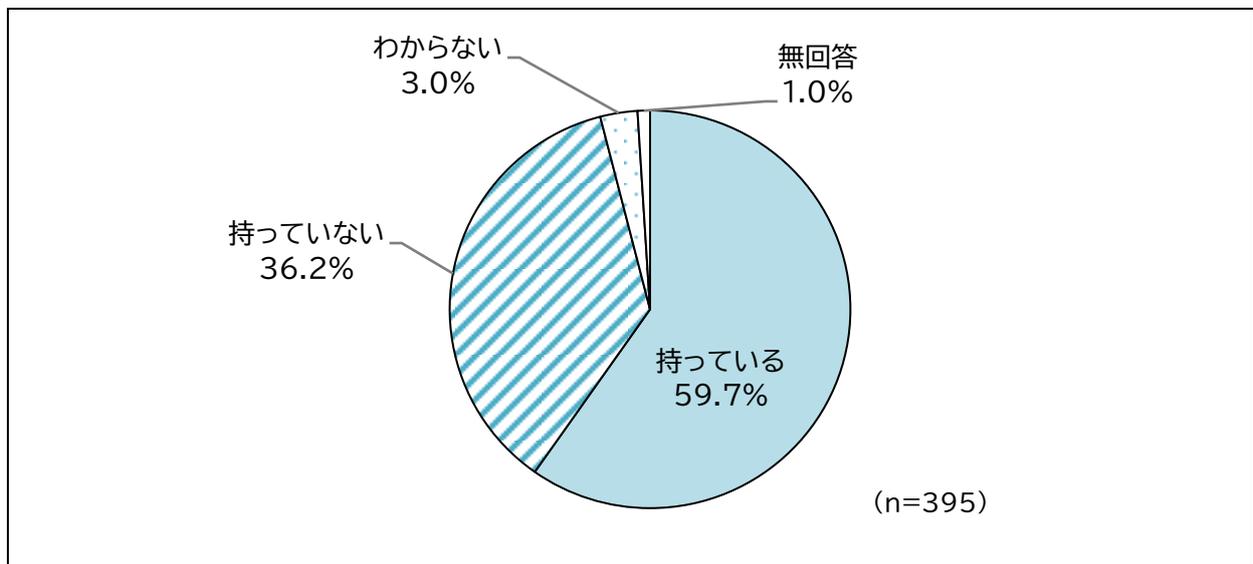


●スマートフォンの使用用途について、「メール、SNS、ゲームアプリなど」が91.2%で最も多く、次いで「通話」が87.9%、「カメラ」が78.8%となっています。

(3) かかりつけ医の有無について

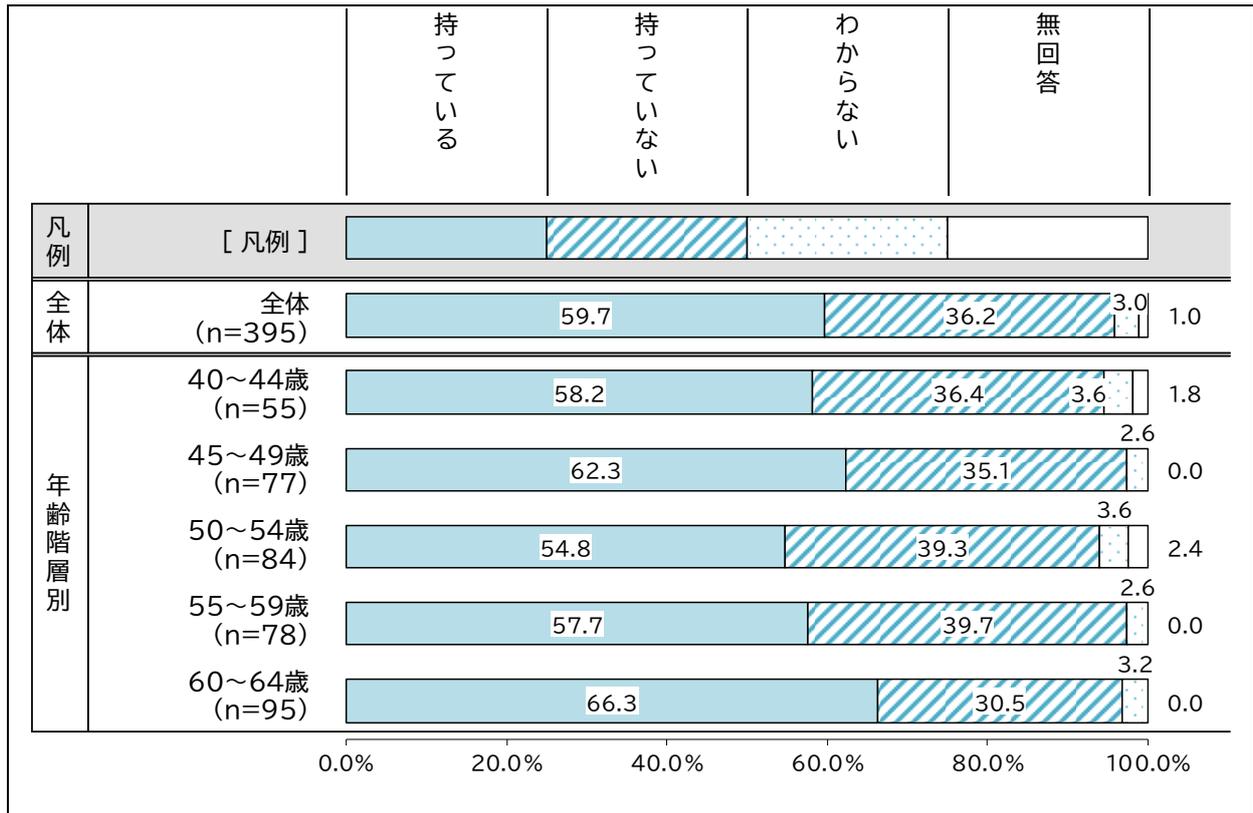
問7-3 日頃から病気やけがの時に診察を受けることを決めている「かかりつけ医」を持っていますか。(1つだけ○)

図表278 かかりつけ医の有無(全体)



●かかりつけ医の有無について、「持っている」が59.7%、「持っていない」が36.2%となっています。

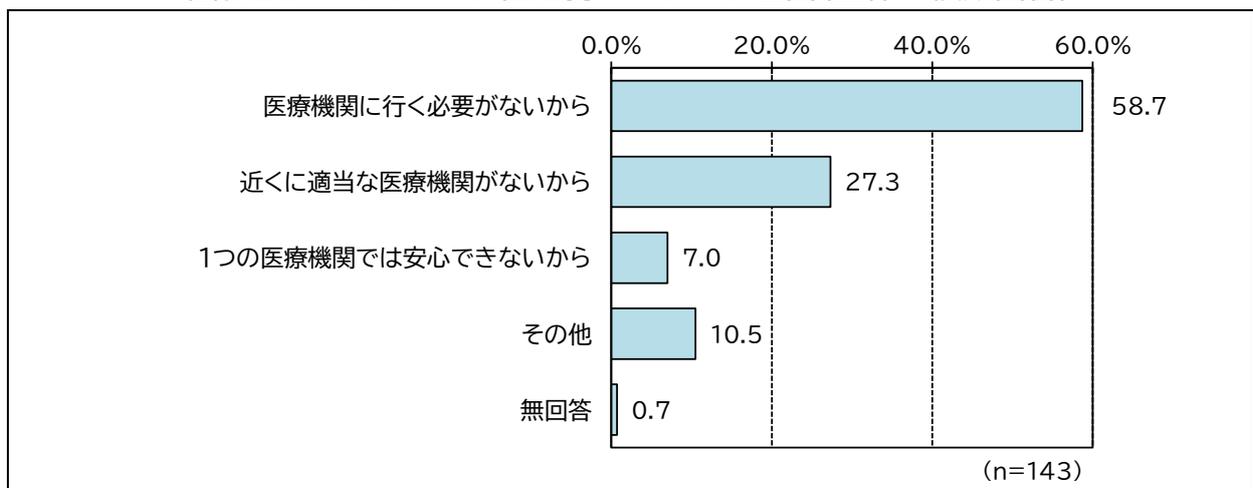
図表279 かかりつけ医の有無(年齢階層別)



● かかりつけ医の有無を年齢階層別にみると、「持っている」と回答したのは、「60～64歳」が最も高く、66.3%となっています。次いで、「45～49歳」62.3%、「40～44歳」58.2%と続いています。

問7-3で「2.持っていない」と回答した方
問7-3-1 「かかりつけ医」を持っていない理由は何ですか。(いくつでも○)

図表280 かかりつけ医を持っていない理由(全体/複数回答)

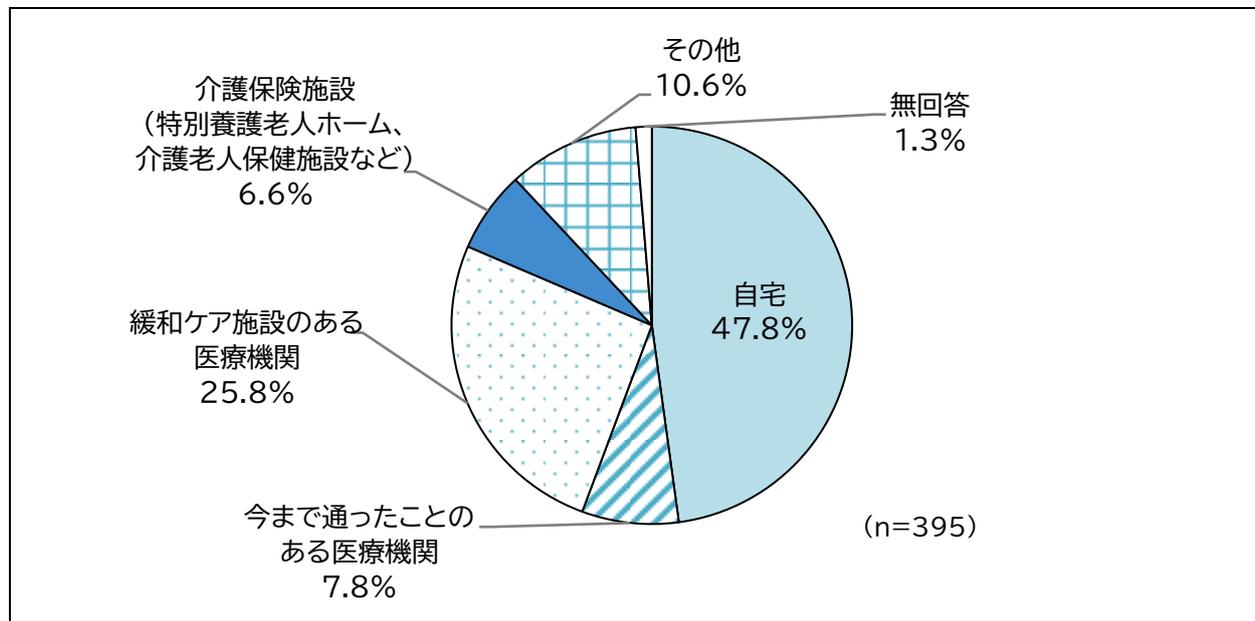


● かかりつけ医を持っていない理由について、「医療機関に行く必要がないから」が58.7%で最も多く、次いで「近くに適切な医療機関がないから」が27.3%、「1つの医療機関では安心できないから」が7.0%となっています。

(4)自分の最期について

問7-4 自分の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つだけ○)

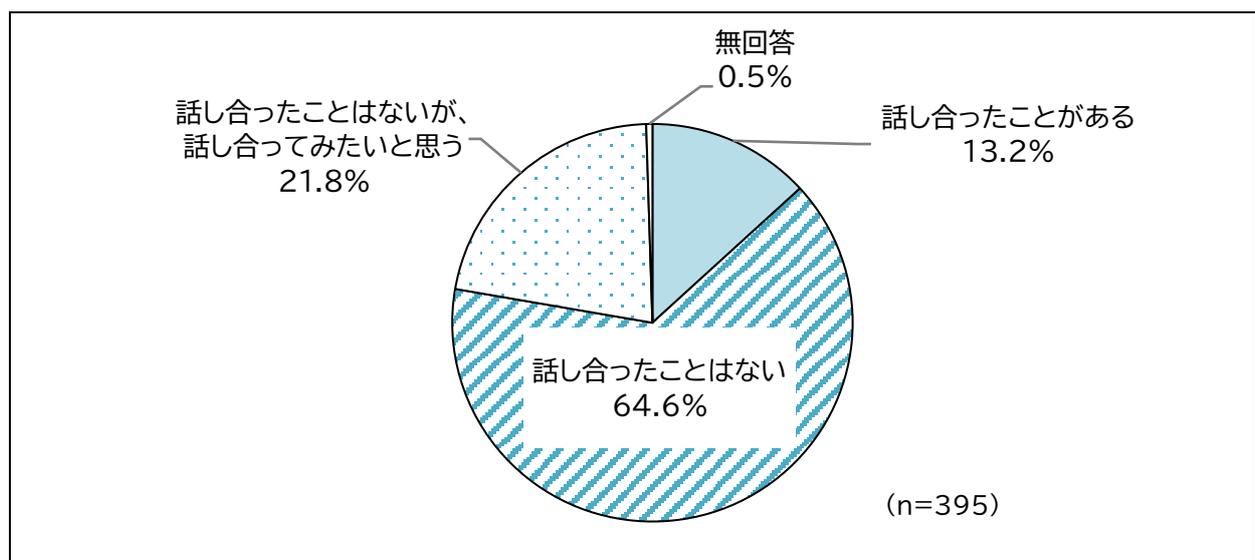
図表281 自分の最期を迎えたい場所(全体)



●自分の最期を迎えたい場所について、「自宅」が47.8%で最も多く、次いで「緩和ケア施設のある医療機関」が25.8%、「今まで通ったことのある医療機関」が7.8%となっています。

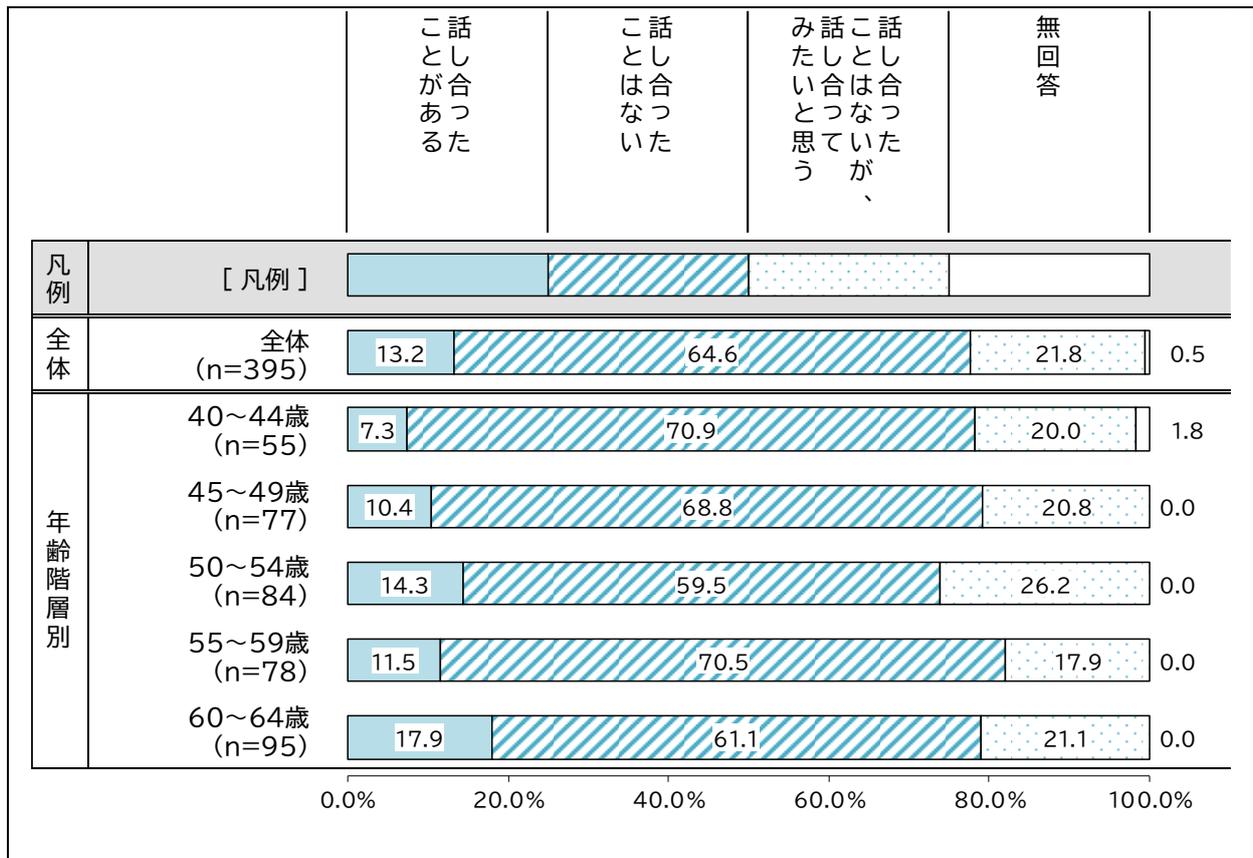
問7-5 自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者と話し合ったことはありますか。(1つだけ○)

図表282 自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験(全体)



●自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者との話し合いの有無をたずねたところ、「話し合ったことはない」が64.6%で最も多く、次いで「話し合ったことはないが、話し合ってみたいと思う」が21.8%、「話し合ったことがある」が13.2%となっています。

図表283 自分の最期の時について家族や医療・介護関係者と話し合った経験
(年齢階層別)

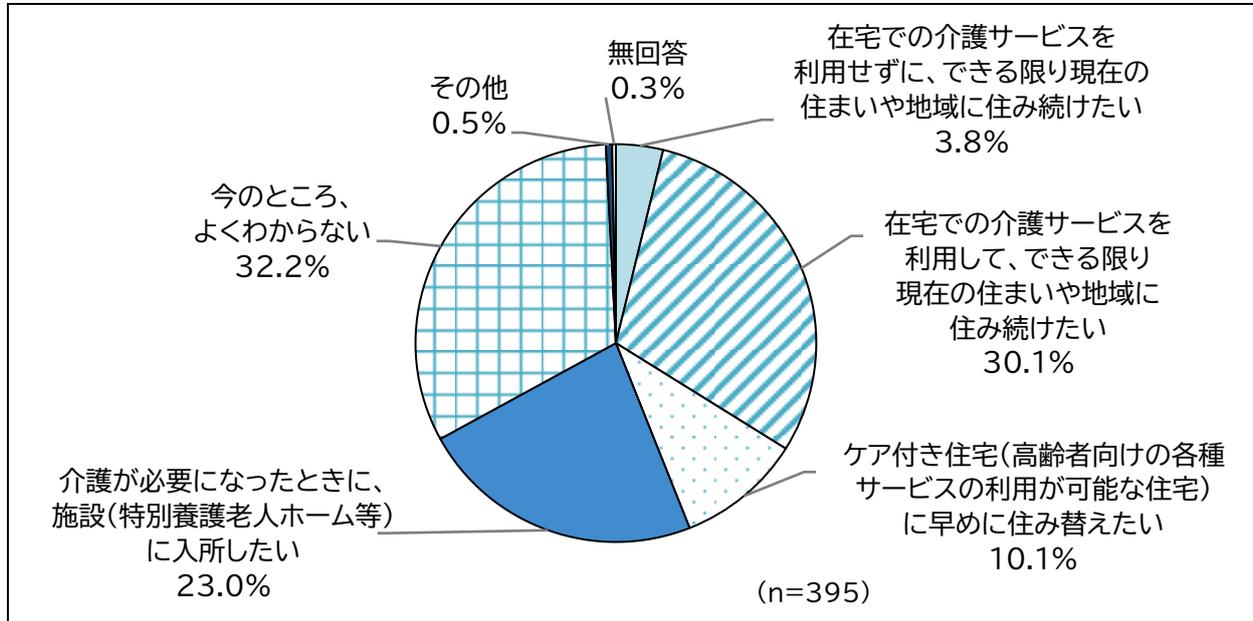


●自分の最期の時に希望する医療や介護について、家族や医療・介護関係者との話し合いの有無をたずねたところ、「話し合ったことがある」と回答した人は、「60～64歳」で最も高く、17.9%と なっています。一方、最も低いのは、「40～44歳」で7.3%となっています。また、「話し合ったことはない」と回答したのは、「40～44歳」が最も高く70.9%、次いで、「55～59歳」70.5%、「45～49歳」68.8%と続いています。

(5) 住まいと介護サービスの利用について

問7-6 将来、あなたに介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

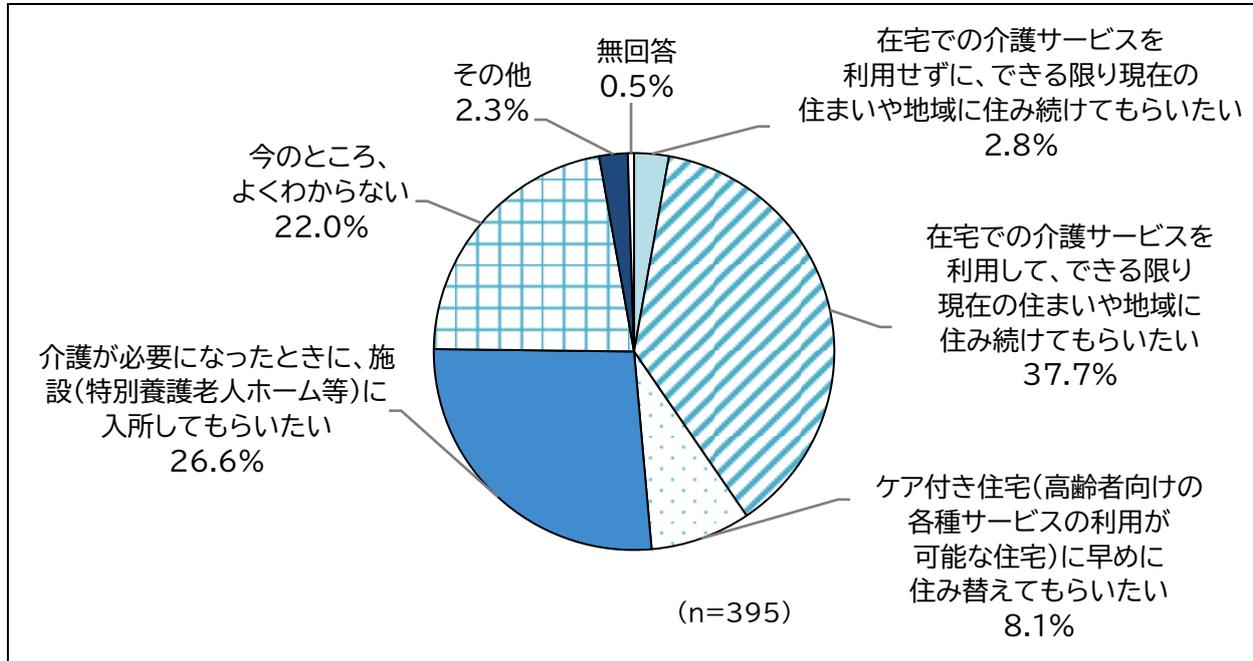
図表284 自身の将来の住まいと介護サービスの利用について(全体)



●自身の将来の住まいと介護サービスの利用について、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」が30.1%、次いで「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい」が23.0%、「ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えたい」が10.1%となっています。一方、「今のところ、よくわからない」は32.2%と最も高くなっています。

問7-7 あなたの家族に介護が必要になった場合、住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

図表285 家族の将来の住まいと介護サービスの利用について(全体)

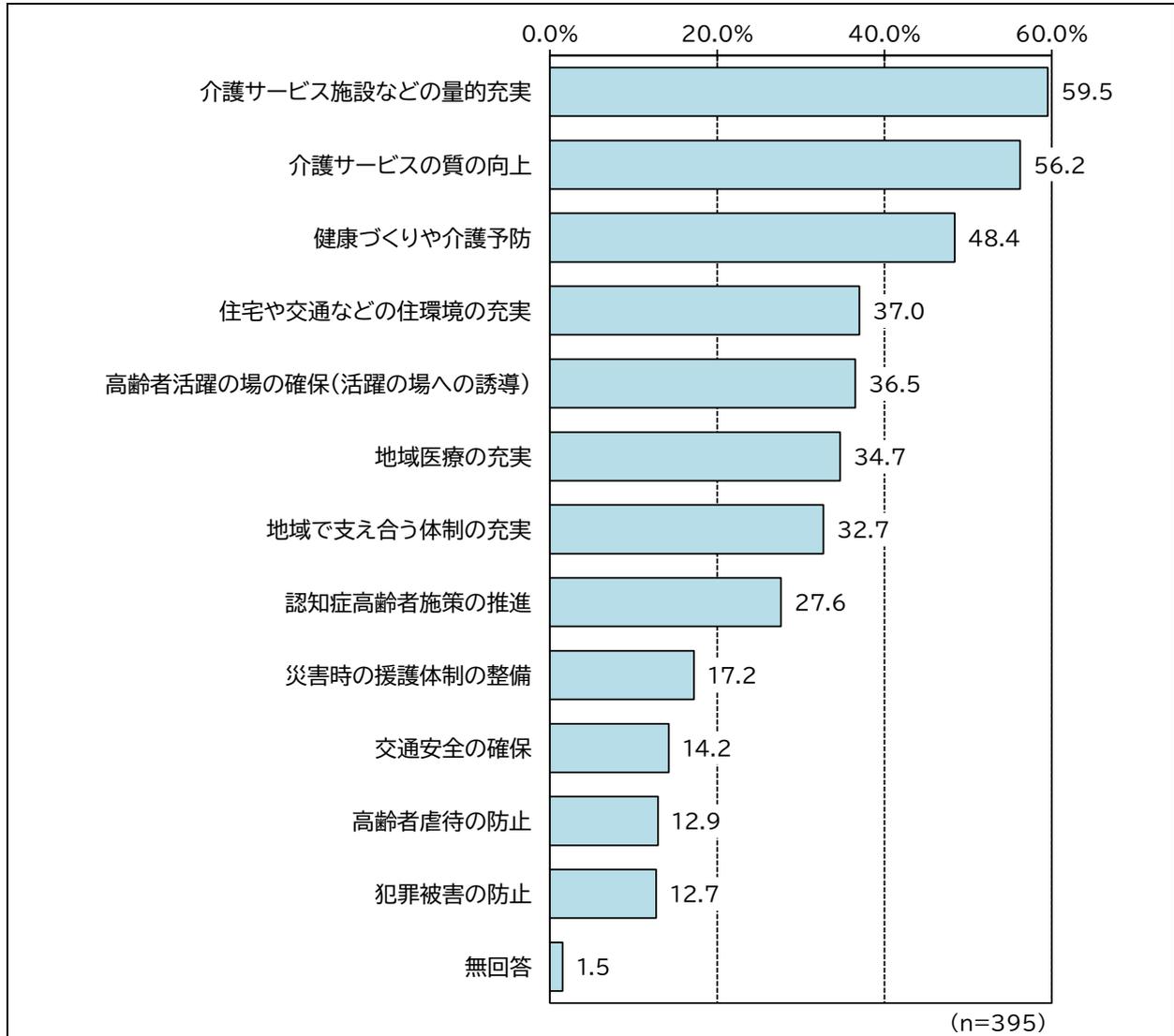


●家族の将来の住まいと介護サービスの利用について、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けてもらいたい」が37.7%で最も多く、次いで「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所してもらいたい」が26.6%、「今のところ、よくわからない」が22.0%、「ケア付き住宅(高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅)に早めに住み替えてもらいたい」が8.1%となっています。

(6) 超高齢社会において重要な方策

問7-8 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策はどのようなことですか。
(いくつでも○)

図表286 超高齢社会において重要な方策(全体/複数回答)

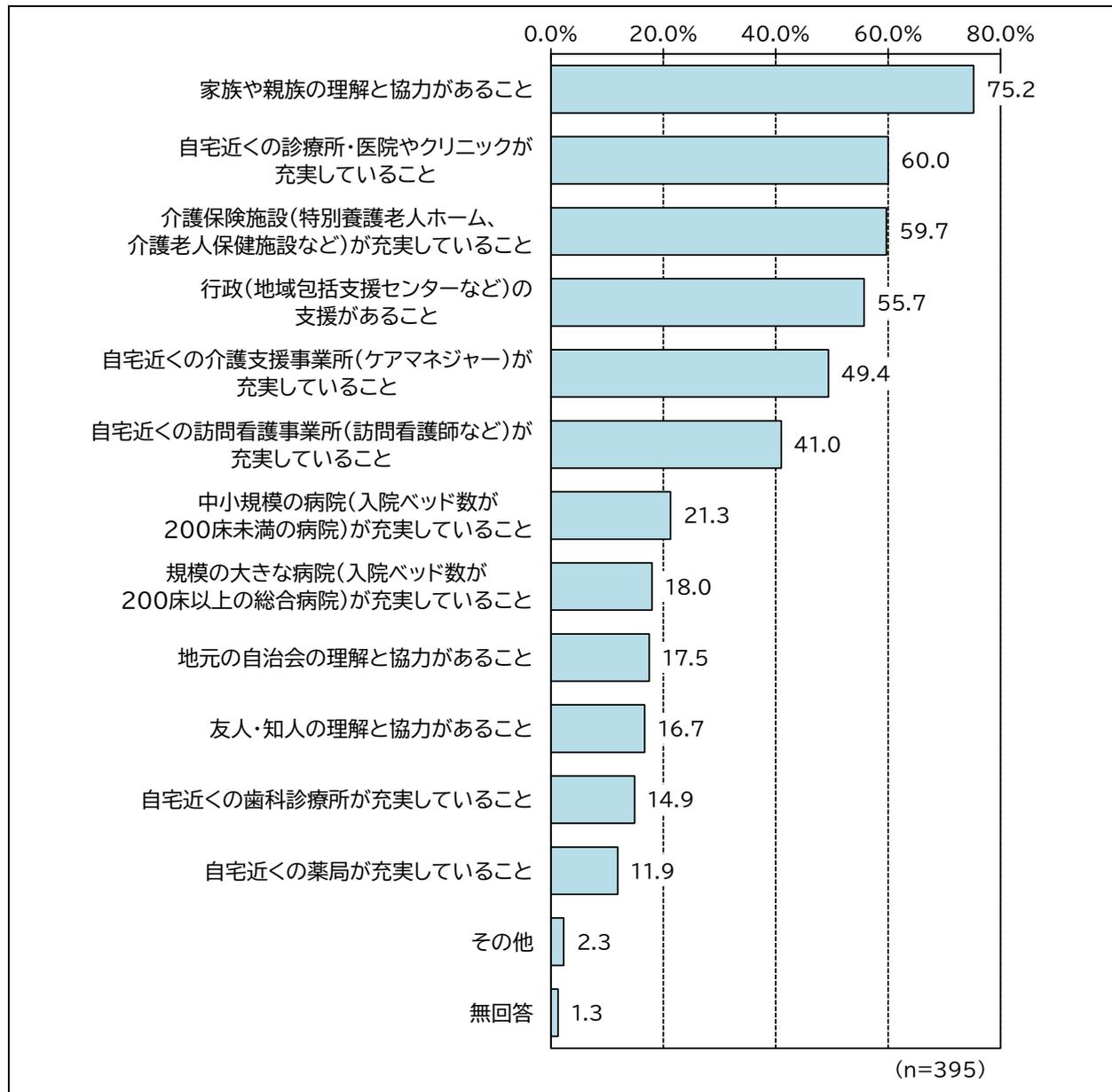


● 超高齢社会において重要な方策について、「介護サービス施設などの量的充実」が59.5%で最も多く、次いで「介護サービスの質の向上」が56.2%、「健康づくりや介護予防」が48.4%となっています。

(7)地域包括ケアシステムにおいて重要なこと

問7-9 地域包括ケアシステムの構築の推進に当たり、特に重要だと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

図表287 地域包括ケアシステムの構築の推進において重要なこと(全体/複数回答)



●地域包括ケアシステムの構築の推進において重要なことについて、家族や親族の理解と協力があることが75.2%で最も多く、次いで「自宅近くの診療所・医院やクリニックが充実していること」が60.0%、「介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)が充実していること」が59.7%、「行政(地域包括支援センターなど)の支援があること」が55.7%となっています。

第5章 資料 自由意見集

1. 自由意見 高齢者(65歳以上)

最後に、介護保険制度や本市の高齢者保健福祉施策に対するご意見やご要望など、何かございましたら自由にご記入ください。

・介護保険制度について 56件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護士、看護師の資格者の増員を希望。大変なお仕事と 思っております。高齢者が安心して寄り添ってもらえたら と願っています。	女性	75～79歳
2	介護保険制度を利用して住宅内の手摺を取りつけてもら いましたが、申請してから工事までが2ヶ月余りかかり、 その間大変困りました。もう少し期間が早くなると助かり ます。	女性	85歳以上
3	介護保険制度、高齢者保健福祉施策についてわかりや すくまとめた冊子を配布してほしい。	男性	70～74歳
4	現在、介護保険制度はかなり充実してきているが、更な る充実を望みます。	男性	85歳以上
5	自宅介護者に対する優遇制度、施策の充実を図ること。 制度、施策には経済的援助等も考慮すべきと思う。	男性	70～74歳

・介護保険料、医療費など経済的負担について 47件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護保険料が高いと思います。施策の告知、啓発、情報 提供をわかりやすく徹底して欲しいと思う。	男性	70～74歳
2	介護保険料は高いと思います。ある程度の収入はありま すが、健康保険料金等を合算しますと高額の支払になり ます。介護保険施設に入所となると、相当高額な負担が 考えられます。	女性	80～84歳
3	日々健康に気をつけ食事作りをしていて、診査の結果、 二人共異常なしです。介護保険は一度の利用もありま せん。保険料がとても負担になって、納付はしていますが 苦しいです。使用していない人への何かメリットでもあれ ばと思う事があります。	女性	70～74歳
4	介護保険料も当初に比べ上がりました。年金生活者に とっては大変な部分があります。	女性	65～69歳
5	近年介護保険料が高くなっているが、どの程度まで上昇 するのかが、我々年金生活者は不安と思われる状況があ るが、仕方ないのかとも思う部分もある。	男性	70～74歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・介護保険サービス・在宅福祉サービスについて 19件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護タクシーに付添と一緒に乗れるようにしてください。本人だけでは降りた後になにもできないので意味がないです。	男性	65～69歳
2	介護について、現在家族が健康なのであまりピンときません。去年義父が亡くなりましたが、介護施設が充実していてとても助かりました。	女性	65～69歳
3	現在、要支援2で、週2回送迎して下さりデイケアに行っております。リハビリの先生の御指導のもと励んでいます。笑いの絶えない1日です。コロナ禍で何回か休むことになり、それはそれは淋しかったです。行くところの少ない高齢者にとって心身ともに良い場所だと思います。	女性	85歳以上
4	予算の充実・確保。要介護の判定を機械的に厳しくせず、実態に応じて介護支援施策の縮小でなく拡大を。	男性	65～69歳
5	現在実母がショートステイに入所しています。ケアマネジャーから施設入所の方が安価ですが、認定が1の為、入所は無理との事。98才と高齢、金額負担も大きいです。どうしても見守りができないなどの事情など考慮してほしいです。	女性	65～69歳

・介護予防について 20件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	できるだけ介護が必要にならないように健康に気を付けて生活をしていきたい。自分の足で歩きができるよう筋肉をつけて生き活きと寿命を全うできればよいなと思っています。現在仕事しています。職場があるので日々感謝です。仕事、仲間、お客様感謝しています。	女性	70～74歳
2	高齢者を対象とした介護予防講習をきめ細かく身近な所で実施して欲しい。介護予防活動へ積極的に参加する人達には、自治体からの見返りが有ることが高齢者の意欲を高めるのではないのでしょうか。そういう対策をお願い致します。	女性	70～74歳
3	健康体操など利用してみたいと思ってもすぐ定員一杯になっていて、参加する事ができない(場所がコミセンのような所の為受け入れ人数が少ない)。学校の体育館など広い所で、申し込みした人は全員受け入れてもらえるようになれば良いと思う。	女性	75～79歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

NO.	意見	性別	年代
4	今は介護を受けていないので介護保険制度の事はわかりません。高齢者が集って運動が出来る公園が、近くにほしいです(今居る町に公園が無いので、遠方にグラウンドゴルフをしに行っています)。	男性	80～84歳

・アンケートについて 45件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	もうすこし、わかりやすく書いてほしい。理解にくるしい内容が多い。	女性	80～84歳
2	このアンケートを記入した事により、介護について自分の事として考えるようになりました。以前のように近所付き合いが出来ない状況から、福祉関係の方や施設にお世話になることと思います。早目に介護の学習をするよう心がけたいと思います。	男性	70～74歳
3	今回のアンケートで介護保険や高齢者保健福祉施策等多くを知ることができました。まだ先の事だと思いましたが、将来介護のいらぬ健康な身体と精神状態を保つことの大切さを痛感することができました。	女性	70～74歳
4	質問内容で直面していない部分もあるのではっきり回答できない部分もある。	女性	80～84歳
5	アンケートを記入してみて、何にもわかっていない、知らないことが多い。何かあった時、まずどこに相談すべきか。幸い、子供達が近くに住んでいるので、すぐ連絡すれば来てくれるのですが。私自身、制度等学習していかなければと感じましたし、思っています。	女性	65～69歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・不安なことや困りごとについて 71件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	夫が認知症で週2のデイサービスへ通いながら老々介護していますが、もし私に何かあった時、夫を受け入れてもらえるところがあるか一番気がかりです。急な場合はどうすればいいか、どこへ相談すればいいかとても不安です。	女性	75～79歳
2	自動車免許証を返納後、移動手段が不便になり困ることが増えてくると思います。利用しやすい方法を考えていただきたいと思います。自立できる環境が何より大切であり望む課題です。	女性	70～74歳
3	子供のいない二人家族が高齢になると老々介護が心配。一人になって介護を必要とするときは、介護施設の充実を望みます。	男性	80～84歳
4	今後高齢者が増えていくことが予想されますが、介護施設数や特養の施設が十分確保されるか？入居者がお世話になる介護職員の方の待遇が十分であるか？やはり心配です。	男性	65～69歳
5	高齢者が増えて介護制度を使う人数も年々増えていると思います。介護保険料も年々上がると思うので、これから年金生活になっても不安です。自分では何ができるかという、自分自身で出来る範囲で健康に気を付けなるべく自分自身で、できるだけ人の手を借りず生活することができるよう努力することかと思っています。年を取るにつれて身体が衰えていくので健康上の不安は経済的なこともプラスされて大きいです。	男性	65～69歳

・バスなどの移動手段について 18件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	移動手段がない。買い物・通院に不安。特に乗り物が不便。こんな不便が解消できればと思います。	女性	80～84歳
2	車での移動が出来なくなった時、常に地区を巡回しているマイクロバスの様なものがあれば安心出来ます。バス停まで行くのも大変です。	女性	75～79歳
3	公共の交通の便が悪すぎ。バス停などがあっても、そこまで歩いたりできない。タクシー代等の補助がもう少しあってもいいのでは？	女性	80～84歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・特養や有料老人ホーム等への入居について 29件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	自宅での介護がどうしても出来なくなり施設に入らざるを得なくなった時、施設費用が高くて経済的にきつくなると思う。もっと入居の為の支援等があればいいと思うのですが…。	女性	65～69歳
2	一人暮らしは不安なので、自立型老人住宅に入居したいが、民間のホームは費用が高くて、無理なので、年金が少なくても入れる施設を作ってもらいたい。	女性	65～69歳
3	高齢化社会で介護施設の入居が順番待ちと聞いています。できるだけ元気でいたいのですが不安です。スムーズにできますよう希望します。	女性	75～79歳
4	特養を希望しても入れず、有料ホームに入所すると、毎月の支払いが続かなくなる。今後一人でも生活していくことができるように考えてほしい。	男性	70～74歳
5	特別養護老人ホームの入所が難しい状況と思われます(順番待ち)。民間の施設は高額の為、入所できない方々が多いのではないかと思います。介護保険施設(低額な)増設を希望します。	男性	70～74歳

・行政への要望・意見について 139件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護保険制度も高齢者保健福祉施策も、考え動かしていくのは「人」ですので、私達高齢者はもとより担当者や中心になる方々が理解、熱意、やりがいを持っていただくことで、その質が異なってくると思います。高齢者の立場になって想像を働かせてお仕事して下さる方が増えていくよう願っています。	女性	65～69歳
2	介護施設に入りたいと思っているので、どのような方法で入れるか知りたい。役所に行って聞くことが出来れば一番ありがたい。	女性	65～69歳
3	介護保険料の使い道と収支状況を公開し、予防等の充実に活用してほしい。	男性	75～79歳
4	納めた介護保険料や市民税が福祉のためにきちんと使われることを望みます。	女性	80～84歳
5	年金生活なので、毎年年金が減っているの少しはアップして頂けたらありがたいです。本当に何でも値上げなので生活が苦しいです。よろしくお願い致します。	女性	70～74歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

NO.	意見	性別	年代
6	高齢者に向けた制度に関して、自分から進んで知る機会を持つことは少ないので、市から積極的に訪問するとか資料などを送付してくれるとかがあれば助かります。	女性	80～84歳

・その他 102件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	今働いているのでよく解らないが、できる限り施設に入居することなく暮らしたい。そのためにも地域と密接な関係を持っていかなければならないと思っています。	女性	65～69歳
2	今のところ不安や心配がないため、特に意見や要望はありません。自分は認知症にならないようにしたい。	男性	70～74歳
3	在宅診療クリニックや往診して下さる医療機関が増えてほしい。	女性	85～89歳
4	地域包括支援センターの担当者の方々には親切にご指導頂き、感謝いたしております。今後ともよろしく願い申し上げます。	女性	75～79歳
5	夫婦とも後期高齢者になり、病気がちな妻の介護をしながら、何とか介護のお世話にならず生活しております。市の介護制度はよくわかりませんが、市報等に目を通したいと思います。これからお世話になると思います。よろしく願いいたします。	男性	85～89歳

2. 自由意見 要介護認定者(65歳以上)

最後に、介護保険制度や本市の高齢者保健福祉施策に対するご意見やご要望など、何かございましたら自由にご記入ください。

・介護保険制度について 39件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	ケアマネジャーが介護保険制度の利用内容を詳しく説明して、相手の立場になり寄り添う形で対応して頂きたい。	男性	65～69歳
2	介護保険制度をどのように利用してよいか、仕組みがよくわからない。家族が介護認定を受けて初めて知ることばかり。でも申請しても、認定等許可が下りるのがすごく時間・日程がかかる。もっと迅速にできないものか。	男性	65～69歳
3	介護保険、高齢者保健制度等は大変難しいです。簡単に分かるマニュアル等が必要です。	女性	70～74歳
4	現在も同様な状況にありますが、ますます高齢、少子化の加速する将来においても施設はもとより、職員の確保、充実が図られるべきだと思いますが、それには職員の待遇改善が何よりかと思えます。福祉の充実はすべからず、それに従事する職員関係者の充実がなによりと思えます。福祉の充実には人の支えが基になります。福祉の充実＝人の充実です。	女性	70～74歳
5	特養へ入所する際に予約し、数年待たないと入所できないという課題について、入所したい時に入れるような体制を作ってほしい。入所を待つ間、家族や本人への負担が重く、それが虐待に繋がっていく原因なので、そこをどうにかしてほしいです。他県で実施している取り組みを参考にして下さい。改善するために介護士への優遇措置等を実施し、未来の介護士が増加する様に教育や待遇面を強化して下さい。	男性	75～79歳

・介護保険料、医療費など経済的負担について 20件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護保険料、後期高齢者医療保険料が非常に高い。気軽に医療や介護が受けられるようにして欲しいです。	男性	75～79歳
2	現在、在宅酸素療法をしているのだが、月々の健康保険料が高額であるため生活が苦しい。このままで行くと将来支払いが出来なくなる不安がある。	男性	65～69歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

NO.	意見	性別	年代
3	医療費、介護費の負担が3割なのでできるだけ通院等費用の軽減が望ましい。負担の所得ぎりぎりの者にとっては病気になってもできるだけ病院へはかからなくなり、かえって症状が悪くなる。	男性	85歳以上
4	年金で生活している高齢者にとって年金が減ったり介護保険料等が増えたりすると生活が苦しくなり、なかなか施設に入れなくなるのもっと考えてほしい。	男性	70～74歳

・介護保険サービス・在宅福祉サービスについて 54件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	要介護1ですが、1ヶ月のオムツ代が多くて大変です。要介護3以上でないと支援されませんと言われました。何とか要介護1の人にも支援が少しでもあれば助かります。	男性	70～74歳
2	当方は、ケアマネジャーさんや介護事業所の各皆様のおかげで、体調に応じた対策をとって頂き、温かく見守って頂けていると感謝しております。	男性	70～74歳
3	介護サービスを受ける際の手続きが煩雑すぎる。本人ではなく家族に迷惑をかけてしまうので、ケアマネジャーさんをお願いしたら一括で手続き出来るようにしてほしい。	男性	80～84歳
4	訪問入浴サービスの事業所を増やしてほしい。重度訪問介護の事業所の増加を望みます。	男性	70～74歳
5	認知症になっても自宅で過ごせるように支援してほしい。施設や入院はしたくない！お金が無いのでよろしく願いいたします。	女性	70～74歳

・介護予防について 8件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	高齢者に人と接する為に、外出の機会をもっと拡充する事。	男性	65～69歳
2	認知症になる前の講座とかを充実させて欲しい。	男性	70～74歳
3	予防が大切だと思うので発病する前に運動や病気、健康の講習会等参加出来る場所を開いてほしいです。よろしく願いします。	女性	65～69歳

・アンケートについて 57件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	看取りに入っている家族に健康に過ごすアンケートを書かせるのは酷と思う。最初の設問で本人意志記入出来ないなら以下不問で良いのではないか。	女性	85歳以上

● 第5章 資料 自由意見集 ●

NO.	意見	性別	年代
2	本人がすでに認知症、介護5です。本人の気持ちでアンケートに答えるには限界があります。すでに認知症かどうか質問し、その次の質問からは介護側の家族等にあてた質問に変えるとかした方が答えやすいです。ご一考を！！	女性	70～74歳
3	現在主人はグループホームに入居しています。同居したくても無理な人へのアンケートではないと思います。状態を把握してアンケートを調査して欲しいです。私(妻)自身、地域包括支援センターには何回も電話で主人の相談をさせて頂きました。	男性	70～74歳
4	介護施設入居中の本人には答えづらい内容であった。アンケートの為に面談を予約するのは、家族の都合や面談時間の短さなどほぼ不可能である。認知症の進行により意思確認ができない為、答えられない質問が多くあった。家族が押し量って答える部分もあった。	女性	85歳以上
5	要介護のレベルの高い人はお酒を飲みたくても飲めない。タバコを吸いたくても吸えない。そういう選択肢がなさすぎる。経管栄養なので家族と一緒に食べられないがそういう項目がない。	男性	65～69歳

・不安なことや困りごとについて 74件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	現在、介護施設でのデイケア、ショートステイを利用して在宅介護で生活していますが、要介護4なので、いろいろな病気で病院へ通うのが少し大変です。	男性	70～74歳
2	介護老人保健施設は短い期間で出さないで欲しいです。慣れてきたのでずっと入所していただきたいが、すぐ出なくてはならなくて、入所者も家族も大変困っています。	女性	85歳以上
3	コロナで訪問介護ヘルパーが来られなくなり、家族の負担が増えてしまいました。お薬の管理が自分でできない高齢者に、お弁当配達の方や毎日来てくれるシステムで見守り出来たら有難いです。地域の民生委員さんにも訪問に来てもらいたいです。	女性	70～74歳
4	高齢者になり、車の運転ができなくなることが非常に不安です。まして、主人が認知症になってから、病院に行くにしても全て家の事も一人でしなければ日常が回らなくなり、体力の限界を感じます。	男性	70～74歳
5	認知症高齢者の1人暮らしなので生活全体で不安があります。施設利用なども手続きを簡単にできればと思います。	女性	75～79歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・バスなどの移動手段について 25件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	外出の移動はタクシーのみです。トイレの失敗をしました。タクシー利用を断られて困った事がありました。こんな時自宅まで送ってもらえるシステムがあったなら安心して出かけられます。	男性	70～74歳
2	自動車の免許証を昨年返納して交通の便が悪く、生きがいが無い。何らかの方法で生活出来たら最高ですが…。	男性	85歳以上
3	現在の制度もとてもありがたいのですが、やはり移動に困る事が多々あります。何歳以上等の条件付きで、タクシーの割引制度があればと思っています。他の地域では、割引があるところもあるようです。今後、ご検討頂けたら嬉しいです。宜しくお願い致します。	男性	75～79歳
4	脳梗塞の後遺症で半側空間無視になっているため、自由に安心して外出できません。障害者手帳ももらえないため、タクシー利用も費用がかかります。家族がお休みの日、もしくはお休みをとらなければ目的地へ行けません。収入がないので経済的にも苦しくなるばかりです。柔軟な対応をお願いしたいです。	女性	70～74歳

・特養や有料老人ホーム等への入居について 27件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	特別養護老人ホームの待ち人数が100人以上の所が多く、サービス付高齢者向け住宅に入所するしか無いので、経済的な負担が多く、年金だけでは生活していけない。	男性	85歳以上
2	介護保険制度があり助かっています。ただ施設入所費用が負担になっており、いつまで頑張れるのか想像つきません。ただ、介護してくださっている職員さんには大変感謝しています。	男性	65～69歳
3	現在、特養の施設に入所し大変よく介護を受けています。入所するまでに一年位かかりました。もう少し早く入所できるように努めて頂きたいと思います。	女性	85歳以上

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・行政への要望・意見について 123件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	特別養護老人ホームや認知症対応グループホームなどのパンフレットや資料を市役所の担当窓口に充実して置いて欲しい。市のホームページから調べたり探したりもできるが、さらに施設のホームページへいって、プリントアウトしなければならないので、全施設は無理でも、できるだけ多く置いてくれたらうれしい。高松市からの支援、感謝しています。ありがとうございます。	女性	65～69歳
2	高松市の社会資源は充実していると思います。財源や人材確保できるよう、法改正で事業所閉鎖となるような苦しい状況を打開して欲しい。	男性	70～74歳
3	今後とも高齢者が安心して生活できる地域社会をつくってもらいたいです。	女性	75～79歳
4	家族等の介護をする立場になった時の為に、介護の仕方等の講習会を実施してほしい。	女性	75～79歳

・その他 65件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	介護福祉士の方や福祉用具の人達に助けられて感謝しています。ありがとうございます。	女性	75～79歳
2	地域包括支援センターへのアクセスの充実。	男性	80～84歳
3	他人のことと思わないで自分のことだと思って何事にもしてほしいと思います。	女性	85歳以上
4	何事に対しても安心して生活できる所がほしい。	男性	75～79歳

3. 自由意見 一般市民(40歳以上65歳未満)

最後に、介護保険制度や本市の高齢者保健福祉施策に対するご意見やご要望など、何かございましたら自由にご記入ください。

・介護保険制度について 10件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	平均寿命(余命)の伸びもあり、多くの方が介護が必要になると思われます。とても重要な課題で具体的な対策が求められます。何卒効果的な施策を宜しく願います。	男性	40～44歳
2	具体的に自身や身内の介護について考えた事がなかったので、必要になった時の情報に無関心だったと思う。介護等が必要になった時に、すべき事やできる事をどこに相談すべきか等、チャート式で一覧できる表があればわかりやすいと思う。介護予防についても考えていなかったもので、日常に取り入れていきたい。市としていろいろ検討して対策している事をもっと知りたい。	女性	55～59歳

・介護保険料、医療費など経済的負担について 8件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	自分が病気や認知症になった時、家族に迷惑をかけたくないのが一番の気持ちです。それに加え、金銭的なことも気がかりです。難しい問題だと思いますが、高松市で幸せな人生が過ごせるよう制度を整えてほしいです。	女性	40～44歳
2	少ない年金で介護施設利用が出来れば良い。子供には負担を絶対かけたくない。	男性	55～59歳

・介護保険サービス・在宅福祉サービスについて 6件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	母の介護をしている時、介護認定に来られる方の個人差が大きくびっくりしました。しっかりみられる方や適当感が見える方等さまざまでした。手続きも大変で老々介護になると手続きするのも誰かの助けが必要だなあと感じました。	男性	60～64歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・介護予防について 5件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	同居家族がいなくても近い将来のことを話し合い、どうしたいか、現実的にはどうするか延命のことなど話し合っておく必要があると思う。特に高松市は子供世代が都会に出て、老夫婦で暮らしている世帯も多いように思う。介護などの申請や必要性が結局病気になり、受診してからしか進まないため、もう少し予防の段階で介入できるように整えてもらいたい。	女性	40～44歳

・アンケートについて 8件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	用語解説が不足しています。専門用語が多すぎです。もっと市民目線を望みます。	男性	55～59歳
2	親の介護が近くやってくるとは思いますが、このアンケートを見て改めて考えるいい機会になりました。みんながこのことについて明るく話し合える場所があるといいなあと思いました。一度に多くは無理なので、今回の項目を1つずつ提示していく方法なら考えやすいのではないかと思います。	女性	50～54歳

・不安なことや困りごとについて 10件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	本当に必要な人に情報が届かない。相談する事ができない等があるように思います。地域の関わりが今後大切なのではないかと思います。	女性	50～54歳
2	まだ自分自身には今すぐに何かということはないけれども、身近に80才以上の者が居り、介護保険のことなど知識がないもので不安もある。誰にでも、わかりやすく安心して何でも相談できるといいのですが、プライバシー問題等、どこまで話をして良いのか不明なところもあり、一歩足が出ないのではないのだろうか。もっと、安心できると良いのですが。	男性	55～59歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・バスなどの移動手段について 5件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	地域包括支援センターが近くにある地域ない地域があるので、各コミセンに支援員さんや相談員さん、ケアマネさんが在駐できるとよいと思う。車がないと不便だが、高齢者の事故も不安なので、コミュニティバスなど無料で利用できる仕組みがあるとよいと思う。	男性	40～44歳
2	今住んでいる所にはバスが通っておらず、高齢者には病院や買い物で困っています。山間部の市町村のように市営バス等を走らせてください。	男性	55～59歳

・特養や有料老人ホーム等への入居について 3件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	施設に低料金で入れるようにしてほしい。	男性	55～59歳

・行政への要望・意見について 35件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	病気や介護が必要になった時、どのようなサービス、補助が受けられるのか自分で調べて申請しないと教えてくれない。病気になって高額な料金がかかったりする時、申請したら軽減されるとか知らないなので、ちゃんと教えてくれるようなシステムを作ってください。	男性	45～49歳
2	健康状態に関わらず、一定年齢で訪問相談など、地域別相談(コミュニティセンター、集会場)を年に1度位行ってくれると情報活用しやすいと思う(乳幼児の出産の時のように、歯の検診、眼科検診等、診察補助券があると利用しやすいと思う)。	女性	55～59歳
3	介護保険制度や高齢者保健福祉に関する行政、ご苦労様です。誰もがいずれはお世話になることであり、引き続き、施策の充実をお願いします。一方で、介護保険制度や高齢者保健福祉施策の実施については、財源の確保が大きな課題であると思います。活力ある社会があつてこそ高齢者保健福祉ではないでしょうか。活力ある高松市になるよう、思い切った行政をお願いします。特に少子化対策については喫緊の重大な課題で、何より優先して取り組むべき課題であると思います。	男性	60～64歳
4	介護の制度のことを知らずに苦労されている方もいる様なので、平等に支援を受けられれば良いなと思います。	女性	55～59歳

● 第5章 資料 自由意見集 ●

・その他 14件(以下抜粋)

NO.	意見	性別	年代
1	今、私たち夫婦にとってはすぐに必要はないと思いますが、親を施設に預けて介護補助をしているので、勉強したいとは思っています。	女性	60～64歳
2	身内に介護をしてもらえない人が困らないような施設が増えて、生きていてもいいんだと思えるような社会があるといい。気持ちが安らいで生活できれば、老人になる事を恐れなくてすむのではないかと思う。	男性	60～64歳
3	これから自身が介護される状態になった場合の事も考えなければいけないと思いました。	男性	50～54歳

第6章 資料 判定結果

1. 評価項目別の判定結果

・判定方法(1)～(7)まで

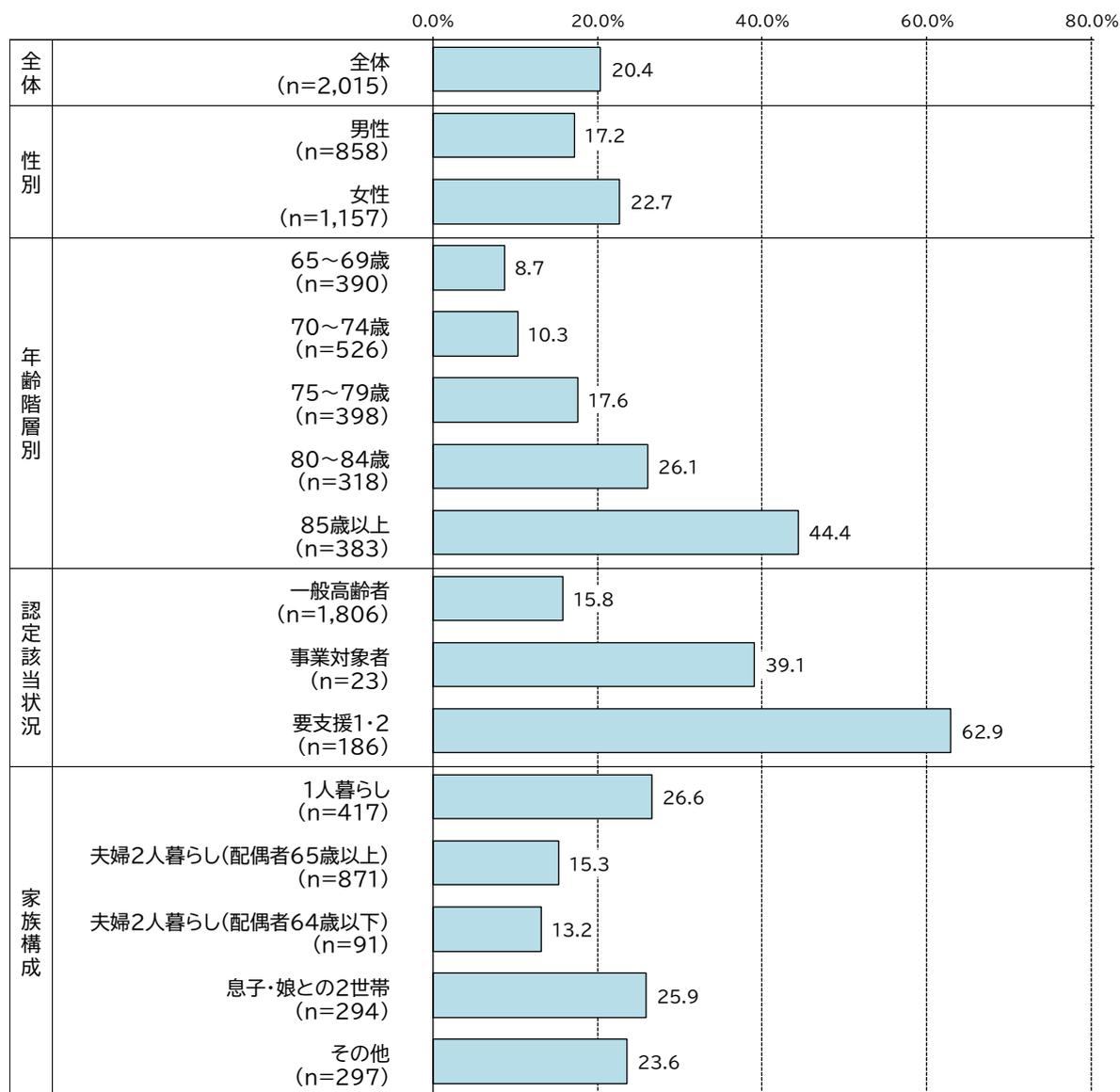
	問NO.	質問項目	該当する選択肢
運動器の機能低下	問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」
	問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」
	問2-3	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」
	問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」
	問2-5	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 or 「2. やや不安である」
リスク 転倒	問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」
傾向 閉じこもり	問2-6	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 or 「2. 週1回」
の傾向 低栄養	問3-1	身長、体重	BMI<18.5
	問3-7	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」
の低下 口腔機能	問3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」
	問3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」
	問3-4	口の渇きが気になりますか	「1. はい」
の低下 機能認知	問4-1	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」
うつ傾向	問7-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」
	問7-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」

■判定方法・・・該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点、または該当選択肢を回答した場合

- (1)運動器の機能低下・・・該当:3点以上
- (2)転倒リスク・・・リスクあり:該当選択肢を回答した場合
- (3)閉じこもり傾向・・・リスクあり:該当選択肢を回答した場合
- (4)低栄養の傾向・・・該当:2点
- (5)口腔機能の低下・・・該当:2点以上
- (6)認知機能の低下・・・該当:該当選択肢を回答した場合
- (7)うつ傾向・・・リスクあり:1点以上

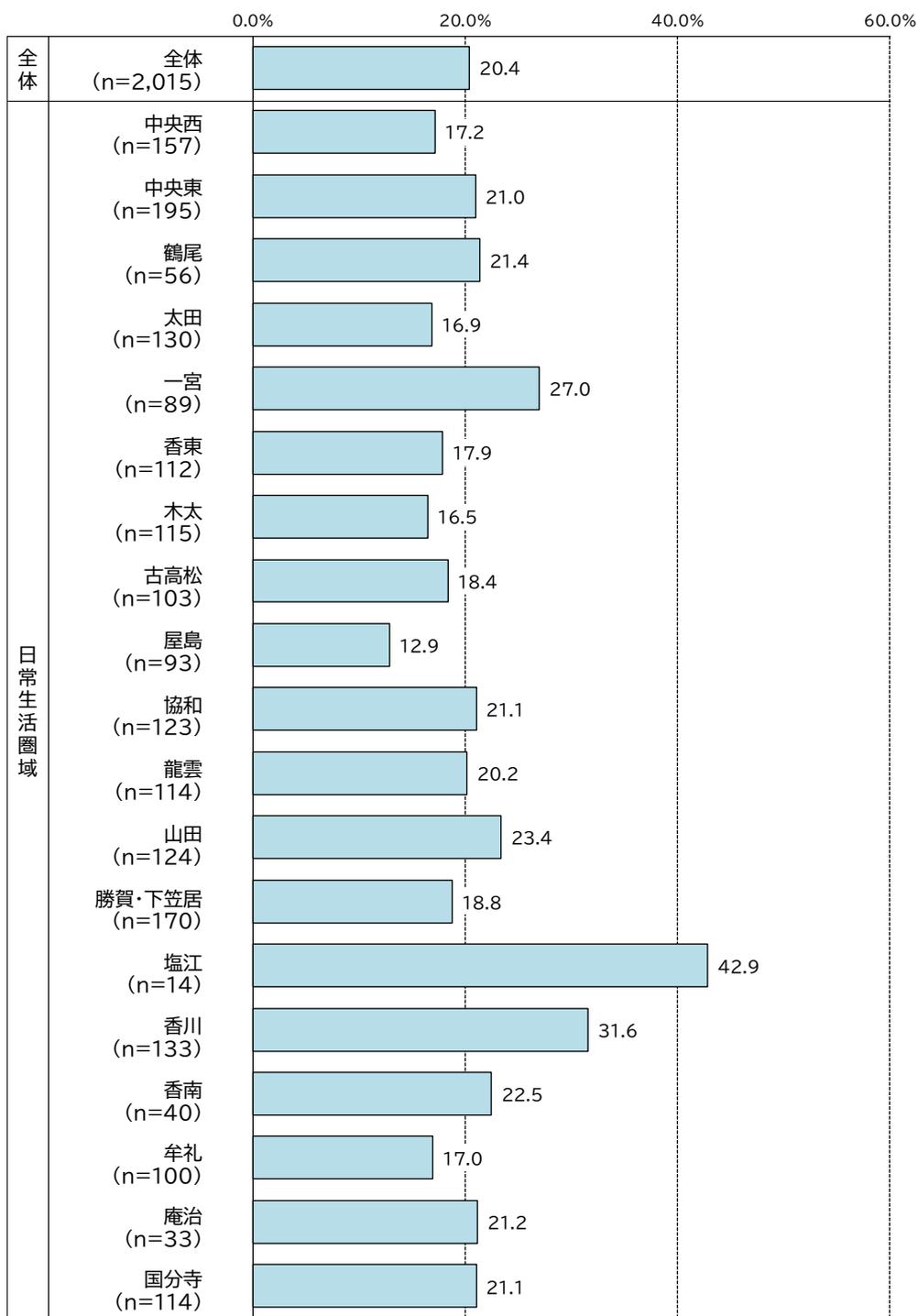
(1)運動器の機能低下

図表288 運動器の機能低下の該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 運動器の機能低下の該当者の割合は、全体では20.4%となっています。
- 性別にみると、「女性」22.7%が「男性」17.2%を5.5ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、年齢があがるにつれて、該当者の割合が上昇していることがわかります。
- 認定該当状況別にみると、「一般高齢者」は15.8%、「事業対象者」は39.1%、「要支援1・2」は62.9%と段階的に該当者の割合が高くなっています。
- 家族構成別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」15.3%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」13.2%に比べて、「1人暮らし」26.6%、「息子・娘との2世帯」25.9%の該当者の割合が高くなっています。

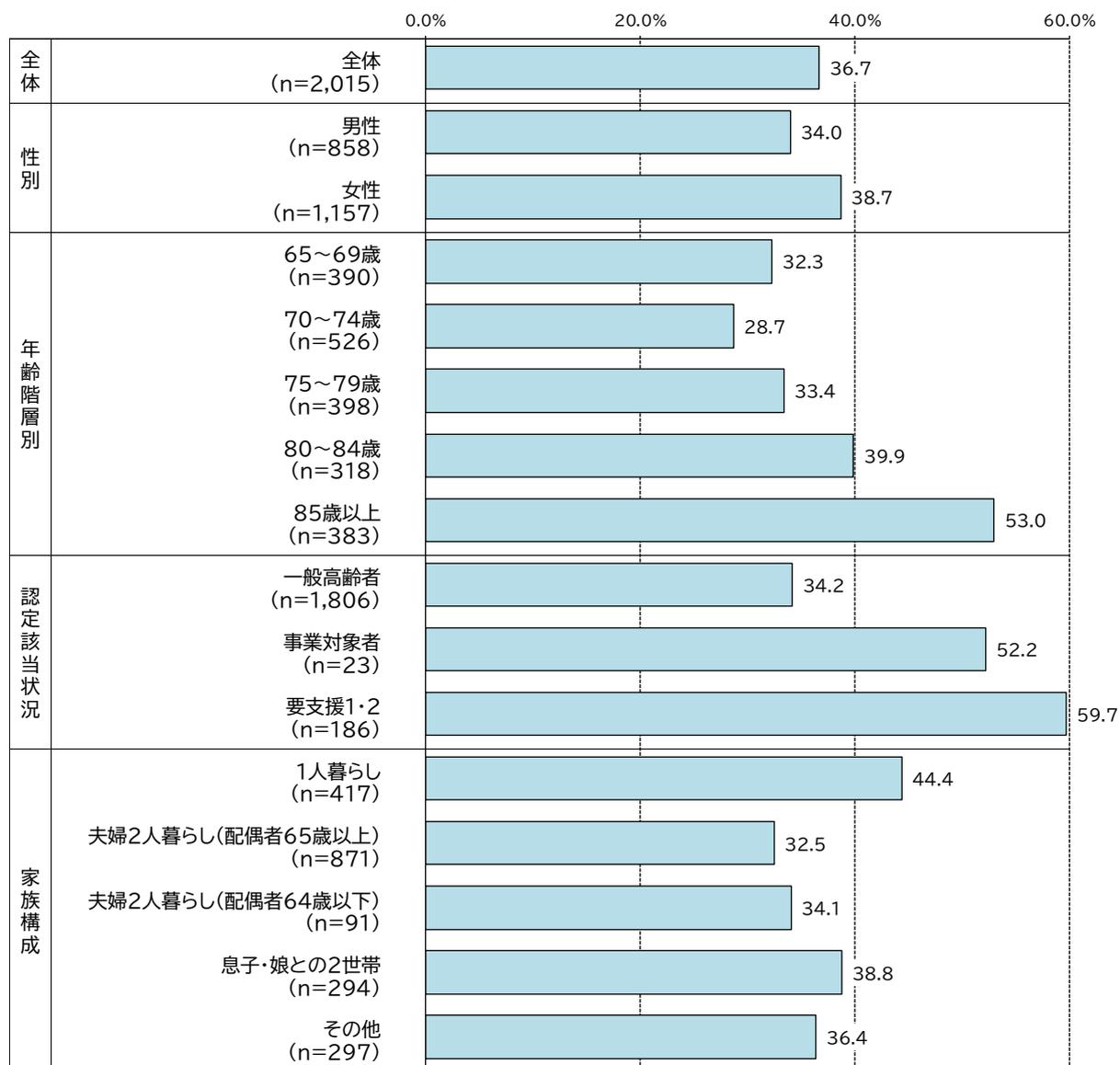
図表289 運動器の機能の低下の該当者の割合(日常生活圏域別)



●運動器の機能低下の該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「塩江」の該当者の割合が最も高く、42.9%となっています。次いで、「香川」31.6%、「一宮」27.0%と続いています。

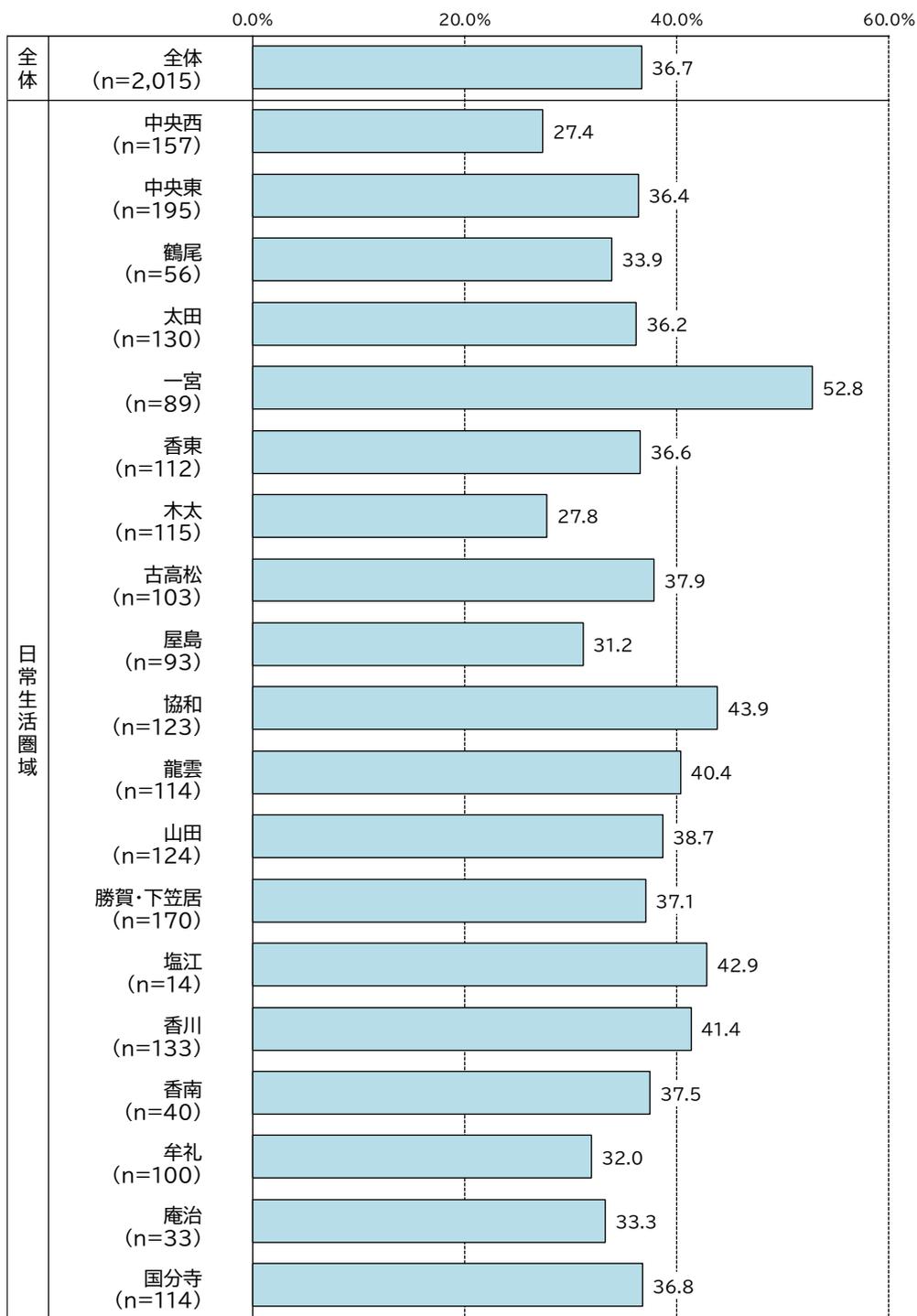
(2) 転倒リスク

図表290 転倒リスクの該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 転倒リスク該当者の割合は、全体では36.7%となっています。
- 性別にみると、「女性」38.7%が「男性」34.0%を4.7ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「70～74歳」以上は年齢があがるにつれて、該当者の割合が上昇していることがわかります。
- 認定該当状況別にみると、「一般高齢者」は34.2%、「事業対象者」は52.2%、「要支援1・2」は59.7%と段階的に該当者の割合が高くなっています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」の該当者の割合が44.4%となっており、他の家族構成に比べて高くなっています。

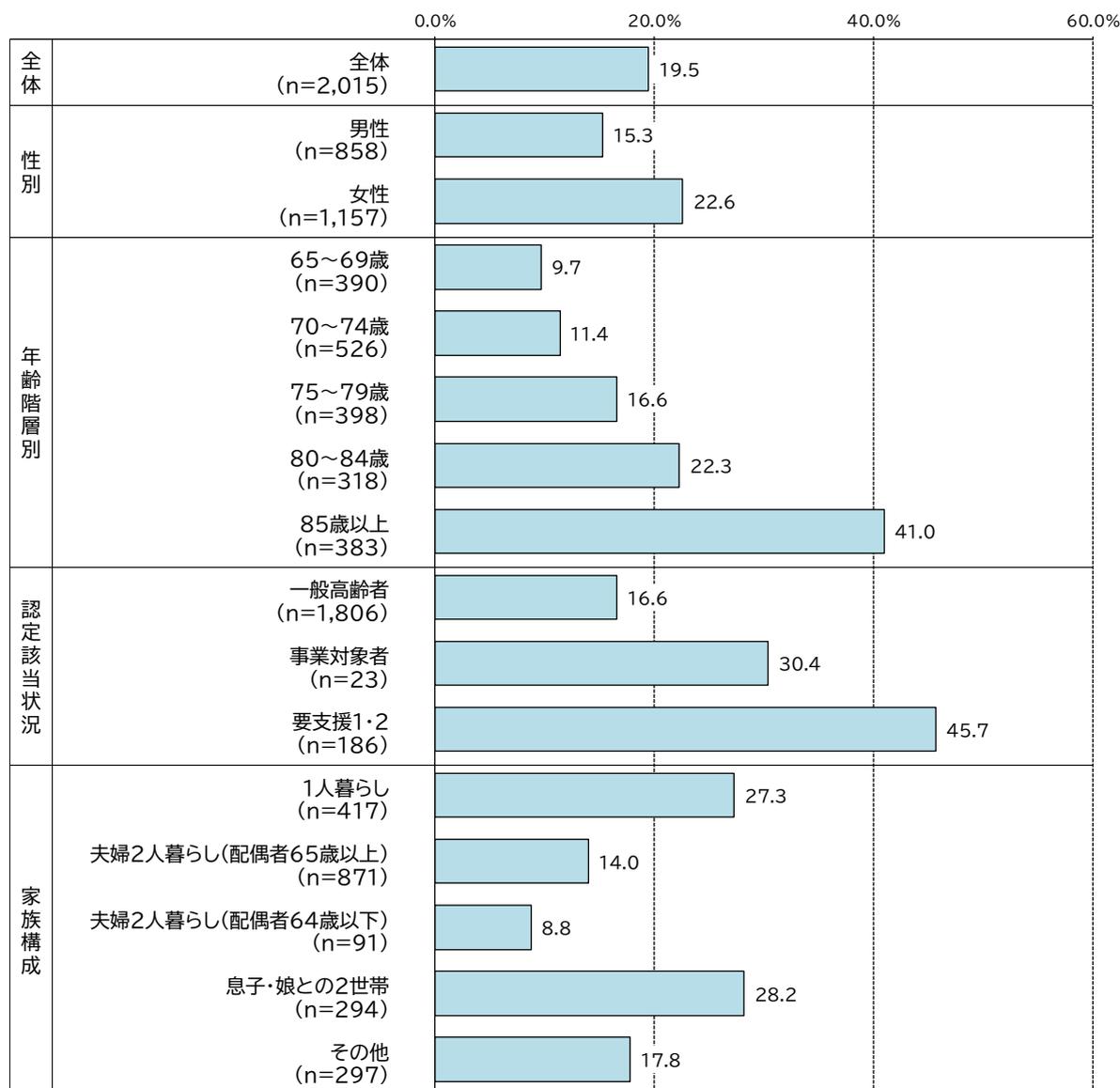
図表291 転倒リスクの該当者の割合(日常生活圏域別)



●転倒リスクの該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「一宮」の該当者の割合が最も高く、52.8%となっています。次いで、「協和」43.9%、「塩江」42.9%と続いています。

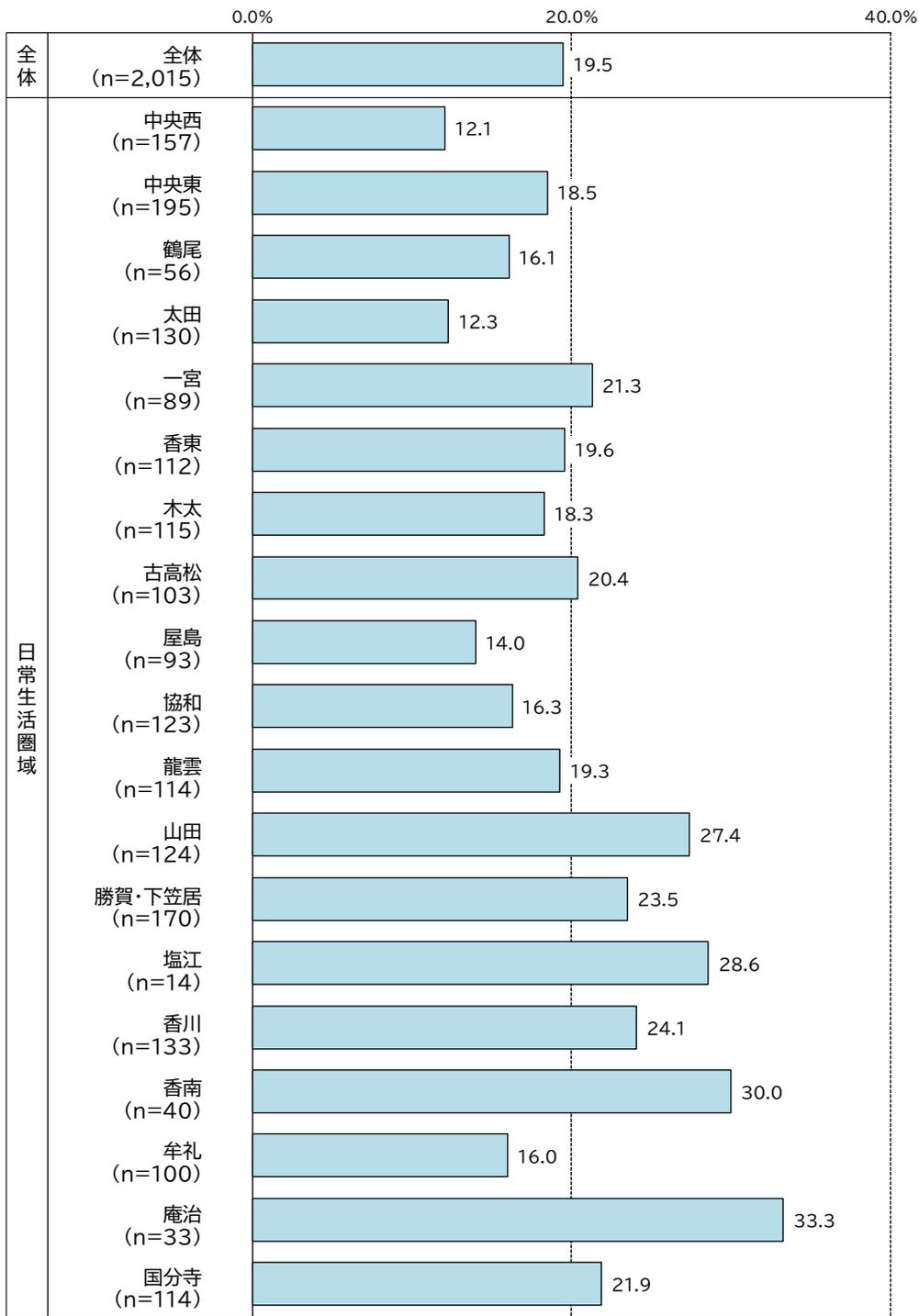
(3)閉じこもり傾向

図表292 閉じこもり傾向の該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 閉じこもり傾向の該当者の割合は、全体では19.5%となっています。
- 性別にみると、「女性」22.6%が「男性」15.3%を7.3ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、年齢があがるにつれて、該当者の割合が上昇していることがわかります。
- 認定該当状況別にみると、「要支援1・2」の該当者の割合は45.7%となっており、「事業対象者」30.4%、「一般高齢者」16.6%に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「息子・娘との2世帯」は28.2%、「1人暮らし」は27.3%となっており、他の家族構成に比べて高くなっています。

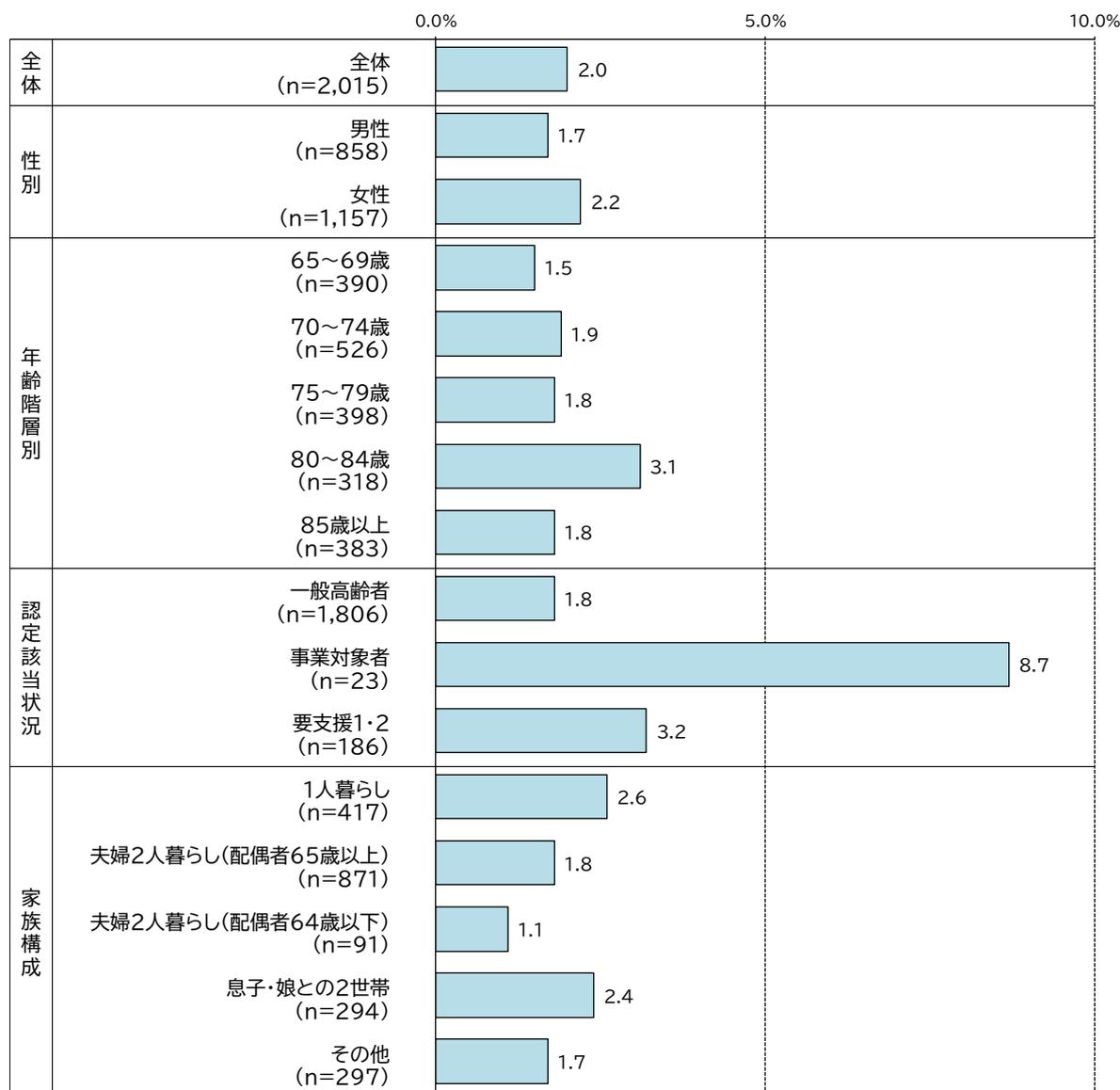
図表293 閉じこもり傾向の該当者の割合(日常生活圏域別)



●閉じこもり傾向の該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「庵治」の該当者の割合が最も高く、33.3%となっています。次いで、「香南」30.0%、「塩江」28.6%と続いています。

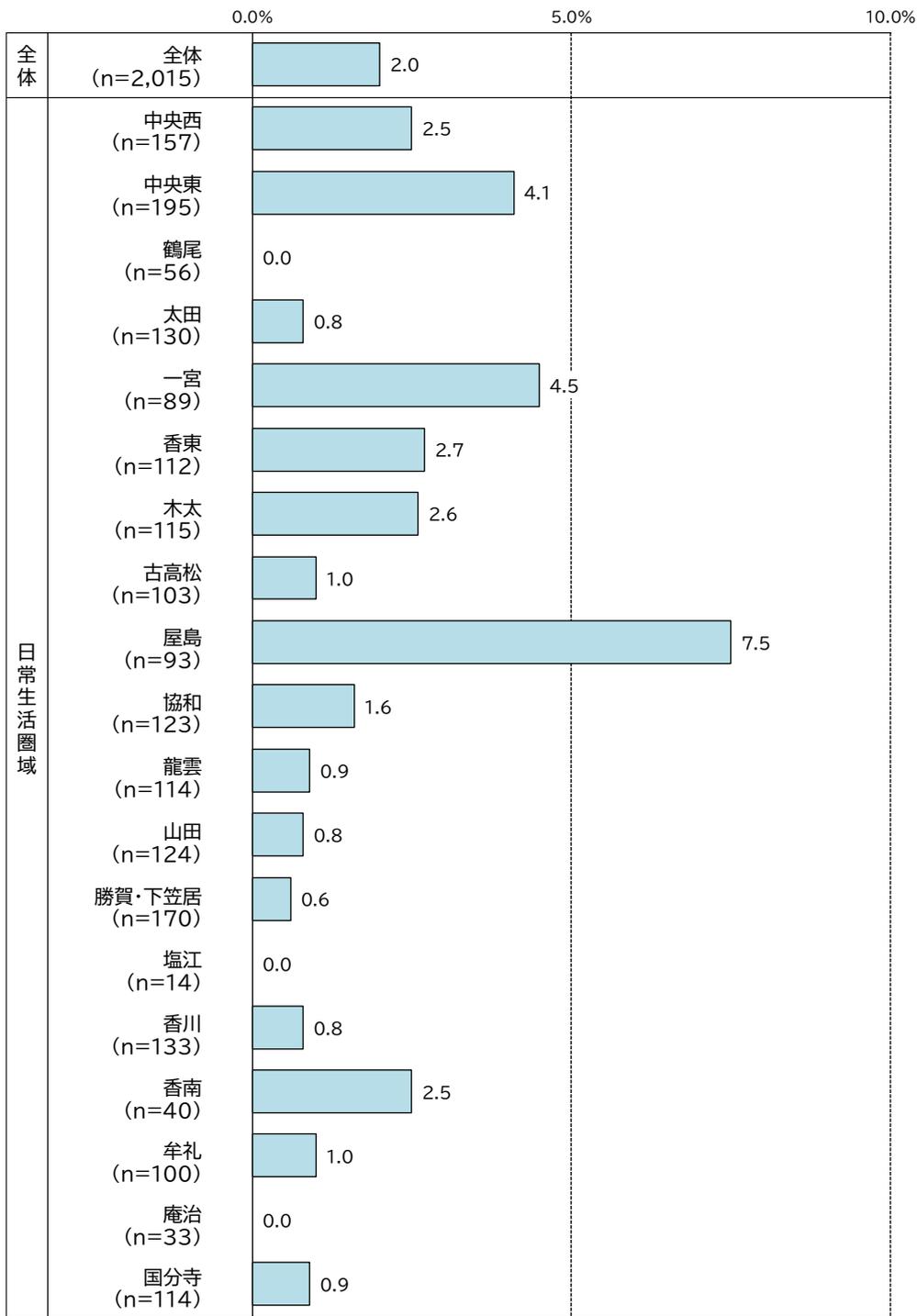
(4)低栄養の傾向

図表294 低栄養の傾向の該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 低栄養の傾向の該当者の割合は、全体では2.0%となっています。
- 性別にみると、「女性」2.2%が「男性」1.7%を0.5ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「80～84歳」の該当者の割合が最も高く、3.1%となっています。
- 認定該当状況別にみると、「事業対象者」の該当者の割合が8.7%となっており、他の認定該当状況に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」の該当者の割合が最も高く、2.6%となっています。

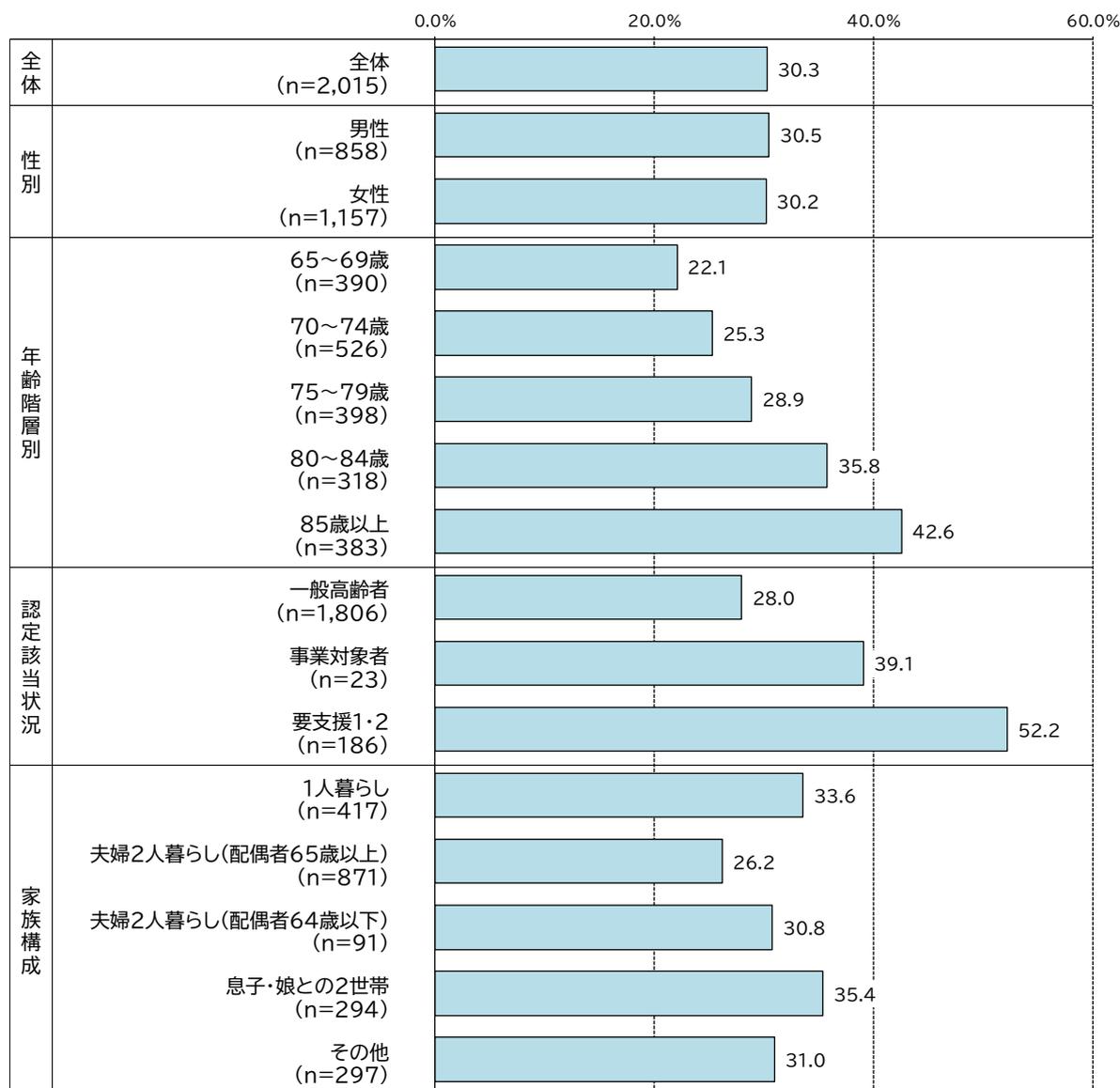
図表295 低栄養の傾向の該当者の割合(日常生活圏域別)



●低栄養の傾向の該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「屋島」の該当者の割合が最も高く、7.5%となっています。次いで、「一宮」4.5%、「中央東」4.1%と続いています。

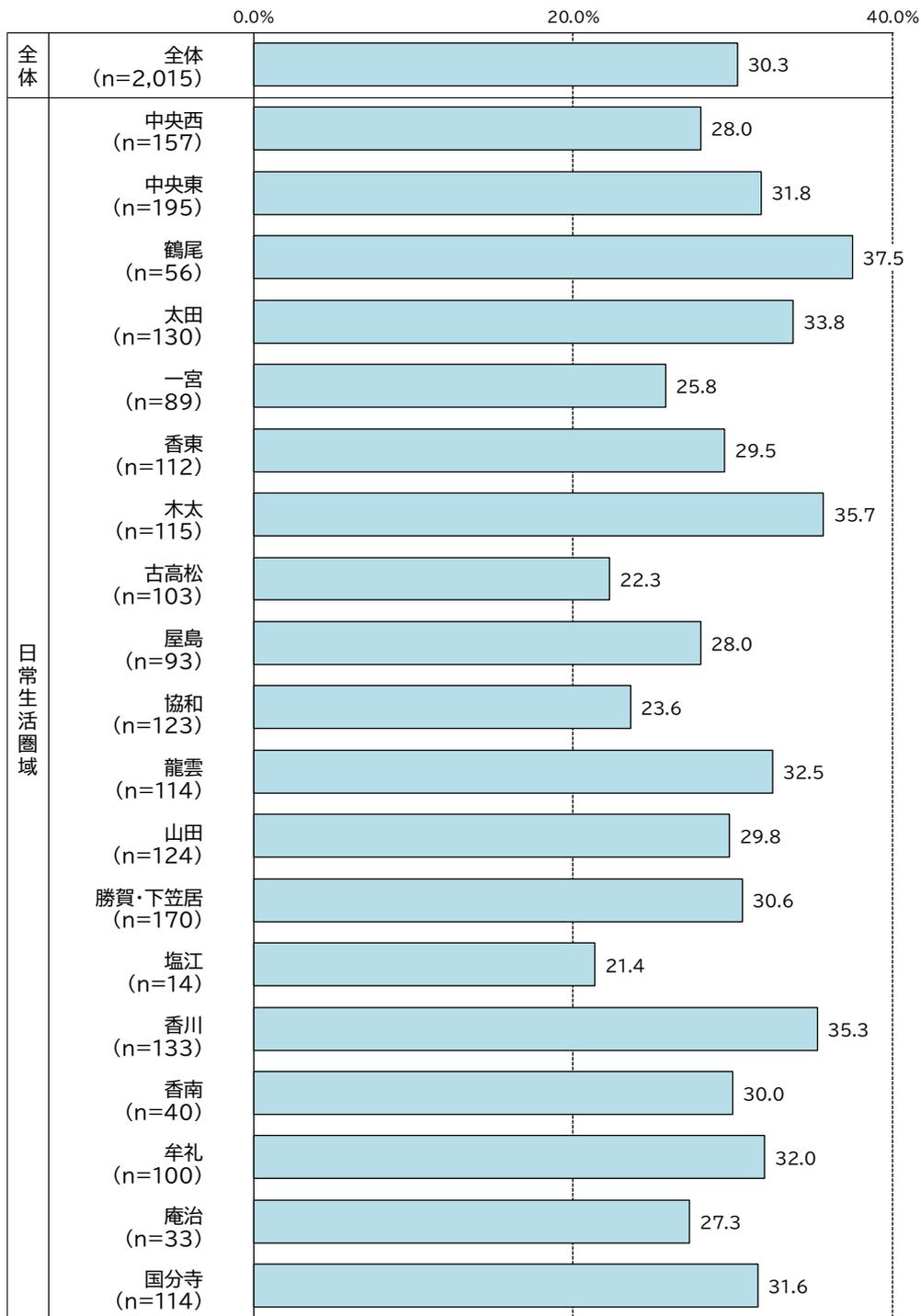
(5)口腔機能の低下

図表296 口腔機能の低下の該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 口腔機能の低下の該当者の割合は、全体では30.3%となっています。
- 性別にみると、「男性」30.5%が「女性」30.2%を0.3ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」の該当者の割合が42.6%となっており、その他の年齢に比べて高くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「要支援1・2」の該当者の割合は52.2%となっており、「事業対象者」39.1%、「一般高齢者」28.0%に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「息子・娘との2世帯」の該当者の割合が最も高く、35.4%となっています。

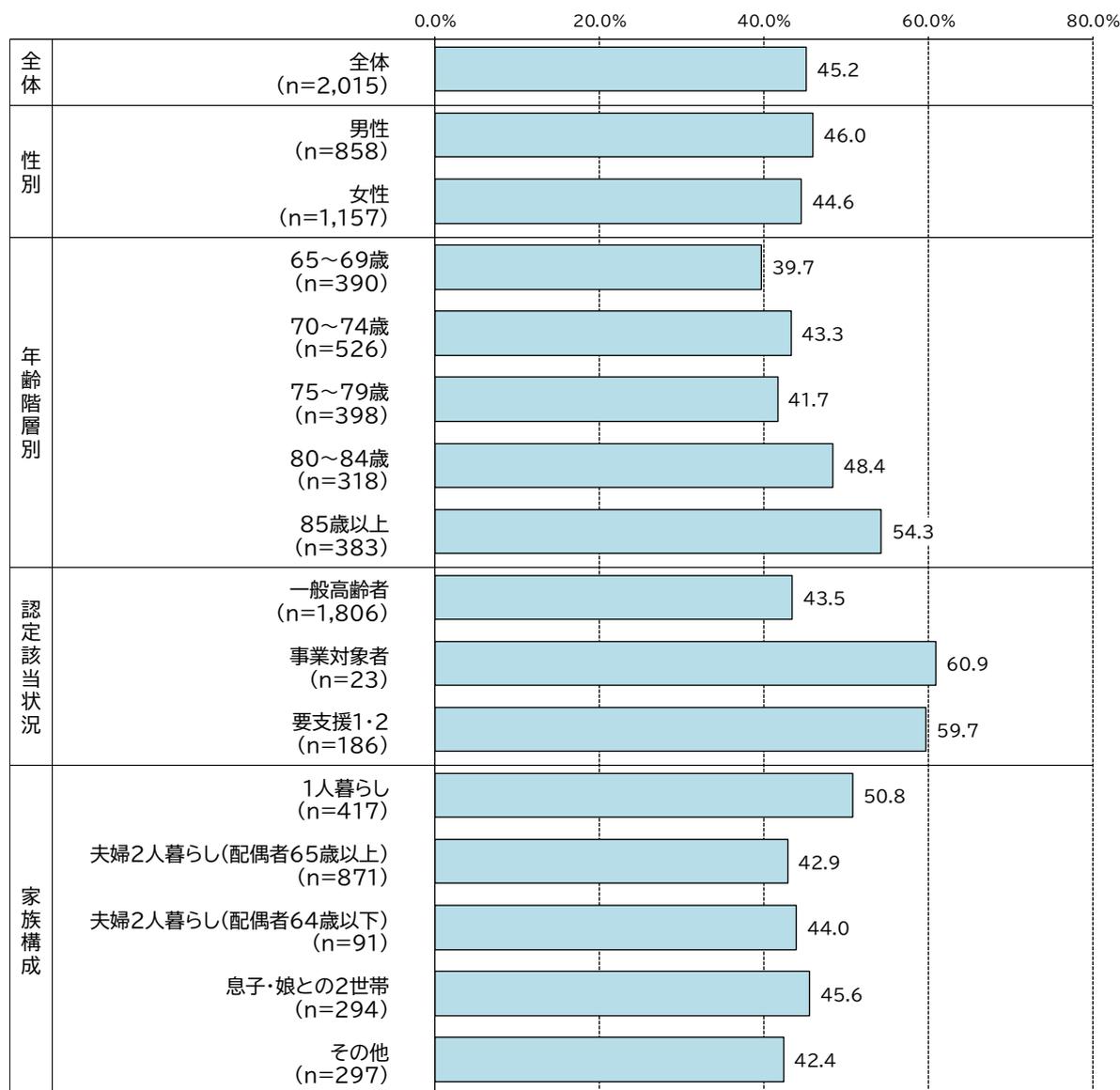
図表297 口腔機能の低下の該当者の割合(日常生活圏域別)



●口腔機能の低下の該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「鶴尾」の該当者の割合が最も高く、37.5%となっています。次いで、「木太」35.7%、「香川」35.3%と続いています。

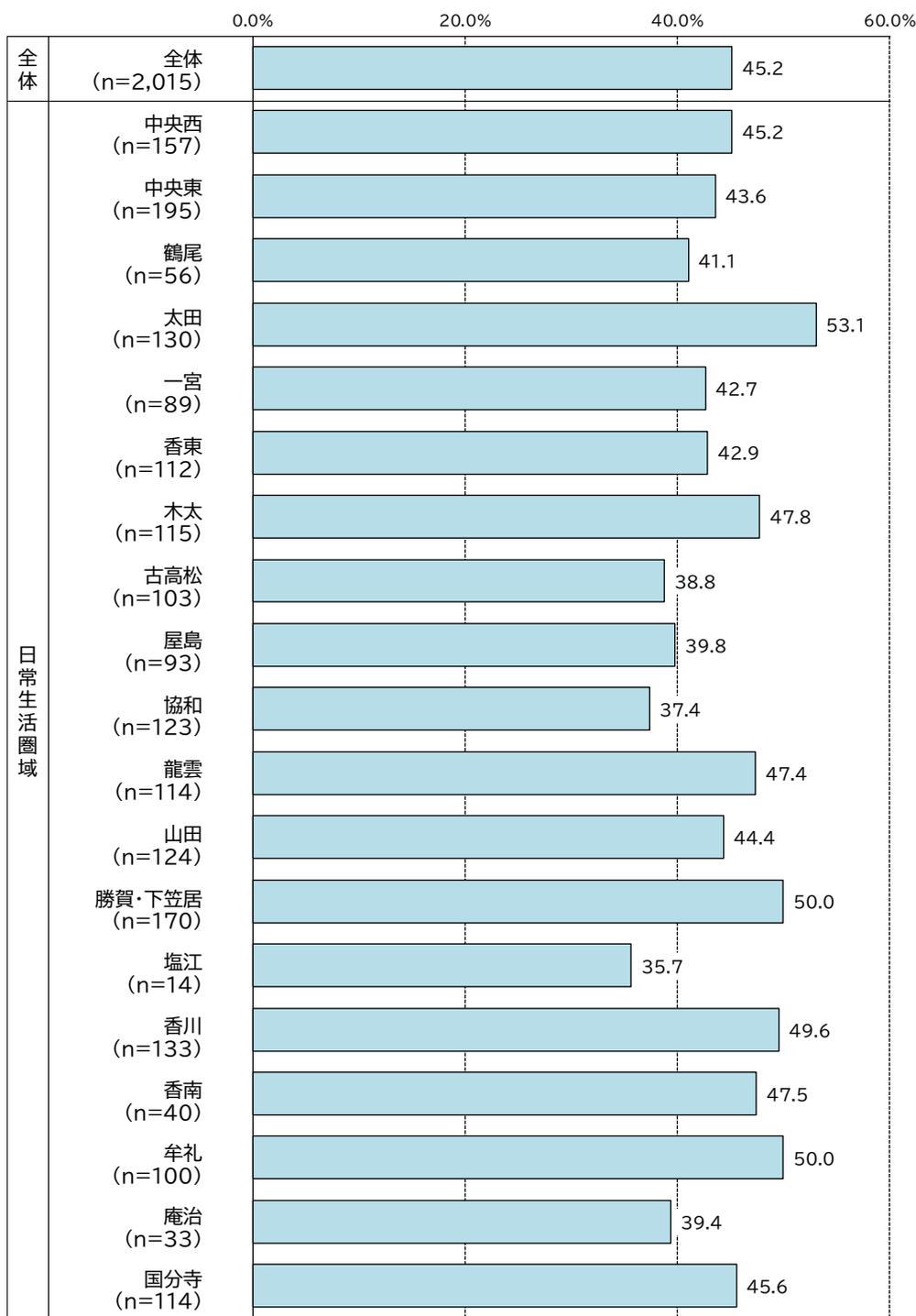
(6) 認知機能の低下

図表298 認知機能の低下の該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 認知機能の低下の該当者の割合は、全体では45.2%となっています。
- 性別にみると、「男性」46.0%が「女性」44.6%を1.4ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」の該当者の割合が54.3%となっており、その他の年齢に比べて高くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「事業対象者」60.9%、「要支援1・2」59.7%となっており、「一般高齢者」43.5%に比べて高くなっています。
- 家族構成別にみると、「1人暮らし」の該当者の割合が最も高く、50.8%となっています。

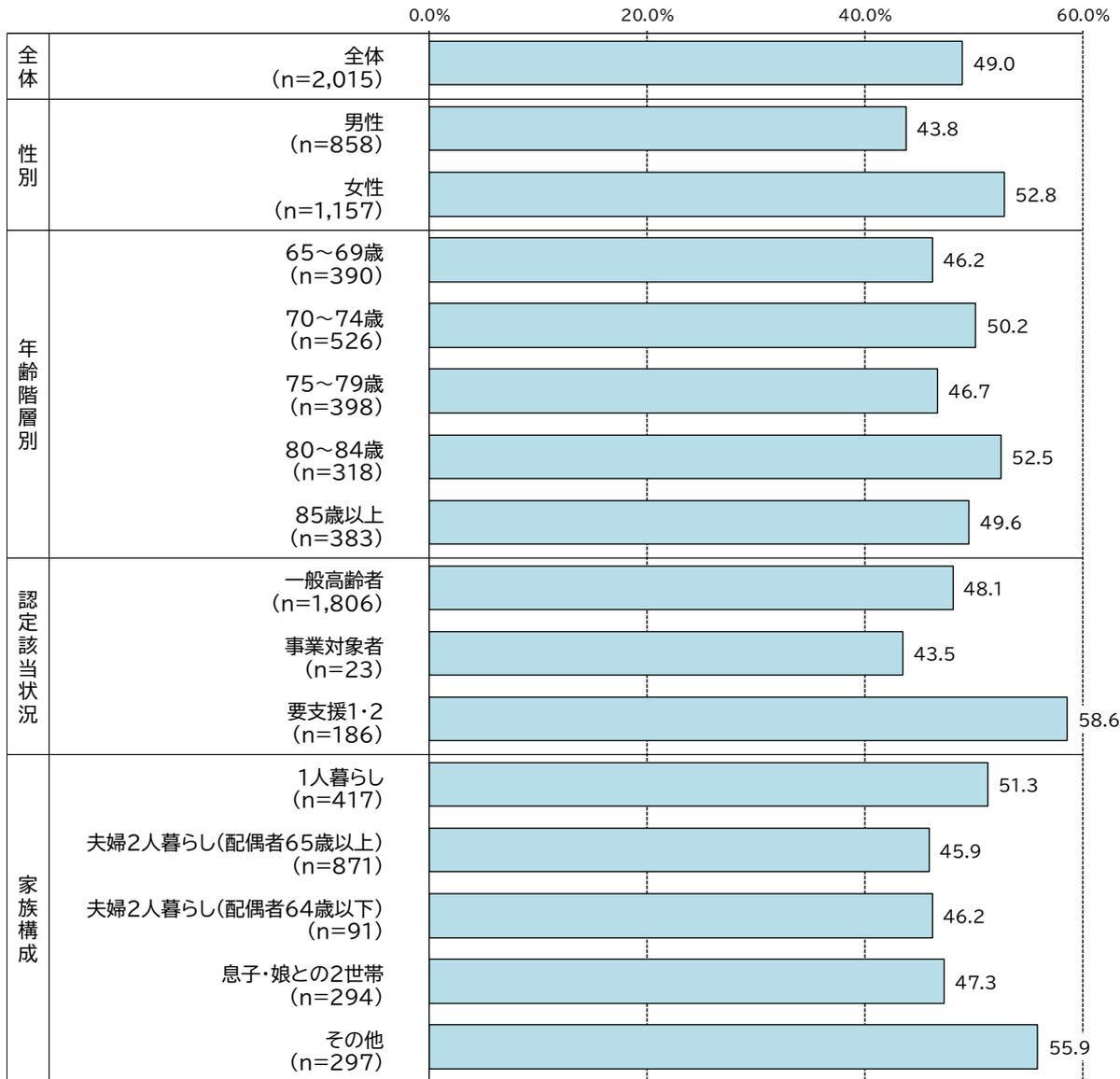
図表299 認知機能の低下の該当者の割合(日常生活圏域別)



●認知機能の低下の該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「太田」の該当者の割合が最も高く、53.1%となっています。次いで、「勝賀・下笠居」、「牟礼」が共に50.0%と続いています。

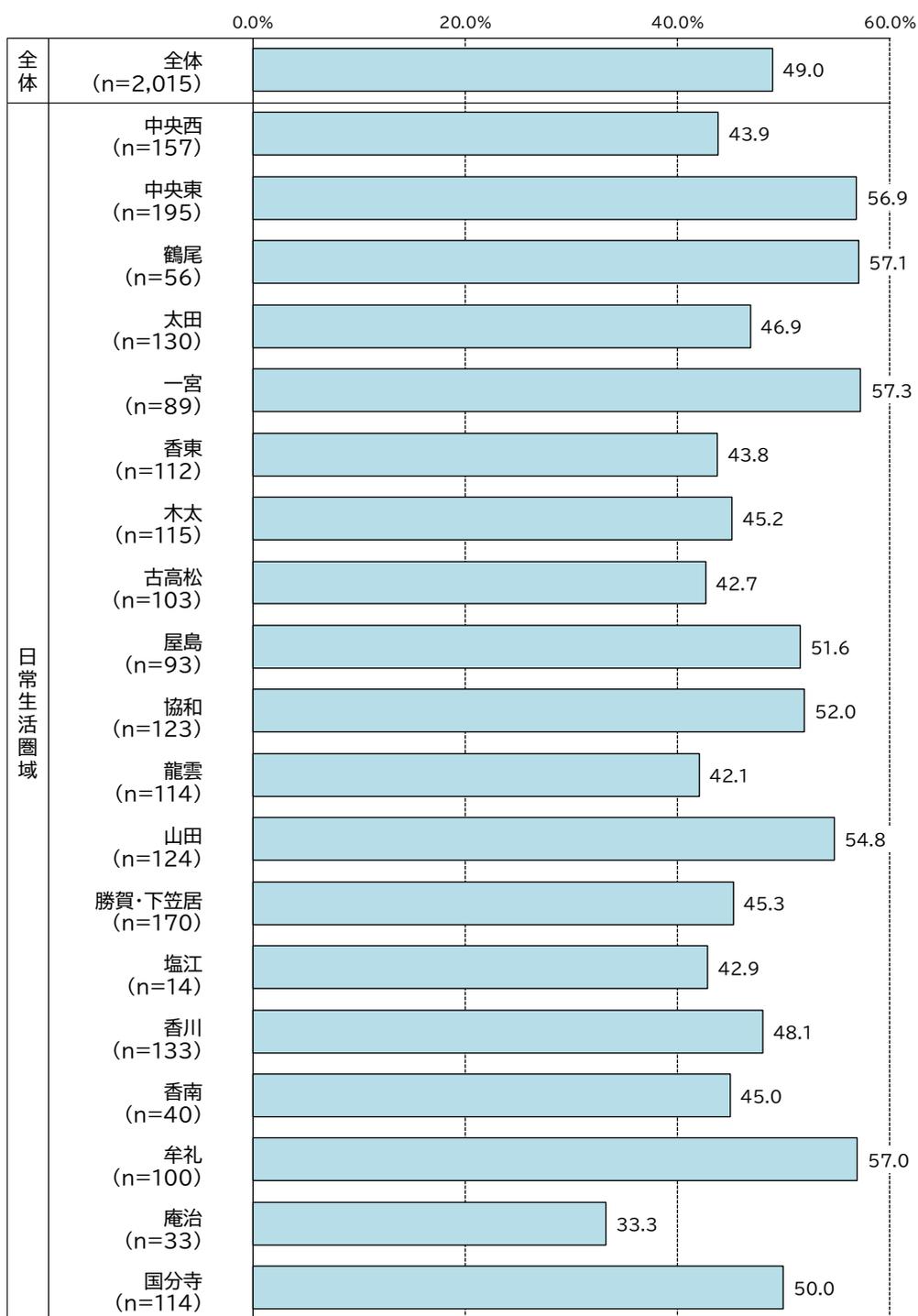
(7)うつ傾向

図表300 うつ傾向の該当者の割合
(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- うつ傾向の該当者の割合は、全体では49.0%となっています。
- 性別にみると、「女性」52.8%が「男性」43.8%を9.0ポイント上回っています。
- 年齢階層別にみると、「80～84歳」の該当者の割合が最も高く、52.5%となっています。
- 認定該当状況別にみると、「要支援1・2」の該当者の割合が最も高く、58.6%となっています。次いで「一般高齢者」48.1%、「事業対象者」43.5%と続いています。
- 家族構成別にみると、「その他」を除き、「1人暮らし」51.3%となっており、その他の家族構成に比べて高くなっています。

図表301 うつ傾向の該当者の割合(日常生活圏域別)



●うつ傾向の該当者の割合を日常生活圏域別にみると、「一宮」の該当者の割合が最も高く、57.3%となっています。次いで、「鶴尾」57.1%、「牟礼」57.0%と続いています。

● 第6章 資料 判定結果 ●

・判定方法(8)～(10)まで 老研式活動能力指標

(8)IADL－手段的日常生活動作

問NO.	質問項目	該当する選択肢
問4-4	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 or 「2. できるけどしていない」 1点
問4-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-6	自分で食事の用意をしていますか	
問4-7	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

○5点:高い

○4点:やや低い

○0～3点:低い

(9)社会参加－知的能動性

問NO.	質問項目	該当する選択肢
問4-9	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	「1. はい」:1点
問4-10	新聞を読んでいますか	
問4-11	本や雑誌を読んでいますか	
問4-12	健康についての記事や番組に関心がありますか	

○4点:高い

○3点:やや低い

○0～2点:低い

(10)社会参加－社会的役割

問NO.	質問項目	該当する選択肢
問4-13	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」:1点
問4-14	家族や友人の相談にのっていますか	
問4-15	病人を見舞うことができますか	
問4-16	若い人に自分から話しかけることがありますか	

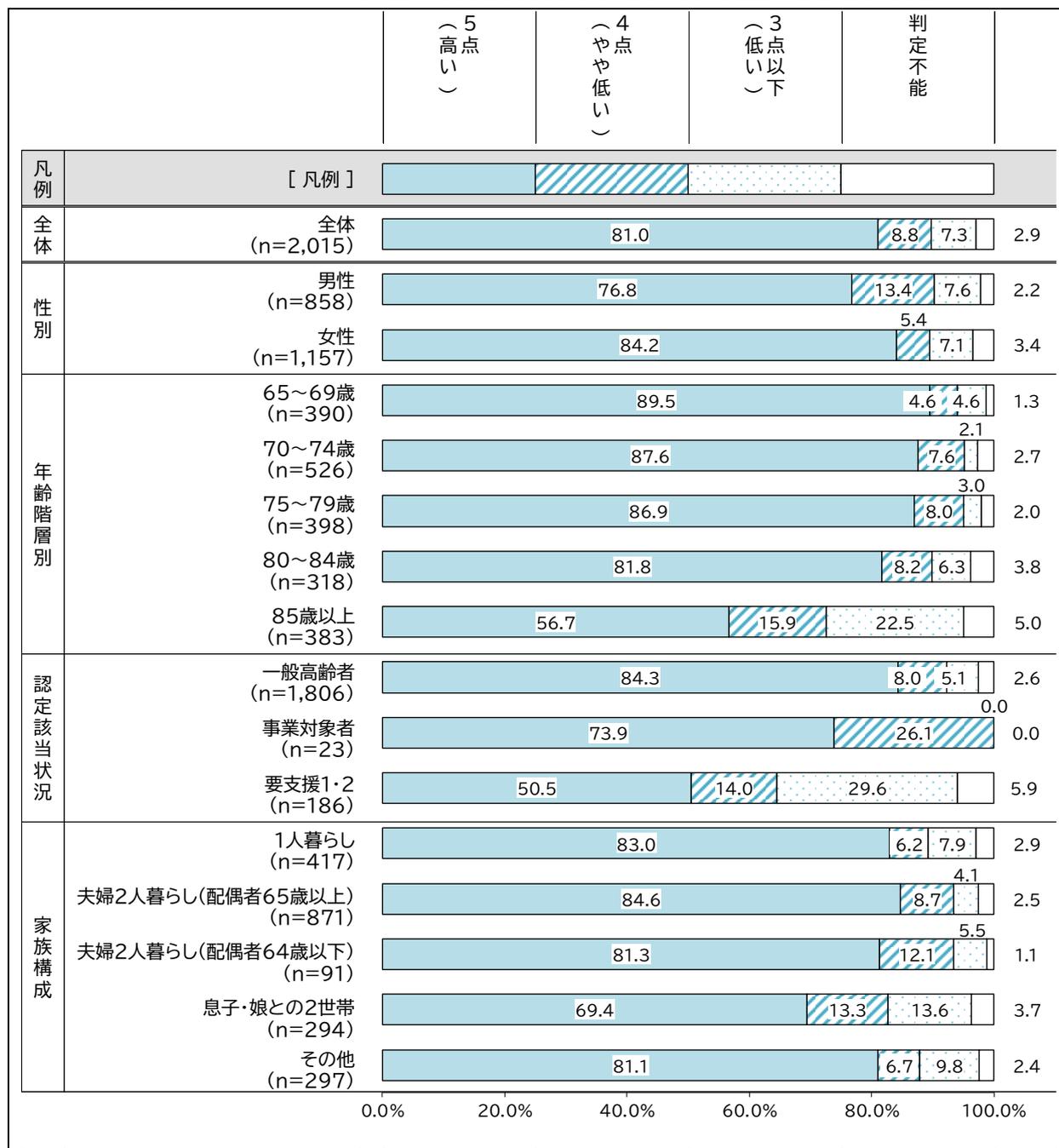
○4点:高い

○3点:やや低い

○0～2点:低い

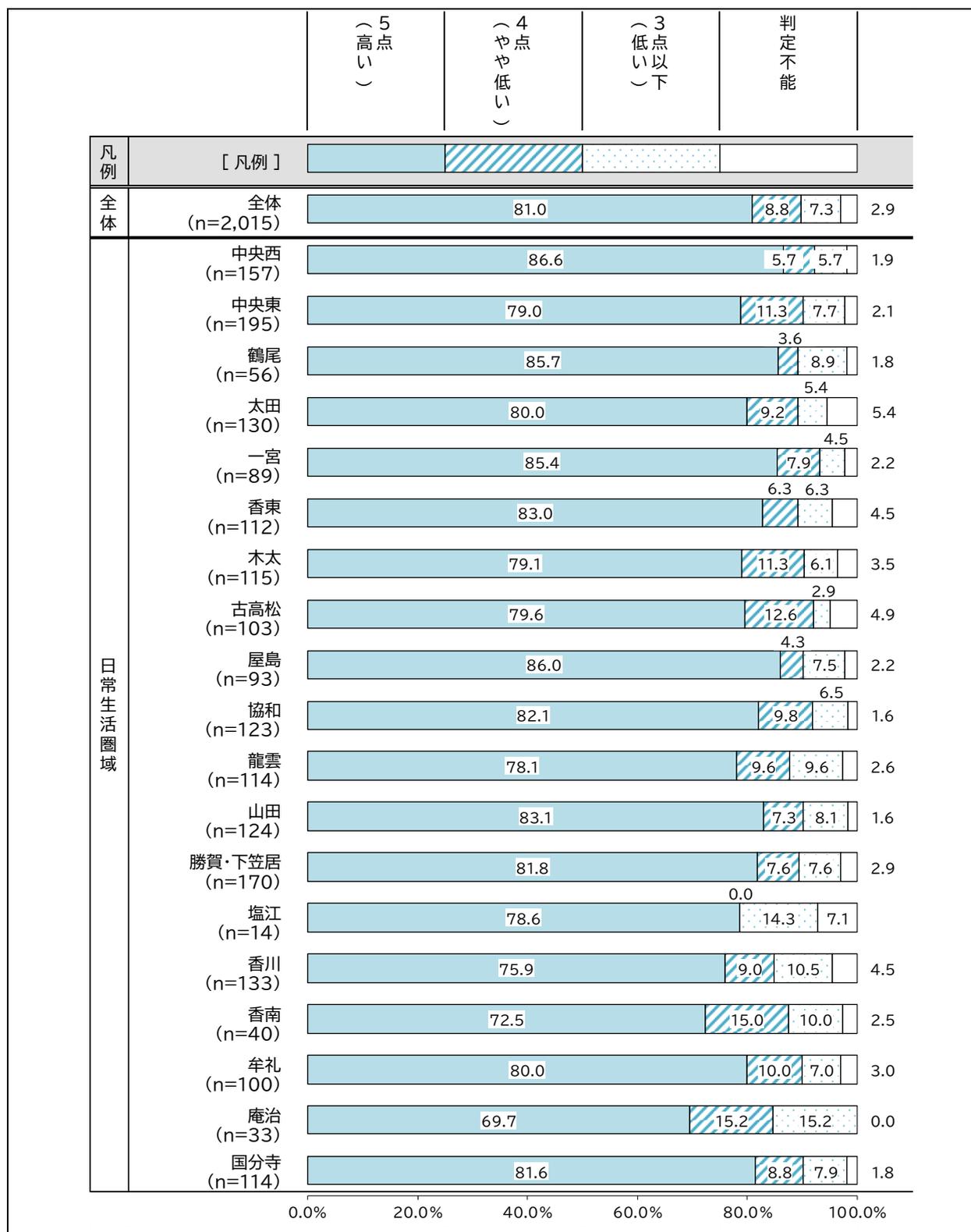
(8)IADL－手段的日常生活動作

図表302 IADL(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- IADLのスコアについて、全体では「高い」が81.0%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合が、「男性」76.8%と比べると、「女性」は84.2%と7.4ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、年齢があがるにつれて、「高い」の割合が段階的に低下していることがわかります。
- 認定状況別にみると、「高い」の割合が「一般高齢者」は84.3%、「事業対象者」は73.9%、「要支援1・2」は50.5%と段階的に低下していることがわかります。
- 家族構成別にみると、「高い」の割合が、「息子・娘との2世帯」69.4%は、その他の家族構成に比べて低くなっています。

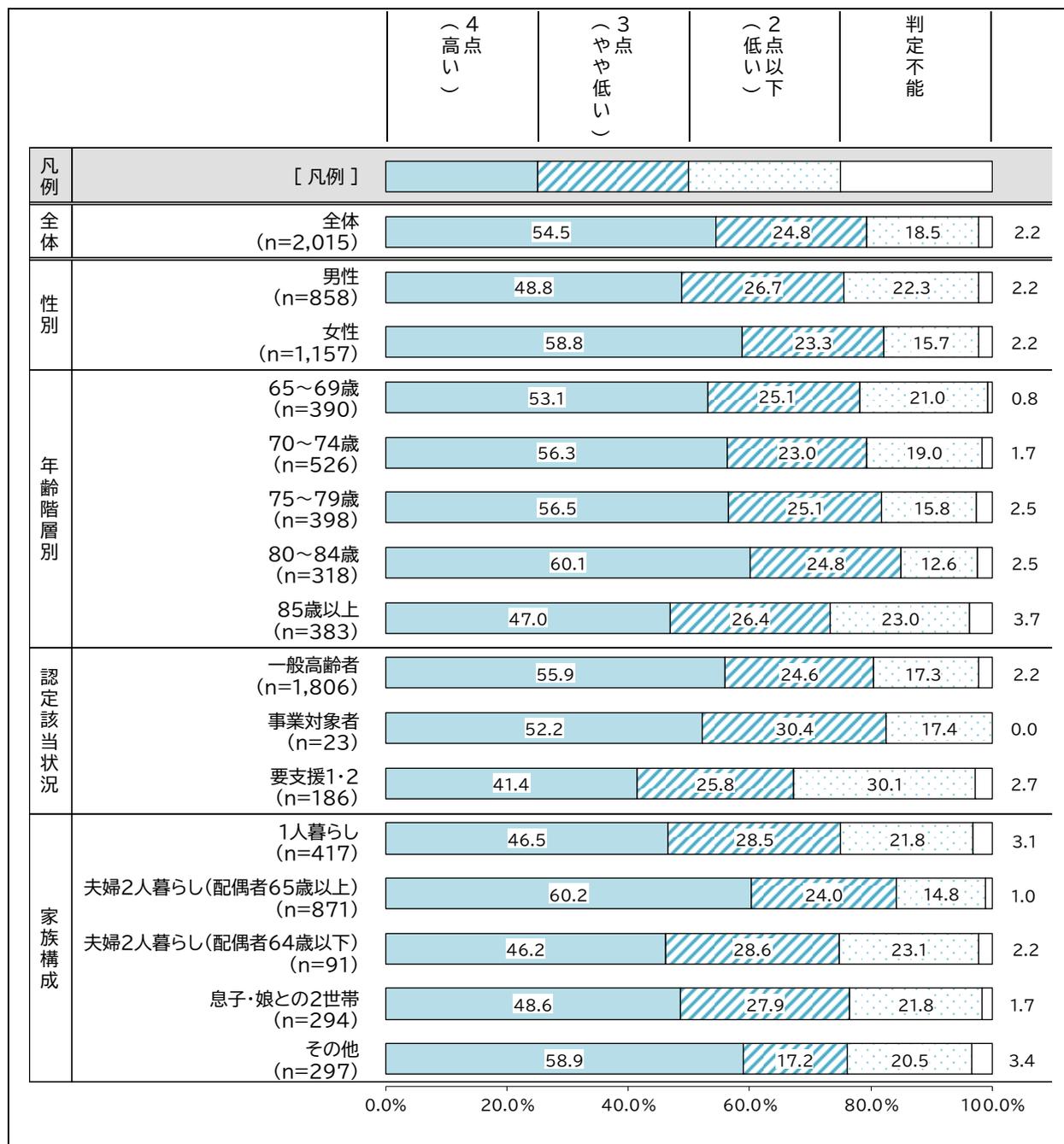
図表303 IADL(日常生活圏域別)



- IADLを日常生活圏域別にみると、「高い」の割合は「中央西」で最も高く86.6%となっています。次いで、「屋島」86.0%、「鶴尾」85.7%と続いています。
- 「低い」の割合は「庵治」で最も高く、15.2%となっています。次いで、「塩江」14.3%、「香川」10.5%と続いています。

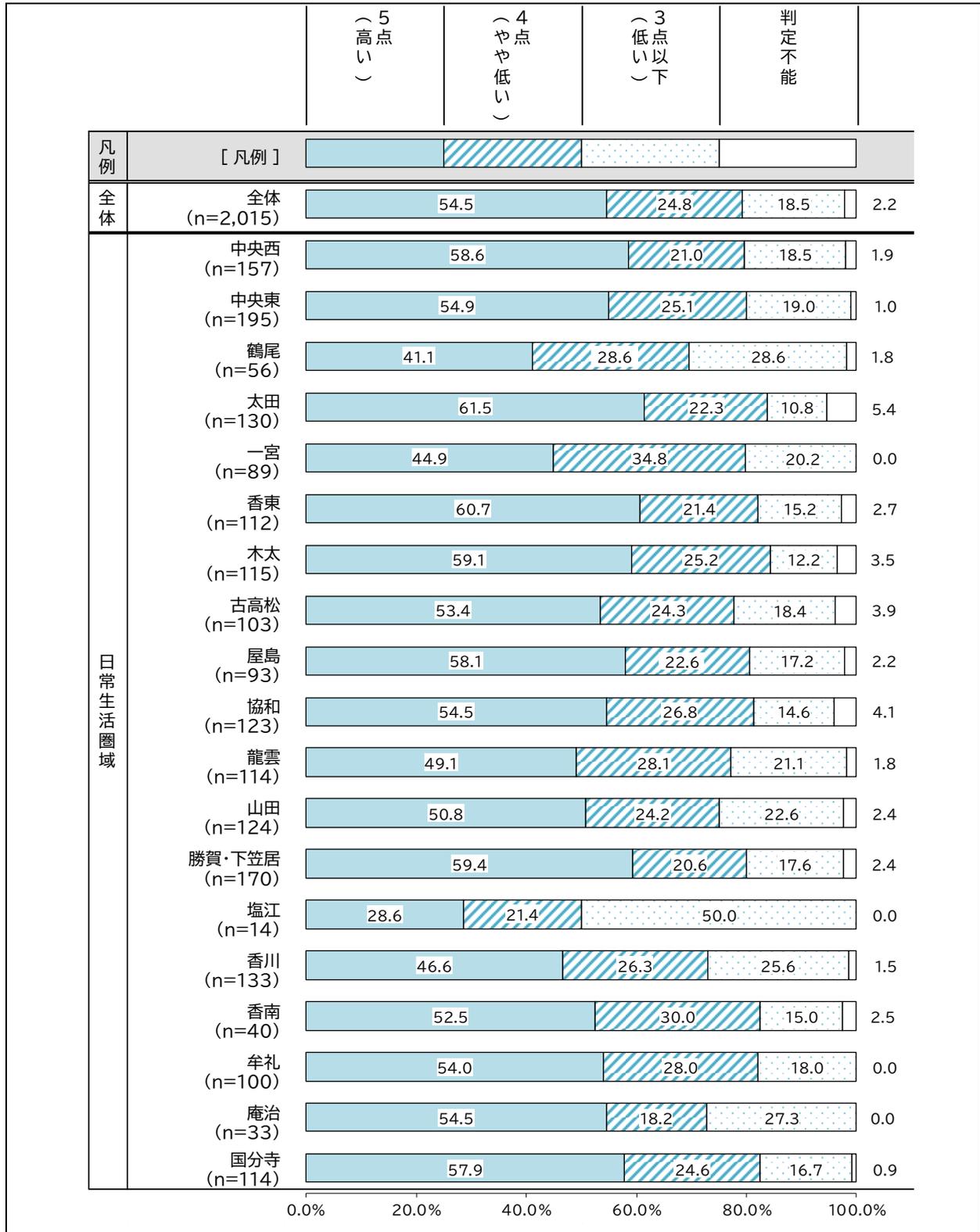
(9)社会参加－知的能動性

図表304 社会参加－知的能動性(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 知的能動性のスコアについて、全体では「高い」が54.5%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合が、「男性」48.8%と比べると、「女性」は58.8%と10ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「80～84歳」の「高い」の該当者の割合が最も高く、60.1%となっています。
- 認定該当状況別にみると、「高い」の割合が「一般高齢者」は55.9%、「事業対象者」は52.2%、「要支援1・2」は41.4%と段階的に低下していることがわかります。
- 家族構成別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の「高い」の該当者の割合が最も高く、60.2%となっています。

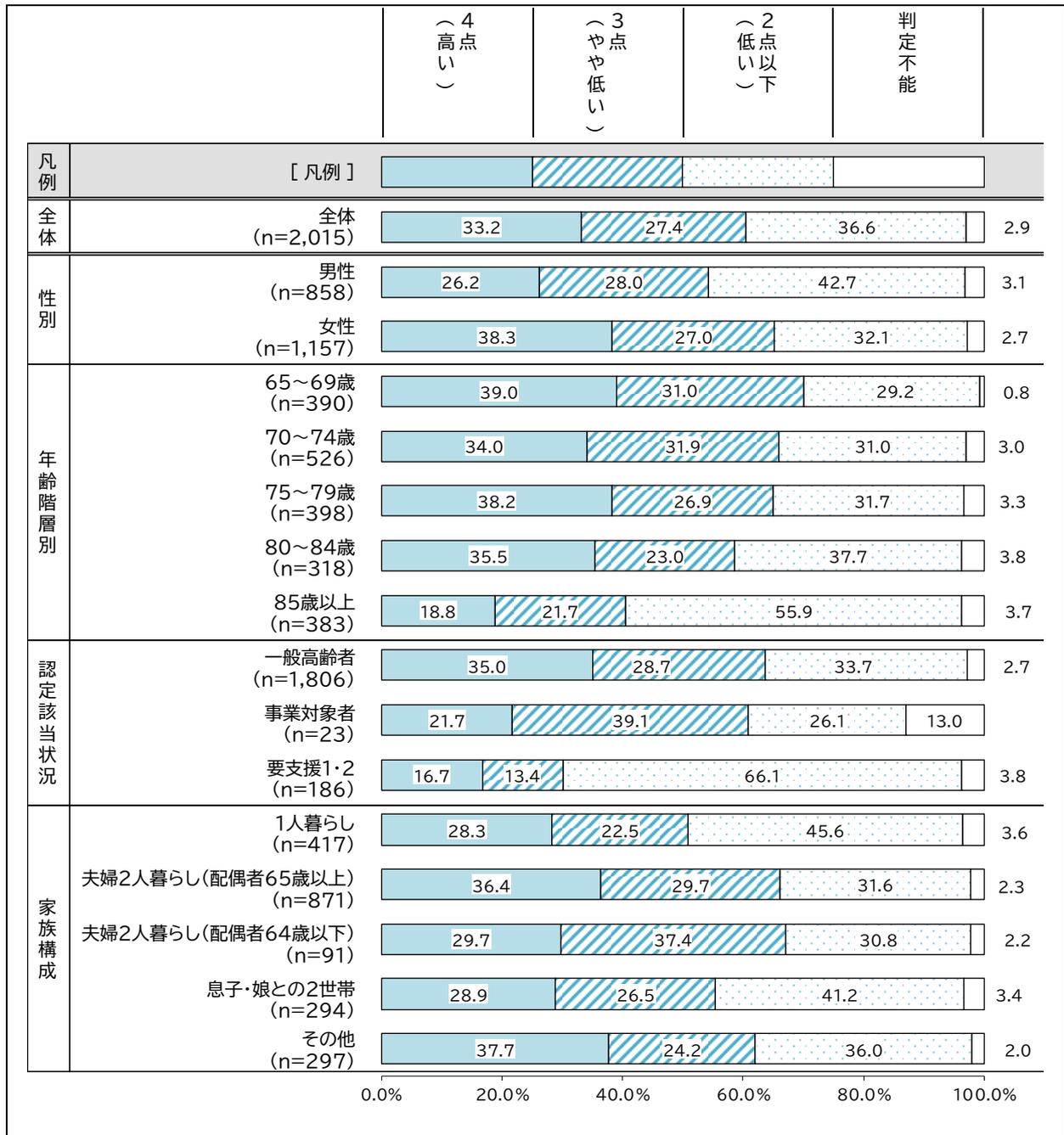
図表305 社会参加－知的能動性(日常生活圏域別)



- 知的能動性を日常生活圏域別にみると、「高い」の割合は「太田」で最も高く61.5%となっています。次いで、「香東」60.7%、「勝賀・下笠居」59.4%と続いています。
- 「低い」の割合は「塩江」で最も高く、50.0%となっています。次いで、「鶴尾」28.6%、「庵治」27.3%と続いています。

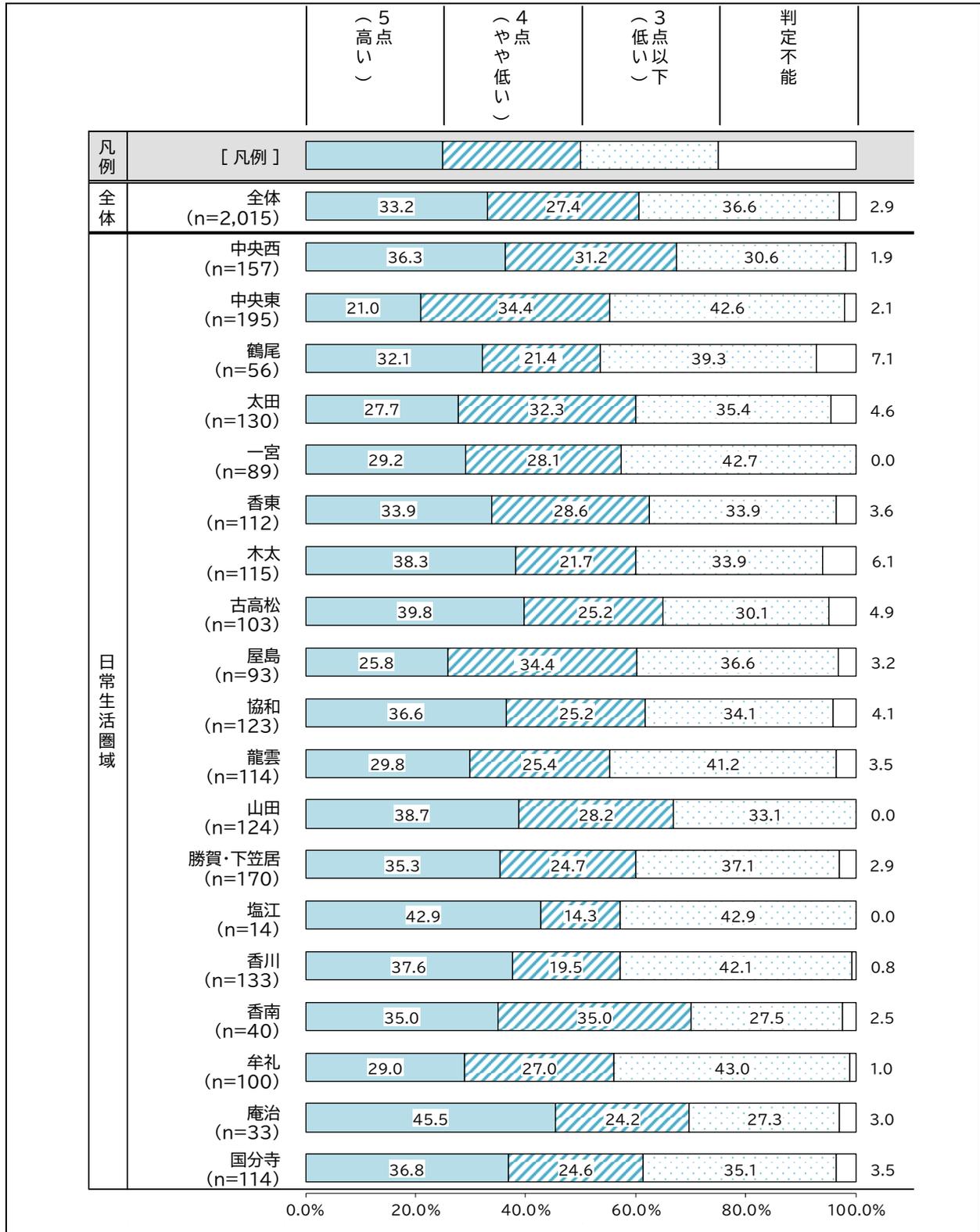
(10)社会参加－社会的役割

図表306 社会参加－社会的役割(性別、年齢階層別、認定該当状況別、家族構成別)



- 社会的役割のスコアについては、全体では「高い」が33.2%となっています。
- 性別にみると、「高い」の割合が、「男性」26.2%と比べると、「女性」は38.3%と12.1ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、「85歳以上」は「高い」の割合が18.8%とその他の年齢に比べて低くなっています。
- 認定該当状況別にみると、「高い」の割合が「一般高齢者」は35.0%、「事業対象者」は21.7%、「要支援1・2」は16.7%と段階的に低下していることがわかります。
- 家族構成別にみると、「低い」の割合が、「1人暮らし」45.6%、「息子・娘との2世帯」41.2%は、その他の家族構成に比べて高くなっています。

図表307 社会参加－社会的役割(日常生活圏域別)



- 社会的役割を日常生活圏域別にみると、「高い」の割合は「庵治」で最も高く45.5%となっています。次いで、「塩江」42.9%、「古高松」39.8%と続いています。
- 「低い」の割合は「牟礼」で最も高く、43.0%となっています。次いで、「塩江」42.9%、「一宮」42.7%と続いています。

高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査
結果報告書

令和5年3月 発行

発行 高松市

編集 高松市健康福祉局長寿福祉部長寿福祉課

〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

Tel 087-839-2346 / Fax 087-839-2352

ホームページ <https://www.city.takamatsu.kagawa.jp>
